servicenow

Yokohama エンタープライズアーキテクチャ (旧 Application Portfolio Management)

自動翻訳

最終更新日: 2025年5月6日

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow®

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目次

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理)....5
エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理)....9
エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) の詳細....11
エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) の構成....69
エンタープライズアーキテクチャ(旧アプリケーションポートフォリオ管理)の使用....102
エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) と他のアプリケーションの統合....192
エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) 参考....199
デジタル統合の管理 263
エンタープライズアーキテクチャワークスペース....269
エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist 538

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理)

ServiceNow®エンタープライズアーキテクチャは、戦略チームと運用チームを統合し、組織がビジネス目標を達成できるようにします。強力な意思決定エンジンとして機能し、堅牢なモデリングと、ビジネス機能、アプリケーションポートフォリオ、情報ポートフォリオ、およびテクノロジーポートフォリオの管理を組み合わせます。

エンタープライズアーキテクチャ は、組織の目標に向けたビジネスニーズに基づいて、アプリケーションを投資、維持、または置き換えるかどうかを決定するのに役立ちます。

次のようなビジネス上の課題に対処できます。

- 類似の機能に対応する冗長なアプリケーション
- アプリケーションの所有と維持にかかるコストの増加
- 新しい機能のための、既存アプリケーションのアップグレードへのデマンドの高まり
- 社内の従来アプリケーションとベンダーの従来アプリケーションの競合
- 古くなったアプリケーションに起因するパフォーマンス不足

これらの課題を克服し、効率的かつスムーズな方法でビジネス機能を改善し、これらの エンタープライズアーキテクチャ プロセスでコストを最適化します。



Enterprise Modeling and Visualization

図を作成し、IT の将来の状態とビジネスランドスケープとの関係をモデル化します。



ビジネスアプリケーションの統廃合

カテゴリ内のすべてのビジネスアプリケーションを合理化し、投資、維持、移行、または廃止するかどうかを決定します。



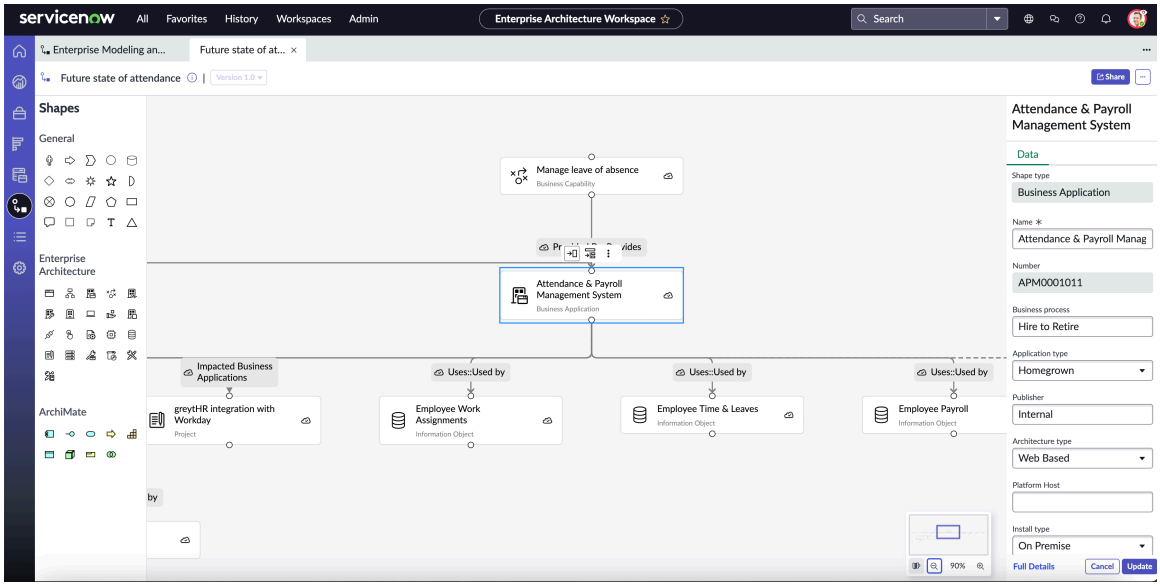
TPM および TRM ライフサイクルのタイムラインのガントビュー

ガントチャートを使用して、テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) およびテクノロジー参照モデル (TRM) のライフサイクルタイムラインを表示および追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EA ワークスペースのエンタープライズのモデリングと可視化

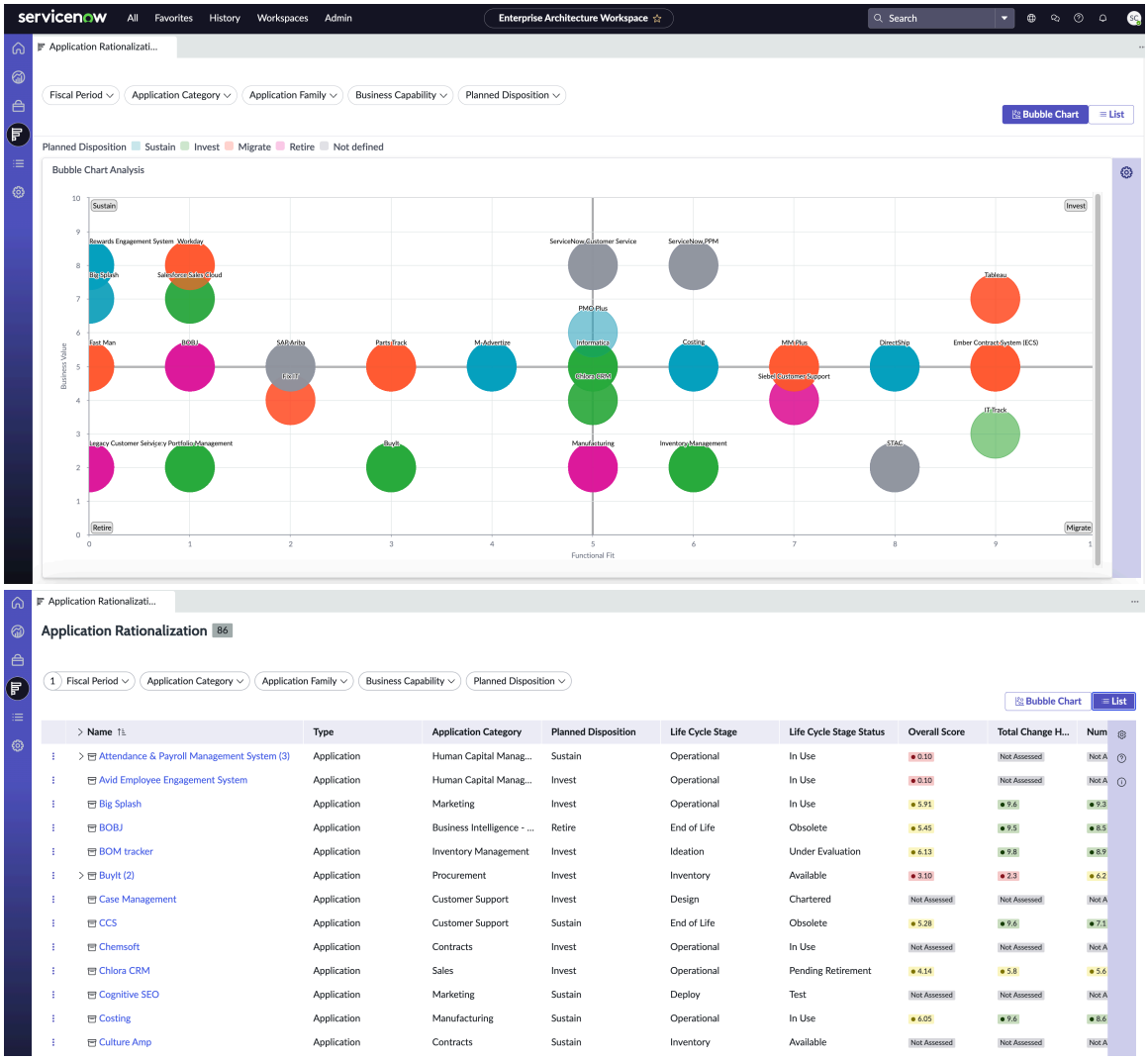


エンタープライズアーキテクトは、EA ワークスペース の エンタープライズのモデリングと可視化 [com.snc.apm_modelling_tool] 機能を使用して、アプリケーション階層の図を作成し、それらをアーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。これらの図により、意思決定者は情報に基づいた意思決定を行うことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションの統廃合



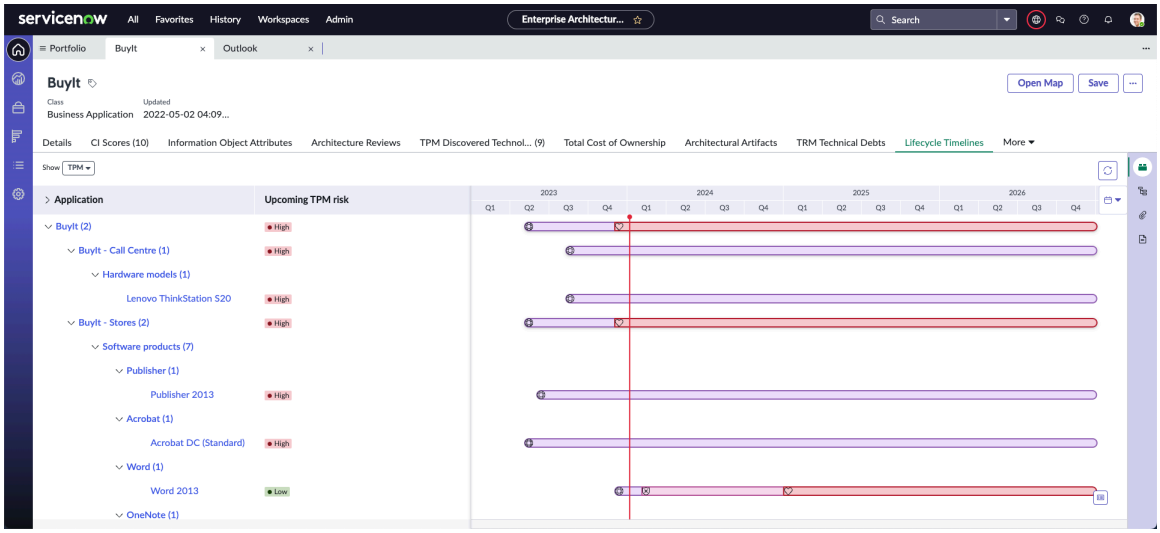
エンタープライズアーキテクトは、Application Rationalization (アプリケーションの統廃合) を使用してビジネスアプリケーションを評価できます。

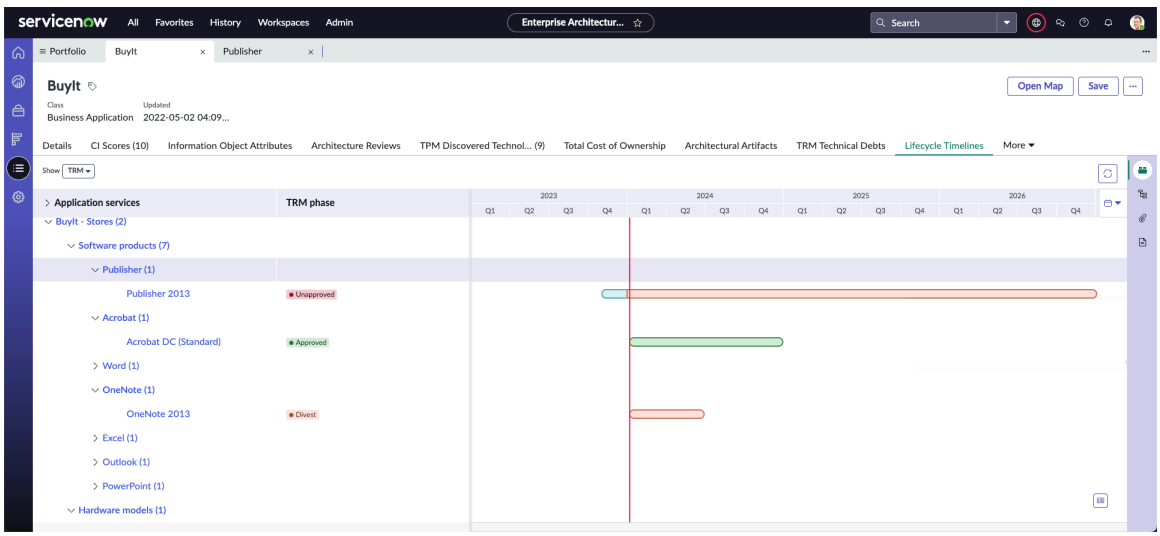
バブルチャートは、インジケーターのスコアに基づいてアプリケーションをさまざまな象限に配置するインタラクティブなグラフです。エンタープライズアーキテクトは、象限におけるビジネスアプリケーションの位置に基づいて、ビジネスアプリケーションへの投資、維持、移行、または廃止を決定できます。

リストビューでは、すべてのビジネスアプリケーションとそれらに関連付けられているすべてのインジケータースコアに関する概要情報を表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TPM および TRM ライフサイクルのタイムラインのガントビュー





エンタープライズアーキテクチャワークスペースのガントチャートは、ビジネスアプリケーションのテクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) およびテクノロジー参照モデル (TRM) のタイムライン、および関連するアプリケーションサービス (ソフトウェア製品やハードウェアモデルなど) を視覚的に表現したものです。

アプリケーションと機能

- エンタープライズアーキテクチャワークスペース概要
- エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist
- 要求、認定、およびアセスメントの管理
- ビジネスポートフォリオの管理
- エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボードの操作
- での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース
- EA ワークスペースのエンタープライズのモデリングと可視化
- TPM および TRM ライフサイクルのタイムラインのガントビュー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネスアプリケーションの統廃合
- でアプリケーションの総所有コスト (TCO) を構成する エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理)

エンタープライズアーキテクチャ は、基盤となるテクノロジー関係を含む、アプリケーション資産の全体像を提供します。

重要:

Xanadu リリース以降、従来の エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) ホームページは廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来のホームページを表示できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のホームページは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース ホームページを使用して、アプリケーションポートフォリオ管理 ホームページが提供するものと同じ機能を利用できます。エンタープライズアーキテクチャワークスペースの詳細については、「エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャ まず、ビジネスアプリケーションの包括的なインベントリを構築し、エンタープライズアーキテクトとアプリケーションオーナーに、ポートフォリオを分析するための 4 つのレンズ (ビジネス機能計画、アプリケーションの移行と合理化、技術リスク管理、および情報使用) を提供します。

このレベルの可視性により、アーキテクトは、オンプレミスや重複するアプリの数の削減、重要でないアプリケーションへの支出の削減、ビジネス機能モデルのギャップへの対処など、変革の機会を簡単に特定できます。

エンタープライズアーキテクチャ は、アーキテクトがアーキテクチャの状態に対する変更の影響を簡単に評価するのに役立つテクノロジーと作業の両方の視点を提供します。 エンタープライズアーキテクチャ 、計画内容が組織のテクノロジーおよび戦略的目標と一致していることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始めましょう

探索	構成	統合
 エンタープライズアーキテクチャが提供する主な機能とビジネス価値について説明します	 構成 エンタープライズアーキテクチャ	 エンタープライズアーキテクチャ と他の製品との統合
使用	**参照**	
 使用方法を学ぶ エンタープライズアーキテクチャ	 のコンポーネント、フォームフィールド、一般的なガイドラインに関する詳細を取得します エンタープライズアーキテクチャ	

自動翻訳

トラブルシューティングとサポート

- で質問や回答をする エンタープライズアーキテクチャ (旧 のアプリケーションポートフォリオ管理) フォーラム ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 連絡先 カスタマーサービス & サポート
- APM ラーニングパス、実装、およびその他のリソースに関する記事を検索する

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) の詳細

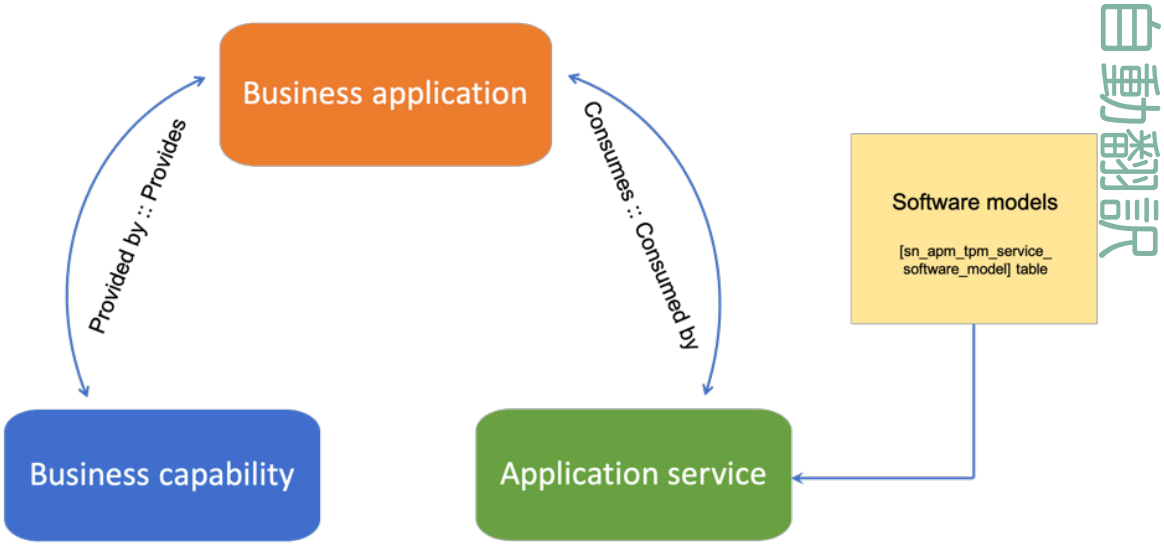
エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理 が提供する機能とビジネス価値について説明します。

エンタープライズアーキテクチャ では、次の主要なソリューションコンポーネントを使用します。

- アプリケーション分類
  - エンタープライズビジネスアプリケーションに重点を置いています。より大規模な ERP スイートの機能モジュール部分を含めることもできます。
  - 基本 Configuration Management Database (CMDB) 構成アイテムを拡張する、新しい CI クラスであるビジネスアプリケーションに、アプリケーションを分類するための追加属性を提供します。

    エンタープライズアーキテクチャで使用される構成アイテムは、相互に CMDB 関係を確立することで関連付けられます。

    エンタープライズアーキテクチャ **CI** 関係



  - アプリケーションの段階的なロールアウト/展開を事業部門または地域別にキャプチャします。
  - 参照されているソフトウェアモデルから属性をキャプチャします。
- アプリケーションアセスメントフレームワーク
  - コスト、品質、リスク、ユーザー満足度、ビジネス整合性など、さまざまな側面からアプリケーションを評価するためのインジケーター。
  - コスト用 Financial Management、サポート問題用 ITSM、投資の詳細用 PPM など、ServiceNow アプリケーションからの一般的なインジケーター。
- レポートとダッシュボード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アプリケーション状況ダッシュボード
- アプリケーション 360 ダッシュボード
- アプリケーションアセスメントダッシュボード
- アプリケーション戦略の推奨事項 (バブルチャート)
- アプリケーション合理化ロードマップ
- アプリケーションリスクとコンプライアンスの概要 (必要なロールは sn_grc.reader)

• 他のアプリケーションとの統合
  - Project Portfolio Suite (PPS) と統合して、戦略的な目標と推奨事項の実行を追跡します。
  - Financial Management と統合して、アプリケーションのコストと関連するブレークダウンを評価します。
  - PPS と統合して、アプリケーションへの計画された投資を評価します。
  - ITSM と統合して、アプリケーションのインシデント、問題、および変更を評価します。
  - サービス管理と統合して、ビジネスアプリケーションを使用し、そのパフォーマンスを評価できるユーザーまたはユーザーグループに対するアセスメントアンケートを生成します。
  - アジャイル開発 2.0 デジタルポートフォリオ管理 (DPM) と統合することで、DPM マネージャーは、情報に基づいて投資、維持、または置換の意思決定を行う際に役立つ、ビジネスアプリケーションの包括的な理解を得ることができます。DPM は、所有者がライフサイクル全体を通してサービスとアプリケーションを表示し、まとめて管理するための統一されたワークスペースを提供します。詳細については、「デジタルポートフォリオ管理 の探索」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) とともにインストール

エンタープライズアーキテクチャ と併せて、複数のタイプのコンポーネントがインストールされます。

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) とともにインストールされるテーブル

テーブルは、エンタープライズアーキテクチャ のアクティブ化とともに追加されます。

テーブル	説明
アプリケーションバブルチャート [apm_bubble_chart]	バブルチャート設定。
アプリケーションサービスリスク [sn_apm_tpm_business_service_risk]	TPMのアプリケーションサービスにリスクを保存します。
アプリケーションカテゴリ [apm_application_category]	ビジネスアプリケーションが属するアプリケーションカテゴリ。
アプリケーションカテゴリグループ [apm_application_category_group]	アプリケーションカテゴリのグループ。
アプリケーションファミリ [apm_application_family]	すべてのアプリケーションファミリ。
インジケーター [apm_metric]	インジケータースコアをキャプチャするためのインジケーター定義。
インジケータースコア [apm_app_indicator_score]	プロファイルに基づいてエンジンによって計算されたインジケータースコア。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
採点プロファイル [apm_application_profile]	採点プロファイル定義。
プロファイルインジケーター [apm_application_profile_indicator]	ビジネスアプリケーションの全体的なスコアを計算するための重み付け番号付きのアプリケーションプロファイルインジケーター。
CI スコア [apm_app_score]	アプリケーションプロファイルに基づいて、エンジンによって計算された全体的なアプリケーションスコア。
ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app]	すべてのビジネスアプリケーション。
アプリケーションサービスソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_model]	各アプリケーションサービスの基礎となるソフトウェアモデル (テクノロジー) を格納します。
目標寄与率ターゲット [goal_contribution_target]	ターゲット会計年度におけるプログラムの目標寄与率。
デマンドアクション [apm_idea_action]	デマンドを送信するために利用可能なアクション。
リスクパラメーター [sn_apm_tpm_risk_parameter]	リスクパラメーターを TPM に保存します。
リスクパラメータースコア [sn_apm_tpm_risk_param_score]	各ソフトウェアモデルのリスクパラメータースコアを TPM に保存します。 たとえば、4 つのパラメーターがある場合、ソフトウェアモデルごとに 4 つのレコードがテーブルに格納されます。
ソフトウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_software_model_risk]	TPM のソフトウェアモデルのリスクを保存します。
ハードウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_hardware_model_risk]	ハードウェアモデルのリスクを TPM に保存します。
TRM 製品ライフサイクル要求 [sn_apm_trm_product_lifecycle_request]	TRM 製品ライフサイクルを要求します。
TRM 製品要求 [sn_apm_trm_product_request]	TRM 製品を要求します。
TRM カテゴリ [sn_apm_trm_standards_category]	TRM カテゴリ。
TRM フェーズ [sn_apm_trm_standards_phase]	TRM フェーズ。
TRM 製品 [sn_apm_trm_standards_product]	TRM 製品。
TRM 製品ライフサイクル [sn_apm_trm_standards_product_lifecycle]	TRM 製品ライフサイクル。
TRM 技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt]	TRM 製品の技術的負債に関する情報。
アーキテクチャアーティファクト [sn_apm_architectural_artifact]	アーキテクチャアーティファクトの名前。
アーキテクチャアーティファクトのバージョン [sn_apm_architectural_version]	アーキテクチャアーティファクトのバージョン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
アーキテクチャカテゴリ [sn_apm_architectural_category]	アーキテクチャアーティファクトのカテゴリ。
関連エンティティ [sn_apm_related_entities]	アーキテクチャアーティファクトの関連エンティティ。
新規テーブル [sn_apm_ppt_status_report]	APM PowerPoint ステータスレポートテーブル。
データ分類 [cmdb_data_classification]	情報オブジェクトのデータ分類のリスト。
データ分類グループ [cmdb_data_classification_group]	情報オブジェクトのデータ分類グループのリスト。
データ分類マッピング [cmdb_data_classification_mapping]	データ分類の詳細を情報オブジェクトにマッピングします。

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) とともにインストールされるロール

ロールは、エンタープライズアーキテクチャ のアクティブ化とともに追加されます。

ロール	説明	ロールを含む
sn_apm.apm_read	ベースシステムによって提供される エンタープライズアーキテクチャ ダッシュボードと、ダッシュボードのデータの取得元となる基礎となるテーブルを表示するためにアクセスします。	pa_viewer ロールと cmdb_read ロールが含まれます。 **注:** Notify (com.snc.notify) プラグインをアクティブ化して、notify_view ロールを含めます。 アプリケーション 360 ダッシュボード、アプリケーション状況ダッシュボード、アプリケーションアセスメントダッシュボードを表示します。
sn_apm.apm_user	アプリケーションの更新、状況の表示、ロードマップにアクセスします。	pa_viewer、および認定ロールが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	ロールを含む
		注: • Notify (com.snc.notify) プラグインをアクティブ化して、notify_view ロールを含めます。 • PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをアクティブ化して、CBP および TPM でプロジェクト/プログラムを作成します。PPM ロールの詳細については、「PPM Standard (Project Portfolio Management) とともにインストールされるプラグイン」を参照してください 。 • アプリケーションを表示/更新します。 • ビジネスアプリケーションの作成を要求します。 • アプリケーションロールアウトを作成/更新/削除します。 • アプリケーション状況レポートとダッシュボードを表示します。 • アプリケーションロードマップを表示します。 • アプリケーション 360 ダッシュボードを表示します。
sn_apm.apm_admin	アプリケーションレコードを作成または更新し、管理アクティビティにアクセスします。	sn_apm.apm_user、assessment_admin、certi ロールが含まれます。 • アプリケーションカテゴリを作成/更新/削除します。 • アプリケーションファミリを作成/更新/削除します。 • ビジネスプロセスを作成/更新/削除します。 • アプリケーションインジケーターを作成/更新/削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	ロールを含む
		• アプリケーションスコアプロファイルを作成/更新/削除します。 • バブルチャートを作成/更新/削除します。 • アプリケーションインジケータースコアとアプリケーションスコアを表示します。 • アプリケーションアセスメントダッシュボードを表示します。 • アプリケーション 360 ダッシュボードを表示します。
sn_apm.apm_analyst	アプリケーションを作成し、ランドスケープとダッシュボードにアクセスします。	sn_apm.apm_admin および treemap_user ロールが含まれます。 注: PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをアクティブ化して、機能ベース計画立案 (CBP) および技術ポートフォリオ管理 (TPM) でプロジェクト/プログラムを作成します。PPM ロールの詳細については、「PPM Standard (Project Portfolio Management) とともにインストールされるプラグイン」を参照してください。 • アプリケーションを作成/更新/削除します。 • アプリケーションインジケータースコアを作成/更新/削除します。 • アプリケーションスコアを作成/更新/削除します。 • エンタープライズアーキテクチャプログラムとターゲットを作成/更新/削除します。 • 目標を作成/更新/削除します。 • エンタープライズアーキテクチャサービスポータルページにアクセスして、プログ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	ロールを含む
		ラムのナビゲーション、カテゴリ分析、バブルチャートビュー、アプリケーションの比較を行います。 • アプリケーション戦略関連の属性を使用してデマンドを作成します。 • アプリケーション 360 ダッシュボードを表示します。

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) とともにインストールされる UI ポリシー

UI ポリシーは、エンタープライズアーキテクチャ のアクティブ化とともに追加されます。

UI ポリシー	テーブル	説明
データソースが PA でない場合 (When data source is not PA)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	データソースがカスタムスクリプトの場合に [カスタムスクリプト] フィールドを表示します。
クエリー条件がデータソースの場合 (When query condition is data source)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	データソースがカスタムスクリプトの場合に、[クエリーテーブル]、[統合]、[集計タイプ]、[集計]、[条件およびグループごと **(Conditions and Group By)]** フィールドを表示します。
アセスメントとサーベイがデータソースの場合 (When Assessments and Surveys are data source)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	データソースがアセスメントの場合に、[測定基準タイプ] および [測定基準カテゴリ] フィールドを表示します。
PA がデータソースの場合 (When PA is data source)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	データソースがカスタムスクリプトの場合に、[ソース **PA** インジケーター] および [頻度とデフォルトブレークダウン **(Frequency and Default breakdown)]** フィールドを表示します。
データソースがカスタムスクリプトの場合 (When data source is custom script)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	データソースがカスタムスクリプトの場合に [カスタムスクリプト] フィールドを表示します。

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) とともにインストールされるスケジュール済みジョブ

エンタープライズアーキテクチャ のアクティブ化によってスケジュール済みジョブが追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みジョブ	説明
オンデマンドのビジネスアプリケーション認定 (Business Application Certification On Demand)	認定タスクをスケジュールし、認定スケジュールをオンデマンドで実行します。
四半期ごとのビジネスアプリケーション認定 (Business Application Certification Quarterly)	認定タスクをスケジュールし、認定スケジュールを四半期ごとに定期的に実行します。
どのビジネス機能にも関連していないビジネスアプリケーションの監査 (Business Applications not related to any Business Capability audit)	CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、どのビジネス機能にも関連していないビジネスアプリケーションを確認します。
いずれのソフトウェアモデルにも関連しないビジネスアプリケーション (Business Applications not related to any Software Model)	CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、どのソフトウェアモデルにも関連していないビジネスアプリケーションを確認します。
同じ階層にある複数のビジネス機能に関連するビジネスアプリケーション (Business Applications related to multiple Business Capabilities in the same hierarchy)	CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、同じビジネスアプリケーションが階層の同じレベルにある複数のビジネス機能に関連付けられている可能性を確認します。
アプリケーションインジケーターのロードとアプリケーションスコアの計算 (Load Application Indicators and compute Application Scores)	アプリケーションインジケータースコアを入力し、ビジネスアプリケーションに添付されている採点プロファイルに基づいてアプリケーションスコアを計算します。
TPM リスクパラメーターのロードとアプリケーションサービスリスクの計算 (Load TPM Risk Parameters and compute Application Service Risks)	ソフトウェアモデルリスクとビジネスアプリケーションリスクを計算します。
孤立したビジネス機能 (Orphaned Business Capabilities)	親機能も子機能も持たず、それに関連するビジネスアプリケーションがない機能を確認します。
ライフサイクルデータがないソフトウェア製品 (Software Products with no lifecycle data) (ビジネスアプリケーションで使用される製品モデルの場合)	ビジネスアプリケーションで使用されているソフトウェアモデルレコードを取得し、これらのソフトウェアモデルに関連する製品のライフサイクルデータが存在するかどうかを確認します。
ビジネス機能レベルおよび階層 ID の更新 (Update Business Capability Levels and Hierarchy IDs)	機能マップのビジネス機能の順序と階層を更新します。
本番アプリケーションの TRM 技術的負債を入力	TRM 技術的負債のテーブルにデータを入力します。

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) とともにインストールされるクライアントスクリプト

クライアントスクリプトは、エンタープライズアーキテクチャ のアクティブ化とともに追加されます。

クライアントスクリプト	テーブル	説明
エンタープライズアーキテクチャビューに関して目標を必須としてマーク	プログラム [pm_program]	エンタープライズアーキテクチャビューに関して目標を必須としてマークします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クライアントスクリプト	テーブル	説明
スクリプト化されたインジケーターのコメントをデフォルト化 (Defaulting comments for scripted indicator)	アプリケーションインジケーター [apm_metric]	[データソース] フィールドが [カスタムスクリプト] の場合、[カスタムスクリプト] フィールドにはサンプルのカスタムスクリプトが入力されます。
アプリケーションの CI メーカーの入力 (Populate CI manufacturer for applications)	ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app]	ビジネスアプリケーションのメーカーを入力します。
エンタープライズアーキテクチャのビューを true に設定	プログラム [pm_program]	[使用者] エンタープライズアーキテクチャ チェックボックスを true に設定します。
エンタープライズアーキテクチャ目標の必須属性を設定する	目標 [goal]	エンタープライズアーキテクチャ目標の必須属性を設定します。
維持を制限 (Restrict Sustain)	デマンドアクション [apm_idea_action]	戦略のリストから維持を制限します。

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) とともにインストールされるビジネスルール

ビジネスルールは、エンタープライズアーキテクチャ が有効化されると追加されます。

ビジネスルール	テーブル	説明
[簡単な説明] の入力 (Populate Short Description)	目標 [goal]	入力された属性に基づいて、目標の [簡単な説明] を入力します。
PA インジケーター頻度の確認 (PA Indicator frequency check)	インジケーター [apm_metric]	パフォーマンス分析インジケーターの頻度を確認します。
エンタープライズロールアウトを 1 回のみ許可 (Only one Enterprise rollout is allowed)	ビジネスエンティティ [apm_rollout_entity]	ビジネスアプリケーションに対してエンタープライズロールアウトを 1 回のみ許可します。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) ポータル

エンタープライズアーキテクチャ ポータルでは、アプリケーション数やその他の重要な測定基準に基づいて、企業全体のアプリケーションの状況を把握できます。エンタープライズアーキテクト (EA) は、このポータルからすべての エンタープライズアーキテクチャ モジュールを表示してアクセスできます。

エンタープライズアーキテクチャポータルページに移動するには、 エンタープライズアーキテクチャ > エンタープライズアーキテクチャワークスペース. 必要なロールは sn_apm.apm_analyst です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

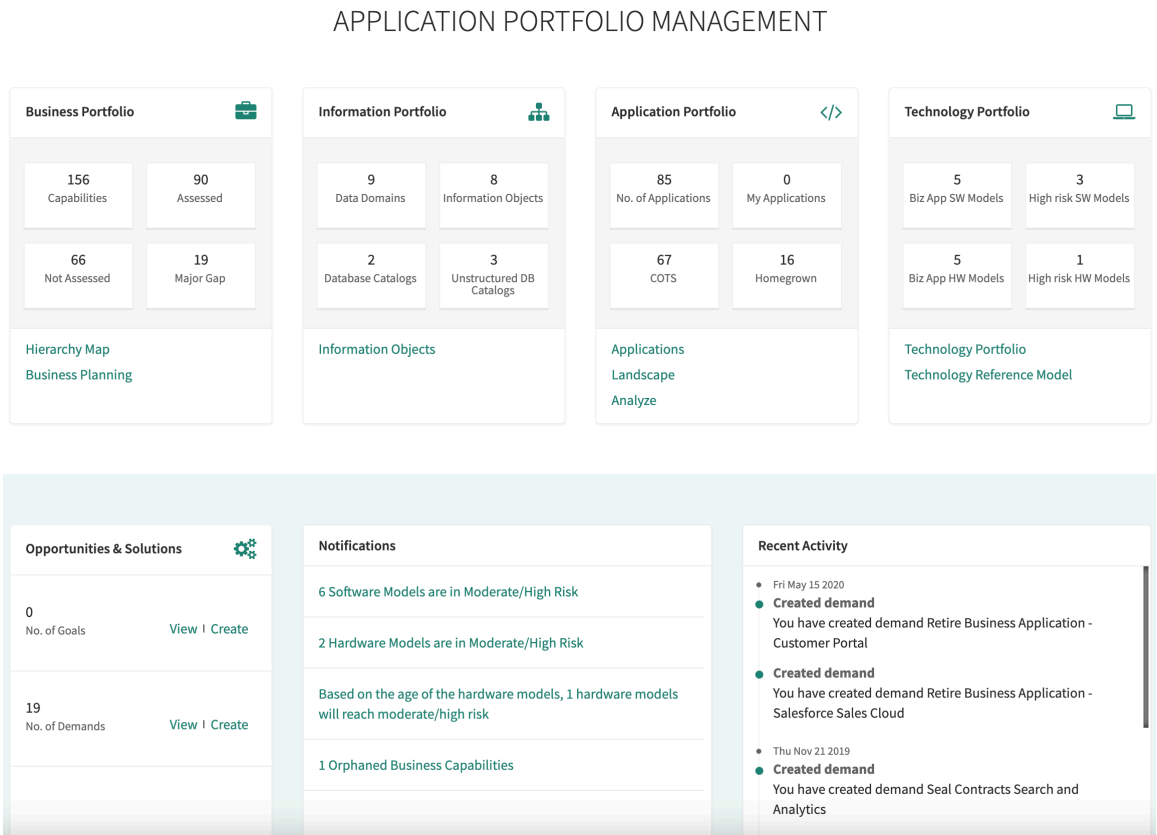
重要:

この機能はエンタープライズアーキテクチャワークスペースで使用することをお勧めします。ServiceNow Store から エンタープライズアーキテクチャワークスペース (sn_apm_ws) プラグインを有効にします。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの詳細については、「エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。エンタープライズアーキテクチャワークスペースのこれらの機能に関する具体的なドキュメントについては、「エンタープライズアーキテクチャワークスペース概要」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理ポータルは、4 つのセクションで構成されています。これらのセクションは、ビジネス機能、情報、アプリケーション、テクノロジーのポートフォリオの表示、および目標、デマンド、プログラムの作成を行うためのクイックアクセスを提供します。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) ポータルページ



ビジネスポートフォリオ

組織によって定義された評価済みのビジネス機能の数と未評価のビジネス機能の数を表示します。機能をサポートしているものの、重大なリスクにさらされているビジネスアプリケーションの数を表示します。

- 階層マップをクリックすると、新しいタブに機能マップが表示され、ビジネス機能とサブ機能が階層内に表示されます。
- [事業計画立案] をクリックして、事業計画立案ポータルに移動します。

情報ポートフォリオ

組織の資産からの情報を情報オブジェクトとしてキャプチャします。この情報オブジェクトをビジネスアプリケーションに接続することで、アプリケーション情報のポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フォリオを持ち、いつでも使用できる状態にしておくことができます。情報ポートフォリオのエンティティは、構成アイテムまたはテーブルの列です。これらは、CMDB CI 関係やテーブルのデータ列の参照によって、相互に関連するように構造的に設計されています。

情報ポートフォリオの各エンティティの下にある数字は、次のデータを表しています。

- データドメイン：データドメイン [sn_apm_data_domain] テーブル内のレコードの合計数。
- 情報オブジェクト：情報オブジェクト [cmdb_ci_information_object] テーブル内のレコードの合計数。
- データベースカタログ：データベースカタログ [cmdb_ci_db_catalog] テーブル内のレコードの合計数。
- 非構造化 DB カタログ：次のような構成アイテムテーブル内のレコードの合計数。
  - 構成ファイル (cmdb_ci_config_file)
  - ファイルシステム (cmdb_ci_file_system)
  - Exchange メールボックス (cmdb_ci_exchange_mailbox)

注:

企業にデータベースカタログがいくつある場合でも、情報オブジェクトにリンクされているデータベースカタログの数のみが、各情報ポートフォリオセクションにカウントとして表示されます。同様に、この情報オブジェクトはビジネスアプリケーションにも関連付けられ、データベースカタログで参照されているデータベースインスタンスの数のみがデータベースインスタンスとして合計されます。

[情報オブジェクト] リンクをクリックして、企業内のビジネスアプリケーションに関連する情報オブジェクトの詳細を表示します。「情報ポートフォリオ」を参照してください。

注: 開かれた [情報オブジェクト] ページに情報オブジェクトを表示するには、それらの情報オブジェクトがビジネスアプリケーションに関連付けられている必要があります。

アプリケーションポートフォリオ

ビジネス機能をサポートするアプリケーションを追跡し、効果的に管理して組織の目標を達成します。ポートフォリオは、カテゴリ、メーカー、タイプなどの情報を含むアプリケーションのリストを提供します。

- [アプリケーション] をクリックして、組織内のビジネスアプリケーションのリストビューに移動します。
- アプリケーションをカテゴリ別またはファミリ別に分析し、アプリケーションの [状況] ビューにて、必要な方法でグループ化します。
- [分析] をクリックして [グループ分析] ページに移動し、アプリケーションとそのスコアを分析します。

技術ポートフォリオ

ビジネスアプリケーションにリンクされているハードウェアモデルとソフトウェアモデルの数を表示します。また、これらの高リスクのモデルの数もカウントできます。[技術ポートフォリオ] リンクをクリックして TPM タイムラインビューに移動し、ハードウェアおよびソフトウェアモデルのライフサイクルのステータスを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テクノロジー参照モデル を使用してソフトウェア製品の標準を定義し、組織内の未承認のソフトウェアを管理します。詳細については、「テクノロジー参照モデル」を参照してください。

機会およびソリューション

番号を表示し、クリックして目標、デマンド、およびプログラムのリストを表示します。リスト内の任意の目標、デマンド、またはプログラムをクリックして、その詳細を更新します。[作成] リンクを使用して、目標、デマンド、またはプログラムを直接作成します。

- 目標を作成して、目標に向けた作業の進捗状況を追跡、調整、レポートします。たとえば、投資の削減や、ターゲット日までのアプリケーション数の削減などの目標を設定できます。
- デマンドを作成して、アプリケーションの戦略的目標をキャプチャします。

  アプリケーションメニューからデマンドを作成するには、 エンタープライズアーキテクチャ > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ

- 目標を達成するためのプログラムを作成します。エンタープライズアーキテクチャでは、ターゲットを追加し、機会を特定するプロセスについて説明します。

  注: PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、[プログラム] セクションからプログラムを表示および作成できます。

Notifications

適切なステータス監査およびスクリプト化された監査の結果、高リスクおよび中リスクに直面しているハードウェアモデルおよびソフトウェアモデルの数、現在の日付および今後 90 日間での期限切れ、オープンされていて 100% 完了していない処理待ちの認定インスタンスを表示します。通知をクリックして関連タスクまたは関連データ認定スケジュールインスタンスを開き、レコードの詳細を表示します。

最近のアクティビティ

会計期間に対する目標、デマンド、またはプログラムの作成に関する最新のアクティビティを表示します。

ビジネスアプリケーションの管理

ビジネスアプリケーションは、ビジネスユーザーがビジネス機能を実行するために使用するソフトウェアです。アプリケーションを分類してインベントリを維持し、ビジネスアプリケーションを統合します。さまざまな側面にわたってアプリケーションを分析、査定、および評価し、各アプリケーションに対して実行できるアクションを決定します。

重要:

Xanadu リリース以降、従来のビジネスアプリケーションモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、ビジネスレガシーアプリケーションモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のビジネスアプリケーションモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「アプリケーションポートフォリオの操作」を参照してください。

ビジネスアプリケーションの詳細を手動で記録することも、スプレッドシートやサードパーティツールからアプリケーションのリストをインポートすることもできます。データをインポート するには、データソースと変換マップを定義し、インポートを実行またはスケジュールします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネスアプリケーションのアセスメント

エンタープライズアーキテクチャで、コスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクを評価および追跡するビジネスアプリケーションを追加します。

プラットフォームアプリケーションとプラットフォームのモデリング

ビジネスアプリケーションのレコード作成と同様に、ビジネスアプリケーションフォームを使用してレコードを作成し、プラットフォームアプリケーションの詳細をキャプチャします。同じフォームを使用して、プラットフォームで実行されるすべてのビジネスアプリケーションの個々のレコードを作成できます。この構造は、プラットフォームホストに関連付けられたビジネスアプリケーションの階層を提供します。[アーキテクチャタイプ] フィールドの値は、プラットフォームホストとプラットフォームアプリケーションデータの区別に役立ちます。

アーキテクチャタイプ値は、次のビジネスケースで役立ちます。

- プラットフォーム全体のパフォーマンスを評価し、プラットフォーム上で実行されている個々のアプリケーションのパフォーマンスを評価します。
- プラットフォームは、そのプラットフォームで実行されているアプリケーションのオーナーではないビジネスオーナーが所有している可能性があります。このようなシナリオでは、プラットフォームに関連付けられているアプリケーションを評価するアプリケーションオーナーとは無関係に、プラットフォームオーナーはプラットフォームのパフォーマンスを評価できます。

たとえば、 ServiceNow® プラットフォーム用のビジネスアプリケーションレコードを作成できます。次に、 エンタープライズアーキテクチャ、 ファイナンシャルマネジメント、 プロジェクトポートフォリオ管理 などの個々のビジネスアプリケーションレコードを作成し、これらのアプリケーションを ServiceNow® プラットフォームに関連付けます。ホストで実行されているビジネスアプリケーションか、アプリケーションをホストしているプラットフォームかは、プラットフォームアプリケーションとプラットフォームホストの アーキテクチャタイプの 値によってレコードを区別します。

関連情報

- ビジネスアプリケーションの追加または編集
- アプリケーション情報のためのビジネスアプリケーションと CI の関係
- ビジネスアプリケーションロードマップの表示
- テクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付けるための提案
- アプリケーション状況ダッシュボードでビジネスアプリケーションを監視する

アプリケーション情報のためのビジネスアプリケーションと CI の関係

ビジネスアプリケーションと他の CI の間に関係を作成できます。 ビジネスアプリケーションに関するレポートを取得するには、アプリケーションと、アプリケーションを構成する CI との間に関連付けが必要です。

ビジネスアプリケーションを他の CI と統合して、CI 関係フォーマッター から CI とその関係を調べる必要があります。

CMDB 依存関係ビュー

依存関係ビューには、構成アイテム (CI) と、その CI が属していて、CI にサポートされているビジネスアプリケーションまたはビジネスサービスのインフラストラクチャビューが、グラフィカルに表示されます。

エンタープライズアーキテクチャ では、ビジネスアプリケーションフォームの関連アイテムにある依存関係ビューを表示アイコン ( ) をクリックすると、依存関係ビューを表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

参照と関係に基づく既存の エンタープライズアーキテクチャ 固有の構成アイテムに加えて、ビジネス機能構成アイテムとビジネスアプリケーション構成アイテムの間に関係が確立されます。

関連アイテムのマッピングを表示するには、次に移動します: 依存関係ビュー > マップの関連アイテム. このテーブルは、参照される関連フィールドによって相互に関連付けられる構成アイテムのリストを提供します。それによって、依存関係ビューが表示されます。

関連情報

ビジネスアプリケーションの追加または編集

ビジネスアプリケーションロードマップの表示

アプリケーション状況ダッシュボードでビジネスアプリケーションを監視する

テクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付けるための提案

手動で検索してマッピングするのではなく、提案エンジンが識別したソフトウェアモデルを使用して、アプリケーションサービスに関連付けます。

組織で使用するビジネスアプリケーションは、アプリケーションサービスを利用して企業のビジネス機能を実現します。

- ビジネスアプリケーションのさまざまなアプリケーションインスタンスは、ビジネス機能を提供するソフトウェアモデルを必要とするハードウェア上で実行されます。
- cmdb 関係は、ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスの間の関連付けを確立します。ただし、その後、アプリケーションオーナーは、アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに手動で関連付ける必要があります。
- 正確に関連付けるには、ビジネスアプリケーションのソフトウェアモデルデータを最新の状態に維持する必要があります。

手動による介入を回避し、最新でないデータを持つソフトウェアモデルへの関連付けを防ぐために、ソフトウェアモデル提案エンジンは、考えられるソフトウェアモデルをアプリケーションサービスに提案します。提案されたソフトウェアモデルを使用し、適切なモデルを選択して、アプリケーションサービスに関連付けることができます。この提案は、ビジネスアプリケーションのソフトウェアモデルデータの構成と維持に役立ちます。

ソフトウェアモデル提案エンジンの作業モデル

ソフトウェアモデル提案エンジン：

- アプリケーションサービスによって利用されたハードウェア構成アイテムをスキャンします。CMDB API はアプリケーションサービスのすべてのハードウェア CI を取得し、Service Mapping API はアプリケーションサービスのハードウェア CI を取得します。
- スケジュール済みジョブの前回の実行以降にハードウェアにインストールされた新しいソフトウェアモデルを取得します。
- 取得済みのソフトウェアモデル [sn_apm_service_software_model_suggestion] テーブルに、検出されたソフトウェアモデルを入力します。
- テクノロジーモデル取得ログ [sn_apm_suggestion_engine_run_log] 関連テーブルで、現在のソフトウェアモデル提案のステータスと、前回の実行時に抽出された提案結果を評価および比較します。

  テクノロジーモデル取得ログ [sn_apm_suggestion_engine_run_log] テーブルには、アプリケーションサービスが実行されているハードウェアモデルの数も保存されます。

- ステータスを [新規 **(New)**]、[関連付け済み **(Associated)**]、[無視 **(Ignored)**]、または [削除済み] として更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

提案されたテクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付ける

アプリケーション状況ダッシュボードでビジネスアプリケーションを監視する

アプリケーション状況ダッシュボードを表示して、企業で使用されているすべてのアプリケーションの概要を把握します。ダッシュボードには、カテゴリ別にグループ化されたアプリケーションに関するレポートが事前に設定されています。レポートを構成して追加することもできます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来のアプリケーション状況ダッシュボードは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来のアプリケーション状況ダッシュボードを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のアプリケーション状況ダッシュボードは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボードの操作」を参照してください。

アプリケーション状況ダッシュボードを使用するには、パフォーマンスアナリティクス – コンテンツパック – エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.pa.apm) プラグインをアクティブ化する必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて
ダッシュボードでは、次のレポートを表示できます。

- アクティブに使用されている上位 10 件のアプリケーション。アプリケーションカテゴリとアプリケーションファミリ別にグループ化されています。
- インストールタイプ、プラットフォーム、アプリケーションカテゴリ、メーカー、テクノロジースタックなどに基づいてグループ化されたアプリケーション。
- カテゴリ別のアプリケーション数の詳細とメーカーの詳細。
- アプリケーションカテゴリ別のアプリケーション数とアプリケーションの経過時間。

手順

次のように移動する。 **Application Portfolio Management** > アプリケーションポートフォリオ分析 > ランドスケープ分析.

データを変更し、[ポートフォリオ]、[アプリケーションカテゴリ]、[インストールタイプ]、[アプリケーションタイプ]、[ビジネスプロセス]、および [事業部門] に基づいてチャートを生成するには、ダッシュボードフィルターから適切なものを選択します。

注:

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをアクティブ化して、ポートフォリオフィルターを適用します。

チャートを JPG または PNG 形式で保存するには、チャートをポイントし、表示されるメニューから適切なオプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- ビジネスアプリケーションの追加または編集
- ビジネスアプリケーションロードマップの表示
- アプリケーション情報のためのビジネスアプリケーションと CI の関係
- テクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付けるための提案

ビジネス機能の管理

ビジネスケイパビリティは、組織がビジネスアクティビティを成功させ、ビジネスゴールを達成するための能力です。ビジネス機能マッピングを使用して、ビジネス機能とビジネスアプリケーションの間の CI 関係を確立します。ビジネス機能とアプリケーションテクノロジーの間に類似の関係を確立し、それらの使用に伴うリスクを確認します。

重要:

Xanadu リリース以降、従来のビジネス機能モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のビジネス機能モジュールを引き続き使用できます。新しいアクティベーション ユーザーの場合、従来のビジネス機能モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「ビジネス機能の管理」を参照してください。

ビジネス組織が成長するにつれて、エンタープライズアーキテクトはビジネス機能を常に評価し、ビジネスプロセスを強化する方法を知ることが不可欠です。ビジネス機能は、ビジネスプロセスのサポートに必要とされる機能です。これらは、インジケーターによって評価され、インジケータースコアが提供されます。

インジケーターフレームワークは、ビジネスアプリケーションのサポートに加えて、ビジネス機能のアセスメントをサポートするように拡張されています。スコアが生成される CI タイプとしてビジネス機能をキャプチャします。

アプリケーションメニューの次の機能アセスメントセットを使用して、アセスメントを構成します。ビジネスアプリケーションのスコアにアクセスして評価するのと同様の方法で、ビジネス機能のスコアにアクセスします。

- 会計期間の CI スコアの作成と評価: エンタープライズアーキテクチャ > ケイパビリティの評価 > 機能スコア.
- インジケータースコアを作成および更新します。 エンタープライズアーキテクチャ > ケイパビリティの評価 > 機能インジケータースコア.
- 採点プロファイルを作成し、ビジネスケイパビリティ CI に関連付けます。 エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > 採点プロファイル.
- インジケーターを作成し、データソースを設定します。 エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > 機能インジケーター.

  データソースが [アセスメント] タイプの場合、[アセスメントを生成] ボタンを選択することで、インジケーターフォームのビジネス機能のサーベイアセスメントを生成できます。ビジネス機能テーブルにフィルター条件を適用し、[アセスメントを生成] UI でユーザーを選択します。[アセスメントインスタンス] タブでアセスメントインスタンスのステータスを、[測定基準カテゴリの結果] タブで結果を表示できます。次を参照してください。 内でサーベイアセスメントを生成して結果を表示する エンタープライズアーキテクチャ.

- ビジネスプロセス機能マップへのアクセス: エンタープライズアーキテクチャ > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティマップ.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- ビジネス機能を評価する
- ビジネス機能を評価する
- ビジネス機能計画の概要
- 機能によるアプリケーションの合理化

ビジネス機能計画の概要

ケイパビリティベースの計画立案は、企業のビジネス機能を向上させるための効果的なアクションプランの計画、設計、および提供を目的としています。機能ベースの計画を効果的に実装するには、既存の機能を理解し、技術的なギャップを埋めるための計画を立てる上で、ビジネスオーナー、アプリケーションポートフォリオオーナー、機能計画者などのビジネスペルソナの役割が必要です。

重要:

Xanadu リリース以降、ビジネス機能モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、引き続きビジネス機能モジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、ビジネス機能モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「ビジネス機能の管理」を参照してください。

ケイパビリティベースの計画立案は、戦略的計画を投資にマッピングする方法をよりよく理解するためのメカニズムです。機能が明確に定義されていれば、機能は組織の何をするかを定義するので、組織構造はそれらの機能に合わせて調整されます。

ビジネス機能は、関連するアプリケーションおよびサービスによってビジネス機能がどのようにサポートされているかの理解に役立つ構成アイテム (CI) です。

機能ベースの計画は階層として構造化され、系列で最大 6 レベルの機能をサポートします。つまり、親機能はそのレベルの下に 6 つのレベルのサブ機能を持つことができます。ただし、階層の各レベルの機能は、それ自体のレベルの兄弟と同じ数の機能を持つことができ、それぞれレベル間で 1 対多の関係を持つことができます。

機能ベース計画立案を管理するペルソナ

ケイパビリティベースの計画立案を使用するのに適したロールを持つペルソナは次のとおりです。

事業上の所有者

事業主は、既存の機能を認識して、戦略を立て、投資が必要な領域を特定して、プロジェクトのより適切な経費割り当てを計画することが重要です。

アプリケーションポートフォリオオーナー

アプリケーションポートフォリオオーナーは、ビジネスアプリケーションが効果的に機能するように、ビジネスアプリケーションに影響を与える機能を特定し、それらに対処する必要があります。

機能プランナー

ケイパビリティプランナーは、ベストプラクティスと呼ばれる手順を適用し、最も効果的で最良の結果をもたらすという業界規範に照らして、ケイパビリティを確立する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の手順

アプリケーションへの投資を計画するには、機能マップを使用します。

機能によるアプリケーションの合理化

[分析] 画面では、ビジネス機能を評価できます。特定のビジネス機能ですべてのビジネスアプリケーションを合理化できます。バブルチャートで複数のインジケーターの組み合わせを構成することで、アプリケーションについて投資するか、維持するか、または置き換えるかを決定します。バブルチャートは、機能インジケータースコアをプロットするインタラクティブなグラフで、戦略の特定に役立ちます。

各ビジネス機能については、バブルチャートのインジケータースコアに基づいて、目標を達成するためのデマンドを作成できます。デマンドとは、デマンドマネージャーとデマンドユーザーが作成する要求です。ユーザーがデマンドを送信し、デマンドマネージャーがデマンドを承認します。

重要:

この機能はエンタープライズアーキテクチャワークスペースで使用することをお勧めします。ServiceNow Store から エンタープライズアーキテクチャワークスペース (sn_apm_ws) プラグインを有効にします。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの詳細については、「エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。この機能に関する エンタープライズアーキテクチャワークスペースの具体的なドキュメントについては、「ビジネスアプリケーションの統廃合」を参照してください。

機能別にアプリケーションを分析

機能別にアプリケーションの詳細を統合します。グループ分析ページで、アプリケーションインジケーターのスコアと値でフィルターして、ターゲットアプリケーションを絞り込みます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

バブルチャートを使用して、アプリケーションのインジケータースコアを X 軸と Y 軸にプロットします。これらのスコアを使用して、目標を戦略化し、アプリケーションに投資するデマンド、もしくはアプリケーションを置換または維持するデマンドを作成できます。

重要:

この機能はエンタープライズアーキテクチャワークスペースで使用することをお勧めします。ServiceNow Store から エンタープライズアーキテクチャワークスペース (sn_apm_ws) プラグインを有効にします。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの詳細については、「エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。この機能に関する エンタープライズアーキテクチャワークスペースの具体的なドキュメントについては、「ビジネスアプリケーションの統廃合」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ分析 > 分析.
   グループ分析ページが表示されます。
2. カテゴリリストから、[ビジネス機能] を選択します。
   機能のリストが表示されます。
3. [アセスメント期間] セクションで、[アセスメント期間] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [アプリをフィルタリング] セクションで、アプリケーションインジケータースコアを設定して機能のリストを分類します。
5. クリックして機能を開きます。

   機能のバブルチャートが開きます。バブルチャートは、フィルターされた値の範囲内にあるアプリケーションインジケータースコアの測定基準を表示するのに役立ちます。

   [アプリケーション分析] セクションを使用して、選択したインジケーターのアプリケーションを比較します。

6. オプション: バブルチャートの構成を変更します。

   a. 構成アイコン ( ) をクリックします。

   b. フォームのフィールドに入力します。

グラフのディメンションを選択フォーム

フィールド	様相
X および Y	X 軸と Y 軸に該当するインジケーターのディメンション。 (Optional) 事前に構成されたディメンションに加えて、アプリケーションバブルチャートフォームを使用して作成したバブルチャートも表示できます。
バブルのサイズ	インジケータースコアによって、バブルのサイズが決まります。
バブルラベルを表示	(Optional) バブルチャートにバブルラベルを表示するオプション。 このオプションは、1 つの象限に多数のバブルがある場合に、ラベルで整理された明確なバブルを表示するのに役立ちます。

次のタスク
チャート内のバブルをポイントし、アプリケーションをクリックします。チャート内のバブルを右クリックして [デマンドを作成] を選択し、アプリケーションのデマンドを作成します。

グループ分析ページに表示するカテゴリの構成

グループ分析ページのカテゴリリストに表示するカテゴリを構成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

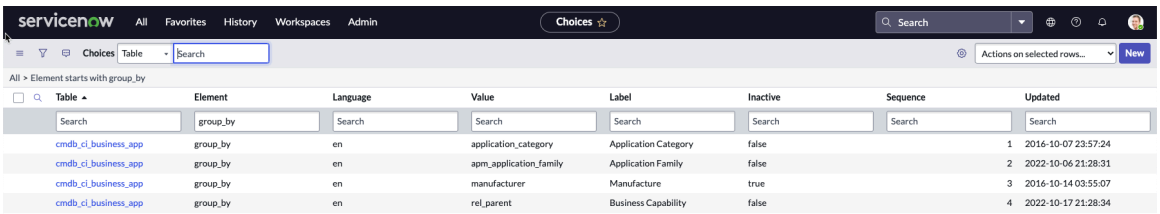
このタスクについて
選択肢テーブル (sys_choice) を使用して、グループ分析ページで表示または非表示にするカテゴリを選択または選択解除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > 選択リスト.
2. [要素] 列で、`group_by` 要素タイプを検索します。
   既存の group_by 選択肢が表示されます。



3. リストから、グループ分析ページの [カテゴリ] リストで表示または非表示にする選択肢アイテムを選択します。
4. 編集するレコードを開きます。
5. [非アクティブ] チェックボックスをオンまたはオフにして、アイテムを非表示または表示します。
6. [更新] をクリックします。

Technology Portfolio Management

企業で使用されるビジネスアプリケーションの基盤となるテクノロジーには有効期限があり、アクティブに管理し、バージョンとライフサイクルを追跡するために入念に監視する必要があります。テクノロジーポートフォリオ管理のタイムラインビューを使用して日付を追跡し、それらをアップグレードまたは廃止するデマンドまたはプロジェクトを作成します。

重要:

Xanadu リリース以降、レガシー テクノロジーポートフォリオ管理モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、引き続き レガシー テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 レガシー テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内でテクノロジーポートフォリオ管理ストアアプリケーションを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

ビジネスアプリケーションの技術は、ソフトウェアモデルとも呼ばれます。ソフトウェア モデルは、特定のバージョンやソフトウェアの構成のことです。

ビジネスアプリケーションで使用されるソフトウェアモデルには、オペレーティングシステム、データベース管理システム、開発ツール、ミドルウェアがあり、それぞれにライフサイクルがあります。これらのライフサイクルステージが追跡されていない場合、ベンダーがサポートしなくなる可能性があり、これらのテクノロジーで実行されるビジネスアプリケーションが危機に瀕するリスクがあります。

企業で使用されているすべての技術のインベントリを作成することで、次が可能になります。

- ソフトウェアのバージョンとソフトウェアのメーカーサポート日を追跡します。
- ソフトウェアの内部ライフサイクルガイダンスを設定します。
- 古いソフトウェアを使用する際のリスクを評価します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サポートしているアプリケーションと同様に、確定された日付で廃止を計画します。
- アップグレードプロセスをサポートします。

ソフトウェア製品の内部および外部のライフサイクルステージ

組織で使用されているビジネスアプリケーションはすべて、1 つ以上のアプリケーションサービスにリンクされています。各アプリケーションサービスは、1 つ以上のテクノロジーまたはソフトウェアモデルで実行されます。

注: アプリケーションポートフォリオ管理 のコンテキストでは、アプリケーションインスタンスはアプリケーションサービスです。

ソフトウェア製品 (各モデルおよびフルバージョン) には、インストールから廃止までの一連のライフサイクルステージ/フェーズがあります。内部的には、ビジネス組織はソフトウェア製品のライフサイクルフェーズに基づいて日付を設定します。これらのフェーズには、早期導入、メインストリーム、使用の減少、および廃止があります。

また、ベンダーは、プレリリース、一般提供、提供終了、使用停止などのベンダーのライフサイクルフェーズに基づいて、ソフトウェアの日付を設定します。ベンダーからのサポートは、技術のフェーズによって異なる場合があります。ソフトウェアモデルが廃止のステージに達すると、ベンダーは技術のサポートを停止する場合があります。

注: ソフトウェア製品ライフサイクル フォームの [ライフサイクルタイプ] フィールドの [パブリッシャー] 選択肢タイプは、エンタープライズアーキテクチャで使用されている外部ライフサイクルと同じです。

ソフトウェア資産管理ユーザーまたはソフトウェアモデルマネージャーは、ソフトウェア製品のライフサイクルの詳細を各フルバージョンのソフトウェアモデルに追加できます。タイムライン上のデータで TPM 画面を使用するには、ソフトウェアライフサイクルデータがソフトウェア製品ライフサイクルテーブルに入力されていることを確認します。同様に、テクノロジーモデル提案エンジンの実行後に、ハードウェアライフサイクルデータがハードウェアモデルテーブルに入力されていることを確認します。

技術ポートフォリオ管理を使用するための **Service Mapping** との統合

マップ済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered] テーブルにアプリケーションインスタンスを作成し、ビジネスアプリケーションを対応するアプリケーションサービスに関連付けます。

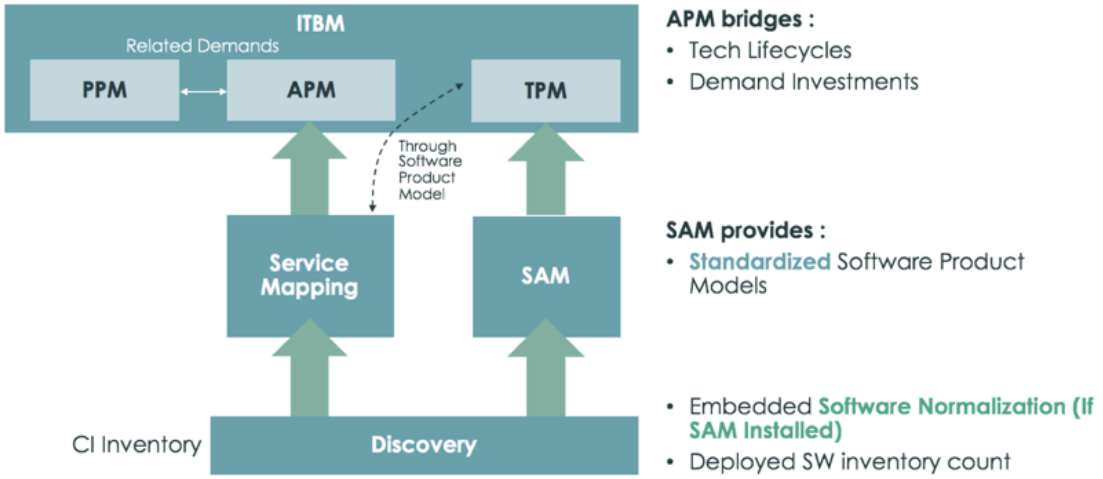
エンタープライズアーキテクチャ は、[インスタンス] タブを介してサービスマッピングと統合されなくなりました。アプリケーションの [インスタンス] タブが削除されて、apm_app_instance テーブルは廃止され、これはマッピング済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered] テーブルで置き換えられました。アプリケーションインスタンステーブルに存在するすべてのデータは、アプリケーションサービステーブルに移行する必要があります。Madrid リリースにアップグレードする場合は、データの移行に関して、ServiceNow 担当者にお問い合わせください。

注: アプリケーションインスタンスにマップ済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered] テーブルを使用している場合は、 Kingstonからのアップグレードに進むことができます。ただし、廃止された apm_app_instance テーブルを使用してアプリケーションインスタンスを保存している場合は、apm_app_instanceテーブルのデータをマップ済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered] テーブルに移行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア製品のライフサイクルをビジネスアプリケーションに接続する

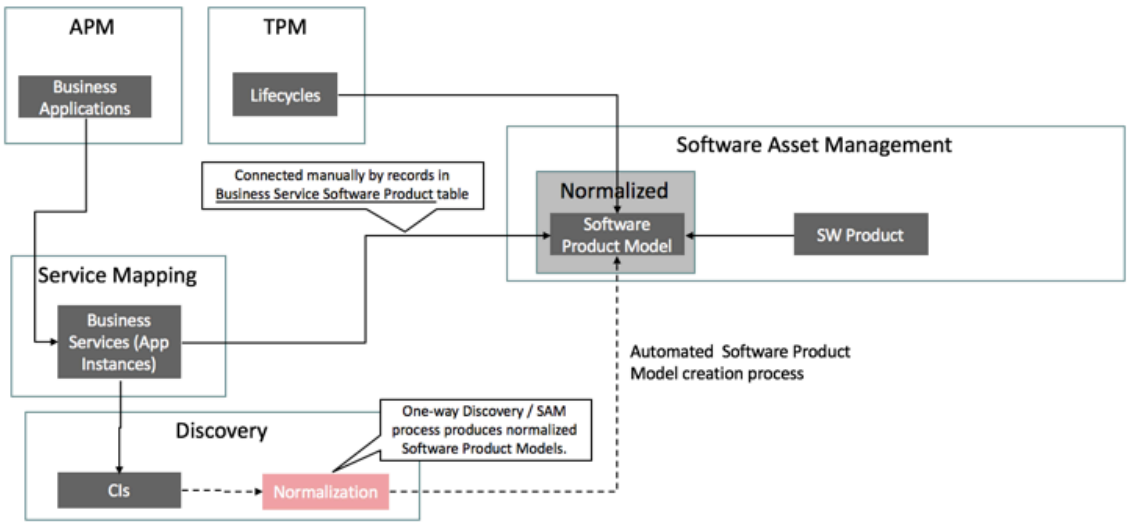


TPM は、ソフトウェア製品の技術情報を取得するために ソフトウェア資産管理 (SAM) に依存しています

⚠ **警告:** TPM および TRM を使用するには、SAM Foundation または SAM Professional のいずれかをインストールする必要があります。SAM Foundation プラグインをインストールする前に、 ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン 移行 ドキュメントを慎重に確認してください。SAM Foundation または SAM Professional がインスタンスにインストールされていない場合は、 ServiceNow サポートにお問い合わせください。

Software Asset Management (SAM) がインストールされていない場合でも、技術ポートフォリオ管理を使用できます。事前に構成されたソフトウェア製品モデルテーブルは、すべての TPM ユーザーが利用できます。組織で使用するすべてのソフトウェアモデルのリストを手動で作成するか、既存のデータベースまたはソースからインポートすることができます。

ソフトウェア製品のライフサイクルをビジネスアプリケーションに接続する



TPM の使用は SAM プラグインに依存します。依存関係は次のとおりです。

SAM プレミアムプラグインあり

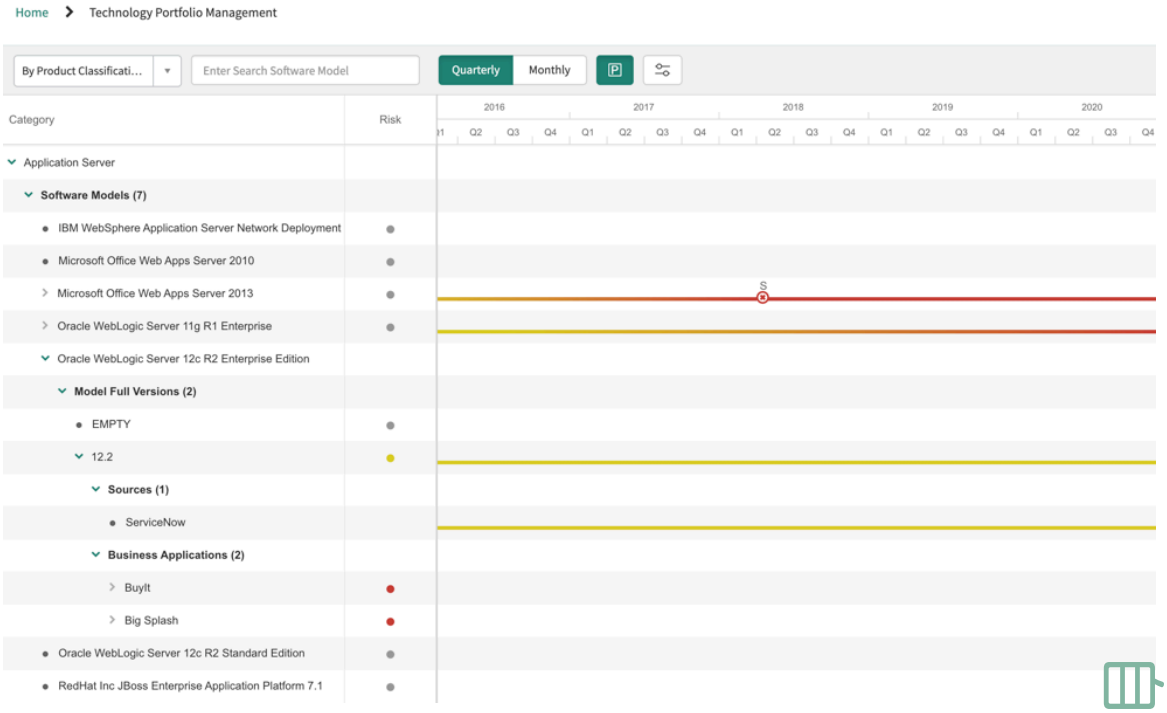
製品分類 [samp_sw_product] テーブルにアクセスするには、ソフトウェア資産管理 Premium プラグインが必要です。samp_sw_product_classification への参照は samp_sw_product テーブルにあります。このコンテンツテーブルは、技術情報を取

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

得するためにソフトウェア製品モデル [cmdb_software_product_model] テーブルで参照されます。SAM Premium プラグインに登録すると、TPM タイムラインでアプリケーションをビジネスアプリケーション別および製品分類別に表示できます。

製品分類別ビューを示す **TPM** タイムライン



SAM プラグインなし

このプラグインなしでは製品分類を使用できません。TPM タイムラインビューでは、製品分類別の表示は使用できません。ソフトウェア モデル情報は、SW 製品モデル [cmdb_software_product_model] テーブルから取得されます。このテーブルに手動で入力するか、Excel シートからコンテンツをエクスポートします。

関連情報

- 技術リスクをタイムラインで表示する
- CI 関係エディターを使用したビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスの関連付け
- アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付ける
- アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付ける
- リスクパラメーターを作成
- 技術リスクの計算
- スケジュール済みジョブを実行してリスク値を生成する

技術リスクの計算

ソフトウェア製品 (モデルと完全バージョンを考慮) レベルでリスクを計算し、次にビジネスアプリケーションレベルでリスクを計算することで、ビジネスアプリケーションの技術リスクを評価します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

Xanadu リリース以降、従来の テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内でテクノロジーポートフォリオ管理ストアアプリケーションを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

ハードウェアモデルレベルとソフトウェア製品 (モデルと完全バージョンを考慮) レベルで技術リスクを計算し、ビジネスアプリケーションレベルのリスクを判別します。

ライフサイクルステージ - 内部および外部

非常に高、遅延、中、低、なしなどの各レベルのリスク値に設定された範囲は、組織ごとに異なります。組織の要件に基づいて、各ライフサイクルフェーズのリスク値を設定できます。ソフトウェア製品ライフサイクルフォームを使用して、各ソフトウェアモデルのライフサイクルフェーズをリスクに関連付けます。選択したリスクに基づいて、パラメーターリスクが決定されます。

ライフサイクルテーブルのリスク値は、非常に高、高、中、低、およびなしです。したがって、リスクも非常に高、高、中、低、またはなしです。

ライフサイクルステージパラメーターでは、ライフサイクルフェーズに関係なく、リスク値のみが考慮されます。

経過時間 - 内部および外部

同様に、経過時間の内部および外部のリスク値は次のとおりです。

- 0 ～ 90 日は高リスクです。
- 90 ～ 180 日は中リスクです。
- 180 日を超えると低リスクです。

内部および公開者のライフサイクルステージと内部および公開者の経過時間のステージに基づいて、ハードウェアモデルおよびソフトウェアモデルのリスクは次のように計算されます。

- 単一の高リスクがある場合、ソフトウェアモデルのリスクは [高] です。
- 単一の中リスクがある場合、ソフトウェアモデルのリスクは [中] です。
- ソフトウェアモデルのリスクが [低] になるのは、基礎となるすべてのコンポーネントのリスクが [低] である場合のみです。
- 単一の高リスクがある場合、ハードウェアモデルのリスクは [高] です。
- 単一の中リスクがある場合、ハードウェアモデルのリスクは [中] です。
- ハードウェアモデルのリスクが [低] になるのは、基礎となるすべてのコンポーネントのリスクが [低] である場合のみです。

自動翻訳

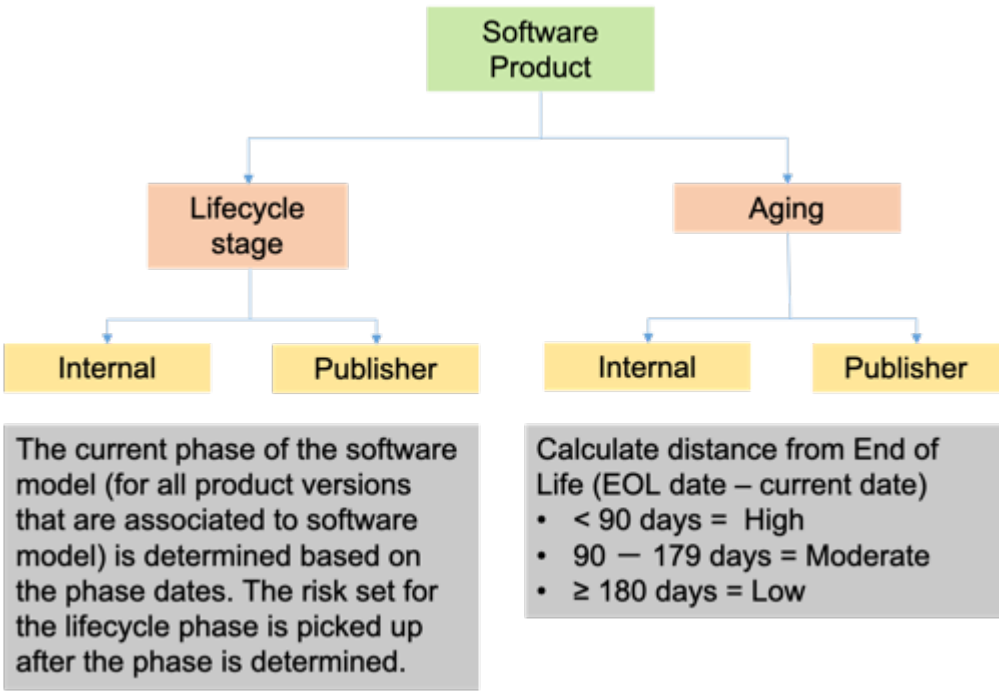
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: エンジンは、最初にハードウェアモデルとソフトウェアのモデルでリスクを計算し、次に基礎となるすべてのハードウェアモデルとソフトウェアモデルのリスクに基づいて、アプリケーションサービスレベルでリスクを計算します。最後に、本番インスタンス (つまり本番アプリケーションサービス) のリスクに基づいて、ビジネスアプリケーションレベルでリスクを計算します。

経過時間パラメーターのリスク計算はスクリプト化されているので、必要に応じて編集できます。

ソフトウェア製品リスクを判別するパラメーター

ソフトウェアモデルレベルでリスクを判別するパラメーター



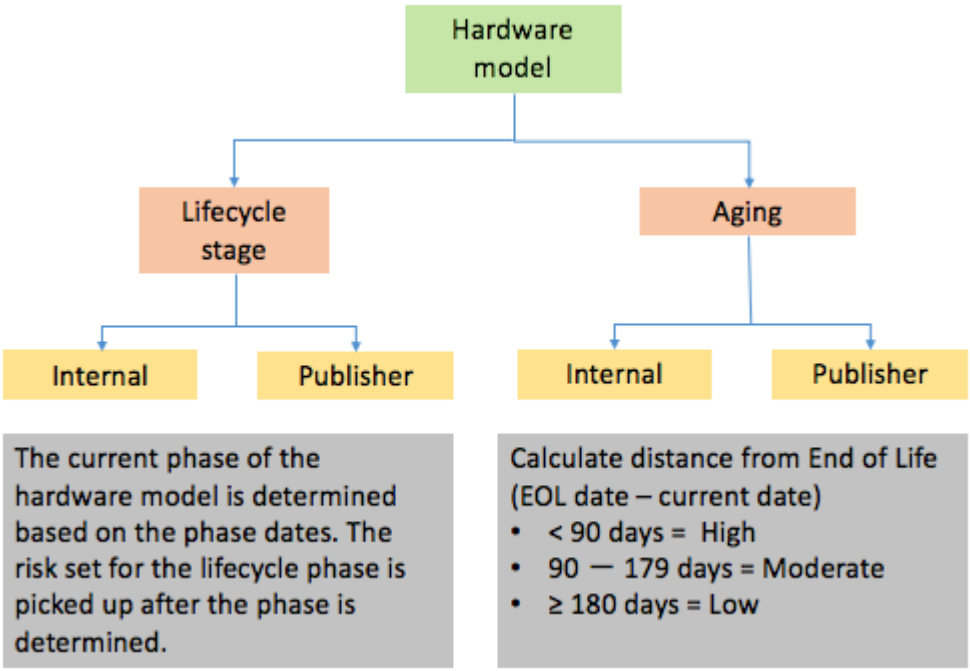
ソフトウェアモデルのリスクは、内部ライフサイクルステージ、外部ライフサイクルステージ、内部経過時間、および外部経過時間の 4 つのパラメーターに基づいて計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェアモデルのリスクを判別するパラメーター

ハードウェアモデルレベルでリスクを判別するパラメーター

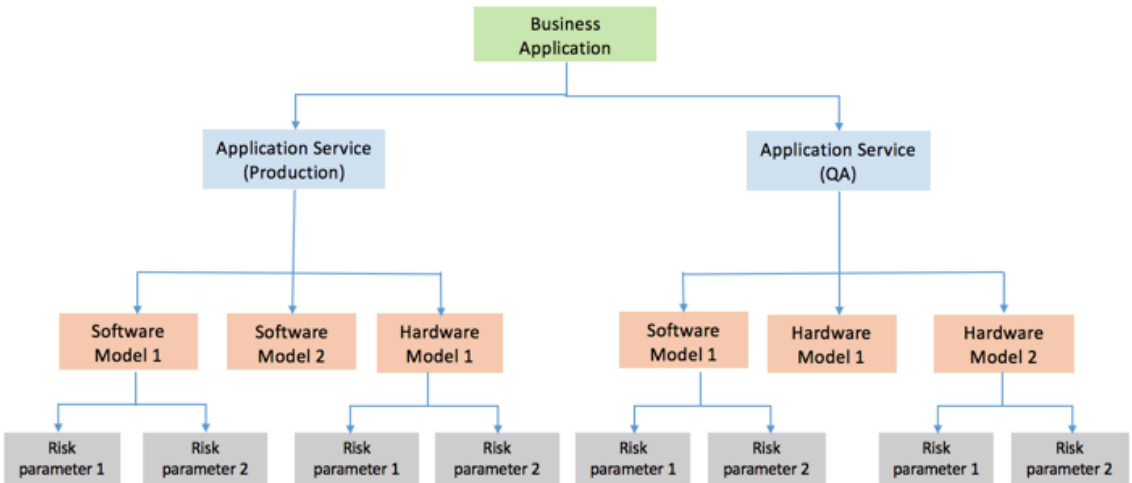


ハードウェアモデルのリスクは、4 つのパラメーターに基づいて計算されます。パラメーターは、内部ステージリスク、公開者ステージリスク、内部経過時間リスク、および公開者経過時間リスクです。

ビジネスアプリケーションレベルでの技術リスクの計算

ビジネスアプリケーションは、多くのソフトウェアモデルで実行できます。基礎となるソフトウェアモデルに起因するビジネスアプリケーションのリスクは、個々のソフトウェアモデルのリスクから派生します。

ビジネスアプリケーションレベルでのリスクの計算



ハードウェアモデルレベルでのリスク

4 つのハードウェアリスクパラメーターに基づいて、テクノロジーモデル提案エンジンがハードウェアモデルのリスクを計算し、最高のリスク値がハードウェアモデルにアサインされます。ハードウェアのリスクが高い場合、そのハードウェア上で実行されるアプリケーションサービスのリスクは高いと評価されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンジンは、ハードウェアモデルのリスクデータをハードウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_hardware_model_risk] テーブルに保存します。

ソフトウェアモデルレベルでのリスク

4 つのソフトウェアリスクパラメーターに基づいて、テクノロジーモデル提案エンジンがソフトウェアモデルのリスクを計算します。ソフトウェアのリスクが高い場合、そのソフトウェア上で実行されるアプリケーションサービスのリスクは高いと評価されます。エンジンは、ソフトウェアモデルのリスクデータをソフトウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_software_model_risk] テーブルに保存します。このデータはソフトウェアモデルのタイムラインに表示されます。

アプリケーションサービスレベルでのリスク

アプリケーションサービスが実行されているハードウェアモデルまたはソフトウェアモデルのいずれかが高リスクであると評価された場合、アプリケーションサービスは高リスクであると判断されます。

ビジネスアプリケーションレベルのリスク

アプリケーションサービスが高リスクの場合、アプリケーションサービスで実行されるビジネスアプリケーションも高リスクです。

- ソフトウェアモデルのいずれかが高リスクである場合、ビジネスアプリケーションは高リスクです。
- ソフトウェアモデルのいずれかが中リスクである場合、ビジネスアプリケーションは中リスクです。
- ビジネスアプリケーションのリスクが [低] であるのは、基礎となるすべてのソフトウェアモデルのリスクが [低] である場合のみです。
- ハードウェアモデルのいずれかが高リスクである場合、ビジネスアプリケーションは高リスクです。
- ハードウェアモデルのいずれかが中リスクである場合、ビジネスアプリケーションは中リスクです。
- ビジネスアプリケーションのリスクが [低] であるのは、基礎となるすべてのハードウェアモデルのリスクが [低] である場合のみです。

実行されるスクリプトをカスタマイズして、製品モデルリスクレベル (ハードウェアモデルとソフトウェアモデル)、アプリケーションサービスリスクレベル、およびビジネスアプリケーションリスクレベルでリスクを計算できます。詳細については、「リスク上昇ロジックを構成する」を参照してください。

関連情報

リスク計算をカスタマイズするスクリプトを構成する

スケジュール済みジョブを実行してリスク値を生成する

エンタープライズアーキテクチャ クラウドアセスメント

エンタープライズアーキテクチャ のクラウドアセスメント採点プロファイルは、クラウド移行の準備状況についてビジネスアプリケーションを評価するのに役立ちます。

エンタープライズアーキテクチャ でクラウドアセスメントオプションを取得するには、ServiceNow Store から エンタープライズアーキテクチャ クラウドアセスメントアプリケーションをインストールする必要があります。アプリケーションのダウンロード手順については、「Install Cloud Migration Readiness Application (Cloud Migration Readiness Application のインストール)」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンタープライズアーキテクチャ クラウドアセスメントのインジケーター

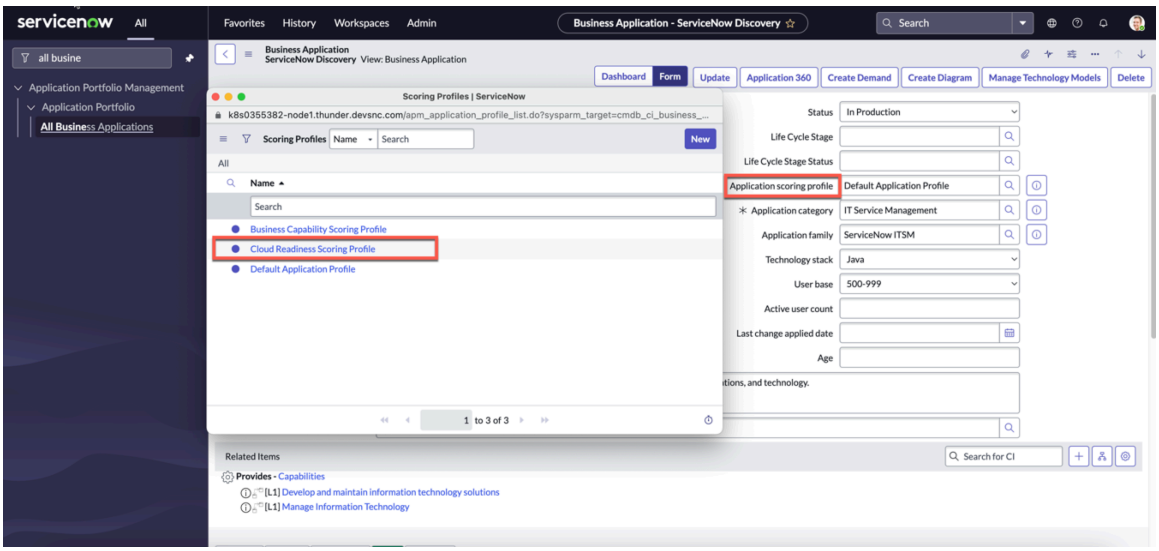
インジケーターは、エンタープライズアーキテクチャ クラウドアセスメント採点プロファイルに関連付けられています。これらのインジケーターは、クラウド移行の準備状況についてビジネスアプリケーションを評価するのに役立ちます。

すべてのインジケーターをチェックアウトするには、「エンタープライズアーキテクチャ (旧 APM) クラウドアセスメント採点プロファイル」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャ クラウドアセスメント採点プロファイルをビジネスアプリケーションに適用する

ビジネスアプリケーションのクラウドアセスメント採点プロファイルを適用して、クラウド移行の適格性を評価できます。ビジネスアプリケーションフォームで、[アプリケーション採点プロファイル] フィールドの エンタープライズアーキテクチャ クラウドアセスメント採点プロファイルを選択できます。他のフィールドに入力する情報については、「ビジネスアプリケーションの追加または編集」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャ クラウドアセスメント採点プロファイルをビジネスアプリケーションに適用する



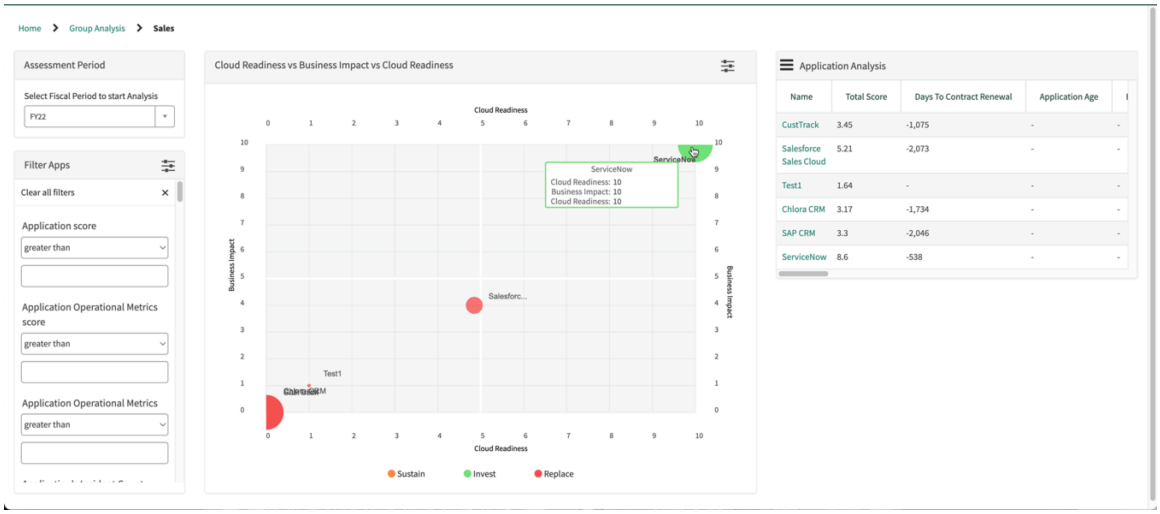
ビジネスアプリケーションの エンタープライズアーキテクチャ クラウドアセスメントスコアリングの分析

バブルチャートのインタラクティブグラフを使用してアプリケーションインジケータースコアをプロットすることで、ビジネスアプリケーションのクラウド移行の戦略を分析および特定できます。グループ分析ページで、バブルチャートを使用して、アプリケーションのインジケータースコアを X 軸と Y 軸にプロットします。これらのスコアを使用して、目標を戦略化し、アプリケーションに投資するデマンド、もしくはアプリケーションを置換または維持するデマンドを作成できます。ビジネスアプリケーションのインジケータースコアの分析の詳細については、「アプリケーションスコアをバブルチャートで分析する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションの エンタープライズアーキテクチャ クラウドアセスメント スコアリングの分析



関連情報

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) クラウドアセスメントアプリケーションをインストール

アーキテクチャアーティファクト

アーキテクチャアーティファクトは、企業のシステム、ソリューション、進捗状況を説明するために作成されるものです。エンタープライズアーキテクチャ のアーキテクチャアーティファクトの目的は、エンタープライズアーキテクトが組織内でアーティファクトを作成および管理できるようにすることです。

重要:

Xanadu リリース以降、従来のアーキテクチャアーティファクトモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のアーキテクチャアーティファクトモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のアーキテクチャアーティファクトモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「アーキテクチャアーティファクトの管理」を参照してください。

図やレポートなどの視覚化におけるエンタープライズアーキテクチャ要素を数多く維持管理する上で、外部ソースに依存する場合もあることでしょう。しかし、これらのアーティファクトをビジネスアプリケーションやビジネス機能などの ServiceNow オブジェクトに関連付けるのは容易ではありません。

注: アーキテクチャアーティファクトを表示または作成するには、sn_apm.apm_user ロールが必要です。

エンタープライズアーキテクトとしてアーキテクチャアーティファクトモジュールを使用すると、次のタスクを実行できます。

- アーキテクチャアーティファクトをレビューして承認する。
- アーティファクトのバージョンを追跡する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アーキテクチャアーティファクトを組織のニーズに合わせて構成されたカテゴリに関連付ける。
- アーキテクチャアーティファクトを組織のビジネス機能やビジネスアプリケーションに関連付ける。

アーキテクチャアーティファクト機能では、ServiceNow® ドキュメント管理 (Document Management) プラグイン (com.snc.platform_document_management) の機能を拡張して、ServiceNow® オブジェクト (ビジネスアプリケーションおよびビジネス機能) との関係を作成することができます。

関連情報

アーキテクチャアーティファクトの作成または編集

アーティファクトとビジネスエンティティとの関連付け

アーティファクトのカテゴリの管理

アーティファクトバージョンの作成

アーティファクトバージョン要求の承認または却下

アーキテクチャレビュー要求の承認

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) とのデータ連携 Lucidchart

アーティファクトのカテゴリの管理

カテゴリは、アーティファクトを関連するセクションにグループ化する場合に特に便利です。必要に応じてカテゴリを作成したり編集したりできますが、一度にアーキテクチャアーティファクトにアサインできるカテゴリは 1 つのみです。

重要:

Xanadu リリース以降、従来のアーキテクチャアーティファクトモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のアーキテクチャアーティファクトモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のアーキテクチャアーティファクトモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「アーキテクチャアーティファクトカテゴリの構成」を参照してください。

カテゴリを使用すると、アーキテクチャアーティファクトのグループ化がより効率的になります。アーティファクト管理者は、いくらでもカテゴリを作成したり編集したりできます。カテゴリには、子カテゴリやアーティファクトへの参照を含めることができます。アーキテクチャアーティファクトを作成する場合は、アーティファクトにアサインできるようにカテゴリを事前定義する必要があります。ベースシステムには以下のカテゴリがあります。これらのカテゴリは TOGAF 標準に準拠しています。

- アプリケーションアーキテクチャ
- アーキテクチャビジョン
- ビジネスアーキテクチャ
- データアーキテクチャ
- 機会およびソリューション
- 予備フェーズ
- テクノロジーアーキテクチャ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービス

他のサービスカタログアイテムと同様に、企業向けのビジネスアプリケーションを注文して、新しいアプリケーションとしてアプリケーションポートフォリオに登録できます。

エンタープライズアーキテクチャ は サービスカタログ と統合して、ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスと呼ばれるサービスカタログカテゴリを作成します。

このサービスカタログカテゴリを使用して、 エンタープライズアーキテクチャ でビジネスアプリケーションを要求および登録します。新しいアプリケーションを エンタープライズアーキテクチャ インベントリにオンボーディングすると、機械学習ビジネスアプリケーションソリューションによってアプリケーションに適切なカテゴリが予測され、提案されます。詳細については、次を参照してください。 予測インテリジェンス for アプリケーションポートフォリオ管理.

さらに、このサービスカタログカテゴリを使用して、IT アーキテクチャレビューボードで、ビジネスアプリケーションにおけるテクノロジー変更のレビューを要求することもできます。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスカタログを使用して、不要になったアプリケーションを廃止することもできます。アプリケーションの適切な廃止では、次の処理が行われます。

- アプリケーションの使用中に生成されたデータのアーカイブ。
- アプリケーションが依存していたすべての関連ソフトウェアのアンインストール。
- ソフトウェアのハードウェア依存関係の削除。

関連情報

- ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してアプリケーションを要求または廃止
- ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスの要求
- ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してアーキテクチャレビューを要求する

アプリケーションアセスメント

アプリケーションのユーザビリティ、コスト、品質、パフォーマンス、およびリスクを測定するインジケーターを設定します。定性的な入力に基づいてビジネスアプリケーションを評価し、スコアを付けます。サーベイとアセスメントに基づいて、アプリケーションの抽象情報をより具体的で明確な測定基準に変換できます。これらのアセスメントは、アプリケーションを置き換えるかアップグレードするかについて戦略的な決定を下す際に役立ちます。

APM スコアとインジケーターの詳細については、この 5 分間のビデオをご覧ください。

既存のアセスメント測定基準タイプを使用することも、要件に応じてそれらを構成することもできます。

関連情報

- すべてのアプリケーションスコアの表示
- アプリケーションインジケータースコアの表示
- 採点プロファイルの追加または編集
- アプリケーションインジケーターの追加または編集
- アプリケーションまたはケイパビリティインジケーターをアクティブ化またはオフにする
- ビジネス機能の追加
- ビジネス機能の階層を更新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションアセスメントのためのフレームワークセットアップ

アプリケーションを評価するベースとなるインジケーターとスコアプロファイルを作成できます。アプリケーションインジケーターは、アプリケーションスコアを導き出す際に役立つビジネス測定基準です。

エンタープライズアーキテクチャ は、ServiceNow プラットフォームの主要アプリケーションと統合されていて、アプリケーションに関する詳細なインサイトを提供します。これらの統合は次のことに役立ちます。

コスト節減の機会を特定する

ファイナンシャルマネジメント アプリケーションのセグメントの階層は、アプリケーションレベルでコスト割り当てを追跡し、アプリケーションの完全なコストブレークダウンを提供します。

アプリケーションを整理して合理化を判断する

同じアプリケーションカテゴリ、地域、またはビジネスにアサインされている複数のアプリケーションを特定できます。この情報は、アプリケーションを使用しているユーザー、使用頻度、アプリケーションのステータスを把握し、情報に基づく意思決定を行う際に役立ちます。

アプリケーションの最新化と投資の機会を特定する

サーベイの結果に基づいて、更新する契約がある、使用率が低い、または顧客満足度が低いアプリケーションを特定できます。

事前に構成されたインジケーターを使用するか、インジケーターを作成して、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価します。事前に構成されたインジケーターは、Financial Management、IT Service Management、Project Portfolio Management、サーベイ、アセスメント、SQL クエリー、Performance Analytics、およびカスタムスクリプトから提供されます。

注: エンタープライズアーキテクチャ では、会計カレンダータイプの標準のみがサポートされています。

関連情報

- アプリケーションを評価するインジケーターを作成または編集する
- アプリケーションスコアプロファイルの作成およびプロファイルインジケーターのアタッチ
- アプリケーションスコアを計算するためのスケジュール済みジョブ

事前に構成されたインジケーターとそのソースアプリケーション

事前に構成された エンタープライズアーキテクチャ インジケーターとそれらの提供元アプリケーションは、コスト、品質、リスクなどのさまざまな側面からのアプリケーション評価に役立ちます。事前に構成されたインジケーターをコピーして変更することで、それらとは別に、追加のインジケーターを作成できます。

事前に構成されたインジケーターとソース

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
施設コスト	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_Allocation_Aggregate テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで	ビジネスアプリケーションの施設コスト	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前に構成されたインジケーターとソース (続く)

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
				使用可能になります		
ハードウェアコスト	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_All Admin_Aggregate テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	ビジネスアプリケーションのハードウェアコスト	
人件費	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_All Admin_Aggregate テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	ビジネスアプリケーションの人件費	
その他のコスト	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_All Admin_Aggregate テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	ビジネスアプリケーションのその他のコスト	
サービスコスト	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_All Admin_Aggregate テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	ビジネスアプリケーションのサービスコスト	
ソフトウェアコスト	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_All Admin_Aggregate テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	ビジネスアプリケーションのソフトウェアコスト	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前に構成されたインジケーターとソース (続く)

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
アプリケーション TCO	四半期	カスタムスクリプト	ITFM 製品。ITFM_Allocation_Aggregate テーブル	データは、財務モデリングプロセスが完了した後にのみ、ITFM テーブルで使用可能になります	すべてのバケットからの合計アプリケーションコスト	
アプリケーションのインシデント数	四半期	カスタムスクリプト	インシデント	ビジネスアプリケーションがインシデントに関連付けられた後にのみ、インシデントテーブルでデータが使用可能になります。	インジケーターが属する採点プロファイルに関係するビジネスアプリケーションに関連付けられている、すべてのインシデントの数を取得するインジケーター。	
アプリケーションのインスタンス - インシデント数	四半期	カスタムスクリプト	インシデント	ビジネスアプリケーションにマップされたすべてのアプリケーションインスタンスにアタッチされているインシデント数を取得し、それをアプリケーションにロールアップします。	アプリケーションインスタンスに関連付けられているすべてのインシデントの数を取得するインジケーター。アプリケーションインスタンスは、次に、インジケーターが属する採点プロファイルに関係するビジネスアプリケーションに関連付けられます。 インシデント数は、	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前に構成されたインジケーターとソース (続く)

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
					最初にアプリケーションインスタンスまたはアプリケーションサービスレベルで計算され、その後、ビジネスアプリケーションレベルにロールアップされます。	
使用法	月次	クエリー条件	APM 製品。cmdb_ci_business_app テーブル	[アクティブユーザー数] フィールドから計算されます	特定の会計期間におけるアプリケーションのユーザーセッションとユーザーの数。	
サービスを介したインシデントの数	日次	パフォーマンスアナリティクス	マップ先 パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動) > 新規インシデントの数 ソース = Incidents.New (インシデントテーブル)	本日オープンされたインシデントの数。インシデントレコードの影響を受けるビジネスアプリケーションから計算されます。	新規インシデントの数。日次および履歴データの収集	[PA インシデント] 日次データ収集 [PA インシデント] 履歴データ収集
サービスを介した問題の数	日次	パフォーマンスアナリティクス	マップ先 パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動) > 新規の問題の数	本日作成された問題。問題レコードの [サービス] フィールドから計算されます。	本日オープンされた問題の数。日次および履歴データの収集	[PA 問題] 日次データ収集 [PA 問題] 履歴データ収集

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前に構成されたインジケーターとソース (続く)

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
			ソース = Problems.New (問題テーブル)			
サービスを介した変更の数	日次	パフォーマンスアナリティクス	マップ先 パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動) > 新規変更の数 ソース = Changes.New (change_request テーブル)	収集日が登録日 (change_request.opened_at) になっている変更の数。変更要求レコードの影響を受けるビジネスアプリケーションから計算されます。	本日オープンされた変更の数。日次および履歴データの収集	[PA 変更] 日次データ収集 [PA 変更] 履歴データ収集
顧客満足度 (CSAT)	四半期	アセスメント	アセスメント測定基準タイプ：顧客満足度 アセスメント測定基準カテゴリ：CSAT		テンプレート NPS	
機能適合性	月次	アセスメント	アセスメント測定基準タイプ：機能適合性 アセスメント測定基準カテゴリ：機能適合性		テンプレートネットプロモータースコア (NPS)	
技術的リスク	月次	アセスメント	アセスメント測定基準タイプ：技術的リスク アセスメント測定基準カテゴリ：パフォーマンス		会計期間のサーベイを通じてキャプチャされた技術的リスク。 テンプレート NPS	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前に構成されたインジケーターとソース (続く)

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明	ジョブ
技術ライフサイクルリスク	月	カスタムスクリプト	アセスメント測定基準タイプ：機能適合性 アセスメント測定基準カテゴリ：機能適合性		選択した会計期間のビジネスアプリケーションのテクノロジーライフサイクルリスクを取得します。	
ビジネス価値	四半期	アセスメント	統合:平均		テンプレート NPS	
合計変更時間	月次	パフォーマンスアナリティクス	マップ先 パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動) > クローズした変更の合計期間 ソース = Changes.Closed (Change_Request テーブル) フィールド：オープン済み (Opened)、クローズ済み ステータス = クローズ済み、ビジネスアプリケーション = エンタープライズアーキテクチャ ビジネスアプリケーションのいずれか、本日クローズ済み	スクリプト：Change.ClosedThisMonth.Hours。本日クローズされたすべての変更要求が考慮されます	特定の会計期間におけるアプリケーションのクローズ済み変更の合計期間。 変更のクローズに要した時間 (時間単位)。日次および履歴データの収集。	• [PA 変更] 日次データ収集 • [PA 変更] 履歴データ収集

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: インシデントおよび変更インジケーターの次のシステムプロパティが True に設定されていることを確認します。

- プロパティを設定するには、[すべての>システムプロパティ] > [すべてのプロパティ] に移動し、次のプロパティを検索します。
  - 影響を受ける CI に基づいて影響を受けるサービスを入力する (com.snc.incident.refresh_impacted.include_affected_cis)
  - インシデントのビジネスアプリケーション関連リストを入力する (com.snc.incident.populate_business_application)
  - 変更要求のビジネスアプリケーション関連リストを入力する (com.snc.change_request.populate_business_application)
- 表示するには 影響を受けるビジネスアプリケーション > 関連リスト > 他のアクション > 構成 > 関連リスト > 影響を受けるビジネスアプリケーション > 利用可能 > 選択済み > 保存します.
- [サービスを介したインシデントの数] インジケーターと [サービスによる変更の数] インジケーターの影響を受けるビジネスアプリケーションを表示するには、そのレコードの [影響を受けるサービスと **CI**] 関連リストを更新する必要があります。手順については、「 変更に関して影響を受けるサービスと CI のリフレッシュ 」および「 インシデントに関して影響を受けるサービスと CI のリフレッシュ 」を参照してください。

関連情報

アセスメント

サーベイ管理の開始

アプリケーションパフォーマンスを測定するための **Performance Analytics** インジケーター

Performance Analytics (PA) インジケーターを使用して、ビジネスアプリケーションに対してログに記録されたインシデント、問題、および変更の数を把握し、このインサイトを使用してアプリケーションのパフォーマンスを改善します。

エンタープライズアーキテクチャ は Performance Analytics (PA) から提供されるインジケーターを使用します。これらのインジケーターは、インシデント、問題、変更の数、および特定の日にクローズされた変更要求の数を示します。指定された順序に従ってスケジュールされた時間に PA ジョブを実行し、インジケーターのスコアを取得して、ビジネスアプリケーションのパフォーマンスを評価します。

PA ジョブを実行してスコアを生成する順序

スケジュール済みジョブは、次の順序で実行する必要があります。

1. [PA インシデント] 日次データ収集。
2. [PA 変更] 日次データ収集。
3. [PA 問題] 日次データ収集。
4. [スケジュール済みジョブエンタープライズアーキテクチャ] アプリケーションインジケーターをロードし、アプリケーションスコアを計算します。

履歴データがある場合は、次の順序で実行します。

注:

6 か月以上経過した履歴データを取得するには、パフォーマンスアナリティクスプレミアム版 エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.pa.premium.apm) プラグインが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. [PA インシデント] 履歴データ収集。
2. [PA 変更] 履歴データ収集。
3. [PA 問題] 履歴データ収集。
4. 必要な期間 エンタープライズアーキテクチャ スコアを再生成します。このアクションは、単に既存のスコアを更新するのではなく、日次スコアを含む既存のスコアを削除して新しいスコアを生成します。

インジケータースコアが生成される頻度

スコアは、スクリプトを実行するジョブのスケジュールされた実行に従って生成されます。インジケーターの頻度が以下の場合：

月次
: スコアは、月の最終日にのみ生成されます。

四半期
: スコアは、四半期の最終日にのみ生成されます。

年次
: スコアは、年の最終日にのみ生成されます。

注: 会計期間は、スコア生成と同じタイムゾーンを使用して生成する必要があります。

PA インジケータースコアデータの収集

PA インジケータースコアの収集と保存の期間単位 (日、週、または月) は、データソースインジケーターの頻度によって決まります。ただし、アプリケーションインジケーターが PA インジケーターデータソーススコアを収集する頻度は異なります。

エンタープライズアーキテクチャでは、アプリケーションインジケーターの頻度はデータソースインジケーターの頻度以上である必要があります。

次の表は、ジョブの実行後に エンタープライズアーキテクチャ がデータソースインジケーターからデータを収集する頻度を示しています。

APM データ収集頻度

エンタープライズアーキテクチャ 周波数	データソースインジケーター頻度
月次	月次
四半期ごと	月次および四半期ごと
年次	月次、四半期ごと、および年次

Yokohama リリースにアップグレードした エンタープライズアーキテクチャ 顧客の場合、[パフォーマンスアナリティクスデータソースの日次頻度] インジケーターは使用できません。*RemoveDailyFreqAndUpdatePAIndicator* 修正スクリプトは、PA インジケーターの [日次] 頻度を自動的に削除し、頻度を [月次] に更新します。

アプリケーションブレークダウンを PA スコアシートに表示する際の制限

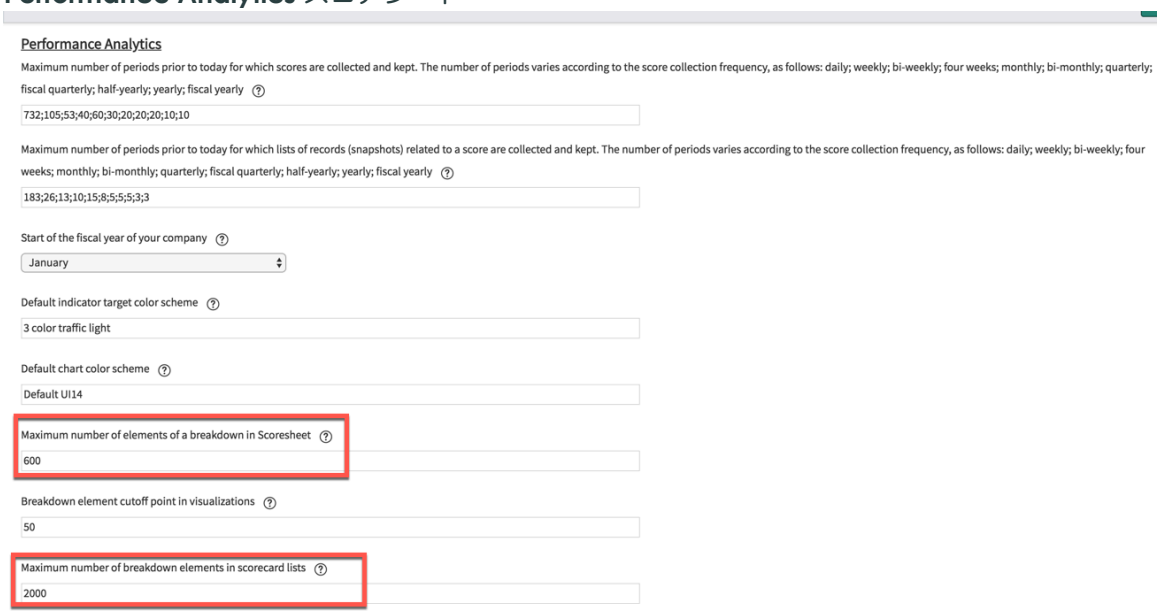
多数のビジネスアプリケーションがインストールされている場合、すべてのブレークダウンが パフォーマンスアナリティクス > スコアシートこれは、システムプロパティ (*com.snc.pa.scoresheet.max_elements* および *com.snc.pa.scorecards.max_breakdown_elements*) に制限が設定されているためです。プロパティ制限を再構成するには：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. 次のように移動する。 パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ.
2. [スコアシートのブレークダウン要素の最大数] フィールドに最大数を入力します。この数は、システムにインストールされているビジネスアプリケーションの数以上にする必要があります。

Performance Analytics スコアシート



3. [スコアカードリストのブレークダウン要素の最大数] フィールドに最大数を入力します。
4. [保存] をクリックします。

アプリケーションスコアを計算するためのスケジュール済みジョブ

インジケーターを設定した後で、スコアプロファイルを作成し、プロファイルインジケーターをアタッチしたら、アプリケーションスコアを定期的に計算するジョブをスケジュールします。

システムがアプリケーションスコアを計算する方法を理解し、要件に従ってアプリケーションスコアプロファイルを作成します。

アセスメントフレームワークは、1 ～ 10 のスケール (10 が最高スコア、1 が最低スコア) で、各アプリケーションのアプリケーションスコアを計算します。アセスメントは、構成可能なさまざまな構成済みのインジケーターに基づいています。これらの各インジケーターは、アプリケーションスコアの導出に使用される、関連するアプリケーションデータを定期的にキャプチャします。これらのインジケーターとそれぞれの値 (重み付け) が、アプリケーションプロファイルに追加されます。その後、アプリケーションはアプリケーションプロファイルに関連付けられ、アプリケーションスコアが計算されます。

アプリケーションスコアの正規化

インジケーターとそれぞれの重み付けは、各構成アイテムのアプリケーションスコアプロファイルの計算に使用されます。スコアプロファイルを使用して、アプリケーションスコアを計算し、アプリケーションを評価します。これらのスコアを適用してアプリケーションを比較し、どのアプリケーションを保持、置換、維持、または追加投資するかについて戦略的な決定を下します。

事前に構成されたインジケーターやユーザーが作成したインジケーターは、インジケーター定義ステージで設定された頻度に基づいて関連データを取得します。このデータは、アプリケーションインジケータースコア [apm_app_indicator_score] テーブルの [アプリケーションの重み付け] 列でキャプチャされます。アプリケーションインジケーターの作成時に設定される [最大ターゲット] と [最小ターゲット] は、アプリケーションの正規化値を計算するためのものです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: データソースがアセスメントの場合は、[最大ターゲット] と [最小ターゲット] を使用できません。

アプリケーションスコアの正規化値は、1 ～ 10 のスケールで測定され、次の式から導き出されます。

```
(Application Weight - Target minimum)/(Target maximum - Target minimum) *
 9+1
```

注:

- [最大ターゲット] と [最小ターゲット] が設定されていない場合、アプリケーションの範囲内での最大値が最大ターゲット値として使用されます。同様に、アプリケーションの範囲内での最小値が最小ターゲット値として使用されます。
- [最大ターゲット] と [最小ターゲット] が設定されていて、[絶対値を考慮する] チェックボックスがオンの場合、入力された値が考慮されます。
- [最大ターゲット] と [最小ターゲット] が設定されていて、[絶対値を考慮する] チェックボックスがオフの場合、次のインテリジェントロジックに基づいて値が考慮されます。

  ```
  Target maximum = Minimum value of (Target maximum value defined
   in the Indicator [apm_metric] table, Maximum value of Application
   Weights for the fiscal period)
  ```

  たとえば、次のようなシナリオを考えてみましょう。

  - アプリケーションの重み付けは、10、20、30、 ... 、および 1000 です。
  - [最大ターゲット] フィールドに入力された値は 100 です。

  これらの仮定では、定義された最大ターゲット値 (100) がアプリケーションの最大の重み付け (1000) より小さいため、考慮される最大ターゲット値は 100 です。

  ```
  Target minimum = Maximum value of (Target minimum value defined
   in the Indicator [apm_metric] table, Minimum value of Application
   Weights for the fiscal period)
  ```

  たとえば、次のようなシナリオを考えてみましょう。

  - アプリケーションの重み付けは、10、20、30、 ... 、および 1000 です。
  - [最小ターゲット] フィールドに入力された値は 100 です。

  これらの仮定では、定義された最小ターゲット値 (100) がアプリケーションの最小の重み付け (10) より大きいため、考慮される最小ターゲット値は 10 です。

最小ターゲット以下のアプリケーションの重み付けには、低い方のスコア (1) が与えられます。

最大ターゲット以上のアプリケーションの重み付けには、最大スコア (10) が与えられます。

アプリケーションインジケーターを設定するときに、[方向] を [最大化] または [最小化] に設定することもできます。方向が [最小化] の場合、最大値を持つアプリケーションが最小スコアを取得します。方向が [最大化] の場合、最小値を持つアプリケーションが最大スコアを取得します。

インジケーターの [方向] が [最小化] の場合：

```
(10 - above calculated Normalized value) + 1
```

アプリケーションプロファイルの重み付けが正規化値に適用され、インジケータースコアが導き出されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Normalized Value * Weightage as in application score profile %
```

各インジケーターのインジケータースコアが計算された後に、プロファイルで使用されているすべてのインジケータースコアが合計され、アプリケーションスコアが計算されます。

インジケーターのソースが [データソース] フィールドで [インジケーター] である場合、アプリケーションの重み付けは、すべての依存インジケーターの正規化されたスコアの合計として計算されます。

注:

- その後、他のすべてのインジケーターと同様の方法で、親インジケーターの正規化されたスコアが計算されます。
- 正規化された値、インジケータースコア、アプリケーションの重み付け、最大ターゲット、最小ターゲット、および重み付けの合計は、すべて小数点以下 2 桁のみに丸められます。

この図では、コストインジケーターとインシデントインジケーターが最小化に設定されているため、コストが低くインシデント数が少ないアプリケーションがより高いスコアになります。

アプリケーションスコアのサンプル

Business Application	Indicator	Application Weight	Normalized Value (NV)	Indicator Score (NV * 30%)
Application A	Cost	100	10	3
Application B	Cost	150	4.5	1.35
Application C	Cost	200	1	0.3

Business Application	Indicator	Application Weight	Normalized Value (NV)	Indicator Score (NV * 50%)
Application A	Incidents	10	10	5
Application B	Incidents	80	3	1.5
Application C	Incidents	100	1	0.5

Business Application	Indicator	Application Weight	Normalized Value (NV)	Indicator Score (NV * 20%)
Application A	CSAT	10	10	2
Application B	CSAT	2	1	0.2
Application C	CSAT	3	2.125	0.425

アセスメントの正規化値とアプリケーションスコア

インジケーターのソースが [データソース] フィールドの [アセスメント] の場合、[最大ターゲット]、[最小ターゲット]、[アプリケーションの重み付け]、および [重み付けの合計] の値はゼロと見なされます。

ビジネスアプリケーションをスコアリング対象として考慮するには、インジケーターが関連付けられているそれぞれのアプリケーションプロファイルにビジネスアプリケーションをマッピングする必要があります。apm_application_profileリストで採点プロファイルを確認できます。

会計期間内に作成されたアセスメントグループを持つ、すべてのビジネスアプリケーション関連のアセスメントカテゴリ結果が、スコアの計算で考慮されます。asmt_category_resultリストで、ビジネスアプリケーションのアセスメントカテゴリ結果を確認できます。

スコアの計算でアセスメントグループを考慮するには、関連するすべてのアセスメントインスタンスが完了またはキャンセルステータスである必要があります。

```
scaleFactor = (9/ scale factor on metric type)
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
appAsmtScoreSUM = SUM of ratings of category results groupedBY source for
 each assessment group
```

```
appWeight=((scaleFactor * appAsmtScoreSUM )+1;
```

```
Normalized value = total app weight of BA/appOccurences.
```

```
totalIndicatorsWeightage = the sum of all indicator weightage mapped to a
 scoring profile.
```

```
appIndWeightage = weightage of the current indicator
```

```
Indicator Score = normalizedValue * appIndWeightage /
 totalIndicatorsWeightage
```

アプリの発生は、ビジネスアプリケーションの発生です。

アプリケーションパフォーマンスの視覚化

アプリケーションのパフォーマンスをさまざまな側面から、バブルチャート、ダッシュボード、およびアプリケーション 360 ビューで視覚化して、アプリケーションに関する意思決定に役立てることができます。

インジケーターを設定して、アプリケーションスコアプロファイルをアタッチし、定期的にスコアを計算するスケジュール済みジョブを実行することで、アプリケーションスコアを表示できるようになります。

- バブルチャートを使用して、チャートにプロットされたビジネスアプリケーションデータを 3 次元で視覚化すると、インジケータースコアに基づいてアプリケーションを比較および評価する際に役立ちます。
- アプリケーション 360 を使用すると、注意が必要なビジネスアプリケーションに重点を置くことができます。
- アプリケーションアセスメントダッシュボードを使用して、さまざまなアプリケーションのインジケーターの傾向を表示できます。

関連情報

- アプリケーションインジケータースコアの表示
- すべてのアプリケーションスコアの表示
- アプリケーションスコアをバブルチャートで分析する
- アプリケーション 360 でパフォーマンス、コスト、および作業負荷を監視する
- ダッシュボードでアプリケーションのパフォーマンスを評価する

アプリケーション戦略

エンタープライズアーキテクチャ では、さまざまなディメンションにわたってアプリケーションの測定基準を収集することで、意思決定を行い、組織の目標と整合させることができます。

アプリケーション戦略ポータルでは、コスト削減の機会を特定し、アプリケーションの戦略を作成するために、段階的なプロセスを踏むことができます。次を実行する際に役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 組織の目標、アプリケーションスコア、またはインジケータースコアに基づいて、投資、統合、移行、維持、置換、または廃止するアプリケーションを決定する。
- 戦略的目標を作成し、デマンドとプログラムを追跡する。たとえば、目標を設定して、アプリケーションの資本経費 (投資) を 40% 削減するプログラムを作成できます。
- アプリケーションアセスメントスコアを推定または決定する。たとえば、ビジネス価値や顧客満足度が低いためにアプリケーションスコアが低い場合は、アプリケーションに投資するデマンドを開始できます。

関連情報

アプリケーション戦略の目標を作成する

目標の達成に向けたデマンドを作成する

アプリケーション目標のためのプログラムを作成する

プログラムを実行するためのガイド付き計画を作成する

プログラムを実行するためのガイド付き計画

プログラムを作成したら、ガイド付き計画を使用して、作成したプログラムを実行する手順を策定できます。

注:

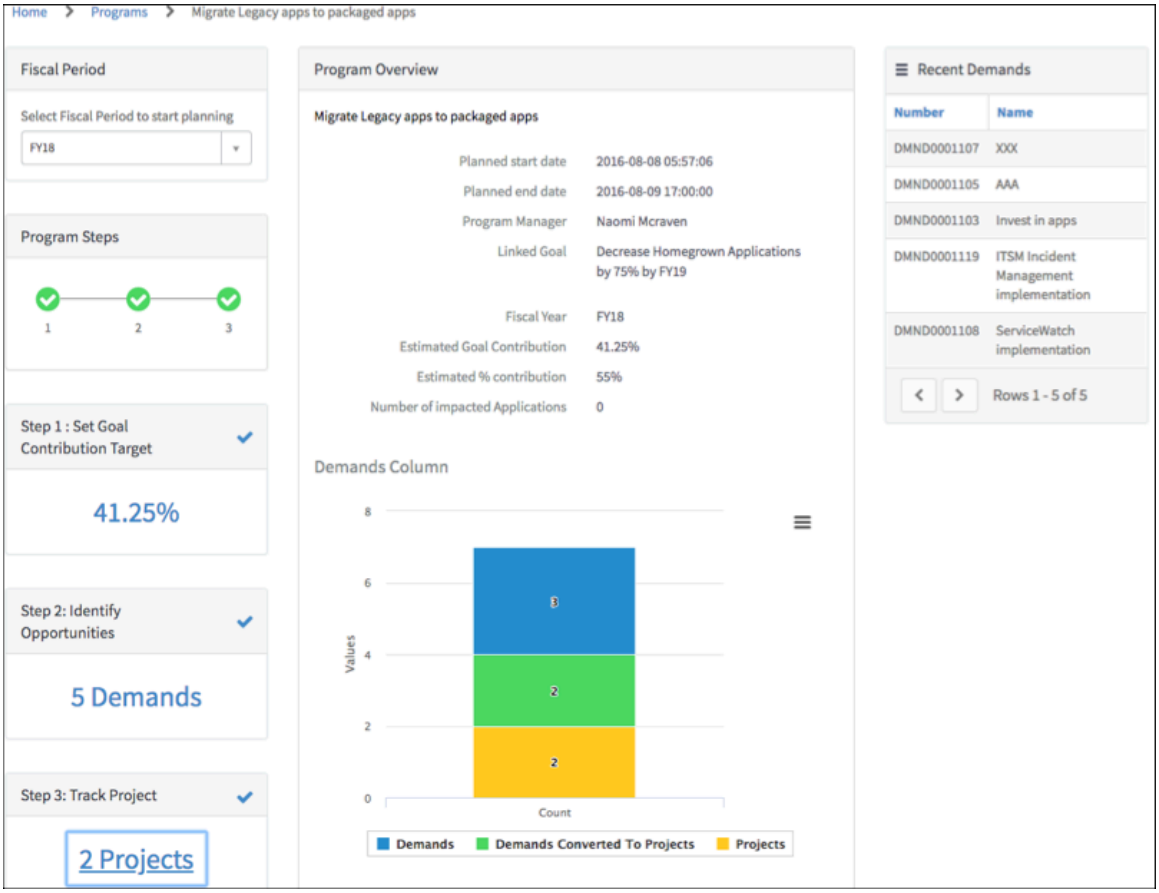
PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、ガイド付き計画を使用してプログラムを実行できます。

特定のプログラムを選択するには、Application Portfolio Management ポータルの [機会およびソリューション] セクションにあるプログラムの表示リンクをクリックして、ガイド付きプログラムナビゲーションページを開きます。プログラムナビゲーションページでは、目標の設定、機会の特定、デマンドの作成、プロジェクトの追跡のためのステップバイステップの計画を作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムナビゲーションページ



プログラムナビゲーションページは、次のセクションに分かれています。

会計期間

[計画を開始する会計期間を選択する **(Select Fiscal Period to start planning)]** は、目標を設定し、デマンドを実装して、目標を達成する会計期間です。

プログラムステップ

このセクションでは、タスクを完了してターゲット目標を達成するためのガイド付きステップバイステップワークフローを紹介します。

ステップ 1：目標寄与率ターゲットの設定

リンクを使用して、会計期間の目標寄与率のターゲットを設定します。

ステップ 2：機会の特定

アプリケーションスコアとインジケータースコアを分析して、ターゲットを達成する機会を特定します。

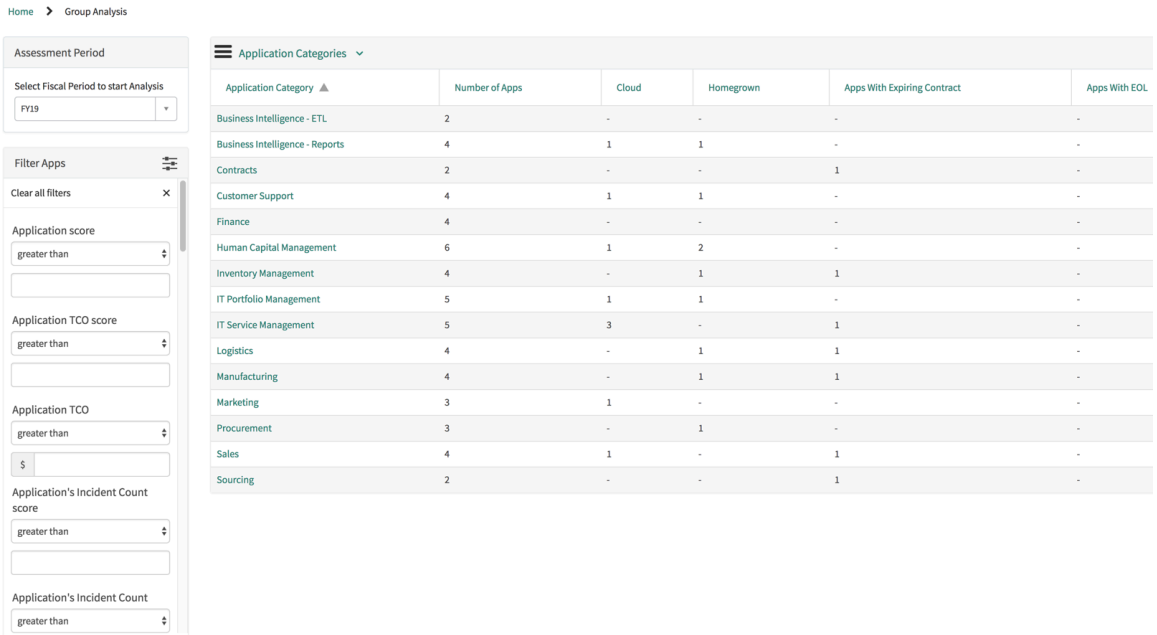
グループ分析ページでは、アプリケーションの詳細をカテゴリ別に統合し、アプリケーションインジケーターのスコアと値でフィルタリングして、ターゲットアプリケーションを絞り込むことができます。

アプリケーションカテゴリをクリックして開きます。バブルチャートのインジケータースコアに基づいて、目標を達成するためのデマンドを作成できます。デマンドとは、デマンドマネージャーとデマンドユーザーが作成する、必要不可欠で適切な要求です。ユーザーがデマンドを送信し、デマンドマネージャーがデマンドを承認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ分析ページ



アセスメント期間

グループ分析ページの [分析を開始する会計期間を選択する **(Select Fiscal Period to start Analysis)]** は、アプリケーションを評価した会計期間です。これらのアセスメントに基づいて、目標とデマンドを作成し、計画した会計期間 ([計画を開始する会計期間を選択する **(Select Fiscal Period to start planning)]**) でそれらを遂行します。

アプリケーションをフィルター (Filter Applications)

[アプリケーションをフィルター (Filter Applications)] ペインを使用して、アプリケーションインジケーターとスコアに基づいてアプリケーションをフィルターできます。

既存のフィルターをすべて消去するには、各フィルター属性フィールドを個別に消去するのではなく、[アプリをフィルター **(Filter Apps)]** 列で [すべてのフィルターをクリア] を 1 回クリックします。その後、フィルター基準を設定して、表示するアプリケーションをソートできます。

アプリケーションカテゴリ

[アプリケーションカテゴリ] セクションでは、アプリケーションのカテゴリ名と、各カテゴリに該当するアプリケーションの数が表示されます。

1. 列のヘッダーをクリックします。
2. アプリケーションカテゴリをアルファベット順または逆アルファベット順にソートするには、表示される矢印をクリックします。
3. 他のアプリケーション列で矢印をクリックすると、値が昇順または降順で一覧表示されます。

   ソートは、リスト内の情報をすばやく見つけたり、より高い値を先頭に表示したりするために役立ちます。また、類似の値を持つアプリケーションのグループ化にも役立ちます。

[電球] アイコン ( )

作成されたデマンドの数を一覧表示し、それらを個別に表示して、デマンドフォームで編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ 4：プロジェクトの追跡

デマンドの承認やプロジェクトの実行で、プロジェクトのステータスを追跡します。

[プログラムの概要] セクション

プログラムの開始予定日と終了予定日、プログラムを推進するマネージャー、マークされた会計年度までに達成するターゲットパーセンテージが設定されたプログラムにリンクされた目標について簡潔なサマリーを表示します。さらに、次の詳細も表示されます。

- 推定目標寄与率：提案されたプログラムの達成ターゲットである目標の推定達成率。
- 推定寄与率 **(%)**：選択した計画会計期間内に達成することをターゲットとする目標の割合。
- 影響を受けるアプリケーション数：プログラムによって影響を受けるアプリケーションの数。

デマンド欄 (Demands Column)

積み上げグラフで、最上部はデマンドを表し、プログラムに対して作成されたデマンドの数が表示されます。中央部は、プロジェクトに変換されたデマンドを表し、その数が表示されます。最下部には、プログラム専用に作成されたプロジェクトの数が表示されます。プロジェクトに変換されたデマンドは表示されません。

[デマンド欄 (Demands Column)] の右上隅にある [チャート] コンテキストメニューを使用して、任意の形式でチャートを印刷できます。

最近のデマンド (Recent Demands)

プログラムに対して作成されたデマンドの数と名前を表示します。デマンドを編集するには、デマンドのハイパーテキストをクリックしてデマンドフォームでデマンドを開きます。

デマンドのリストが長いと、スペース制限のため [最近のデマンド **(Recent Demands)]** セクションにすべてのデマンドが表示されないことがあります。ページネーション設定を使用して短いリストを表示し、その後、矢印をクリックしてデマンドのリストを下または上に進めます。

テクノロジー参照モデル

エンタープライズアーキテクチャ のテクノロジー参照モデル (TRM) 機能を使用して、ソフトウェアおよびハードウェア製品の標準を定義し、組織内の未承認の製品を管理します。

重要:

Xanadu リリース以降、レガシー テクノロジー参照モデルモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、引き続き レガシー テクノロジー参照モデル モジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 レガシー テクノロジー参照モデル モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「 での テクノロジー参照モデル の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

TRM の概要と価値・効果

企業で未承認のソフトウェアを使用すると、組織にリスクをもたらすおそれがあります。リスクには次のようなものがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- セキュリティリスク：ソフトウェアがセキュリティの問題にさらされるおそれがあります。
- 納入リスク：ソフトウェアのサポート方法に関する知識が不十分な場合があります。
- 法的リスク：ビジネスアプリケーションがソフトウェアを不正に使用するおそれがあります。

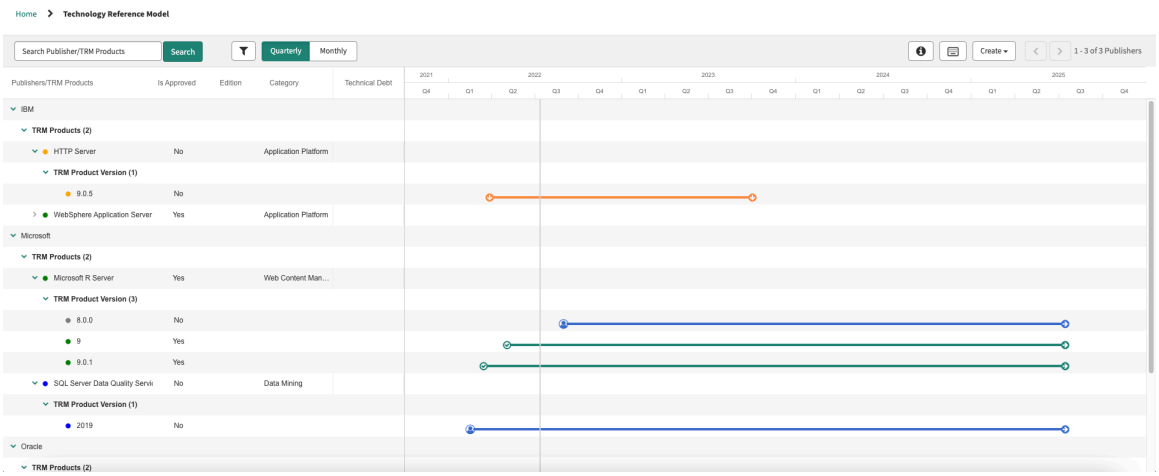
ソフトウェアの使用に関しては、標準を定義する必要があります。組織で使用を許可できるソフトウェアのバージョンを定義する必要があります。また、どのようなときに、どのビジネスアプリケーションで未許可のソフトウェアが組織内で使用されるのかを調査できるようにしておく必要があります。

アプリケーションポートフォリオ管理 の TRM モジュールを使用して、次の作業を行います。

- 組織内でのソフトウェア製品の使用を承認または制限する。
- 組織内でのソフトウェアのバージョンの使用方法を定義する。
- 新しい要件が発生した場合、新しいソフトウェアやビジネスアプリケーションの導入を要求する。
- 組織の TRM ライブラリを管理する。

TRM モジュールを使用すると、テクノロジーの標準を管理し、テクノロジーの使用に関する適切なガードレールを設定できます。標準を設定することで、技術的負債やセキュリティ体制を改善したり、組織のコストを削減したりすることができます。

TRM 製品ビュー



TRM 製品ライフサイクル

TRM ライブラリの各製品は、開始日と終了日を含む一連のライフサイクルフェーズに関連付けられています。ライフサイクルには、承認済み、未承認、制約付きで承認、売却、評価の各フェーズがあります。

TPM ホームページでは、組織で使用されているすべてのビジネスアプリケーションがフェッチされます。これにより、使用されているソフトウェアのステータスを確認できるようになります。さらに、ビジネスアプリケーションが、TRM に含まれていないソフトウェアや、本番用に承認されていないソフトウェアバージョンを使用していないかどうかを確認できるようになります。詳細については、「[技術ポートフォリオ管理] ページの TRM ライフサイクルステータスのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRM とその他のモジュール

> ⚠ **警告:** TPM および TRM を使用するには、SAM Foundation または SAM Professional のいずれかをインストールする必要があります。SAM Foundation プラグインをインストールする前に、 ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン 移行 ドキュメントを慎重に確認してください。SAM Foundation または SAM Professional がインスタンスにインストールされていない場合は、ServiceNow サポートにお問い合わせください。

TRM モジュールは、TPM に類似したモジュールを使用して TRM ライブラリ内を検索します。TRM ライブラリに含まれているソフトウェアを表示したり、TRM ライブラリへのソフトウェアやソフトウェアバージョンの追加を要求したりすることができます。

また、ソフトウェア資産管理 (SAM) プラグインで TRM を使用することもできます。さらに、このプラグインにより、TRM ライブラリの製品やバージョンをフェッチしたり選択したりすることができるようになります。インスタンスにおいて ソフトウェア資産管理 統合モジュールが使用できない場合は、独自のソフトウェア製品を定義することもできます。

関連情報

- TRM製品要求の追加または編集
- TRM 製品ライフサイクル要求の追加または編集
- TRM カタログを使用した TRM 製品の要求
- TRM カタログを使用した TRM 製品ライフサイクルの要求
- TRM 製品または製品ライフサイクル要求の承認または却下
- TRM カテゴリの追加または編集
- 製品要求の表示および編集
- 製品ライフサイクル要求の表示および編集
- TRM フェーズの追加または編集
- テクノロジー参照モデル (TRM) 技術的負債を管理する
- [技術ポートフォリオ管理] ページの TRM ライフサイクルステータスのレビュー

テクノロジー参照モデル (TRM) 技術的負債を管理する

TRMフェーズおよび標準に準拠していない製品に対して作成されたTRM技術的負債を管理します。

始める前に

> ℹ **重要:**
>
> Xanadu リリース以降従来の テクノロジー参照モデル モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、引き続き レガシー テクノロジー参照モデル モジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 legacy テクノロジー参照モデル モジュールは使用できません。
>
> エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「TRM 技術的負債の管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

*Populate TRM technical debts in the EA Workspace*スケジュール済みジョブが実行され、EA ワークスペースの TRM 技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt] テーブルにエントリーが作成されます。この表は、 TRM ソフトウェアフェーズと一致していないビジネスア

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プリケーションのソフトウェアへの参照を示しています。このテーブルには、TRM で定義されていないか、またはソフトウェアの使用を制限する TRM 製品ライフサイクルを持つビジネスアプリケーション内のソフトウェアへの参照が表示されます。技術的負債の計算方法については、 テクノロジー参照モデル (TRM) 技術的負債を管理するを参照してください。

次のいずれかの条件が満たされると、技術的負債は 2 つのレベルで作成されます。レベル 2 は、システムプロパティ *sn_apm_trm.is_product_life_cycle_tech_debt_enabled* が True に設定されている場合にのみチェックされます。

- レベル 1
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられているが、 TRM 製品リストに含まれていない場合。(または)
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられ、 TRM 製品リストに含まれているが、TRM フェーズの生産が未承認の場合。
- レベル 2
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられており、 TRM 製品リストに含まれており、TRM フェーズの生産が承認されているが、 TRM 製品ライフサイクルが関連付けられていない場合。(または)
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられ、 TRM 製品リストの一部であり、生産が承認された TRM フェーズがあり、 TRM 製品ライフサイクルが存在する場合は、次のいずれかのケースが考慮されます。

    ケース 1:アプリケーションサービスソフトウェアモデルのライフサイクルフルバージョンが空でない場合。

    TRM 製品ライフサイクルで次の条件が満たされない場合、技術的負債が作成されます。

    - 生産が承認された TRM フェーズで、かつ
    - 生産が承認された TRM 製品の TRM フェーズ
    - アプリケーションサービスソフトウェアモデルレコードのライフサイクルフルバージョンに一致するバージョン かつ
    - フェーズ開始日 <= 今日の日付 <= フェーズ終了日。

    ケース 2:アプリケーションサービスソフトウェアモデルのライフサイクルフルバージョンが空の場合。

    技術的負債は、TRM 製品ライフサイクルで次の条件が満たされない場合に作成されます。

    - 生産が承認された TRM フェーズで、かつ
    - TRM 製品の TRM フェーズと生産承認 かつ
    - バージョンは、関連するソフトウェアモデルのバージョン (バージョン演算子と isSampPluginInstalled に基づく) であり、かつ
    - エディションは、関連するソフトウェアモデルのエディション (エディション演算子と isSampPluginInstalled に基づく) で始まり、かつ
    - フェーズ開始日 <= 今日の日付 <= フェーズ終了日。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > **Technology Reference Model** (テクノロジー参照モデル) **(TRM)** > 技術的負債.
2. TRM 製品と関連するビジネスアプリケーションの詳細に関するリストをレビューします。技術的負債の理由を確認することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションのリスク管理

エンタープライズアーキテクチャガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) と統合し、ビジネスアプリケーションに関連するリスクを特定し、リスクを軽減するために必要なコントロールを追加することで、アプリケーションオーナーとリスクマネージャーの作業を簡素化します。

ServiceNow® エンタープライズアーキテクチャ リスク管理との統合により ビジネスアプリケーションに固有の包括的なリスクを判断し、リスクを軽減するタスクを特定できます。

ServiceNow® エンタープライズアーキテクチャ と Policy and Compliance の統合により、ビジネスアプリケーションで決定されたコントロールを表示し、それらのコントロールが準拠しているかどうかを検証して、ビジネスアプリケーションをコントロールに準拠させるために必要なタスクを決定できます。

この統合の主なメリットは次のとおりです。

- リスクマネージャーとアプリケーションオーナーがデジタルリスクに費やす時間を削減します。
- アプリケーションオーナーとリスクマネージャーとの間に、より迅速で効率的なコミュニケーションを提供します。
- ビジネスアプリケーションのデジタルリスク体制の概要を示します。

GRC および エンタープライズアーキテクチャ 統合ソリューションのワークフローの概要

GRC と エンタープライズアーキテクチャ の統合ソリューションのワークフローの概要は次のとおりです。

1. ビジネスアプリケーションが作成されます。
2. バックグラウンドで実行される GRC プロファイル生成スケジュール済みジョブに基づいて、GRC は新しいビジネスアプリケーションを検出し、GRC にエンティティを作成します。
3. 新しいアプリケーションが GRC エンティティとして作成されると、新しいリスク識別レコードが作成されます。
4. リスクマネージャーは、設定レコードを変更し、アセスメントのワークフローを決定できます。リスク識別構成が公開された後、リスクマネージャーは設定レコードの一部のフィールドのみを変更できます。
5. アプリケーションマネージャーからアプリケーションの詳細を収集するために、アンケートが開始されます。
6. アプリケーションオーナーがアンケートに回答します。
7. リスクマネージャーは回答をレビューし、さらに情報や説明が必要な場合はアンケートを送り返します。

   注: アプリケーションオーナーの回答は、アンケートが返送されても保持されます。

8. リスクマネージャーが回答に満足すると、GRC のリスクアセスメント方法の構成に基づいて固有のアセスメントが開始されます。詳細については、「固有アセスメントを構成」を参照してください。
9. GRC は、エンティティタイプに基づいてリスクとコンプライアンスオブジェクトをマッピングします。
10. リスクマネージャーは、情報オブジェクトマッピングをレビューします。
11. システムは、構成で選択されているアルゴリズムに基づいて、推奨エンジンを実行します。
12. リスクマネージャーは、関連付けられた情報オブジェクトに基づいて、推奨されるリスク、ポリシー、および引用をレビューしてマッピングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

13. 関連付けられた引用ポリシーとリスクに基づいて、推奨されるコントロールが関連付けられます。
14. アプリケーションオーナーは、関連するステークホルダーと協力してコントロールを実装することで、コントロールのライフサイクルを管理します。

関連情報

Advanced Risk アセスメントを使用したアプリケーションリスクアセスメント

タイムライン上の製品ライフサイクルデータ

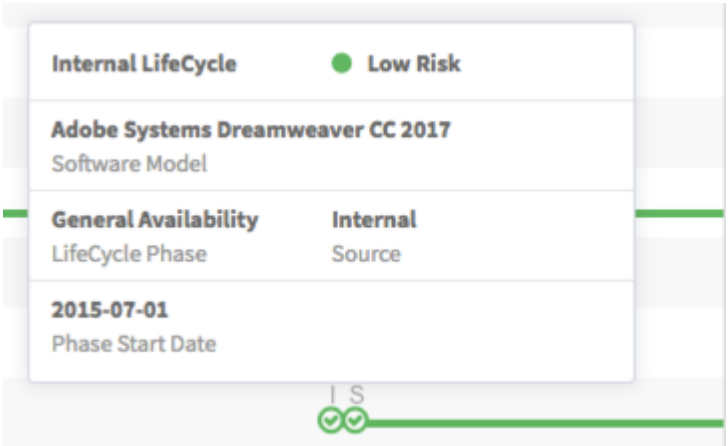
(各完全バージョンの) ソフトウェアモデルとハードウェアモデルのライフサイクルデータは、そのタイプ、フェーズ、ソース、日付、および関連付けられたリスクによって異なります。タイムライン上のソフトウェアモデルのリスクを示すために適用される条件と考慮事項を把握してください。この知識があれば、タイムライン上の文字を解釈できます。

タイムライン上のライフサイクルフェーズ

タイムラインには、公開者と内部という 2 種類のライフサイクルが示されます。タイムラインのポップアップに表示される公開者ライフサイクル情報は、ソフトウェアのソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルとハードウェアのハードウェアモデルライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle] テーブルから取得されます。この情報は、タイムライン上で S や I などの文字で示されます。たとえば、S は ServiceNow を示し、I は内部ライフサイクルを示します。

注: ハードウェアモデルとソフトウェアモデルの両方をまとめて製品モデルと呼びます。

内部ライフサイクル情報



SAM ユーザーまたはソフトウェアモデルマネージャーは、 ソフトウェア製品ライフサイクル を ソフトウェア製品ライフサイクルテーブルに追加できます。このテーブルには、ソフトウェア製品の情報、そのライフサイクルタイプ (内部または外部)、完全バージョン、ライフサイクルフェーズ、フェーズの開始日、およびリスクが保持されます。

ハードウェアモデルマネージャーは、ライフサイクルデータをハードウェアモデルに追加できます。

注: 後続のライフサイクルフェーズの開始日は、直前のライフサイクルフェーズの終了を示します。したがって、ライフサイクル情報ポップアップにはフェーズの終了日が指定されていません。

ライフサイクルフェーズを TPM タイムラインに表示しない場合は、そのソフトウェア製品ライフサイクルレコードの [アクティブ] フラグを false に設定します。たとえば、一般提供、延長サポート終了、およびサポート 終了のライフサイクルフェーズを、[ソフトウェア製品ライフサイクル] リストで **Oracle DB Server** ソフトウェアモデルの 3 つのレコードとして設定できます。ただし、一般提供フェーズをタイムラインに表示しない場合は、そのライフサイクルフェーズレコードのソフトウェ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

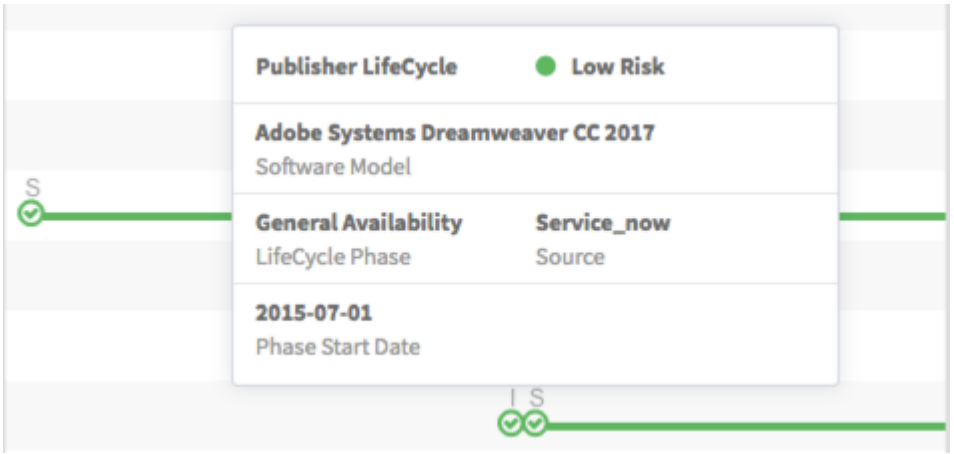
自動翻訳

ア製品ライフサイクルフォームで [アクティブ] チェックボックスをオフにすることができます。このようにすると、タイムラインはサポート終了フェーズから始まります。ソフトウェア製品ライフサイクルに対して、そのライフサイクルフェーズレコードは存在しますが、ライフサイクルデータはタイムラインに表示されなくなります。これは、アクティブなライフサイクルレコードのみが考慮され、TPM タイムラインにプロットされることが理由です。

タイムライン上のライフサイクルソース

公開者と内部のライフサイクルタイプのソースは、それぞれ外部と内部で生成されます。内部で作成されたレコードは、タイムライン上で I とマークされます。このような製品ライフサイクルソースは編集できません。ただし、公開者が外部で、同じ製品モデルに複数の公開者ソースが存在する場合は、選択肢 [sys_choice_list] テーブルの [順序] フィールドへのフィールドマッピング機能を使用して、優先公開者ソースを設定できます。

公開者のライフサイクル情報



タイムラインには、次の条件を満たす公開者ソースが表示されます。

- シーケンス番号が最小の公開者ソースが優先され、タイムラインにプロットされます。
- 製品モデルのライフサイクルフェーズに複数の公開者ソースがある場合は、シーケンス番号が最小のソースのみがタイムラインにプロットされ、残りのフェーズは考慮されません。
- 公開者ソースの名前の最初のアルファベットがタイムラインにプロットされます。ただし、同じ文字で始まるソースが複数ある場合は、文字に正の整数が付加されます。たとえば、Central は C1、Corporate は C2 といった具合です。

ライフサイクルフェーズの日付範囲の構成

管理者ユーザーは、日付範囲を設定できます。

1. 日付範囲を設定するには、に移動します システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. *startRangeOfTPMLifecycle* プロパティ名をクリックしてレコードを開きます。
3. タイムラインの TPM ライフサイクルの開始範囲として正の値を入力します。
4. [更新] をクリックします。
5. *endRangeOfTPMLifecycle* プロパティ名をクリックしてレコードを開きます。
6. タイムラインの TPM ライフサイクルの終了範囲として正の値を入力します。
7. [更新] をクリックします。

レコードの日付条件とライフサイクルフェーズの詳細については、「日付条件」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品モデルのリスクを特定するための色分けされたタイムライン

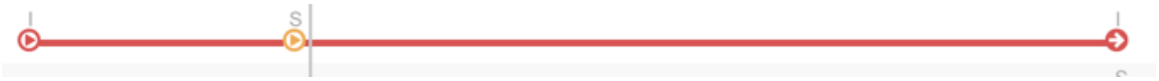
- 1 つのフェーズに対して内部と公開者のレコードが存在する場合、そのフェーズでは内部によって公開者が上書きされます。

内部が外部を上書きするタイムラインの例



- タイムラインの最終フェーズでは、上書きされていない直前のフェーズのリスクの色とソースが使用されます。

上書きされていない直前のフェーズのリスクの色を取得する最終フェーズの例



リスクおよびコントロール情報のアセスメントフォーム

リスクマネージャーは、アセスメントフォームを使用して、アプリケーションのリスクとコントロールに関する情報を収集します。システム管理者は、アプリケーションマネージャーが回答できるように、ビジネスアプリケーションからフォームにアクセスできるようにする必要があります。

リスクマネージャーが開始したアンケートは、アプリケーションに関するリスクやコントロールの詳細を収集するためにアプリケーションマネージャーに送信されるアセスメントフォームの基礎となります。ビジネスアプリケーションフォームの構成方法に関するリスクマネージャー向けの情報については、「リスク管理用のビジネスアプリケーションフォームの構成」を参照してください。

アンケートへの回答方法に関するアプリケーションマネージャー向けの情報については、「リスクアセスメントアンケートへの回答」および「コントロール証明書サーベイの実施」トピックを参照してください。

情報ポートフォリオ

情報ポートフォリオを使用して、組織の資産から情報オブジェクトとして情報をキャプチャします。情報資産を分類し、そのビジネスアプリケーションの用途を決定できます。データが存在するさまざまなレイヤーを接続して、レイヤーをマッピングすることもできます。マッピングは、情報の取得や、情報フローの追跡に役立ちます。

重要:

Xanadu リリース以降、従来の情報ポートフォリオモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来の情報ポートフォリオモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の情報ポートフォリオモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「情報ポートフォリオの操作」を参照してください。

情報ポートフォリオデータモデル

情報ポートフォリオの基本的なデータモデルは、情報オブジェクトとデータドメインという 2 つのテーブルの導入です。

自動翻訳

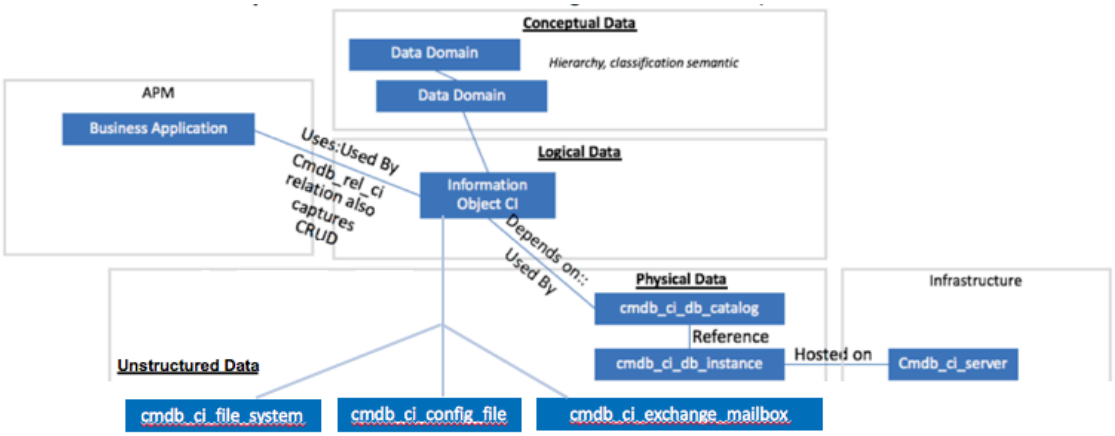
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 情報オブジェクトは、情報を整理された形式で表示する構成アイテムです。情報オブジェクトの目的は、アプリケーションとデータベースの間で交換されるデータ (または情報) のタイプを論理的に記述することです。データベースは、アプリケーションにデータを提供します。
- データドメインは、情報オブジェクトを分類します。

エンタープライズアーキテクチャ ビジネスアプリケーションをデータベースに関連付けることで、情報ポートフォリオと統合します。データベースは、情報オブジェクト [cmdb_ci_information_object] テーブルと呼ばれる中間の cmdb CI クラスを使用して、アプリケーションに情報を提供します。

ビジネスアプリケーションは、Uses::Used by cmdb CI 関係を確立することによって、情報オブジェクトに関連付けられます。情報オブジェクトは、Depends on::Used by cmdb CI 関係を確立することによって、データベースカタログとインスタンスにリンクされます。

情報ポートフォリオデータモデル



エンタープライズアーキテクチャ は、データベースアプリケーション、データベースインスタンス、およびデータベースカタログを検索する ServiceNow ディスカバリー と統合します。データベースカタログには、データベースのインスタンスで検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースが一覧表示されます。

プラグインのアクティブ化手順

CMDB プラグインには情報オブジェクト (cmdb_ci_information_object) CI があります。プラグイン エンタープライズアーキテクチャ アクティブ化すると、データドメインフィールドが cmdb_ci_information_objectテーブルに追加されます。データドメインフィールドは、 エンタープライズアーキテクチャ プラグインに含まれているデータドメインテーブルを参照します。

関連情報

- データドメインを作成する
- データドメインを参照する情報オブジェクトを作成
- ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付ける
- 情報オブジェクトをデータベースカタログに関連付ける
- ビジネスアプリケーションを別のビジネスアプリケーションに関連付ける

ドメインセパレーションと エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理)

ドメインセパレーションは エンタープライズアーキテクチャ でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、ドメインセパレーションを完全にサポートしています。ドメインセパレーションには、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャにおけるドメインセパレーションの仕組み

エンタープライズアーキテクチャのドメインセパレーションは「データのみ」のレベルですが、ドメインセパレーションの使用に役立ついくつかの要因があります。

- データはドメインセパレーションできます。
- ドメイン列は、ベースシステムのアプリケーションテーブルと エンタープライズアーキテクチャ テーブルにあります。
- インスタンスオーナーによって、ドメインが作成され、ドメイン固有の構成が管理されます。
- テナントドメインは、独自のアプリケーションデータを管理できます。
- アプリケーションプロパティはドメインに関連付けられています。
- インスタンスオーナーは、ビジネスロジックとプロセスをドメインセパレーションすることができます。ビジネスルールとポリシーは、テナントによって、特定のドメイン内で作成できます。
- ビジネスロジックとプロセスはテナントドメインによって管理できます。

関連情報

エンタープライズアーキテクチャユーザーのドメインセパレーションの設定

エンタープライズアーキテクチャ (旧 称アプリケーションポートフォリオ管理) プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション

プラットフォームアナリティクス データの可視化では、 パフォーマンスアナリティクス インジケーター データを使用してデータを経時的に表示し、ビジネスプロセスの分析や改善が必要な領域の特定に役立ちます。プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション を使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。いつでも独自のオブジェクトを作成することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション を設定してテストします。

称アプリケーションポートフォリオ管理のソリューションプラグインを有効にするには、アドミンはシステム定義 > プラグイン をクリックし、パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - アプリケーションポートフォリオ管理プラグインをアクティブ化します。

関連情報

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション

パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化

予測インテリジェンス for エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理)

Predictive Intelligence for エンタープライズアーキテクチャ は、機械学習アルゴリズムを使用して、オンボーディングされた新しいアプリケーションのデータ結果を予測、提案、および促進します。

アプリケーション類似性機械学習ソリューションは、ビジネスアプリケーションの登録フォームにビジネスアプリケーションの名前とメリットを入力すると、ビジネスアプリケーションのカテゴリを予測して提案します。

Predictive Intelligence for エンタープライズアーキテクチャ には次のメリットがあります。

- インスタンス内のデータを使用するため、機械学習ソリューションの提案がより正確になります。
- ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app] 内の既存のアプリケーションの名前と説明に基づいて、新しいアプリケーションの類似性定義を提供します。
- オンボーディングするアプリケーションのカテゴリを提案し、適切なカテゴリにソートできるようにします。アプリケーションは、 エンタープライズアーキテクチャ インベントリ内の目的と主要なビジネス機能を定義するため、分類することが重要です。
- ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスによって提供されるビジネスアプリケーションの登録機能を拡張します。

の予測インテリジェンスのソリューション定義 エンタープライズアーキテクチャ

エンタープライズアーキテクチャ の予測インテリジェンスのソリューション定義は、エンタープライズアーキテクチャ - 予測インテリジェンスプラグイン (com.snc.apm.predictive_intelligence) で利用できます。詳細については、「Application Portfolio Management の有効化」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャのソリューション定義

ソリューション定義	ソリューション タイプ	説明
ビジネスアプリケーション類似性	類似性	[ビジネスアプリケーション名 **(Name of the business application)**] フィールドと [ビジネスアプリケーションのメリット **(Benefit of the business application)**] フィールドで提供された説明から、[ビジネスアプリケーションのカテゴリ **(Category of the business application)**] フィールドを予測します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予測精度の維持

ビジネスアプリケーションテーブルにさらに多様なデータがある場合は、機械学習ソリューションが既存のレコードを収集して新しい類似レコードと比較する可能性が高くなります。したがって、要求者が入力した名前と説明からビジネスアプリケーションを分類した場合の予測結果は、より正確になる可能性があります。

ベースシステムによって提供されるビジネスアプリケーション類似性モデルの類似性定義を再トレーニングすることで、予測ドリフトを管理できます。機械学習 (ML) ソリューションがトレーニングされたら、Predictive Intelligence API をコールしてソリューション予測を行うことができます。

APM 予測インテリジェンスワークベンチ

エンタープライズアーキテクチャ (APM) 予測インテリジェンスワークベンチ は事前に構築されたユースケーステンプレートを提供し、ビジネスアプリケーション用のインテリジェントなプロセスを作成するための予測型機械学習の実装をガイドします。ビジネスプロセスアーキテクトは、事前に構築された機能を使用します。これには、機械学習のユースケースを開始するためのトレーニング済みモデルが含まれます。

エンタープライズアーキテクチャ 予測インテリジェンスワークベンチ には、事前に構築されたユースケーステンプレートが含まれ、ビジネスアプリケーションに付加価値を与える以下のプロセスを体系的にガイドします。

- 新しい予測モデルを作成しトレーニングします。
- 予測モデルを評価およびテストします。
- 予測モデルをビジネスプロセスに追加します。

カスタムユースケースはトレーニング後、すぐに使用可能になります。エンタープライズアーキテクチャ 予測インテリジェンスワークベンチ の使用に際して、人工知能や機械学習に関する事前の知識や経験は不要です。

アプリケーションには、独自の予測モデルの作成、トレーニング、評価、テスト、作成に役立つ事前に構築されたガイダンスを備えたテンプレートが含まれています。

アクティベーション情報

予測インテリジェンスワークベンチ を使用する前に、エンタープライズアーキテクチャ 用 Predictive Intelligence (com.snc.apm.predictive_intelligence) プラグインを有効化します。

アプリケーションポートフォリオ管理 データの **Microsoft PowerPoint** へのエクスポート

アプリケーションポートフォリオ管理 インスタンスから Microsoft PowerPoint ファイルとしてステータスレポートを生成してダウンロードします。このレポートをステークホルダーやチームと共有してコラボレーションを行うことができます。

ステークホルダーが ServiceNow インスタンスにアクセスできないか、Microsoft PowerPoint を使用して重要な情報を消費することを希望する場合があります。Microsoft PowerPoint を介して、重要なアプリケーションポートフォリオのステータスと健全性の詳細をステークホルダーに伝えることができます。すべてのデータを手動で収集する代わりに、ServiceNow インスタンスから Microsoft PowerPoint にデータをエクスポートできます。

重要: PowerPoint へのエクスポートは現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

次のアプリケーションポートフォリオステータスデータをエクスポートできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- アプリケーション状況
  - インストールタイプ別のアプリケーションポートフォリオ
  - プラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ
  - テクノロジースタック別のアプリケーションポートフォリオ
  - カテゴリ別のアプリケーションポートフォリオ
  - アプリケーションファミリ別の最も使用されているアプリケーション
  - インストールタイプとプラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ
- 機能の状況
  - アセスメント別の機能 (上位スコアリング機能)
  - アセスメント別の機能 (下位スコアリング機能)

APM の Export to PowerPoint 機能では、Application Portfolio Management プラグイン (com.snc.apm_ppt_export) に Export to PowerPoint を使用します。このプラグインは、ベースプラグインの Export to PowerPoint (com.snc.sn_ppt_export) に依存します。APM で Export to PowerPoint (PowerPoint エクスポート) 機能を使用するには、APM と PowerPoint の両方のプラグインがインストールされていることを確認します。ベースプラグイン、テンプレートの作成、およびレポートタイプの詳細については、以下を参照してください。 戦略的ポートフォリオ管理の PowerPoint エクスポート .

関連情報

Microsoft PowerPoint へのデータのエクスポート

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) の構成

エンタープライズアーキテクチャ のセットアップに必要なプロセスを学び、組織で使用されているアプリケーションを包括的に把握します。

作動させる エンタープライズアーキテクチャ

管理者は エンタープライズアーキテクチャ プラグインをアクティブ化できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.apm) プラグインは、アプリケーションの基本的なプラグインです。

エンタープライズアーキテクチャ プラグインは、次の関連プラグインがまだ有効になっていない場合は、アクティブ化します。

プラグイン	説明
エンタープライズアーキテクチャ –予測インテリジェンス (com.snc.apm.predictive_intelligence)	ビジネスアプリケーション関連データに類似性などのアルゴリズムを適用して、アプリケーションカテゴリを予測します。
事業計画者 (com.snc.apm.business_planner)	事業計画立案ポータルにアクセスします。
デマンドコア (com.snc.demand_core)	Demand Management の基本的なコアコンポーネントをアクティブ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラグイン	説明
会計カレンダー (com.snc.fiscal_calendar)	会計カレンダーを作成および管理します。 注: 会計カレンダータイプの標準のみがサポートされています。
パフォーマンスアナリティクス – コンテンツパック – エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.pa.apm) プラグイン	Performance Analytics を使用して開発された以下のものを表示します。 • 状況ページでのアプリケーションの分析 • ダッシュボードでのアプリケーションインジケータースコア • アプリケーション 360 このプラグインは、次の 2 つの PA プラグインをアクティブ化します。 • パフォーマンスアナリティクス – コンテンツパック – エンタープライズアーキテクチャ および変更管理 (com.snc.pa.apm.change_request) プラグイン:変更要求に関連付けられたビジネスアプリケーションのパフォーマンスアナリティクスメトリクスにアクセスします。 • エンタープライズアーキテクチャ、パフォーマンスアナリティクス、パフォーマンスアナリティクス – コンテンツパック – 問題管理 (com.snc.pa.apm.problem) プラグイン: 問題管理に関連付けられたビジネスアプリケーションのパフォーマンスアナリティクスメトリクスにアクセスします。
Bubble Chart widget for Service Portal (com.snc.sp_workbench_widgets)	バブルチャートのサービスポータルコンポーネント (ウィジェットと依存関係) にアクセスします。
ツリーマップ (com.snc.treemap)	任意のアプリケーションでツリーマップビューのサポートを有効にします。

APM モジュールの特定の機能には、次のプラグインが必要です。

エンタープライズアーキテクチャ – ATF テストプラグイン (com.snc.apm.atf) プラグイン

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後に、エンタープライズアーキテクチャ が機能するかどうかを検証し。

エンタープライズアーキテクチャ プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.apm_read_roles)

レポートとダッシュボードのデータ取得に使用するテーブルのレコードを表示または読み取ります。

エンタープライズアーキテクチャ コアプラグイン (com.snc.apm_core)

新しいビジネスアプリケーションを登録します。プラグインはベースアプリケーション内にあり、 エンタープライズアーキテクチャ プラグイン (com.snc.apm) を有効にすると、ビジネスアプリケーションの登録機能が強化され、アプリケーションを エンタープライズアーキテクチャ インベントリにオンボーディングするときに機械学習ソリューションを使用してアプリケーションカテゴリを予測および提案できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ドメインサポート – ドメイン拡張インストーラーシステムプラグイン

エンタープライズアーキテクチャのドメインセパレーション機能を有効にします。

APM 用 Performance Analytics プレミアム版 (com.snc.pa.premium.apm) プラグイン

6 か月以上経過した履歴データを取得します。

追加機能を利用するには、次のプラグインをアクティブ化します。

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo)

Project Portfolio Management と IT ソフトウェア開発のためのアプリケーション統合セットをアクティブ化します。

APM 用 Financial Management (com.snc.financial_management_for_apm)

ファイナンシャルマネジメントを エンタープライズアーキテクチャ と統合し、事前設定されたビジネスアプリケーション原価計算コストモデルとコストインジケーターを提供します。

このプラグインは、次のプラグインもアクティブ化して、 エンタープライズアーキテクチャに関連付けられたファイナンシャルマネジメントのパフォーマンスアナリティクスダッシュボードを有効にします。

パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - アプリケーションポートフォリオ管理のファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.apm)。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

   注: ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (`Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>`)」

   インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

次のタスク
APM ガイド付きセットアップを使用してエンタープライズアーキテクチャを設定します。

エンタープライズアーキテクチャ管理

sn_apm.apm_admin ロールを使用して、企業で使用されるアプリケーションを分類できます。また、特定のタスクを実行する権限をユーザーに付与したり、アプリケーションのユーザビリティを評価するためのインジケーターを設定したり、アプリケーションを維持するための戦略を定義するために役立つバブルチャートを作成したりすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

管理者権限では、アプリケーションをグループ化するためのアプリケーション分類属性、アクセスレベルを提供してタスクをアサインするためのユーザーとロール、アプリケーションを評価するためのアプリケーションアセスメントインジケーター、アプリケーション戦略を推奨するバブルチャートを設定できます。これらのセットアップは、アプリケーション分類とインベントリの維持、ユーザーへの特定タスクの実行権限の提供、インジケーターによるアプリケーションユーザビリティ評価、組織目標の計画と実行の戦略の推奨に役立ちます。

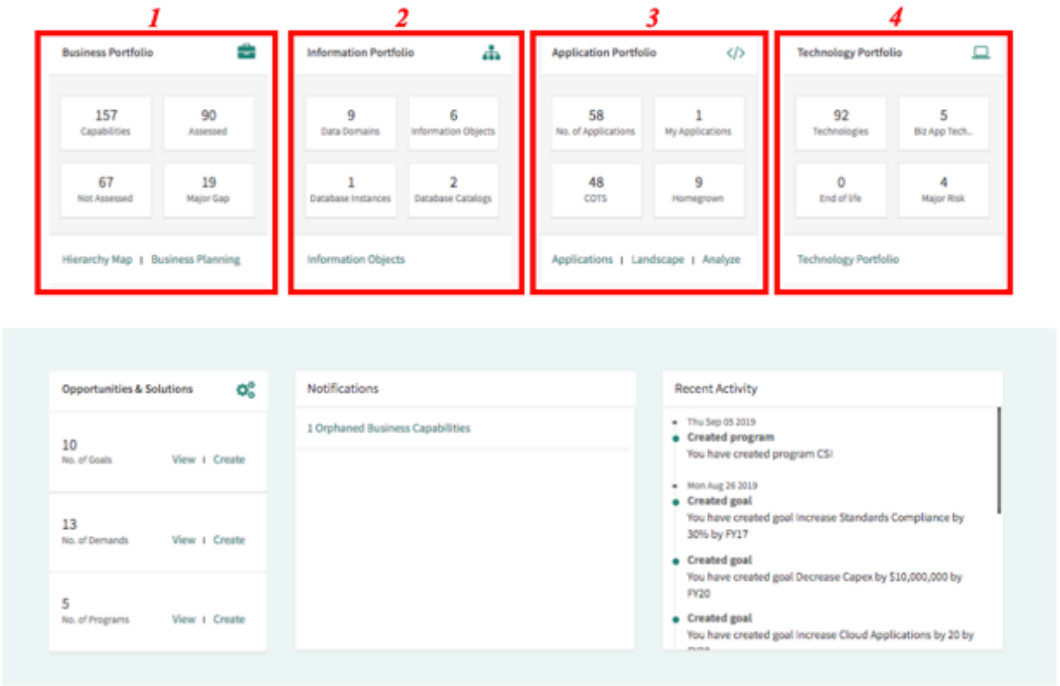
エンタープライズアーキテクチャ **(EA)**(以前はアプリケーションポートフォリオ管理) と **CSDM** フレームワーク

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 APM を使用して、組織のアプリケーションを包括的に理解することで、冗長性を特定し、予算コストを削減することができます。この製品ビューの目的は、エンタープライズアーキテクチャ 主要エンティティがコア CSDM フレームワークでどのように機能するかを理解することです。

注: CSDM 4.0 以降のバージョンを使用していない場合は、CSDM について Rome のドキュメントを参照してください。CSDM フレームワークの実装については、「ステージに CSDM フレームワークを実装する」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャ ホームページ

エンタープライズアーキテクチャ ホームページには、エンタープライズアーキテクチャ によって使用される CSDM テーブルの多くが整理されています。



ビジネスポートフォリオ

評価済みまたは評価される予定の定義済みのビジネス機能の数、および機能をサポートしているがリスクにさらされているビジネスアプリケーションの数を表示します。

ケイパビリティマッピングを使用してビジネスケイパビリティとビジネスアプリケーション間の構成アイテム (CI) の関係を確立する方法の詳細については、[product] を参照してください。

情報ポートフォリオ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産情報を情報オブジェクトとしてキャプチャします。情報オブジェクトをビジネスアプリケーションに接続して、いつでも使用できるアプリケーションポートフォリオを作成できます。

情報ポートフォリオは、次のデータにリンクされています。

- データドメイン：データドメインテーブル [sn_apm_data_domain] 内のレコードの合計数。
- 情報オブジェクト：情報オブジェクトテーブル [cmdb_ci_information_object] 内のレコードの合計数。
- データベースインスタンス：データベースインスタンステーブル [cmdb_ci_db_instance] 内のレコードの合計数。
- データベースカタログ：データベースカタログテーブル [cmdb_ci_db_catalog] 内のレコードの合計数。

情報ポートフォリオと情報ポートフォリオモデルの詳細については、[product] を参照してください。

アプリケーションポートフォリオ

ビジネス機能をサポートするアプリケーションを追跡し、効果的に管理して組織の目標を達成します。ポートフォリオは、カテゴリ、メーカー、タイプなどの情報を含むアプリケーションのリストを提供します。[アプリケーション] を選択して、組織内のビジネスアプリケーションのリストビューに移動します。

アプリケーションのユーザビリティ、コスト、品質、パフォーマンス、およびリスクの測定の詳細については、[product] を参照してください。

技術ポートフォリオ

アプリケーションのユーザビリティ、コスト、品質、パフォーマンス、およびリスクを測定するメトリクスを使用します。

技術ポートフォリオ管理の概要およびビジネスアプリケーションとの関係の詳細については、「での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) および CSDM テーブル

エンタープライズアーキテクチャ は CSDM テーブルを管理および使用します。いくつかの ServiceNow 製品は、エンタープライズアーキテクチャ のメリットを活用し、それに対して価値を付加します。

エンタープライズアーキテクチャ に管理される CSDM テーブル

1. ビジネスケイパビリティテーブル [cmdb_ci_business_capability]
2. ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app]。

自動翻訳

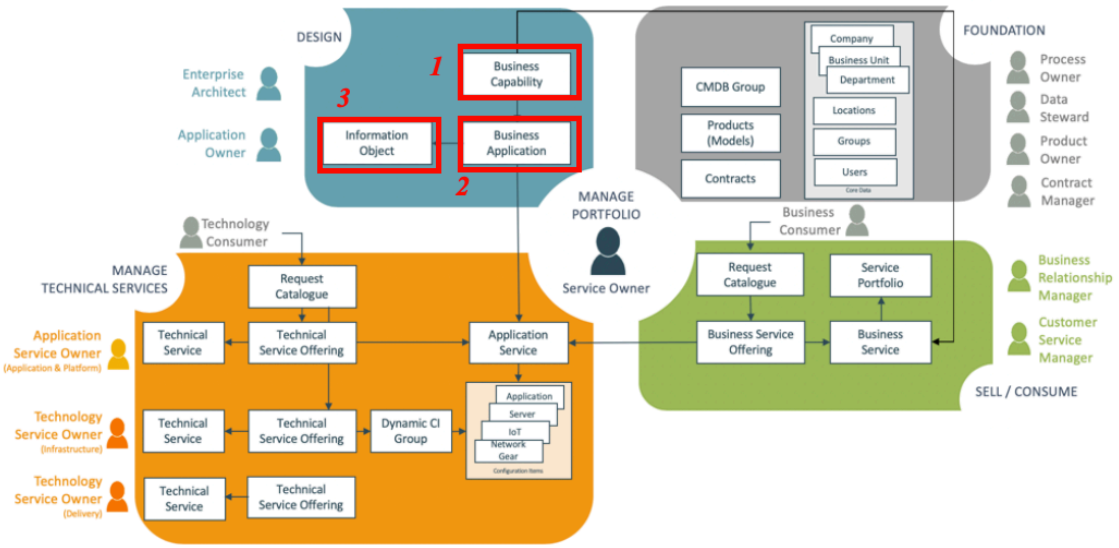
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

エンタープライズアーキテクチャ は、ビジネスアプリケーションテーブルの [プラットフォーム] フィールドと [プラットフォームアプリ] フィールドを使用して、ビジネスアプリケーションと基礎となるアプリケーションサービスの間の関係を確立します。 エンタープライズアーキテクチャ は、CI 関係ではなく、 エンタープライズアーキテクチャ フォームの参照を使用してプラットフォームホスト/プラットフォームアプリの関係を管理します。

この関係では、計画と設計で使用されるビジネスアプリケーションのレコードが、アプリケーションサービスによってどの分野でどのように運用され実現されるのかに関連付けられます。この関係は、開発、テスト、および本番環境 (開発、テスト、および本番アプリケーションサービスインスタンス) でのビジネスアプリケーションのすべての使用を明らかにします。多くの場合、複数の本番展開があります。たとえば、大規模な小売業者は、1,000 店舗それぞれでレジを実行するビジネスアプリケーションを使用します。したがって、その 1 つのビジネスアプリケーションに対して、アプリケーションサービスの本番インスタンスが 1,000 (店舗ごとに 1 つ) あることになります。関係の詳細については、「CSDM の概要」ビデオをご覧ください 。

3. 情報オブジェクトテーブル [cmdb_ci_information_object]



CSDM によって使用されるテーブル エンタープライズアーキテクチャ

- マッピング済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered]
- ビジネスケイパビリティテーブル [cmdb_ci_business_capability]
- ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app]
- 情報オブジェクトテーブル [cmdb_ci_information_object]
- SDLC コンポーネントテーブル [cmdb_ci_sdlc_component]

エンタープライズアーキテクチャ に付加価値を提供する製品

エンタープライズアーキテクチャ を以下のいずれかの ServiceNow 製品と併用すると、エンタープライズアーキテクチャ の価値をさらに高めることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ディスカバリー は、使用しているハードウェアおよびソフトウェア CI の詳細を提供します。
- サービスマッピング は、[cmdb_ci_service_discovered] テーブル内のアプリケーションインスタンスサービス、関連するインフラストラクチャ、およびアプリケーション [cmdb_ci_appl] CI の詳細を提供します。
- 資産管理は、関連する製品モデルを提供します。 ソフトウェア資産管理 (SAM の基盤) およびハードウェア資産管理 (HAM) は、 テクノロジーポートフォリオ管理のライフサイクルデータを提供します。
- プロジェクトポートフォリオ管理 は、ビジネスアプリケーションロードマップを表示します。デマンド、プロジェクト、スプリント、エピックが含まれます。
- アジャイル開発 は、アプリケーションロードマップ内の各ビジネスアプリケーションのバックログストーリーとエピックを表示します。

エンタープライズアーキテクチャ からメリットを得る製品

次の ServiceNow 製品は、エンタープライズアーキテクチャ により価値が向上します。

- IT Service Management (ITSM)：サービスには、ビジネスとアプリケーションのコンテキストと、その下に階層化された情報とテクノロジーがあります。
- Information Technology Operations Management (ITOM)：管理対象のハードウェアおよびソフトウェアとともに、アプリケーションサービスのビジネスコンテキストを理解します。
- ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC)：監査人は、ビジネスアプリケーションおよび関連する情報オブジェクトを活用できます。これは、監査人が、監査のスコーピング、リスクの測定、および監査アクティビティの管理のための設計時のデータ機密性を理解するために役立ちます。
- 資産管理：ビジネスアプリケーションとビジネスサービスのソフトウェアとハードウェアのライフサイクルを管理します。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) ユースケース

エンタープライズアーキテクチャ では、計画とレポートに使用されるすべてのインスタンス、テクノロジー、およびデータを表す、バージョンに依存しない単一のエンティティを定義できます。

エンタープライズアーキテクチャ ユースケース

ビジネスアプリケーションは、資金調達、ロードマッピング、リスクレポートなどの計画およびガバナンスアクティビティに使用できます。ビジネスアプリケーションの合理化は継続的なプロセスであり、コストを削減し、テクノロジーの変革を計画するために非常に重要です。ビジネスアプリケーションの合理化は、合併、売却、またはその他の広範囲に影響するビジネス主導の変更を完了するためにも重要です。

エンタープライズアーキテクチャ ユースケースの主な機能

CMDB は、CSDM フレームワークで使用される場合、次の方法で エンタープライズアーキテクチャ に価値を提供します。

- アプリケーションライフサイクル管理。これには以下の操作が含まれます。
  - 新しいビジネスアプリケーションの登録 (ベースシステムに含まれる)。
  - ビジネスアプリケーションの更新
  - 関連するすべてのアプリケーションサービスとインフラストラクチャを含む、ビジネスアプリケーションのデコミッション。アプリケーションサービスは論理的なものであるため、論理ライフサイクル状況を使用する必要があります。アプリケーションサービスは、他の論理 CI と同じライフサイクルガイダンスに従います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- メトリクスまたは関連する影響度に基づくビジネスアプリケーションポートフォリオのアセスメント。
- ロードマップの計画と新しいアイデア、デマンド、プロジェクトの作成。
- データ認定プロセス
- 総所有コスト (TCO) の計算 (ファイナンシャルマネジメント モジュールを使用)
- 次の関連エンティティを管理します。
  - 情報オブジェクトテーブル [cmdb_ci_information_object]
  - ビジネス機能テーブル [cmdb_ci_business_capability]

エンタープライズアーキテクチャ ユースケースの結果

このユースケースでは、CSDM はビジネスアプリケーションをモデル化し、重要なデータを関連付けるための一貫した方法を エンタープライズアーキテクチャ に提供します。ユースケースでは、アプリケーションサービス (インスタンス) が、テクノロジーリスクスコア、コスト、および分析に使用されるその他のメトリクスを自動化するために必要なように定義されていることを確認します。

TPM のユースケース

TPM を使用すると、サポート終了 (EOL) の日付になったソフトウェアとハードウェアの使用に関連するリスクをよりよく理解できます。CSDM フレームワークによって提供される詳細を使用して、EOL になったソフトウェアとハードウェアを使用することのリスクを判断できます。各製品ライフサイクルの EOL 日付が計算され、CSDM フレームワークに従って組み合わされて、ビジネスアプリケーションレベルのスコアが提供されます。

TPM ユースケースの結果

CSDM フレームワークは、一貫したデータ構造を提供します。この一貫したデータ構造により、テクノロジーのライフサイクルを管理し、組み合わされたテクノロジーリスクを容易に分析できるようになります。

CSDM フレームワークの構成方法により、ITOM、サービス管理 (サービスポートフォリオ管理)、および IT Application Management (ITAM) の多くの製品を活用できます。

EOL テクノロジーを使用するリスクは、CMDB で特定された各ソフトウェアおよびハードウェア製品モデルのライフサイクルに基づいて計算され、ソフトウェアおよびハードウェア製品モデルと照合されます。

ライフサイクルデータを手動で入力するか、外部ソースからインポートするか、ソフトウェア資産管理プロ または ハードウェア資産管理 のライセンスで提供されたデータを使用することができます。

リスクが計算され、階層で表示されます。ビジネスアプリケーションは最上位レベル、SDLC コンポーネントはビジネスアプリケーションの下にあり、アプリケーションサービスは各展開 (インスタンス) を示し、ソフトウェアと製品モデルは最下位レベルにあります。リスクは以下に示す順序で計算され、現在の日付から EOL の日付までの期間に基づいています。

> **注:** SDLC コンポーネントの設定はオプションです。SDLC コンポーネントを構成しなくても、ビジネスアプリケーションをアプリケーションサービスに直接接続することは可能です。

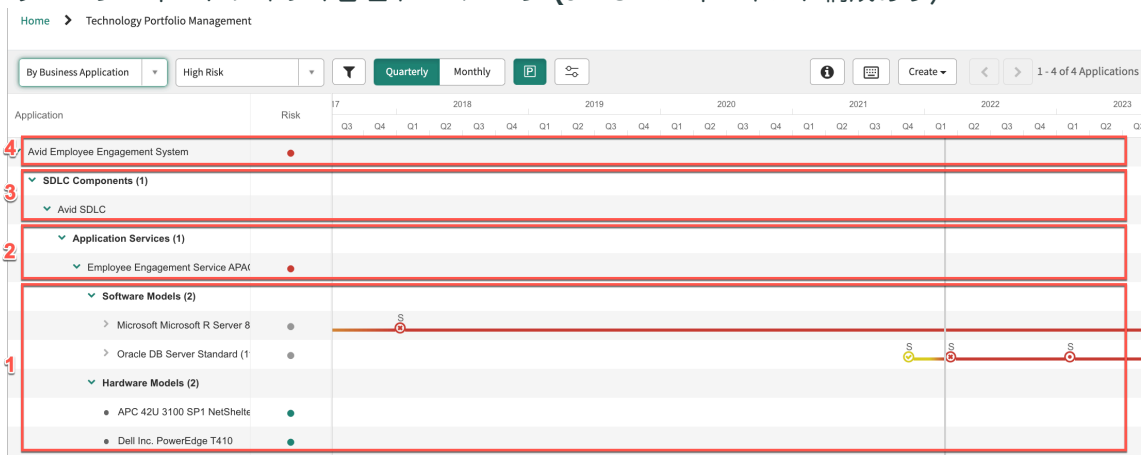
1. ハードウェアおよびソフトウェア製品モデル：現在のライフサイクルフェーズとソースを表示し、リスクのある特定のモデルを示します。
2. アプリケーションサービスレベル：アプリケーションサービス (インスタンス) で使用されている、基礎となるすべてのハードウェアおよびソフトウェア製品モデルの組み合わせのリスクステータスを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

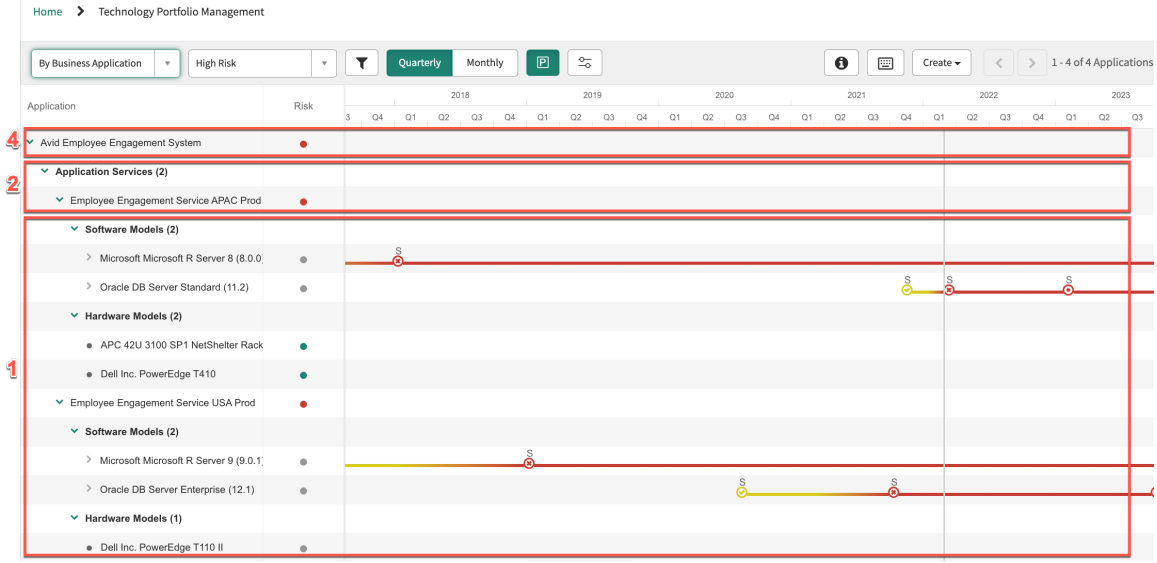
自動翻訳

3. SDLC コンポーネント：すべての SDLC コンポーネントと、関連付けられたアプリケーションサービスおよびビジネスアプリケーションを表示します。
4. ビジネスアプリケーションレベル：基礎となるすべてのアプリケーションサービス (インスタンス) を組み合わせて、ポートフォリオレベルでの全体的なリスク評価を判断します。

テクノロジーポートフォリオ管理ホームページ **(SDLC** コンポーネント構成あり)



テクノロジーポートフォリオ管理ホームページ **(SDLC** コンポーネント構成なし)



次の情報は、ビジネスアプリケーションとそのインストール済みアプリケーションサービス (インスタンス) に対する EOL の影響を判断するために使用されます。

- 組織で使用されているビジネスアプリケーションはすべて、1 つ以上のアプリケーションサービスにリンクされています。各アプリケーションサービスは、1 つ以上のテクノロジーモデルまたはソフトウェアモデルで実行されます。

  アプリケーションサービスソフトウェアモデルテーブルの名前は [sn_apm_tpm_service_software_model] です。

- ソフトウェアモデルには、一連のライフサイクルステージがあります。これらのライフサイクルステージは、インストール日から廃止日までの範囲です。

  一部のビジネス組織は、ソフトウェアモデルのライフサイクルフェーズに基づいて内部の日付を設定します。これらのソフトウェアモデルのフェーズには、早期導入、メインストリーム、使用の減少、および廃止があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同様に、ソフトウェアベンダーは、プレリリース、一般提供、提供終了、使用停止などのベンダーライフサイクルフェーズに基づいて、ソフトウェアの日付を設定します。ベンダーからのサポートは、技術のフェーズによって異なる場合があります。たとえば、ソフトウェアモデルが使用停止フェーズに達すると、ベンダーは技術のサポートを停止する場合があります。

ソフトウェアモデルのライフサイクルテーブルの名前は [sam_sw_model_lifecycle] です。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) 考慮 事項

CSDM フレームワークを実装する際は、次の点を考慮してください。

- ビジネスサービスは、IT 部門が顧客に提供するものです。ビジネスサービスは、ビジネスユーザーに対して公開されるサービスのタイプです。ビジネスサービスは通常、1 つ以上のビジネス機能を実装します。

  ビジネスユーザーは通常、ビジネスサービスを注文します。ビジネスユーザーは、サービスカタログ を使用して目的のオファリングとサービスコミットメントレベルを選択できます。たとえば、調達、出荷、ファイナンスなどです。

  - ビジネスサービスは運用 CI です。
  - ビジネスサービスは、複数のビジネスサービスの 1 階層ではなく、1 レベルのサービスである必要があります。
  - ビジネスサービスは、インシデント、問題、および変更における影響度と、変更の承認に使用できます。
  - ビジネスサービスは、コンシューマーまたは販売者にフォーカスしたものでなくてはなりません。

- ビジネスケイパビリティとは、ビジネスモデルをサポートしたり組織のミッションを完遂したりする高レベルのケイパビリティです。

  ビジネスケイパビリティは通常、1 つ以上のビジネス成果を達成する特定のタスクを表します。多くの場合、ビジネス機能は動作 (財務管理や IT サポートサービスの提供など) として表示されます。これらのビジネス機能を使用して、ビジネスアプリケーションとビジネスサービスのコストを合理化し、優先順位付けすることができます。

- テクノロジーポートフォリオ管理 の使用：ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン は、テクノロジーポートフォリオ管理 で使用するライフサイクルデータを提供します。ただし、そのデータを手動で管理することも、別のソースから取得することもできます。両方の製品は、基礎となるテーブルを共有していますが、独立しており、それぞれ単独で使用できます。
- アプリケーションポートフォリオの管理の詳細については、「アプリケーションポートフォリオ管理 - インベントリのベストプラクティス」を参照してください。
- アプリケーションとビジネスアプリケーションは、異なるテーブルを使用し、異なる要素を表します。

  ビジネスアプリケーション

  - ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app] を使用します。
  - 使用中のアプリケーションサービス、環境、ソフトウェア、およびハードウェアで構成されるアプリケーションの単一の論理的な構成を表します。

  アプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アプリケーションテーブル [cmdb_ci_appl] を使用します。
- サーバーで使用されているソフトウェアの特定のバージョンを表します (多くの場合、 ディスカバリー または System Center Configuration Manager (SCCM)によって入力されます)。

エンタープライズアーキテクチャ の詳細については、「APM: Application Inventory - Most common questions. (APM：アプリケーションインベントリ - 最も一般的な質問)」を参照してください。

アプリケーション分類

アプリケーションをグループとカテゴリに分類すると、組織でのアプリケーション追跡と比較に役立ちます。アプリケーション間の関係性や冗長性をより容易に特定できます。また、完全なアプリケーションインベントリを構築し、アプリケーションをビジネス機能にマッピングすることもできます。

アプリケーションを分類およびグループ化するために、次の属性を設定します。

アプリケーションカテゴリ

この属性は必須です。これは、アプリケーションの合理化を決定するために使用できるグループ化属性です。通常、この属性を使用して、ビジネスプロセスまたは部門で使用されるアプリケーションをグループ化できます。アプリケーションは、重複する機能やまたは補完的な機能を持つことがありますが、それらは同じビジネス機能の一部であるため、アプリケーションの合理化を行う際に、一緒にレビューする必要があります。アプリケーションカテゴリレベルで要約された情報を使用して、さまざまな測定基準でカテゴリ内のアプリケーションを比較できます。

カテゴリグループ

この属性はオプションです。これは、アプリケーションカテゴリのフィルタリングとレポートのためのグループ化属性です。

アプリケーションファミリ

このオプションの属性を使用して、製品のメーカー分類によってアプリケーションをさまざまな製品スイートにグループ化できます。

ビジネスプロセス

この属性は、主にフィルタリングとレポートに使用されるオプションの属性です。ビジネスプロセスのレベル 1 (L1) とは、組織の事業運営の概要を表す非常におおまかなレベルです。L1 ビジネスプロセスに、観念的にタグを付けることができます。たとえば、Oracle Order Management は、ビジネスプロセス「Quote to Cash」にタグ付けできます。アプリケーションとビジネスプロセス間の詳細なマッピングは、CI 関係を使用して作成できます。

ソフトウェア モデル

この属性はベースインスタンスで使用でき、メーカー、バージョン、リリース日、提供終了日などのソフトウェア仕様が含まれています。ビジネスアプリケーションは、対応するソフトウェアモデルレコードを参照して、ソフトウェア仕様を自動的に取り込みます。

アプリケーション分類の例を確認するには、「アプリケーション分類の例」を参照してください。

アプリケーションカテゴリグループの追加または編集

アプリケーションカテゴリグループは、アプリケーションカテゴリのコレクションです。カテゴリグループは、アプリケーションカテゴリのフィルタリングとレポートに役立ちます。アプリケーションカテゴリグループを作成することも、既存のカテゴリグループを編集してビジネス要件に適応させることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

> **重要:**
>
> Xanadu リリース以降、従来のアプリケーションカテゴリグループモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のアプリケーションカテゴリグループモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のアプリケーションカテゴリグループモジュールは使用できません。
>
> エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「アプリケーションカテゴリグループの構成」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > アプリケーションカテゴリグループ.
2. 新規 を選択して新しいカテゴリグループを作成するか、編集する既存のカテゴリグループの名前を選択します。
3. アプリケーションカテゴリグループの名前と説明を入力します。
4. [送信] または [更新] を選択します。

アプリケーションカテゴリの追加または編集

アプリケーションカテゴリは、目的と機能、フィールド、またはエリアによってアプリケーションをグループ化したものです。このような分類は、アプリケーションの統合と、意思決定の合理化に役立ちます。アプリケーションカテゴリを作成することも、既存のカテゴリを編集してビジネス要件に適応させることもできます。

始める前に

> **重要:**
>
> Xanadu リリース以降、レガシーアプリケーションカテゴリモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のアプリケーションカテゴリモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のアプリケーションカテゴリモジュールは利用できません。
>
> エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「アプリケーションカテゴリの構成」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて

各アプリケーションに、アプリケーションカテゴリが定義されている必要があります。このフィールドは、アプリケーションの目的と、このアプリケーションがサポートする主要なビジネス機能の説明に使用されます。ビジネス機能と同様に、分類を概括的なレベルに保つことができます。たとえば、営業、人事、マーケティング、製造などです。[アプリケーションカテゴリ] フィールドは、分析ダッシュボード (ビジネス価値対技術的リスクをプロットする 2x2 マトリクス) をフィルターするために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > アプリケーションカテゴリ.
2. [新規] を選択して新しいカテゴリを作成するか、変更する既存のカテゴリの名前を選択します。
3. アプリケーションカテゴリの名前と説明を入力します。
4. カテゴリグループにカテゴリを追加する場合は、[カテゴリグループ] フィールドからグループを検索して選択します。
5. [送信] または [更新] を選択します。

アプリケーションファミリの追加または編集

アプリケーションファミリは、製品のメーカー分類に基づいて一連の関連アプリケーションを製品スイートにグループ化するための属性です。アプリケーションファミリを作成することも、既存のアプリケーションファミリを変更してビジネス要件に適応させることもできます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、レガシーアプリケーションファミリーモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のアプリケーションファミリーモジュールを引き続き使用できます。新しいアクティベーションユーザーの場合、従来のアプリケーションファミリーモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「アプリケーションファミリーの構成」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > アプリケーションファミリー.
2. [新規] を選択して新しいアプリケーションファミリーを作成するか、編集する既存のファミリーの名前をクリックします。
3. アプリケーションファミリの名前と説明を入力します。
4. [送信] または [更新] を選択します。

アプリケーションビジネスプロセスの追加または編集

ビジネスプロセスは、構造化された一連のタスクです。ビジネスプロセスを作成して、特定の成果の達成に役立つ一連のタスクをグループ化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来のビジネスプロセスモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のビジネスプロセスモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のビジネスプロセスモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「ビジネスプロセスの管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
ビジネスプロセスを作成することも、既存のビジネスプロセスを変更してビジネス要件に適応させることもできます。

ビジネスプロセスまたは機能階層は、ビジネスプロセスを階層的に順序付けてグループ化したものです。たとえば、L0、L1 プロセスなどです。

要件に基づいて、ビジネスプロセス関係を使用してビジネス機能階層をモデル化できます。CI 関係を使用してビジネスプロセスレコードを編集し、ビジネスプロセス階層を作成できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > ビジネスプロセス.
2. 新規 を選択して新しいビジネスプロセスを作成するか、編集する既存のプロセスの名前を選択します。
3. フィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ビジネスプロセスフォーム」を参照してください。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. このビジネスプロセスにアイテムを追加する場合は、関連アイテムの CI 関係フォーマッター を使用します。
6. [送信] または [更新] を選択します。

アプリケーションポートフォリオの作成

ポートフォリオとは、関連するプロジェクトとデマンドのコレクションです。プロジェクトを作成して実行し、アプリケーションポートフォリオの合理化と最新化を図ることができます。アプリケーションのポートフォリオを作成し、複数のプロジェクトの成果と進捗状況を測定するデマンドと目標を設定し、さらに、分析のためにこれらのプロジェクトに関するレポートを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > ポートフォリオ.
2. [**New**] をクリックします。
3. ポートフォリオの名前と説明を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [ポートフォリオマネージャー] フィールドで、このポートフォリオのマネージャーの名前を検索して選択します。
5. [ポートフォリオの作成] をクリックします。

アプリケーション管理のための戦略の追加

デマンドアクションは、アプリケーションに対して実行する戦略的決定です。エンタープライズアーキテクチャ は、アプリケーションの機能拡張に役立つ事前設定されたアクションを提供します。要件に応じて、新しいデマンドアクションを追加できます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来のデマンドアクションモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のデマンドアクションモジュールを引き続き使用できます。新規有効化ユーザーの場合、従来のデマンドアクションモジュールは利用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「デマンドアクションの設定」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
アプリケーション戦略に沿ったデマンドアクションを作成します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > デマンドアクション.
2. [**New**] をクリックします。
3. フィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「デマンドアクションフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

ビジネスアプリケーションのライフサイクルの管理

ビジネスアプリケーションのライフサイクルを作成または編集して、ビジネスアプリケーションをより適切に管理します。

始める前に
必要なロール:sn_apm.apm_analyst および sn_apm.apm_user

アプリケーションモデル (フィールド名:モデル ID) は、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルのライフサイクルを作成するために重要です。

Vancouver リリース以降、アプリケーションモデルが自動的に作成され、ビジネスアプリケーションの追加時にモデル ID がビジネスアプリケーションに追加されます。

既存のビジネスアプリケーションの場合は、 *CSDM Product Model Assignment* スクリプトを実行してモデル ID を生成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションの名前を選択して、ビジネスアプリケーションフォームを開きます。
3. [関連リンク] セクションで、[アプリケーションモデルのライフサイクル] タブを選択します。
   ビジネスアプリケーションに関連付けられたライフサイクルのリストが表示されます。
4. ライフサイクルを作成または編集します。
   - ライフ サイクルを作成するには、 新規 を選択します。
   - 既存のライフサイクルを編集するには、[編集] を選択します。
5. [アプリケーションモデルのライフサイクル] フォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「アプリケーションモデルのライフサイクルフォーム」を参照してください。

6. [送信] を選択します。

関連情報

スケジュール済みジョブを実行して、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルを生成します。

スケジュール済みジョブを実行して、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルを生成します。

既存のビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルを生成するスクリプトを実行します。アプリケーションモデルは、ビジネスアプリケーションのコンポーネントと、アプリケーションランドスケープ内でのそれらの関係とインタラクションを構造化して表現したものです。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
エンタープライズアーキテクチャでは、アプリケーションモデルはビジネスアプリケーションの [モデル **ID**] フィールドで示されます。このモデルは、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルライフサイクルを作成するために重要です。既存のビジネスアプリケーションの場合は、 *`CSDM Product Model Assignment`* スクリプトを実行してモデル ID を生成できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. スケジュール済みジョブ *`CSDM Product Model Assignment`*を見つけて開きます。
3. [今すぐ実行] を選択します。

タスクの結果
スクリプトの実行後、[モデル **ID**] フィールドが空の既存のビジネスアプリケーションのモデル ID が自動的に作成されます。

データ分類グループの追加

データ分類を分類するデータ分類グループを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. データ分類グループ [cmdb_data_classification_group] テーブルに移動します。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「データ分類グループフォーム」を参照してください。
   適用されたタグは、フォームの上部にさまざまな色で表示されます。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。

データ分類の追加

データ分類を作成して情報オブジェクトに適用します。ビジネスアプリケーションで使用されるデータを効果的に制御します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. データ分類 [cmdb_data_classification] テーブルに移動します。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「データ分類フォーム」を参照してください。
   適用されたタグは、フォームの上部にさまざまな色で表示されます。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。

情報オブジェクトに分類タグを適用する

情報オブジェクトにデータ分類タグを適用して、情報オブジェクトデータの可視化と制御を向上させます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > 情報ポートフォリオ > 情報オブジェクト.
2. 既存の情報オブジェクトを開きます。
3. [分類タグを選択] リストから、情報オブジェクトデータを分類する適切なタグを選択します。
   フィールドの詳細については、「情報オブジェクトフォーム」を参照してください。
   適用されたタグは、フォームの上部にさまざまな色で表示されます。
4. [**Update** (更新)] を選択します。

データ認定タスクのスケジュール

ビジネスアプリケーションテーブルのデータを定期的に認定することで、ビジネスアプリケーションのインベントリを最新の状態に保ちます。ビジネスアプリケーションに依存するインジケーターが存在するため、これらのビジネスアプリケーションデータを最新の状態に保つことで、ビジネスアプリケーションを正確に評価できるようになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来の認定スケジュールモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来の認定スケジュールモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の認定スケジュールモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「要求、認定、およびアセスメントの管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて

エンタープライズアーキテクチャ admin ロールを持つアドミニストレーターは、データ認定タスクを作成してシステムオーナーにアサインし、ビジネスアプリケーションデータを認定してもらうことができます。また、認定が必要なフィールドにフィルターを設定するには、certification_filter_admin ロールが必要です。

ビジネスアプリケーションのインベントリが 1 回作成されます。ただし、ビジネスアプリケーションテーブルのデータは非常に動的であり、時間の経過とともに変化し続けます。したがって、データを完全、正確、かつ最新の状態に保つことが不可欠です。データ認定は、データを最新の状態に保つのに役立つプラットフォーム機能です。

エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.apm) プラグインは、データ認定 (snc.certification_v2) プラグインをインストールします。個別のサブスクリプションは必要ありません。

アドミニストレーターは、データ認定タスクをスケジュールするために、次の事前設定された認定スケジュールを使用できます。認定スケジュールは、設定された条件に基づいて、認定タスクのセットを生成します。

- オンデマンドのビジネスアプリケーション認定/四半期ごとのビジネスアプリケーション認定：ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app] テーブルのデータを認定します。必要に応じてスケジュールを設定する場合はオンデマンドのビジネスアプリケーション認定を使用し、四半期ごとのスケジュールを設定する場合は四半期ごとのビジネスアプリケーション認定を使用します。指定した時間間隔に従って、またはオンデマンドでいずれかのスケジュールを使用します。
- オンデマンドのアプリケーションサービスソフトウェアモデル認定：アプリケーションサービスソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_model] テーブルのソフトウェアモデルと完全バージョンフィールドを認定します。
- オンデマンドのソフトウェア製品ライフサイクル内部ソース認定：カスタムソフトウェア製品ライフサイクル [sam_custom_sw_product_lifecycle] テーブルの完全バージョンフィールドを認定します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > 認定スケジュール.
2. [新規] を選択して、認定スケジュールの新しいレコードを作成します。

   事前設定された認定スケジュールを選択してレコードをレビューし、必要に応じて詳細を更新することもできます。

   フィールドの詳細については、「認定スケジュールフォーム」を参照してください。
3. [**Submit** (送信)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [更新] を選択して変更を保存するか、[今すぐ実行] を選択してスケジュールを実行します。

   [今すぐ実行] を選択すると、認定インスタンスが作成され、システムアドミニストレーターはそれを [認定インスタンス] 関連リストに表示できます。また、認定インスタンスとその完了率を追跡することもできます。

   関連する認定タスク (ビジネスアプリケーションレコードのデータを検証および認定するためのもの) が [認定タスク] 関連リストに作成され、アプリケーションオーナーにアサインされます。アドミニストレーターは、アプリケーションオーナーに割り当てられたデータ認定の進捗状況を追跡することもできます。

   認定タスクが新たにアサインされたとき、再アサインされたとき、または期限切れが近づいたときに、当該タスクの保留中ステータスをメールでタスクオーナーに通知できます。

   [今すぐ実行] を選択すると、スケジュールを実行するときに認定タスクに応じてトリガーできる、**APM DC** タスクのアサイン、APM **DC**タスクの再アサイン、**APM DC** タスクの有効期限などの事前設定されたメール通知を使用できます。

   これらのメール通知は、デフォルトではアクティブ化されていないので、true に設定してアクティブ化する必要があります。

5. メール通知を有効にするには、次の場所に移動します: サービスクリエーター > 通知.
6. APM 関連の通知レコードを選択して開きます。
7. **[Active** (アクティブ)] チェックボックスをオンにすると、メール通知がアクティブ化されます。

次のタスク
認定タスクをレビューして、必要に応じて更新できます。

アプリケーション認定を表示および更新する

認定インスタンスは、認定スケジュールを実行するための認定タスクのコレクションです。作成したアプリケーションタスクをレビューし、必要に応じて更新します。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、レガシーアプリケーション認定モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のアプリケーション認定モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のアプリケーション認定モジュールは利用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「要求、認定、およびアセスメントの管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > アプリケーション認定.
2. [認定インスタンス] リストで [認定インスタンス] をクリックします。
3. 必要に応じて、認定タスクの詳細を表示および更新します。
4. [認定タスク] 関連リストで認定タスクをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
認定を必要とし、かつこの特定の認定タスクに属するすべてのビジネスアプリケーションを表示できます。システム管理者は、データ認定プロセスを追跡し、確認済みとして認定されたビジネスアプリケーションレコードの認定フィールドと、認定に失敗した認定フィールドも表示できます。IT_application_owner は認定フィールドを認定します。

ビジネスアプリケーションテーブルのデータの認定

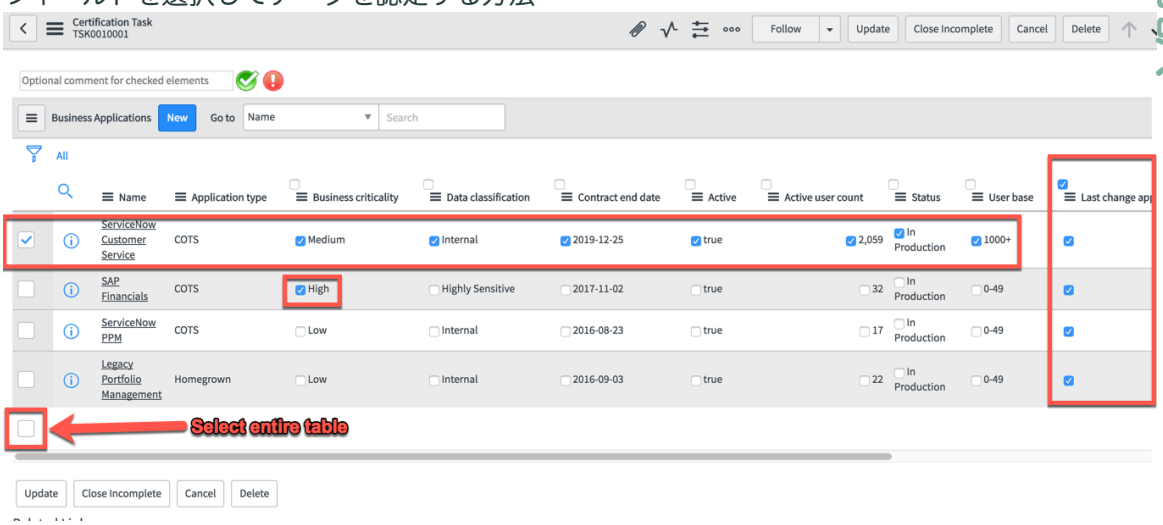
認定ロールを持つアプリケーションオーナーは、自分にアサインされた認定タスクを表示して、必須フィールドを認定できます。フィールドのデータを更新してから認定することもできます。

始める前に
必要なロール：certification_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > データ認定 > **Tasks** (タスク) > **My Tasks** (自分のタスク).
2. [認定タスク] リストで、認定が必要なタスク番号をクリックします。
3. フィールドを認定するには、チェックボックスをクリックします。
   フィールドのデータは、次のいずれかの方法で認定できます。
   - フィールド単位：[フィールドレベル] チェックボックスをオンにします。
   - 列単位：[列レベル] チェックボックスをオンにして、すべてのビジネスアプリケーションの特定のデータ要素を認定します。
   - 行単位：[行レベル] チェックボックスをオンにして、特定のビジネスアプリケーションのすべてのデータ要素を認定します。
   - テーブル全体：すべての行を選択するチェックボックスをオンにして、すべてのビジネスアプリケーションのすべてのデータ要素を認定します。

フィールドを選択してデータを認定する方法



4. 最新でない場合は、フィールドをクリックしてデータを更新します。
5. 認定したフィールドにコメントを入力し、緑色のチェックマークをクリックしてチェックを入れた要素を認定します。

   認定を確認するメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査を実行して、無効および欠落している構成データを特定する

スクリプト化された監査と適切なステータス監査を実行して、構成データ内の無効な情報や欠落している情報を特定します。これらの監査は、ビジネス機能、ビジネスアプリケーション、ソフトウェアモデル、およびライフサイクル情報のギャップを見つけるのに役立ちます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて

スクリプト化された監査を実行することで、他の構成アイテムとの関係にギャップがあるレコードを特定できます。次の関係を確立する際にこのようなギャップがあると、ビジネス機能とそれらが関連付けられているビジネスアプリケーションを現実的に評価することができません。

- ビジネス機能とビジネスアプリケーションの間
- ビジネスアプリケーションとソフトウェアモデルの間
- ライフサイクルデータがないソフトウェア製品

sn_apm.apm_admin ロールを持つユーザーは、ビジネスアプリケーションを評価して、企業のビジネス機能を推定および評価するために、すべての構成アイテムを適切に関連付ける必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > 適切な状況の監査 またはスクリプト化された監査。
2. 監査名をクリックします。
3. [監査を実行] をクリックします。

   監査の実行は、次を行う際に役立ちます。

   - それぞれの基準に一致するレコードを特定する。
   - レコードの不一致に対処するタスクを作成する。
   - ギャップの解決やデータ認定のために、メール通知を通じて IT ビジネスアプリケーション、ソフトウェアモデル、およびビジネス機能のオーナーに連絡する。

   これらの通知への対処を容易にしてアプリケーションデータにアクセスするアプリケーション、IT ビジネスアプリケーションオーナー、ソフトウェアモデルオーナー、およびビジネス機能オーナーには、sn_apm.apm_user ロールが付与されます。このロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます: コンプライアンス > 自分の後続タスク をクリックしてデータを更新します。

   ライフサイクルデータがないハードウェアモデル

   スクリプト化された監査は、ライフサイクルデータを持たないが、アプリケーションサービスによって使用され、ビジネスアプリケーションに関連するハードウェアモデルのレコードを取得します。監査によってタスクが生成され、ハードウェアモデルオーナーにメール通知が送信されます。

   > **注:** システムは、ビジネスアプリケーションの本番インスタンスのライフサイクルデータのみを確認します。つまり、開発インスタンスやテストインスタンスなどの非本番インスタンスは考慮されません。

   ライフサイクルデータがないソフトウェア製品

   スクリプト化された監査は、ライフサイクルタイプ、そのフェーズ、ライフサイクルフェーズの開始日と終了日、リスクなどのライフサイクルデータを持たないビジネスアプリケーションが使用するすべての製品バージョンについて、そのソフトウェア

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルレコードを取得します。監査によってタスクが生成され、ソフトウェアモデルオーナーにメール通知が送信されます。

> **注:** システムは、ビジネスアプリケーションの本番インスタンスのライフサイクルデータのみを確認します。つまり、開発インスタンスやテストインスタンスなどの非本番インスタンスは考慮されません。

孤立したビジネス機能 (Orphaned Business Capabilities)

スクリプト化された監査は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、親機能または子機能を持たない機能、および関連付けられたビジネスアプリケーションがない機能を確認します。タスクが作成され、アサインされたタスクがビジネス機能のオーナーにメールで通知されます。

同じ階層にある複数のビジネス機能に関連するビジネスアプリケーション (Business applications related to multiple business capabilities in the same hierarchy)

スクリプト化された監査は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、同じビジネスアプリケーションが階層の同じレベルにある複数のビジネス機能に関連付けられている可能性を確認します。たとえば、BA1 が Cap 1.1.2 に関連付けられていて、Cap 1.1.2.1 にも関連付けられている状況です。ビジネス機能 [cmdb_ci_business_capability] テーブルから機能の階層レベルを把握できます。

いずれのソフトウェアモデルにも関連しないビジネスアプリケーション (Business applications not related to any software model)

監査は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、どのソフトウェアモデルにも関連していないビジネスアプリケーションを確認します。スクリプト化された監査では、ビジネスサービスの本番インスタンスのみが考慮されます。通知が IT アプリケーションオーナーに送信されます。

> **注:** システムはビジネスアプリケーションの本番インスタンスのみを確認し、開発インスタンスやテストインスタンスなどの非本番インスタンスは考慮しません。

どのビジネス機能にも関連していないビジネスアプリケーション (Business applications not related to any business capability)

適切なステータスの監査は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、どのビジネス機能にも関連していないビジネスアプリケーションを確認します。

どの情報オブジェクトにも関連していないビジネスアプリケーション

適切なステータスの監査は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで、どの情報オブジェクトにも関連していないビジネスアプリケーションを確認します。関連のないビジネスアプリケーションが見つかった場合は、IT アプリケーションオーナーに通知が送信されます。

関係属性でキャプチャされないビジネスアプリケーションと情報オブジェクトの関係

適切なステータスの監査は、CI 関係属性 [cmdb_rel_attributes] テーブルで、ビジネスアプリケーションと情報オブジェクト間の CI 関係を確認します。関係属性が見つからない場合は、ビジネスオーナーに通知が送信されます。

ビジネスアプリケーションと情報オブジェクトの関係でキャプチャされない CRUD 情報

適切なステータスの監査は、CI 関係属性 [cmdb_rel_attributes] テーブルで、ビジネスアプリケーションと情報オブジェクト間の CI 関係を確認します。関係属性が見つかっても CRUD の修飾子プロパティ情報が空の場合、ビジネスオーナーに通知が送信されます。

どのビジネスアプリケーションにも関連していない情報オブジェクト

適切なステータスの監査は、情報オブジェクト [cmdb_ci_information_object] テーブルで、どのビジネスアプリケーションにも関連していない情報オブジェクトを

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

確認します。このような監査はオンデマンドで実行できます。関連していない情報オブジェクトが見つかった場合は、[アサイン先] フィールドに記載されている情報オブジェクトのオーナーに通知が送信されます。

また、オンデマンドまたは四半期ごとのいずれかで認定スケジュールが実行されるたびに、エンタープライズアーキテクチャ ホームページに通知が表示されます。実行された認定スケジュールごとに、対応する通知エントリがホームページに表示されます。通知には、100% 完了していないオープンの認定インスタンスが表示されます。逆に、ホームページセクションには、100% 完了していて、まったく生成されていない認定インスタンスは表示されません。

現在の日付および今後 90 日以内に高リスクおよび中リスクになるソフトウェアモデルに関する通知も表示されます。本番インスタンスに関連するビジネスアプリケーションに関連付けられたソフトウェアモデルのリスク要因のみが考慮されます。通知をクリックして、ソフトウェアモデルテーブルから関連レコードを開きます。

スクリプト化された適切なステータス監査の結果は、Application Portfolio Management ホームページの [通知] セクションにも投稿されます。通知をクリックして関連タスクまたは関連データ認定タスクを開きます。

登録時にアプリケーションを分類するための類似性ソリューションを エンタープライズアーキテクチャ トレーニングします

Predictive Intelligence for エンタープライズアーキテクチャ に含まれるビジネスアプリケーションの類似性定義をトレーニングして、ビジネスアプリケーションが登録またはオンボーディングされているとき、ビジネスアプリケーションのカテゴリを提案します。

始める前に

エンタープライズアーキテクチャ – 予測インテリジェンスプラグイン (com.snc.apm.predictive_intelligence) がアクティブ化されていることを確認します。

必要なロール：ml_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション定義.
2. 類似性定義 [ML ビュー] で、ビジネスアプリケーションの類似性 (ml_sn_sn_apm_ml_global_ba_similarity) ラベルをクリックします。
3. 類似性定義ビジネスアプリケーションの類似性 [ML ビュー] フォームで、ビジネスアプリケーションの類似性のデフォルト値を確認します。

   類似性定義フォームフィールドの詳細については、「類似ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。

   注: フォームを編集するには、アプリケーションスコープを [エンタープライズアーキテクチャ - 予測インテリジェンス] に設定します。表示される警告メッセージの最後にある単語をクリックします。

類似性定義フォーム

フィールド	定義
ラベル	類似性定義の一意の名前。
ワードコーパス	システムがテキストの類似性に基づいてインスタンスレコードを比較する際に、語彙として使用する、ビジネスアプリケーションの名前や説明に関連する単語およびフレーズのコレクション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	定義
処理言語	ソリューション定義でトレーニングしているデータセットの主要言語。データセットの言語がイタリア語の場合は、[イタリア語] を選択します。 注: デフォルトでは、すべてのデータセットに英語の処理が適用されます。
ストップワード	ソリューションに関連する既存のワードコーパス。リストにストップワードを追加することもできます (例：Application など)。
トレーニング頻度	1 日 1 回または 30 日に 1 回、3 か月単位で最大 180 日まで再トレーニングするためのオプション。
更新頻度	類似性結果の取得に使用するデータのリフレッシュ頻度。

4. [更新 **&** 再トレーニング] をクリックします。

次のタスク
予測をトリガーするビジネスアプリケーションの名前と説明に関連する単語やフレーズを使用して、類似性ソリューションを作成できます。また、機械学習ソリューションのトレーニング頻度を設定して、既存のレコードを収集し、類似性定義の新しいレコードと比較することもできます。

類似性ソリューションを使用して、オンボーディング中にアプリケーションを分類します。

類似のビジネスアプリケーションに基づいてアプリケーションカテゴリを提案する

類似のビジネスアプリケーションを検索してアプリケーションカテゴリを提案するために、類似のビジネスアプリケーションソリューション定義のトレーニング手順を説明するガイド付きテンプレートを使用します。

始める前に
必要なロール：piwb_manager

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンスワークベンチ > **Use Cases** (ユースケース) > テンプレートから新規作成.
2. [類似のビジネスアプリケーション] テンプレートを選択します。
3. [開始] をクリックします。
   [ユースケースセットアップ] ページが開いて、ユースケースの名前と説明が表示されます。
4. [移動 **(Take me there)**] をクリックします。
   [ServiceNow 機械学習ソリューション] ページが開き、利用可能なすべてのソリューションが表示されます。
5. 類似性ソリューションを展開して、利用可能なソリューション定義を表示します。

   類似のビジネスアプリケーションを検索するための類似性ソリューションを構成またはトレーニングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 類似のビジネスアプリケーションソリューション定義 (ml_sn_sn_apm_ml_global_ba_similarity) を構成するには、[構成] をクリックします。
- 類似のビジネスアプリケーションソリューション定義 (ml_sn_sn_apm_ml_global_ba_similarity) をトレーニングするには、[トレーニング] をクリックします。詳細については、「登録時にアプリケーションを分類するための類似性ソリューションを エンタープライズアーキテクチャ トレーニングします」を参照してください。

リスク計算をカスタマイズするスクリプトを構成する

リスクが次のレベルに上昇する拡張ポイントでリスク計算スクリプトを構成します。このような構成では、リスクエンジンはリスク計算のデフォルトロジックを無視し、カスタムロジックを検索します。

始める前に

必要なロール：script_include_admin

このタスクについて

API 拡張ポイントは 3 つあり、スクリプトに基づいてリスクが次のレベルに上昇します。

以下のレベルでスクリプトを構成できます。

- sn_apm.productModelCustomRiskCalculation – リスクパラメーターレベルから製品モデル (ハードウェアモデルとソフトウェアモデル) リスクレベル：リスクがリスクパラメーターレベルから製品モデルリスクレベルに上昇するレベル。
- sn_apm.AppBusinessServicesCustomRiskCalculation – 製品モデルリスクレベルからアプリケーションサービスリスクレベル：製品モデルリスクレベルからアプリケーションサービスリスクレベルにリスクが上昇するレベル。
- sn_apm.BusinessApplicationCustomRiskCalculation – アプリケーションサービスリスクレベルからビジネスアプリケーションリスクレベル：アプリケーションサービスリスクレベルからビジネスアプリケーションリスクレベルにリスクが上昇するレベル。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムの拡張点 > スクリプト済みの拡張点.
2. [アプリケーション] 列で Application Portfolio Management アプリケーションをフィルタリングします。
3. API 名をクリックします。
4. [実装] セクションまで下にスクロールし、拡張ポイントをクリックします。
5. [クラス] フィールドの横にある [このレコードをプレビューします] アイコン ( ) をクリックします。
6. [スクリプトインクルード] ポップアップで、[レコードを開く] ボタンをクリックします。

   デフォルトでは、この関数の sys_id は各 API 名について **False** を返し、リスクエンジンは APM ロジックに従ってリスクを計算します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクを計算するカスタムスクリプトを構成する (例：**sn_apm.AppBusinessServicesCustomRiskCalculation)**

```
var productModelCustomRiskCalculation = Class.create();
productModelCustomRiskCalculation.prototype = {
    initialize: function() {},

    useCustomRiskForProductModel: function(productModelSysID) {
        return false;
    },

    /*
    productModelJson formats is as follows:
        {
            'productType'      : 'software_model/hardware_model',

            'riskParamJson' : { 'riskParamSysID1' : 'riskValue',
                                'riskParamSysID2' : 'riskValue',
                                'riskParamSysID3' : 'riskValue',
                                'riskParamSysID4' : 'riskValue'
                              }
        }
    */
    getProductModelRisk: function(productModelSysID, productModelJson) {
    },

    type: 'productModelCustomRiskCalculation'
};
```

7. 製品モデルレベル、アプリケーションサービスレベル、またはビジネスアプリケーションレベルで API の sys_id に基づいて **True** を返すように関数を構成します。

   その後、リスクエンジンはカスタムロジックの API を呼び出し、このロジックに沿ってリスクを計算します。これにより、次の上位レベルでリスク計算が実行されます。

8. [更新] をクリックします。

スケジュール済みジョブを実行してリスク値を生成する

製品モデルとビジネスアプリケーションのリスクは時間に依存します。外部および内部のライフサイクルに基づいて、リスクは毎日変化するため、リスクは毎日計算する必要があります。ソフトウェアモデルとビジネスアプリケーションのリスクを計算する、毎日実行されるスケジュール済みジョブが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

> **重要:**
>
> Xanadu リリース以降、レガシー テクノロジーポートフォリオ管理モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、引き続き レガシー テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 レガシー テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールは使用できません。
>
> エンタープライズアーキテクチャワークスペース内でテクノロジーポートフォリオ管理ストアアプリケーションを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
製品モデルのリスクを計算するには、**[TPM** リスクパラメーターのロードとアプリケーションサービスリスクの計算] スケジュール済みジョブを毎日実行する必要があります。スケジュール済みジョブは、アプリケーションサービスリスク値を生成するスクリプトを実行します。必要に応じてスクリプトで時間を設定できます。バックエンドジョブを実行して、アプリケーションリスクのリアルタイムステータスを取得し、リスクデータをビジネスアプリケーションリスクテーブルに保存します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. **[TPM** リスクパラメーターのロードとアプリケーションサービスリスクの計算] スケジュール済みジョブを選択します。

   > **注:**
   >
   > このジョブは、デフォルトでは非アクティブです。[アクティブ] チェックボックスをオンにすると、スケジュール済みジョブがスケジュールされた時間に実行されます。

3. **[Execute Now** (今すぐ実行する)] をクリックします。

   a. スクリプトで時間を設定するには、次に移動します: システムスケジューラ > スケジュール済みジョブ > スケジュール済みジョブ.
   ジョブがアクティブな場合は、ジョブを実行する時間をスケジュールできます。

   b. [*Load TPM Risk Parameters and compute Bus*] を選択します。

   c. [ジョブ定義を構成] 関連リンクをクリックします。

   d. 上部パネルのリンクをクリックして、レコードを編集します。

   e. [今すぐ実行する] をクリックします。

   スケジュール済みジョブを実行した後、エンジンはリスク値をビジネスアプリケーションリスク [sn_apm_tpm_business_application_risk] テーブルに自動的に保存します。ジョブの実行後に、毎回テーブルの値が更新されます。

   f. 次のように移動する。 エンタープライズアーキテクチャ > **Technology Portfolio Management** (テクノロジーポートフォリオ管理) **(TPM)** > ビジネスアプリケーションリスク値.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. テーブル内の各ビジネスアプリケーションのリスクレコードを表示します。

リスク値は次のとおりです。

高

1 つまたは複数の関連付けられたアプリケーションサービスが高リスクです。

中

1 つまたは複数の関連付けられたアプリケーションサービスが中リスクです。

低

1 つまたはすべての関連付けられたアプリケーションサービスが低リスクです。

未評価

ビジネスアプリケーションにアプリケーションサービスが関連付けられていないか、関連付けられたアプリケーションサービスが本番タイプではありません。

タスクの結果

TPM リスクエンジンは、リスクパラメーターをロードして実行し、リスクパラメータースコア、ソフトウェアモデルリスク値、ハードウェアモデルリスク値、およびアプリケーションサービスリスク値を生成します。

次のタスク

次のテーブルに移動して、リスク値とスコアを表示します。

- 次のように移動する。 エンタープライズアーキテクチャ > **Technology Portfolio Management** (テクノロジーポートフォリオ管理) **(TPM)** > リスクパラメータースコア をクリックして、リスクパラメーターのスコアを表示します。
- 次のように移動する。 エンタープライズアーキテクチャ > **Technology Portfolio Management** (テクノロジーポートフォリオ管理) **(TPM)** > ハードウェアモデルのリスク値 をクリックして、ハードウェアモデルのリスクを表示します。
- 次のように移動する。 エンタープライズアーキテクチャ > **Technology Portfolio Management** (テクノロジーポートフォリオ管理) **(TPM)** > ソフトウェアモデルのリスク値 ソフトウェアモデルのリスクを表示します。
- 次のように移動する。 エンタープライズアーキテクチャ > **Technology Portfolio Management** (テクノロジーポートフォリオ管理) **(TPM)** > アプリケーションサービスリスク値 アプリケーションサービスのリスクを表示します。

ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、ハードウェア、およびソフトウェアモデルのリスク値は、技術ポートフォリオ管理タイムラインに表示されます。

アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) クラウドアセスメントアプリケーションをインストール

APM クラウドアセスメントアプリケーション (app-apm-cloud-readiness) を ServiceNow Store からインストールします。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. [ServiceNow Store] に移動します。
2. アプリケーションポートフォリオ管理 クラウドアセスメントアプリケーションを検索します。
3. アプリケーションタイルをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションに関する詳細情報を表示できます。

注: 該当する場合は、[要件] および [依存関係] セクションを読むことを検討してください。

4. [取得] をクリックし、Now Support ログイン資格情報を入力します。
5. [購入] をクリックします。
6. インスタンスの [インスタンス名] と [理由] を入力し、[インスタンスを検証] をクリックします。
7. [要求] をクリックします。

   詳細なインストール手順が記載されたメールが届きます。
8. アプリケーションポートフォリオ管理 クラウドアセスメントをインストールするインスタンスにログインします。
9. システムに移動 アプリケーション > アプリケーション.
10. アプリケーションを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。

次のタスク

ビジネスアプリケーションを追加または編集して、クラウドアセスメント採点プロファイルをビジネスアプリケーションに割り当てることができます。採点プロファイルを適用した後、定期的にアプリケーションスコアを計算するためのジョブをスケジュールします。また、すべてのアプリケーションスコアを表示し、アプリケーションスコアをバブルチャートで分析できます。

アプリケーションスコアを計算するためのジョブをスケジュールする

アプリケーションとインジケーターのスコアを定期的に計算するには、*Load Application Indicators and compute Application Scores* スケジュール済みジョブを有効にします。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

このジョブは、すべてのインジケーターのスコア、これらのインジケーターがアタッチされている採点プロファイル、これらの採点プロファイルに関連付けられているビジネスアプリケーションを再計算します。

ジョブは、インジケーターフォームの [頻度] フィールドに設定された期間に従って、インジケーターのスコアを生成します。ジョブは、頻度として設定された会計期間の最終日にスコアを生成します。つまり、会計期間の最終日にのみ、スコアが生成されます。

たとえば、[機能適合性] インジケーターの [頻度] オプションが月次に設定された場合、このインジケーターのスコアはその月の最終日に生成されます。**[CSAT]** インジケーターに設定された頻度が四半期の場合、CSAT のスコアはその四半期の最終日に生成されます。同様に、[ビジネス価値] インジケーターの頻度が年次に設定されている場合、スコアはその年の最終日に生成されます。

注: 頻度が年次の場合、インジケーターのスコアはその年の最終日に生成されます。さらに、その年の最後の四半期と最後の月のスコアも生成されます。これらにも、スコアが生成される年の最終日が含まれます。

ただし、特定の期間のいずれかの日付にオンデマンドでスコアを生成する場合は、特定のインジケーターのインジケーターフォームにある [インジケータースコアを再生成] オプションを使用してスコアを生成できます。このアクションは、既存のスコアを更新するのではなく、既存のスコアを削除して新しいスコアを生成します。参照：「アプリケーションを評価するためのインジケーターを作成または編集する」。また、採点プロファイルフォームの [スコアを再生成] オプションを使用して、その採点プロファイルにアタッチされているすべてのインジケーターのスコアを生成することもでき

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。参照：「アプリケーションスコアプロファイルの作成およびプロファイルインジケーターのアタッチ」。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. *Load Application Indicators and compute Application Score* スケジュール済みジョブを検索して選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「スクリプトの実行を予定フォーム」を参照してください。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
5. [今すぐ実行する] をクリックします。
   ジョブはスケジュール済みの日時に実行されます。

次のタスク
ジョブの実行内容と、アセスメントフレームワークがアプリケーションスコアを正規化する方法を理解します。

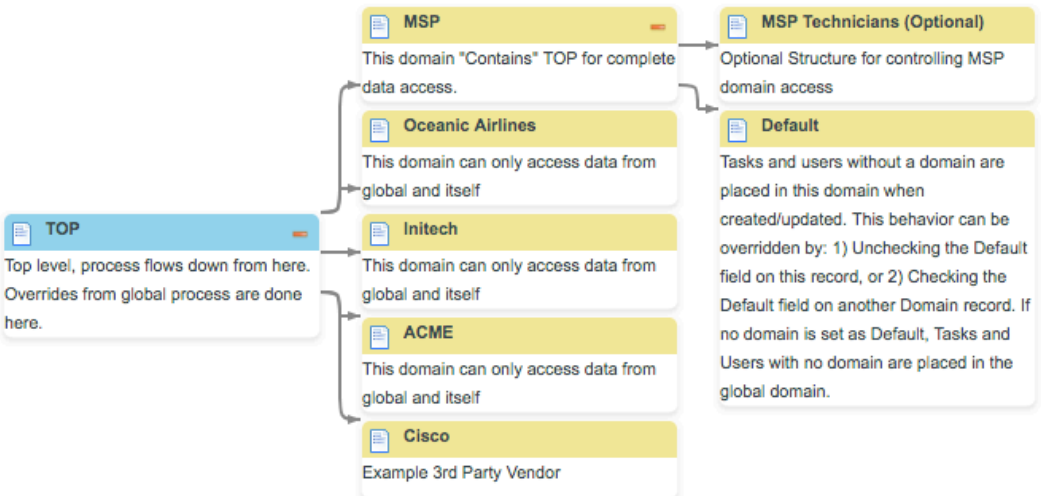
エンタープライズアーキテクチャユーザーのドメインセパレーションの設定

エンタープライズアーキテクチャ は、マネージドサービスプロバイダー (MSP) のドメインセパレーションをサポートし、各顧客の機密データを保護します。この保護は、ある顧客のビジネスアプリケーションデータを別の顧客が表示できないことを確実にし、ドメイン内のデータも保護します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて

ドメインマップのサンプルの図



手順

1. Domain Support – Domain Extensions Installer システムプラグインをインストールして、エンタープライズアーキテクチャのドメインセパレーション機能を有効にします。
2. 各ドメインレベルで管理者ロールを作成します。

   管理者は、スケジュール済みジョブのみを構成して実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

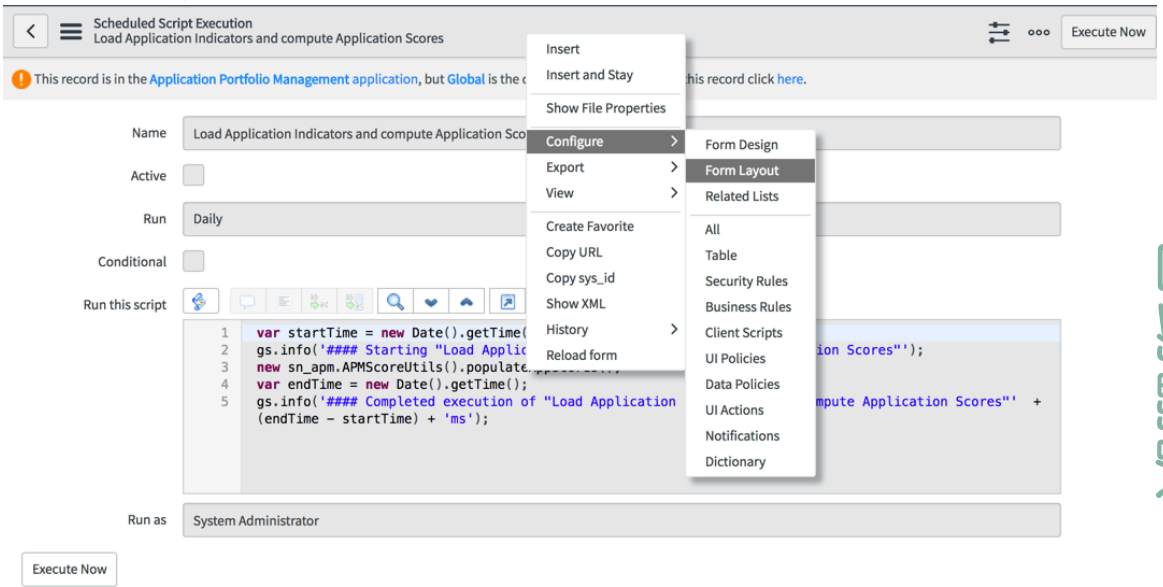
3. 企業に固有のすべてのアプリケーションポートフォリオデータエンティティを、グローバルレベルではなく、ドメイン内で作成します。
4. ドメインレベルでインジケーターを作成します。

   グローバルレベルで作成したり、親レベルの下で各顧客のインジケーターを再利用したりしないでください。データはグローバルレベルでは表示されません。

5. ユーザーが所属する企業のデータのみを表示できるように、ユーザーグループを作成し、ドメインレベルでユーザーにロールをアサインします。
6. ドメインセパレーションされたデータに対してジョブを実行します。

   別のユーザーとして実行 (Run as) ロールを使用して、スケジュール済みジョブ、認定スケジュール、インジケーターとスコアのアセスメントをドメインレベルで実行できます。スクリプトの実行を予定フォームのレイアウトを構成して、コンテキストメニューから [別のユーザーとして実行 **(Run as)]** フィールドを追加します。

スケジュール済みジョブ



CMDB クエリビルダーレポートのスケジュール済みジョブの実行

CMDB クエリーに対して、スケジュールされた時刻または繰り返しのスケジュールで実行するジョブをスケジュールします。このアクションは必ずグローバルスコープで実行してください。

始める前に

必要なロール： sys_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. 関連するスケジュール済みジョブを検索してクリックします。
3. [実行] フィールドで、スケジュール済みジョブの実行頻度を選択します。
4. [今すぐ実行する] をクリックします。

   注: システム管理者として、これらのスケジュール済みジョブをグローバルスコープからのみ実行する必要があります。

   ベースシステムが提供する、次の CMDB クエリビルダーレポートのスケジュール済みジョブを選択して実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネスアプリケーションによって提供されるビジネス機能
- ビジネスアプリケーションによって使用されるアプリケーションサービス
- ビジネス機能を提供するビジネスアプリケーション
- ビジネス機能によって提供されるビジネスサービス
- 情報オブジェクトを使用するビジネスアプリケーション
- ビジネスアプリケーションによって使用される情報オブジェクト
- ビジネスアプリケーションのデマンド
- ビジネスアプリケーションのプロジェクト

TPM ライフサイクルデータを生成するジョブをスケジュールする

*Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles*スケジュール済みジョブを有効にして、テクノロジーライフサイクルリスクを定期的に計算します。

始める前に
必要なロール：admin

> **注:** ソフトウェア製品のデータは、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムスケジューラー > スケジュール済みジョブ > スケジュール済みジョブ.
2. *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles*スケジュール済みジョブを見つけて選択します。
3. [次のアクション] フィールドで、ジョブを実行する日時を選択します。
4. [更新] をクリックします。

タスクの結果
ジョブは、TPM ライフサイクルデータを生成するためにスケジュールどおりに実行されます。

> **注:** オンデマンドでジョブを実行することもできます。詳細については、「スケジュール済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する」を参照してください。

スケジュール済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する

スケジュール済みジョブを実行して、テクノロジーポートフォリオのテクノロジーライフサイクルデータをフェッチします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
テクノロジーポートフォリオのテクノロジーライフサイクルデータをフェッチするスケジュール済みジョブ *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles* が作成されます。このジョブをオンデマンドで実行して、技術ライフサイクルリスクを計算できます。スケジュール済みジョブは、ソフトウェアおよびハードウェアモデルのサポート終了日、延長サポート終了日、提供終了日などのライフサイクルリスク日付を生成するスクリプトを実行します。

> **注:** ソフトウェア製品のデータは、ソフトウェア資産管理 (SAM) 基盤またはソフトウェア資産管理 (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. スケジュール済みジョブ *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles*を見つけて開きます。
3. [今すぐ実行] を選択します。

タスクの結果
スケジュール済みジョブの実行後、エンジンはテクノロジーとライフサイクルの値を TPM テクノロジーライフサイクル [sn_apm_tpm_technology_lifecycle] テーブルに自動的に格納します。ジョブの実行後に、毎回テーブルの値が更新されます。

次のタスク
スケジュール済みジョブのステータスを確認するには、TPM 検出済みテクノロジーの実行ログ [sn_apm_tpm_discovered_technology_run_log] テーブルを参照してください。テクノロジーライフサイクル情報を表示するには、「TPM テクノロジーライフサイクル [sn_apm_tpm_technology_lifecycle] 」表を参照してください。[ポートフォリオ>テクノロジーポートフォリオ管理>ログ] ページで結果を表示できます。

TPM テクノロジーリスクを生成するジョブをスケジュールする

Populate Technology Lifecycle Risks スケジュール済みジョブを実行して、TPM テクノロジーライフサイクルリスクを生成し、結果を TPM テクノロジーライフサイクルリスク [sn_apm_tpm_technology_risk] テーブルに入力します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
スケジュール済みジョブは、テクノロジーライフサイクルリスク (sn_apm_tpm_technology_risk) テーブルの月タイプの会計期間のビジネスアプリケーション (BA)、アプリケーションサービス (AS)、ソフトウェア製品、およびハードウェアモデルのリスクスコアを入力します。

ソフトウェア製品とハードウェアモデルのスコアは、ライフサイクルの日付 (EOS、EOES、EOL) に基づいて計算されます。ここでの最大スコアは 100 です。関連するソフトウェアとハードウェアのリスクスコアの合計が、アプリケーションサービスのリスクスコアです。また、関連するアプリケーションサービスのリスクスコアの合計は、ビジネスアプリケーションのリスクスコアと見なされます。

これらのリスクスコアは、TPM ガントチャートのリスク列に表示されます。ビジネスアプリケーションの同じスコアが、会計期間のテクノロジーライフサイクルリスクインジケータースコアを計算するためのアプリケーションの重み付けとして機能します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムスケジューラー > スケジュール済みジョブ > スケジュール済みジョブ.
2. *Populate Technology Lifecycle Risks*スケジュール済みジョブを見つけて選択します。
3. [今すぐ実行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズアーキテクチャ(旧アプリケーションポートフォリオ管理)の使用

エンタープライズアーキテクチャ の機能を使用して、ビジネスアプリケーションのインベントリを特定し、測定基準を収集してアプリケーションを測定し、使用状況を評価して、アプリケーションの保守、置き換え、または廃止を決定する方法を学びます。

ビジネスアプリケーションの追加または編集

[ビジネスアプリケーション] フォームを使用して、アプリケーションが実行する機能とビジネスプロセスに基づいて、組織で使用するアプリケーションを追加します。エンタープライズアーキテクチャで、コスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクの評価と追跡の対象にするビジネスアプリケーションを追加します。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来のビジネスアプリケーションモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のビジネスアプリケーションモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のビジネスアプリケーションモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「ビジネスアプリケーションの追加または編集」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャユーザーロール (sn_apm.apm_user) を持っている場合は、ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスを使用して、ビジネスアプリケーションを要求、追加、または廃止します。
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. [新規] を選択して新しいアプリケーションを追加するか、編集する既存のアプリケーションの名前を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ビジネスアプリケーションフォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] を選択します。
5. CI 関係エディターを使用してビジネスアプリケーションをアプリケーションサービスに関連付けるには、[関連アイテム] セクションの [CI 関係を追加] (+) アイコンを選択します。
6. ビジネスアプリケーションのロードマップとその関連データを表示するには、[アプリケーションロードマップを表示] を選択します。
   ビジネスアプリケーションのロードマップを表示するには、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをアクティブ化する必要があります。
7. ビジネスアプリケーションの利用可能な重要な情報をすべて取得するには、[アプリケーション 360] を選択します。
8. 前の期間のアプリケーションコストを把握し、アプリケーションコストを総支出に対する割合として管理し、将来の傾向を判断し、費用対効果の高いビジネスアプリケーションを提供するには、[アプリケーション **TCO**] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「アプリケーション TCO」を参照してください。

注:

アプリケーション TCO ダッシュボードへのリンクは、事前設定された ビジネスアプリケーション原価計算 コストモデルを使用する場合に機能します。この統合は、 エンタープライズアーキテクチャ プラグイン (com.snc.apm) と APM のファイナンシャルマネジメント (com.snc.financial_management_for_apm) プラグインを有効にすると機能します。デフォルトでは、パフォーマンスアナリティクス – コンテンツパック – エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.pa.apm) プラグインは、 エンタープライズアーキテクチャ プラグイン (com.snc.apm) の有効化の一部として有効になります。

ファイナンシャルマネジメント fまたは APM (com.snc.financial_management_for_apm) プラグインについては、いずれかのパートナーストアアプリにお問い合わせください。ServiceNow 実装パートナーがパートナーストアアプリの詳細をお手伝いします。

9. ビジネスアプリケーションのデマンドを上げるには、[デマンドの作成] を選択します。
開かれたデマンドフォームで、関連するビジネスアプリケーションが [ビジネスアプリケーション] フィールドに入力されます。
10. ビジネスアプリケーションに関連付けられたソフトウェアモデルを取得するには、[テクノロジーモデルの管理] を選択します。
また、スケジュール済みジョブが最後に実行されたときにソフトウェアモデル提案エンジンが取得したソフトウェアモデルのログも取得されます。
11. ビジネスアプリケーションのタイムラインビューに移動し、関連するすべてのエピック、ストーリー、機能拡張、その他のストーリー、プロジェクト、およびデマンドのタイムラインを表示するには、[他のアクション] アイコン ( ) を選択し、[アプリケーションバックログを表示] ボタンを表示するように UI アクションを構成します。

    ボタンを選択すると、タイムラインの アプリケーション バックログ ビューに移動します。

    このタイムラインビューの詳細については、「アプリケーションバックログビュー」を参照してください。

次のタスク
ビジネスアプリケーションを完全に表示するには、 アプリケーション 360 ダッシュボードを選択します。

ビジネスアプリケーションロードマップの表示

アプリケーションロードマップのグラフィカルで包括的な概要を使用して、ビジネスアプリケーションへの投資を表示します。

始める前に
注: PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをアクティブ化して、ビジネスアプリケーションロードマップを表示します。

投資ポータルビューを機能させるには、プロジェクトとデマンドをビジネスアプリケーションに関連付ける必要があります。

必要なロール：it_project_manager and sn_apm.apm_user

このタスクについて
アプリケーションロードマップを表示すると、ビジネスアプリケーションの投資ポータルに移動します。このポータルは エンタープライズアーキテクチャ 専用です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のオプションのいずれかを使用して、アプリケーションロードマップに移動します。

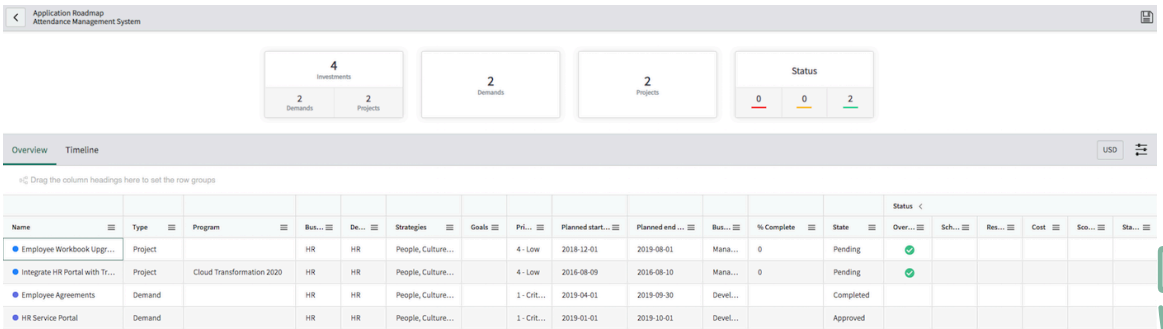
   - 特定のビジネスアプリケーションのロードマップを表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.

     a. ビジネスアプリケーションの名前をクリックして、フォームビューで開きます。

     b. [アプリケーションロードマップを表示] ボタンをクリックして、ポータル内のビジネスアプリケーションレコードとそのすべての投資の詳細を開きます。

   - 所有しているアプリケーションのロードマップを表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > 自分のアプリケーションのロードマップ.

   投資ポータルのアプリケーションロードマップ



2. トップパネルのウィジェットを使用して、次の詳細を表示します。
   - ビジネスアプリケーションで計画されている投資の合計数。プロジェクトとデマンドの数も個別に示されます。
   - 現在および将来の会計年度で、ビジネスアプリケーションに影響を与えるプロジェクトおよびデマンドの合計数。
   - 高、中、低のリスクを示す赤、黄、緑に色分けされたプロジェクトおよびデマンドのステータス。

3. ポータルでビューを構成するには、構成ウィジェット ( ) をクリックします。

   a. アイテム列のチェックボックスをオンにして、必要な列を追加します。
   ポータルビューから列を削除するには、チェックボックスをオフにします。

4. 構成を保存するには、[保存] アイコン ( ) をクリックします。
   この設定は、次回投資ポータルを開いてアプリケーションロードマップを表示したときに反映されます。この設定は、構成対象の元のビジネスアプリケーションだけでなく、開いている他のビジネスアプリケーションに対しても保持されます。

5. [概要] タブを使用して、以下を表示します。
   - アプリケーションが関連付けられているプロジェクトとデマンドの名前。
   - プロジェクトとデマンドが属しているプログラム。プロジェクトとデマンドは、プロジェクトに関連付けられている場合もあれば、関連付けられていない場合もあります。
   - プロジェクトとデマンドがアタッチされている事業部門。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロジェクトとデマンドがサポートするビジネス機能。
- プロジェクトとデマンドの戦略と目標。
- 開始予定日と完了予定日。
- プロジェクトとデマンドの全体的なステータス。

6. ポータルの [タイムライン] タブを使用して、以下でタイムラインを表示します。
   - グリッドビュー。開始日と終了日、考えられるリスク、および問題を表示します。
   - ガントビュー。プロジェクトとデマンドのスケジュールを示します。

関連情報

ビジネスアプリケーションの追加または編集

アプリケーション状況ダッシュボードでビジネスアプリケーションを監視する

提案されたテクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付ける

アプリケーションオーナーは、ソフトウェアモデル提案エンジンを実行してソフトウェアモデルをフェッチできます。これらのモデルは、手動でマッピングせずに、アプリケーションサービスに関連付けることができます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、テクノロジーポートフォリオ管理モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、引き続き テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内でテクノロジーポートフォリオ管理ストアアプリケーションを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

エンタープライズアーキテクチャユーザーには、次のテーブルにアクセスするための読み取り専用権限があります。

- ハードウェア [cmdb_ci_hardware]
- ハードウェア モデル [cmdb_hardware_product_model]
- ハードウェアモデルのライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle]
- ソフトウェア検出モデル [cmdb_sam_sw_discovery_model]
- ソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install]
- ソフトウェア モデル [cmdb_software_product_model]
- ソフトウェアモデルのライフサイクル [sam_sw_model_lifecycle]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
   次のいずれかのオプションに従うことができます。
   - ビジネスアプリケーションの名前を右クリックし、[テクノロジーモデルの管理] オプションをクリックします。
   - ビジネスアプリケーションの名前をクリックして、フォームビューでレコードを開きます。次に、[テクノロジーモデルの管理] ボタンをクリックします。
2. [テクノロジーモデル取得ログ] リストでアプリケーションサービスレコードを右クリックします。
3. [製品モデルを取得] オプションをクリックします。
4. ビジネスアプリケーションが実行されているすべてのハードウェアモデルを取得するには、開かれている [製品モデルを取得] ポップアップで [ハードウェアモデルのみ] チェックボックスをオンにします。
   テクノロジーモデル提案エンジンは、ハードウェアモデルのみを取得します。
5. すべてのハードウェアとソフトウェアを取得するには、[ハードウェアおよびソフトウェアモデル] チェックボックスをオンにします。

   注:

   Software Asset Management Professional (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化すると、[ハードウェアおよびソフトウェアモデル] チェックボックスが表示されます。

   アプリケーションサービスに関連付けられているハードウェア製品モデルは、アプリケーションサービス用のハードウェアモデル [sn_apm_tpm_app_service_hardware_model] マッピングテーブルに一覧表示されます。テクノロジーモデル取得ログ [sn_apm_suggestion_engine_run_log] テーブルには、アプリケーションサービスが実行されているハードウェアモデルの数も一覧表示されます。アプリケーションサービスに関連付けられているソフトウェアモデルは、アプリケーションサービスソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_model] データベーステーブルに一覧表示されます。

   デフォルトでは、テクノロジーモデル提案エンジンは、ジョブの前回の実行以降に新しいソフトウェアがインストールされたハードウェアのみを確認します。ただし、エンジンが前回の実行に関係なくすべてのハードウェアを確認する必要がある場合は、すべてのインストールに対する確認を強制します。

6. ジョブの前回の実行までに行われた確認に関係なく、すべてのハードウェアを確認するには、[すべてのインストールの確認を強制] チェックボックスをオンにします。

   エンジンは、そのビジネスアプリケーションのさまざまなアプリケーションインスタンスを取得します。

   また、[すべてのインストールの確認を強制] オプションは、検出モデルとソフトウェアモデルの間のマッピングに差異がある場合に、更新されたソフトウェアモデルをスキャンして提案します。差異は、ソフトウェアモデルが手動または正規化ルールによって更新されたときに発生します。

7. **[OK]** をクリックします。

   [テクノロジーモデル取得ログ] リストでは、以下を表示できます。

   - [完了率] 列：アプリケーションサービスレコードに対応するエンジンの進捗状況。「`モデルを取得する Progress Worker が出席管理サービスに対して正常に送信されました (Progress Worker to Fetch models is submitted successfully for Attendance Management Service)`」というメッセージも上部に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [ソフトウェアモデルの提案数] 列：エンジンが提案するソフトウェアモデルの数。
- [ハードウェアモデルの数] 列：アプリケーションサービスが実行されているハードウェアモデルの数。

8. 選択したアプリケーションサービスの [ステータス] を確認します。

   [完了率] は 100% になっている必要があります。または、[情報] アイコン ( ) をクリックして、アプリケーションサービスのログステータスを表示します。

9. [テクノロジーモデル取得ログ] リストビューでアプリケーションサービスレコードをクリックします。

   [取得済みのソフトウェアモデル] タブには、テクノロジーモデル取得ビューでアプリケーションインスタンスの関連ハードウェアから取得された、すべてのソフトウェアモデルが一覧表示されます。また、エンジンがアプリケーションサービスとの関連付けを提案している、ソフトウェアモデルの総数と名前も確認できます。

10. ソフトウェアモデルの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択した 行のアクション] リストから [ソフトウェアモデルに関連付ける] アクションをクリックして、ソフトウェアモデルをアプリケーションサービスに関連付けます。

    ソフトウェアモデルのステータスが [関連付け済み **(Associated)]** に変わります。アプリケーションサービスソフトウェアモデルマッピングテーブルにレコードが作成されます。関連付けられたソフトウェアモデルは、[TPM タイムライン] ビューでも表示できます。

    ジョブを初めて実行したときは、抽出されたすべてのソフトウェアモデルのステータスが [新規 **(New)]** になります。ただし、提案されたソフトウェアモデルのステータスは、ジョブの前回の実行時に実行されたアクションに基づいて変更されます。

    ソフトウェアモデルリストの下にある [アクション] 選択リストで、アクションを選択できます。

    ソフトウェアモデルのステータスの詳細については、「ソフトウェアモデルのステータス」を参照してください。

11. [アプリケーションサービスソフトウェアモデル] タブをクリックして、アプリケーションサービスに関連付けられているソフトウェアモデルのリストを表示します。
    アプリケーションサービスソフトウェアモデルレコードを削除するには、削除対象としてマークするレコードを選択し、[選択した行のアクション] リストで [削除] をクリックします。アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付けるには、「アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付ける」を参照してください。

12. [アプリケーションサービス用のハードウェアモデル] タブをクリックして、アプリケーションサービスに関連付けられているハードウェア製品モデルを表示します。
    アプリケーションサービス用のハードウェアモデル [sn_apm_tpm_app_service_hardware_model] マッピングテーブルはこのデータを格納します。アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付けるには、「アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付ける」を参照してください。

ビジネス機能を評価する

インジケーターフレームワーク内でビジネス機能を評価し、スコアに基づいて、ビジネス機能をサポートするビジネスアプリケーションに関する戦略的意思決定を行うことができます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて

各ビジネスアプリケーションとビジネス機能には、構成アイテム (CI) として一意の ID があります。このような区別は、これらの独立した構成アイテム間の関係を確立する際に役立ちます。CI 関係

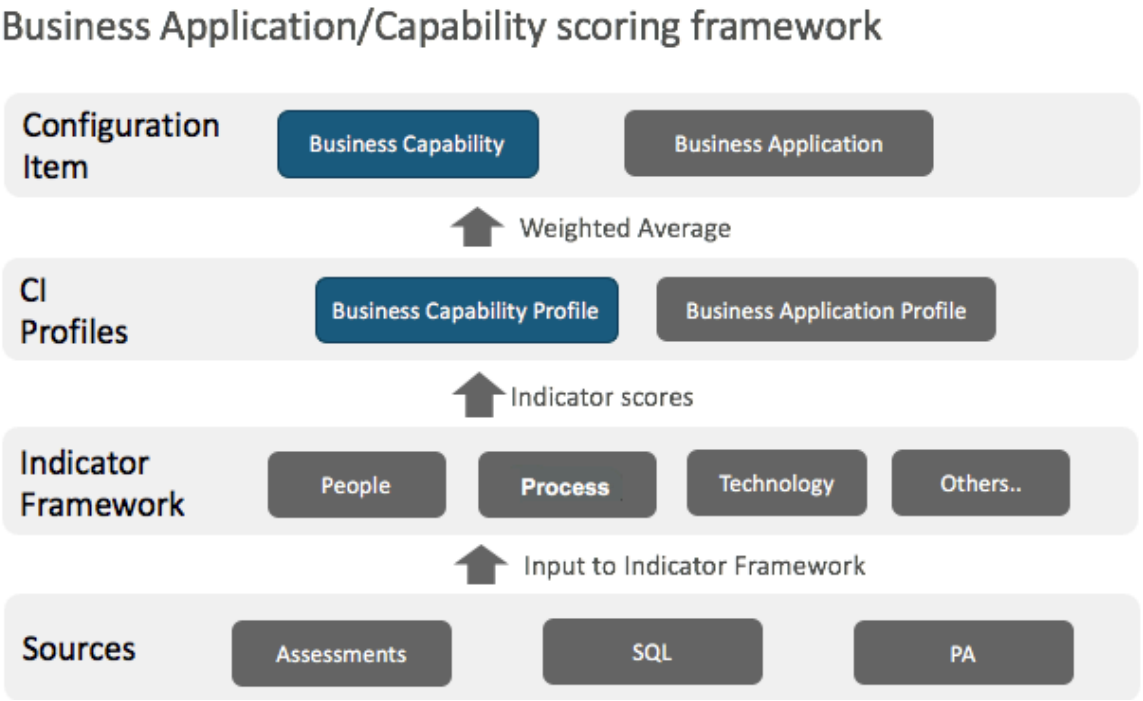
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、ビジネス機能とビジネスアプリケーション、およびビジネスアプリケーションとビジネス機能の間の親子関係を確立する際に役立ちます。

評価用の重み付けスコアを生成するには、構成アイテムを一連のインジケーターに関連付ける必要があります。人、プロセス、テクノロジーなどの事前に構成されたインジケーターは、ビジネス機能の評価に使用されます。

ビジネス機能スコアリングフレームワーク



インジケータースコアリングフレームワークは、ビジネスアプリケーションに加えてビジネス機能のスコアリングもサポートしています。このフレームワーク内では、人、プロセス、テクノロジーなどの事前に構成されたインジケーターと、ユーザーが作成したインジケーターが評価され、インジケータースコアが与えられます。ビジネスアプリケーションに対して、複数の採点プロファイルを作成できます。各採点プロファイルには、複数のインジケーターを含めることができます。ただし、機能に対しては、1 つの採点プロファイルのみを作成できます。複数の採点プロファイルは作成できません。

手順

1. CI 関係を作成するか、CMDB の CI 関係 を使用して既存の関係を編集します。
2. 次の事前に決定された CI 関係タイプを使用して、ビジネス機能とビジネスアプリケーションを関連付けます。

関係のタイプ

親	タイプ	子
ビジネス機能	Provided By::Provides	ビジネスアプリケーション
ビジネスアプリケーション	Provides::Provided by	ビジネス機能

注: ビジネス機能とビジネスアプリケーションはどちらも構成アイテムエンティティです。

機能テーブルの親列は、機能階層の作成に使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
ビジネス機能を作成し、CI 関係エディターを使用して、その機能をビジネスアプリケーションに関連付けます。

ビジネス機能を作成し、その機能をアプリケーションに関連付ける

ビジネス機能とは、アクティビティを実行して、ビジネス目標を達成するための組織の能力です。機能を作成して、組織の目標とビジネス機能を適合させます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来のビジネス機能モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のビジネス機能モジュールを引き続き使用できます。新しいアクティベーション ユーザーの場合、従来のビジネス機能モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「ビジネス機能の管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
ビジネス機能フォームを使用して、ビジネス機能を作成および更新します。リーフノードレベルで、新しい機能の追加、既存の機能の更新、機能の削除を実行する場合は、それに応じて、その階層内のすべての機能とリーフノードのレベルを更新する必要があります。[機能レベルと **HierarchyID** を更新] 関連リンクを選択して階層内のレベルを更新し、機能マップに更新が反映されるようにします。[リーフノード] フィールドと [レベル] フィールドは編集できませんが、リーフノードにあるケイパビリティのレベルと階層内の位置は表示できます。

機能を更新または削除するための条件は次のとおりです。

- 機能を追加すると、アタッチされている親機能のレベルに基づいて、階層内の新しい機能のレベルが自動的にアサインされます。
- 階層内で親機能が更新されると、そのすべての子機能のレベルが再計算されます。これ以外の場合であれば、機能の名前、説明、または親のみが更新されます。
- 機能の追加または更新中は、階層内のレベルの合計数が 6 を超えることはできません。たとえば、レベルには 0 ～ 5 を指定できます。0 はルートレベルです。
- リーフノードレベルにある機能のみを削除できます。つまり、独自の子機能を持たない機能を削除できます。
- 循環関係を作成しないでください。親機能を作成する際、子機能をその親にすることはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > ビジネス機能.

   に移動することもできます 組織 > ビジネス機能.

2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「ビジネスケイパビリティフォーム」を参照してください。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ルートつまりレベル 0 の機能が作成された場合、または機能の親フィールドが null に指定された場合は、階層 ID を再計算するために、ビジネス機能のレベル更新ジョブの実行を求めるメッセージが表示されます。

5. [階層 **ID**] フィールドを編集可能にするには、次に移動します: システムプロパティ > すべてのプロパティ.

   a. sys_propertiesリストで *use_business_capability_custom_hierarchy_id* システムプロパティを選択します。

   b. [値] フィールドに true と入力します。

   c. [**Update** (更新)] を選択します。

   > **注:** 階層 ID はカスタマイズされているため、設定した数や値の競合はチェックされません。

6. 作成したケイパビリティの子ケイパビリティを作成するには、レコードを開き、[ビジネスケイパビリティ] フォームの [ケイパビリティ] 関連リストで [新規] ボタンを選択します。
7. 関連リンクで、[機能レベルと **HierarchyID** の更新] を選択して階層内のレベルを更新します。[機能レベルと **HierarchyID** を更新] リンクを選択すると、[機能レベルと **HierarchyID** を更新] スケジュール済みスクリプトが実行されます。更新された階層は、機能マップで表示できます。

   親、順序、または階層 ID を更新した後に、機能レベルの更新ジョブを実行せずに機能階層マップに移動した場合は、機能レベルの更新ジョブを実行し、ページを再起動して機能階層マップに最新の変更を反映するように求めるメッセージが表示されます。

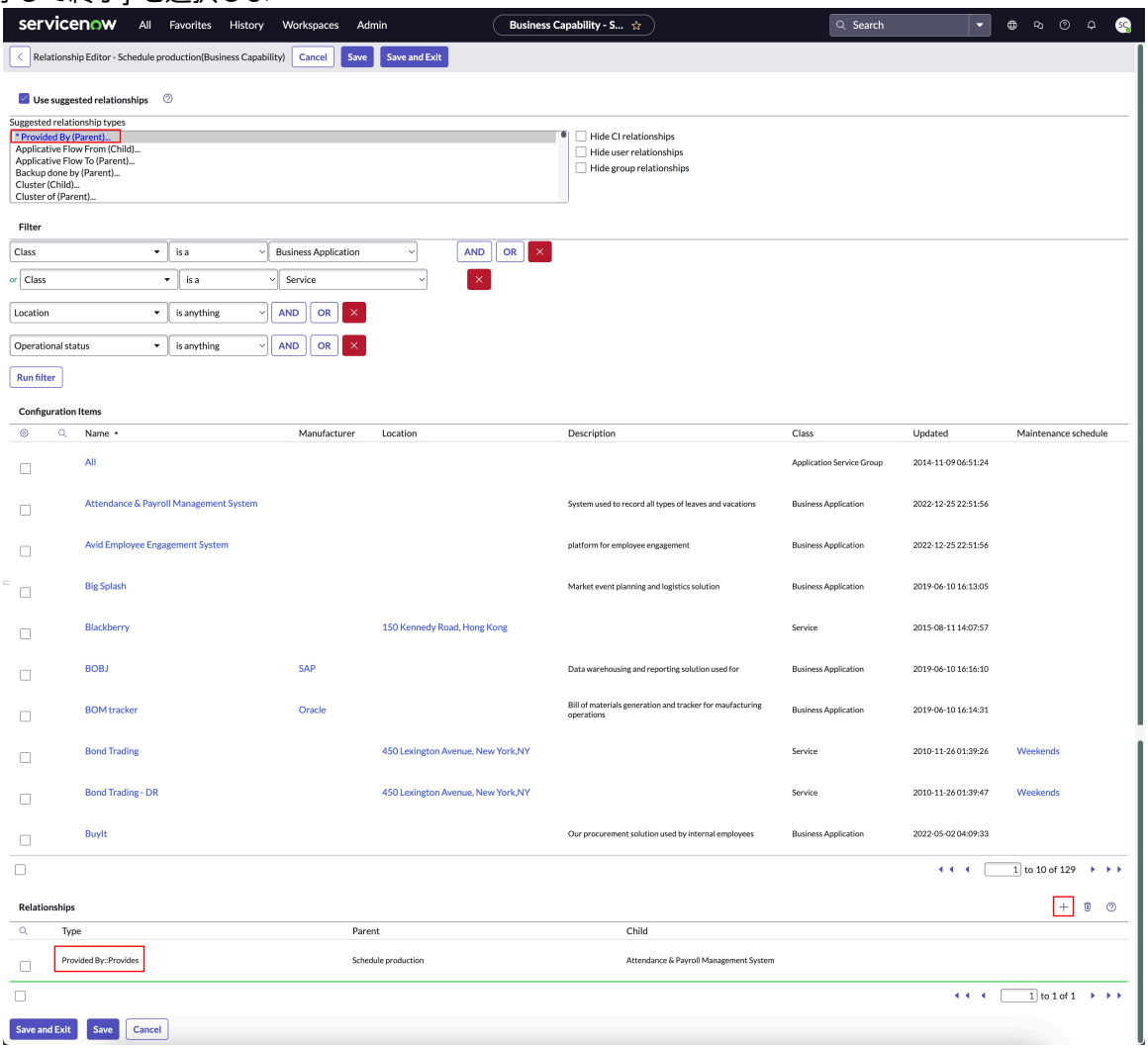
8. 機能をアプリケーションに関連付けるには、ビジネス機能を開くことを選択します。
9. ビジネスケイパビリティフォームの [関連アイテム] セクションで、[CI 関係を追加] (+) アイコンを選択して関係エディターを起動し、 CI 関係 を作成します。
10. [提案されたリレーションシップタイプ] セクションから [提供者 (親)] を選択します。フィルターはビジネスアプリケーションに自動的に適用されます。
11. [構成アイテム] セクションで、関連するビジネスアプリケーションを選択します。
12. [関係] セクションで、[CI 関係] アイコン + を選択して、選択した構成アイテムとの新しい関係を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Provided by::P roprovidees] 関係が [関係] セクションに追加されます。

13. [保存して終了] を選択しま



す。

次のタスク
機能ベース計画立案を表示して、関連するアプリケーションにマッピングされた機能の階層を理解し、アプリケーションのテクノロジーがリスクにさらされている場合はアプリケーションへの投資を計画します。

計画に機能マップを使用する

機能ベース計画立案は、ビジネス目標を達成する上で、ビジネス機能およびそれらをサポートするビジネスアプリケーションの理解に役立ちます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来の機能評価モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の機能評価モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の機能評価モジュールは利用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「ビジネスポートフォリオの管理」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

機能マップは、機能ベース計画立案において、機能を階層的に図で表現するものです。階層構造であるため、簡単に最下位レベルにドリルダウンして、重大なギャップや軽度なギャップを特定できます。このマップを使用すると、すべての機能、各機能に関連付けられたアプリケーション、および機能に関連付けられた各ビジネスアプリケーションのインジケータースコアを完全に把握できます。

ケイパビリティは色分けされているため、メジャー、ミディアム、マイナーのギャップがあるケイパビリティを一目で識別できます。機能をサポートするビジネスアプリケーションを視覚化できるので、目標、デマンド、またはプログラムを作成して、アプリケーションのパフォーマンスを改善できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティマップ.

   左ペインには、階層内のすべての親機能が一覧表示されます。デフォルトでは、レベル 0 の階層の最初のビジネス機能が展開され、すぐ次のレベル 1 の子機能が表示されます。後続のビジネス機能と子機能については、 アイコンをクリックして展開することで、各レベルのサブ機能を表示できます。このビューは、ビジネス機能、技術リスク、および機能階層の管理のビューに似ています。

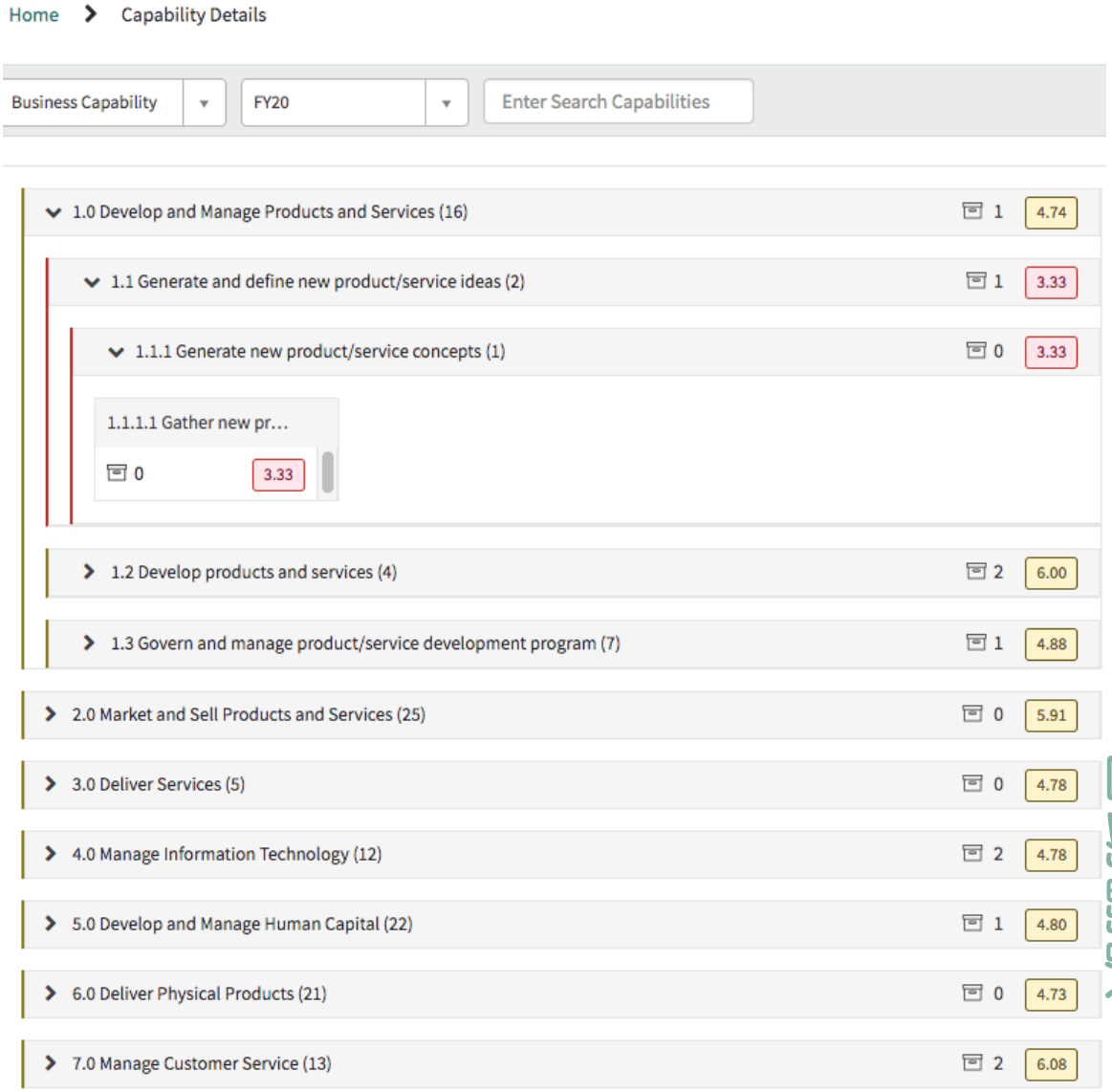
   左ペインでは、各親機能の下にあるサブ機能の合計数、各機能に直接関連するビジネスアプリケーションの合計数、およびそれらの機能スコアも表示されます。同様に、親機能を展開すると、サブ機能の数と、そのレベルのサブ機能に直接関連するビジネスアプリケーションの合計数が表示されます。

   右ペインには、企業内のビジネス機能について、全体的な機能のサマリーが次の詳細とともに表示されます。技術リスクビューに切り替えると、全体的な機能リスクのサマリーが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能ベース計画立案ビュー



自動翻訳

できること

左ペインのリストに表示されるビジネスケイパビリティの合計数。機能の合計数は、ビジネス機能ビューと技術リスクビューの両方に表示されます。

Leaf Capabilities (リーフケイパビリティ)

左ペインに一覧表示されているビジネスケイパビリティのすべての階層における、リーフレベル (独自の子ケイパビリティを持たない) ケイパビリティの合計数。

評価済み

評価されたビジネス機能の合計数。

未評価

評価されていないケイパビリティの合計数。

重大なギャップ

スコアが 1 ～ 4 の範囲内にある機能の合計数。

技術リスクビューには、技術リスクが高いアプリケーションを使用する機能の数が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

中程度のギャップ

スコアが 4 ～ 7 の範囲内にあるケイパビリティの合計数。

[技術リスク] ビューの場合、テクノロジーが中程度のリスクにさらされているアプリケーションを使用する機能の数が表示されます。

ギャップなし

スコアが 7 ～ 10 の範囲内にある機能の合計数。

技術リスクビューには、技術的なリスクがないアプリケーションを使用するケイパビリティの数が表示されます。

2. デフォルトでは、機能の全体的なサマリーが表示されます。
次のいずれかの選択肢を使用して、ビューと機能マップに表示する詳細を設定します。

- ビジネス機能ビュー：[ビジネス機能] を選択すると、スコアビューが有効になります。それに関連付けられた機能とアプリケーションが表示されます。

  このビューでは、次の検索オプションがあります。

  会計期間：会計期間を選択すると、その会計期間に生成された機能スコアが表示されます。機能が会計期間に対して評価されていない場合は、[未評価] と表示されます。逆に言えば、機能の詳細を表示するには、会計期間も選択する必要があるということです。そうしないと、エラーメッセージとともにアラートが発生します。

- 技術リスクビュー：技術リスクビューを選択して、提供終了または期限切れのテクノロジーが原因でリスクにさらされている機能を把握できます。各ビジネスアプリケーションのビジネス機能と技術リスクの全体的なサマリーが表示されます。また、技術リスクの結果として影響を受ける機能も表示されます。機能の技術リスクは、ビジネスアプリケーションの技術リスクから導出されます。

  検索機能の入力

  [検索機能の入力 **(Enter Search Capabilities**)] フィールドを使用して、テキストを入力し、探しているビジネス機能を検索します。

  凡例 ( )

  カテゴリを色分け表示し、対応する説明を表示します。マップで使用されているアイコンも一覧表示されます。

  作成/挿入

  リストを選択して、現在選択しているケイパビリティの デマンド、目標、またはプログラムを作成します。

  同様に、技術がリスクに晒されている場合は、技術リスクビューに切り替えて、アプリケーションの基礎となるテクノロジーに対して、デマンドを提出したり、目標やプログラムを作成したりできます。

  > **注:** [プログラム] オプションは、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、使用可能です。

  機能階層を管理

  機能マップで、レベル 0 機能の作成、子機能の追加、既存の機能の編集、およびリーフレベル機能の削除を実行できます。これらの機能を実行するためにビジネス機能フォームに移動する必要はなく、UI ですべてのビジネス機能の関係を管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 各ビジネス機能を展開して、機能の詳細と技術リスクの詳細を表示します。
   詳細については、「機能マップでのビジネス機能の詳細を表示する」および「機能マップで技術リスクの詳細を表示する」を参照してください。

機能マップでビジネス機能の詳細を表示する

機能マップを使用して、人、プロセス、テクノロジーなどのディメンションから機能を評価し、それに応じて投資を計画します。ビジネスアプリケーションの現在の傾向を表示し、目標、デマンド、およびプログラムを作成してそれらを強化する計画を立て、マップで進捗状況を追跡します。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来の機能評価モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の機能評価モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の機能評価モジュールは利用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「ビジネスポートフォリオの管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティマップ.
2. ビジネス機能ビューを選択します。
3. 各機能をクリックすると、サブ機能とそれらの詳細が表示されます。

   マップの左ペインには、機能が次の情報とともに表示されます。

   サブ機能の数

   各機能レベルでは、サブ機能の合計数と後続のサブ機能レベルが、機能名の横にある括弧内に表示されます。つまり、親機能レベルでは、子機能の合計数とその直接の子機能が一覧表示されます。

   機能にリンクされているアプリケーションの数

   [アプリケーション] アイコン ( ) には、その機能に関連するアプリケーションの合計数が表示されます。

   機能スコア

   ビジネス機能の機能スコアは、小数点以下 2 桁のみに丸められ、アプリケーション数の横にある色分けされたボックスに表示されます。各色は次を示します。

   - 重大なギャップ：赤色、1 ～ 4 の範囲のスコア。
   - 中程度のギャップ：オレンジ色、4 ～ 7 の範囲のスコア。
   - ギャップなし：緑色、7 ～ 10 の範囲のスコア。

   ビジネス機能について、選択した会計期間での機能が評価され、apm_app_score テーブルからスコアデータが取得されます。

   親機能の総合スコアは、すべての直接の子機能が持つスコアの平均合計です。つまり：

   親機能のスコア = すべての子機能のスコア/子機能の合計数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

親機能が評価されず、スコアの代わりに (該当なし) が表示された場合は、そのすべての子機能が評価されていないことを意味します。ただし、子機能のいずれかが評価されていない場合は、評価された他の子機能のスコアに基づいて、親機能のスコアが計算されます。

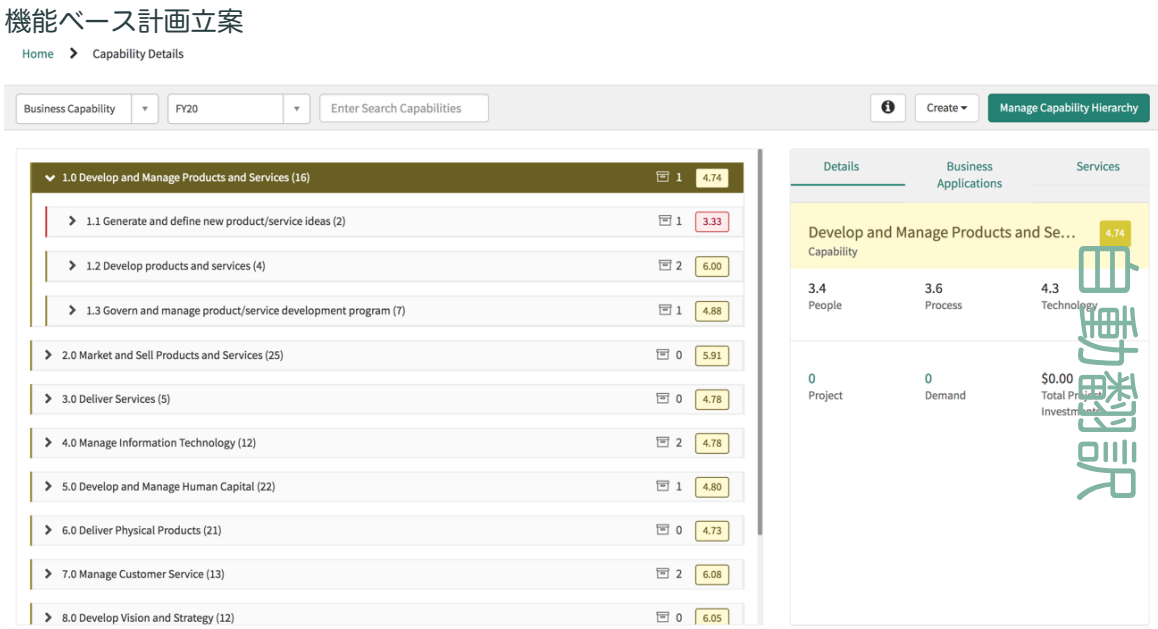
機能レベルとアセスメント

マップには、最大 6 レベルの機能が表示されます。最下位レベルの機能または子を持たない機能は、リーフレベルと呼ばれます。リーフレベルの機能は、人、プロセス、および技術のディメンションでのみ評価されます。親を持たない階層内の機能は、レベル 0 機能つまりルート機能です。

マップの右ペインには、左ペインで選択した機能の詳細と、その機能に関連するすべてのビジネスアプリケーションが表示されます。

詳細

ビジネス機能ビューでは、選択した機能のすべてのデータが [詳細] タブに表示されます。



- 機能：選択されているビジネス機能の名前を表示します。機能名をクリックしてビジネス機能フォームに移動し、選択した機能のレコードの詳細を表示します。
- 機能スコア：選択したビジネス機能の機能スコアと、人、プロセス、および技術のディメンションに基づく個々のインジケータースコアを表示します。

  注: ビジネス機能がリーフレベルにあり、サブ機能がない場合は、機能スコアをクリックできます。リンクをクリックすると、CI スコアフォームが開き、機能マップで選択した会計期間におけるビジネス機能構成アイテムのスコアが表示されます。

  同様に、人、プロセス、技術のインジケータースコアは、リーフ機能のみの場合はクリック可能です。これらの各リンクをクリックすると、関連するインジケータと、機能マップで選択した会計期間のビジネス機能構成アイテムのインジケータースコアフォームが開きます。

- プロジェクト：選択したビジネス機能が属しているプロジェクトの合計数を表示します。サブ機能にアタッチされたプロジェクトは、その親にロールアップされま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。同様に、階層内のすべてのサブ機能のプロジェクトは、ルートのレベル 0 の機能にロールアップされます。

プロジェクトの数をクリックすると、ビジネス機能のプロジェクトの詳細を示すプロジェクトフォームが開きます。

- デマンド：選択したビジネス機能に対して作成されたデマンドの合計数を表示します。サブ機能に対して作成されたデマンドは、その親にロールアップされます。同様に、階層内のすべてのサブ機能にアタッチされたデマンドは、その階層内のルート、レベル 0 の機能にロールアップされます。

  マップの左ペインで機能またはサブ機能を選択すると、機能、サブ機能、またはその技術に対して作成または追加されたデマンドとプロジェクトの合計数が右ペインに表示されます。親機能を選択すると、親またはその子機能のいずれかに対して作成されたデマンドを合わせた合計数が表示されます。

  デマンドの数をクリックすると、ビジネス機能のデマンドの詳細を示すデマンドフォームが開きます。

- プロジェクトの総投資：選択した会計期間に選択したビジネス機能に投資した連結された合計額を表示します。プロジェクトの総投資は、1 つ以上のプロジェクトを通じて機能に対して行われた投資の連結された総額です。1 つ以上のビジネス機能の目標を達成するためのプロジェクトを作成できます。同様に、ビジネス機能の目標を達成するために、複数のプロジェクトにビジネス機能を関連付けることができます。

  注: [プロジェクト] および [プロジェクトの総投資] の詳細は、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、使用可能です。

  2 つのビジネス機能の目標を達成するためにプロジェクトが作成された場合、プロジェクトにアタッチされたコスト計画の合計計画コストは、2 つのビジネス機能間で均等に分割されます。たとえば、ビジネス機能 BC1 と BC2 に影響するプロジェクト P1 に 100 ドルが投資された場合、100 ドルの投資額は BC1 と BC2 の間でそれぞれに 50 ドルとして分割されます。

  子機能に対する投資は、その親にロールアップされます。同様に、階層内のすべてのサブ機能への投資は、その階層内のレベル 0 の機能にロールアップされます。

ビジネスアプリケーション

機能とその全体的なスコアに直接的および間接的に関連するアプリケーションの名前を表示します。

直接的に関連するアプリケーションとは、機能に直接関連するアプリケーションのことです。間接的に関連するアプリケーションとは、機能階層内の別の機能に関連するアプリケーションのことです。つまり、これらのアプリケーションは、その階層内のいずれかの親またはいずれかの子に関連しています。

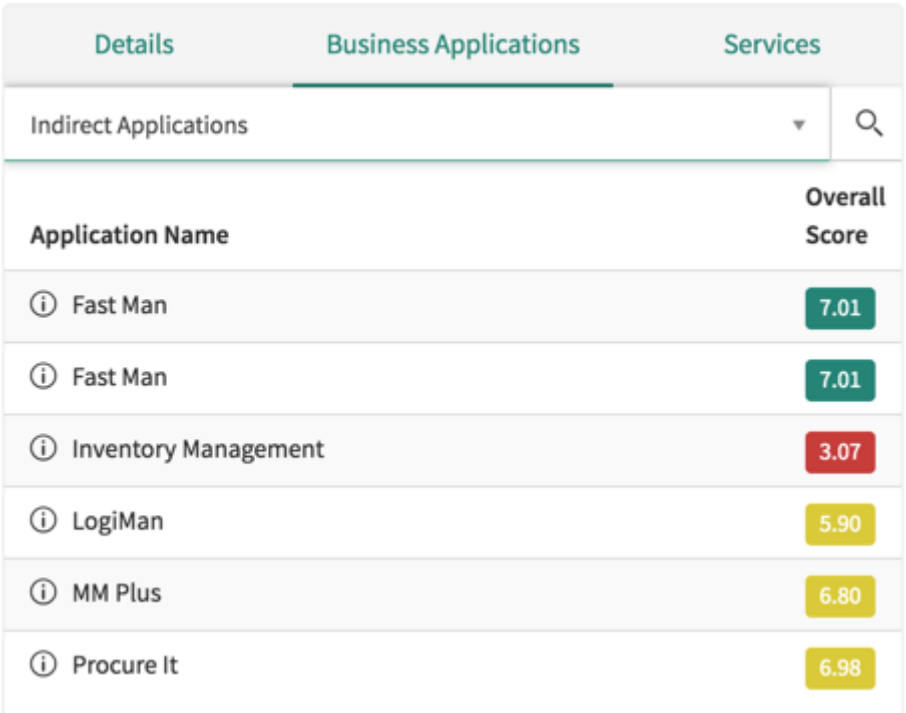
ビジネス機能ビューと技術リスクビューの両方に、直接的および間接的なビジネスアプリケーションを表示するオプションがあります。ただし、アプリケーションに関して表示される詳細は若干異なります。

ビジネス機能ビュー：左ペインで選択したビジネス機能に関連するビジネスアプリケーションの名前を右ペインに表示し、個々のアプリケーションの全体的なスコアを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

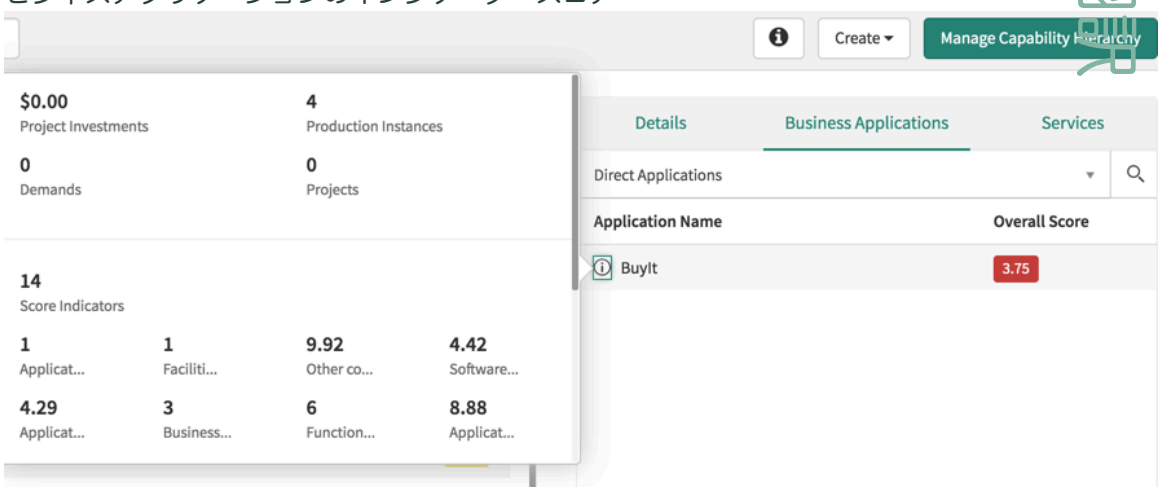
ビジネスアプリケーションの全体的なスコアビュー



ビジネスアプリケーションのハイパーテキストをクリックしてビジネスアプリケーションフォームに移動し、レコードの詳細を表示します。

アプリケーションの [情報] アイコン (ⓘ) をクリックすると、次の詳細が表示されます。

ビジネスアプリケーションのインジケータースコア



- プロジェクト投資：選択したビジネスアプリケーションへの、規定の会計期間における投資合計額を表示します。プロジェクト投資とは、1 つ以上のプロジェクトを通じてビジネスアプリケーションに対して行われた投資の連結された総額です。1 つ以上のビジネスアプリケーションの目標を達成するためのプロジェクトを作成できます。同様に、ビジネスアプリケーションの目標を達成するために、複数のプロジェクトにビジネスアプリケーションを関連付けることができます。

  プロジェクトが 1 つ以上のビジネスアプリケーションに影響を与える場合、プロジェクトにアタッチされたコスト計画の合計計画コストは、ビジネスアプリケーション間で均等に分割されます。たとえば、ビジネスアプリケーション BA1 と

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BA2 に影響するプロジェクト P1 に 100 ドルが投資された場合、100 ドルの投資額は BA1 と BA2 の間でそれぞれ 50 ドルとして分割されます。同様に、1 つのビジネスアプリケーション (BA1) に関連付けることができる 1 つ以上のプロジェクトに投資することができます。投資額は、これらの各プロジェクトに関連付けられたアプリケーション間で均等に分割されます。さまざまなプロジェクトからの連結された総額が、ビジネスアプリケーション (BA1) のプロジェクト投資額になります。

注: [プロジェクト投資] および [プロジェクト] は、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、使用可能です。

ビジネスアプリケーションは独立したエンティティであり、階層構造ではないため、コストはロールアップできませんが、ビジネス機能では投資をロールアップできます。

プロジェクト投資は、1 つのプロジェクト内でビジネス機能とビジネスアプリケーションの両方に対して行うことはできません。プロジェクトの合計計画コストは、ビジネス機能に投資する場合はビジネス機能用、ビジネスアプリケーションに投資する場合はビジネスアプリケーション用のいずれかとみなされ、両方に対するものとはみなされません。

- 本番インスタンス：ビジネスアプリケーションが関連する本番タイプのアプリケーションサービスの数。

  データは、ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスの間の consumes::consumed by 関係に基づいて、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルから取得されます。

- デマンドおよびプロジェクト：ビジネスアプリケーションレベルで作成されたデマンドとプロジェクトの数。
- スコアインジケーター：ビジネスアプリケーションが評価されるインジケーターの数。また、各インジケーターの個別スコアも表示されます。
- サポートされている機能：ポップアップを下にスクロールして、ビジネスアプリケーションがサポートしている機能の数と各機能の名前を表示することもできます。

  ビジネス機能とビジネスアプリケーションの間の関連付けは、CI 関係テーブルの provided by::provides 関係タイプに基づいています。

ページネーションオプションを使用して、左ペインで選択したビジネス機能にアタッチされたビジネスアプリケーションを表示します。機能に直接的および間接的に関連する最大 10 件のビジネスアプリケーションレコードを表示できます。左矢印または右矢印をクリックして、前または次のレコードセットを連続して表示できます。ページネーションオプションは、機能のすべてのレベルで使用できます。このオプションは、特にルートレベルの機能に多数のアプリケーションがアタッチされている場合に、それに連結されたすべての機能のビジネスアプリケーションを表示する際に役立ちます。

サービス

タブの左ペインには、選択した親ビジネス機能に関連するサービスの名前が表示されます。ページネーションオプションを使用して、サービスのアルファベット順または

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その逆順でのソート、サービスの検索、選択した数のサービスのみの表示が可能です。

サービスハイパーテキストをクリックしてサービスレコードに移動し、レコードを編集します。ビジネス機能は、Provided by::Provides CI 関係を確立することでサービスに関連付けられます。

次のタスク
機能マップで技術リスクの詳細を表示する

関連情報

ビジネス機能を作成し、その機能をアプリケーションに関連付ける

機能マップで技術リスクの詳細を表示する

機能マップの技術リスクビューを使用して、ビジネス機能をサポートする技術のリスクプロファイルを把握できます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来の機能評価モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の機能評価モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の機能評価モジュールは利用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「ビジネスポートフォリオの管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
技術リスクビューを有効にすると、選択したビジネス機能の基礎となっている、リスクが低、中、高の技術の数が表示されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティマップ.
2. 技術リスクビューを選択します。

   技術リスクビューには、ビジネス機能 (左ペイン) と全体的な機能リスクのサマリー (右ペイン) が表示されます。親機能を展開すると、そのサブ機能と関連付けられたリスクの詳細が右ペインに表示されます。

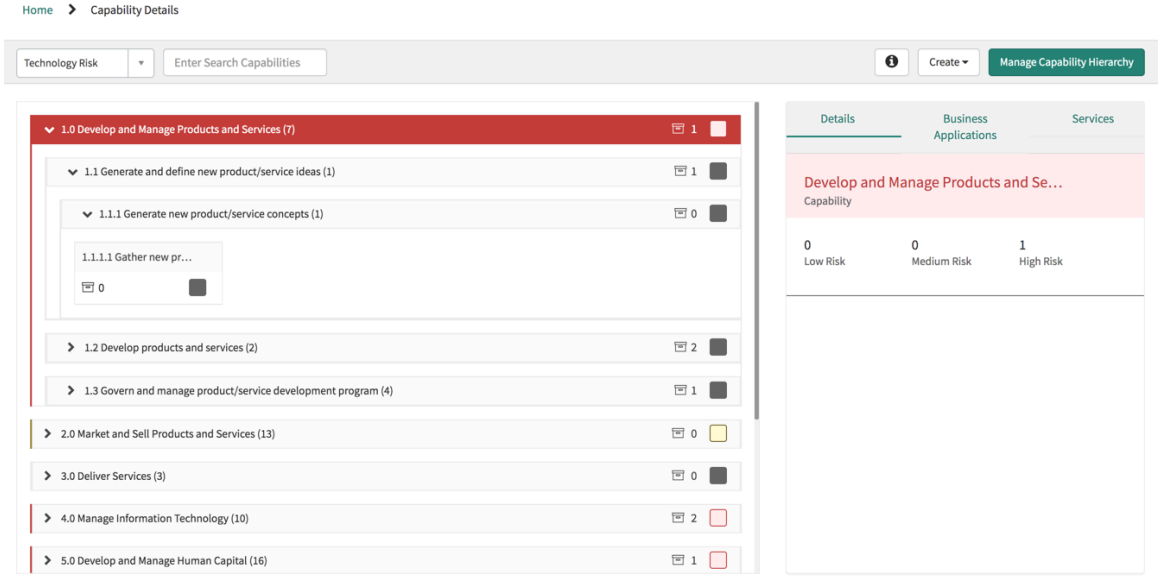
   詳細

   タブには、選択した機能の基礎となっている、リスクが高、中、低のテクノロジーの数が表示されます。機能名をクリックしてビジネス機能フォームに移動し、選択した機能のレコードの詳細を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

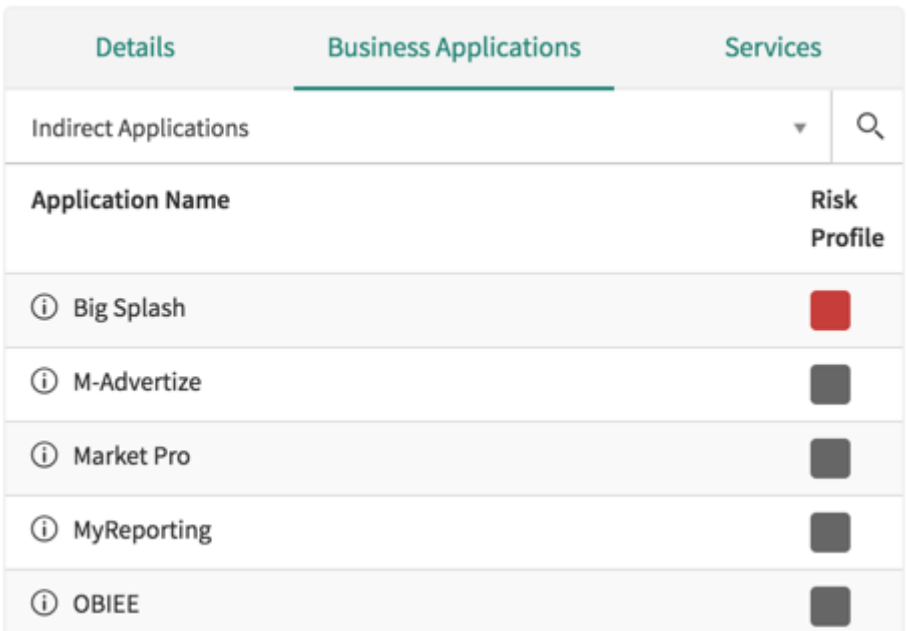
ビジネス機能の技術リスクプロファイル



ビジネスアプリケーション

技術リスクは、ビジネスアプリケーションレベルで表示できます。ビジネスアプリケーションのリスクプロファイルは、ビジネスアプリケーションリスク [sn_apm_tpm_business_application_risk] テーブルに保存され、そこから取得されます。

ビジネスアプリケーションリスクプロファイル



- アプリケーションの [情報] アイコン (ⓘ) をクリックすると、ビジネスアプリケーションがサポートする機能の数と機能の名前が表示されます。
- アプリケーションレコードの詳細を表示するには、ビジネスアプリケーションのハイパーテキストをクリックして、ビジネスアプリケーションフォームに移動します。
- [関連技術のビューリスト (View list of related technologies)] アイコン (■) をクリックし、技術ポートフォリオ管理タイムラインビューに移動して、ビジネス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションのリスクプロファイルを表示します。アプリケーションをフィルターして、リスクにさらされている基礎となる技術に対して積極的な対策を講じます。

サービス

タブの左ペインには、選択した親ビジネス機能に関連するサービスの名前が表示されます。ページネーションオプションを使用して、サービスのアルファベット順またはその逆順でのソート、サービスの検索、選択した数のサービスのみの表示が可能です。

サービスハイパーテキストをクリックしてサービスレコードフォームに移動し、レコードを編集します。ビジネス機能は、Provided by::Provides CI 関係を確立することでサービスに関連付けられます。

機能マップで機能階層を管理する

機能マップでは、ルートレベルの機能の作成、親への子機能の追加、機能の編集、リーフ機能の削除、機能間の関係の管理を実行できます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来の機能評価モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の機能評価モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の機能評価モジュールは利用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「ビジネスポートフォリオの管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

子機能を追加したり、階層内の順序を更新したりすると、ページを更新または再ロードすることで、変更の影響をケイパビリティマップの階層ツリービューですぐに表示できます。一方、レベル 0 の機能を追加または編集すると、ビジネス機能レベルを更新するビジネス機能レベルの更新スケジュール済みジョブが自動的に実行され、マップ内の機能の順序と階層が更新されます。機能マップでビジネス機能を更新すると、時間を節約でき、マップ内の更新されたデータにすばやくアクセスできるようになります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ケイパビリティの評価 > ケイパビリティマップ.
2. [機能階層を管理] ボタンをクリックします。
   機能マップが編集モードで開きます。
3. レベル 0 機能を作成するには、[新機能] ボタンをクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ビジネス機能の新規レコードフォーム」を参照してください。
5. [送信] をクリックします。
6. ルート機能に子を追加するには、子機能を追加するルートレベルのビジネス機能の横にある省略記号 () アイコンをクリックします。
7. [機能を追加] ボタンをクリックし、ビジネス機能の新しいレコードフォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** [親] フィールドには、選択したルート機能の名前が自動的に入力されます。

8. [送信] をクリックします。
9. 機能を編集するには、ルートレベルのビジネス機能の横にある  をクリックします。
10. [機能を編集] ボタンをクリックし、ビジネス機能を編集フォームのフィールドに入力します。

    > **注:** [名前] フィールドには、ルート機能の名前が自動的に入力されます。編集オプションを使用して、次を実行できます。
    >
    > - 機能の名前と説明を編集します。
    > - ルートレベルの機能を別の階層の子機能として移動します。
    > - 子機能を編集して、新しいルートレベルの機能にします。
    > - 子機能をあるルートから別のルートに移動します。
    >
    > 機能に対して新しい名前を入力するか、同じ名前を保持したまま、親を追加して、ルートレベルの機能を既存の階層から別の階層に子機能として移動できます。ビジネスシナリオでは、ある事業部門から別の事業部門にビジネス機能を移動する必要がある場合に、この機能が特に役立ちます。たとえば、組織が従業員の報酬と保持のビジネス機能を経理から人事に移行することを決定した場合、ビジネス機能 (およびその子機能) を経理から移動し、人事ビジネス機能階層に追加できます。

11. [送信] をクリックします。
12. リーフ機能を削除するには、リーフ機能に移動し、リーフ機能の横にある  をクリックします。
13. [機能を削除] ボタンをクリックします。

    > **注:** [機能を削除] ボタンは、リーフレベルの機能でのみ使用可能です。リーフレベルの機能は、それ自体の子を持たない機能です。

14. [削除] をクリックします。

    > **注:** 削除アクションは、ビジネス機能 [cmdb_ci_business_capability] テーブルから機能を削除します。また、機能と CI 関係テーブル内の他の構成アイテムとの関係も削除されます。

15. 加えた変更をマップに反映させるには、ページを更新または再ロードします。

技術リスクをタイムラインで表示する

組織で使用されているすべての技術または製品モデルの内部および外部のライフサイクルフェーズを、技術ポートフォリオ管理のタイムラインで表示します。リスク要因の観点から、色分けにより、技術のステージを特定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、レガシー テクノロジーポートフォリオ管理モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、引き続き レガシー テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 レガシー テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内でテクノロジーポートフォリオ管理ストアアプリケーションを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「TPM および TRM ライフサイクルのタイムラインのガントビュー」を参照してください。

TPM タイムラインビューでデータを表示するには：

- ビジネスアプリケーションのインベントリを作成します。
- ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスを関連付けます。
- アプリケーションサービスとソフトウェアモデルを関連付けます。
- アプリケーションサービスとハードウェアモデルを関連付けます。

エンタープライズアーキテクト (EA) は、タイムラインビューを使用して、テクノロジーのバージョンとライフサイクル、およびそれらの技術で実行されているアプリケーションの数を追跡できます。EA は、提供終了によるビジネスアプリケーションのリスクを評価し、必要に応じてデマンドとプロジェクトを作成できます。

TPM 画面の線は、製品モデルのライフサイクルを示しています。線は色分けされており、その四半期または年にソフトウェアモデルが直面するリスクのステージを示しています。

注: エンタープライズアーキテクチャ のコンテキストでは、ビジネスサービスはアプリケーションサービスと呼ばれます。アプリケーションサービスは、サービス [cmdb_ci_service] テーブルに基づいて作成されます。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > > **Technology Portfolio Management** (テクノロジーポートフォリオ管理) **(TPM)** > テクノロジーライフサイクル.
2. ビジネスアプリケーション別、製品分類別、ソフトウェアモデル別、またはアプリケーションバックログでグループ化されたビューを選択します。
3. デフォルトでは、1 年の 4 四半期のタイムラインを表示する [四半期ごと] ボタンが有効になっています。

   「TPM タイムラインのビュー」を参照してください。

   [月次] ボタンをクリックして切り替えると、1 年のすべての月のタイムラインが表示されます。月次ビューは、1 年の特定月におけるアプリケーションのリスクステージの追跡に役立ちます。
4. [本番] アイコン ( ) をクリックすると、現在の四半期または月のリスクの対象となる本番インスタンスが表示されます。
5. ソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースは、次の 2 つの方法のいずれかで表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 特定のソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースを表示するには、[ソフトウェアモデルの展開] アイコン ( ) をクリックします。
- ビジネスアプリケーションに関連するすべてのソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースを表示するには、[すべてのライフサイクルデータソースを表示] アイコン ( ) をクリックします。このアイコンを使用して、データソースの表示と非表示を切り替えます。

ライフサイクルデータソースのタイムラインは、ビジネスアプリケーション別、製品分類別、ソフトウェアモデル別、アプリケーションバックログの各ビューで表示できます。ソフトウェアモデルで利用可能なすべてのソースが照会され、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルから取得されます。選択肢 [sys_choice_list] テーブルには、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルに対応するソフトウェアモデルのすべてのソースが一覧表示されます。

ソフトウェアライフサイクルデータのソースは内部にある場合もあれば、複数の外部ソースから取得される場合もあります。選択肢 [sys_choice] テーブルからのシーケンス番号が最小で、1 つの外部公開者データを含む内部データのライフサイクルフェーズ情報が、タイムラインの各ソフトウェアモデルに対して照合され、表示されます。他に外部公開者データソースが存在する場合、タイムラインには表示されません。また、ソフトウェアモデルのタイムラインで内部公開者情報と外部公開者情報が重複していると、2 つのソース間でフェーズが区別できなくなる可能性があります。

すべてのライフサイクルデータソースを表示することで、製品モデルのすべての公開者データソースを、シーケンス番号が最小のタイムラインではなく、個別のタイムラインとして表示できるようになります。各ソースのライフサイクル情報は、内部か外部かにかかわらず、個別に表示されます。複数の外部公開者ソースが存在する場合、表示されるソースはアルファベット順に表示されます。ライフサイクルフェーズ情報は結合も照合もされないため、各ソースのフェーズ詳細がタイムライン上で理解しやすくなっています。

6. [凡例] アイコン ( ) をクリックすると、タイムライン上のマーキングと色分けされた線の意味を理解できます。
   色のグラデーションは、あるステージから徐々に次のステージへとフェーズ移行するリスクを示しています。PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プロジェクトの凡例を表示できます。
7. [作成] リストをクリックして、デマンドまたはプロジェクトを作成します。

   注:

   PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、リスト内にプロジェクトが表示されます。

8. アプリケーションサービス、ハードウェアモデルとソフトウェアモデル、プロジェクトを表示および編集し、ビジネスアプリケーションに関連付けるデマンドを作成するには、[アプリケーション] 列でビジネスアプリケーションをクリックして展開します。

   「タイムラインからアプリケーション関連タスクを実行する」を参照してください。

   注:

   PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、ビジネスアプリケーション用のプロジェクトを作成できます。

9. [リスク] 列のリスクバブルをポイントして、各ビジネスアプリケーションのリスクを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションの基礎となる技術リスクステータスを [ビジネスアプリケーション別] ビューでも表示できます。

リスク情報は、ビジネスアプリケーションリスクテーブルから取得されます。

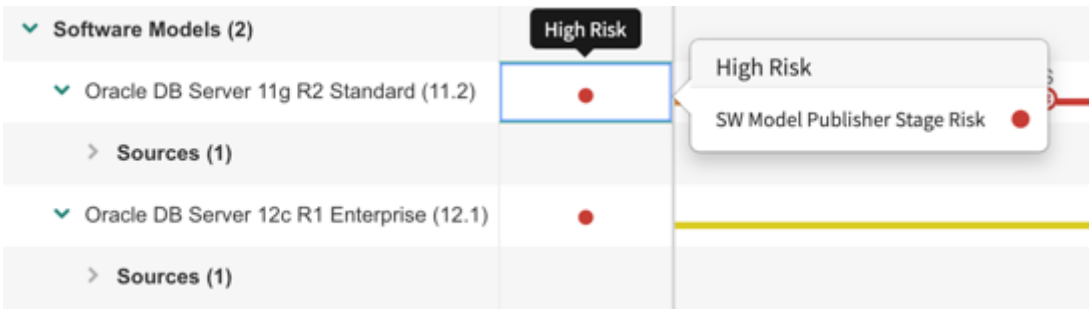
リスクは、アクティブなすべてのビジネスアプリケーションについて計算されます。アプリケーションサービスを利用するビジネスアプリケーションはアクティブと呼ばれ、両者の関係は CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルで確立されます。エンジンは、各アプリケーションサービス (本番タイプのみ) のリスクを評価します。また、アプリケーションサービスリスク [sn_apm_tpm_business_service_risk] テーブルから、ビジネスアプリケーションによって利用されるすべてのアプリケーションサービスのリスクをまとめて評価します。いずれかのアプリケーションサービスのリスクが高い場合、全体的なリスクが高くなります。

以前、ビジネスアプリケーションリスクは、TPM タイムラインのロード中に動的に計算されていました。リスクエンジンの負荷を軽減するために、現在、エンジンは各ビジネスアプリケーションのリスクを計算し、その情報をビジネスアプリケーションリスク [sn_apm_tpm_business_application_risk] テーブルに保存するようになりました。

TPM リスクパラメーターのロードとアプリケーションサービスリスクの計算スケジュール済みジョブを毎日実行して、ビジネスアプリケーションが実行されているアプリケーションサービスのリスクステータスを取得します。

10. ソフトウェアモデルのリスクバブルをクリックして、リスクパラメーターレベルでスコアを表示します。

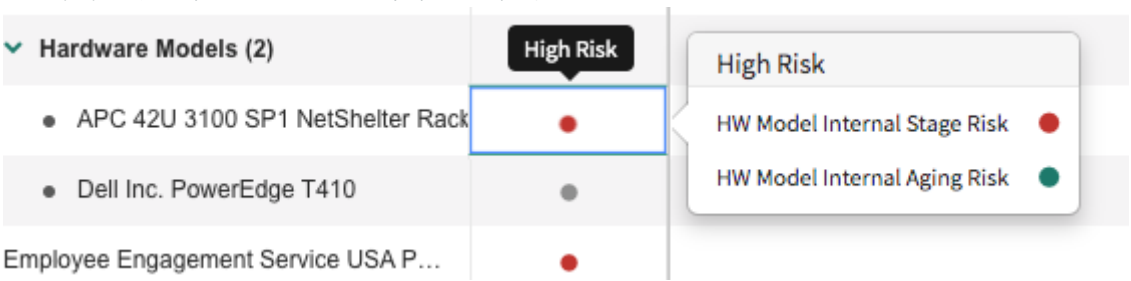
ソフトウェアモデルの **TPM** リスクプロファイル



事前に構成されたリスクパラメーターのスクリプトを設定して、リスクパラメータースコア [sn_apm_tpm_risk_param_score] テーブルに保存されている独自のリスク値を評価することができます。

11. ハードウェアモデルのリスクバブルをクリックして、そのリスクのブレークダウンを表示します。

ハードウェアモデルの **TPM** リスクプロファイル



12. ページネーションオプションを使用して、最初の 15 個のビジネスアプリケーションと、関連するアプリケーションサービスおよびソフトウェアモデルを入力します。
メインテナンスユーザーは、[アプリケーション] 列に 20 または 25 個までのビジネスアプリケーションをロードするように設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 次のように移動する。 システムプロパティ > すべてのプロパティ.

b. *sn_apm.noOfBusinessAppsPerTPMPage* をクリックして値を更新します。

c. [更新] をクリックします。

13. ハードウェアまたはソフトウェアのタイムラインで [ライフサイクルフェーズ] アイコン ( ) をクリックすると、ハードウェアまたはソフトウェアモデルのライフサイクル情報がポップアップで表示されます。

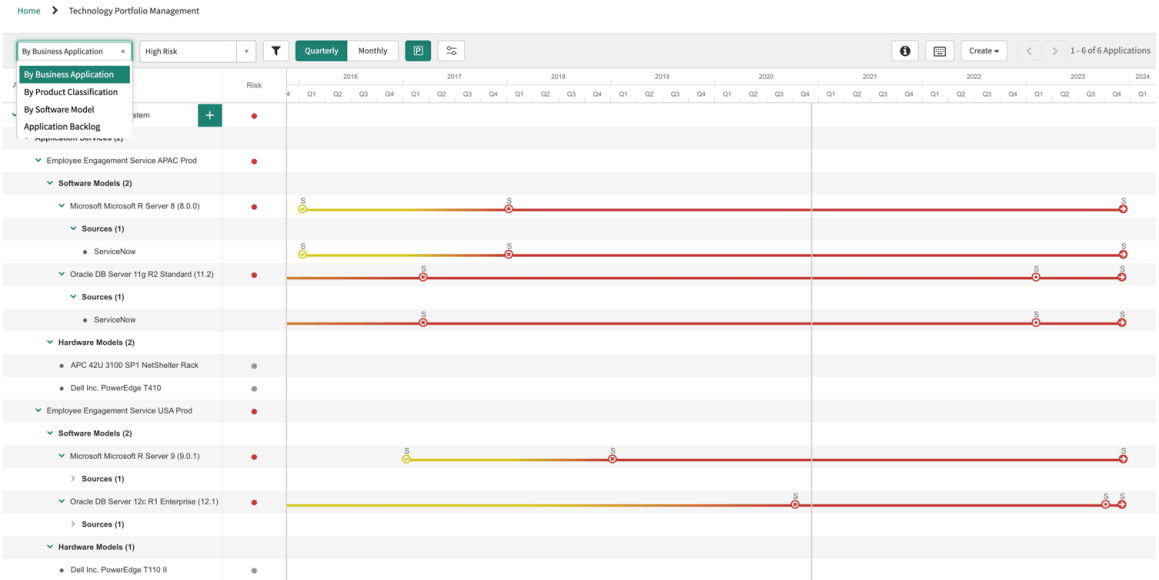
タイムラインの縦線は、現在の四半期を示します。「タイムライン上のソフトウェア製品ライフサイクルデータ」を参照してください。

TPM の複数のビュー

TPM タイムライン画面内の複数のビューにより、ユーザーはニーズに合った方法でビジネスアプリケーションのリスクを表示できます。ビューは、アプリケーションのシンプルなリストにしたり、機能に基づいて製品別にアプリケーションを分類したり、またはアプリケーションの基礎となる技術別に表示したりすることができます。

これらの各ビューでは、アプリケーションによってサポートされているそれぞれの基礎となるアプリケーションサービス、アプリケーションが実行されている基礎となる技術、または使用されているビジネスアプリケーションにドリルダウンできます。

技術ポートフォリオ管理タイムラインビュー



[ビジネスアプリケーション別] ビュー

[ビジネスアプリケーション別] ビューには、ビジネスアプリケーションのアプリケーションサービスに関連付けられているすべてのソフトウェアモデルとハードウェアモデルが表示されます。

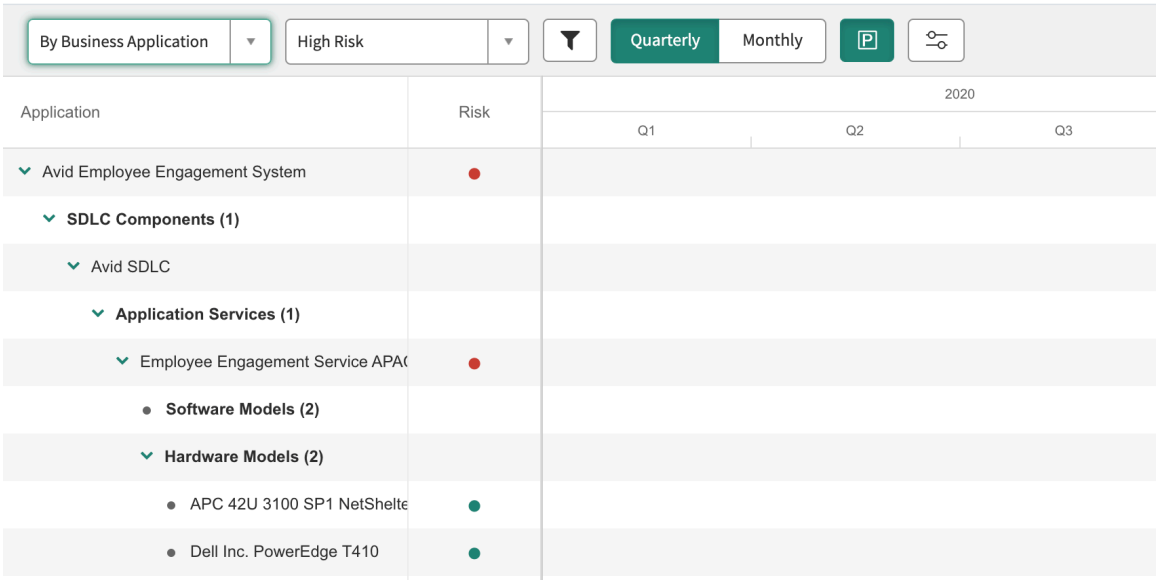
CSDM v4.0 が実装されている場合は、[ビジネスアプリケーション別] ビューに ビジネスアプリケーション > **SDLC** コンポーネント > アプリケーションサービス > ハードウェアモデル、および ソフトウェアモデル または技術構造を連続して。CSDM v4.0 が実装されていない場合、 ビジネスアプリケーション別ビューには ビジネスアプリケーション > アプリケーションサービス > ソフトウェアモデルハードウェア モデル や技術構造が連続して表示されますメーカー (Oracle、SAP など) 別にアプリケーションを表示することもできます。

[ビジネスアプリケーション別] ビューでは、次の操作を実行できます。

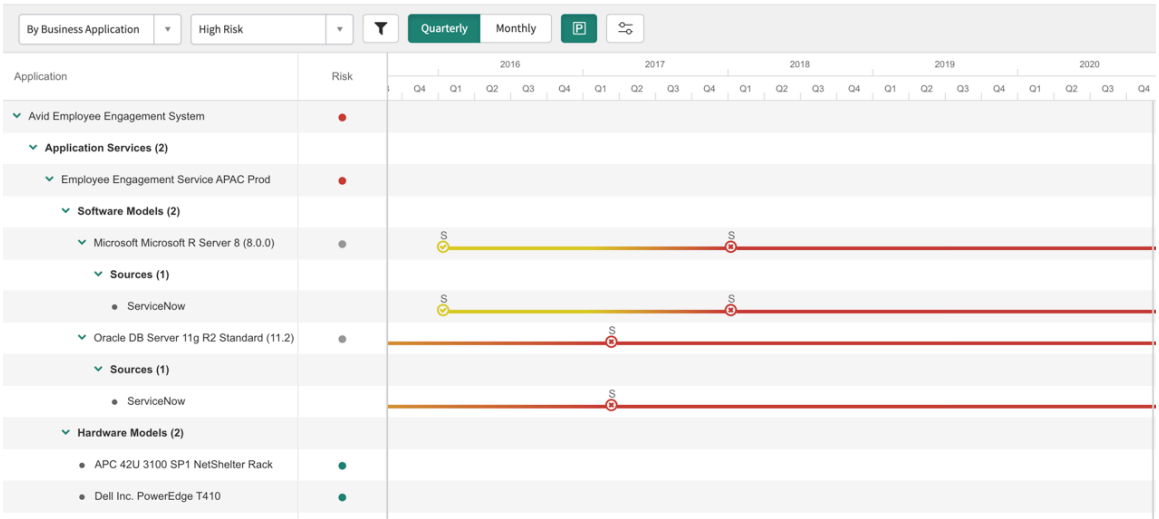
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ビジネスアプリケーション別] ビュー **(CSDM v4.0** の実装あり)



[ビジネスアプリケーション別] ビュー **(CSDM v4.0** の実装なし)



自動翻訳

- ビジネスアプリケーションリスクフィルターを使用し、リスク要因に基づいてビジネスアプリケーションをフィルタリングします。デフォルトでは、タイムラインビューに、高リスクの本番インスタンスを持つビジネスアプリケーションが表示されます。すべてのリスクタイプ (高、中、低、未評価) のビジネスアプリケーションを表示するには、[すべてのリスクを表示] オプションを選択します。未評価のビジネスアプリケーションもフィルタリングできます。フィルタリングされた基準に基づいて、ほとんどまたはすべてのビジネスアプリケーションを [アプリケーション] 列に表示できます。
- [フィルター] アイコン ( ) を使用すると、ビジネスアプリケーションテーブルに存在する属性でアプリケーションを検索およびフィルタリングできます。[ビジネスアプリケーションフィルターを設定] ダイアログボックスで条件ビルダーを使用して、フィルターを定義します。[新しい基準] ボタンを使用して、レコードを適切にフィルタリングするために必要な条件を必要な数だけ設定できます。フィルター設定は保存され、フィルター条件を編集またはクリアしない限り、同じユーザー資格情報で再度ログインすれば、その後も使用できます。
- 新しいデマンドまたはプロジェクトをビジネスアプリケーションに追加します。ビジネスアプリケーションをポイントし、アプリケーション名の横に表示される [新しいプロジェクトまたはデマンドを追加] アイコン ( ) をクリックします。デマンドまたはプロジェクトのフォームには、デ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マンドまたはプロジェクトを作成する [ビジネスアプリケーション] フィールドに入力されたビジネスアプリケーション の名前が示されます。

> **注:** PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プロジェクトをビジネスアプリケーションに追加できます。

[製品分類別] ビュー

[製品分類別] ビューでは、テクノロジーを確認できます カテゴリ > ソフトウェアモデル > ビジネスアプリケーション > アプリケーションサービス 構造を連続して作成します。

このビューでは、技術カテゴリ別にもアプリケーションが一覧表示されます。たとえば、データ技術、サーバー技術、ネットワーク技術、アプリケーション技術などです。

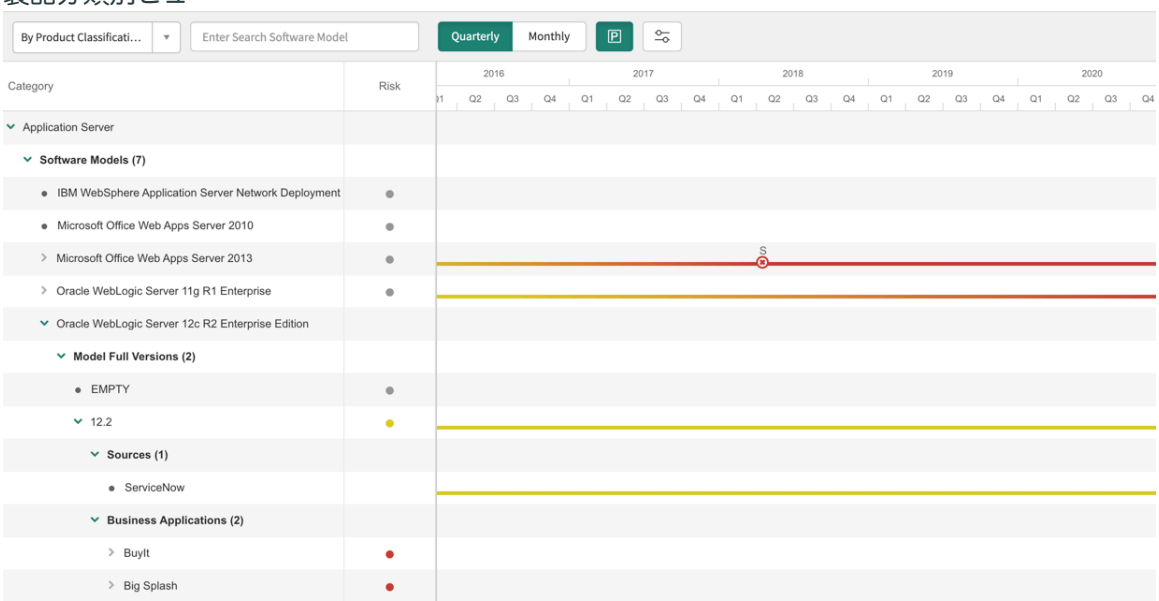
このビューには、ビジネスアプリケーションに関連付けられていないソフトウェアモデルも含め、すべてのソフトウェアモデルが表示されます。

このビューを選択すると、すべての技術カテゴリを動的にロードできます。技術カテゴリを展開して、カテゴリに関連付けられているすべてのソフトウェアモデルをロードします。同様に、ソフトウェアモデルを展開して完全バージョンを表示したり、バージョンを展開して関連付けられたビジネスアプリケーションを表示したり、ビジネスアプリケーションを展開して関連するアプリケーションサービス、デマンド、プロジェクトを表示したりすることができます。

> **注:**
>
> PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プロジェクトを表示できます。

製品分類別ビューでは、次の検索を実行できます。

製品分類別ビュー



[検索ソフトウェアモデルの入力] フィールドを使用して名前を入力し、[カテゴリ] 列のリストからソフトウェアモデルを検索します。

[ソフトウェアモデル別] ビュー

[ソフトウェアモデル別] ビューには、 ソフトウェアモデル > ビジネスアプリケーション > アプリケーションサービス.

このビューでは、完全バージョンとともにすべてのソフトウェアモデルのリストを表示できます。ソフトウェアモデルをクリックして展開すると、そのソフトウェアモデルで実行されているすべてのビ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

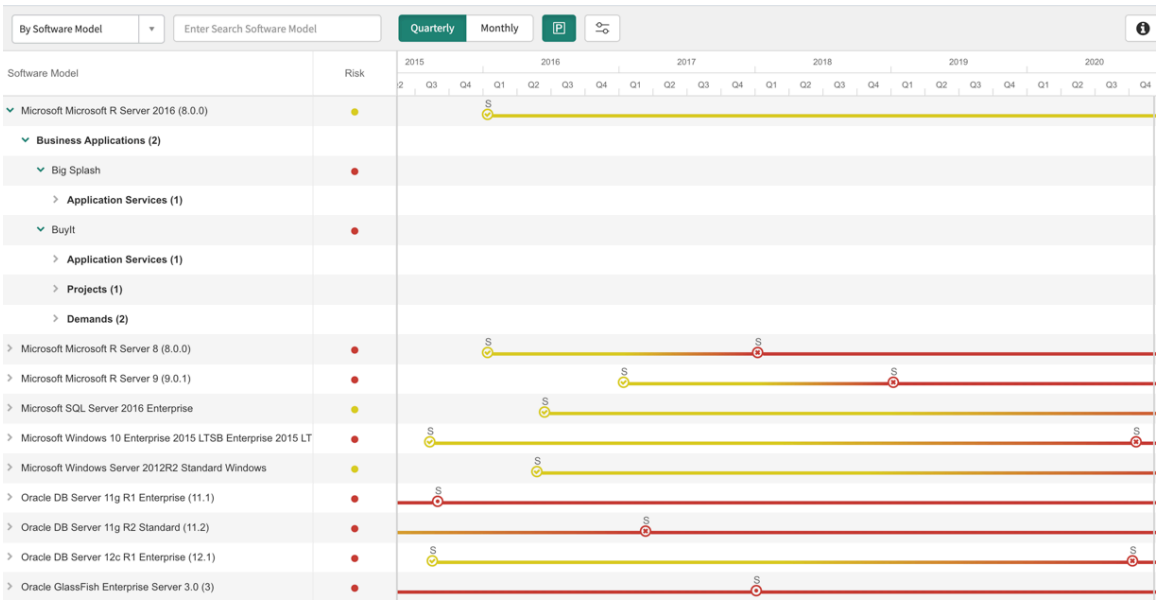
自動翻訳

ジネスアプリケーションを表示できます。ビジネスアプリケーションをさらに展開すると、ビジネスアプリケーションがサポートするすべてのアプリケーションサービスを表示できます。

ビジネスアプリケーションとソフトウェアモデルの間には、直接の cmdb CI 関係はありません。一方、ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスは、cmdb 関係によって関連付けられます。アプリケーションサービスの場合、関連するソフトウェアモデルがあります。これらは、アプリケーションサービスソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_model] テーブルに保存されていて、そこから取得されます。したがって、ソフトウェアモデル別ビューの利点は、そのソフトウェアモデルとその完全バージョンで実行されているすべてのビジネスアプリケーションを直接表示できることです。

このビューでは、少なくとも 1 つ以上のビジネスアプリケーションが実行されているソフトウェアモデルのみを表示できます。

ソフトウェアモデル別ビュー



次の操作も実行できます。

- ソフトウェアモデルを検索します。
- ソフトウェアモデルをフィルタリングするための条件を設定します。
- 増分ページネーションオプションを使用して、選択した数のソフトウェアモデルレコードを表示します。
- デマンドまたはプロジェクトをソフトウェアモデルに追加します。ソフトウェアモデルをポイントし、ソフトウェアモデル名の横に表示される アイコンをクリックします。開かれたデマンドまたはプロジェクトフォームには、選択したソフトウェアモデルで実行されるビジネスアプリケーションの名前が、[ビジネスアプリケーション] フィールドに入力されています。

  注: PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プロジェクトをソフトウェアモデルに追加できます。

アプリケーションバックログビュー

エンタープライズアーキテクトとして、このビューは、ビジネスアプリケーションに影響を与えるスクラムの作業単位であるエピック、ストーリー、および拡張の理解に役立ちます。

注: Agile Development 2.0 (com.snc.sdlc.agile.2.0) プラグインをアクティブ化して、TPM タイムラインでアプリケーションバックログビューを取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションバックログビューは、エピック、ストーリー、拡張などのさまざまなタスクタイプのレコードについて、一元化されたバックログを調べる際に役立ちます。このビューにより、1 つの場所でのさまざまなタスクタイプレコードの優先順位付けと順序付けが容易になるため、多くのステップでのソートやフィルタリングの手間が省けます。このビューでは、次の操作を実行できます。

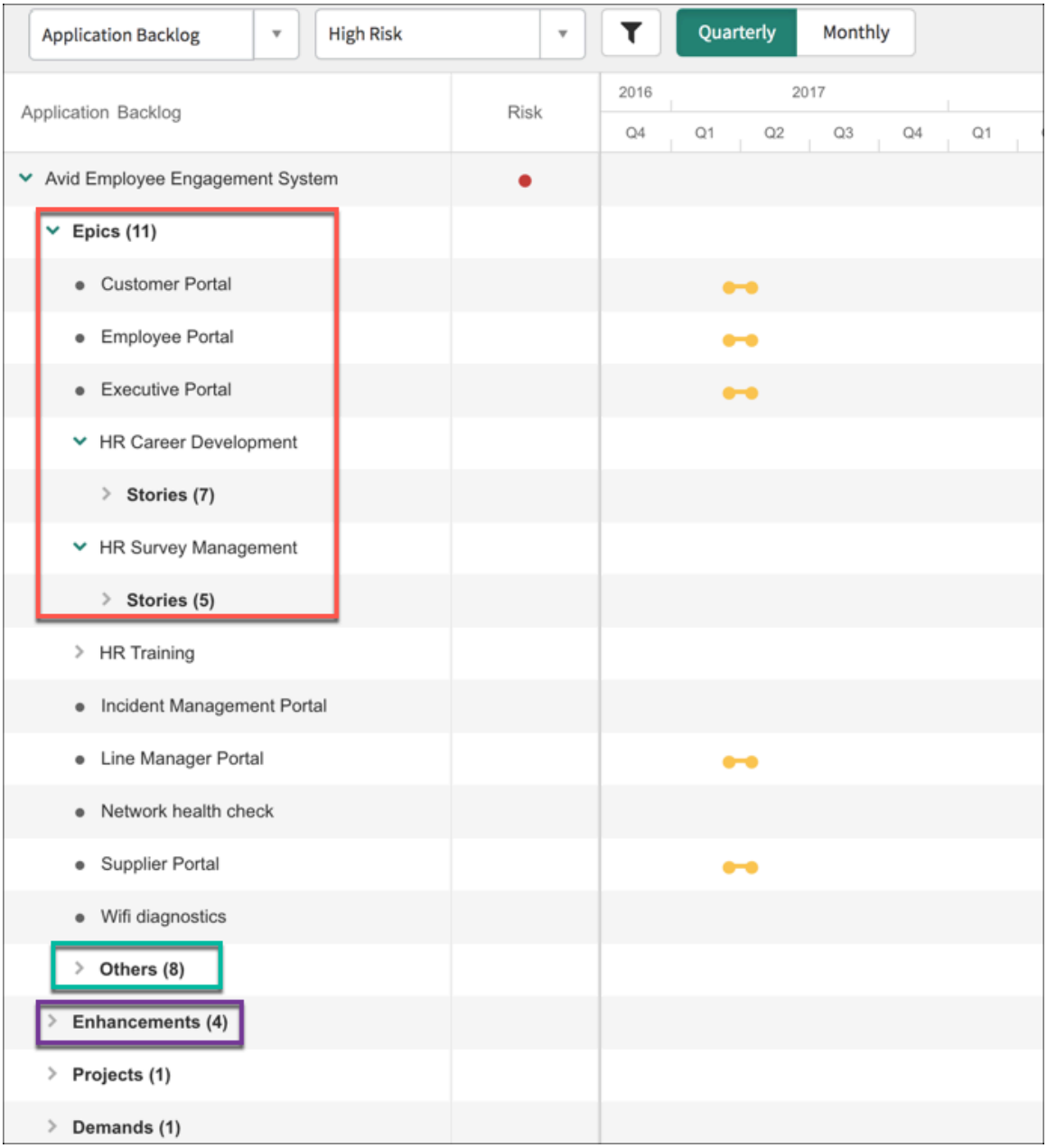
- デフォルトでは、高リスクのすべてのアプリケーション (最初の列) が表示されますが、2 番目の列でそれらのリスクの強度に基づいてフィルタリングできます。
- ビジネスアプリケーションテーブルの任意の属性別にアプリケーションレコードをフィルタリングします。タイムラインを四半期ビューまたは月次ビューに切り替えます (3 列目)。
- アプリケーションに追加するプロジェクトまたはデマンドを作成します。
- 単一のビューに表示されるアプリケーションの数を指定します。
- ビジネスアプリケーションを展開すると、アプリケーションにアタッチされているエピック、ストーリー、拡張、プロジェクト、およびデマンドの統一されたバックログが表示されます。括弧内でこれらのエンティティの合計数を確認することもできます。

アプリケーションにアタッチされたプロジェクトとデマンドに加えて、次のアプリケーションバックログエンティティをタイムラインで表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイムラインのアプリケーションバックログビュー



エピック

アプリケーションの概括的なレベルのビジネス目標は、1 つ以上のエピックに分解されます。エピックとは、アプリケーション目標の一部を完了するために必要な作業を、小さく分割して整理したものです。エピックは、さらにストーリーに分解されます。ストーリーは基本的な作業単位であり、ビジネス要件を簡潔に説明し、スプリント内で完了することができます。エピックのタイムラインは、エピックの開始予定日と終了予定日に基づいて表示されます。エピックのステータスは [完了] または [キャンセル] 以外になっている必要があります。

ストーリー

ストーリーは通常、エピックの一部です。ビジネスアプリケーションにアタッチされたエピックに含まれ、ステータスが [完了] または [キャンセル] 以外のストーリーが、タイムラインに表示されます。タイムラインは、開始予定日から始まり、ストーリーがタグ付けされているスプリントの終了予定日で終了します。

その他

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エピックにアタッチされずに、ビジネスアプリケーション自体に直接関連付けられているストーリーが存在する場合があります。このようなストーリーは、エピック内で [その他] として一覧表示され、タイムラインに表示されます。

拡張

拡張は、スクラム以外のロールを持つユーザーからの特別な要求です。スクラム製品のオーナーはこれらの要求をレビューし、1 つ以上のユーザーストーリーを作成します。[完了してクローズ]、[保留中]、および [キャンセル] ステータス の拡張は、タイムラインに表示されません。拡張タイムラインは、スプリント作業の開始と終了がスケジュールされている開始予定日から終了日までになります。

プロジェクト

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プロジェクトをビジネスアプリケーションに追加できます。

デマンド

PPM Standard プラグインがアクティブ化されていない場合は、デフォルトでデマンドが作成されます。

> **注:** エピック、ストーリー、および拡張を表示するタイムラインの場合、これらの各レコードが、それにアタッチされているビジネスアプリケーションを参照している必要があります。詳細については、「エピックをビジネスアプリケーションに関連付ける」を参照してください。

[アプリケーション] 列

[アプリケーション] 列に一覧表示されているすべてのエピック、ストーリー、拡張、プロジェクト、およびデマンドはクリック可能です。それぞれをクリックすると、クリック可能なフィールドのポイント先となっている新しいタブでレコードが開かれます。

[リスク] 列

ビジネスアプリケーションのリスクのみが表示され、エピック、ストーリー、拡張、プロジェクト、またはデマンドのリスクは表示されません。

[タイムライン] 列

ビジネスアプリケーションにアタッチされた作業単位の開始日と終了日が、実線でプロットされます。ただし、開始日または終了日のいずれかの日付のみが存在する場合は、その日付のみが塗りつぶされた円としてプロットされます。

アプリケーションバックログビューのビジネスアプリケーションにエピックを関連付ける

エピックをタイムラインのアプリケーションバックログビューに表示するには、エピックがビジネスアプリケーションを参照している必要があります。

始める前に

必要なロール：admin、scrum_user、または scrum_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > アジャイル開発 > エピック.
2. エピックリストビューで、[カスタマイズリストの更新] アイコン ( ) をクリックします。
3. [ビジネスアプリケーション] を [選択済み] リストに移動します。
4. **[OK]** をクリックします。
5. エピックのビジネスアプリケーション列をダブルクリックし、ビジネスアプリケーションを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [保存] アイコンをクリックします。

同様の方法で、Agile Development アプリケーションのそれぞれのリストビューで、ビジネスアプリケーションをストーリーと拡張に追加できます。

[SDLC コンポーネント別] ビュー

[SDLC コンポーネント別] ビューには、 **SDLC** コンポーネント > アプリケーションサービス > ハードウェアモデル そして ソフトウェアモデル 構造を連続して作成します。また、ビジネスアプリケーションは、[ビジネスアプリケーション] セクションに同じインデントレベルのアプリケーションサービスで表示されます。

このビューでは、すべての SDLC コンポーネントと、関連付けられたアプリケーションサービスおよびビジネスアプリケーションを表示できます。また、アプリケーションサービスに関連付けられている、基礎となるソフトウェアおよびハードウェアのモデルを表示することもできます。ソフトウェアとハードウェアのモデルを展開すると、それらのソースを表示できます。[SDLC コンポーネント別] ビューは、ServiceNow® 共通サービスデータモデル (CSDM) v4.0 が実装されている場合に使用できます。

SDLC コンポーネントは、固有のコード開発作業を表す構成アイテムです。SDLC コンポーネントの目的は、より大きなビジネスアプリケーションの構成品、または個々に開発されたコンポーネントに分解されたデジタル製品を表すことです。SDLC コンポーネントは、より大きなアプリケーションまたはテクノロジー全体のソフトウェア構成品または要素です。

SDLC コンポーネントには、アプリケーションとインフラストラクチャの 2 つのタイプがあります。「アプリケーション」タイプの例としてはマイクロサービスがあり、「インフラストラクチャ」タイプの例はデータベース構成やセキュリティ構成です。「アプリケーション」タイプの SDLC コンポーネントの展開済みインスタンスは、アプリケーションサービスになります。「インフラストラクチャ」タイプの SDLC コンポーネントの展開済みインスタンスは、任意のインフラストラクチャ CI で、SDLC コンポーネントがその構成詳細のスナップショットを表します。

ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、および SDLC コンポーネント間の CMDB 関係は、CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルを使用して作成できます。CSDM v4.0 に準拠した CMDB 関係を作成するには、アプリケーションサービスと SDLC コンポーネントの間の関係、さらには SDLC コンポーネントとビジネスアプリケーションの間の関係を作成する必要があります。

[SDLC コンポーネント別] ビューの利点は、SDLC コンポーネントに関連するすべてのアプリケーションサービスとビジネスアプリケーションを直接表示できることです。CMDB 関係を作成する方法については、「CI 関係エディターを使用したビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスの関連付け」を参照してください。

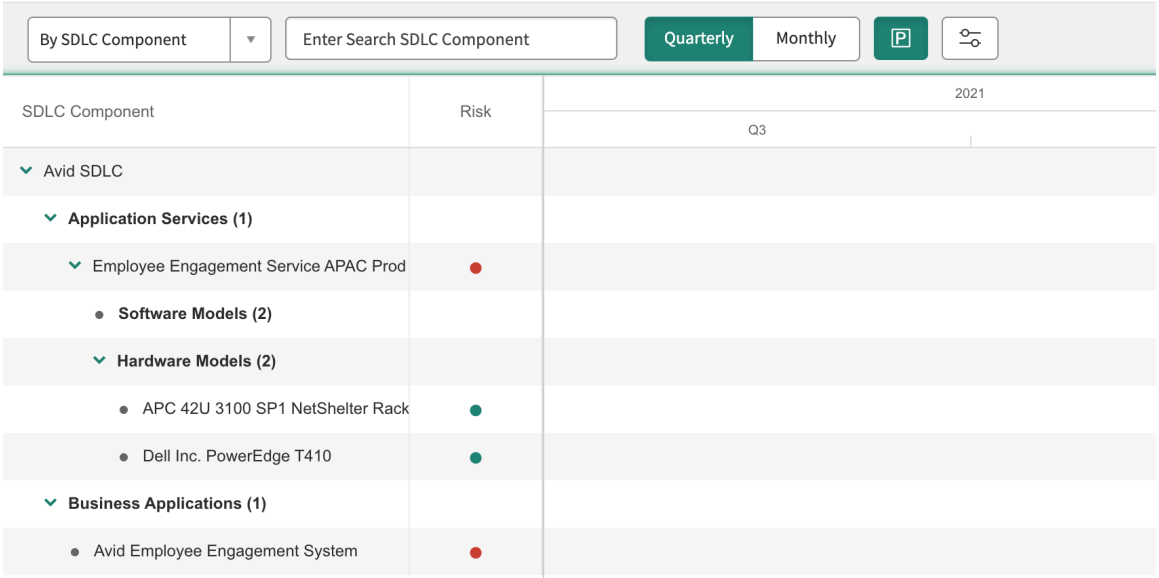
注: このビューでは、少なくとも 1 つの SDLC コンポーネントが関連付けられているアプリケーションサービスのみを表示できます。

[SDLC コンポーネント別] ビューでは、次の検索を実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[SDLC コンポーネント別] ビュー



[検索 **SDLC** コンポーネントを入力] フィールドを使用して名前を入力し、[SDLC コンポーネント] 列のリストから SDLC コンポーネントを検索します。

タイムラインを使用してアプリケーション戦略を実行する

[ビジネスアプリケーション別] ビューの [アプリケーション] 列には、組織で使用されているすべてのビジネスアプリケーションが一覧表示されます。製品分類別ビューに切り替えると、[カテゴリ] 列ですべての技術を表示できます。ソフトウェアモデル別ビューでは、各完全バージョンのすべてのソフトウェアモデルを表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

デフォルトでは、TPM タイムラインビューは、リスト内の最初のビジネスアプリケーションを展開し、関連付けられたアプリケーションサービスを最初のレベルで表示します。次に、アプリケーションサービスの基礎となるソフトウェアとハードウェアのモデルが次のレベルで表示されます。

後続のビジネスアプリケーションのリストの場合、ビジネスアプリケーションラベルの矢印をクリックして展開すると、アプリケーションに関連付けられているアプリケーションサービスの数とリストが表示されます。また、ビジネスアプリケーションに関連付けられている、基礎となるソフトウェアおよびハードウェアのモデルを表示することもできます。

アプリケーションサービス、ソフトウェアモデル、およびハードウェアモデルのヘッダーは、太字で示されています。これは、ハイパーテキストであるアプリケーションサービス、ソフトウェアモデル、およびハードウェアモデルのラベルと区別するためです。

手順

1. ビジネスアプリケーションフォームに移動して、レコードの詳細を表示および更新するには、ビジネスアプリケーションラベルをクリックします。
2. アプリケーションサービスフォームに移動して、レコードの詳細を更新するには、アプリケーションサービスラベルをクリックします。
3. TPM タイムラインからソフトウェアモデルフォームに直接移動するには、ソフトウェアモデルラベルをクリックします。
   ソフトウェア製品のライフサイクルの詳細 (各完全バージョンの製品モデル) は、フォームで変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ハードウェアフォームに移動して、[ハードウェアモデルライフサイクル] 関連リストでハードウェアライフサイクルの詳細を追加または更新するには、ハードウェアラベルをクリックします。
5. 特定のビジネスアプリケーション ([ビジネスアプリケーション別] ビュー内) またはソフトウェアモデル (ソフトウェアモデル別ビュー内) にデマンドまたはプロジェクトを追加するには、アプリケーションまたはソフトウェアモデルをポイントし、アプリケーションまたはソフトウェアモデルの名前の横に表示される [新規プロジェクトまたはデマンドを追加] アイコン ( ) をクリックします。

   注:

   PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、ビジネスアプリケーションのプロジェクトを作成できます。

   新規デマンド (New Demand) フォームでは、[ビジネスアプリケーション] フィールドに自動入力されるビジネスアプリケーション名を確認できます。

   複数のビジネスアプリケーションにデマンドを追加できます。デマンド (最初からビジネスアプリケーションにアタッチされている場合もあれば、されていない場合もある) は、同様に、別のビジネスアプリケーションにもアタッチできます。

   ビジネスアプリケーションにデマンドを追加し、TPM ページのタイムラインビューでデマンドを表示するには：

   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ分析 > デマンド.
   b. デマンドをクリックして開きます。
   c. デマンドフォームの [ビジネスアプリケーション] 選択リストで、デマンドの追加先にするビジネスアプリケーションを選択します。
   d. レコードを [保存] または [更新] します。
   e. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > **Technology Portfolio Management** (テクノロジーポートフォリオ管理) **(TPM)** > テクノロジーライフサイクル をクリックし、TPM ページのタイムラインビューを更新します。

      ビジネスアプリケーションに追加されたデマンドの数を表示できます。矢印をクリックして展開し、デマンド名を表示します。

      注: ビジネスアプリケーションにアタッチされているデマンドの開始日と終了日が、デマンドタイムラインにプロットされます。デマンドの開始日または終了日のいずれかの日付のみが存在する場合は、その日付が点としてプロットされます。

CI 関係エディターを使用したビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスの関連付け

ビジネスアプリケーションは複数のインスタンスを持つことができます。アプリケーションインスタンスは、アプリケーションサービスに他なりません。ビジネスアプリケーションをアプリケーションサービスに関連付けることで、ビジネスアプリケーションをインスタンスに関連付けます。ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスは 2 つの異なる構成アイテムであり、CI 関係を通じて関連付ける必要があります。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > すべてのビジネスアプリケーション > ビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスを関連付けるには、ビジネスアプリケーションをクリックして開きます。
3. ビジネスアプリケーションフォームの [関連アイテム] セクションで [CI 関係を追加 (Add CI relationship)] (+) アイコンをクリックして関係エディターを起動し、CI 関係 を作成します。
4. [構成アイテム] セクションから 1 つ以上のアプリケーションサービスを選択します。

   Service Mapping との統合は、構成アイテム間の直接関係を作成する CI 関係エディターを介して行われます。

5. [関係] セクションの (+) アイコンをクリックします。
   デフォルトでは、**Consumes::Consumed by** 関係タイプが選択されます。

   CMDB の提案された関係タイプを使用して、2 つの構成アイテムを関連付けることができます。関係タイプが自動的に選択されるだけでなく、関係の一貫性も確保されます。提案された関係は、機能とアプリケーションの間、およびアプリケーションとサービスの間で確立されます。

6. [保存して終了] をクリックします。

次のタスク
これで、ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスとの関係が作成されました。次に、アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付けることができます。

アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付ける

ハードウェアモデルを使用して、コンピューターやサーバーなどの機器資産を追跡します。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、レガシー テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、引き続き レガシー テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 レガシー テクノロジーポートフォリオ管理 モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内でテクノロジーポートフォリオ管理ストアアプリケーションを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて
ハードウェアモデルは、特定のデバイスモデルに対応した仕様を持つ構成アイテムです。仕様は、デバイスのサイズ、奥行き、画像、モデル、電源のいずれかにすることができます。

注: エンタープライズアーキテクチャ では、コンピューターとサーバーのみがハードウェアまたはハードウェアモデルとして追跡されます。プリンター、ネットワーク機器、周辺機器、UPS など、他のタイプのハードウェアは、アプリケーションサービスでは追跡されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションは、さまざまなタイプのハードウェアにインストールできる複数のアプリケーションサービスで実行されている場合があります。そのため、アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付けることは、基礎となるハードウェアに起因するアプリケーションサービスリスクの把握に役立ちます。

製品モデルの取得ジョブを実行すると、アプリケーションサービスがハードウェアモデルに自動的に関連付けられます。アプリケーションサービスとハードウェア製品モデルがマッピングされ、アプリケーションサービス用のハードウェアモデル [sn_apm_tpm_app_service_hardware_model] テーブルにレコードが作成されます。ただし、ハードウェアを含むすべてのハードウェアモデルにアプリケーションサービスを手動で関連付けることもできます。

「TPM リスクパラメーターのロードとアプリケーションサービスリスクの計算」スケジュール済みジョブが実行された後、ハードウェアモデルの技術リスクデータが生成され、ハードウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_hardware_model_risk] テーブルに保存されます。

注: エンタープライズアーキテクチャユーザーとしてのハードウェア製品モデルのリスクテーブルへのアクセスは読み取り専用に制限されています。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ アドミニストレーターは、テーブル内のハードウェアモデルのリスクを作成、変更、および削除できます。また、ハードウェア [cmdb_ci_hardware]、ハードウェアモデル [cmdb_hardware_product_model]、およびハードウェアモデルライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle] テーブルへのアクセスは読み取り専用です。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Application Portfolio Management** > **Technology Portfolio Management** (テクノロジーポートフォリオ管理) **(TPM)** > アプリケーションサービス.
2. ハードウェアモデルを関連付けるアプリケーションサービスであるサービスレコードをクリックします。
3. [アプリケーションサービス用のハードウェアモデル] 関連リストをクリックします。
4. [新規] をクリックします。

   アプリケーションサービス用のハードウェアモデルデータベーステーブルには、アプリケーションサービス用のハードウェアモデル情報が保存されます。アプリケーションナビゲーターからアプリケーションサービス用のハードウェアモデルテーブルに、直接移動することもできます。

5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「アプリケーションサービス用のハードウェアモデル」を参照してください。
6. [送信] をクリックします。

アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付ける

ビジネスアプリケーションには、開発、QA、本番などの複数のインスタンスがあります。インスタンスは、アプリケーションサービスに他なりません。アプリケーションサービスのリスクを把握するには、アプリケーションサービスを (それぞれの完全バージョンに対して) ソフトウェアモデルに関連付ける必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > **Technology Portfolio Management** (テクノロジーポートフォリオ管理) **(TPM)** > アプリケーションサービス.
2. ソフトウェアモデルを関連付けるサービスレコード (アプリケーションサービス) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [アプリケーションサービスソフトウェアモデル] 関連リストを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。

   アプリケーションサービス用のソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_model] データベーステーブルに、アプリケーションサービス用のソフトウェアモデル情報が保存されます。また、アプリケーションナビゲーターからアプリケーションサービス用のソフトウェアモデルテーブルに直接移動することもできます。このテーブルのデータは、TPM 画面の [ソフトウェアモデル別] ビューにソフトウェアモデルのタイムラインとして表示されます。

5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「アプリケーションサービス用のソフトウェアモデルフォーム」を参照してください。
6. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ソフトウェアモデルのリスクを評価するためのリスクパラメータースコアを作成します。ソフトウェアモデルのリスクに基づいて、アプリケーションサービスのリスクを計算できます。最後に、アプリケーションサービスのリスクに基づいて、ビジネスアプリケーションのリスクを評価できます。

リスクパラメーターを作成

ソフトウェアモデルのリスクは、外部経過時間リスク、内部経過時間リスク、外部ステージリスク、内部ステージリスクなどの事前に構成された 4 つのパラメーターに基づいて計算されます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
事前に構成されたパラメーターに加え、ビジネスアプリケーション要件とそのベースとなるソフトウェアモデルに従って、リスクパラメーターを作成することもできます。ただし、パラメーターを作成する場合は、そのパラメーターのリスクを計算するロジックが含まれたスクリプトも記述する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > **TPM** リスクパラメーター.
2. [新規] をクリックするか、レコードを開きます。
3. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「リスクパラメーターフォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

次のタスク
リスクパラメーターを作成した後で、TPM リスクエンジンを実行してリスクパラメーターをロードし、アプリケーションサービスリスクを計算します。

アーキテクチャアーティファクトの作成または編集

アーキテクチャアーティファクトを作成したり編集したりして、ビジネス要件に対応します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アーキテクチャアーティファクト > アーティファクト.
2. アーキテクチャアーティファクトを作成または編集します。
   - アーティファクトを作成するには、**[New** (新規)] をクリックします。
   - 既存のアーティファクトを編集するには、アーティファクトの名前をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 (Create new architectural artifact)] フォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

アーティファクトとビジネスエンティティとの関連付け

ビジネス機能やビジネスアプリケーションなど、Now Platform における既存の要素にアーキテクチャアーティファクトを関連付けます。関連付けにより、アーティファクトと関連エンティティ間の関係が作成されます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、レガシーアーキテクチャアーティファクトモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来のアーキテクチャアーティファクトモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のアーキテクチャアーティファクトモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「アーキテクチャアーティファクトに関連エンティティを追加する」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アーキテクチャアーティファクト > アーティファクト.
2. 関連エンティティを追加するアーティファクトの名前を選択します。
3. 表示された詳細フォームで、[関連エンティティ] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「新しい関連エンティティの作成フォーム」を参照してください。
6. [送信] を選択します。

ビジネス機能のアーティファクトの管理

ビジネス機能に関連付けられているアーティファクトを表示したり管理したりします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

> **重要:**
>
> Xanadu リリース以降、レガシー アーキテクチャアーティファクトモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、 レガシー アーキテクチャアーティファクトモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 レガシー アーキテクチャアーティファクトモジュールは使用できません。
>
> エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「EA ワークスペースでのビジネス機能のアーキテクチャアーティファクトの管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > ビジネス機能.
2. ビジネス機能の名前をクリックして、関連するアーティファクトを表示します。
3. [関連リンク] セクションで、[アーキテクチャアーティファクト] タブを選択します。
   ビジネス機能に関連付けられたアーティファクトのリストが表示されます。
4. アーティファクトを作成するか、既存のアーティファクトを編集します。
   - アーティファクトを作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存のアーティファクトを編集するには、[編集] をクリックします。

   要件に応じて、選択したアーティファクトをダウンロードしたり削除したりすることもできます。

ビジネスアプリケーションのアーティファクトの管理

ビジネスアプリケーションに関連付けられているアーティファクトを表示したり管理したりします。

始める前に

> **重要:**
>
> Xanadu リリース以降、レガシーアーキテクチャアーティファクトモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、 レガシー アーキテクチャアーティファクトモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 レガシー アーキテクチャアーティファクトモジュールは使用できません。
>
> エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「EA ワークスペースでのビジネスアプリケーションのアーキテクチャアーティファクトの管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションの名前をクリックして、関連するアーティファクトを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [関連リンク] セクションで、[アーキテクチャアーティファクト] タブを選択します。
   ビジネスアプリケーションに関連付けられたアーティファクトのリストが表示されます。
4. アーキテクチャアーティファクトを作成または編集します。
   - アーティファクトを作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存のアーティファクトを編集するには、[編集] をクリックします。

   要件に応じて、選択したアーティファクトをダウンロードしたり削除したりすることもできます。

アーティファクトカテゴリの作成または編集

アーティファクトのカテゴリを作成したり編集したりします。アーキテクチャアーティファクトにカテゴリをアサインします。カテゴリにより、アーティファクトの分類や管理がより効率的になります。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来のアーキテクチャアーティファクトモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のアーキテクチャアーティファクトモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のアーキテクチャアーティファクトモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「アーキテクチャアーティファクトカテゴリの追加または編集」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アーキテクチャアーティファクト > カテゴリ.
2. アーキテクチャカテゴリを作成または編集します。
   - 新しいアーキテクチャカテゴリを作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存のカテゴリを変更するには、カテゴリの名前をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「アーキテクチャカテゴリフォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

アーティファクトバージョンの作成

アーキテクチャアーティファクトのバージョンを複数作成して、承認を依頼します。各アーティファクトに対して承認を受けられるバージョンは 1 つだけです。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アーキテクチャアーティファクト > アーティファクト.
2. アーティファクトバージョンを作成するアーキテクチャアーティファクトを選択します。
3. [アーキテクチャアーティファクトのバージョン] タブを選択します。
4. [新規] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「アーキテクチャアーティファクトのバージョンフォーム」を参照してください。
6. [送信] をクリックします。

アーティファクトバージョンのダウンロード

承認されたアーティファクトバージョンをダウンロードして、アーキテクチャ図を表示します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > アーキテクチャアーティファクト > バージョン.
2. ダウンロードするアーキテクチャアーティファクトのバージョンを選択します。
3. [アーティファクトをダウンロード] をクリックします。

> **注:** 未承認のアーティファクトバージョンまたは URL のアーティファクトバージョンはダウンロードできません。これらをダウンロードしようとすると、エラーメッセージが表示されます。

タスクの結果
承認済みバージョンのドキュメントがダウンロードされます。

アーティファクトバージョンの承認の要求

エンタープライズアーキテクトユーザーにアーキテクチャアーティファクトバージョンの承認を要求します。ユーザーが要求をレビューして承認します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > アーキテクチャアーティファクト > アーティファクト.
2. アーティファクトバージョンの承認を要求するアーキテクチャアーティファクトを選択します。
3. **[Architectural Artifacts Versions** (アーキテクチャアーティファクトのバージョン)] タブを選択します。
4. レコードのバージョン番号をクリックして開きます。
5. **[Request Approval** (要求承認)] を選択します。

タスクの結果
レコードバージョンが、承認のためにエンタープライズアーキテクトに送信されます。メール通知が、承認者に送信されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アーティファクトバージョン要求の承認または却下

エンタープライズアーキテクトは、他のユーザーによって送信されたアーキテクチャアーティファクトのバージョン要求を作成、編集したり、承認または却下したりできます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
ユーザーがアーティファクトを要求すると、メール通知が承認者に送信されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Service Desk** > 自分の承認.
2. 承認または却下するアーティファクト要求を選択します。
3. [承認] または [却下] を選択します。

タスクの結果
要求者は、承認または却下のメール通知を受け取ります。

アーキテクチャレビュー要求の承認

エンタープライズアーキテクトグループに属している場合は、アーキテクチャレビュー要求を承認できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
グループ内の承認者は、必ずしも エンタープライズアーキテクチャ ユーザーである必要はなく、 エンタープライズアーキテクチャ ロールを持っている必要もありません。ただし、承認者はユーザーテーブル [sys_user] に含まれているユーザーである必要があります。エンタープライズアーキテクトグループのどの承認者も、アーキテクチャレビュー要求を承認できます。

グループのメンバーを追加または変更するには、次に移動します: **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > サービス承認グループ.

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > サービス要求.
2. タスクの番号をクリックします。
3. [承認者] 関連リストまで下にスクロールし、承認のステータスをクリックします。
4. [ステータス] フィールドで [承認済み] または [却下] を選択します。
5. [更新] をクリックします。

   ARB 要求が承認または却下されると、要求者はメール通知を受け取ります。自動化された Flow Designer プロセスも作成されます。次に移動できます **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > サービスフローデザイナー フローを確認します。

ビジネスアプリケーションの 図を作成する

ビジネスアプリケーション階層の図を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けます。ServiceNow エンタープライズのモデリングと可視化 または Lucidchart を使用して、ビジネス階層の図を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

> **重要:**
>
> Xanadu リリース以降レガシー (create diagram 機能は エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、legacy create diagram 機能を引き続き使用できます。新規アクティベーション ユーザーの場合、 legacy create diagram 機能は使用できません。
>
> エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「EA ワークスペースでのビジネスアプリケーションの 図の作成」を参照してください。

ServiceNow エンタープライズのモデリングと可視化を使用して図を作成するには、次のServiceNow Storeアプリケーションをアクティブ化する必要があります。詳細については、「 EA ワークスペースのエンタープライズのモデリングと可視化」を参照してください。

- エンタープライズのモデリングと可視化 (app-modelling-tool)
- ダイアグラムビルダー (app-diagram-builder)
- APM モデリングツール共通 (app-modelling-tool-common)

Lucidchart を使用して図を作成するには、次の ServiceNow Store アプリケーションをアクティブ化し、Lucid との接続を確立する必要があります。

- Lucidchart Diagramming スポーク
- Lucidchart Integration

Lucid との接続を確立するには、「 Lucidchart で OAuth 2.0 クライアントを作成する 」および「 Lucidchart 作図スポークの接続および資格情報エイリアスを作成する 」を参照してください。

必要なロール: エンタープライズアーキテクトグループのメンバー

手順

1. ビジネスアプリケーション図に移動します。
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アーキテクチャアーティファクト > 図.
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション をクリックし、ビジネスアプリケーションを選択します。
2. [図を作成] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ビジネスアプリケーションの [図を作成] フォーム」を参照してください。

   > **注:** Lucidchart の場合は、[Create Diagram (図を作成)] ウィンドウの認証リンクを使用して認証トークンを生成し、Lucid フォルダーを取得して図を保存します。

4. [図を作成] をクリックします。

タスクの結果
送信が正常に完了すると、新しく作成された 図へのリンクが画面上部に表示されます。リンクを選択すると図に移動できます。[アーキテクチャアーティファクト] ページには、 図へのリンクとそれに

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連付けられたアーティファクト名が表示されます。それぞれのリンクを選択すると、アーティファクトまたは図にアクセスできます。

ビジネス機能の Lucid 図を作成

ビジネスケイパビリティマップの図を Lucidchart で作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、図の作成機能は エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、[図を作成] 機能を引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、[図を作成] 機能は使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「EA ワークスペースでビジネスケイパビリティの Lucidchart 図を作成する」を参照してください。

次のストアアプリをインストールします。

- Lucidchart Diagramming スポーク
- Lucidchart Integration

Lucid との接続が確立されていることを確認します。詳細については、「 Lucidchart で OAuth 2.0 クライアントを作成する 」および「 Lucidchart 作図スポークの接続および資格情報エイリアスを作成する 」を参照してください。

必要なロール: エンタープライズアーキテクトグループのメンバー

手順

1. 次のいずれかの方法で、ビジネス機能図に移動します。
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > > アーキテクチャアーティファクト > 図.
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > 組織 > ビジネス機能 をクリックし、ビジネスケイパビリティを選択します。
2. [図を作成] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

   注: [Create Diagram (図を作成)] ウィンドウの認証リンクを使用して認証トークンを生成し、Lucid フォルダーを取得して図を保存します。

   フィールドの詳細については、「ビジネス機能の図を作成」を参照してください。
4. [図を作成] をクリックします。

タスクの結果

送信が成功すると、新しく作成された Lucid 図へのリンクが画面上部に表示されます。リンクを選択すると図に移動できます。[Architectural Artifacts (アーキテクチャアーティファクト)] ページには、Lucidchart 図へのリンクとそれに関連付けられたアーティファクト名が表示されます。それぞれのリンクを選択すると、アーティファクトまたは図にアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してアプリケーションを要求または廃止

エンタープライズアーキテクチャユーザーの場合は、ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスを使用して、ビジネス用の新しいビジネスアプリケーションを要求または登録する必要があります。他のサービスカタログアイテムを注文するのと同様に、ビジネスアプリケーションを要求できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

ベースシステムでも、すべての Now Platform 顧客に対して、サービスとして [ビジネスアプリケーションの登録] を提供しています。エンタープライズアーキテクチャ Core プラグイン (com.snc.apm_core) はこのサービスを提供し、プラグインは新しいインスタンスと再起動されたインスタンスで使用できます。エンタープライズアーキテクチャ アプリケーションを所有していない顧客は、このサービスを利用して新しいビジネスアプリケーションを要求することができます。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ プラグイン (com.snc.apm) を有効にすると、このサービスが拡張され、機械学習ソリューションを使用してアプリケーションカテゴリを予測および設定できるようになります。

プラグインの詳細については、「Application Portfolio Management のアクティブ化」を参照してください。「」を参照してください。 予測インテリジェンス for アプリケーションポートフォリオ管理 ビジネスアプリケーション向けの機械学習ソリューションの詳細を確認します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > ビジネスアプリケーションカタログ.

   ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスが、サービスカタログページで開きます。

2. 新しいビジネスアプリケーションを登録するには、[ビジネスアプリケーションの登録] カードをクリックするか、[ビジネスアプリケーションの登録] カードで [詳細を表示] をクリックします。
3. ビジネスアプリケーションの登録フォームに詳細を入力します。

   ビジネスアプリケーションの名前は必須です。必須フィールドの横に赤のアスタリスク (*) があります。

4. [送信] をクリックします。

   システムが要求を検証し、同じ名前のビジネスアプリケーションが存在するかどうかを確認します。存在する場合は、エラーメッセージが表示されます。存在しない場合は、フローがトリガーされ、ビジネスアプリケーションの登録要求が作成されます。

   承認要求は、ビジネスアプリケーション登録承認グループに送信されます。グループのメンバーが要求を承認した後、ビジネスアプリケーションがビジネスアプリケーションテーブルにレコードとして作成されます。これに対するメール通知が届きます。

5. 不要になったビジネスアプリケーションを廃止するには、[ビジネスアプリケーションの廃止] カードをクリックするか、[ビジネスアプリケーションの廃止] カードで [詳細を表示] をクリックします。

   a. [ビジネスアプリケーションの廃止] フォームの値リストからアプリケーションの名前を選択します。
   ビジネスアプリケーションを廃止するための条件：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アプリケーションの IT オーナー、ビジネスオーナー、またはアプリケーションをサポートするユーザーのみが、アプリケーションの廃止を要求できます。
- ビジネスアプリケーションを廃止するには、sn_apm.apm_user または sn_apm.apm_analyst ロールが必要です。
- エンタープライズアーキテクチャユーザーは、ビジネスアプリケーションレコードを削除したり、アプリケーションを非アクティブとしてマークしたりすることはできません。ただし、アプリケーションを廃止するための新しい要求を出すことはできます。
- 廃止を選択するビジネスアプリケーションは、[廃止] ステータスになっていない必要があります。また、アプリケーションレコードの [アクティブ] フィールドが **[False]** (非アクティブ) になっていない必要があります。

b. [送信] をクリックします。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスの要求

新しいビジネスアプリケーションに対して エンタープライズアーキテクチャ ユーザーが出した要求を承認するか、ユーザーが不要になったアプリケーションを廃止することができます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

承認者 (apm_analyst) もエンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。グループのメンバーを追加または変更するには、次に移動します: **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > サービス承認グループ.

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > サービス要求.

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスに関連するすべての要求は、ビジネスアプリケーション要求テーブル [business_app_request] にタスクとして保存されます。

承認のために、キューにあるタスクをメモします。

2. タスク番号を選択します。

3. [承認者] 関連アイテムまで下にスクロールします。

4. 承認タスクのステータスを選択します。

5. [ステータス] フィールドのリストから適切なステータスを選択します。

6. 必要に応じてコメントを入力します。

7. [**Update** (更新)] を選択します。

要求を承認または却下すると、対応するフローがトリガーされます。[フローエンジンコンテキストを表示] 関連リンクを選択して、要求のフローエンジンコンテキストを表示します。に移動することもできます **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > サービスフローデザイナー フローデザイナーでフローを確認します。

ビジネスアプリケーションの登録要求を承認する場合

- 承認されたビジネスアプリケーションは、ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app] に識別番号を持つレコードとして作成されます。アプリケーションのステータスは [実装中 **(Implementing)]** ステータスです。
- ビジネスアプリケーションの承認を通知するメールが、要求者に送信されます。

ビジネスアプリケーションの廃止要求を承認する場合

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- システムプロパティで選択された値に基づいて、*sn_apm.retireBusinessApplicationTaskType*、プロジェクト、またはデマンドが作成されます。値がプロジェクトとして設定されている場合、システムプロパティ *sn_apm.retireBusinessAppProjectTemplate* で定義されたプロジェクトテンプレートが適用されます。

  注: システムプロパティ *sn_apm.retireBusinessApplicationTaskType*で値が project に設定されている場合、ビジネスアプリケーションを廃止してプロジェクトを作成する要求を承認するには、 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) (SPM) サブスクリプションが必要です。

  エンタープライズアーキテクチャ のベースシステムは、アプリケーションを適切に廃止するために、事前定義された 8 つの異なるプロジェクトテンプレートタスクを含むビジネスアプリケーションの廃止と呼ばれるプロジェクトテンプレートを提供します。

  プロジェクトが作成され、プロジェクトマネージャーがプロジェクトにアサインされた後、プロジェクトマネージャーは必要に応じてタスクをレビュー、編集、または追加できます。プロジェクトテンプレートの詳細については、「プロジェクトテンプレート」を参照してください。プロジェクトタスクを理解するには、「プロジェクトタスク」を参照してください。

- *sn_apm.retireBusinessApplocationTaskType* システムプロパティの値がデマンドに設定されている場合は、デマンドが作成されます。

  プロジェクトとは異なり、 エンタープライズアーキテクチャ は事前設定されたデマンドタスクを含むテンプレートからデマンドを生成しません。代わりに、必須フィールドに自動入力される特定の値を使用してデマンドが作成されます。

  アプリケーションを廃止するために作成されたデマンドを表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ分析 > デマンド.

  フィールドの詳細については、「アプリケーションを廃止するデマンドフォーム」を参照してください。

- 既にプロジェクトまたはデマンドが存在している要求を承認した場合は、そのリクエストに対して別のプロジェクトまたはデマンドが作成されることはありません。
- アプリケーションの廃止要求が却下された場合は、要求者にメール通知が送信されます。ただし、ビジネスアプリケーションのステータスは、承認または却下されたかどうかに関係なく更新されません。
- エンタープライズアーキテクチャアドミンまたはアナリストは、ビジネスアプリケーションレコードを削除したり、アプリケーションを非アクティブとしてマークしたりできます。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してアーキテクチャレビューを要求する

アーキテクチャレビューボードに提示することで、ビジネスアプリケーションのテクノロジーに関する新しいアーキテクチャ設計提案のレビューを要求できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
アプリケーションオーナーは、ビジネスアプリケーションの基礎となるテクノロジーの変更やネットワーク設計の変更を提案したり、新しいサービス、ソリューション、またはハードウェア標準を提案したりすることができます。

設計提案は、次を目的として、アーキテクチャレビューボードを形成するエンタープライズアーキテクトのチームによってレビューされます。

- 開発と IT 戦略を適合させます。
- 設計レビュープロセスを通じて製品の品質を高めます。
- 特定の設計上の質問に対する推奨プラクティスについてガイダンスを提供します。
- セキュリティ、パフォーマンス、UI 設計の照会チームとして機能し、影響を受ける可能性がある今後の機能をレビューします。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > ビジネスアプリケーションカタログ.
2. アーキテクチャレビューを要求するには、[アーキテクチャレビューを要求] リンクまたは [アーキテクチャレビューを要求] カードの [詳細を表示] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

   ビジネスアプリケーションの名前は必須です。必須フィールドの横に赤のアスタリスク (*) があります。

   注:

   アーキテクチャレビューを要求するには、ビジネスオーナー、IT アプリケーションオーナー、またはアプリケーションをサポートするユーザーである必要があります。

   フィールドの詳細については、「アーキテクチャレビューを要求フォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

   送信時に、エンタープライズアーキテクトグループのメンバーに承認要求が送信されます。要求がレビューボードによって承認されるとすぐに、メール通知が送信されます。要求が却下された場合でも、通知されます。

アプリケーションを評価するインジケーターを作成または編集する

アプリケーションインジケーターは、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価するビジネス測定基準です。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、アプリケーションインジケーターモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合でも、アプリケーションインジケーターモジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、アプリケーションインジケーターモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「インジケーターの構成」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
各インジケーターは、アプリケーションスコアの計算に使用される関連アプリケーションデータを定期的にキャプチャします。アプリケーションのアセスメントは、構成されたさまざまなインジケーターに基づく拡張可能なフレームワークで実行されます。アプリケーションスコアを計算するために事前に構成されたもの以外のインジケーターが必要な場合は、ビジネス要件に基づいてインジケーターを作成できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > アプリケーションインジケーター.
2. [新規 **(New)]** をクリックするか、既存のアプリケーションインジケーターをクリックして編集します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「インジケーターフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。
5. アプリケーションのインジケータースコアを再生成するには、インジケーターをクリックして開きます。

   a. コンテキストメニューの [インジケータースコアを再生成] オプションをクリックします。

      このアクションは、単にそのインジケーターの既存のスコアを更新するのではなく、スコアを削除して新しいスコアを生成します。このインジケーターは、1 つ以上の採点プロファイルにアタッチされている場合があるため、この採点プロファイルに関連付けられているすべてのビジネスアプリケーションのスコアを再計算します。

   b. [アプリケーションインジケータースコアを再生成] ダイアログボックスで会計期間を選択します。

   c. **[OK]** をクリックします。

   d. [更新] をクリックします。

6. 依存インジケーターを作成するには、インジケーターをクリックして開きます。
   [データソース] フィールドで [インジケーター] を選択した場合、そのインジケーターレコードを開くと、[インジケーター依存関係] 関連リストが表示されます。

   注: データソースがインジケーターになっているインジケーターは、依存子インジケーターとして追加できません。

   a. [インジケーター依存関係] 関連リストで [新規] をクリックします。
      親インジケーターが [親インジケーター] フィールドに自動入力されます。

   b. [子インジケーター] フィールドで依存インジケーターを選択します。

   c. [送信] をクリックします。

7. ビジネスアプリケーションを評価するには、[アセスメントを生成] をクリックします。

次のタスク
事前に構成されたインジケーターを使用して、コスト、品質、およびリスクに基づいてアプリケーションを評価します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サーベイアセスメントを生成し、内で結果を表示する エンタープライズアーキテクチャ

エンタープライズアーキテクチャ 内で、ビジネスアプリケーションを使用するユーザーにアセスメントアンケートをアサインし、アプリケーションに関するフィードバックを得ることができます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、アプリケーションインジケーターモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合でも、アプリケーションインジケーターモジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、アプリケーションインジケーターモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「インジケーターの構成」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
エンタープライズアーキテクチャ は アセスメントとサーベイ と統合し、アセスメントメトリクスタイプに基づいてビジネスアプリケーションとビジネス機能を評価します。アセスメントから提供されたアプリケーションインジケーターは、アセスメント測定基準でのみ評価できます。

アセスメント測定基準は、ビジネスアプリケーションを評価するために使用される特性または値です。関連測定基準は、アセスメント測定基準カテゴリにグループ化され、そのカテゴリのみでビジネスアプリケーションを評価するために使用できます。一方、測定基準タイプは、組織がビジネスアプリケーションを評価する際に使用する一連の基準を定義する、多くの測定基準カテゴリから構成できます。

たとえば、組織は、顧客満足度、ビジネス価値、技術的リスク、機能適合性などのアセスメント測定基準タイプを使用して、ビジネスアプリケーションを評価できます。さらに、組織は、顧客満足度の CSAT カテゴリなど、1 つのアセスメント測定基準カテゴリに基づいてビジネスアプリケーションのグループを評価できます。この CSAT カテゴリ内では、アセスメントアンケートの質問などの実際のアセスメント測定基準を定義できます。*How likely is it that you would recommend this application to others?*

ビジネスアプリケーションはアセスメント可能なレコードであり、メトリクスタイプにリンクされています。カスタム UI を使用して、基準を満たすビジネスアプリケーションテーブルの列に基づいて条件を設定し、アプリケーションをフィルタリングします。ターゲット査定人としてユーザーグループまたは選別されたユーザーのいずれかを選択し、サーベイに回答するためのアンケートを送信します。[アセスメントインスタンス] でアセスメントとそのステータスを表示し、[インジケーター] 関連リストの [測定基準カテゴリの結果] タブで結果を表示します。

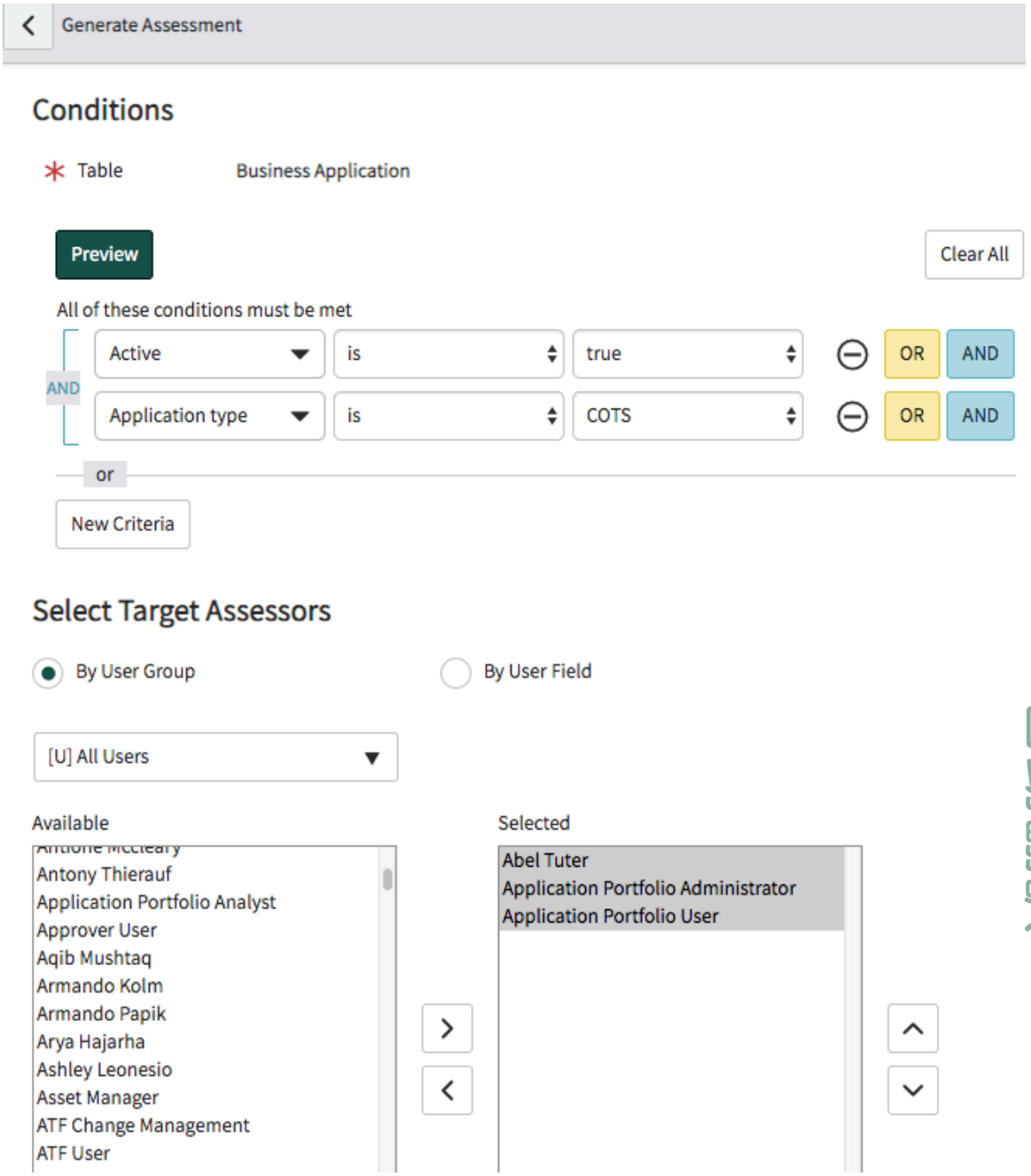
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > アプリケーションインジケーター.
2. データソースがアセスメントであるインジケーターを選択して開きます。
3. [アセスメントを生成] ボタンを選択します。
4. 評価する必要があるビジネスアプリケーションをフィルタリングするには、開かれた [アセスメントを生成] UI の条件ビルダーにある [フィールド]、[オペレーター]、および [値] フィールドで条件を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメント UI の生成



フィルター基準はビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app] テーブルのすべてのレコードに適用されます。また、テーブルの任意の列でアプリケーションをフィルタリングできます。

5. 依存条件を追加するには、条件の横にある **[AND]** または **[OR]** を選択します。
6. トップレベルの条件または複数のフィルター基準を追加するには、[新しい基準] ボタンを選択します。
7. 既存のフィルター条件をクリアして新しい条件を設定するには、[すべてクリア] ボタンを選択します。
8. [ターゲット査定人を選択] 領域でユーザーを選択し、アセスメントの質問を送信します。

   ユーザーグループを選択することも、個々のアプリケーションユーザーを [査定人] リストに移動することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

9. [アセスメントの送信] を選択します。
10. **[OK]** を選択して、[アセスメントの送信] ダイアログボックスで確定します。

    ユーザーは、次の場所に移動して、アサインされたアセスメントを表示して実施できます セルフサービス > 自分のアセスメントとサーベイ.

    詳細については、「サーベイの実施」を参照してください。

    ユーザーがアセスメントを送信すると、[アセスメントのインスタンス] タブのアセスメントのインスタンスの [ステータス] が [完了] に変わります。

11. [アセスメントインスタンス] タブを選択して、作成されたアセスメントのインスタンス、フィルター基準に適合するユーザーに送信されたアセスメントの合計数、およびアセスメントインスタンスのステータスを表示します。

    1 つのアセスメントのインスタンスは、1 人のユーザーにアンケートがアサインされた 1 回分に相当します。

    注:

    インジケータースコアと対応するアプリケーションスコアは、アセスメントグループのすべてのユーザーがアセスメントを完了した場合にのみ計算されます。

12. [メトリクスカテゴリの結果] タブを選択して、ユーザーまたはユーザーグループによって評価された各ビジネスアプリケーションの重み付け、評価、および正規化値を表示します。
    詳細については、「アセスメントカテゴリ結果の表示」を参照して、アセスメント結果の計算方法について確認してください。

アプリケーションスコアプロファイルの作成およびプロファイルインジケーターのアタッチ

アプリケーションスコアプロファイルを作成したり、デフォルトのアプリケーションプロファイルを要件に応じて新しいプロファイルインジケーターで更新したりできます。スコアプロファイルを作成した後で、それをインジケーターに関連付ける必要があります。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来のスコアリングプロファイルモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (以前の アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来の採点プロファイルモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のスコアリングプロファイルモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「採点プロファイルの構成」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて

採点プロファイルを新しいインジケーターで作成または更新し、ビジネスアプリケーションに関連付けることができます。多くの採点プロファイル内で同じインジケーターを使用して、その採点プロファイルに固有のインジケータースコアを生成することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > 採点プロファイル.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「採点プロファイルフォーム」を参照してください。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。

   スコアプロファイルを作成した後、プロファイルインジケーターをスコアプロファイルに関連付ける必要があります。

5. [プロファイルインジケーター] 関連リストで、インジケーターを追加します。

   a. [新規] をクリックします。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   プロファイルインジケーターフォーム

フィールド	説明
プロフィール	アプリケーションプロファイルの名前。
インジケーター	アプリケーションインジケーターの名前。
アプリケーション採点プロファイル内で評価 (Evaluate within Application Scoring Profile)	スコアの評価において、選択した採点プロファイルに関係するビジネスアプリケーションを考慮するためのオプション。 チェックボックスをオフにすると、必然的に、企業内のすべてのビジネスアプリケーションまたはすべての採点プロファイルが評価されます。
ドメイン	インジケーターが属するドメイン。
CI スコア計算で使用	アプリケーションスコアの計算でアプリケーションインジケーターを使用するためのオプション。
重み付け	インジケーターに対する数値。 インジケーターのアプリケーションスコアプロファイルで指定された重み付けは、アプリケーションの合計スコアに寄与します。

   プロファイルに追加するインジケーターは、依存子インジケーターを持つ親インジケーターにすることができます。このような親インジケーターが採点プロファイルに追加されると、そのすべての依存子インジケーターも、採点プロファイルにまだ存在していない場合は、重み付け 0 で追加されます。

   依存インジケーターの作成方法の詳細については、「アプリケーションを評価するためのインジケーターを作成または編集する」を参照してください。

   c. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
スコアを再生成：採点プロファイルにアタッチされているすべてのインジケーターのスコアを再生成するには、[スコアを再生成] ボタンをクリックします。このアクションは、単に既存のスコアを更新するのではなく、既存のスコアを削除して新しいスコアを生成します。したがって、この採点プロファイルに関連付けられているすべてのビジネスアプリケーションのスコアも再計算されます。

定期的にアプリケーションスコアを計算するためのジョブをスケジュールできます。

アプリケーションインジケータースコアの表示

アプリケーションインジケーターに定義されたソーシングセットアップに基づいて、ソーシングおよび計算されたアプリケーションインジケータースコアを表示します。アセスメントフレームワークは、少なくとも 1 つの採点プロファイルにアタッチされているインジケーターのスコアのみを計算します。インジケータースコアは、アプリケーションを評価し、戦略的な決定を下す際に役立ちます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、レガシーアプリケーション評価モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のアプリケーション評価モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のアプリケーション評価モジュールは利用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「Application Rationalization (アプリケーションの統廃合) のリストビュー」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
会計期間における、ビジネスアプリケーションのアプリケーションインジケータースコアの詳細を表示できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーション評価 > インジケータースコア.
   アプリケーションが一覧表示され、各会計期間のインジケーター、インジケータースコア、正規化値、アプリケーションの重み付け、および重み付けの合計が表示されます。正規化値、インジケータースコア、アプリケーションの重み付け、最大ターゲット、最小ターゲット、および重み付けの合計は、すべて小数点以下 2 桁に丸められます。
2. リスト内のビジネスアプリケーションをクリックして、アプリケーションの詳細を表示します。

関連情報

アプリケーションを評価するインジケーターを作成または編集する

すべてのアプリケーションスコアの表示

アプリケーション採点プロファイルのアプリケーションインジケーターの重み付けの合計で計算されたアプリケーションスコアを表示します。アプリケーションスコアは、アプリケーションを評価して、戦略的な決定を下す際に役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降レガシーアプリケーション評価モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは 従来の アプリケーション評価モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、レガシーアプリケーション評価モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「Application Rationalization (アプリケーションの統廃合) のリストビュー」を参照してください。

スコアは手動で作成できますが、 アセスメントフレームワーク スコアを計算することをお勧めします。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

会計期間内における、特定のビジネスアプリケーションのアプリケーションスコアを表示できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーション評価 > すべてのアプリケーションスコア.
   アプリケーションは、各会計期間のそれぞれのスコアとともに一覧表示されます。スコアは小数点以下 2 桁に丸められます。
2. リスト内のビジネスアプリケーションを選択して アプリケーションの詳細を表示します。

関連情報

アプリケーションスコアの正規化

アプリケーションスコアをバブルチャートで分析する

バブルチャートは、アプリケーションインジケータースコアをプロットするインタラクティブなグラフです。戦略の特定に役立ちます。バブルチャートで複数のインジケーターの組み合わせを構成することで、カテゴリのアプリケーションを評価し、アプリケーションについて投資するか、維持するか、または置き換えるかを決定できます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、バブルチャート機能は エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、引き続きバブルチャート機能を使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、バブルチャート機能は使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「Application Rationalization (アプリケーションの統廃合) のバブルチャートビュー」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
バブルチャートを使用して、アプリケーションのインジケータースコアを X 軸と Y 軸にプロットします。これらのスコアを使用して、目標を戦略化し、アプリケーションに投資するデマンド、もしくはアプリケーションを置換または維持するデマンドを作成できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ分析 > 分析.

   グループ分析ページが表示されます。

   [グループ分析] ページには、次のセクションがあります。

   アセスメント期間

   アプリケーションの分析対象となる会計期間。

   アプリをフィルタリング

   アプリケーションインジケータースコアに設定された基準に基づいて、アプリケーションカテゴリをフィルタリングする際に役立ちます。

   [カテゴリ] ドロップダウン

   アプリケーションファミリ、アプリケーションカテゴリ、機能などのグループ別にアプリケーションをフィルターするのに役立ちます。

2. [カテゴリ] ドロップダウンリストから [アプリケーションカテゴリ] を選択します。

   機能のリストが表示されます。

3. アプリケーションカテゴリをクリックして開きます。

   アプリケーションカテゴリのバブルチャートが開きます。バブルチャートは、フィルターされた値の範囲内にあるアプリケーションインジケータースコアの測定基準を表示するのに役立ちます。

   [アプリケーション分析] セクションを使用して、選択したインジケーターのアプリケーションを比較します。小数点以下 2 桁に丸められたアプリケーションの合計スコア、契約更新の詳細、そのライフタイムの詳細、およびアプリケーションに関連付けられたさまざまなコストが表示されます。どのアプリケーションにさらに投資するか、どのアプリケーションが実は役立っていないかを分析して把握できます。ビジネスアプリケーションフォームでビジネスアプリケーションレコードの詳細を表示するには、リスト内でアプリケーションの名前をクリックします。ダッシュボードビューでアプリケーションの詳細を表示するには、ビジネスアプリケーションフォームで [アプリケーション 360] タブをクリックします。

4. バブルチャートの構成を変更するには、[構成] アイコン ( ) をクリックし、グラフのディメンションを選択フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「グラフのディメンションを選択フォーム」を参照してください。

次のタスク
チャート内のバブルをポイントしてアプリケーションをクリックするか、バブルを右クリックして [デマンドを作成] を選択し、アプリケーションのデマンドを作成します。

アプリケーション戦略のバブルチャートを作成または編集する

選択したカテゴリ内でのアプリケーションの相対的な順位を比較および評価するバブルチャートを設定します。このチャートは、どのアプリケーションにさらに投資するか、どのアプリケーションを保持、置換、または廃止するかを決定する際に役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来のバブルチャート機能は エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来のバブルチャート機能を引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のバブルチャート機能は使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「Application Rationalization (アプリケーションの統廃合) のバブルチャートビュー」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

新しいインジケーターが必要な場合は、アプリケーションフレームワークがスコアを計算するアプリケーションバブルチャートを作成する前に、アプリケーションインジケーターを作成します。

このタスクについて
既存のアプリケーションバブルチャートを構成することも、ビジネスニーズに合わせて作成することもできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アドミニストレーション > バブル チャート.
2. [新規] をクリックして新しいチャートを作成するか、既存のチャートの名前をクリックして編集します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「アプリケーションバブルチャートフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

次のタスク
バブルチャートを表示するには、グループ分析ページに移動します。

アプリケーション 360 でパフォーマンス、コスト、および作業負荷を監視する

アプリケーション 360 ダッシュボードはレポートツールとして機能し、Performance Analytics を使用して、焦点を当てて注意を払う必要があるビジネスアプリケーションを特定することで、エンタープライズアーキテクチャ に対して意思決定アプローチを提供します。ダッシュボードは、インジケータースコアを分析し、効果的な意思決定を実行する際に役立ちます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来の Application 360 ダッシュボードは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の Application 360 ダッシュボードを引き続き使用できます。新しいアクティベーションユーザーの場合、従来の Application 360 ダッシュボードは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース を使用して、アプリケーション 360 ダッシュボードを活用できます。詳細については、「でのアプリケーション 360 ダッシュボードの操作 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

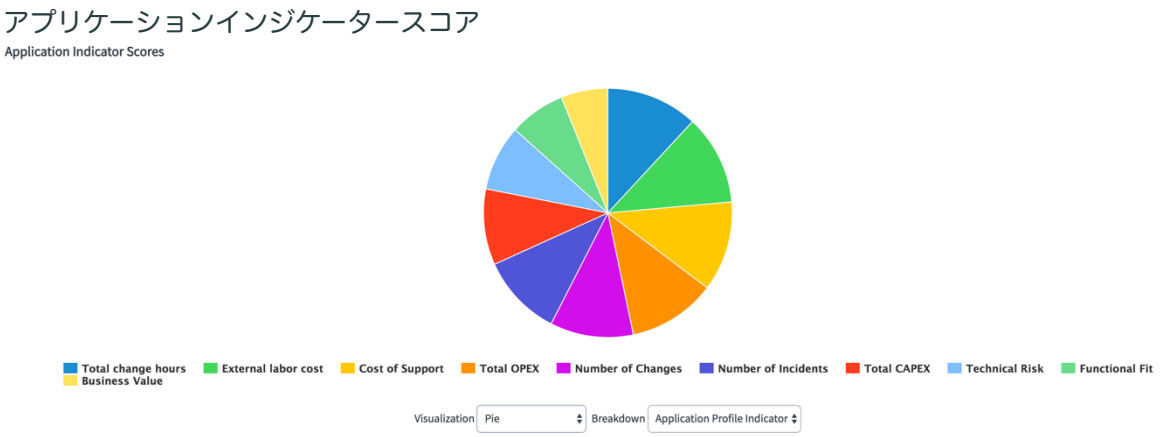
[ビジネスアプリケーション] 選択リストでアプリケーションを選択して、そのパフォーマンス、コスト、および作業負荷を、アプリケーション 360 ダッシュボード内の次のタブとセクションで監視します。

- 概要：会計期間における全体的なアプリケーションスコアを確認します。
  - アプリケーションインジケータースコア：選択した会計期間におけるさまざまなインジケーターの傾向と分布を表示します。
- コスト：
  - 会計四半期ごとの総コスト：四半期ごとの会計期間に発生した総コストの詳細を表示します。
  - スコアカード：コストの詳細と評価を経時的に確認し、四半期ごとに比較します。
- 作業負荷：選択した会計期間における新規インシデント、問題、および変更の数と作業負荷の傾向を示した図を表示します。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ分析 > アプリケーション **360**.



関連情報

レポートの開始

ダッシュボードを作成および使用する

ダッシュボードでアプリケーションのパフォーマンスを評価する

アプリケーションアセスメントダッシュボードを使用して、ビジネスアプリケーションのパフォーマンスに関するレポートの概要を確認します。スプライングラフでは、会計期間中の異なる四半期における、アプリケーションインジケーターの正規化値に対する傾向を確認できます。

始める前に
アプリケーションアセスメントダッシュボードを使用する前に、パフォーマンスアナリティクス – コンテンツパック – エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.pa.apm) プラグインをアクティブ化しておく必要があります。このプラグインを使用すると、パフォーマンスアナリティクス (PA) レポートおよびダッシュボードで使用される エンタープライズアーキテクチャ アプリケーションインジケータースコアにアクセスできます。

必要なロール：sn_apm.apm_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
エンタープライズアーキテクチャ は、事前に構成されたレポートをアプリケーションアセスメントダッシュボードに提供します。これらのレポートは、ダッシュボードを使用して構成できます。ダッシュボードでデータをフィルターすることもできます。

アプリケーションアセスメントダッシュボードは、アプリケーションの完全なビューを提供するレスポンシブダッシュボードです。さまざまなインジケーターとインジケータースコアを持つウィジェットを共有できます。ダッシュボードの PA ウィジェットを使用してデータを経時的に視覚化すると、ビジネスプロセスの分析や改善が必要な領域の特定に役立ちます。

ダッシュボードには、傾向の分析に役立つ次のレポートが用意されています。

- 顧客満足度の傾向：アプリケーションファミリーに属するさまざまなアプリケーションにおける経時的な顧客満足度のレベル。正規化値は、アプリケーションの重み付けの最大値と最小値の計算によって導き出されます。
- 使用傾向：アプリケーションの経時的な使用状況。
- ビジネス価値の傾向：アプリケーションの経時的なビジネス価値。
- サポートコストの傾向：アプリケーションの経時的なコスト。
- 変更の合計数の傾向：変更の経時的な合計数。
- 技術的リスクの傾向：アプリケーションで経時的に生じる可能性がある技術的リスク。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ分析 > ダッシュボード.
2. グラフを JPG または PNG ファイルとして保存するには、グラフをポイントし、表示されるメニューアイコンをクリックします。
3. スプライングラフのデータをフィルターするには、[アプリケーションカテゴリ]、[ポートフォリオ]、[ビジネスプロセス]、および [事業部門] リストからオプションを選択します。

   注: PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをアクティブ化して、ポートフォリオフィルターを適用します。

関連情報

レポートの開始

ダッシュボードを作成および使用する

アプリケーション戦略の目標を作成する

アプリケーションを評価して戦略を決定したら、選択した会計期間のインジケーターに応じて最大化または最小化する具体的な目標を設定します。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来の目標モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の目標モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の目標モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「目標を管理」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：user_admin、pps_admin

このタスクについて

組織戦略のパフォーマンスを把握するには、次を参照してください。 PPM 向け戦略的支出トラッキング ダッシュボード もちろん説明しますプロジェクトの計画コスト、実際のコスト、メリットが、組織の戦略に対して経時的にどのように推移するかを理解できる、包括的な視覚化を提供します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ホーム をクリックし、[機会とソリューション]、[目標] セクションで [作成] をクリックします。

   次のいずれの手順でも移動できます。

   - エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ分析 > **Goals** (最終目標) をクリックし、[新規] をクリックします。
   - 組織 > **Goals** (最終目標) をクリックし、[新規] をクリックします。

2. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「新しい目標フォーム」を参照してください。
3. [保存] をクリックします。
4. [最新の目標] セクションで、作成した目標をクリックし、次のフィールドを更新します。
   フィールドの詳細については、「目標の更新フォーム」を参照してください。
5. [保存] をクリックします。
   [すべて表示] をクリックすると、ポータルの [最新の目標] セクションのリストからすべての目標を表示できます。

次のタスク

目標を実行するプログラムを作成できます。

関連情報

プロジェクトの戦略と目標の割合の割り当てまたは変更

目標の達成に向けたデマンドを作成する

アプリケーションのコスト節減の機会を特定し、ターゲットを達成するためのステップとしてデマンドを使用します。デマンドアクションに関連付ける戦略によって、アプリケーションの戦略が決まります。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、レガシーデマンドモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーの場合は、 レガシー デマンドモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、レガシー デマンドモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「デマンドの管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
アクション、開始およびターゲットの会計期間、アプリケーション、プログラムなどの詳細をキャプチャするデマンドを作成します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ分析 > デマンド をクリックし、[新規] をクリックします。

   次のいずれのポータルからでも、デマンドフォームに移動できます。

   - Application Portfolio Management ホームページ
   - 機能ベース計画立案マップ
   - バブル チャート
   - 技術ポートフォリオ管理タイムライン

2. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「デマンドフォーム」を参照してください。
3. レコードを送信してリストビューに戻るには、[送信] をクリックします。
4. [保存] をクリックしてレコードを保存し、同じフォームをそのまま使用して、デマンドにさらに詳細を追加します。

アプリケーション目標のためのプログラムを作成する

プログラムを作成して、それを作成した目標にリンクし、プログラムマネージャーをプログラムに関連付けます。目標を作成したら、作成した目標を達成するためのプログラムを用意する必要があります。

始める前に

注:

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、プログラムを作成できます。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ホーム.

   に移動することもできます エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ分析 > プログラム をクリックし、[新規] をクリックします。

2. [**Create** (作成)] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「新しいプログラムフォーム」を参照してください。
4. [保存] をクリックします。
   ポータルの [プログラム] リストセクションですべてのプログラムを表示できます。

次のタスク
作成したプログラムまたはリスト内の他のプログラムを実行するためのガイド付き計画について学習し、作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムを実行するためのガイド付き計画を作成する

目標を設定し、機会を特定して、デマンドを作成し、プロジェクトをトラッキングすることで、ガイド付き計画を作成します。ガイド付き計画は、作成したプログラムの実装に役立ちます。

始める前に

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ、ガイド付き計画を作成してプログラムを実行できます。

プログラムのガイド付き計画を作成する前に、プログラムを作成しておく必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

プログラムナビゲーションページでは、目標を達成するための会計年度の目標ターゲットを設定できます。また、プログラム作成のどの段階でもアプリケーション合理化ロードマップを表示できます。

1. 次のように移動する。 エンタープライズアーキテクチャ > ホーム.
2. [機会およびソリューション] セクションの [プログラム数] ペインで [ビュー] をクリックします。
3. [プログラム] リストでプログラムをクリックします。
4. [会計期間] セクションの [計画を開始するための会計期間を選択 **(Select Fiscal Period to start planning)]** 選択リストをクリックし、プログラムステップで開始する会計年度を選択します。

手順

- ステップ 1：目標寄与率ターゲットの設定

  1. [ターゲットを設定] をクリックします。
  2. フォームのフィールドに入力します。
     フィールドの詳細については、「目標寄与率ターゲットフォーム」を参照してください。
  3. [保存] をクリックします。
     [ステップ 1：目標寄与率ターゲットの設定] には、選択した会計期間内で達成する必要がある目標の割合が示されます。たとえば、2018 会計年度にクラウドアプリケーションを 40% 最大化する目標を掲げ、[ターゲット目標寄与率 **(%)]** を 50% に設定した場合、[目標寄与率ターゲットの設定] には 20% と表示されます。

- ステップ 2：機会の特定

  1. プログラムナビゲーションページで [機会を特定] をクリックします。

     [グループ分析] ページで、アセスメント期間を確認し、アプリケーションカテゴリを分析して、各カテゴリに対してアプリケーションの数を評価します。
  2. [アセスメント期間] セクションの [分析を開始する会計期間を選択する **(Select Fiscal Period to start Analysis)]** 選択リストをクリックし、アプリケーションを分析する会計期間を選択します。
  3. [アプリをフィルター] ペインを使用して、アプリケーションインジケーターとスコアに基づいてフィルター条件を設定できます。
  4. [アプリケーションカテゴリ] セクションで、カテゴリ名別にアプリケーションを比較および分析します。
  5. [カテゴリ名] 列のアイテムをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. バブルチャートでバブルを右クリックし、[デマンドを作成] プロンプトをクリックしてデマンドを作成します。
   たとえば、カテゴリへの投資を増やすことが目標の場合は、その目標を達成するために投資バブルをクリックします。

   デマンドを保存すると、ページの右上隅にある [電球] アイコン ( ) に、作成されたデマンドの数が表示されます。

- ステップ 3：プロジェクトを追跡

1. プロジェクトのリンクをクリックすれば、いつでもプロジェクトのステータスを追跡できます。[プログラムワークベンチ] が開きます。ここは、プロジェクトを作成および管理するための一元的な場所です。デマンドマネージャーがデマンドを承認し、プロジェクトが実行されると、プログラムワークベンチに移動してプロジェクトのステータスを追跡できるようになります。

TRM製品を追加

エンタープライズアーキテクトは、新しい TRM 製品を TRM ライブラリに追加できます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、レガシー テクノロジー参照モデルモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、引き続き レガシー テクノロジー参照モデル モジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 レガシー テクノロジー参照モデル モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「 への TRM 製品の追加 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

必要なロール:sn_apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > テクノロジー参照モデル > 製品.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「新しい TRM 製品フォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

TRM製品要求の追加または編集

新しいソフトウェアまたはハードウェア製品を TRM ライブラリに加えるには、新規の要求を追加するか、既存の要求を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来の テクノロジー参照モデル モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の テクノロジー参照モデル モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の テクノロジー参照モデル モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「TRM製品の要求」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > テクノロジー参照モデル > 製品要求.
2. 要求を作成または編集します。
   - TRM製品要求を作成するには、新規 を選択します。
   - 既存の TRM 製品要求を編集するには、製品要求の名前を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「製品フォーム TRM 要求」を参照してください。
4. [送信] または [更新] を選択します。

TRM 製品ライフサイクル要求の追加または編集

TRM 製品のライフサイクルを作成するには、新規の要求を追加するか、既存の要求を編集します。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来の テクノロジー参照モデル モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の テクノロジー参照モデル モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の テクノロジー参照モデル モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「TRM 製品ライフサイクルの追加」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて
TRM ライブラリでは、各製品が [承認済み]、[制約付きで承認 (Approved with Constraints)]、[売却]、[評価]、[未承認] などの一連のフェーズに関連付けられています。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > テクノロジー参照モデル > 製品ライフサイクル要求.
2. TRM 製品ライフサイクルを作成または編集します。
   - 新しい TRM 製品ライフサイクルを作成するには、[新規] をクリックします。
   - 既存の TRM 製品ライフサイクルを編集するには、ライフサイクルの名前をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM [製品ライフサイクル要求] フォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] をクリックします。

TRM カタログを使用した TRM 製品の要求

新しいソフトウェアを TRM ライブラリに追加するには、TRM カタログを使用して TRM 製品を要求します。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、レガシー テクノロジー参照モデルモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、引き続き レガシー テクノロジー参照モデル モジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 legacy テクノロジー参照モデル モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「での テクノロジー参照モデル の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > テクノロジー参照モデル > **TRM** カタログ.
   [Service Catalog (サービスカタログ)] ページで [Technology Reference Model (テクノロジー参照モデル管理)] ページが開きます。
2. **[TRM** 製品要求] カードをクリックします。
3. [Request TRM Product (TRM 製品要求)] フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM カタログフォームを使用した製品要求」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

TRM カタログを使用した TRM 製品ライフサイクルの要求

TRM 製品のライフサイクルを追加するには、TRM カタログを使用して TRM 製品ライフサイクルを要求します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > テクノロジー参照モデル > **TRM** カタログ.
   [Service Catalog (サービスカタログ)] ページで [Technology Reference Model (テクノロジー参照モデル管理)] ページが開きます。
2. **[TRM** 製品ライフサイクル要求] カードをクリックします。
3. [Request TRM Product Lifecycle#card (TRM製品ライフサイクル要求)] フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールドの詳細については、次を参照してください。 TRM [製品ライフサイクル要求] フォーム

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

TRM 製品または製品ライフサイクル要求の承認または却下

エンタープライズアーキテクトは、他のユーザーによって送信された TRM 製品のバージョン要求を承認または却下することができます。

始める前に
ユーザーはエンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
エンタープライズアーキテクチャ ユーザーが TRM 製品や TRM 製品ライフサイクルの承認を要求すると、メール通知が承認者に送信されます。承認者は、エンタープライズアーキテクトグループに属しています。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Service Desk** > 自分の承認.
2. 承認する TRM 製品または製品ライフサイクル要求を選択します。
3. [承認] または [却下] を選択します。

タスクの結果
要求者は、承認または却下のメール通知を受け取ります。

TRM カテゴリの追加または編集

TRM カテゴリを作成するには、新規の要求を追加するか、既存の要求を編集します。

始める前に
重要:

Xanadu リリース以降、従来の テクノロジー参照モデル モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の テクノロジー参照モデル モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーション ユーザーの場合、従来の テクノロジー参照モデル モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「TRMカテゴリの構成」を参照してください。

ユーザーはエンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

注: ユーザー (sn_apm.apm_analyst) は、エンタープライズアーキテクチャグループに属している必要があります。

このタスクについて
TRM カテゴリは、TRM ソフトウェア製品を目的別や機能別にグループ化したものです。分類することにより、TRM 製品の統合や、意思決定の合理化ができるようになります。TRM カテゴリを作成するか、既存のカテゴリを編集して、ビジネス要件に適応させることができます。カテゴリを定義することも、ソフトウェア資産管理 製品分類に依存することも可能です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > テクノロジー参照モデル > カテゴリ.
2. カテゴリを作成または編集します。
   - カテゴリを作成するには、[新規] を選択します。
   - 既存のカテゴリを編集するには、カテゴリの名前を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM カテゴリフォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] を選択します。

製品要求の表示および編集

すべての製品要求を表示したり、ステータスを追跡したり、既存の要求を編集したりします。要求の承認者を管理することもできます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、レガシー テクノロジー参照モデルモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、引き続き レガシー テクノロジー参照モデル モジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、 レガシー テクノロジー参照モデル モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「TRM 要求の表示または更新」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > テクノロジー参照モデル > 自分の製品要求.
   すべての製品要求と承認ステータスを確認できます。
2. 編集する既存の製品要求の名前をクリックします。
3. TRM 製品要求フォームに、詳細情報を入力します。
   フィールドの詳細については、「製品フォーム TRM 要求」を参照してください。
4. [承認者] セクションで、要求の承認者を追加または編集します。
   - 新しい承認者を追加するには、[新規] をクリックします。
   - 要求の承認者を管理するには、[編集] をクリックします。
5. [更新] をクリックして変更内容を送信します。

製品ライフサイクル要求の表示および編集

すべての製品ライフサイクル要求を表示したり、ステータスを追跡したり、既存の要求を編集したりします。要求の承認者を管理することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降従来の テクノロジー参照モデル モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の テクノロジー参照モデル モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の テクノロジー参照モデル モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「TRM 要求の表示または更新」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > テクノロジー参照モデル > 自分の製品ライフサイクル要求.
   すべての製品ライフサイクル要求と承認ステータスを確認できます。
2. 編集する既存の製品要求の名前をクリックします。
3. [Request TRM Product Lifecycle#card (TRM製品ライフサイクル要求)] フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM [製品ライフサイクル要求] フォーム」を参照してください。
4. [承認者] セクションで、要求の承認者を追加または編集します。
   - 新しい承認者を追加するには、[新規] をクリックします。
   - 要求の承認者を管理するには、[編集] をクリックします。
5. [更新] をクリックして変更内容を送信します。

TRM フェーズの追加または編集

独自の TRM フェーズを定義したり、既存の TRM フェーズを編集したりします。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来の テクノロジー参照モデル モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、従来の テクノロジー参照モデル モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の テクノロジー参照モデル モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「TRMフェーズの構成」を参照してください。

ユーザーはエンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
TRM 製品のフェーズは、色や形状で表されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > テクノロジー参照モデル > フェーズ.
2. TRM フェーズを作成または編集します。
   - TRMフェーズを作成するには、新規 を選択します。
   - 既存の TRM フェーズを編集するには、フェーズの名前を選択します。

   ベースシステムから次の TRM フェーズが使用できます。

   - 承認済み：テクノロジーの使用は承認されています。
   - 制約付きで承認 (Approved with Constraints)：テクノロジーは、コメントで指定された制約の範囲内で使用できます。
   - 売却：テクノロジーの使用権が売却されることが決定しています。
   - 評価:このテクノロジーは評価中であり、本番環境には使用できません。
   - 未承認:テクノロジーの使用は許可されていません。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM フェーズフォーム」を参照してください。
4. [送信] または [更新] を選択します。

[技術ポートフォリオ管理] ページの **TRM** ライフサイクルステータスのレビュー

テクノロジーポートフォリオ管理 ページのリスクおよび技術的負債と併せて TRM ライフサイクル情報を表示します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
TPM 画面の線は、製品バージョンのライフサイクルを示しています。線は色分けされており、当該の月または四半期においてソフトウェアモデルが抱えているリスクのステージを示しています。TPM ページにより、ビジネスアプリケーションや技術的負債のステータスを確認することができるようになります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > **Technology Portfolio Management** (テクノロジーポートフォリオ管理) **(TPM)** > テクノロジーライフサイクル.
2. ビジネスアプリケーション別またはソフトウェアモデル別にグループ化されたビューを選択します。
3. [月次] ボタンをクリックして、年間のすべての月におけるタイムラインを表示します。
   デフォルトでは、1 年の 4 四半期のタイムラインを表示する [四半期ごと] ボタンが有効になっています。一方、月次ビューでは、年間の特定月におけるビジネスアプリケーションやソフトウェアモデルのリスクステージを追跡することができます。
4. [本番] アイコン (P) をクリックして、当四半期または当月のリスクの対象となる本番インスタンスを表示します。
5. ソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 特定のソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースを表示するには、ソフトウェアモデルの展開アイコン ( ) をクリックします。
- ビジネスアプリケーションに関連するすべてのソフトウェアモデルのライフサイクルデータソースを表示するには、すべてのライフサイクルデータソースを表示アイコン ( ) をクリックします。

  このアイコンを使用して、データソースの表示と非表示を切り替えます。

リスク管理用のビジネスアプリケーションフォームの構成

ビジネスアプリケーションフォームを構成して、アプリケーションマネージャーが、リスクアセスメントアンケートまたはコントロール証明書サーベイを通じて、ビジネスアプリケーションに関連付けられたリスクおよびコントロール情報を提供できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションを開きます。
3. [他のアクション] アイコンをクリックし、 **>**関連リストの構成.
4. [リスクに関するアンケート]、[リスクサマリー]、[リスク対応タスク]、[コントロール証明書]、**[GRC** 問題]、および **[GRC** 問題修正タスク] を [選択済み] リストに追加し、[保存] をクリックします。
5. [証明書を取得] 列を [リスクに関するアンケート] および [コントロール証明書] 関連リストに追加します。
   a. [リスクに関するアンケート] または [コントロール証明書] タブのいずれかをクリックして、関連付けられた関連リストにアクセスします。
   b. いずれかの列をクリックし、 **>**リストレイアウトの設定.
   c. [証明書を取得] を [選択済み] リストに追加し、[保存] をクリックします。
   d. 他の関連リストについても、この手順を繰り返します。

次のタスク
リスクアセスメントアンケートまたはコントロール証明書サーベイへの回答

リスクアセスメントアンケートへの回答

リスクに関するアンケートに回答して、ビジネスアプリケーションのリスク関連情報をリスクマネージャーに提供します。

始める前に
必要なロール：grc_business_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションを開きます。
3. [リスクに関するアンケート] 関連リストをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [アセスメントの実施] リンクをクリックします。
5. フォームに回答を入力します。
6. [送信] をクリックします。

コントロール証明書サーベイの実施

コントロール証明書サーベイを返却して、コントロールがビジネスアプリケーションに実装されていることを検証するための情報を提供します。

始める前に
必要なロール：grc_business_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションを開きます。
3. [コントロール証明書] 関連リストを選択します。
4. [アセスメントの実施] リンクをクリックします。
5. フォームに回答を入力します。
6. [送信] をクリックします。

データドメインを作成する

データドメインは、情報オブジェクトのコレクションです。情報オブジェクトをデータベースインスタンスのデータベースカタログに関連付けて、物理データを収集します。 ServiceNow ディスカバリー では、データベースのインスタンスに対して検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースをリストするデータベースカタログが検索されます。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、データドメインモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは、引き続きデータドメインモジュールを使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、データドメインモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「データドメインの管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

エンタープライズアーキテクチャ ユーザー (sn_apm.apm_user) はデータドメインを作成できますが、データドメイン [sn_apm_data_domain] テーブルのアクセス制御は異なるユーザーに制限されます。

- sn_apm.apm_admin ロールを持つアプリケーションポートフォリオアナリストおよびアプリケーションポートフォリオ管理者には、作成、書き込み、および削除の権限があります。
- sn_apm.apm_user ロールを持つアプリケーションポートフォリオユーザーには、読み取り専用アクセス権があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > 情報ポートフォリオ > データドメイン.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「データドメインフォーム」を参照してください。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
情報オブジェクトを作成し、データドメインを情報オブジェクトにリンクします。

データドメインを参照する情報オブジェクトを作成

ビジネスアプリケーションの論理データをキャプチャする情報オブジェクトを作成します。このデータは、ビジネスアプリケーションに適用されると情報になります。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来の情報オブジェクトモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来の情報オブジェクトモジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来の情報オブジェクトモジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「情報オブジェクトの管理」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

アプリケーションポートフォリオアナリストとアプリケーションポートフォリオユーザーは、情報オブジェクトを作成し、ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付け、情報オブジェクトをデータベースカタログに関連付けることができます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > 情報ポートフォリオ > 情報オブジェクト.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「情報オブジェクトフォーム」を参照してください。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
情報オブジェクトを作成したら、ビジネスアプリケーションを CMDB CI が提案する 関係の情報オブジェクトに関連付ける 必要があります。

ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付ける

Uses::Used by タイプの CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルを使用して、ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付けます。この提案された関係を使用して、ビジネスアプリケーションを活用するために使用できる情報オブジェクトの論理データを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

注:

この UI は 2 つの構成アイテム間の関係の属性もキャプチャするので、カスタム作成した [関係性を追加] UI を使用して、ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付けることができます。関係の作成、読み取り、更新、および削除 (CRUD) 属性は関係エディターでキャプチャできないため、CMDB 関係エディターを使用して 2 つの構成アイテムを関連付けることはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーションレコードを開きます。
3. ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付けるには、[情報オブジェクト属性] 関連リストをクリックします。
4. 情報オブジェクトを追加するには、[追加] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「関係性を追加フォーム」を参照してください。

   ビジネスアプリケーションに情報オブジェクトを追加すると、CI 関係 [cmdb_ci_rel] テーブルにレコードが作成されるだけでなく、CI 関係属性 [cmdb_rel_attributes] テーブルにも CRUD 属性がキャプチャされます。

6. [保存] をクリックします。
   情報オブジェクトの CRUD 関係を編集するには、レコードを選択して [編集] をクリックします。[関係性の管理] ポップアップで、CRUD の詳細を更新します。

   ビジネスアプリケーションと情報オブジェクトレコードの関係を削除するには、レコードを選択し、[関係の削除] をクリックします。このアクションでは、CI 関係テーブルから関係レコードが削除されます。また、ビジネスアプリケーションと情報オブジェクトの間にあるこの関係に設定されている、CI 関係属性テーブルでキャプチャされた修飾子プロパティも削除されます。

   ビジネスアプリケーションにリンクされていない情報オブジェクトを確認するには、オンデマンドで、「どのビジネスアプリケーションにも関連していない情報オブジェクト」の適切なステータス監査を実行します。詳細については、「どのビジネスアプリケーションにも関連していない情報オブジェクト」を参照してください。

次のタスク
情報オブジェクトをデータベースカタログに関連付けます。

情報オブジェクトをデータベースカタログに関連付ける

情報オブジェクトは、データベースインスタンスを参照するデータベースカタログから物理データを取り出します。したがって、情報オブジェクトとデータベースカタログの間に、提案されている関係を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

提案された cmdb CI 関係、Depends on::Used by は、情報オブジェクトをデータベースカタログに関連付けます。この関係は、データベースから物理データを取り出すことで機能し、それを、データドメインを参照する情報オブジェクトテーブルに論理データとして保存します。

たとえば、従業員給与の詳細は Oracle データベースインスタンスに依存します。構成アイテム間で関係が逆になると、Oracle データベースインスタンスが従業員給与によって使用されます。

- IT Operations Management (ITOM) ディスカバリー は、すべてのサーバー、インスタンス、およびデータベースを検出します。
- データベースカタログは、すべてのデータベースのリストです。
- データベースカタログ (cmdb_ci_db_catalog) には、データベースのインスタンスから検出されたすべてのカタログオブジェクトやデータベースが一覧表示されます。たとえば、Oracle カタログと MySQL カタログはデータベースカタログの子テーブルです。
- データベースインスタンス (cmdb_ci_db_instance) は親テーブルです。Oracle インスタンス (cmdb_ci_db_ora_instance) と MySQL インスタンスは、データベースインスタンスの子テーブルです。
- データベースインスタンスとデータベースカタログ間の参照は 1 対多です。
- データベースインスタンスはサーバー (cmdb_ci_server) でホストされているため、基礎となるすべての構成アイテムにアクセスできます。

注:

従来のデータベースにデータを保存しないアプリケーションが存在する可能性があります。構成ファイル (cmdb_ci_config_file)、ファイルシステム (cmdb_ci_file_system)、Exchange メールボックス (cmdb_ci_exchange_mailbox) などの構成アイテムテーブルに保存されている、このような非構造化データも追跡できます。データを追跡するには、情報オブジェクトと非構造化データソースの間で同じ Depends On::Used by 関係タイプを使用します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > 情報ポートフォリオ > 情報オブジェクト.
2. 情報オブジェクトとデータベースカタログの間で提案された関係を作成するには、情報オブジェクトレコードを開きます。
3. 情報オブジェクトフォームの [関連アイテム] セクションで、[CI 関係を追加] アイコン ( ) をクリックし、関係エディターを起動して、CI 関係を作成します。
   フィルターはデータベースカタログに自動的に適用されます。
4. 提案された Depends on::Used By 関係タイプを選択します。
5. [構成アイテム] セクションで、カタログクラスの中からレコードを選択します。
6. [関係] セクションで、CI 関係アイコン ( ) をクリックします。
7. [保存して終了] をクリックします。

   データベースカタログテーブルに、データベースインスタンスの参照があることを確認します。

次のタスク

[情報オブジェクト] 関連アイテムの [依存関係ビューを表示] アイコン ( ) をクリックすると、データベースサーバー上で実行されている情報オブジェクトを使用しているビジネスアプリケーションの依存関係が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報オブジェクトの依存関係ビュー



情報ポートフォリオを監査用に適用します。GRC と統合 (ガバナンス、リスク、コンプライアンス) して、情報オブジェクトをエンティティとして使用します。GRC は、データベース、サーバー、ビジネスアプリケーションなど、あらゆるエンティティを使用して監査します。情報オブジェクトを監査エンティティとして関連付けると、情報オブジェクトとそのデータソースを使用するビジネスアプリケーションの完全なプロファイルが得られます。

ビジネスアプリケーションを別のビジネスアプリケーションに関連付ける

Interfaced by::Interfaces タイプの CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルを使用して、ビジネスアプリケーションを別のビジネスアプリケーションに関連付けます。この提案された関係を使用して、ビジネスアプリケーションとインターフェイスする他のビジネスアプリケーションの情報を取得します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

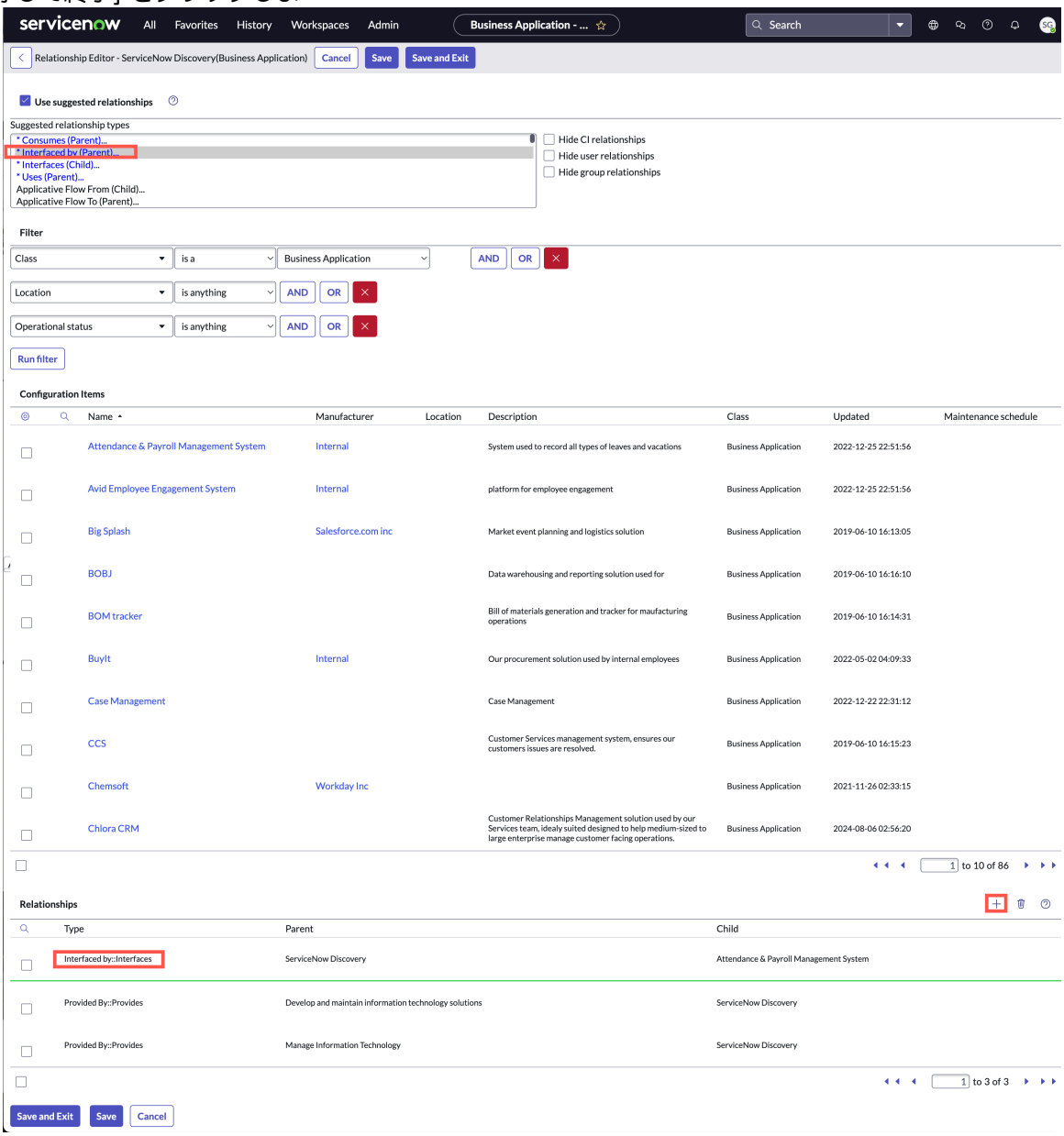
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. ビジネスアプリケーション間の提案された関係を作成するには、ビジネスアプリケーションレコードを開きます。
3. ビジネスアプリケーションフォームの [関連アイテム] セクションで、[CI 関係を追加] アイコン (+) をクリックし、関係エディターを起動して、CI 関係を作成します。
4. [インターフェイス担当者 (親) を [Suggested 関係性タイプ] セクションから選択します。フィルターはビジネスアプリケーションに自動的に適用されます。
5. [構成アイテム] セクションで、ビジネスアプリケーションの中からレコードを選択します。
6. [関係] セクションで、CI 関係アイコン (+) を選択選択した構成アイテムとの新しい関係を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Interfaced by::Interfaces 関係が [関係] セクションに追加されます。

7. [保存して終了] をクリックしま



す。

次のタスク

[ビジネスアプリケーション] 関連アイテムの [依存関係ビューを表示] アイコン ( ) をクリックすると、他のビジネスアプリケーションとインターフェイスしている、またはインターフェイスされているこのビジネスアプリケーションの依存関係が表示されます。

CMDB クエリビルダーを使用した エンタープライズアーキテクチャ レポートの可視化

エンタープライズアーキテクチャ は CMDB クエリビルダーを使用して、 エンタープライズアーキテクチャ で使用される構成アイテムのリストをクエリし、それらをレポートとして可視化します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
エンタープライズアーキテクチャ は、CMDB クエリビルダーを利用して複雑なクエリをビルドし、さまざまな CMDB CI 関係によって相互に関連付けられている CMDB CI クラス、 エンタープライズアーキテクチャ テーブル、および構成アイテムからデータを取得します。

テーブルと CMDB CI クラスからデータを取得するレポートを起動する前に、それぞれのスケジュール済みジョブを実行する必要があります。これらのジョブは、[オンデマンド] の頻度でアクティブになります。ただし、レポートのデータを更新する頻度に基づき、要件に応じて、頻度を日次、週次、月次、定期的、1 回、オンデマンド、ビジネスカレンダー - エントリー開始、ビジネスカレンダー - エントリー終了に更新します。それに応じて、これらのスケジュール済みジョブの頻度を設定します。詳細については、「CMDB クエリビルダーレポートのスケジュール済みジョブの実行」を参照してください。

注: これらのスケジュール済みジョブは、必ず、グローバルスコープからのみ実行してください。システム管理者のみが、これらのスケジュール済みジョブをグローバルスコープから実行できます。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ ユーザーはレポートを表示できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > **CMDB Query Builder**.
   ベースシステムが提供するすべてのレポートは、CMDB クエリビルダーのアプリケーションナビゲーターにあるメニューオプションとして提供されます。
2. レポートを表示する、関連する CMDB クエリビルダー名をクリックします。

   レポートは新しいタブで開かれ、デフォルトでは棒グラフとして表示されます。レポートを表示して、以後の使用のために保存しておくことができます。

   注: レポートに表示されるデータは、オンデマンドで実行されたスケジュール済みジョブの最新の実行から取得されます。

3. 各オプションをクリックすると、それぞれのレポートが表示されます。

   注: ビジネスアプリケーション CMDB クエリビルダーレポートでプロジェクトを生成するには、PPM Standard プラグインをアクティブ化する必要があります。

   エンタープライズアーキテクチャ ベースシステムは、 エンタープライズアーキテクチャ レポートを生成するための次のクエリのリストを提供します。

   ビジネスアプリケーションによって提供されるビジネス機能

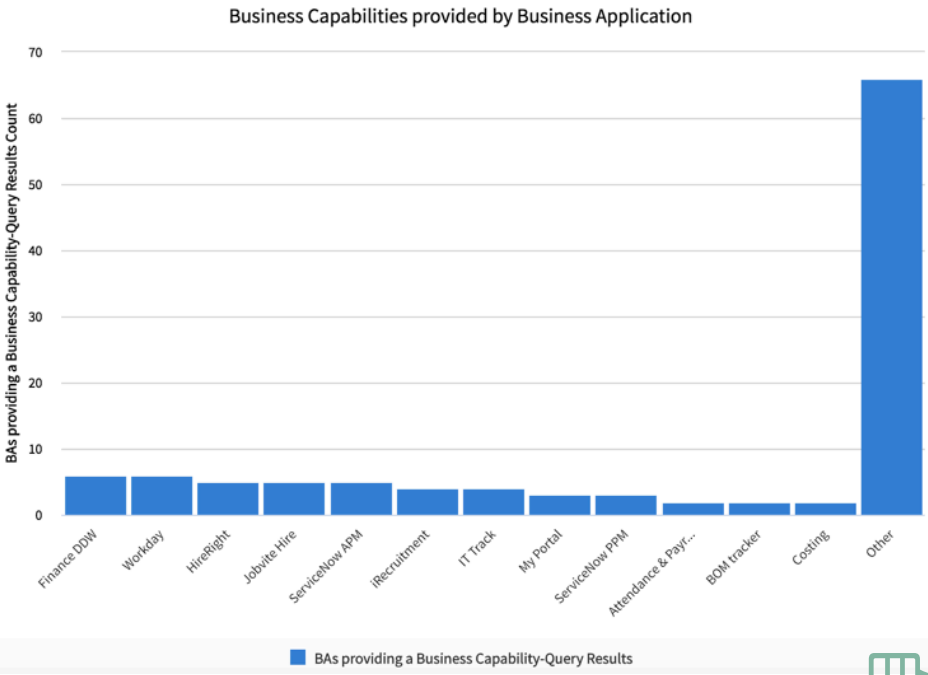
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションによって提供されるビジネス機能を示すレポート

Table: BAs providing a Business Capability-Query Results

All > Query Sys ID = 0a5e66b31b8810107a0bfd961a4bcbea

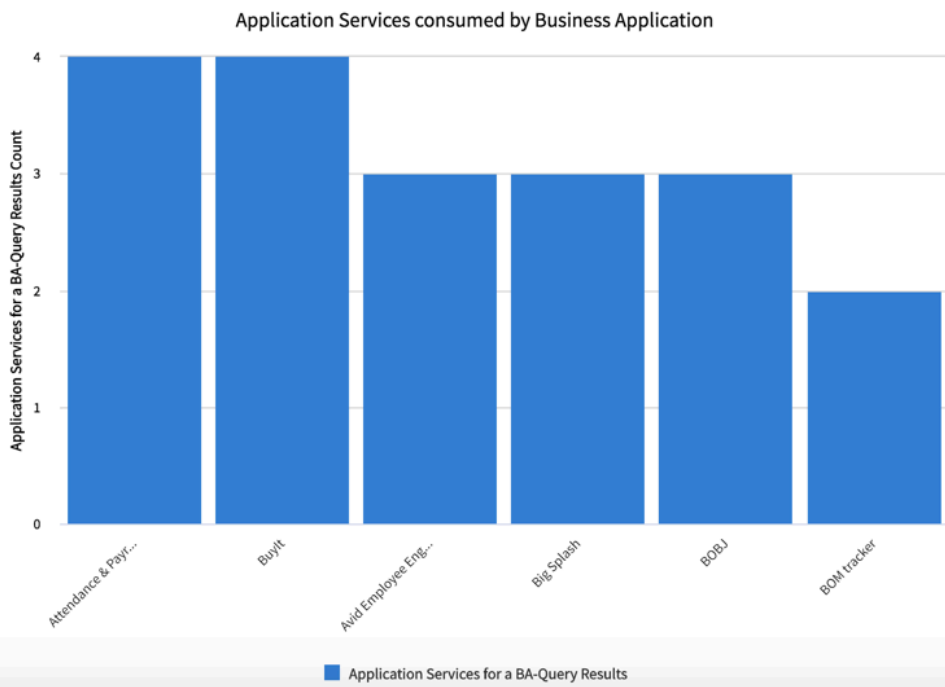


ビジネスアプリケーションによって使用されるアプリケーションサービス

ビジネスアプリケーションによって使用されるアプリケーションサービスを示すレポート

Table: Application Services for a BA-Query Results

All > Query Sys ID = 121eaab7db0810108979186c1396192f



ビジネス機能を提供するビジネスアプリケーション

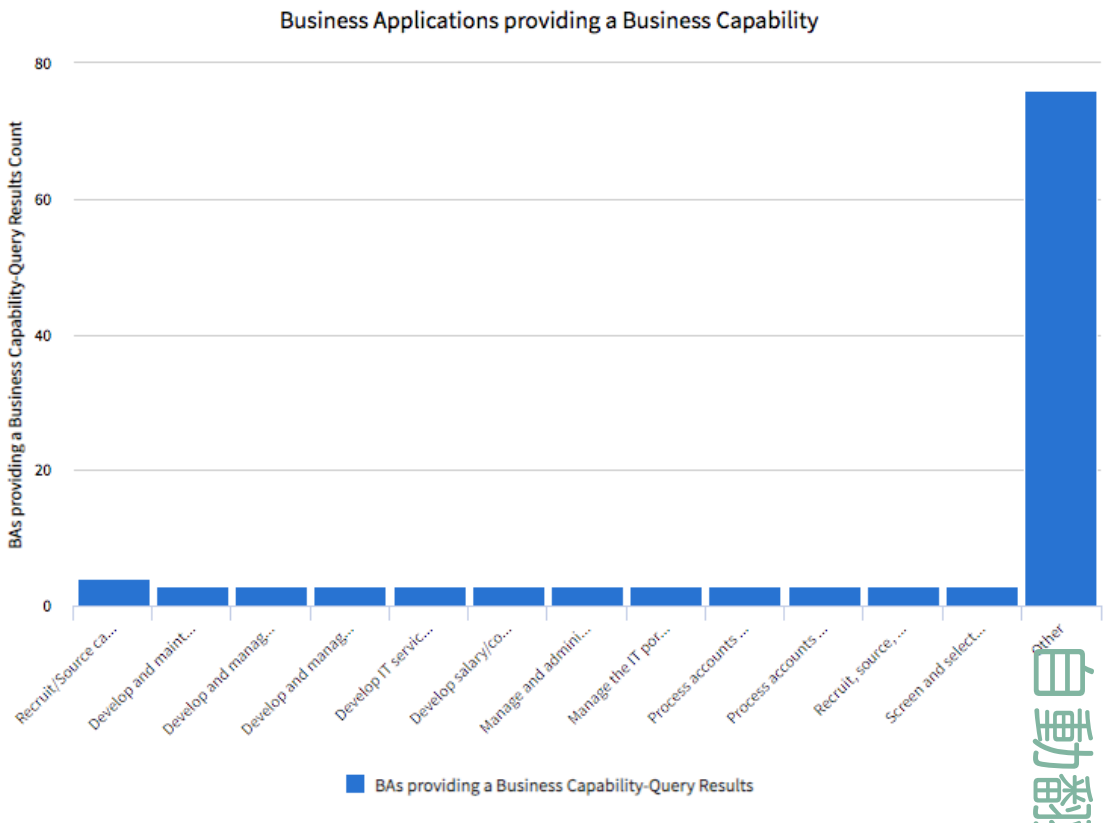
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネス機能を提供するビジネスアプリケーションを示すレポート

Table: BAs providing a Business Capability-Query Results

All > Query Sys ID = 0a5e66b31b8810107a0bfd961a4bcbea

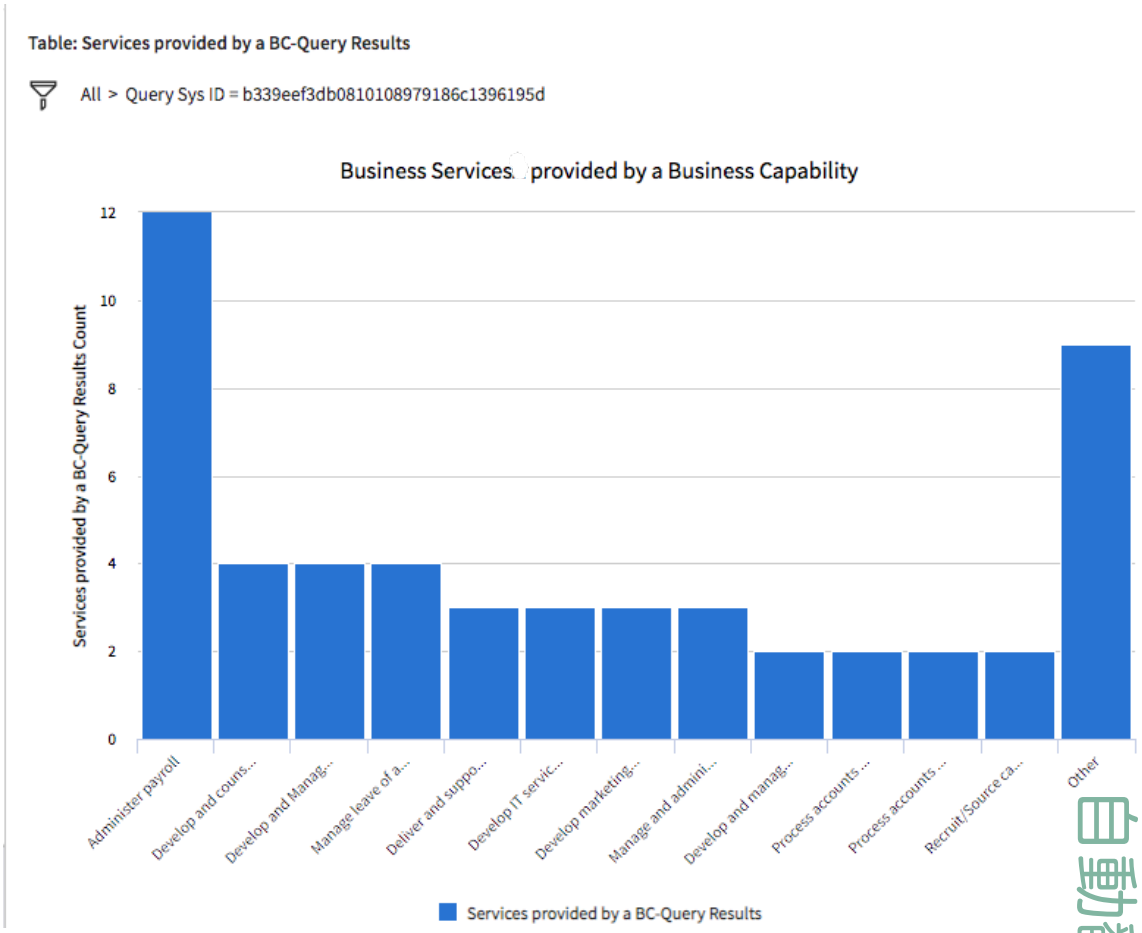


ビジネス機能によって提供されるビジネスサービス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネス機能によって提供されるビジネスサービスを示すレポート

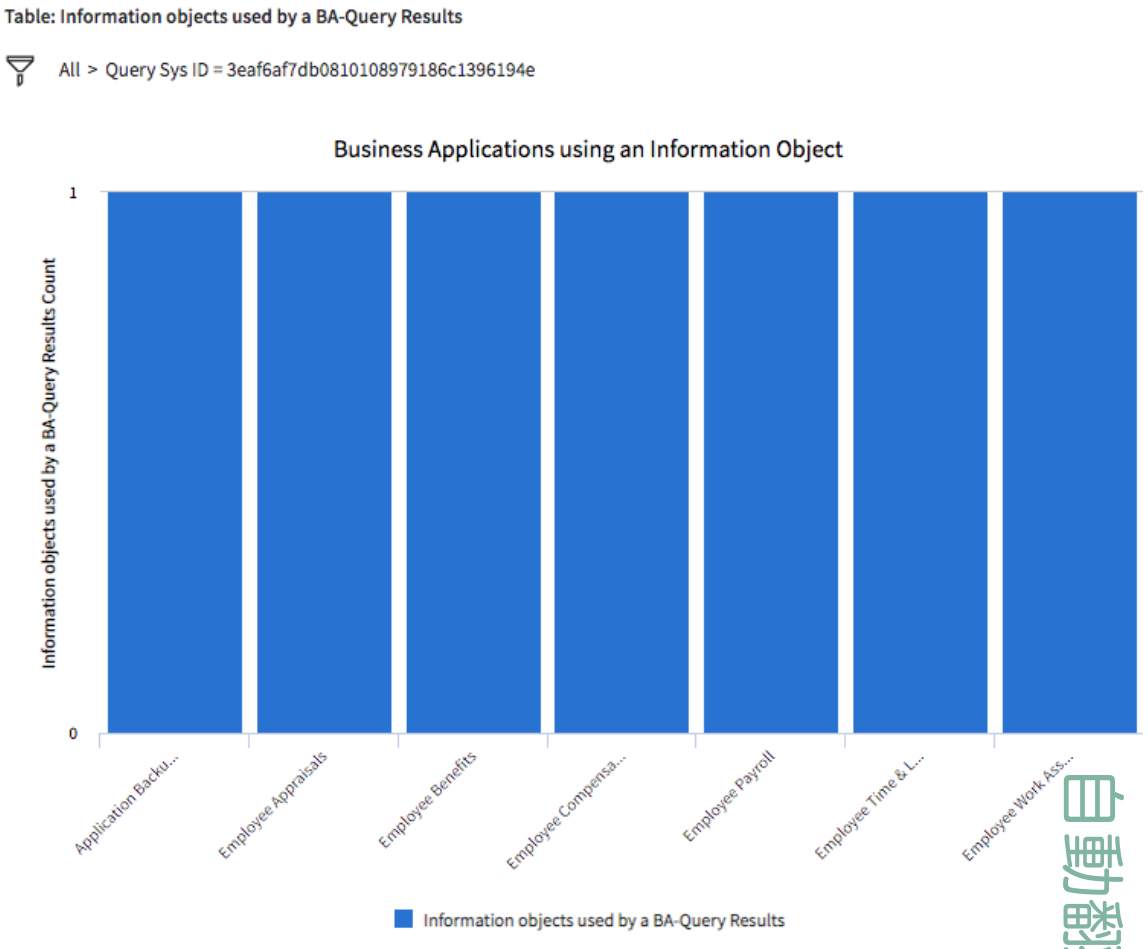


情報オブジェクトを使用するビジネスアプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報オブジェクトを使用するビジネスアプリケーションを示すレポート



ビジネスアプリケーションによって使用される情報オブジェクト

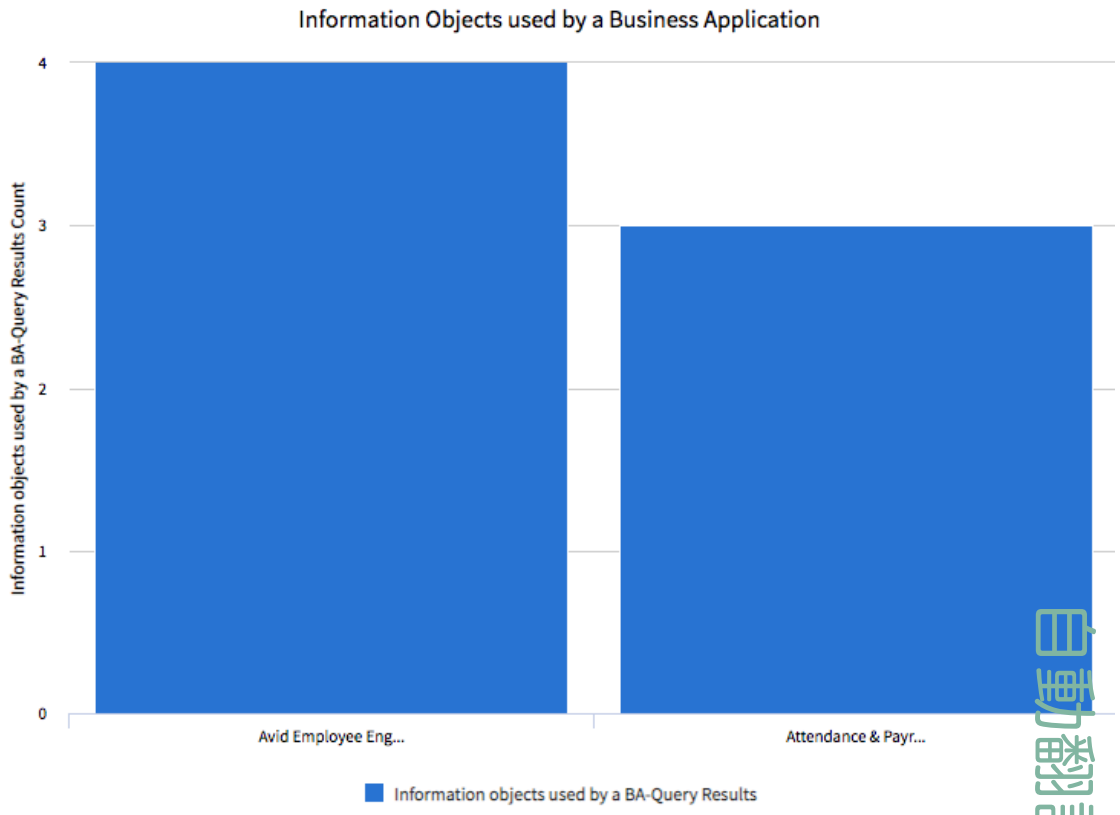
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションによって使用される情報オブジェクトを示すレポート

Table: Information objects used by a BA-Query Results

All > Query Sys ID = 3eaf6af7db0810108979186c1396194e



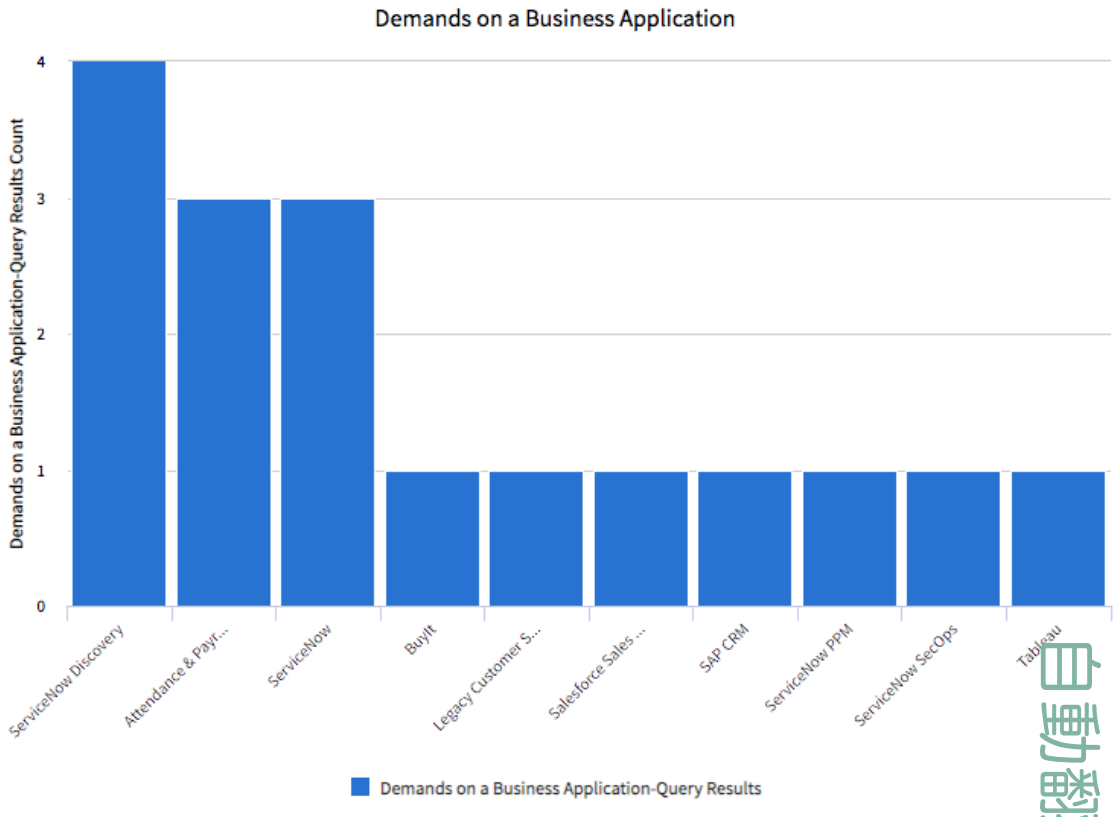
ビジネスアプリケーションのデマンド

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションのデマンドを示すレポート

Table: Demands on a Business Application-Query Results

All > Query Sys ID = 0eefe6f31b8810107a0bfd961a4bcbc6

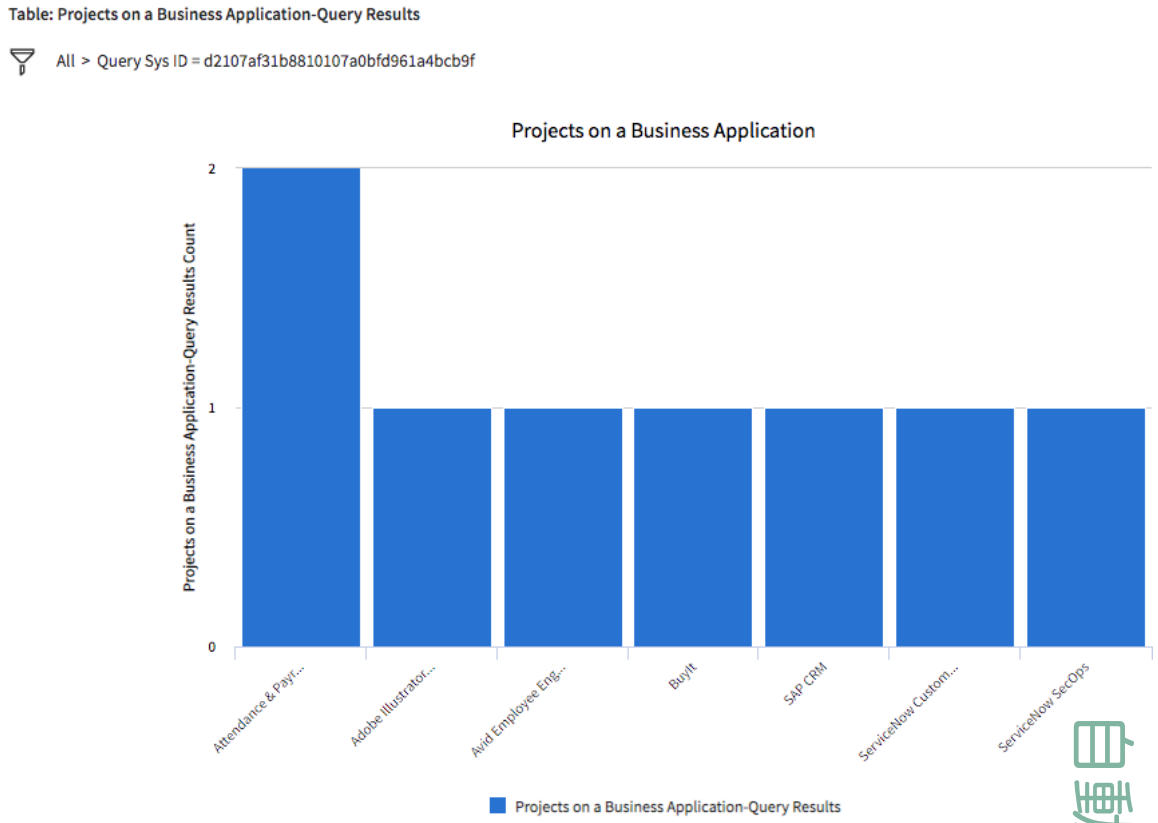


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションのプロジェクト

ビジネスアプリケーションのプロジェクトを示すレポート



関連情報

CMDB クエリビルダーレポートのスケジュール済みジョブの実行

Microsoft PowerPoint へのデータのエクスポート

アプリケーションポートフォリオのステータスデータを Microsoft PowerPoint にエクスポートします。ビジネスオーナー、マネージャー、ソリューションアーキテクトなど、組織内の他のステークホルダーとデータを共有します。

始める前に

重要: PowerPoint へのエクスポートは現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ分析 > **APM** の **PowerPoint** エクスポート.
2. ドロップダウンリストからテンプレートを選択します。
   エンタープライズアーキテクチャレポートテンプレートはベースシステムから提供されます。
3. [ダウンロード] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
アプリケーションポートフォリオのステータスの詳細を含む PowerPoint のスライドがダウンロードされます。

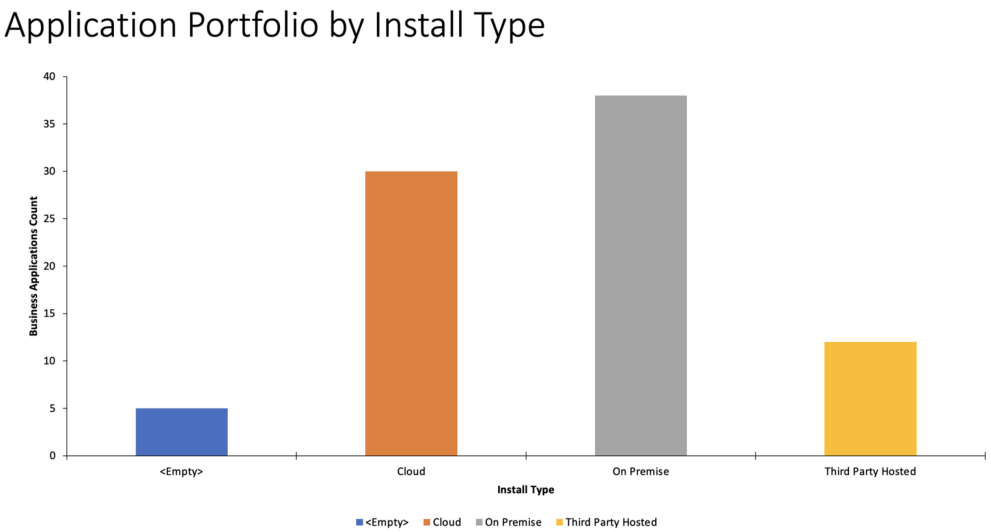
アプリケーション状況レポート

アプリケーションポートフォリオステータスデータを Microsoft PowerPoint にエクスポートすると、次のアプリケーション状況レポートタイプが PowerPoint のスライドにエクスポートされます。

インストールタイプ別のアプリケーションポートフォリオ

インストールタイプ別のアプリケーションポートフォリオレポートには、インストールされているアプリケーションの数とインストールのタイプ (クラウド、オンプレミスなど) がグラフィカルに表示されます。

インストールタイプ別のアプリケーションポートフォリオ



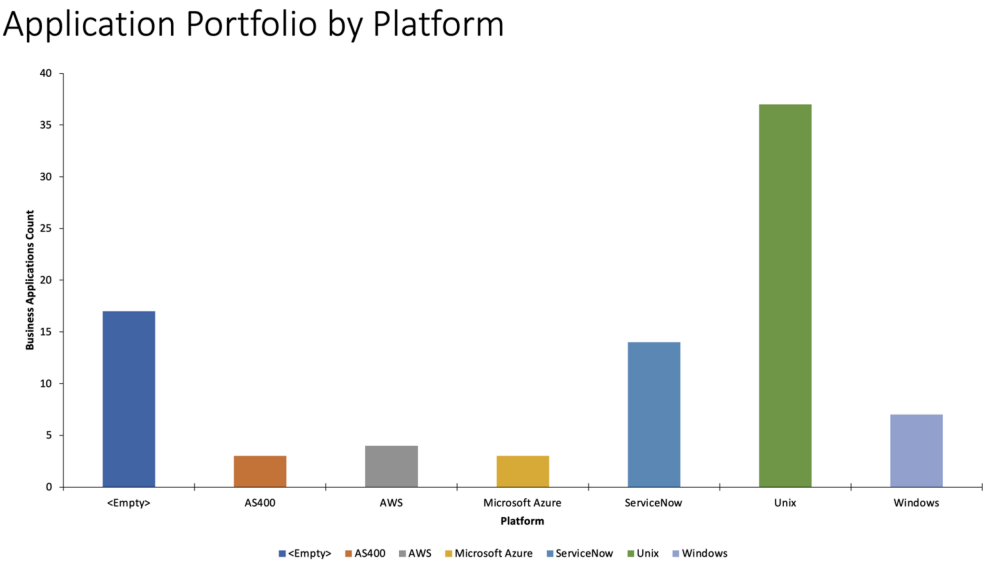
プラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ

プラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオレポートには、プラットフォームタイプ (AWS、Microsoft Azure、ServiceNow など) 別に分類されたアプリケーションの数をグラフで示したものが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ

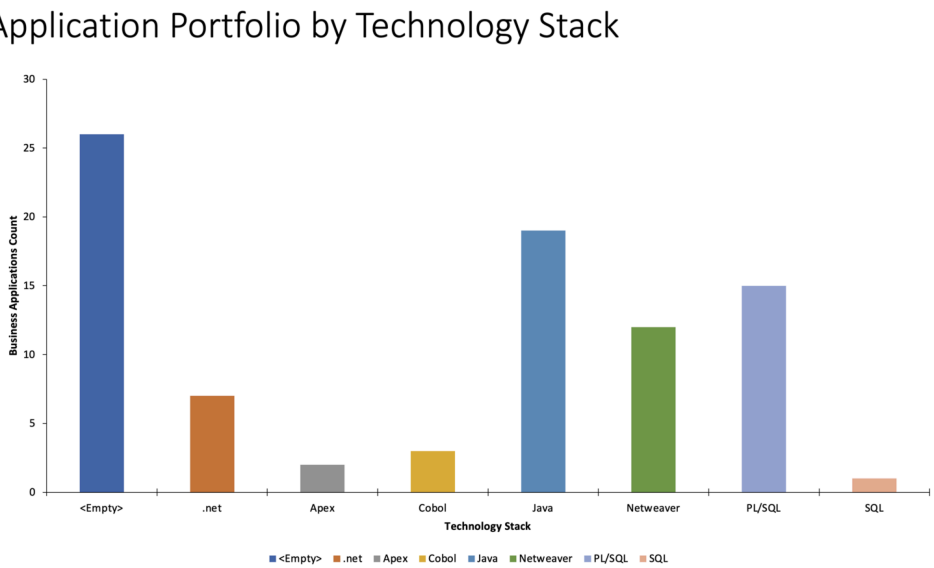


テクノロジースタック別のアプリケーションポートフォリオ

テクノロジースタック別のアプリケーションポートフォリオレポートには、テクノロジー (Java、SQL など) 別に分類されたアプリケーションの数をグラフで示したものが表示されます。

注: テクノロジースタックのないアプリケーションは、<Empty> と表示されます。

テクノロジースタック別のアプリケーションポートフォリオ



カテゴリ別のアプリケーションポートフォリオ

カテゴリ別のアプリケーションポートフォリオレポートには、アプリケーションとカテゴリ (カスタマーサポート、経理、マーケティングなど) の数をグラフで示したものが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリ別のアプリケーションポートフォリオ

Application Portfolio by Category



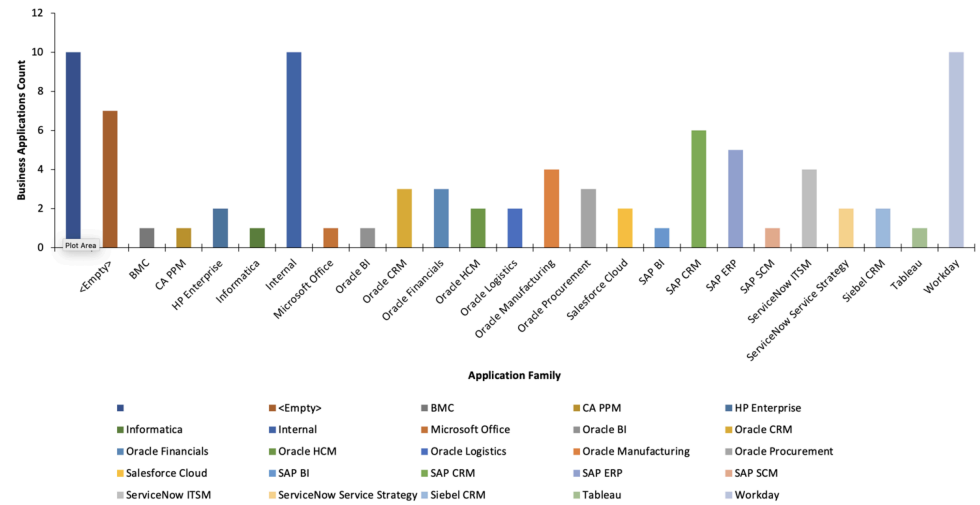
アプリケーションファミリ別の最も使用されているアプリケーション

アプリケーションファミリ別の最も使用されているアプリケーションには、組織 (BMC、Microsoft Office、SAP BI など) 別に分類されたアプリケーションの数をグラフで示したものが表示されます。

注: 現在、アプリケーションファミリレポートには 30 のカテゴリが表示されます。これらの 30 のカテゴリのうち、29 のスタックにカテゴリ名が表示され、1 つのスタックがその他として表示されます (残りのアプリケーションの累積)。

アプリケーションファミリ別の最も使用されているアプリケーション

Most Used Applications by Application Family



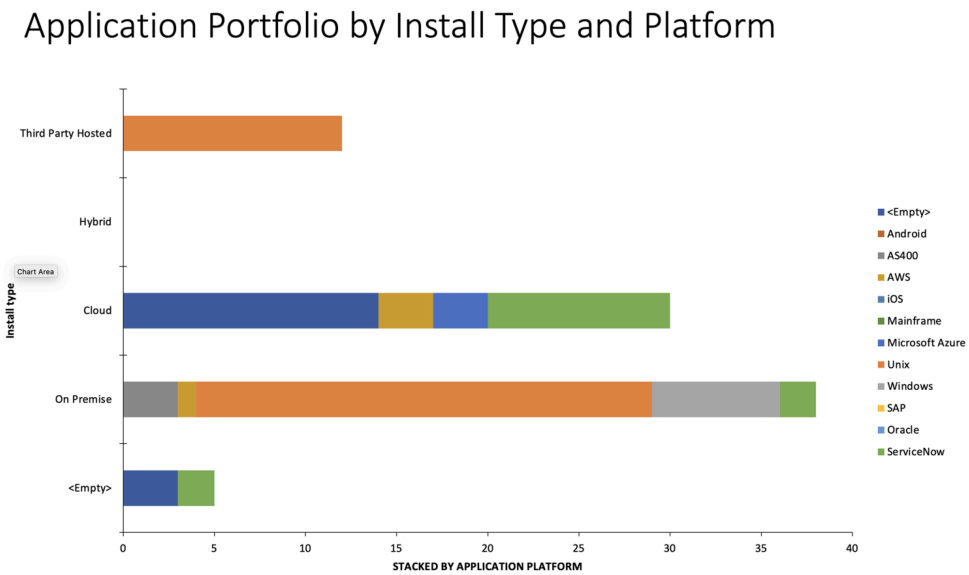
インストールタイプとプラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ

インストールタイプとプラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオレポートには、プラットフォームにスタックされたアプリケーションとそのインストールタイプの数をグラフで示したものが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールタイプとプラットフォーム別のアプリケーションポートフォリオ



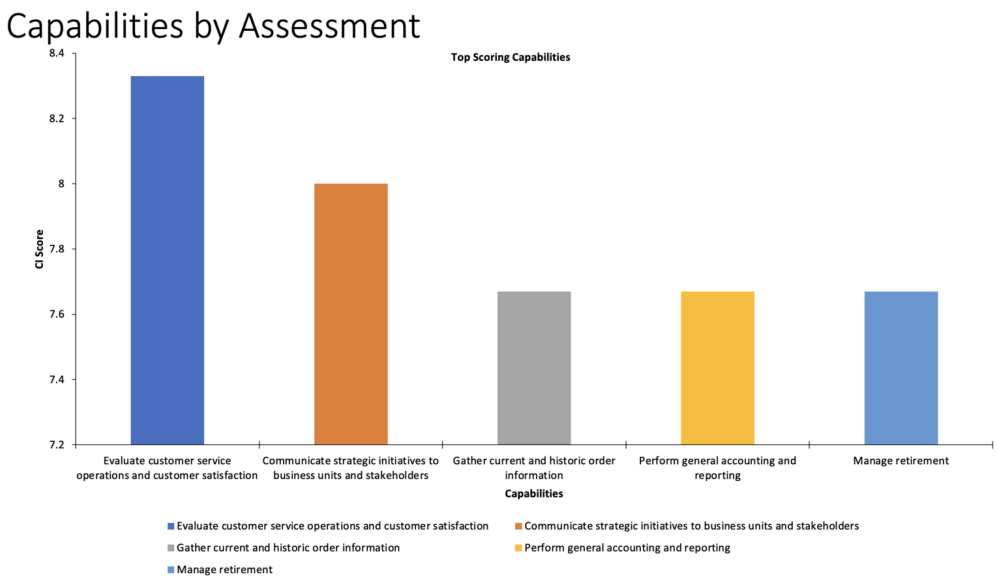
機能の状況レポート

アプリケーションポートフォリオステータスデータを Microsoft PowerPoint にエクスポートすると、次の機能の状況レポートタイプが PowerPoint のスライドにエクスポートされます。

アセスメント別の機能 (上位スコアリング機能)

アセスメント別機能 (上位スコア機能) レポートには、組織の上位 5 つのスコアリング機能をグラフで示したものが表示されます。

アセスメント別の機能 (上位スコアリング機能) グラフ



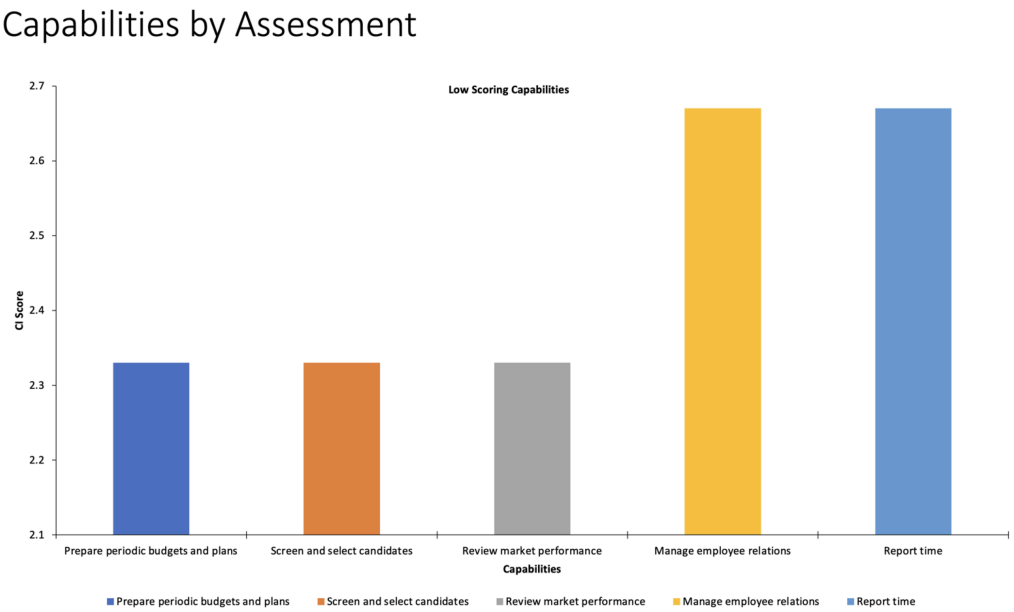
アセスメント別の機能 (下位スコアリング機能)

アセスメント別機能 (下位スコア機能) レポートには、組織の下位 5 つのスコアリング機能が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメント別の機能 (下位スコアリング機能)



でデジタルインターフェイスを **CMDB API** に接続する エンタープライズアーキテクチャ

デジタルインターフェイスと CMDB API の間に関係を作成します。この関係を使用して、デジタル統合と API 接続の詳細を確認し、デジタルインターフェイスの設計仕様から作成された API を表示します。API がデプロイされている環境を確認し、必要に応じてグループ化することもできます。

始める前に

CMDB CI クラスモデル [app-cmdb-content] ストアアプリ (バージョン 1.49.0 以降) を有効にします。手順については、「CMDB CI クラスモデル」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

1 つのデジタルインターフェイスを 1 つ以上の API に接続できます。1 つの API を 1 つのデジタルインターフェイスにのみ接続できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > デジタルインターフェイス.
2. 既存のデジタルインターフェイスを選択します。
3. デジタルインターフェイスフォームで **[API**] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
   [API へのデジタルインターフェイス] フォームで、フィールドに入力します。フィールドの説明については、「エンタープライズアーキテクチャ (旧称 APM) の API フォームへのデジタルインターフェイス」を参照してください。[環境]、[ライフサイクルステージ]、および [ライフサイクルステージステータス] フィールドの情報は、API から派生します。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) と他のアプリケーションの統合

エンタープライズアーキテクチャ のセットアップに必要なプロセスを理解し、ServiceNow プラットフォームの主要アプリケーションと連携して、アプリケーションに関する詳細なインサイトを提供します。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス と統合して、アプリケーションのリスクとコントロールを特定する

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) は ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) と統合して、ビジネスアプリケーションのリスクを特定および評価するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
GRC アプリケーションを使用して、ハードウェア、ソフトウェア、ビジネスアプリケーションなどの資産に関連するリスクを分析できます。また、これらのリスクに関連するコントロールを特定してテストしたり、それらの資産に対して実施された監査を確認したりすることもできます。この分析により、アプリケーションオーナーが、ビジネスアプリケーションのリスクを効果的に理解できるようになります。

アプリケーションオーナーは、外部監査システムを利用してアプリケーションを監査しなくても、ビジネスアプリケーションがさらされている重大なリスクとコンプライアンスの問題を特定できます。

エンタープライズアーキテクチャ を GRC と統合するには、次のプラグインをアクティブ化します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > プラグイン.
2. GRC: GRC プロファイル依存関係 (com.snc.grc_profile_dep) プラグインをインストールします。
3. GRC: Vendor Risk Management 依存関係 (com.snc.grc_vrm_dep) プラグインをインストールします。
4. GRC: Policy and Compliance Management 依存関係 (com.snc.grc_policy_dep) プラグインをインストールします。

   これには、ServiceNow アプリストアからの app-compliance のインストールも必要になります。

   > **注:** 統合には、特定のアプリケーションを ServiceNow アプリストアからインストールする必要もあります。ダウンロードしてアクティブ化する手順については、「ストアでアプリを要求する」を参照してください。

次のタスク
ビジネスアプリケーションを参照するエンティティを作成します。エンティティを監査にアタッチします。

ビジネスアプリケーションを参照する監査のエンティティを作成する

ビジネスアプリケーションテーブルとその特定のアプリケーションレコードへの参照を使用してエンティティを作成します。エンティティを使用して、リスクエクスポージャーのスコープを設定し、ビジネスアプリケーションのリスクアセスメントを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_audit.admin または sn_audit.manager

このタスクについて
GRC では、プロファイルの代わりにエンティティという用語を使用します。エンティティは、監査可能なデータベース、サーバー、ビジネスアプリケーションなどの監査可能な任意の対象を指します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Audit** (監査) > スコーピング > すべてのエンティティ.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「エンティティフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

詳細については、以下を参照してください。

- プロファイルを作成します 。
- プロファイルタイプ、プロファイルクラス、およびプロファイルを確立します 。

リスクをエンティティに関連付ける

エンティティをリスクにアタッチし、リスクレコードを作成します。ビジネスアプリケーションに悪影響を与える可能性のあるリスクを評価および特定します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin および sn_risk.manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Risk** > リスク登録 > すべてのリスク.
2. リスクフォームでリスクを作成します。

参照：「リスクを手動で作成 」。

注:

[エンティティ] フィールドで、リスクをエンティティに関連付けます。

エンゲージメントへのビジネスアプリケーションエンティティの追加

エンティティは、監査エンゲージメントについて査定および評価されます。その後、監査エンゲージメントのスコープが設定されて検証されたエンティティが、監査に関連付けられます。

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager または sn_audit.admin

ビジネスアプリケーションエンティティをエンゲージメントに追加するには、エンティティフォームの [エンティティ] フィールドでビジネスアプリケーションを参照するエンティティを作成する必要があります。参照：「ビジネスアプリケーションを参照する監査のエンティティを作成する」。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Audit** (監査) > エンゲージメント > すべてのエンゲージメント.
2. ビジネスアプリケーションエンティティをエンゲージメントに追加するには、[エンティティ] 関連リストの [追加] ボタンをクリックします。

   注: エンゲージメントは、[スコープ] または [検証] ステータスである必要があります。

   参照：「エンゲージメントスコープにプロファイルを追加」。

   アプリケーションプロファイルがエンゲージメントにアタッチされると、エンゲージメントへのプロファイル [sn_audit_m2m_profile_engagement] テーブルに関連するプロファイルを持つエンゲージメントレコードが作成されます。

ビジネスアプリケーションエンティティにコントロールを追加する

リスクにさらされている可能性のあるビジネスアプリケーションエンティティにコントロールを関連付けます。リスクを軽減してビジネスを保護するには、ビジネスアプリケーションに効果的なコントロールを設定することが必須です。ビジネスアプリケーションをアップグレードするときに、古いコントロールを置き換えることができます。

始める前に
必要なロール：admin

コントロールを関連付ける前に、エンティティを作成しておく必要があります。コントロールは GRC で作成されます。

手順

コントロールを作成してエンティティをコントロールに追加するには、「コントロールの作成」を参照してください。

- コントロール [sn_compliance_control] テーブルから選択するエンティティはビジネスアプリケーション、レコードのエンティティの [クラス] はアプリケーションである必要があります。
- コントロールレコードは、[ドラフト] または [廃止] のいずれかのステータスになります。ただし、このような状況のコントロールは、ビジネスアプリケーションに関連付けられる エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) には表示されません。

ビジネスアプリケーションの ガバナンス、リスク、コンプライアンス リスクとエンゲージメントの表示

アプリケーションオーナーは、ビジネスアプリケーションがさらされているリスクを表示できます。ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) がビジネスアプリケーションエンティティを監査し、監査されたリスクとエンゲージメントは、スクリプト化された関連リストとしてビジネスアプリケーションフォームにキャプチャされます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user、sn_apm.business_stakeholder_apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > すべてのビジネスアプリケーション.
2. **[GRC** リスク] 関連アイテムをクリックします。
3. リスクステートメントの名前、説明、リスクのカテゴリ (法務、財務、運用など)、リスクのレベルを示す固有の影響、およびリスク発生の可能性を示す固有の可能性を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

参照：「リスク、リスクステートメント、リスクフレームワークを管理する」

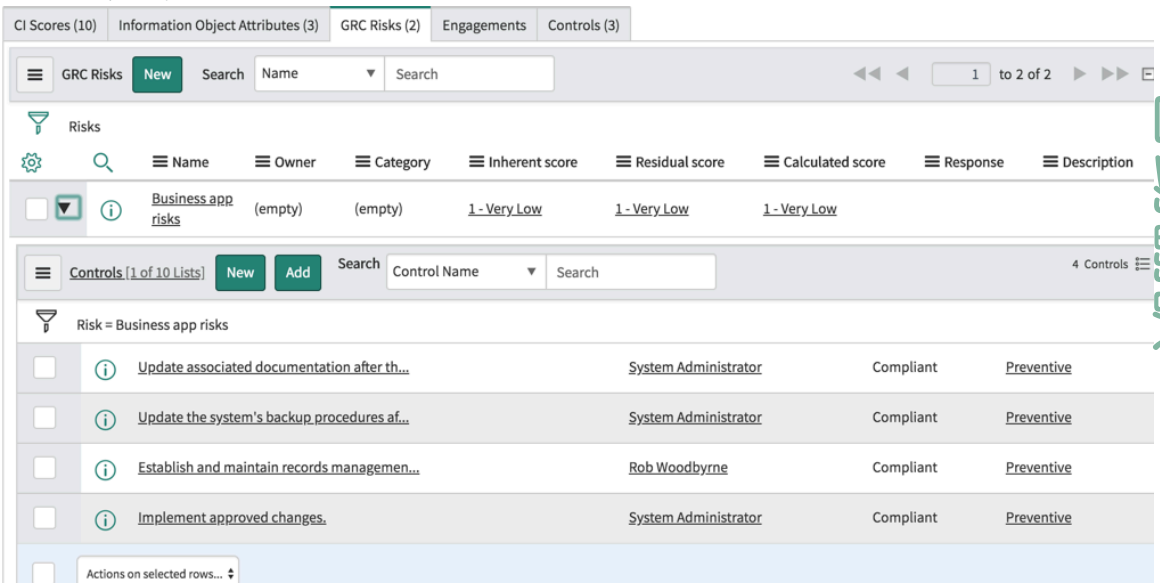
4. [エンゲージメント] 関連アイテムをクリックします。
5. エンゲージメントの名前、アサインされているユーザー、エンゲージメントのステータス、アクティビティの開始予定日、終了日、完了したエンゲージメントの割合、およびエンゲージメントの実際のコストを表示します。
   参照：「エンゲージメントを管理する」
6. [コントロール] 関連アイテムをクリックします。
7. コントロールの名前、オーナー、準拠しているかどうかを示すコントロールステータス、コントロールの分類 (予防、修正、または検出)、およびスケジュール済みジョブが実行される証明頻度を表示します。

   参照：「コントロールを管理する」

8. [GRC リスク] 関連リストのリスクレコードの横にある [階層リストの表示/非表示] 矢印をクリックして、ビジネスアプリケーションのリスクに関連付けられているすべてのコントロールを表示します。

   コントロールをリスクに関連付けると、コントロールとそれに関連付けられたリスクが、コントロールへのリスク [sn_risk_m2m_risk_control] テーブルに作成されます。

リスクに関連付けられたコントロール



類似性ソリューションを使用してアプリケーションを分類し、サービスカタログと統合する

機械学習エンジンを使用して、APM インベントリに登録しているビジネスアプリケーションのカテゴリを提案します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

[ビジネスアプリケーションの登録] フォームを使用して エンタープライズアーキテクチャ (旧称 APM) でアプリケーションをオンボーディングすることはサービスカタログカテゴリからアイテムを要求するのと似ています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

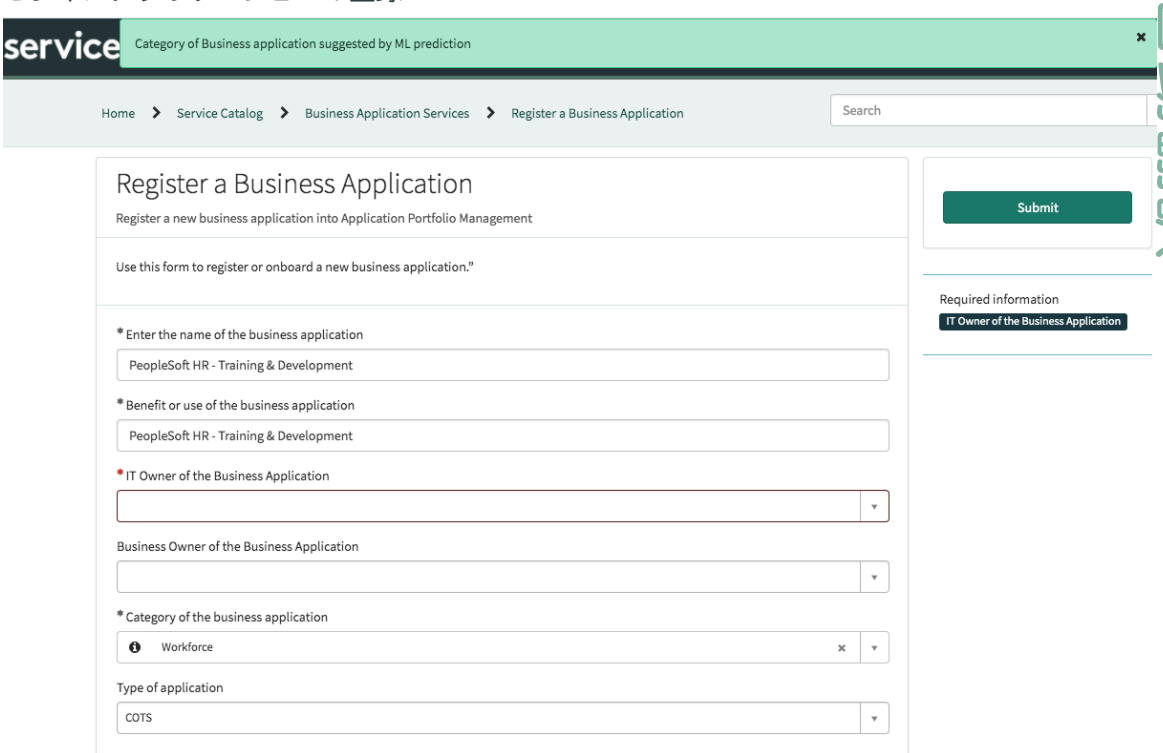
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > ビジネスアプリケーションカタログ.
2. [ビジネスアプリケーションの登録] カードをクリックして、新しいビジネスアプリケーションを登録します。
3. ビジネスアプリケーションの登録フォームに詳細を入力します。

   必須フィールドの横に赤のアスタリスク (*) があります。

ビジネスアプリケーションの登録フォーム

フィールド	説明
ビジネスアプリケーション名を入力	要求または登録するビジネスアプリケーションの名前。
ビジネスアプリケーションのメリットまたは使用 (Benefit or use of the business application)	ビジネスアプリケーションの目的。
ビジネスアプリケーションの IT オーナー	アプリケーションの IT オーナーの名前。
ビジネスアプリケーションのビジネスオーナー	アプリケーションのビジネスオーナーの名前。

ビジネスアプリケーションの登録



ビジネスアプリケーションの名前とメリットを入力すると、機械学習アルゴリズムの類似性ソリューションがトリガーされ、ビジネスアプリケーションテーブル [cmdb_ci_business_app] から類似のビジネスアプリケーションが検索されます。エンジンが類似のレコードを見つけると、ML がアプリケーションテーブルで類似のレコードを見つけたことを示すメッセージがフォームの上部に表示されます。結果に基づいて、エンジンは登録するアプリケーションのカテゴリを提案します。また、ビジネスアプリケーションをグループ化できる可能性のある [ビジネスアプリケーションのカテゴリ] フィールドに、提案されたカテゴリが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機械学習ソリューションによって予測および提案されたカテゴリを選択した場合、アプリケーションカテゴリは将来の分析のためにビジネスアプリケーション要求テーブル [business_app_request] の **[ML** 予測カテゴリ] フィールドに保存されます。

4. 該当する場合は、ML が提案したカテゴリを選択します。
5. [送信] をクリックします。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) とのデータ連携 **Lucidchart**

Lucidchart でビジネスアプリケーションとビジネス機能の拡張アーキテクチャ図を作成し、ServiceNow インスタンスからアクセスします。

Lucidchart アプリケーションに現在と将来の状態を含めることで、組織のアーキテクチャを視覚的にモデル化できます。その後、これらの図を エンタープライズアーキテクチャ (旧称 APM) のアーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。

エンタープライズアーキテクトとして、統合を使用して、次のタスクを実行します。

- ビジネスアプリケーション階層を Lucidchart にプッシュします。
  - チャートに含めるエンティティを選択します。
  - エンティティの形状と色をチャートでどのように表示するかをカスタマイズします。
  - アーキテクチャアーティファクトバージョンとして図の参照を保持します。
  - Lucidchart の図を表示して編集します。
- Lucidchart にビジネス機能をプッシュします。
  - チャートに含める子機能とビジネスアプリケーションを含む 1 つ以上の機能を選択します。
  - アーキテクチャアーティファクトバージョンとして図の Lucidchart 参照を保持します。

Lucidchart の統合により、Lucidchart 図をアーティファクトの URL として関連付けるアーキテクチャアーティファクト機能が強化されます。現在の統合は、ServiceNow インスタンスから図をプッシュして Lucidchart でモデル化する 1 つの方法でのみ機能します。

Lucidchart で図を作成し、エンタープライズアーキテクチャ のアーキテクチャアーティファクトに関連付けるには、次のストアアプリケーションをからインストールする必要があります ServiceNow Store には以下も含まれています。

- Lucidchart Diagramming スポーク - ServiceNow と Lucidchart 間の接続を確立するのに役立ちます。エンタープライズアーキテクチャ で Lucidchart の図を作成するアクションを利用できます。Lucidchart Diagramming スポークでは、Lucid アカウントでワークスペースおよびカスタムアプリを作成し、ServiceNow の要求を認証するための OAuth 2.0 トークンを生成する必要があります。また、エンタープライズアーキテクチャ からの図を作成するアクションを許可するには、Lucidchart アプリケーションの接続と資格情報レコードを作成する必要があります。詳細については、「Lucidchart Diagramming スポーク」、「Lucidchart で OAuth 2.0 クライアントを作成する」、および「Lucidchart Diagramming スポークの接続および資格情報エイリアスを作成する」を参照してください。
- Lucidchart 統合 – Lucidchart でビジネスアプリケーションまたはビジネス機能図を作成するのに役立ちます。Lucidchart に表示されるエンティティの形状と色を設定することもできます。からのアプリケーションのインストール ServiceNow Store

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク管理との エンタープライズアーキテクチャ 統合およびポリシーとコンプライアンスとの エンタープライズアーキテクチャ 統合をインストールします

ServiceNow Store から Application Portfolio Management の Risk Management との統合および Application Portfolio Management の Policy and Compliance との統合をインストールします。

始める前に

必要なロール：admin

Application Portfolio Management の Risk Management との統合および Application Portfolio Management の Policy and Compliance との統合をインストールする前に、ServiceNow Store から ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) アプリケーションをダウンロードしてアクティブ化します。詳細については、 「ServiceNow Store からの GRC アプリケーションの初回ダウンロード」トピックを参照してください。

このタスクについて

次のプラグインをアクティブ化します。

名前	説明
Application Portfolio Management の Risk Management との統合 (com.snc.apm_risk_assessment)	Application Portfolio Management の GRC Risk Management との統合プラグインをアクティブ化します。
Application Portfolio Management の Policy and Compliance との統合 (com.snc.apm_control_management)	Application Portfolio Management の GRC コントロールとの統合プラグインをアクティブ化します。

手順

1. 次のように移動する。 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。
   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow へのリクエストが必要になることもあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースメモ情報については、「ServiceNow Store バージョンの履歴リリースノート」を参照してください。
3. [インストール] をクリックします。
4. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、GRC - アプリケーションリスクアセスメントよりも先にインストールする必要があります。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] をクリックします。

   (Optional) デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] をクリックします。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス (エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理 (APM)) に必要な GRC) ロール

sn_apm.apm_user ロールにロールを追加して、 エンタープライズアーキテクチャから GRC 情報にアクセスできるようにします。

ロール	説明
risk_reader	[GRC リスク]、[リスクサマリー]、および [リスク対応タスク] タブへの読み取りアクセスを有効にします。
compliance_reader	[コントロール]、[GRC 問題]、および [GRC 問題修正タスク] タブへの読み取りアクセスを有効にします。
sn_audit.user	[監査エンゲージメント] タブへの読み取りアクセスを有効にします。
grc_business_user	アプリケーションオーナーがリスクアセスメントのアンケートに回答し、証明書サーベイを制御できるようにします。

ユーザーへのロールのアサイン方法の詳細については、「ユーザーへのロールのアサイン」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) 参考

フィールド、ユーザーロール、テーブル、ガイドライン、ドメインセパレーション情報など、エンタープライズアーキテクチャ に関する追加の詳細を提供するための参照情報。

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 APM) のビジネスステークホルダーロール

エンタープライズアーキテクチャユーザーの場合、ビジネスステークホルダー (com.snc.business_stakeholder) プラグインにはエンタープライズアーキテクチャのビジネスステークホルダーロールが含まれます。このロールを持つユーザーは、レポートとダッシュボードのデータ取得に使用するテーブルのレコードを承認、表示または読み取ることができます。顧客はこのロールを、レポートをレビューおよび承認するビジネスステークホルダーとなっている任意のユーザーにアサインできます。

アップグレード情報

アップグレードする顧客

Yokohama にアップグレードする場合、エンタープライズアーキテクチャのビジネスステークホルダーロールは、エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.apm_read_roles) の読み取り専用ロールプラグインをアクティブ化した場合にのみ使用できます。

新規顧客

新規顧客の場合、 エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.apm_read_roles) プラグインの読み取り専用ロールが zBoot でアクティブ化されます。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ のビジネスステークホルダーロールは、プラグインをインストールする場合にのみ使用できます エンタープライズアーキテクチャ 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスステークホルダーの読み取り専用ロールである理由

エンタープライズアーキテクチャ のアナリスト (sn_apm.apm_analyst) ロールは、サブスクリプションが必要なライセンス可能なロールです。このロールを持つユーザーはすべてのエンタープライズアーキテクチャ PA ダッシュボードにアクセスできこのロールにはアドミンロールエンタープライズアーキテクチャが含まれています情報データの読み取りだけでなく、承認更新するためのさまざまなレベルのアクセス権を持っています。このライセンス可能なロールは価格が伴うため、組織は数を限定して調達します。ビジネスステークホルダーロールにも同様の機能がありますが、アクセスは読み取り専用レベルで制御されます。このロールを持つユーザーは、レポートにアクセスしてレビューと承認のみを行うことができます。

ビジネスステークホルダーの読み取り専用ユーザーとダッシュボードを共有する

エンタープライズアーキテクチャエンタープライズアーキテクチャ のビジネスステークホルダーロール (sn_apm.apm_read) ロールを持つユーザーは、ダッシュボード、レポート、およびダッシュボードのすべての基礎となるテーブルに対する読み取り専用アクセス権を持ちます。

ベースシステムは、このロールを持つユーザーに、アプリケーション状況、アプリケーション **360**、およびアプリケーションアセスメントダッシュボードを表示するためのアクセス権を提供します。これらのダッシュボードレポートのデータ取得元テーブルにもアクセスできます。

カスタム作成されたダッシュボードとレポートを構成する方法でも、ビジネスステークホルダーロールをユーザーに提供できます。ビジネスステークホルダーに読み取り専用アクセスを提供するには、「レスポンシブダッシュボードの共有」の手順に従います。

ビジネスステークホルダーとダッシュボードのウィジェットを共有する

ダッシュボードの個々のウィジェットをビジネスステークホルダーの読み取り専用ロールを持つユーザーと共有するには：

1. 次のように移動する。 エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ分析 > ダッシュボード
2. [ウィジェットを追加 (Add Widget)] アイコン (+) をクリックします。
3. 共有するウィジェットの [コンテンツの編集] アイコン ( ) をクリックします。
4. 共有アイコン ( ) をクリックします。
5. [共有] セクションで [共有] オプションをクリックします。
6. 検索フィールドで business_stakeholder を検索し、[共有設定] ウィンドウでロールをクリックして追加します。
7. **[OK]** をクリックします。

エンタープライズアーキテクチャ ビジネスステークホルダーロールを持つユーザーがアクセスできるテーブル

エンタープライズアーキテクチャ のビジネスステークホルダーロールを持つユーザーは、データを保存する次のテーブルにアクセスして、エンタープライズアーキテクチャダッシュボードにウィジェットをロードできます。

エンタープライズアーキテクチャ テーブル

ラベル	テーブル名
ビジネスアプリケーション	cmdb_ci_business_app
ビジネス機能	cmdb_ci_business_capability

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンタープライズアーキテクチャ テーブル (続く)

ラベル	テーブル名
CMDB の関係	cmdb_rel_ci
CI スコア	apm_app_score
インジケータースコア	apm_app_indicator_score
インジケーター	apm_metric
会計年度	fiscal_period
ビジネスプロセス	cmdb_ci_business_process
アプリケーションファミリ	apm_application_family
アプリケーションカテゴリ	apm_application_category
アプリケーションカテゴリグループ	apm_application_category_group
採点プロファイル	apm_application_profile
ポートフォリオ	pm_portfolio

アプリケーション分類の例

関係性と冗長性を識別するためのグループとカテゴリへのアプリケーション分類の例。

アプリケーション分類を使用するシナリオ

次の表は、アプリケーションをカテゴリ、ファミリ、およびソフトウェア 製品 に基づいて分類する例を示しています。

ビジネスアプリケーション	ビジネスプロセス (L1)	アプリケーションカテゴリグループ	アプリケーションカテゴリ	アプリケーションファミリー	ソフトウェア製品
Oracle EBS Order Management	Quote to Cash	販売および流通	オーダー管理	Oracle EBS SCM	Oracle EBS R12.2 Order Management
Oracle EBS General Ledger	レポートする財務計画	財務管理	総勘定元帳	Oracle EBS Financials	Oracle EBS R12.2 Financials

関連情報

アプリケーション分類

ビジネスプロセスフォーム

ビジネスプロセスは、特定のアプリケーションサービスを完了するために、関連する構造化されたタスクを実行する方法です。

ビジネスプロセスフォームフィールド

フィールド	値
名前	ビジネスプロセスの一意の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
資産管理番号	組織によって資産にアサインされた英数字タグ。
担当者	このアイテムの使用者または責任者。
カテゴリ	ビジネスプロセスのカテゴリ。
不具合発生回数	障害の数。
インストール日時	ビジネスアプリケーションがインストールされる日時。
インストールステータス	ビジネスアプリケーションのステータス。選択リストは次のとおりです。 • 不在 • メンテナンス中 • 在庫あり • インストール日時 • 発注済み • インストール待ち • 修理待ち • 廃止 • 盗難 • なし

関連情報

アプリケーションビジネスプロセスの追加または編集

デマンドアクションフォーム

デマンドアクションは、アプリケーションに対して実行する戦略的な意思決定です。 エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) には、アプリケーションの機能を拡張するのに役立つ事前設定されたアクションが用意されています。

デマンドアクションフォームフィールド

デマンドアクションフォーム

フィールド	説明
アクション	アプリケーションに関する決定。
説明	アクションの説明。
戦略	アクションを実装するための計画。

認定スケジュールフォーム

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 APM) admin ロールを持つシステムアドミニストレーターは、ビジネスアプリケーションデータを認定するためのデータ認定タスクを作成し、システムオーナーに割り当てることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

認定スケジュールフォームフィールド

フィールド	説明
名前	認定スケジュールの名前。
フィルター	テーブルデータのフィルターを選択します。
テーブル	認定されるデータを構成するテーブル。デフォルトは cmdb_ci_business_application テーブルです。 **注:** データ認定は、一度に 1 つのテーブルにのみ適用できます。別のテーブルにもデータ認定が必要な場合は、別のテーブルを作成します。
表示フィールド	ビジネスアプリケーションから表示するフィールドを選択します。 **注:** 表示フィールドを認定フィールドと同じにすることはできません。それらは相互に排他的です。
認定フィールド	個々のフィールド認定を必要とする、表示するフィールドを選択します。認定するフィールドを指定します。 [アプリケーション **URL]**、[ビジネス上の重要度]、[データ分類]、[契約終了日]、[アクティブ]、[アクティブユーザー数]、[ステータス]、[ユーザーベース]、および [前回変更適用日] は、データ認定用に事前設定されたフィールドの一部です。
割り当てタイプ	ターゲットテーブルからユーザー参照フィールドを選択します。 • ユーザーフィールド：[アサイン 先] フィールドで、ビジネスアプリケーションテーブルの特定のフィールドを選択してアサインします。 • 特定のユーザー：[ユーザー] フィールドで、特定のユーザーを選択してアサインします。 • グループフィールド：[アサイン先グループ] フィールドで、認定スケジュールをグループにアサインします。 • 特定のグループ：[グループ] フィールドで、認定スケジュールを選択してグループにアサインします。
アサイン先	ビジネスアプリケーションのデータの認定を担当するアプリケーションオーナー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ユーザー	アサインされていないすべてのタスクをアサインするユーザーを選択します。
グループに割り当て	ビジネスアプリケーションテーブルから、グループを選択します。
グループ	選択リストから、グループを選択します。
空に割り当て	選択リストから、値を選択します。 • タスクを作成しない:これらのレコードに対して認定タスクは作成されません。 • 未アサインタスクの作成 **(Create Unassigned Task)**：認定タスクは作成されますが、アサインされません。 • アサインされるタスクの作成 **(Create Assigned Task)**：認定タスクを作成し、特定のユーザーまたはグループにアサインします。 注: このフィールドは、[アサインタイプ] を [ユーザーフィールド] または [グループフィールド] として選択している場合にのみ使用可能です。
完了までの日数	認定を完了するまでに必要な日数を入力します。
有効	このジョブは、デフォルトでは非アクティブです。チェックボックスを選択すると、スケジュールされたジョブが実行されます。
実行	認定タスクの実行頻度：日次、週次、月次、定期的、1 回、オンデマンド。
最終実行日	デフォルトは、認定が実行された日の前日です。認定スケジュールが新しいレコードの場合、このフィールドは編集できません。
タスク詳細	認定タスクの簡単な説明。
説明	アプリケーションオーナーに対するタスク関連の詳細な指示。

[認定インスタンス] セクションのフィールド

フィールド	説明
[Number (番号)]	認定インスタンスの番号。
認定スケジュール	認定が必要な情報と、認定の実行頻度を定義します。デフォルトは、選択した認定スケジュールです。
ステータス	認定のステータス：[対応中] または [完了]。
作成日時	認定インスタンスの作成日。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[認定インスタンス] セクションのフィールド (続く)

フィールド	説明
完了期日	認定タスクを完了する日付。[完了までの日数] が [作成日時] の日付に追加されます。
完了率 (%)	アプリケーションオーナーが認定するフィールドごとに、認定フィールドの総数に対するパーセントが計算されます。システム管理者は、データ認定タスクの進捗状況を追跡できます。
簡単な説明	認定インスタンスの簡単な説明。

[認定タスク] セクションのフィールド

フィールド	説明
[Number (番号)]	認定タスクにアサインされた番号。
担当者	タスクがアサインされ、データを認定する権限を持つアプリケーションオーナー。
アサイン先グループ	タスクは、グループのユーザーにアサインすることもできます。
エスカレーション	デフォルトは [通常] です。

関連情報

データ認定タスクのスケジュール

ビジネスアプリケーションフォーム

エンタープライズアーキテクチャ (旧 APM) は、システムアドミニストレーターがビジネスアプリケーションを追加して、そのコスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクを評価および追跡するのに役立ちます。

ビジネスアプリケーションフォームフィールド

フィールド	説明
名前	ビジネスアプリケーションの名前。
数値	ビジネスアプリケーションレコードの構成可能なプリフィックスを持つ、自動生成された一意の識別番号。
ビジネスプロセス	アプリケーションが使用されるビジネスプロセス。
ポートフォリオ	アプリケーションが属するポートフォリオの名前。 このフィールドは、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されている場合に表示されます。
アプリケーションタイプ	アプリケーションのタイプ。このフィールドは、アプリケーションがカスタムなのか商用なのかを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 自家製：社内で構築されたアプリケーションです。 • エンドユーザーコンピューティング:このアプリケーションは、エンドユーザーが日常のタスクを実行するために使用されます。 • 商用オフザシェルフ **(COTS):**アプリケーションは、別の会社から購入した商用アプリケーションです。 • **SaaS**:アプリケーションは、サードパーティベンダーによって管理されるクラウドアプリケーションです。
パブリッシャー	アプリケーションのパブリッシャーの名前。
アーキテクチャタイプ	アプリケーションアーキテクチャのタイプ。 • クライアントサーバー：サービスプロバイダーとサービス要求者の間でタスクを分割するアプリケーション構造。 • **N** 層：プレゼンテーション、処理、およびデータ管理が物理的に分離されたレイヤーとして存在するマルチレイヤーアーキテクチャ。 • **Web** ベース：ネットワーク接続を介してアクセスされるアプリケーション。 • その他：その他のタイプのアーキテクチャ。 • プラットフォームホスト：ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 • プラットフォームアプリケーション：プラットフォーム上で実行され、ホストに関連付けることができるアプリケーション。 この場合、ビジネスアプリケーションは、開発ツール、実行サービス、データサービスなどの標準操作をプラットフォームに依存して実行します。
プラットフォームホスト	ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 [アーキテクチャタイプ] フィールドで [プラットフォームアプリケーション] 値を選択する場合、このフィールドは必須です。
インストールタイプ	インストールのタイプ。次のオプションを使用します： • オンプレミス • クラウド • ハイブリッド • **Third Party Hosted** (サードパーティホスト)
プラットフォーム	プラットフォームによってホストされるアプリケーション。
事業部門	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている事業部門。
Department (部門)	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている部門。
インストール日時	アプリケーションがインストールされた日時。
ステータス	アプリケーションの運用ステータス。次のオプションを使用します：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• Implementing (実装中) • In Production (本番環境) • パイロット • 廃止 監査が有効になります。したがって、ユーザーがこのフィールドの値を更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。
ライフサイクルステージ	アプリケーションのライフサイクルステージ。このフィールドは、[ステータス] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。データは、ライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルからフェッチされます。
ライフサイクルステージのステータス	アプリケーションのライフサイクルステージのステータス。このフィールドは、[ステータス] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。データは、ライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルからフェッチされます。
アプリケーション採点プロファイル	戦略のアプリケーションスコアを計算するために使用されるプロファイル。
アプリケーションカテゴリ	アプリケーションの目的と機能。この情報を使用して、アプリケーションを合理化または統合します。
アプリケーションファミリ	共通のプラットフォームまたはベンダーを持つ関連アプリケーションのセット。
テクノロジースタック	アプリケーションが構築されたテクノロジースタック。
ユーザーベース	アプリケーションを使用しているユーザーの数。 監査が有効になります。したがって、ユーザーがこのフィールドのレコードを更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。
アクティブユーザー数	ユーザーベース全体のうちアクティブなユーザーの数。フィールドの監査が有効になっています。
前回変更適用日	アプリケーションが最後に更新された日付。フィールドの監査が有効になっています。
アクセシビリティレベル	ビジネスアプリケーションのアクセシビリティレベル次のオプションを使用します： • [A (最低)] • AA (中程度) • AAA (最高)
経過時間 (月)	ビジネスアプリケーションの経過時間 (月単位)。このフィールドは、[インストール済み] フィールドに日時が入力されると自動的に入力されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	アプリケーションの一意の説明です。
モデル ID	ビジネスアプリケーションの製品モデル ID。

[契約セクション] フォームのフィールド

フィールド	説明
ベンダー	アプリケーションのベンダーの詳細。
サポートベンダー	現在アプリケーションをサポートしているベンダー。
契約終了日	サブスクリプション契約またはサポート契約の有効期限。フィールドの監査が有効になっています。

[計画的処分] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
計画的処分	ビジネスアプリケーションの計画的な処分。次のオプションを使用します： • [Invest (投資)] • [Sustain (維持)] • [Migrate (移行)] • 廃止
移行戦略	ビジネスアプリケーションの移行戦略。このフィールドは、[予定されている処分] フィールドで [移行] が選択されている場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します： • 再ホスト • 再プラットフォーム化 • 再購入 • リファクター
ターゲットビジネスアプリケーション	計画的処分を追加するビジネスアプリケーションの名前。このフィールドは、[予定されている処分] フィールドで [移行] が選択されている場合にのみ表示されます。
論拠	計画的処分の決定の理由。

オーナーセクションフォームのフィールド

フィールド	説明
ポートフォリオマネージャー	ポートフォリオのオーナー。通常は IT 部門のメンバーです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オーナーセクションフォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) がアクティブ化されている場合に表示されます。
事業主	ビジネス側からのアプリケーションオーナー。アプリケーションごとに、ビジネスオーナーがアサインされている必要があります。
管理担当者	ビジネスアプリケーションを管理するユーザー。
管理担当者グループ	ビジネスアプリケーションを管理するユーザーグループ。
アプリケーションの IT オーナー	IT 側からのアプリケーションオーナー。 ビジネスアプリケーションには、オーナーがアサインされている必要があります。 IT アプリケーションオーナーとして指定されている場合は、自分がオーナーであるすべてのアプリケーションを [自分のアプリケーション] メニューで表示できます。
最終更新者	アプリケーションレコードを最後に更新した人。
サポート担当者	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザー。
サポートグループ	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザーグループ。

[コンプライアンスセクション] フォームのフィールド

フィールド	説明
事業上の重要度	ビジネスに対するアプリケーションの重要度。フィールドの監査が有効になっています。
緊急時の対応 (Emergency tier)	緊急時にアプリケーションに対して実行されるアクションまたは計画。
データ分類	アプリケーション内のデータのセキュリティレベル。この属性は、アプリケーションに適用可能な Governance, Risk, and Compliance (GRC) (ガバナンス、リスク、コンプライアンス) ポリシーを決定します。 データのカテゴリ。ベースシステムには、[内部]、[公開]、[機密]、および [極秘] のカテゴリがあります。 フィールドの監査が有効になっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コンプライアンスセクション] フォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
認定	要件を満たしている、または組織のポリシーに準拠しているアプリケーションのステータス。

[アクティビティ] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
作業メモ	自分が入力した作業メモ。

関連情報

ビジネスアプリケーションの追加または編集

デジタル統合フォームを作成

[デジタル統合を作成] フォームを使用して、2 つのビジネスアプリケーション間のデジタル統合を作成します。

デジタル統合を作成フォーム

フィールド	説明
登録者ビジネスアプリケーション	提供されたインターフェイスを使用してデータを消費、交換、または取り込み、ビジネス機能をサポートするビジネスアプリケーションの名前。そのため、変更や機能停止、接続、データ損失の影響を受けます。 注: プロバイダーまたはサブスクライバーのビジネスアプリケーションであるため、データフローの方向 (受信、送信、双方向) は参照しません。これは、データフロー方向属性によって管理されます。
登録者デジタルインターフェイス	統合に登録するデジタルインターフェイスの名前。
プロバイダービジネスアプリケーション	デジタルインターフェイスを提供し、データの消費または取り込みを可能にするビジネスアプリケーションの名前。インターフェイスの変更、所有権、および責任は、多くの場合、プロバイダーに関連付けられています。 注: プロバイダーまたはサブスクライバーのビジネスアプリケーションであるため、データフローの方向 (受信、送信、双方向) は参照しません。これは、データフロー方向属性によって管理されます。
新しい プロバイダー デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスを作成するオプション。これは、プロバイダービジネスアプリケーションに関連するプレースホルダーデジタルインターフェイスです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
供給者 デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。2 つのビジネスアプリケーションまたはサービス間のデジタル統合ではデジタルインターフェイス (API) が使用されるため、プロバイダーのビジネスアプリケーションまたはサービスに関連するインターフェイスを選択する必要があります。
IT 所有者	デジタル統合を所有する IT 組織内のオーナー。親登録者ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
デジタル統合名	デジタル統合の名前。 このフィールドは、[登録者ビジネスアプリケーション]、[プロバイダービジネスアプリケーション]、および [デジタルインターフェイス **(Digital Interface)]** フィールドが選択されている場合に自動入力されます。自動入力された名前は変更できます。
タイプ	統合のタイプ。 次のオプションを使用します： • データ統合:統合が主にユーザー、グループ、場所、構成アイテム、部門などのデータの交換に焦点を当てる必要がある場合は、このオプションを使用します。 • プロセス統合 - このオプションは、統合が特定のプロセスをサポートするためのトランザクションデータのインタラクションに関するものである場合に使用します。 • ユーザーインターフェイス統合:このオプションは、統合によって別のアプリケーションとの接続が開き、URL を介してアプリデータを送信してアプリケーションにクエリを実行する場合に使用します。
サブタイプ	統合のサブタイプ。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [データ統合] を選択した場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します。 • プロセスの構成 • 基盤データ • 構成アイテム • Events • レポート • システムログ
トリガー	統合をトリガーする方法。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	次のオプションを使用します。 • マニュアル • スケジュール済み • プロセス駆動型 • イベント
間隔	統合をトリガーする頻度。 間隔のオプションは次のとおりです。 • 秒 • 分 • 時間 • 日 • 週 • 月 • 四半期 • 年 • オンデマンド • リアルタイム
事業主	統合のビジネスオーナー。
説明	デジタル統合の説明。2 つのビジネスアプリケーション間、または外部サービスが提供するインターフェイスとビジネスアプリケーション間で統合を作成する理由と、それがどのようなビジネス価値をどのように追加するかを詳細に説明してください。

関連情報

- デジタル統合
- デジタル統合の作成

デジタル統合フォームを更新

デジタル統合フォームを使用して、2 つのビジネスアプリケーション間のデジタル統合を更新します。

デジタル統合フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	デジタル統合の一意でわかりやすい名前。
[Number (番号)]	デジタル統合の数。このフィールドは、DINTG プリフィックス付きで自動的に生成され、編集できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合フォーム (続く)

フィールド	説明
供給者 デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。2 つのビジネスアプリケーションまたはサービス間のデジタル統合ではデジタルインターフェイス (API) が使用されるため、プロバイダーのビジネスアプリケーションまたはサービスに関連するインターフェイスを選択する必要があります。このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。
プロバイダービジネスアプリケーション	デジタルインターフェイスを提供し、データの消費または取り込みを可能にするビジネスアプリケーションの名前。インターフェイスの変更、所有権、および責任は、多くの場合、プロバイダーに関連付けられています。 注: プロバイダーまたはサブスクライバーのビジネスアプリケーションであるため、データフローの方向 (受信、送信、双方向) は参照しません。これは、データフロー方向属性によって管理されます。 このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。
登録者デジタルインターフェイス	統合に登録する r デジタルインターフェイスの名前。
登録者ビジネスアプリケーション	提供されたインターフェイスを使用してデータを消費、交換、または取り込み、ビジネス機能をサポートするビジネスアプリケーションの名前。そのため、変更や機能停止、接続、データ損失の影響を受けます。 注: プロバイダーまたはサブスクライバーのビジネスアプリケーションであるため、データフローの方向 (受信、送信、双方向) は参照しません。これは、データフロー方向属性によって管理されます。
タイプ	統合のタイプ。 次のオプションを使用します： • データ統合:統合が主にユーザー、グループ、場所、構成アイテム、部門などのデータの交換に焦点を当てる必要がある場合は、このオプションを使用します。 • プロセスデータ連携 – このオプションは、データ連携が特定のプロセスをサポートするためのトランザクションデータのインタラクションに関するものである場合に使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合フォーム (続く)

フィールド	説明
	• ユーザーインターフェイス統合 – このオプションは、統合によって別のアプリケーションとの接続が開き、URL を介してアプリデータを送信してアプリケーションにクエリを実行する場合に使用します。
サブタイプ	統合のサブタイプ。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [データ統合] を選択した場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します。 • プロセスの構成 • 基盤データ • 構成アイテム • Events • レポート • システムログ
バージョン	統合のバージョン。変更の設計、計画、および管理のプラクティスを統合に適用できます。[説明] フィールドには、バージョンに応じてさまざまな変更と機能を説明できます。これは、アプリケーションオーナーとアーキテクトが、使用中の統合のバージョンやライフサイクルを変更する必要があるバージョンを検索するのに役立ちます。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	統合のライフサイクルステージ。 製品、資産、契約、CI、場所、およびその他のオブジェクトのライフサイクルを追跡するのに役立ちます。標準の CSDM ライフサイクル値を使用すると、オブジェクトの移行期間を経時的に追跡できます。したがって、レポートは、CI の実際のステータス (使用状況、可用性、サポート終了など) を正確に反映できます。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	統合のライフサイクルステージステータス。デジタル統合の状況移行により、ライフサイクルのさまざまなステージを進みます。ライフサイクル状況は、ライフサイクル中のデジタル統合のライフサイクルステージとライフサイクル状況の組み合わせです。
事業部門	統合が属する事業部門の名前。
説明	デジタル統合の説明。2 つのビジネスアプリケーション間、または外部サービスが提供するインターフェイスとビジネスアプリケーション間で統合を作成する理由と、それが付加するビジネス価値を詳細に記述してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能セクションフィールド

データフロー方向	統合におけるデータフローの方向。 次のオプションを使用します： • 送信:プロバイダービジネスアプリケーションからサブスクライバービジネスアプリケーションへのデータフロー。 • 受信:登録者ビジネスアプリケーションからプロバイダービジネスアプリケーションへのデータフロー。 • 双方向:プロバイダーと登録者のビジネスアプリケーション間の双方向のデータフロー。
トリガー	統合をトリガーする方法。 次のオプションを使用します。 • マニュアル • スケジュール済み • プロセス駆動型 • イベント
間隔	統合をトリガーする頻度。 間隔のオプションは次のとおりです。 • 秒 • 分 • 時間 • 日 • 週 • 月 • 四半期 • 年 • オンデマンド • リアルタイム。
応答	登録者が受信した応答のタイプ。 次のオプションを使用します。 • 同期 • 非同期
インタラクションタイプ	プロバイダービジネスアプリケーションと登録者ビジネスアプリケーション間のインタラクションのタイプ。 次のオプションを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能セクションフィールド (続く)

	• 保証されたメッセージ (Guaranteed Message) • Pub-Sub • プル • プッシュ
ミドルウェア	統合で使用されるミドルウェアの名前。

[ビジネスインパクト] セクションのフィールド

フィールド	説明
重要度	ビジネスへの影響度の重大度のレベル。次のオプションを使用します： • Low (低) • 中程度 • 高い • クリティカル
機密性	統合の機密性レベル。次のオプションを使用します： • Low (低) • 中程度 • 高い • クリティカル
完全性	統合の整合性レベル。次のオプションを使用します： • Low (低) • 中程度 • 高い • クリティカル
可用性	統合の可用性。次のオプションを使用します： • Low (低) • 中程度 • 高い • クリティカル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[オーナー] セクションフィールド

事業上の所有者	デジタル統合を所有するビジネス機能のオーナー。親登録者ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
IT 所有者	デジタル統合を所有する IT 組織内のオーナー。親登録者ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
サポート担当者	該当分野のエキスパート (SME) またはデジタルインターフェイスのサポートを提供する個人の名前。
サポートグループ	デジタルインターフェイスにサポートを提供するグループの名前。

[アクティビティ] セクションのフィールド

フィールド	説明
作業メモ	統合に関するコメント。

関連情報

デジタル統合の更新

[デジタル統合を要求] フォーム

2 つのビジネスアプリケーション間の統合を有効にするデジタル統合を要求します。

デジタル統合フォームの要求

フィールド	説明
登録者ビジネスアプリケーション	提供されたインターフェイスを使用してデータを消費、交換、または取り込み、ビジネス機能をサポートするビジネスアプリケーションの名前。したがって、変更や機能停止、接続、またはデータ損失の影響を受けます。 **注:** プロバイダーまたはサブスクライバーのビジネスアプリケーションであるため、データフロー方向 (受信、送信、または双方向) を参照しません。これは、データフロー方向属性によって管理されます。
登録者デジタルインターフェイス	統合に登録するデジタルインターフェイスの名前。
プロバイダービジネスアプリケーション	デジタルインターフェイスを提供し、データの消費または取り込みを可能にするビジネスアプリケーションの名前。インターフェイスの変更、所有権、および責任は、多くの場合、プロバイダーに関連付けられています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合フォームの要求 (続く)

フィールド	説明
	注: プロバイダーまたはサブスクライバーのビジネスアプリケーションであるため、データフロー方向 (受信、送信、または双方向) を参照しません。これは、データフロー方向属性によって管理されます。
供給者 デジタルインターフェイス	新しいデジタルインターフェイスを作成するオプション。これは、プロバイダービジネスアプリケーションに関連するプレースホルダーデジタルインターフェイスです。
供給者 デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。2 つのビジネスアプリケーションまたはサービス間のデジタル統合ではデジタルインターフェイス (API) が使用されるため、プロバイダーのビジネスアプリケーションまたはサービスに関連するインターフェイスを選択する必要があります。
デジタル統合名	デジタル統合の名前。 このフィールドは、[登録者ビジネスアプリケーション]、[プロバイダービジネスアプリケーション]、および [デジタルインターフェイス **(Digital Interface)]** フィールドが選択されている場合に自動入力されます。自動入力された名前は変更できます。
IT 所有者	デジタル統合を所有する IT 組織内のオーナー。親登録者ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
事業主	デジタル統合を所有するビジネス機能のオーナー。親登録者ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
タイプ	統合のタイプ。 次のオプションを使用します： • データ統合 - 統合でユーザー、グループ、場所、構成アイテム、部門などのデータの交換に主に焦点を当てる必要がある場合は、このオプションを使用します。 • プロセスデータ連携 - このオプションは、データ連携が特定のプロセスをサポートするためのトランザクションデータのインタラクションに関するものである場合に使用します。 • ユーザーインターフェイス統合 - このオプションは、統合によって別のアプリケーションと

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合フォームの要求 (続く)

フィールド	説明
	の接続が開き、URL を介してアプリデータを送信してアプリケーションにクエリを実行する場合に使用します。
サブタイプ	統合のサブタイプ。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [データ統合] を選択した場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します。 • プロセスの構成 • 基盤データ • 構成アイテム • Events • レポート • システムログ
説明	デジタル統合についての説明。2 つのビジネスアプリケーション間、または外部サービスが提供するインターフェイスとビジネスアプリケーション間で統合を作成する理由と、それがどのようなビジネス価値をどのように追加するかを詳細に説明してください。

関連情報

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してデジタル統合を要求

アプリケーションモデルのライフサイクルフォーム

アプリケーションモデルのライフサイクルは、ビジネスアプリケーションのライフサイクルをより適切に管理するのに役立ちます。

アプリケーションモデルのライフサイクルフォームのフィールド

フィールド	説明
モデル	ビジネスアプリケーションのモデル ID。このフィールドは、ビジネスアプリケーションフォームの [モデル **ID**] フィールド値から自動入力されます。
ライフサイクルタイプ	ライフサイクルのタイプ。次のオプションを使用します： • 内部 • 公開者
ライフサイクルフェーズ	ライフサイクルのフェーズ。次のオプションを使用します：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 • サポート終了
ソース	ライフサイクルのソース。このフィールドは、ビジネスアプリケーションフォームから自動生成されます。
フェーズ開始日	ビジネスアプリケーションのライフサイクルフェーズの開始日。
フェーズ終了日	ビジネスアプリケーションライフサイクルフェーズの終了日。
Risk	アプリケーションライフサイクルに関連するリスク。次のオプションを使用します： • 超高 • High (高) • 中 • 低 • なし
[Active (アクティブ)]	ライフサイクルをアクティブ化するオプション。
説明	アプリケーションライフサイクルの簡単な説明。

関連情報

ビジネスアプリケーションのライフサイクルの管理

データ分類フォーム

データ分類タグは、アドミンユーザーがビジネスアプリケーションで使用されるデータをより適切に制御するのに役立ちます。

データ分類フォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	データ分類名。
説明	データ分類の簡単な説明。
データ分類グループ	分類が含まれるグループ名。
[Active (アクティブ)]	分類をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	データ分類を作成するアプリケーション名。このフィールドは、インスタンスに設定されてい

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	るアプリケーションスコープに基づいて自動入力されます。
順序	分類が表示される順序。
色	分類タグの色。

関連情報

データ分類の追加

データ分類グループフォーム

データ分類グループは、アドミンユーザーが情報オブジェクトの分類タグを分類するのに役立ちます。

データ分類グループフォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	データ分類グループの名前。
説明	データ分類グループの簡単な説明。
複数選択を許可	複数のデータ分類の選択を有効にするオプション。
アプリケーション	データ分類を作成するアプリケーション名。このフィールドは、インスタンスに設定されているアプリケーションスコープに基づいて自動入力されます。

関連情報

データ分類グループの追加

エンティティフォーム

エンティティは、リスクエクスポージャーのスコープを設定し、ビジネスアプリケーションのリスクアセスメントを実行するために使用されます。

エンティティフォームフィールド

フィールド	説明
名前	プロファイルの名前。
オーナー	プロファイルのオーナー。
適用先	すべてのビジネスアプリケーションレコードが保存されているビジネスアプリケーションテーブル。 開かれたダイアログボックスで、[テーブル名] フィールドにビジネスアプリケーションテーブルを入力し、[ドキュメント] フィールドにビジネスアプリケーションレコードを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
有効	エンティティをアクティブ化するチェックボックス。
クラス	アプリケーションが属するプロファイルクラス。

関連情報

ビジネスアプリケーションを参照する監査のエンティティを作成する

[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 (Create new architectural artifact)] フォーム

アーキテクチャアーティファクトは、企業のシステム、ソリューション、進捗状況を説明します。エンタープライズアーキテクチャ (旧称 APM のアーキテクチャアーティファクトを使用すると、エンタープライズアーキテクトは組織で使用されるアーティファクトを作成および管理できます。

[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 (Create new architectural artifact)] フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	アーティファクトの名前。
Owner (所有者)	アーティファクトの所有者。所有者は作成者になります。
アーキテクチャカテゴリ	新しく作成されたアーティファクトのアーキテクチャカテゴリ。アーキテクチャカテゴリを検索して選択します。
説明	アーティファクト要求に関する説明。

[アクセス設定] セクションのフィールド

フィールド	説明
参照レコード別	エンタープライズアーキテクチャユーザーが参照レコードによってアーティファクトにアクセスできるようにするためのオプション。アーティファクトがビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションに関連付けられている場合、それらのビジネスエンティティにアクセスできる エンタープライズアーキテクチャユーザーは、それらのビジネスエンティティに関連付けられたアーティファクトにもアクセスできます。
管理者アクセス	ドキュメント管理の管理者にアクセス権を付与するオプション。ドキュメント管理の管理者ロールを有するユーザーは、アーティファクトにアクセスすることができます。
Sharing permissions (権限の共有)	他のユーザーやグループとドキュメントを共有できるアクセス権を付与するオプション。付与できる権限は次の通りです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクセス設定] セクションのフィールド (続く)

フィールド	説明
	• ロールの権限 • ユーザー基準の権限 • ユーザーの権限 • グループの権限

関連情報

- アーキテクチャアーティファクト
- アーキテクチャアーティファクトの作成または編集
- [ポートフォリオ] ページからのアーキテクチャアーティファクトの追加または編集
- アーキテクチャ決定レコード (ADR) の追加または編集

新しい関連エンティティの作成フォーム

エンタープライズアーキテクチャ (旧 APM) を使用すると、エンタープライズアーキテクトは、アーキテクチャアーティファクトをビジネス機能やビジネスアプリケーションなどの Now Platform の既存の要素に関連付けることができます。これらの関連付けにより、アーティファクトと関連エンティティ間の関係が作成されます。

関連エンティティフォームフィールド

関連エンティティフォーム

フィールド	説明
アーキテクチャアーティファクト	アーキテクチャアーティファクトの名前。
Entity (エンティティ)	ビジネスエンティティのタイプ。エンティティタイプは、ビジネスアプリケーションまたはビジネス機能になります。
Target Record (ターゲットレコード)	アーティファクトを関連付ける特定のビジネスアプリケーションまたはビジネス機能の名前。

関連情報

- アーティファクトとビジネスエンティティとの関連付け
- アーキテクチャアーティファクトに関連エンティティを追加する

アーキテクチャカテゴリフォーム

アーキテクチャカテゴリを使用すると、アーティファクトを効率的に分類および管理できます。

アーキテクチャカテゴリフォームフィールド

フィールド	説明
名前	カテゴリの名前。
説明	カテゴリの説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
親カテゴリ	階層カテゴリ。[アーキテクチャカテゴリ] ページから親カテゴリを選択します。

関連情報

アーキテクチャアーティファクトカテゴリの追加または編集

アーキテクチャアーティファクトのバージョンフォーム

エンタープライズアーキテクチャ (旧 APM) を使用すると、エンタープライズアーキテクトは複数のバージョンのアーキテクチャアーティファクトを作成し、承認のために送信できます。各アーティファクトに対して承認を受けられるバージョンは 1 つだけです。

アーキテクチャアーティファクトのバージョンフォームフィールド

フィールド	説明
アーキテクチャアーティファクト	アーキテクチャアーティファクトの名前。
File type (ファイルタイプ)	URL または添付ファイルのいずれかのファイルタイプ。次のいずれかを実行します。 • ファイルをアップロードするには、[添付ファイル] を選択して、[添付ファイル] アイコン () をクリックし、ファイルを選択します。 • ドキュメントにリンクするには、**[URL]** を選択してリンクを指定します。
ステータス	アーティファクトバージョンのステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。

関連情報

アーティファクトバージョンの作成

ビジネスアプリケーションの [図を作成] フォーム

エンタープライズアーキテクトは、ビジネスアプリケーション階層の Lucidchart を使用して図を作成し、それをアーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。

[図を作成] フォームフィールド

フィールド	説明
図の名前	図の名前。
図のタイプ	図のタイプ。次のいずれかになります。 • ビジネスアプリケーション階層 • ビジネス機能マップ このフィールドは、ビジネスアプリケーションまたはビジネス機能ビューから図を作成すると自動入力されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
作図ツール	図の作成に使用するツール。次のオプションを使用します： • ServiceNow モデリング • Lucidchart
ビジネスアプリケーション	図を作成しているビジネスアプリケーションの名前。 このフィールドは、ビジネスアプリケーションビューから図を作成すると自動入力されます。
アーティファクトへのリンク	図を関連付けるアーティファクト。 次のオプションを使用します。 • なし：図を表示するが、アーティファクトに関連付けない場合に選択します。 • 新しいアーティファクト：アーティファクトを作成し、図を関連付ける場合に選択します。 • 既存のアーティファクト：既存のアーティファクトに図を関連付ける場合に選択します。
アーティファクト名	アーティファクトの名前。このフィールドは、[アーティファクト] フィールドで [新しいアーティファクト] または [既存のアーティファクト] が選択されている場合にのみ表示されます。
エンティティ	チャートに含まれるエンティティ。 図に含めるものを選択します。 • アプリケーションサービス ◦ ハードウェアモデル ◦ ソフトウェアモデル • ビジネス機能 • デマンド • デジタル統合 • デジタルインターフェイス • 情報オブジェクト • プロジェクト 注: [プロジェクト] オプションは、PPM Standard プラグインがインストールされている場合に使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フォルダ	Lucid フォルダーの名前。図を保存するフォルダーを選択します。フォルダーを選択すると、そのサブフォルダーが表示されます。

関連情報

ビジネスアプリケーションの 図を作成する

ビジネス機能の図を作成

エンタープライズアーキテクトは、ビジネスケイパビリティマップの Lucidchart を使用して図を作成し、それをアーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。

[図を作成] フォームフィールド

フィールド	説明
図の名前	図の名前。
図のタイプ	図のタイプ。次のいずれかになります。 • ビジネスアプリケーション階層 • ビジネス機能マップ このフィールドは、ビジネスアプリケーションまたはビジネス機能ビューから図を作成すると自動入力されます。
ビジネスアプリケーションを含みます	ビジネスアプリケーションを含めるオプション。
すべてのビジネス機能	図にすべてのビジネス機能マップに含めるオプション。
ビジネス機能	図を作成するビジネス機能のリスト。複数の機能を検索して追加できます。 注: 前の手順で [すべてのビジネス機能] のチェックボックスをオンにした場合、このフィールドは表示されません。
作図ツール	図の作成に使用するツール。このフィールドは自動的に **[Lucidchart]** に設定されます。
アーティファクトへのリンク	図を関連付けるアーティファクト。 次のオプションを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• なし：図を表示するが、アーティファクトに関連付けない場合に選択します。 • 新しいアーティファクト：アーティファクトを作成し、図を関連付ける場合に選択します。 • 既存のアーティファクト：既存のアーティファクトに図を関連付ける場合に選択します。
アーティファクト名	アーティファクトの名前。このフィールドは、[アーティファクト] フィールドで [新しいアーティファクト] または [既存のアーティファクト] が選択されている場合にのみ表示されます。
フォルダ	Lucid フォルダーの名前。図を保存するフォルダーを選択します。フォルダーを選択すると、そのサブフォルダーが表示されます。

関連情報

ビジネス機能の Lucid 図を作成

アプリケーションを廃止するデマンドフォーム

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 APM) ユーザーは、アプリケーションが使用されなくなった場合に廃止要求を出すことができます。

デマンドフォームのフィールド

フィールド	説明
アクション	アプリケーションを廃止します。
名前	廃止するビジネスアプリケーションの名前。
カテゴリ	オペレーショナル。
タイプ	プロジェクト。

関連情報

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスの要求

アーキテクチャレビューを要求フォーム

エンタープライズアーキテクチャ (旧 APM) ユーザーは、アーキテクチャレビュー委員会に要求して、ビジネスアプリケーションのテクノロジーに基づく新しいアーキテクチャ設計提案をレビューできます。

アーキテクチャレビューを要求フォームフィールド

フィールド	説明
ビジネスアプリケーション	アーキテクチャレビューが要求されているビジネスアプリケーションの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロジェクト	アーキテクチャレビューが要求されているビジネスアプリケーションに関連付けることができるプロジェクト。 注: プロジェクトマネージャーとして所有しているプロジェクトがリストに表示されます。[プロジェクト] フィールドは、PPM Standard プラグインがアクティブ化されている場合にのみ表示されます。
簡単な説明	アーキテクチャレビューの理由を述べる簡単な説明。
アーキテクチャレビューの要求日 (Architecture Review Requested Date)	アーキテクチャレビューを実施する日付。 アーキテクチャレビューの日付は将来の日付にする必要があります。 レビュー用の詳細計画または補足ドキュメントを添付できます。

関連情報

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してアーキテクチャレビューを要求する

インジケーターフォーム

アプリケーションインジケーターは、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価するビジネス測定基準です。

インジケーターフォームフィールド

フィールド	説明
名前	アプリケーションインジケーターの名前。
単位	数値、通貨、時間、期間 (分、時間、日、月、四半期)、またはレート。 要件に応じてユニットを作成することもできます。
頻度	頻度は、インジケーターソースのデータを収集する間隔を決定します。 [データソース] リストからパフォーマンスアナリティクスが選択されている場合、[頻度] フィールドは使用できません。
最大ターゲット	インジケーターの最大値。 [データソース] リストから [アセスメント] が選択されている場合、[最大ターゲット] フィールドは使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	[アクティブ] オプションを選択してインジケーターを有効にします。
CI クラス	スコアが生成される CI タイプ。
方向	最大値または最小値を持つビジネスアプリケーション。値が小さいほど良好な場合は、[最小化] を選択します。値が大きいほど良好な場合は、[最大化] を選択します。
最小ターゲット	インジケーターの最小値。 [データソース] リストから [アセスメント] が選択されている場合、[最小ターゲット] フィールドは使用できません。
絶対値を考慮する	[最大ターゲット] および [最小ターゲット] フィールドの値を考慮するオプション。 このフィールドは、[最大ターゲット] および [最小ターゲット] フィールドに値が入力されている場合にのみ使用可能です。 チェックボックスをオフにすると、最大ターゲットと最小ターゲットの値は、インテリジェントロジックに基づいて考慮されます。
簡単な説明	アプリケーションインジケーターの簡単なサマリー。

[データソース構成] セクションのフィールド

フィールド	説明
デフォルトブレークダウン	Performance Analytics ブレークダウンの名前。
Data source (データソース)	このインジケーターのデータ元の場所を定義します。 • **Performance Analytics**：Performance Analytics で作成されたインジケーターからのスコアを収集します。「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。 • カスタムスクリプト：別のアプリケーションからデータを収集するスクリプトを記述できます。 • クエリー条件：フィルターの実行対象にするテーブルを選択して、データを取得できます。 • アセスメント：テーブル内のレコードにアセスメントを行って、レコードを評価、スコアリング、およびランク付けできます。「測定基準タイプの作成とアセスメント可能なレコー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[データソース構成] セクションのフィールド (続く)

フィールド	説明
	ドの生成」を参照してください。APM 内でサーベイアセスメントの結果を表示するには、「サーベイアセスメントを生成し、APM 内で結果を表示する」を参照してください。 • インジケーター：依存する子インジケーターを追加できます。子インジケーターを介して、親インジケーターにデータが収集されます。 たとえば、親インジケーターが課題の数である場合、依存インジケーターとしてはインシデントの数、不具合の数、および変更の数が考えられます。これらの依存インジケーターは子インジケーターであり、記録されたインシデント、不具合、および変更の数は、課題の数として親インジケーターに集約されます。
インジケーター	[データソース] リストから **[Performance Analytics]** が選択されている場合に、[インジケーター] フィールドが表示されます。 インジケーターは、現在の条件を測定し、傾向を予測するために使用される統計情報です。 注: アプリケーションインジケーターの収集頻度がパフォーマンスアナリティクスインジケーターのデータが生成される頻度よりも大きくない場合、次のエラーメッセージが表示されます。 インジケーターの頻度は常にデータソース構成インジケーターの頻度以上である必要があります。詳細については、「PA インジケータースコアデータの収集」を参照してください。
コンソリデーション	値を集計するための計算方法。合計、平均、最大、最小などの関数。 デフォルトは [平均] です。たとえば、[平均] は、月次値の合計を四半期の合計月数で割ったものです。 [最大値] または [最小] を選択した場合は、それぞれ四半期の月の最大値または最小値になります。 [合計] を選択した場合は、四半期のすべての月次値の集計になります。
カスタムスクリプト	[カスタムスクリプト] フィールドは、[データソース] リストから [カスタムスクリプト] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[データソース構成] セクションのフィールド (続く)

フィールド	説明

	カスタムスクリプトの例は次のとおりです。
	`var results = {};`
	`var applications = [];`
	`var incidentCount = 0;`
	
	`var applicationsGr = new GlideRecord("cmdb_ci_business_app");`
	`applicationsGr.addQuery('active', true);`
	`applicationsGr.query();`
	`//for each application get incident count at business service level`
	`while(applicationsGr.next()) {`
	`incidentCount = 0;`
	
	`var gr = new GlideRecord("incident");`
	
	`gr.addEncodedQuery("opened_atBETWEEN" + startDate + "@" + endDate);`
	
	`gr.addQuery('cmdb_ci_business_app', applicationsGr.getUniqueValue());`
	`gr.query();`
	
	`incidentCount = gr.getRowCount();`
	`var appInfo = {};`
	`appInfo.appId = applicationsGr.getUniqueValue();`
	`appInfo.weight = incidentCount;`
	`applications.push(appInfo);`
	`}`
	`results.applications = applications;`
	`results;`

評価メトリクスタイプ	インジケーターの評価に使用される測定基準のタイプ。 [データソース] が [アセスメント] の場合、[アセスメント測定基準タイプ] フィールドが表示されます。
アセスメント測定基準カテゴリ	測定基準のカテゴリ。
クエリ テーブル	クエリーがフィルタリングされるテーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[データソース構成] セクションのフィールド (続く)

フィールド	説明
クエリ条件	クエリをフィルタリングする条件。
アグリゲートフィールド	クエリ条件に一致するレコードについて、選択したテーブルのフィールドが表示されます。
アグリゲートタイプ	インジケーター スコアの計算に適用される集計のタイプ。 使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **Sum** (合計) • カウント • 平均 • 最小 • 最大
グループ	クエリテーブルの特定のフィールドの値に基づいて、クエリによって返されたデータを分類します。たとえば、アプリケーションのライフサイクルステージステータス別にデータをグループ化する場合は、[ライフサイクルステージ] を選択します。
コンソリデーションフィールド	値を集計するための計算方法が適用されるクエリテーブルのフィールド。

関連情報

アプリケーションを評価するインジケーターを作成または編集する

採点プロファイルフォーム

アプリケーション採点プロファイルを作成し、ビジネス要件に応じてデフォルトのアプリケーションプロファイルを新しいプロファイルインジケーターで更新します。

採点プロファイルフォームフィールド

フィールド	説明
名前	アプリケーションプロファイルの名前。
重み付けの再調整	ビジネスアプリケーションの関連するインジケーター間で重み付けを比例的に調整するオプション。
説明	アプリケーションプロファイルの説明。
CI クラス	スコアが生成される構成アイテムタイプ。

関連情報

アプリケーションスコアプロファイルの作成およびプロファイルインジケーターのアタッチ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトの実行を予定フォーム

すべてのインジケーターのスコアを再計算するスクリプト、これらのインジケーターがアタッチされている採点プロファイル、これらの採点プロファイルに関連付けられているビジネスアプリケーション。

スクリプトの実行を予定フォームフィールド

フィールド	説明
名前	この予定スクリプトの実行を識別する名前。
有効	スケジュール済みの日時にスクリプトをアクティブ化するオプション。このジョブは、デフォルトでは非アクティブです。
実行	スクリプトを実行するスケジュールのタイプ。選択肢は次のとおりです。 • 日次 • 週次 • 月次
日	[実行] リストから [週次] または [月次] を選択すると、[日] フィールドが表示されます。 • [実行] が [週次] の場合は、曜日を指定します。 • [実行] が [月次] の場合は、月の日を指定します。
時刻	スクリプトが実行される時刻 (24 時間形式)。 [実行] が [週次] または [月次] の場合、値には時刻が含まれます。
条件付き	特定の条件が満たされた場合にのみ実行するためのオプション。
このスクリプトを実行	スケジュール済みの日時に実行するスクリプト。 スクリプトを編集する必要はありません。
実行方法	スクリプトの実行を行う別のユーザーを選択します。このフィールドを追加するフォームがない場合は、フォームを構成します。

関連情報

アプリケーションスコアを計算するためのジョブをスケジュールする

グラフのディメンションを選択フォーム

このフォームは、バブルチャートの構成を変更するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフのディメンションを選択フォームフィールド

フィールド	様相
X および Y	X 軸と Y 軸に該当するインジケーターのディメンション。 事前に構成されたディメンションに加えて、アプリケーションバブルチャートフォームを使用して作成したバブルチャートも表示できます。
バブルのサイズ	インジケータースコアによって、バブルのサイズが決まります。
バブルラベルを表示	有効にすると、バブルチャートにバブルラベルを表示できます。 1 つの象限に多数のバブルがある場合に、ラベルで整理された明確なバブルを表示できます。

関連情報

アプリケーションスコアをバブルチャートで分析する

アプリケーションバブルチャートフォーム

バブルチャートは、管理者が選択したカテゴリ内でのアプリケーションの相対的な順位を比較および評価するのに役立ちます。

アプリケーションバブルチャートフォームフィールド

フィールド	説明
名前	アプリケーションバブルチャートの名前。
左上ラベル	左上のアプリケーション戦略ラベル。
右上ラベル	右上のアプリケーション戦略ラベル。
右下ラベル	右下のアプリケーション戦略ラベル。
左下ラベル	左下のアプリケーション戦略ラベル。
左上の色	左上の象限におけるバブルの色。 色フィールドは、16 進コードまたは RGB 表記を含む文字列入力を受け入れます。
右上の色	右上の象限におけるバブルの色。 色フィールドは、16 進コードまたは RGB 表記を含む文字列入力を受け入れます。
右下の色	右下の象限におけるバブルの色。 色フィールドは、16 進コードまたは RGB 表記を含む文字列入力を受け入れます。
左下の色	左下の象限におけるバブルの色。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	色フィールドは、16 進コードまたは RGB 表記を含む文字列入力を受け入れます。
四分割ラベルの色	ラベルの色。 色フィールドは、16 進コードまたは RGB 表記を含む文字列入力を受け入れます。
X インジケーター	X 軸のアプリケーションインジケーター。 アプリケーションインジケーターフォームの [新規] ボタンをクリックして、アプリケーションインジケーターを作成することもできます。
Y インジケーター	Y 軸のアプリケーションインジケーター。
Z インジケーター	Z 軸のアプリケーションインジケーター。
X ラベル	X 軸のラベル。 たとえば、**[X** インジケーター] が CSAT の場合は、それを「顧客満足度スコア」とラベル付けできます。
Y ラベル	Y 軸のラベル。
Z ラベル	Z 軸のラベル。

関連情報

アプリケーション戦略のバブルチャートを作成または編集する

新しい目標フォーム

目標フォームを使用して、組織の戦略的優先事項の目標を作成します。

新しい目標フォームフィールド

[目標] フォーム

フィールド	説明
名前	目標の名前。
状況	目標のステータス。ステータスには、[ドラフト]、[処理中]、[承認済み]、[完了] [処理待ち]、[達成]、[未達成] があります。
親目標	この目標が寄与する親目標の名前。
戦略的優先事項	この目標の作成対象の戦略的優先事項の名前。
開始日	目標の開始日。デフォルトでは、現在の四半期の開始日が入力されます。サブ目標の場合、その親目標の開始日が入力されます。
終了日	目標の終了日。デフォルトでは、現在の四半期の終了日が入力されます。サブ目標の場合、その親目標の終了日が入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[目標] フォーム (続く)

フィールド	説明
所有者	目標の所有者。デフォルトでは、目標を作成するユーザーの名前が入力されます。
カテゴリ	目標のカテゴリ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • アプリケーション合計 • 総コスト • 経費 • 投資 • クラウドアプリケーション • 自家製アプリケーション • サポート費 • 人件費 • 標準コンプライアンス • 戦略的 • オペレーショナル • 戦術的
ステータス	目標のステータス。ステータスには、[赤]、[黄]、[緑] または [なし] があります。
貢献者	目標の達成に貢献するユーザー。
チーム	目標を達成するためのさまざまなアクティビティを担当するアサイン先グループ。
親目標への影響	親目標の下にある兄弟目標やその他の目標と比較して、この目標の重要度を表す数値。デフォルトでは、 値は (1) [どちらでもない]です。 使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **(0)** 影響なし • **(1)** どちらでもない • **(2)** 中 • **(3)** 高 • **(4)** 非常に高 • **(5)** 最大 注: このフィールドは、**[sn_gf.weighted_average_enabled]** システムプロパティが [はい] に設定されている場合にのみ使用できます。
進行状況	目標の完了率。目標にサブ目標やターゲットがある場合、進捗状況の値は自動的に計算されます。 進捗値の計算方法の詳細については、「進捗値の計算」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[目標] フォーム (続く)

フィールド	説明
アサインされたエンティティタイプ	目標をアサインするエンティティタイプ。例：事業部門、部門、会社、ポートフォリオ。
アサインされたエンティティ	目標をアサインするエンティティ。
コメント	コラボレーションを促進するための、目標に関する詳細なコメント。
分類	目標の分類タイプ。利用可能なオプションは、[環境]、[ソーシャル]、[ガバナンス] です。このフィールドは、ESG ワークスペース ユーザーにのみ適用されます。

関連情報

アプリケーション戦略の目標を作成する

目標の更新フォーム

アプリケーションを評価して戦略を決定したら、管理者は、選択した会計期間のインジケーターに応じて最大化または最小化する具体的な目標を更新できます。

目標の更新フォームフィールド

フィールド	説明
予定されている達成度	達成予定のターゲットの割合。
現在までの実際の達成度	現在の達成率。
コメント	コメント (ある場合)。

関連情報

アプリケーション戦略の目標を作成する

デマンドフォーム

デマンドをステップとして使用して、アプリケーションまたは機能のコスト節減の機会を特定し、ターゲットを達成します。デマンドアクションに関連付ける戦略によって、アプリケーションの戦略が決まります。

デマンドフォームのフィールド

デマンドフォーム

フィールド	説明
アクション	新しいデマンドに対する対処措置。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォーム (続く)

フィールド	説明
	注: [アクション] フィールドは、 エンタープライズアーキテクチャ モジュール内でフォームを起動した場合、つまり エンタープライズアーキテクチャ プラグインがアクティブになっている場合にのみ使用できます。
[Name (名前)]	デマンドの名前。
カテゴリ	デマンドのカテゴリ。 • 戦略的 • オペレーショナル
タイプ	デマンドのタイプ： • プロジェクト • 拡張 • 変更 • 欠陥 [カテゴリ] フィールドでの選択に基づいて、[タイプ] フィールドで利用可能な選択肢が決まります。
数値	デマンドに対して自動生成された一意な識別番号。
開始日	デマンドの開始日。
期日	デマンドに要求される完了日。

[詳細] セクションのフォームフィールド

フィールド	説明
更新者	デマンドを送信したユーザーの名前。
プログラム	デマンドが属するプログラムの名前。
デマンドマネージャー	デマンドマネージャーの名前。
協力者	デマンドに対する編集や貢献が可能なユーザー。デマンド要求者は、任意のユーザーを協力者として選択できます。
部門	デマンドの送信者が属する事業部門内の部門。 このフィールドで値が選択されていない場合は、送信者が属する部門の名前が自動的に入力されます。
事業部門	デマンドの送信者が属する事業部門。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[詳細] セクションのフォームフィールド (続く)

フィールド	説明
影響を受ける事業部門	送信されたデマンドの影響を受ける事業部門。
ビジネス機能	デマンドを関連付ける 1 つ以上のビジネス機能。
ビジネスアプリケーション	デマンドに追加するビジネスアプリケーション。 [ビジネスケイパビリティ] フィールドで選択した機能に関連しているかどうかに関係なく、企業内の任意のビジネスアプリケーションを選択できます。

関連情報

- 目標の達成に向けたデマンドを作成する
- 機能の達成に向けたデマンドを作成
- デマンドの追加または編集

新しいプログラムフォーム

プログラムを作成して、それを作成した目標にリンクし、プログラムマネージャーをプログラムに関連付けます。目標を作成したら、作成した目標を達成するためのプログラムを用意する必要があります。

新しいプログラムのフィールド

フィールド	説明
プログラム名	プログラムの一意な名前。
プライマリ goal	プライマリ プログラムで達成される目標。
プログラムマネージャー	プログラムマネージャーの名前。
ポートフォリオ	プログラムが属するポートフォリオ。
[Number (番号)]	プログラムに対して自動生成された一意の識別番号。
ステータス	プログラムのステータス。次のオプションを使用します： • 保留 • オープン • 対応中 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
説明	プログラムの詳細な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[日付] セクションフィールド

フィールド	説明
開始予定日	プログラムの開始予定日。
終了予定日	プログラムの終了予定日。
計画された期間	プログラムの予定期間 (日および時間単位)。
開始実績日時	プログラムが実際に開始された日付。
終了実績日時	プログラムが実際に終了した日付。
実際の期間	プログラムの開始からクローズまでの期間 (日および時間単位)。

[財務] セクションフィールド

フィールド	説明
合計計画コスト	プログラムのコストの見積もり額。
実際のコスト	プログラムの実際のコスト。
予算コスト	プログラムの予算コスト。
計画利益	プログラムから得られる利益。
収支	プログラムの予定財務リターン。
ROI (%)	プログラムに関連付けられた ROI パーセント。

関連情報

アプリケーション目標のためのプログラムを作成する

目標寄与率ターゲットフォーム

プログラムナビゲーションページでは、目標を達成するための会計年度の目標ターゲットを設定できます。

目標寄与率ターゲットフォームフィールド

フィールド	説明
プログラム	プログラムの名前。
会計年度	目標の設定対象の会計期間。
有効	プログラムを有効にするためのチェックボックス。
ターゲット目標寄与率 (%)	選択した会計期間におけるターゲット目標への寄与率。
コメント	プログラムのターゲット目標寄与率の説明。

関連情報

プログラムを実行するためのガイド付き計画を作成する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスケイパビリティフォーム

ビジネス機能は、エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理 アプリケーション内で使用される共通テーブルです。

ビジネス機能フォームフィールド

フィールド	説明
名前	ビジネス機能の名前。
親	作成しているケイパビリティの親ケイパビリティ。 親機能をアサインすると、ビジネス機能が子機能としてレンダリングされます。親が割り当てられていない場合、または親が null の場合、機能のレベルは 0 レベルまたはルート、つまりルートノード機能になります。親フィールドが null に設定されると、スケジュール設定済みジョブを実行してビジネス機能レベルを更新するように求めるメッセージが表示されます。
レベル	機能が階層内にあるレベル。親機能がない場合、レベルは 0 です。これは、機能がルートレベルにあることを示します。 階層内にある機能のレベル。最大 6 つのレベルがサポートされています。 機能を追加するか、その親を変更して更新する場合は、オンデマンドでビジネス機能レベルの更新ジョブを実行します。ジョブによって機能レベルが決まり、すべての機能がレベル情報で更新されます。 **注:** フィールドが更新されますが、ユーザーは更新できません。
事業部門	選択したビジネスケイパビリティに関連付けられている事業部門。
順序	任意の整数値を割り当てます。レベル 0 機能にのみ適用されます。 アサインする番号によって、機能階層内の他のすべてのビジネス機能の順序におけるその機能の位置が決まります。 [順番 **(Order)**] フィールドは、ルートノードまたはレベル 0 機能でのみ使用できます。スケジュール設定済みジョブは、ルート以外の機能に入力された順序値、重複する順序値、および null 値などの条件をチェックし、そのような値を排除します。各機能のレベルと階層 ID を計算して設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Department (部門)	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている部門。
リーフノード	このフィールドは、ビジネス機能が他の機能の親であるかどうかを示します。このオプションが有効になっている場合は、子機能がないことを意味します。 機能は親子階層に従います。機能のリーフノード属性は、他の機能の親ではないことを示します。 注: フィールドが更新されますが、ユーザーは更新できません。
オーナー	ビジネス機能を所有するユーザー。
階層 ID	ビジネス機能の階層 ID。レベル 0 の機能の場合、順序に基づいて階層 ID が生成されます。ルート以外のすべての機能について、階層 ID はその親の階層 ID に基づいて生成されます。番号はビジネス機能にプリフィックスとして付けられ、機能階層マップで表示できます。 機能は、階層 ID に従って垂直方向に構造化されています。親が追加または削除された場合など、機能が更新されるたびに、階層 ID が自動的に更新されます。 注: デフォルトでは、フィールドはシステムにより更新されます。そのため、フィールドを編集することはできません。 ただし、システムが生成するものとは異なる数または値を階層 ID として使用する場合は、システムプロパティフラグを **True** にリセットできます。プロパティを true に設定すると、ビジネス機能フォームの [階層 **ID**] フィールドが編集可能になり、値を入力できます。このアクションによって、階層 ID を生成するシステムのデフォルトロジックが、カスタム階層 ID によって上書きされます。
説明	ビジネス機能の簡単な説明。

関連情報

ビジネス機能を作成し、その機能をアプリケーションに関連付ける

ビジネス機能の新規レコードフォーム

機能マップでは、ルートレベルの機能の作成、親への子機能の追加、機能の編集、リーフ機能の削除、機能間の関係の管理を実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネス機能の新しいレコードフォームフィールド

フィールド	説明
名前	ビジネス機能の一意の名前。
説明	ビジネス機能の簡単な説明。
親	機能がルートレベル機能つまりレベル 0 である場合は、フィールドを空白のままにします。 親を追加すると、その機能はルート機能としてではなく子として表示されるようになります。

関連情報

機能マップで機能階層を管理する

ビジネス機能の追加

アプリケーションサービス用のハードウェアモデル

ハードウェアモデルを使用して、コンピューターやサーバーなどの機器資産を追跡します。

アプリケーションサービス用のハードウェアモデルフォームフィールド

フィールド	説明
アプリケーションサービス	アプリケーションサービスの名前。
技術的リスクを無視	ハードウェアモデルの技術的リスクを無視するオプション。
ハードウェア製品モデル	モデルカテゴリの名前。

関連情報

アプリケーションサービスをハードウェアモデルに関連付ける

アプリケーションサービス用のソフトウェアモデルフォーム

ビジネスアプリケーションには、開発、QA、本番などの複数のインスタンスがあります。インスタンスは、アプリケーションサービスに他なりません。したがって、アプリケーションサービスのリスクを知るには、アプリケーションサービスをソフトウェアモデル (それぞれの完全バージョン) に関連付ける必要があります。

アプリケーションサービス用のソフトウェアモデルフォームフィールド

フィールド	説明
アプリケーションサービス	アプリケーションサービスの名前。
技術的リスクを無視	ソフトウェアモデルの技術的リスクを無視するには、チェックボックスをオンにします。 基礎となるソフトウェアモデルのリスクが 1 つでも高ければ、アプリケーションサービスのリスクは高くなります。したがって、ソフトウェアモデルが重要でなく、アプリケーションサー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ビスのリスクにあまり寄与しない場合は、このチェックボックスを使用してリスクを無視します。
プライマリソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルをプライマリモデルにするには、チェックボックスをオンにします。
ソフトウェア モデル	アプリケーションサービスの基礎となるソフトウェアモデル。
ライフサイクル完全バージョン	ソフトウェアの詳細なライセンス可能バージョン。

関連情報

アプリケーションサービスをソフトウェアモデルに関連付ける

リスクパラメーターフォーム

リスクパラメーターは、 エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) アプリケーション内で使用される一般的なテーブルです。

リスクパラメーターフォームフィールド

リスクパラメーターフォーム

フィールド	説明
名前	リスクパラメーターの名前。
説明	リスクパラメーターの簡単な説明。
有効	このチェックボックスをオンにすると、リスクパラメーターがアクティブになります。
スクリプト	ソフトウェアモデルのリスクとビジネスアプリケーションのリスクを計算し、毎日実行するようにスケジュールするスクリプトを作成します。

関連情報

リスクパラメーターを作成

新しい TRM 製品フォーム

エンタープライズアーキテクトグループのメンバーは、 テクノロジー参照モデル (TRM) 製品を TRM ライブラリに追加できます。

TRM 製品フォームフィールド

フィールド	説明
パブリッシャー	ソフトウェアまたはハードウェア製品の公開者。[Companies (会社)] ページから公開者を検索して選択します。
タイプ	製品のタイプを選択します。リストには次のものが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• Software (ソフトウェア) • Hardware (ハードウェア) 注: [新製品]、[ソフトウェア製品]、および [ハードウェア製品] フィールドは、SAM の基盤 プラグインと ハードウェア資産管理 プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
新製品である	新製品かどうかを指定するオプション。
ソフトウェア製品	ソフトウェア製品の名前。 注: このフィールドは、[タイプ] で [ソフトウェア] が選択され、 ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン がインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
ハードウェア製品	ハードウェア製品の名前。 注: このフィールドは、[タイプ] で [ハードウェア] が選択され、 ハードウェア資産管理 プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
オペレーティングシステム	TRM 製品を展開できるオペレーティングシステム。このフィールドは、[タイプ] フィールドで [ソフトウェア] が選択されている場合に表示されます。
[Name (名前)]	ソフトウェアまたはハードウェア製品の名前。このフィールドは、[新製品] チェックボックスがオンの場合にのみ表示されます。
カテゴリ	製品のカテゴリ。TRM カテゴリのページからカテゴリを検索して選択します。
その他のカテゴリ	TRM 製品のカテゴリ分類の追加レベル。このフィールドの値を使用して、 TRM 製品をフィルタリングすることもできます。 他の複数のカテゴリ値を選択できます。
TRM フェーズ	製品のフェーズ。次のリストを使用します。 • 承認済み • 制約付きで承認 • 売却 • 評価 • 未承認

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
投資の方向	投資の目的。次のリストを使用します。 • Divest (売却) • 排除済み • 投資 • 保守
ビジネスの根拠	製品要求のビジネス上の根拠。

関連情報

TRM製品を追加

への TRM 製品の追加 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

製品フォーム **TRM** 要求

[製品の要求] TRM フォームは、新しいソフトウェアまたはハードウェア製品を テクノロジー参照モデル (TRM) ライブラリに含める要求を追加または編集するために使用されます。

要求 **TRM** 製品フォームのフィールド

フィールド	説明
数値	製品要求に対して自動生成された一意な識別番号。
パブリッシャー	ソフトウェアまたはハードウェア製品の公開者。[Companies (会社)] ページから公開者を検索して選択します。
タイプ	製品のタイプを選択します。リストには次のものが含まれます。 • Software (ソフトウェア) • Hardware (ハードウェア) 注: [新製品]、[ソフトウェア製品]、および [ハードウェア製品] フィールドは、ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン プラグインと ハードウェア資産管理 プラグイン がインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
新製品である	新製品かどうかを指定するオプション。
ソフトウェア製品	ソフトウェア製品の名前。このフィールドは、[タイプ] で [ソフトウェア] が選択され、インスタンスに ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン がインストールされている場合にのみ表示されます。
ハードウェア製品	ソフトウェア製品の名前。このフィールドは、ハードウェア資産管理 プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
オペレーティングシステム	TRM 製品を展開できるオペレーティングシステム。このフィールドは、[タイプ] フィールドで [ソフトウェア] が選択されている場合に表示されます。
[Name (名前)]	ソフトウェアまたはハードウェア製品の名前。このフィールドは、[新製品] チェックボックスがオンの場合にのみ表示されます。
Short Description (簡単な説明)	製品要求に関する説明。
承認	承認のステータス。次の選択肢があります。 • 未要求 • 要求済み • 承認済み • 却下
要求された TRM フェーズ	製品のフェーズ。TRM フェーズのページからフェーズを検索して選択します。
カテゴリ	製品のカテゴリ。TRM カテゴリのページからカテゴリを検索して選択します。
その他のカテゴリ	TRM 製品のカテゴリ分類の追加レベル。このフィールドの値を使用して、 TRM 製品をフィルタリングすることもできます。 他の複数のカテゴリ値を選択できます。
ビジネスの根拠	製品要求のビジネス上の根拠。

関連情報

TRM製品要求の追加または編集

製品要求の表示および編集

TRM カタログフォームを使用した製品要求

[カタログを使用した TRM 製品要求] フォームは、新しいソフトウェアまたはハードウェア製品を テクノロジー参照モデル (TRM) ライブラリに含めるための要求を追加または編集するために使用されます。

TRM 製品要求フォームフィールド

フィールド	説明
パブリッシャー	ソフトウェア製品の公開者。[Companies (会社)] ページから公開者を検索して選択します。
カテゴリ	製品のカテゴリ。TRM カテゴリのページからカテゴリを検索して選択します。
タイプ	製品のタイプを選択します。リストには次のものが含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	• Software (ソフトウェア) • Hardware (ハードウェア) 注: [新製品]、[ソフトウェア製品]、および [ハードウェア製品] フィールドは、ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン プラグインと ハードウェア資産管理 プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
新製品である	新製品かどうかを指定するオプション。
ソフトウェア製品	ソフトウェア製品の名前。このフィールドは、[タイプ] で [ソフトウェア] が選択され、 ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン がインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
ハードウェア製品	ハードウェア製品の名前。このフィールドは、[タイプ] で [ハードウェア] が選択され、 ハードウェア資産管理 プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。
[Name (名前)]	ソフトウェアまたはハードウェア製品の名前。このフィールドは、[新製品] チェックボックスがオンの場合にのみ表示されます。
要求された TRM フェーズ	製品のフェーズ。TRM フェーズのページからフェーズを検索して選択します。
Short Description (簡単な説明)	製品要求に関する説明。
ビジネスの根拠	製品要求のビジネス上の根拠。

関連情報

TRM カタログフォームを使用した製品要求

TRM [製品ライフサイクル要求] フォーム

TRM 製品ライフサイクル要求フォームは、テクノロジー参照モデル (TRM) 製品のライフサイクルを作成する要求を追加または編集するために使用します。

TRM 製品ライフサイクル要求フォームフィールド

フィールド	説明
数値	製品要求に対して自動生成された一意な識別番号。
パブリッシャー	ソフトウェアまたはハードウェア製品の公開者。[Companies (会社)] ページから公開者を検索して選択します。
TRM 製品	TRM 製品の名前。TRM 製品のページから製品を検索して選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
バージョン	TRMソフトウェア製品のバージョン。このフィールドは、ソフトウェア製品が **[TRM** 製品] フィールドで選択されている場合にのみ表示されます。
エディション	TRMソフトウェア製品のエディション。Standard または Enterprise のいずれか。このフィールドは、[**TRM** 製品] フィールドでソフトウェアタイプの TRM 製品が選択されている場合にのみ表示されます。
ハードウェアモデル	利用可能なハードウェアモデルのリストからハードウェアモデルを選択します。このフィールドは、[**TRM** 製品] フィールドでタイプがハードウェアの TRM 製品が選択されている場合にのみ表示されます。
モデル番号	ハードウェアモデル番号。ハードウェアモデルを選択すると、このフィールドにはモデル番号が自動的に入力されます。このフィールドは、[**TRM** 製品] フィールドでタイプがハードウェアの TRM 製品が選択されている場合にのみ表示されます。
要求された TRM フェーズ	製品のフェーズ。TRM フェーズのページからフェーズを検索して選択します。
フェーズ開始日	製品ライフサイクルのフェーズ開始日。
Phase end date (フェーズ終了日)	製品ライフサイクルのフェーズ終了日。
バーコード	ハードウェアモデルのバーコード。ハードウェアモデルを選択すると、このフィールドにはバーコード番号が自動的に入力されます。このフィールドは、[**TRM** 製品] フィールドでタイプがハードウェアの TRM 製品が選択されている場合にのみ表示されます。
ビジネスアプリケーション	ビジネスアプリケーションの名前。ビジネスアプリケーションのページからビジネスアプリケーションを検索して選択し、TRM 製品ライフサイクルに関連付けます。
簡単な説明	製品ライフサイクル要求に関する説明。
Business Justification (ビジネス上の根拠)	製品ライフサイクル要求のビジネス上の根拠。

関連情報

- TRM カタログを使用した TRM 製品ライフサイクルの要求
- TRM 製品ライフサイクル要求の追加または編集
- 製品ライフサイクル要求の表示および編集

TRM カテゴリフォーム

TRM カテゴリを作成するには、新規の要求を追加するか、既存の要求を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRM カテゴリフォームフィールド

フィールド	説明
名前	カテゴリの一意の名前。
基準コード	カテゴリの基準コード。基準コードは、連邦政府の TRM などの他の信頼できるデータソースへの参照を保持するために使用されます。
親カテゴリ	カテゴリを階層構造に追加するには、親カテゴリを選択します。TRM カテゴリのページからカテゴリを検索して選択します。
説明	TRM カテゴリに関する説明。

関連情報

- TRM カテゴリの追加または編集
- TRMカテゴリの構成
- TRMカテゴリの追加または編集

TRM フェーズフォーム

独自の TRM フェーズを定義したり、既存の TRM フェーズを編集したりします。

TRM フェーズフォームフィールド

フィールド	説明
名前	フェーズの名前。
説明	フェーズに関する説明。
承認済みの本番	本番向けの承認の有無をマークするオプション。
色	TRM フェーズを定義する色。ドロップダウンリストから色を選択します。
形状	TRM フェーズを定義する形状。ドロップダウンリストから形状を選択します。

関連情報

- TRM フェーズの追加または編集
- TRMフェーズの追加または編集

データドメインフォーム

情報オブジェクトをデータベースインスタンスのデータベースカタログに関連付けて、物理データを収集します。ServiceNow ディスカバリー は、データベースのインスタンスで検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースを一覧表示するデータベースカタログを検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データドメインフォームフィールド

フィールド	説明
名前	データドメインの名前。
説明	データドメインの簡単な説明。
親	データドメインの親ドメイン。 これは、データドメイン階層の作成に使用されます。
リーフノード	データドメインが階層の最下位レベルにあることを示すインジケーター。

関連情報

- データドメインを作成する
- [ポートフォリオ] ページからのデータドメインの追加または編集
- 情報データドメインの追加または編集

情報オブジェクトフォーム

情報オブジェクトは、ビジネスアプリケーションの論理データをキャプチャします。

情報オブジェクトフォームフィールド

フィールド	説明
分類タグを選択	情報オブジェクトに適用できる分類グループと分類を示すドロップダウンリスト。
[Name (名前)]	情報オブジェクトの名前。
データ分類	データのカテゴリ。 情報オブジェクトに適用された分類タグを表示します。
オーナー	情報オブジェクトを所有するユーザー。
事業部門	情報オブジェクトを所有する事業部門。
部門	実際に情報を所有している事業部門内の部門。
説明	情報オブジェクトの簡単な説明。
データドメイン	分類された概念データを保持するデータドメインテーブルへの参照。 概念データレイヤーと論理データレイヤーの関係は、情報オブジェクトテーブルのデータドメインを参照することによって確立されます。

関連情報

- 情報オブジェクトに分類タグを適用する
- データドメインを参照する情報オブジェクトを作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関係性を追加フォーム

Uses::Used by タイプの CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルを使用して、ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付けます。この提案された関係を使用して、ビジネスアプリケーションを活用するための情報オブジェクトの論理データを取得します。

関係性を追加フォームフィールド

フィールド	説明
ビジネスアプリケーション	フィールドに自動入力されるビジネスアプリケーションの名前。
関係	提案されたビジネスアプリケーションと情報オブジェクト間の CMDB CI 関係のタイプ。このフィールドには、Uses::Used by 関係が自動入力されます。
情報オブジェクトを選択	ビジネスアプリケーションが使用する論理データを含むテーブル。
作成、読み取り、更新、および削除	ビジネスアプリケーションが情報オブジェクトに対して実行できる操作のタイプまたは操作の組み合わせをキャプチャするオプション。 [作成]、[読み取り]、[更新]、[削除] (CRUD) のチェックボックスをオンにすると、ビジネスアプリケーション CI と情報オブジェクト CI の関係の範囲を定義するプロパティである修飾子が追加されます。

関連情報

ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付ける

ソフトウェアモデルのステータス

アプリケーションオーナーは、ソフトウェアモデル提案エンジンを実行してソフトウェアモデルをフェッチできます。これらのモデルは、手動でマッピングせずに、アプリケーションサービスに関連付けることができます。すべてのアプリケーションサービスは、マッピングされた後にステータスを表示します。

ソフトウェアモデルのステータス

ジョブの最初の実行	ジョブの 2 回目の実行	関連付けの条件	ソフトウェアモデルの新しいステータス
検出	検出	あり	関連付け済み **(Associated)**：選択したソフトウェアモデルをアプリケーションサービスに関連付けます。ステータスの先頭には緑色のバブルが付加されます。それ以降のジョブの実行では、これらのソ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブの最初の実行	ジョブの 2 回目の実行	関連付けの条件	ソフトウェアモデルの新しいステータス
			フトウェアモデルは引き続き [関連付け済み (Associated)] ステータスのままになります。アプリケーションサービスが実行されているハードウェアからソフトウェアモデルが削除またはアンインストールされている場合は、ソフトウェアモデルの関連付けを解除できます。
検出	検出	なし	無視 **(Ignored)**：ジョブの前回の実行でソフトウェアモデルに対してアクションが実行されなかった場合、現在の実行でのステータスは [無視 **(Ignored)]** (灰色のバブルが先頭に付加される) として識別されます。
非検出	検出	適用外	新規 **(New)**：ジョブの最初の実行で識別されたソフトウェアモデル、および前回の実行後から現在の実行までに追加されたソフトウェアモデルは、ステータスが [新規 **(New)]** になり、黄色のバブルが先頭に付加されます。このようなソフトウェアモデルは、関連付けや関連付け解除が可能です。
検出	非検出	あり	削除：ステータスが [関連付け済み (Associated)]、[無視 (Ignored)]、または [新規 (New)] のソフトウェアモデルを削除できます。このアクションは、取得済みソフトウェアモデルのリストからソフトウェアモデルを削除します。つまり、取得済みソフトウェアモデル [sn_apm_service_software_model_sug テーブルから削除

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブの最初の実行	ジョブの 2 回目の実行	関連付けの条件	ソフトウェアモデルの新しいステータス
			されますが、アプリケーションサービスソフトウェアモデル [sn_apm_tpm_service_software_mode テーブルからは削除されません。
検出	非検出	なし	削除

関連情報

提案されたテクノロジーモデルをアプリケーションサービスに関連付ける

日付条件

メンテナンスユーザーは、ライフサイクルフェーズの日付範囲を設定できます。

日付条件

日付条件

日付条件	TPM 画面のタイムライン
現在の日付、(現在の日付 – 10 年)、(現在の日付 + 3 年)。	デフォルトの日付。 デフォルトの日付条件を満たす製品モデルのタイムラインが表示されます。
(現在の日付 – 10 年) より前に開始され、現在まで継続しているすべてのフェーズ。	このような日付条件の製品モデルが表示され、過去の年数に適合するように、タイムライン自体がデフォルト (–10 年から +3 年) から自動的に拡張されます。
(現在の日付 – 10 年) より前に開始され、現在日を超えて継続し、まだ進行中の可能性があるフェーズ	このようなフェーズの製品モデルは、現在日 + 3 年間まで表示されます。
(現在の日付 – 10 年) より前に開始され終了するライフサイクルフェーズ	このようなフェーズの製品モデルは表示されません。

レコードのライフサイクルフェーズ	TPM タイムラインに日付をプロットするための条件
1 つの内部と 1 つの公開者	すべての日付がタイムラインにプロットされます。
複数の公開者	1 つの公開者の日付のみがプロットされます。 プロット用に選択される公開者は、ソース列の *sequence* プロパティによって異なります。すべてのソースにはシーケンス番号がアタッチされています。シーケンス番号が最小のソースが選択されます。シーケンス番号が最小のソースにライフサイクルレコードがない場合は、次にシーケンス番号が小さいソースが選択されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードのライフサイクルフェーズ	TPM タイムラインに日付をプロットするための条件
1 つの内部と複数の公開者	内部の日付はプロットされますが、公開者の日付は 1 つのみプロットされます。プロット用に選択される公開者レコードは、*sequence* プロパティによって異なります。
2 つのフェーズの重複する日付	線は 1 本のみ表示されます。
日付におけるギャップ	タイムラインにギャップのない実線。

関連情報

タイムライン上の製品ライフサイクルデータ

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) のクイックスタートテスト

アップグレードの適用やアプリケーションの開発などの構成変更を行った後も、エンタープライズアーキテクチャ が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーし、カスタマイズして、渡します。

エンタープライズアーキテクチャ クイックスタートテストでは、エンタープライズアーキテクチャ - ATF Tests プラグイン (com.snc.apm.atf) を有効にする必要があります。

エンタープライズアーキテクチャ：ビジネスアプリケーションおよび機能テストスイートの作成

テスト	説明	リリースバージョン
エンタープライズアーキテクチャ：ビジネスアプリケーションの作成	アプリケーションカテゴリの作成、apm_user ロールを持つユーザーのビジネスアプリケーションの作成の順に確認します。	Madrid
エンタープライズアーキテクチャ：ビジネス機能を作成	親と子のビジネスケイパビリティの作成、そのフィールド値の順に確認します。	Madrid
エンタープライズアーキテクチャ：ビジネスサービス、ビジネスアプリケーション、ソフトウェアモデルに関連するテスト	既存のソフトウェアモデルを使用したビジネスアプリケーションおよびビジネスサービスの作成と、それらの関係を確認します。	Orlando
エンタープライズアーキテクチャ：インジケータースコアとアプリケーションスコア生成のテスト	インジケーターの作成、採点プロファイル、インジケータースコアとアプリケーションスコアの生成を確認します。	Paris
エンタープライズアーキテクチャ：情報オブジェクトおよびデータドメインを使用するビジネスアプリケーション	ビジネスアプリケーションと情報オブジェクトが作成され、関係属性に CRUD 操作が追加されていることを確認します。	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 **APM) TRM:TRM** 製品に関連するテストおよび製品ライフサイクル要求テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
エンタープライズアーキテクチャ:製品および製品ライフサイクル要求の作成と承認	製品 TRM 要求と製品ライフサイクル要求を作成して承認します。	Utah

関連情報

クイックスタートテスト

エンタープライズアーキテクチャ (旧 **APM)** クラウドアセスメント採点プロファイル

エンタープライズアーキテクチャ のクラウドアセスメント採点プロファイルは、クラウド移行の準備状況についてビジネスアプリケーションを評価するのに役立ちます。

エンタープライズアーキテクチャ クラウドアセスメント採点プロファイルのインジケーター

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明
戦略的重要性	年	カスタムスクリプト	エンタープライズアーキテクチャ積。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの[緊急度] (emergency_tier) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションの緊急度を評価します。
データ分類	年	カスタムスクリプト	エンタープライズアーキテクチャ積。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの[データ分類] (data_classification) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションのデータ分類を評価します。
利用可能なクラウドバージョン	年	カスタムスクリプト	エンタープライズアーキテクチャ積。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの[利用可能なクラウドバージョン] (cloud_version_available) フィールドから計算されます。	クラウド展開に適したこのアプリケーションのバージョンがあるかどうかを評価します。
Core アーキテクチャ	年	カスタムスクリプト	エンタープライズアーキテクチャ	ビジネスアプリケーションレコード	このビジネスアプリケーションが Core

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明
			積。cmdb_ci_business_app テーブル	[Core アーキテクチャ] (core_architecture) フィールドから計算されます。	アーキテクチャの一部であるかどうかを評価します。
事業上の重要度	年	カスタムスクリプト	エンタープライズアーキテクチャ積。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [事業上の重要度] (business_criticality) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションの事業上の重要度を評価します。
規制の影響	年	カスタムスクリプト	エンタープライズアーキテクチャ積。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの **[規制の影響 (Regulatory Implications)]** (regulatory_implications) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションの規制の影響を評価します。
ビジネスへの影響度	年	インジケーター	適用外	次のインジケーターの合計から計算されます。 • **Core** アーキテクチャ (core_architecture) • 戦略的重要性 (emergency_tier) • 事業上の重要度 (business_criticality)	他のインジケーターに基づいて、ビジネスアプリケーションのビジネスへの影響度スコアを評価します。
クラウドの準備状況	年	インジケーター	適用外	次のインジケーターの合計から計算されます。 • データ分類 (data_classification) • 利用可能なクラウドバージョン (cloud_version_available)	他のインジケーターに基づいて、ビジネスアプリケーションのクラウドの準備状況スコアを評価します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター名	頻度	タイプ	ソース	計算方法	説明
				• 統合の複雑さ (integration_complexity) • 規制の影響 (regulatory_implications)	
統合の複雑さ	年	カスタムスクリプト	エンタープライズアーキテクチャ積。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [統合の複雑さ] (integration_complexity) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションへの統合の複雑さを評価します。
ユーザーベース	年	カスタムスクリプト	エンタープライズアーキテクチャ積。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [ユーザーベース] (user_base) フィールドから計算されます。	ビジネスアプリケーションのユーザーベースを評価します。
クラウド準備状況アセスメント	年	アセスメント	エンタープライズアーキテクチャ積。cmdb_ci_business_app テーブル	ビジネスアプリケーションレコードの [アプリケーションスタンス] から計算されます。	クラウド準備状況アセスメントスコア を評価します (サーベイに基づく)。

関連情報

エンタープライズアーキテクチャ クラウドアセスメント

デジタルインターフェイスフォームの作成

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) で統合用のデジタルインターフェイスを作成します。

デジタルインターフェイスフォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	デジタルインターフェイスの一意でわかりやすい名前。
[Number (番号)]	デジタルインターフェイスの数。このフィールドは、DINTF プリフィックス付きで自動的に生成され、編集できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロバイダービジネスアプリケーション	インターフェイスを提供、マネージャー、および所有するプロバイダービジネスアプリケーションの名前。 **注:** リポジトリにビジネスアプリケーションがない場合、この属性は空にすることができます。天気やファイナンシャルサービスなどのオープンインターフェイスを使用している場合は、インターフェイスを認識し、関連するビジネスアプリケーションなしで追跡するだけです。
インターフェイスタイプ	インターフェイスで使用される API のタイプ。API がパブリックかオープンかを追跡するのに役立ちます。 **注:** パブリック API またはオープン API の場合、組織がオープンインターフェイスとして公開しない限り、プロバイダービジネスアプリケーションは存在しません。 次のオプションを使用します： • オープン API • パートナー API • 内部 API パブリック API またはオープン API は誰でも利用でき、制限やライセンス契約なしで使用できます。 内部 API またはプライベート API は、認定された (技術) ユーザーのみが利用でき、使用制限や規制なしで使用できます。 パートナー API は、API プロバイダーの認定パートナーが利用できます。通常、これらの API には使用に関する特別な契約条件があります。
親	親インターフェイスの名前。 多くの場合、インターフェイスはバンドルされているか、コンポジションの一部です。デジタル統合でデジタルインターフェイスを参照できるため、親インターフェイスを使用します。親インターフェイスに関連するデジタルインターフェイスが、インターフェイスの関連リストに一覧表示されます。
バージョン	インターフェイスのバージョン。このフィールドは、どのデジタル統合がどのバージョンのインターフェイスを使用しているかを追跡するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	インターフェイスのライフサイクルステージ。次のオプションを使用します： • 観念化 • 設計 • 展開 • 運用 • サポート終了
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	インターフェイスのライフサイクルステージステータス。メインのライフサイクルステージにはそれぞれ、1 つ以上のライフサイクルステージステータスを設定できます。たとえば、運用ステージのデジタルインターフェイスは、時間の経過とともにステータスが使用中からメンテナンス中、および廃止待ちに変化する可能性があります。次のオプションを使用します： • 観念化:評価中、パイロット • デザイン:公認、デザイン、ビルド • 展開:テスト • 運用:使用中、メンテナンス中、廃止待ち • 提供終了:廃止、使用停止
モデル ID	インターフェイスのモデル ID。このフィールドは、インターフェイスモデルの追跡に役立ちます。 これは、API モデルまたはタイプの独自のバリアントを管理できるアプリケーションモデルテーブルへの参照です。たとえば、テーブル API、添付ファイル API、アグリゲート API、プロセス API などです。このオプションのフィールドは、インターフェイスモデルを追跡するために使用できます。ユースケースに応じて、新しいモデルとモデルカテゴリを追加できます。
説明	デジタルインターフェイスの説明。インターフェイスの設計面の概要を説明します。 デジタルインターフェイスがどのように価値を付加するか、どのように設計するか、どのように使用するかなどの詳細を指定できます。 インターフェイスのバージョンに応じて、さまざまな変更と機能を説明することもできます。これは、アプリケーションオーナーとアーキテクトが使用するインターフェイスバージョンを決定するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[オーナー] セクションフィールド

フィールド	説明
事業主	デジタルインターフェイスを所有するビジネス機能の所有者。親ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
IT 所有者	デジタルインターフェイスを所有する IT 組織内のオーナー。親ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
サポート担当者	対象分野の専門家 (SME) またはデジタルインターフェイスのサポートを提供する個人の名前。
Support Group (サポートグループ)	デジタルインターフェイスにサポートを提供するグループの名前。

機能セクションフィールド

フィールド	説明
プロトコル	インターフェイスで使用されるプロトコルのタイプ。API プロトコルは、アプリケーションを規制する仕様です。これらのプロトコルは、アプリケーションプログラミングインターフェイスをソフトウェアと統合するために使用されます。選択肢には、REST、SOAP、LDAP などがあります。 **注:** このリストはすべてを網羅するものではなく、希望する値を追加することで拡張したり、指定された値を非表示にしたりできます。
メッセージ形式	インターフェイス内のメッセージの形式。選択肢には、JSON、XML、CSV などがあります。 **注:** このリストはすべてを網羅するものではなく、希望する値を追加することで拡張したり、指定された値を非表示にしたりできます。

[認証] セクションのフィールド

フィールド	説明
認証タイプ	インターフェイスの認証に使用される認証のタイプ。 次のオプションを使用します。 • 基本認証 • OpenID Connect

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[認証] セクションのフィールド (続く)

フィールド	説明
	• 証明書 • WS-Security を使用 • LDAP • なし • その他 システム提供の認証タイプを使用することも、独自の認証タイプを追加することもできます。
認証タイプ	インターフェイスの認可に使用される認可のタイプ。 次のオプションを使用します。 • OAuth 2.0 トークン • JWT Web トークン • SAML 2.0 トークン • その他 • 認証なし システム提供の認証タイプを使用することも、独自の認証タイプを追加することもできます。

[アクティビティ] セクションのフィールド

フィールド	説明
作業メモ	インターフェイスに関するコメント。

デジタルインターフェイスの作成または更新

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 **APM)** の **API** フォームへのデジタルインターフェイス

デジタルインターフェイスとアプリケーションサービス API の関係により、アナリストはどのデジタルインターフェイスがどの API を使用しているかを確認できます。

API フォームフィールドへのデジタルインターフェイス

フィールド	説明
[Number (番号)]	デジタルインターフェイス API の番号。このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。番号はプレフィックス DINTFAPI で始まります (例:DINTFAPI0001234)。
デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。このフィールドには、編集しているインターフェイスの名

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	前が自動的に入力されます。別のデジタルインターフェイスとの関係を作成する場合は、ルックアップアイコンを使用してデジタルインターフェイスを選択します。
API	(オプション)CMDB API の名前。デジタルインターフェイスに関連付ける API を選択します。API の子クラス (cmdb_ci_api) を選択することもできます。例:マネージド API (cmdb_ci_managed_api)。
説明	デジタルインターフェイスと API の間の接続の説明。

関連情報

でデジタルインターフェイスを CMDB API に接続する エンタープライズアーキテクチャ

デジタル統合の管理

すべての統合とインターフェイスを一元化されたスペースで管理できます。

重要:

Xanadu リリース以降、レガシー デジタル統合モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のデジタル統合モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のデジタル統合モジュールは利用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「でのデジタル統合 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) のデジタル統合機能はアプリケーション、接続、およびインタラクションのビジネス目的を理解するのに役立ちます。ServiceNow Store から エンタープライズアーキテクチャ Integration Management (sn_apm_di) プラグインをインストールします。

次の操作を実行できます。

- 統合の問題を 1 か所で積極的に発見します。
- 組織全体の情報フローを管理します。
- 内部および外部 API の使用を完全に管理します。

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) のデジタルインターフェイス

エンタープライズアーキテクチャ でデジタルインターフェイスを管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

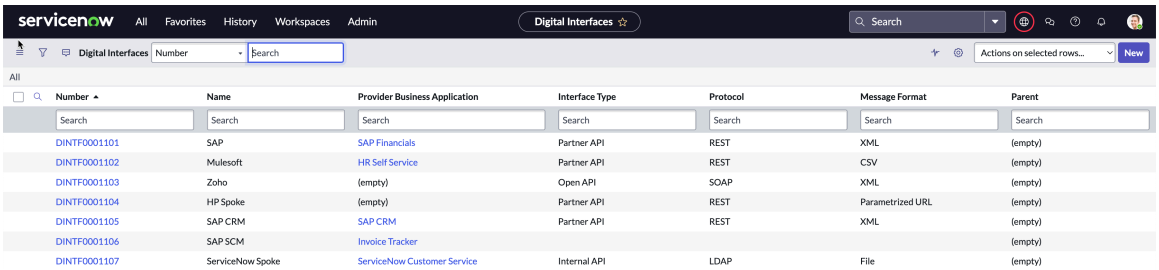
重要:

Xanadu リリース以降、レガシーデジタルインターフェイスモジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のデジタルインターフェイスモジュールを引き続き使用できます。新しいアクティベーション ユーザーの場合、従来のデジタル インターフェイス モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「エンタープライズアーキテクチャワークスペース のデジタルインターフェイス」を参照してください。

デジタルインターフェイスはビジネスアプリケーションの一部として提供されますが、単独でも使用できます。インターフェイスは、他のビジネスアプリケーションがアプリケーションとやり取りする方法を提供します。インターフェイスには、名前、バージョン、オーナー、プロトコルなど、それ自体に関するメタデータが含まれています。また、そのインターフェイスを使用しているすべての統合のリストも含まれています。

デジタルインターフェイス



Number	Name	Provider Business Application	Interface Type	Protocol	Message Format	Parent
DINTF0001101	SAP	SAP Financials	Partner API	REST	XML	(empty)
DINTF0001102	Mulesoft	HR Self Service	Partner API	REST	CSV	(empty)
DINTF0001103	Zoho	(empty)	Open API	SOAP	XML	(empty)
DINTF0001104	HP Spoke	(empty)	Partner API	REST	Parametrized URL	(empty)
DINTF0001105	SAP CRM	SAP CRM	Partner API	REST	XML	(empty)
DINTF0001106	SAP SCM	Invoice Tracker				(empty)
DINTF0001107	ServiceNow Spoke	ServiceNow Customer Service	Internal API	LDAP	File	(empty)

デジタルインターフェイスの作成または更新

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) で統合用のデジタルインターフェイスを作成しビジネスアプリケーションのやり取り方法を説明します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

やり取りする各ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスは、アプリケーションまたはサービスとのインターフェイス方法について論理的に大まかに説明しています。デジタルインターフェイスは、他のサービスやビジネスアプリケーションがどのように相互作用するかを記述するために設計フェーズで使用されるオブジェクトです。同じレベルで、このデジタルインタフェースによって提供または更新される情報オブジェクトを定義できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > デジタルインターフェイス.
2. デジタルインターフェイスを作成または更新します。
   a. デジタルインターフェイスを作成するには、[新規] を選択します
   b. 既存のデジタルインターフェイスを更新するには、デジタルインターフェイス番号のリンクを選択して開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドの詳細については、「デジタルインターフェイスフォームの作成」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

デジタルインターフェイスの削除

不要になったデジタルインターフェイスを削除します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > デジタルインターフェイス.
2. デジタルインターフェイス番号をクリックして開きます。

   注: デジタル統合が関連付けられているデジタルインターフェイスは削除できません。

3. [削除] をクリックします。
4. 削除を確定します。

デジタル統合

エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) でデジタル統合を管理します。

重要:

Xanadu リリース以降、レガシーデジタル統合モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーは レガシー デジタル統合モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合 従来のデジタル統合モジュールは使用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「でのデジタル統合 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

デジタル統合は、2 つのビジネスアプリケーション間の統合を表します。一般的なシナリオには、消費ビジネスアプリケーション、プロバイダービジネスアプリケーション、およびプロバイダービジネスアプリケーションによって提供されるインターフェイスがあります。デジタル統合には、名前、バージョン、タイプ、データフローの方向、使用されているミドルウェア、所有者など、統合に関するメタデータが含まれています。

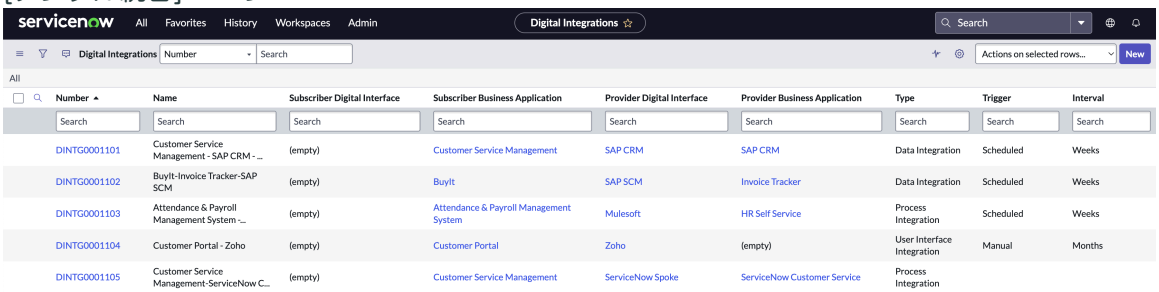
デジタル統合用の簡単なフォームを使用すると、単一ページからデジタル統合を作成できます。これには、新しいデジタルインターフェイスの導入も含まれます (存在しない場合)。デジタル統合は、デジタル統合 [sn_apm_di_digital_integration] テーブルに保存されます。デジタル統合が作成されると、そのタイプのインターフェイスを持つ 2 つのビジネスアプリケーション間で CI 関係リンクが作成されます。このリンクを使用すると、任意のビジネスアプリケーションのノードマップの一部として統合にアクセスできます。新しいデジタル統合の承認を要求するための新しいカタログエントリが提供されます。要求が承認されると、統合が作成されます。

[デジタル統合] ページには、既存のデジタル統合とその関連情報のリストが表示されます。[デジタル統合] ページにアクセスするには、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > デジタル統合.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[デジタル統合] ページ



Number	Name	Subscriber Digital Interface	Subscriber Business Application	Provider Digital Interface	Provider Business Application	Type	Trigger	Interval
DINTG0001101	Customer Service Management - SAP CRM - ...	(empty)	Customer Service Management	SAP CRM	SAP CRM	Data Integration	Scheduled	Weeks
DINTG0001102	BuyIt-Invoice Tracker-SAP SCM	(empty)	BuyIt	SAP SCM	Invoice Tracker	Data Integration	Scheduled	Weeks
DINTG0001103	Attendance & Payroll Management System -...	(empty)	Attendance & Payroll Management System	Mulesoft	HR Self Service	Process Integration	Scheduled	Weeks
DINTG0001104	Customer Portal - Zoho	(empty)	Customer Portal	Zoho	(empty)	User Interface Integration	Manual	Months
DINTG0001105	Customer Service Management-ServiceNow C...	(empty)	Customer Service Management	ServiceNow Spoke	ServiceNow Customer Service	Process Integration		

関連情報

すべてのデジタル統合を表示

EA ワークスペースでのデジタル統合の追加または編集

デジタル統合の作成

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) でデジタル統合を作成し、消費するビジネスアプリケーションとプロバイダーのビジネスアプリケーション間の接続を作成します。

このタスクについて

デジタル統合は、エンタープライズアーキテクトが使用する設計オブジェクトです。これは、2 つのビジネスアプリケーション間、またはビジネスアプリケーションと、やり取りするためのインターフェイス (API) を提供する外部サービス (AWS、Yahoo、タイムゾーン変換サービスなど) との間の接続を表します。

2つのデータ・エンティティ間で接続が必要な理由、どのインタフェースを介して通信するかを定義し、関連する設計およびアーキテクチャ資料へのリンクを提供できます。デジタル統合は、ビジネス機能をサポートし、ビジネス価値を提供します。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来のデジタル統合モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のデジタル統合モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のデジタル統合モジュールは利用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「EA ワークスペースでのデジタル統合の追加または編集」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャユーザーロール (sn_apm.apm_user) を持っている場合は、ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスを使用して、ビジネスアプリケーションを要求、追加、または廃止します。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > デジタル統合.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [デジタル統合を作成] フォームで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド値の説明については、「デジタル統合フォームを作成」を参照して ください。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

[デジタル統合] ページに、成功メッセージと新しく作成されたデジタル統合へのリンクが表示されます。

フォームの送信後、CMDB プラットフォーム内で、プロバイダーとサブスクライバーのビジネスアプリケーション間で CI 関係 (Interfaces::Interfaced By) が作成されます。デジタルインターフェイスが (オープン API またはパブリック API を使用して) ビジネスアプリケーションに関連付けられていない場合、デジタル統合は登録者ビジネスアプリケーションとスタンドアロンのデジタルインターフェイスの間に作成されます。

デジタル統合の更新

エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のデジタル統合の詳細を更新します。

始める前に

重要:

Xanadu リリース以降、従来のデジタル統合モジュールは エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) から廃止されました。ただし、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) の既存のユーザーである場合は、従来のデジタル統合モジュールを引き続き使用できます。新規アクティベーションユーザーの場合、従来のデジタル統合モジュールは利用できません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用して、同じ機能を利用できます。詳細については、「EA ワークスペースでのデジタル統合の追加または編集」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャユーザーロール (sn_apm.apm_user) を持っている場合は、ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスを使用して、ビジネスアプリケーションを要求、追加、または廃止します。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > デジタル統合.
2. デジタル統合番号を選択して開きます。
3. デジタル統合フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「デジタル統合フォームを更新」を参照してください。
4. [**Update** (更新)] を選択します。

デジタル統合の削除

不要になったデジタル統合を削除します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > アプリケーションポートフォリオ > デジタル統合.
2. 削除するデジタル統合を選択して開きます。
3. [削除] をクリックします。
   確認メッセージが表示されます。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してデジタル統合を要求

アプリケーションライフサイクル管理モジュールを使用して要求を送信し、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) のデジタル統合を要求します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > ビジネスアプリケーションカタログ.

   ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスがサービスカタログページで開きます。
2. [デジタル統合を要求] カードを選択するか、[デジタル統合を要求] カードで [詳細を表示] を選択して、新しいデジタル統合を登録します。
3. [デジタル統合を要求] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[デジタル統合を要求] フォーム」を参照して ください。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
システムが要求を検証し、同じ名前のデジタル統合が存在するかどうかを確認します。存在する場合は、エラーメッセージが表示されます。存在しない場合は、フローがトリガーされ、デジタル統合の登録要求が作成されます。

要求が承認されると、要求されたデジタル統合がデジタル統合テーブルのレコードとして作成されます。

ビジネスアプリケーションライフサイクル管理を使用してデジタル統合を廃止する

不要になったデジタル統合を廃止します。アプリケーションライフサイクル管理モジュールを使用して、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 アプリケーションポートフォリオ管理) のデジタル統合を廃止する要求を送信します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user, sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
ロールに基づいて、デジタル統合を直接廃止するか、承認者にデジタル統合の廃止を要求することができます。デジタル統合の廃止は、次の条件で実行されます。

デジタル統合を廃止する条件

ロール	許可されたアクション
エンタープライズアーキテクチャ デジタル統合のユーザー、IT オーナー、ビジネスオーナー、またはサポーター	デジタル統合の廃止を要求できます。その後、アナリストは要求を承認または却下します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合を廃止する条件 (続く)

ロール	許可されたアクション
APM アナリスト	デジタル統合を廃止できます。デジタル統合の廃止要求を承認または却下できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > ビジネスアプリケーションライフサイクル管理 > ビジネスアプリケーションカタログ.

   ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスが、サービスカタログページで開きます。

2. [デジタル統合を廃止 **(Retire a Digital Integration)]** カードをクリックするか、[デジタル統合を廃止 (Retire a Digital Integration)] カードで [詳細を表示] をクリックして、デジタル統合を廃止します。
3. [デジタル統合を廃止 (Retire a Digital Integration)] フォームの値のリストから、デジタル統合の名前を選択します。
4. [送信] をクリックします。

デジタル統合要求の承認または却下

エンタープライズアーキテクトユーザーは、 エンタープライズアーキテクチャ (旧 APM) ユーザーによって送信されたデジタル統合要求を承認または却下します。

始める前に
ユーザーはエンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Service Desk** > 自分の承認.
2. 承認または却下するデジタル統合要求を選択します。
3. [承認] または [却下] を選択します。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャワークスペース (EA ワークスペース) は エンタープライズアーキテクチャ アプリケーションの一部です。インタラクティブなユーザーインターフェイスを提供することで、エンタープライズアーキテクトは 1 つの場所から、タスクを最新の状態に保ち、インサイトを取得し、ポートフォリオの健全性を監視できます。

Utah リリース以降、エンタープライズアーキテクチャワークスペース は ServiceNow Store で利用できます。インストール情報については、次を参照してください。 インストール エンタープライズアーキテクチャワークスペース.

エンタープライズアーキテクチャワークスペース のインストール

admin ロールを持っている場合は、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース アプリケーション (sn_apm_ws) をインストールします。

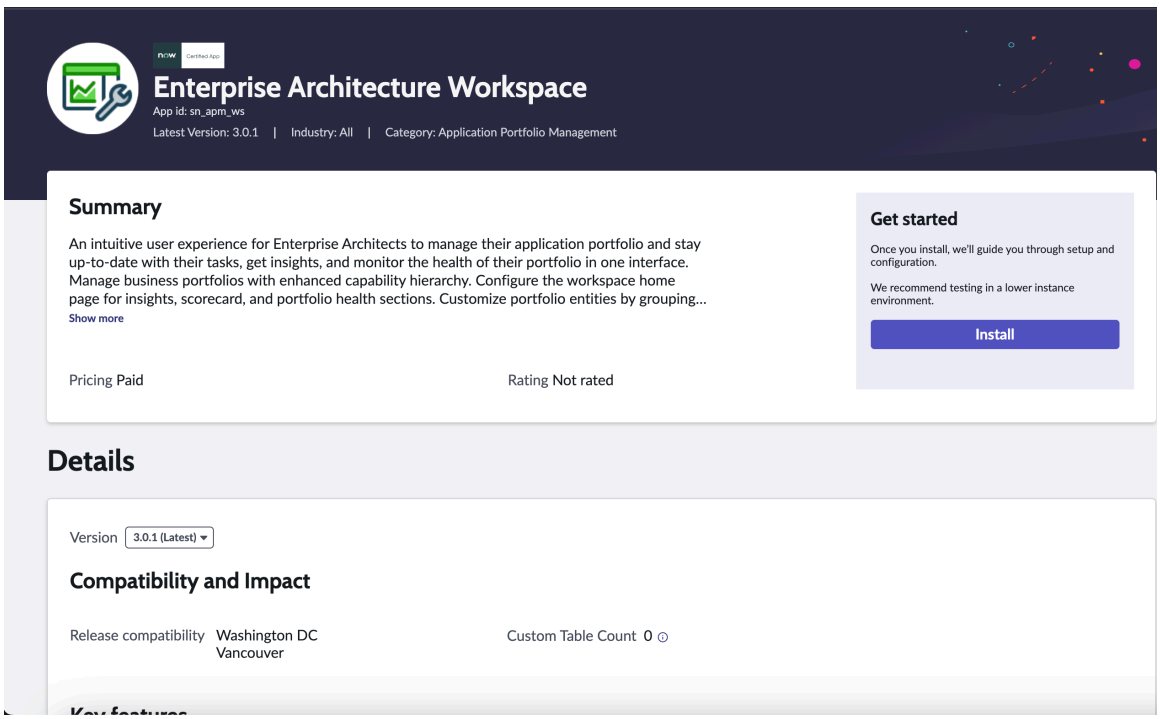
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store の エンタープライズアーキテクチャワークスペース アプリケーションリストを確認してください。
- エンタープライズアーキテクチャ プラグイン (com.snc.apm) がアクティブ化されていることを確認します。
- エンタープライズアーキテクチャワークスペース でテクノロジーポートフォリオ管理情報を有効にするには、次の手順を実行します。
  - ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン (com.snc.sams) がアクティブ化されていることを確認します。
  - Technology Portfolio Management (テクノロジーポートフォリオ管理) (sn_apm_tpm) ストアアプリがインストールされていることを確認します。

必要なロール：admin

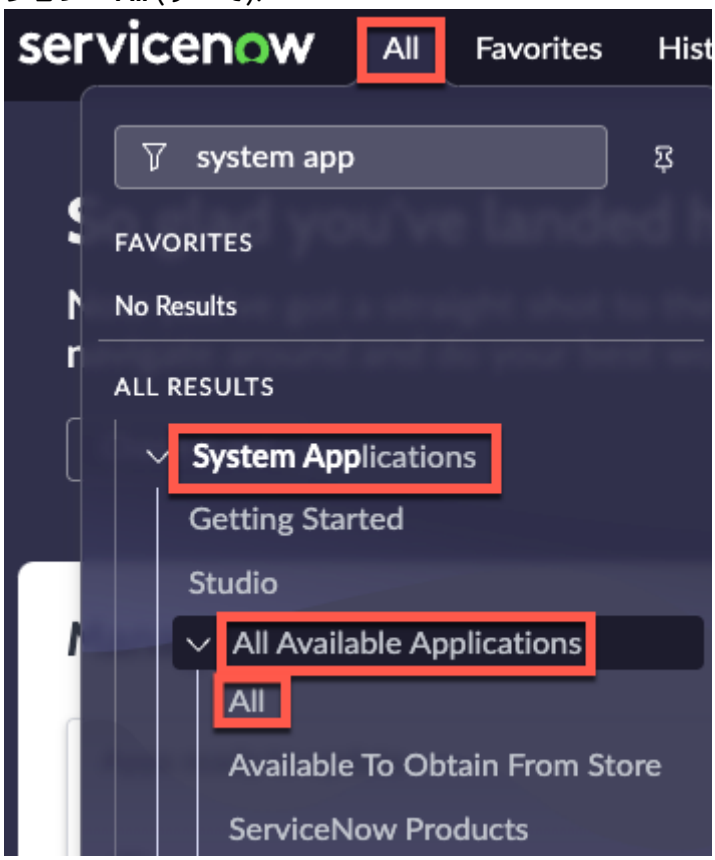


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることもあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。

5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   > **重要:** インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース アクセスロール

次のロールは、エンタープライズアーキテクチャワークスペース アプリケーションを設定して使用するのに役立ちます。ロールにアクセス権が付与されると、そのロールにアサインされているすべてのグループまたはユーザーにそのアクセス権が付与されます。ロールには他のロールを含めることができ、ロールに付与されたアクセス権は、そのロールを含む他のすべてのロールに付与されます。

EA ワークスペース ロール

エンタープライズアーキテクチャワークスペース 件のロール

ロール	説明
sn_apm.apm_analyst	アプリケーションレコードを作成し、ダッシュボード、および関連ページにアクセスします。
sn_apm.apm_admin	アプリケーションレコードを作成または更新し、管理アクティビティにアクセスします。
sn_apm.apm_user	アプリケーションを表示および更新するためのアクセス。
sn_apm.apm_read	エンタープライズアーキテクチャワークスペースにアクセスするための読み取り専用ロール。詳細については、「エンタープライズアーキテクチャワークスペース のビジネスステークホルダーロール」を参照してください。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースとともにインストールされるテーブル

次のテーブルは、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース のアクティブ化とともに追加されます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
認定要素 [cert_element]	ビジネスアプリケーションの四半期またはオンデマンドの認定を格納します。
後続タスク [cert_follow_on_task]	次のフォローアップタスクを保存します。 • ビジネス機能に関連していないビジネスアプリケーション • 孤立ビジネス機能 • 情報オブジェクトがどのビジネスアプリケーションにも関連していません • ライフサイクルデータがないソフトウェアモデル • いずれのソフトウェアモデルにも関連しないビジネスアプリケーション • ライフサイクルデータがないハードウェアモデル • いずれのハードウェアモデルにも関連しないビジネスアプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
ソフトウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_software_model_risk]	リスクのあるソフトウェアモデルを保存します。
ソフトウェアリスクパラメータースコア [sn_apm_tpm_risk_param_score]	提供終了間近のソフトウェアモデルを保存します。
ハードウェアモデルリスク [sn_apm_tpm_hardware_model_risk]	リスクのあるハードウェアモデルを格納します。
ハードウェアリスクパラメータースコア [sn_apm_tpm_hm_risk_param_score]	提供終了間近のハードウェアモデルを保存します。
TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology]	企業内のハードウェアおよびソフトウェアの要素を保存します。
TPM テクノロジーライフサイクル [sn_apm_tpm_technology_lifecycle]	検出されたテクノロジーに関連付けられたテクノロジーライフサイクルを保存します。
TPM テクノロジーライフサイクル例外 [sn_apm_tpm_technology_lifecycle_exception]	ServiceNow® ソフトウェア資産管理プロ または ServiceNow® ハードウェア資産管理 Professional から概算された、または見つからなかったライフサイクルを保存します。
TPM 検出済みテクノロジー実行ログ [sn_apm_tpm_discovered_technology_run_log]	ServiceNow® テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) が Professionalソフトウェア資産管理プロ および ハードウェア資産管理 Professional に対してコンテンツを更新したときに格納します。
TPM テクノロジーリスク [sn_apm_tpm_technology_risk]	TPM テクノロジーリスク情報を保存します。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース のビジネスステークホルダーロール

ビジネスステークホルダー (com.snc.business_stakeholder) プラグインには、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース アプリケーションのビジネスステークホルダーロールが含まれています。このロールを持つユーザーは、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のレコードを表示または読み取ることができます。

アップグレード情報

アップグレードする顧客

Yokohama にアップグレードする場合、エンタープライズアーキテクチャワークスペース のビジネスステークホルダーロールは、エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.apm_read_roles) の読み取り専用ロールプラグインをアクティブ化した場合にのみ使用できます。

新規顧客

新規顧客の場合、 エンタープライズアーキテクチャ (com.snc.apm_read_roles) プラグインの読み取り専用ロールが zBoot でアクティブ化されます。ただし、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース のビジネスステークホルダーロールは、プラグインをインストールする場合にのみ使用できます エンタープライズアーキテクチャワークスペース 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネスステークホルダーの読み取り専用ロールである理由

ビジネスステークホルダーロールは、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース アプリケーション内のすべてのテーブルに対する読み取り専用アクセス権をユーザーに付与するように設計されています。このロールは、データを表示する必要があるが変更できないビジネスオーナーやマネージャーなどのビジネスステークホルダーに最適です。このロールをアサインすることで、これらのユーザーが変更を加えることなく、常に最新情報を入手し、データを監視できるようになります。

でのビジネスステークホルダーの読み取り専用アクセス制限 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャワークスペースエンタープライズアーキテクチャワークスペースのビジネスステークホルダーロール (sn_apm.apm_read) ロールを持つユーザーは、すべてのページの表示アクセス権のみを持ち、エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のデータを作成または更新することはできません。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース の探索

エンタープライズアーキテクチャワークスペース は エンタープライズアーキテクチャ アプリケーションの一部です。このワークスペースは、ポートフォリオを効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統一インターフェイスです。これらのビューを使用して、タスク、インサイト、注意が必要なタスク、ポートフォリオの健全性、およびダッシュボードを最新の状態に保つことができます。

ワークスペースへのアクセス

次の方法で エンタープライズアーキテクチャワークスペース に移動できます。

- インスタンスで ネクストエクスペリエンス が有効になっている場合は、[ワークスペース]、[エンタープライズアーキテクチャワークスペース] の順に選択します。
- インスタンスで ネクストエクスペリエンス が有効になっていない場合は、左側のナビゲーションバーで 「エンタープライズアーキテクチャワークスペース」と入力します。[ワークスペースホーム] を選択してエンタープライズアーキテクチャワークスペースを開きます。

関連情報

エンタープライズアーキテクチャワークスペース アクセスロール

エンタープライズアーキテクチャワークスペースとともにインストールされるテーブル

エンタープライズアーキテクチャワークスペース概要

エンタープライズアーキテクチャワークスペース概要

エンタープライズアーキテクチャワークスペースには統合されたユーザーインターフェイスがあり、さまざまなユーザーロール向けに設計されています。

EA ワークスペースユーザーインターフェイスの特長

統合されたユーザーエクスペリエンス

エンタープライズアーキテクチャワークスペース ホームページでは、アプリケーションポートフォリオを可視化できます。ワークスペースで実行できるすべてのタスクは、ビジネス目標を達成するために簡素化されます。

さまざまなユーザーロール向けに設計

エンタープライズアーキテクチャアナリストまたはエンタープライズアーキテクト、エンタープライズアーキテクチャアドミニストレーター、およびエンタープライズアーキテクチャユーザーの排他的アクティビティの個別のページビュー。エンタープライズ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アーキテクトは、コンテキスト情報とターゲットを絞ったアクションを使用して、タスクを効果的に管理できます。

さまざまなセクションがあるホームページ

ホームページには、ワークスペース内を移動するのに役立つ次の UI コンポーネントが含まれています。

概要

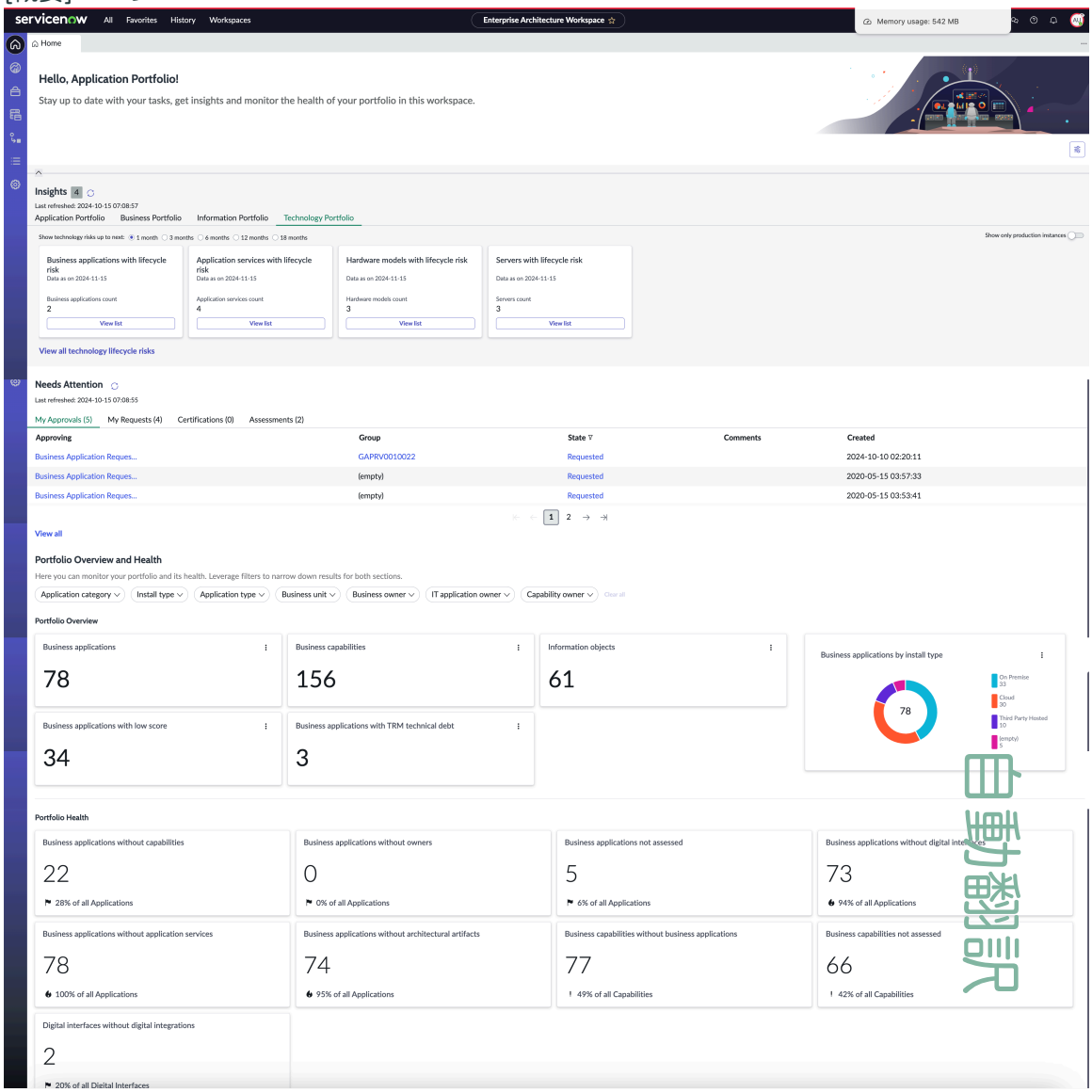
[概要] ページには次のセクションが表示されます。

- インサイト:ビジネスアプリケーションがビジネス機能に関連していない場合など、アプリケーションポートフォリオ、ビジネスポートフォリオ、情報ポートフォリオ、およびテクノロジーポートフォリオのさまざまな条件を強調表示します。
- 要注意: 対処 する必要があるタスクを一覧表示します。 各タブのタスク数を確認できます。
  - [自分の承認] タブには、承認待ちの要求が一覧表示されます。
  - [自分の要求] タブには、 自分が作成したの要求が一覧表示されます。
  - [認定] タブには、ビジネスアプリケーションテーブルのデータを定期的に認定することで、ビジネスアプリケーションのインベントリを最新の状態に保つために使用される認定情報がリストされます。
  - [アセスメント] タブには、定性的な入力に基づいてビジネスアプリケーションを評価し、スコアを付けるのに役立つアプリケーションのアセスメントが一覧表示されます。
- ポートフォリオの概要と健全性:ポートフォリオとその健全性を監視するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] ページ



関連情報

- ポートフォリオのインサイトの表示
- 要求、認定、およびアセスメントの管理
- エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボードの操作
- ポートフォリオ概要と健全性
- ビジネスポートフォリオの管理
- TPM および TRM ライフサイクルのタイムラインのガントビュー
- ビジネスアプリケーションの統廃合
- [技術ポートフォリオ] ビュー
- ポートフォリオリストビュー
- エンタープライズアーキテクチャワークスペースの設定
- の操作 のセットアップページ エンタープライズアーキテクチャワークスペース

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でアプリケーションの総所有コスト (TCO) を構成する エンタープライズアーキテクチャワークスペース

での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャワークスペース ホームページのカスタマイズ

ページのカスタマイズ機能を使用して、ホームページに表示するセクションをカスタマイズします。

始める前に

エンタープライズアーキテクチャワークスペース ホームページをカスタマイズするにはエンタープライズアーキテクチャワークスペースバージョン 2.2.0 が必要です。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. セクションを非表示アイコン ()を選択して、[ページをカスタマイズ] ウィンドウを開きます。
3. 関連するセクション名の横にあるトグルスイッチを使用して、ホームページから特定のセクションを非表示にしたり表示したりします。
4. [適用] を選択します。

UI ビルダーで構成可能ワークスペースエクスペリエンスを開くタスク **conkeyref**

UI ビルダーの構成可能ワークスペースエクスペリエンスにアクセスして編集します。

始める前に

必要なロール：admin、ui_builder_admin

手順

1. ナビゲーションフィルターで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. 自分のエクスペリエンスを選択します。
3. [エクスペリエンス] を選択します。

タスクの結果

構成可能なエクスペリエンスが UI ビルダーで開きます。

ワークスペース参照 **conkeyref** のリスト

特定のユーザーと問題を対象に ServiceNow が提供するすべてのワークスペースのリスト。

ワークスペースは、エージェント、ケースマネージャー、ヘルプデスク担当者、その他マネージャーが、顧客の質問に回答し、顧客の問題を解決する際に役立つツール群です。ServiceNow には多くのワークスペースがあり、それぞれが特定のユーザーと問題を対象としています。

ワークスペースのリスト

ワークスペース

ワークスペースは、ServiceNow プラットフォームで利用可能なデフォルトのワークスペースとして機能し、ServiceNow が提供するターゲットワークスペースの基盤を提供します。

監査ワークスペース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査ワークスペースは、監査スーパーバイザーと監査人が全体的な監査のタイムラインとステータスを表示し、エンゲージメントの予算とリソースを追跡して、優先度の高い観察事項と問題をトレースし、継続中のコントロールテストと監査タスクの進捗状況を監視するための単一ペインビューです。

クラウドディスカバリーワークスペース

クラウドディスカバリーワークスペースは、組織のクラウドオペレーションを管理するための包括的なソリューションを提供します。

CMDB ワークスペース

CMDB ワークスペースは、効率的で一元的な最新化された作業方法です。CMDB ワークスペースを使用すると、CMDB の検索と探索、健全性と最近のアクティビティの調査を行い、組織内のタスクをサポートするためのさまざまな CMDB ダッシュボードとツールにアクセスすることができます。

コンプライアンスワークスペース

コンプライアンスワークスペースは、ポリシー、コントロール目標、コントロール、問題、およびポリシー例外に関連するすべてのタスクを管理できる統一されたインターフェイスです。

Continuous Authorization and Monitoring

継続的な承認と監視では、リスク管理フレームワーク (RMF) で定義されている 7 つのステップを採用して、セキュリティ体制について十分な情報に基づいた意思決定を行うことができます。

CSM Configurable Workspace (CSM 構成可能ワークスペース)

CSM 構成可能ワークスペースは、顧客の質問に回答し、顧客の問題を解決するために必要なツールをエージェントに提供するユーザーインターフェイスです。

デジタルポートフォリオ管理ワークスペース

ServiceNow デジタルポートフォリオ管理 (DPM) ワークスペースを使用して、単一の場所からすべてのソリューション (サービス、サービスオファリング、ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス) を管理および維持します。DPM は ServiceNow プラットフォーム全体からデータを取得するため、所有しているソリューションまたは関心のあるソリューションのコンテキストで影響を把握できます。

DEX アプリケーションとデバイスヘルス

DEX アプリケーションとデバイスヘルスは、デジタルワークプレイスのパフォーマンス、セキュリティ、コンプライアンスの監視に特化した一元化されたワークスペースです。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャワークスペースは、アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) アプリケーションの一部です。このワークスペースは、ポートフォリオを効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統一インターフェイスです。これらのビューを使用して、タスク、インサイト、注意が必要なタスク、ポートフォリオの健全性、およびダッシュボードを最新の状態に保つことができます。

Platform Analytics (プラットフォームアナリティクス) ワークスペース

プラットフォームアナリティクスワークスペースは、すべてのネクストエクスペリエンスアナリティクスを管理するためのアナリティクスセンターを提供します。

リソース管理ワークスペース

リソース管理ワークスペースは、リソースマネージャーがすべてのリソースのすべての作業を一元的に表示するのに役立ちます。

ITSM のサービスオペレーションワークスペース

サービスオペレーションワークスペースは、複数の IT Service Management および IT Operations Management (ITOM) ワークフローにおいて統一されたエクスペリエンス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を提供する、構成可能なワークスペースです。ITSM のサービスオペレーションワークスペースの簡単に操作できるインターフェイスを使用して、エージェントエクスペリエンスを構成します。

ITOM のサービスオペレーションワークスペース

サービスオペレーションワークスペースは、複数の IT Operations Management (ITOM) ワークフローに統一されたエクスペリエンスを提供する構成可能なワークスペースです。サービスオペレーションワークスペースの簡単に操作できるインターフェイスを使用してエクスペリエンスを設定します。

Vendor Management Workspace (ベンダー管理ワークスペース)

ベンダー管理ワークスペースを使用して、会社のベンダーのパフォーマンスを監視し、すべてのベンダー関連情報を管理します。ベンダーメトリクスを作成するために、構成可能な重要業績評価指標 (KPI) を使用してベンダーのパフォーマンスを評価します。

ITSM のワークフォース最適化

ITSM のワークフォース最適化を使用して、1 つの場所から従業員の生産性を管理および維持します。このアプリケーションを使用すると、チームのスキルとスケジュールを効率的に管理し、作業割り当てをチームにルーティングし、パフォーマンスを監視できます。

ポートフォリオのインサイトの表示

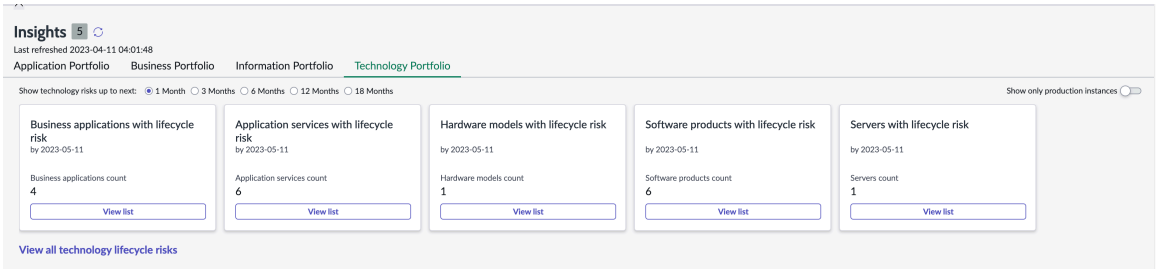
ビジネスポートフォリオ、情報ポートフォリオ、アプリケーションポートフォリオ、およびテクノロジーポートフォリオのインサイトを表示できます。

次のような詳細が表示されます。

- 必要な監査とスクリプト化された監査
- ハードウェアモデル
- 高および中程度の技術リスクに直面しているソフトウェア製品
- オープンで 100% 完了していない保留中の認定インスタンス

前回の更新時刻には、ブラウザーで結果が更新された日時が表示されます。更新アイコン ( ) を使用して、結果を手動で更新できます。[リストを表示] ボタンを選択すると、完全なリストに移動できます。レコードを選択すると、そのレコードの詳細を表示できます。

インサイトビュー



アプリケーションポートフォリオ

ビジネスアプリケーションの情報を追跡します。

ビジネスポートフォリオ

ビジネスケイパビリティ、ビジネスアプリケーションに関するインサイトを取得し、それらを効果的に管理して組織の目標を達成します。

情報ポートフォリオ

企業内のビジネスアプリケーションと統合に関連する情報オブジェクトの詳細を追跡します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テクノロジーポートフォリオ

ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、サーバー、ソフトウェア製品、およびハードウェアモデルのテクノロジーライフサイクルリスクを追跡します。

技術リスクの追跡

このフィルターを使用して、今後 1 か月、3 か月、6 か月、12 か月、および 18 か月のリスクを確認します。デフォルトでは、[1 か月] フィルターが適用されます。

本番インスタンスのみを表示

このトグルボタンを使用して、テクノロジーライフサイクルリスクがある本番インスタンスのみを表示します。デフォルトでは、このフィルターはオフです。

すべてのテクノロジーライフサイクルリスクを表示

このリンクを選択すると、最も早いライフサイクル日付 (テクノロジーライフサイクルリスクが発生する最も早い日付) でソートされたすべてのテクノロジーライフサイクルリスクのリストが表示されます。必要に応じて、テクノロジーライフサイクルリスク情報を Excel、CSV、JSON、または PDF にエクスポートすることもできます。

テクノロジーライフサイクルリスクテーブルのデータは、TPM 検出テクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology] テーブルからフェッチされます。

技術ライフサイクルリスク

フィールド	説明
最も早いライフサイクル日	サポート終了、延長サポート終了、またはサポート終了日の最小値
ビジネスアプリケーション	ビジネスアプリケーションの名前
アプリケーションサービス	ビジネスアプリケーションに関連付けられたサービス
タイプ	要素タイプ。選択肢は次のとおりです。 • Software (ソフトウェア) • Hardware (ハードウェア)
ソフトウェア製品	ソフトウェア製品の名前
ハードウェアモデル	ハードウェア製品のモデル番号
サーバー	ソフトウェア製品またはハードウェアモデルに関連付けられているサーバーの名前。
サポート終了日	ソフトウェア製品またはハードウェアモデルのサポート終了日
延長サポート終了日	ソフトウェア製品またはハードウェアモデルの延長サポート終了日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

技術ライフサイクルリスク (続く)

フィールド	説明
サポート終了日	ソフトウェア製品またはハードウェアモデルのサポート終了日
使用目的	使用されているアプリケーションサービス。たとえば、本番やステージングなどです。
TPM テクノロジーライフサイクル	ハードウェアモデルまたはソフトウェア製品の TPM テクノロジーライフサイクルへのリンク。

要求、認定、およびアセスメントの管理

エンタープライズアーキテクトは、すべての要求を管理できます。認定、アセスメント、および技術ポートフォリオ監査情報のステータスを表示できます。

自分の承認

[自分の承認] タブには、承認待ちの要求が一覧表示されます。

My requests (自分の要求)

[自分の要求] タブには、承認者に割り当てられた要求のリストが表示されます。デフォルトでは、すべての要求がページネーションされた結果として表示されます。完全なリストを表示するには、[すべて表示] を選択します。要求レコードを選択して開き、要求を承認または却下することができます。

認定資格

[認定] タブには、認定のリストとそのステータスが表示されます。ビジネスアプリケーションテーブルのデータを定期的に認定して、ビジネスアプリケーションのインベントリを最新の状態に保つ必要があります。ビジネスアプリケーションに依存するインジケーターが存在するため、これらのビジネスアプリケーションデータを最新の状態に保つことで、ビジネスアプリケーションを正確に評価できるようになります。

[すべて表示] を選択すると、認定のリストを表示できます。認定番号、認定スケジュール、および認定インスタンスを選択すると、詳細が表示されます。

アセスメント

[アセスメント] タブには、定性的な入力に基づいてビジネスアプリケーションを評価し、スコアを付けるのに役立つ、アプリケーションのアセスメントのリストが表示されます。アプリケーションインジケーターは、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価するビジネス測定基準です。

各インジケーターは、アプリケーションスコアの計算に使用される関連アプリケーションデータを定期的にキャプチャします。アプリケーションのアセスメントは、構成されたさまざまなインジケーターに基づく拡張可能なフレームワークで実行されます。アプリケーションスコアを計算するために事前に構成されたもの以外のインジケーターが必要な場合は、ビジネス要件に基づいてインジケーターを作成できます。

[すべて表示] を選択すると、アセスメントのリストが表示されます。詳細を表示するには、アセスメント番号とメトリクスタイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

技術ポートフォリオ監査

[技術ポートフォリオ監査] タブには、アプリケーションの監査情報が表示されます。このテーブルのエントリは、そのソフトウェア製品またはハードウェアモデルの少なくとも 1 つのライフサイクルが近似されたか、見つからないか、存在しないことを示します。たとえば、ソフトウェア製品のフルバージョンが 9.2.1 の場合、 ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリのサポート終了ライフサイクルバージョンがフルバージョン 9.2 のみであった可能性があります。この監査テーブルは、組織で使用されている製品の詳細に基づいてライフサイクル一致情報を評価するのに役立ちます。このテーブルは、組織で使用されているソフトウェア製品またはハードウェアモデルバージョンに対して、ライフサイクルバージョンが完全に一致する場合や、有効なライフサイクルバージョンが見つからない場合を識別するのに役立ちます。

テクノロジーポートフォリオ監査テーブルのデータは、TPM テクノロジーライフサイクル例外 [sn_apm_tpm_technology_lifecycle_exception] テーブルからフェッチされます。

アドミンユーザーは、 *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles* スケジュール済みジョブをオンデマンドで実行して、アプリケーションポートフォリオのテクノロジーライフサイクルリスクを計算できます。スケジュール済みジョブは、ITAM コンテンツライブラリを照会することにより、ソフトウェア製品およびハードウェアモデルのサポート終了日、延長サポート終了日、提供終了日を含むライフサイクルリスク日付を生成するスクリプトを実行します。詳細については、「TPM ライフサイクルデータを生成するジョブをスケジュールする」と「スケジュール済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する」を参照してください。スクリプトがオンデマンドで実行されるかスケジュール設定されるかにかかわらず、[ポートフォリオ>テクノロジーポートフォリオ管理>ログ] ページで結果を表示できます。

技術ポートフォリオ監査テーブル

列名	説明
タイプ	アプリケーションタイプ。選択肢は次のとおりです。 • Software (ソフトウェア) • Hardware (ハードウェア)
ソフトウェア製品	ソフトウェア製品の名前。
製品バージョン	製品のバージョン番号。
製品エディション	製品のエディション。たとえば、標準です。
製品の完全バージョン	製品の完全バージョン。
ハードウェアモデル	ソフトウェア製品に関連付けられているハードウェアモデル。
検証ステータス	製品の検証ステータス。選択肢は次のとおりです。 • 検証が必要 • 検証済み • 却下
コメント	顧客のコメント。
ライフサイクルフェーズ	製品のライフサイクルフェーズ。
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

技術ポートフォリオ監査テーブル (続く)

列名	説明
エディション	ライフサイクルのエディション。
完全バージョン	ライフサイクルの完全バージョン。
一致メモ	顧客によるメモ。
テクノロジーライフサイクル	ソフトウェア製品またはハードウェアモデルの TPM テクノロジーライフサイクル情報。

技術的負債

[技術的負債] タブにはTRMフェーズおよび標準に沿っていない製品に対して作成されたTRM技術的負債のリストが表示されます。技術的負債とは 1 つ以上のビジネスアプリケーションで使用されるソフトウェア製品の TRM 製品レコードがないか、TRM 製品の使用を制限する 1 つ以上の内部ライフサイクルフェーズがあることを示しています。このテーブルでは、 TRM 製品と関連するビジネスアプリケーションの詳細、および技術的負債の理由を表示できます。カスタムスケジュール設定済みジョブ *Populate TRM technical debts in the EA Workspace* が実行され、[TRM 技術的負債] テーブルにエントリが作成されます。詳細については、「TRM 技術的負債の管理」と「で TRM 技術的負債データを更新するスケジュール済みジョブの実行 EA ワークスペース」を参照してください。

技術的負債テーブル

列名	説明
TRM 製品	TRM 製品の名前。バージョン固有のライフサイクルを持つソフトウェア製品。
ビジネスアプリケーション	TRM 製品に関連付けられたビジネスアプリケーションの名前。
ソフトウェア製品モデル	TRM 製品に関連するソフトウェア製品モデルの名前。
TRM フェーズ	TRM 製品のフェーズ。以下の TRM フェーズは、ベースシステムから利用可能です。 • 承認済み：テクノロジーの使用は承認されています。 • 制約付きで承認 (Approved with Constraints)：テクノロジーは、コメントで指定された制約の範囲内で使用できます。 • 売却：テクノロジーの使用権が売却されることが決定しています。 • 評価:このテクノロジーは評価中であり、本番環境には使用できません。 • 未承認:テクノロジーの使用は許可されていません。 注: これらのフェーズは、[EA ワークスペース] > [セットアップ] > [TRM フェーズ] ページから変更できます。
TRM レベル	技術的負債が作成されるレベル (製品または製品ライフサイクル 。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。通常、 ソフトウェア製品モデルの名前 このバージョンが含まれます。
理由	技術的負債が 作成された 理由を説明する理由。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

技術的負債テーブル (続く)

列名	説明
前回の実行	技術的負債でテーブルを更新するためにカスタムスケジュール済みジョブ *Populate TRM technical debts in the EA Workspace* が実行されたときのタイムスタンプを表示します。

検証ステータスを更新

TPM テクノロジーライフサイクル例外テーブルのソフトウェア製品またはハードウェアモデルライフサイクルの検証ステータスを変更します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
ステータスを検証済みまたは却下に変更することで、製品のヒューリスティックなライフサイクルの一致を確認できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [要注意] セクションで、[技術ポートフォリオ監査] タブを選択します。
3. 製品タイプ (ソフトウェアまたはハードウェア) を選択して開きます。
4. [TPM テクノロジーライフサイクルの例外] フォームで、[検証ステータス] を [検証済み] または [却下] に設定します。
   ライフサイクルフェーズが [検証済み] に設定されている場合、テクノロジーライフサイクルテーブルの例外の数が減ります。ライフサイクルフェーズが [却下] に設定されている場合、例外数は削減され、そのライフサイクルフェーズの日付はテクノロジーライフサイクルテーブルに表示されません。
5. オプション: [コメント] ボックスにコメントを追加します。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。

TRM 要求の表示または更新

すべての製品要求、製品ライフサイクル要求を表示し、そのステータスを追跡して、既存の要求を編集します。要求の承認者を管理することもできます

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [要注意] セクションで、[自分の要求] タブを選択します。
   自分が出した要求の要求のリストを表示できます。
3. 製品要求番号を選択して開きます。
4. 詳細を更新し、[保存] を選択します。

関連情報

での テクノロジー参照モデル の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRM要求の承認または却下

エンタープライズアーキテクトは、他のユーザーによって送信された TRM 製品または製品ライフサイクル要求を承認または却下します。

始める前に
ユーザーはエンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
エンタープライズアーキテクチャ ユーザーが TRM 製品や TRM 製品ライフサイクルの承認を要求すると、メール通知が承認者に送信されます。承認者は、エンタープライズアーキテクトグループに属しています。

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [要注意] セクションで、[自分の承認] タブを選択します。
3. 製品要求番号を選択して開きます。
4. [承認] または [却下] を選択します。
   要求された TRM フェーズ、カテゴリ、ビジネスの根拠などの要求の詳細を編集して [保存] を選択することもできます。

タスクの結果
要求者は、承認または却下のメール通知を受け取ります。

関連情報
での テクノロジー参照モデル の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボードの操作

エンタープライズアーキテクチャワークスペースダッシュボードには、組織のビジネスポートフォリオとアプリケーションポートフォリオの概要が表示されます。アプリケーションポートフォリオ、テクノロジーポートフォリオ、情報ポートフォリオなどのさまざまなポートフォリオに従って配置されています。

エンタープライズアーキテクトは、インタラクティブフィルターを使用して、ポートフォリオのビジネスアプリケーションについてさまざまなグラフィカルなレポートを生成します。円グラフのスライスまたはグラフバーを選択して特定のページを開き、そのカテゴリのレコードリストを表示できます。円グラフのスライスを非表示または表示するには、その色付きの凡例を選択します。[リフレッシュ] ボタンを使用して、円グラフの結果を更新します。

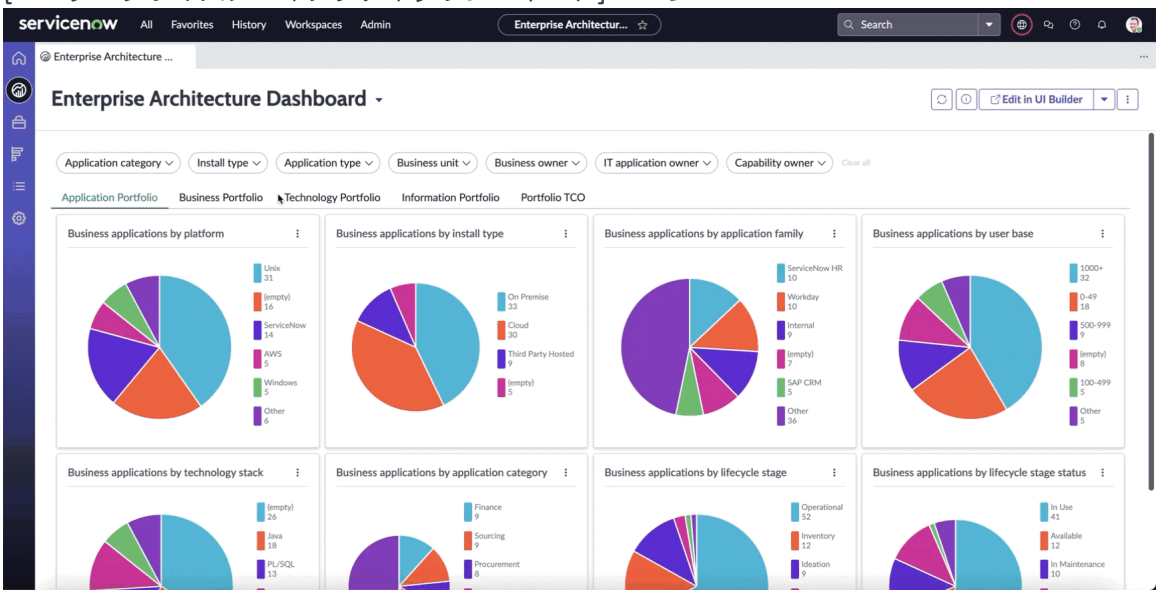
エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
エンタープライズアーキテクチャ アナリスト - ダッシュボードを作成、構成、共有	sn_apm.apm_analyst
エンタープライズアーキテクチャ ユーザー - ダッシュボードを表示	sn_apm.apm_user

自動翻訳

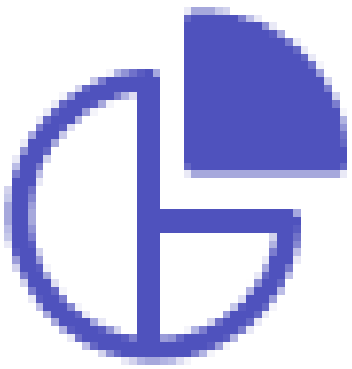
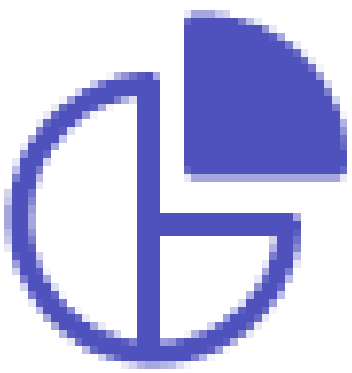
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[エンタープライズアーキテクチャダッシュボード] ページ



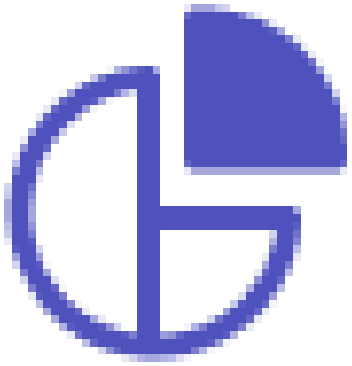
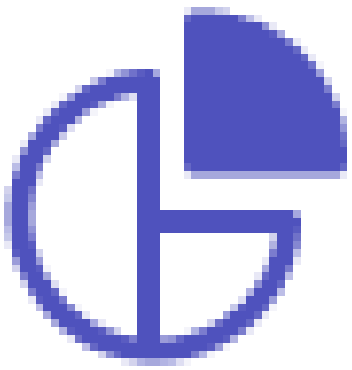
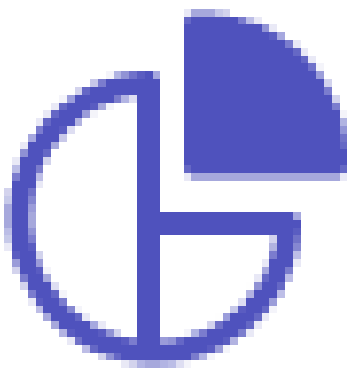
データの可視化

ダッシュボードには、次の可視化が含まれています。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ
アプリケーションポートフォリオ	Business applications by platform (プラットフォーム別のビジネスアプリケーション)	円グラフ 
アプリケーションポートフォリオ	Business application by install type (インストールタイプ別のビジネスアプリケーション)	円グラフ 

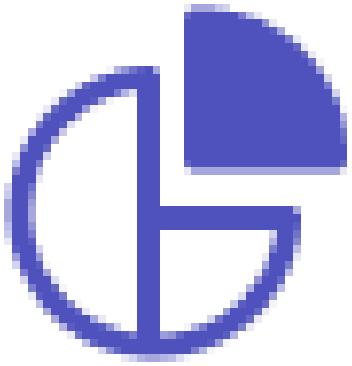
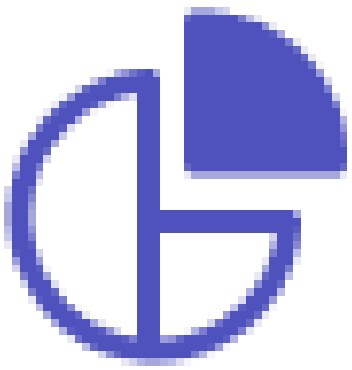
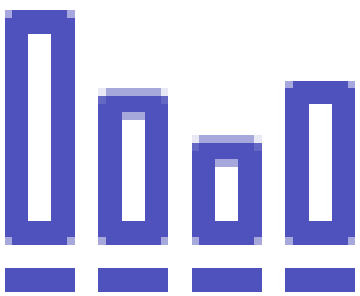
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ
アプリケーションポートフォリオ	アプリケーションファミリー別のビジネスアプリケーション	円グラフ 
アプリケーションポートフォリオ	Business application by user base (ユーザーベース別のビジネスアプリケーション)	円グラフ 
アプリケーションポートフォリオ	Business applications by technology stack (テクノロジースタック別のビジネスアプリケーション)	円グラフ 
アプリケーションポートフォリオ	Business applications by application category (アプリケーションカテゴリ別のビジネスアプリケーション)	円グラフ 

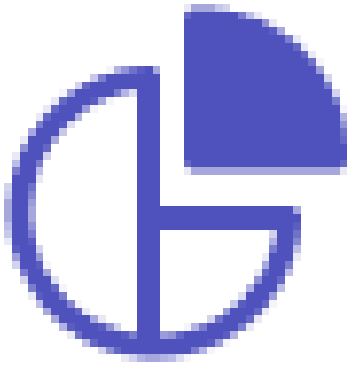
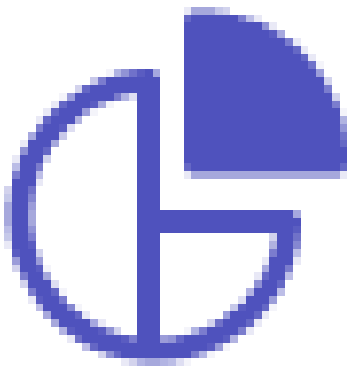
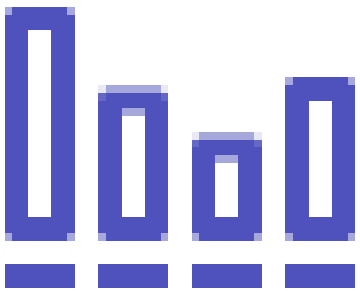
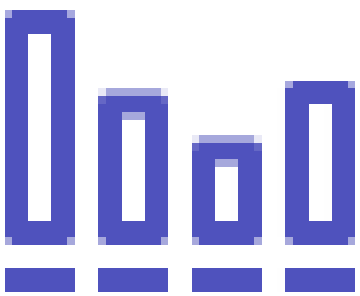
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ
アプリケーションポートフォリオ	Business application by lifecycle stage (ライフサイクルステージ別のビジネスアプリケーション)	円グラフ 
アプリケーションポートフォリオ	Business application by lifecycle stage status (ライフサイクルステージステータス別のビジネスアプリケーション)	円グラフ 
アプリケーションポートフォリオ	Digital interfaces by business applications (ビジネスアプリケーション別のデジタルインターフェイス)	円グラフ 
ビジネスポートフォリオ	低スコアのビジネス機能	棒グラフ 

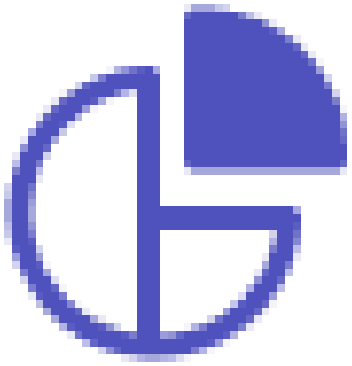
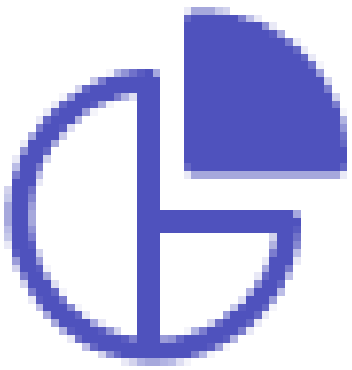
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ
テクノロジーポートフォリオ	TRM products by TRM phase (TRM フェーズ別の TRM 製品)	円グラフ 
テクノロジーポートフォリオ	Approved software counts by TRM category (承認済み TRM カテゴリ別のソフトウェア数)	円グラフ 
テクノロジーポートフォリオ	Top 10 business applications with highest TRM technical debt (TRM 技術的負債が最も高い上位 10 のビジネスアプリケーション)	棒グラフ 
テクノロジーポートフォリオ	Top 10 business applications with normalized TPM risk (TPM リスクが正規化された上位 10 のビジネスアプリケーション)	縦棒グラフ 

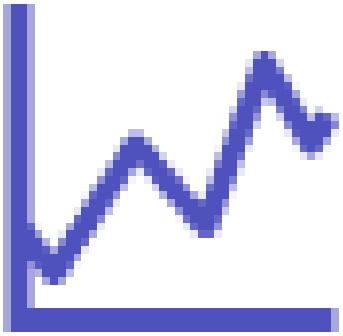
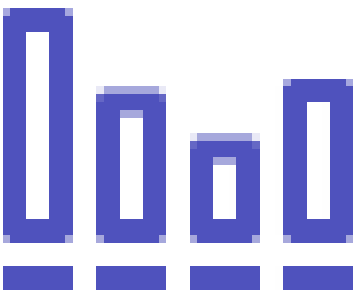
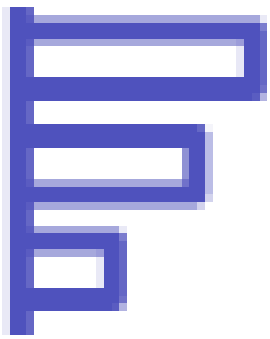
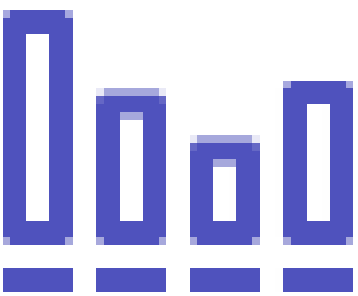
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ
情報ポートフォリオ	Business applications by data classification (データ分類別のビジネスアプリケーション)	円グラフ 
情報ポートフォリオ	Information objects by data domain (データドメイン別の情報オブジェクト)	円グラフ 
[Portfolio TCO (ポートフォリオ TCO)]	Business application TCO for FY:Q (Current quarter) (FY:Q (現在の四半期) のビジネスアプリケーションの総所有コスト (TCO))	サマリー 
	Business application TCO for FY:Q (Previous quarter) (FY:Q (前四半期) のビジネスアプリケーションの総所有コスト (TCO))	サマリー 

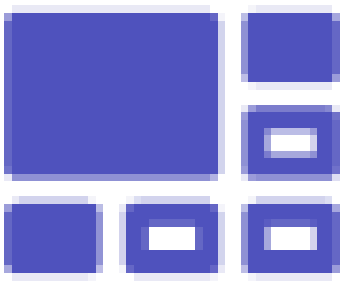
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ
	Business application TCO trend for year (ビジネスアプリケーションの年間総所有コスト (TCO) の傾向)	線グラフ 
	Business application TCO by application category (アプリケーションカテゴリ別のビジネスアプリケーションの総所有コスト (TCO))	縦棒グラフ 
	Business application TCO by application planned disposition for FY:Q (Current quarter) (FY:Q (現在の四半期) のアプリケーションの計画的な処分別のビジネスアプリケーションの総所有コスト (TCO))	水平棒グラフ 
	TCO スコア別のビジネスアプリケーション	縦棒グラフ 

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ名	可視化タイトル	可視化タイプ
	FY:Q (現在の四半期) の原価費目で予定されている処分別のビジネスアプリケーションの総所有コスト (TCO)	ヒートマップ 
	FY:Q (現在の四半期) のコストが最も高い上位 10 件のビジネスアプリケーション	リスト 

注:

テクノロジーポートフォリオ管理 (sn_apm_tpm) プラグインと エンタープライズアーキテクチャ - TRM (snc.apm_trm) プラグインの両方が非アクティブである場合、[テクノロジーポートフォリオ] タブは表示されません。

注:

- すべての金銭的価値は単一の通貨タイプで表示されます。通貨換算レートは、通貨テーブル (fx_currency.list) に含まれています。

  通貨タイプは、ログインした地理的な場所に基づいて決定されます。たとえば、米国から EA ワークスペースにログインしたことがシステムによって検出された場合、表示されるデフォルトの通貨は USD になります。

- ウィジェットに表示される会計期間は、*com.glide.fiscal_calendar.fiscal.unit* プロパティによって決まります。会計期間を設定するには、「TCO ダッシュボードの会計期間プロパティの期間を設定する」を参照してください。

可視化にカーソルを合わせるか選択して、より多くのデータを表示できます。

次のフィルターを使用して、ダッシュボードページの結果を絞り込みます。

- アプリケーションカテゴリ
- インストールタイプ
- アプリケーションタイプ
- 事業部門

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 事業主
- IT アプリケーションオーナー
- 機能オーナー

ダッシュボードは、更新アイコン ( を使用して手動で更新できます。

アプリケーションアセスメントダッシュボードの操作

アプリケーションアセスメントダッシュボードは、アプリケーションの完全なビューを提供するレスポンシブダッシュボードです。

ダッシュボードのウィジェットは、経時的なデータを可視化し、ビジネスプロセスの分析や改善が必要な領域の特定に役立ちます。スプライングラフでは、会計期間中の異なる四半期における、アプリケーションインジケーターの正規化値に対する傾向を確認できます。

アプリケーションアセスメントダッシュボードには事前構成済みのレポートが用意されています。これらのレポートは要件に応じて構成することもできます。

ダッシュボードでデータをフィルタリングし、さまざまなインジケーターやインジケータースコアを共有することもできます。

ダッシュボードには、傾向の分析に役立つ次のウィジェットが用意されています。

- 顧客満足度の傾向:アプリケーションファミリーに属するさまざまなアプリケーションに関連付けられた経時的な顧客満足度のレベル。正規化値は、アプリケーションの重み付けの最大値と最小値の計算によって導き出されます。
- 使用傾向:経時的なアプリケーションの使用状況。
- ビジネス価値の傾向:経時的なアプリケーションのビジネス価値。
- 技術的リスクの傾向:アプリケーションが時間の経過とともに抱える可能性のある技術的リスク。
- 変更の合計数の傾向:経時的にアプリケーションに加えられた変更の合計。

次のフィルターを使用して、ダッシュボードページの結果を絞り込みます。

- アプリケーションカテゴリ
- ビジネスプロセス
- 事業部門

フィルターを適用すると、ダッシュボード全体で利用可能なすべてのウィジェットにフィルター基準が適用されます。

ダッシュボードは、更新アイコン ( を使用して手動で更新できます。

アプリケーションアセスメントダッシュボードを使用したアプリケーションのパフォーマンスの表示

アプリケーションアセスメントダッシュボードを使用して、ビジネスアプリケーションのパフォーマンスに関する概要レポートを表示します。

始める前に

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでアプリケーションアセスメントダッシュボードを表示するにはエンタープライズアーキテクチャワークスペースバージョン 3.1.0 が必要です。

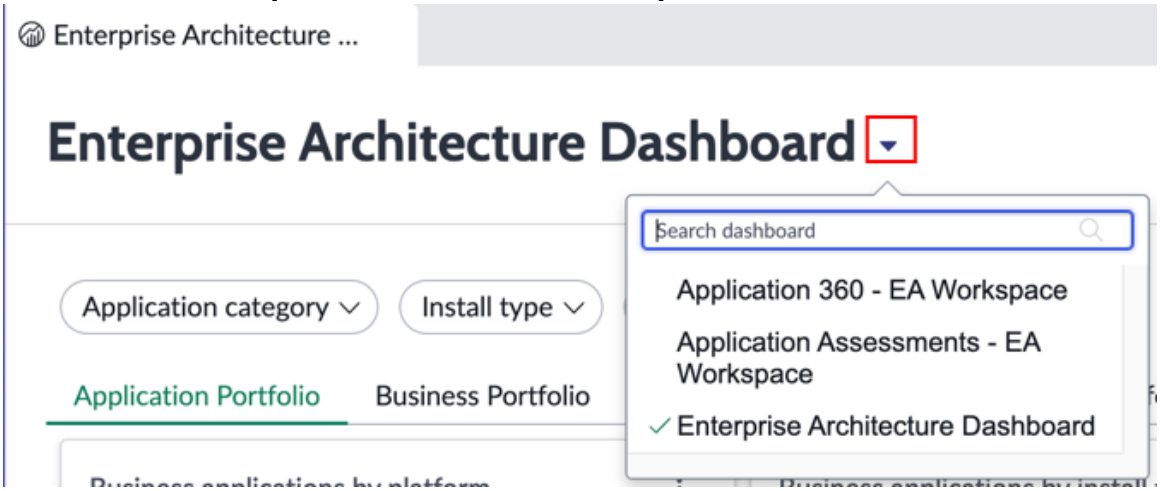
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. アプリケーションダッシュボードアイコン ( )を選択して、[エンタープライズアーキテクチャワークスペースダッシュボード] ページを開きます。
3. [ダッシュボードの変更] アイコン ( ) を選択した後、[アプリケーションアセスメント] ダッシュボードページを開き、[アプリケーションアセスメント] を選択します。



4. [アプリケーションカテゴリ]、[ビジネスプロセス]、および [事業部門] リストからオプションを選択して、スプライングラフのデータをフィルタリングします。

> **注:** デフォルトでは、すべてのアプリケーションのスコアがウィジェットに表示されます。アプリケーション名を選択して、スコアを非表示にすることができます。

でのアプリケーション **360** ダッシュボードの操作 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

アプリケーション 360 ダッシュボードはレポートツールとして機能し、 パフォーマンスアナリティクス を使用して、どのビジネスアプリケーションに焦点を当てて注意する必要があるかを特定することで、意思決定アプローチを提供します。

アプリケーション 360 ダッシュボードは、インジケータースコアを分析し、効果的な意思決定を実行するのに役立ちます。

[ビジネスアプリケーション] リストから、パフォーマンスを監視するビジネスアプリケーションを選択できます。

アプリケーション 360 ダッシュボードには、次のセクションが含まれています。

全体的なアプリケーションスコア:会計期間の全体的なアプリケーションスコアを表示します。

アプリケーションインジケータースコア:選択した会計期間のさまざまなインジケーターの傾向と分布を表示します。[ブレークダウン] リストを使用して、次のレベルで傾向と分布の詳細を表示できます。

- アプリケーションプロファイルインジケーター
- ビジネスアプリケーション
- 会計期間

ダッシュボードは、更新アイコン ( )を使用して手動で更新できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Application 360 ダッシュボードでのパフォーマンスの監視

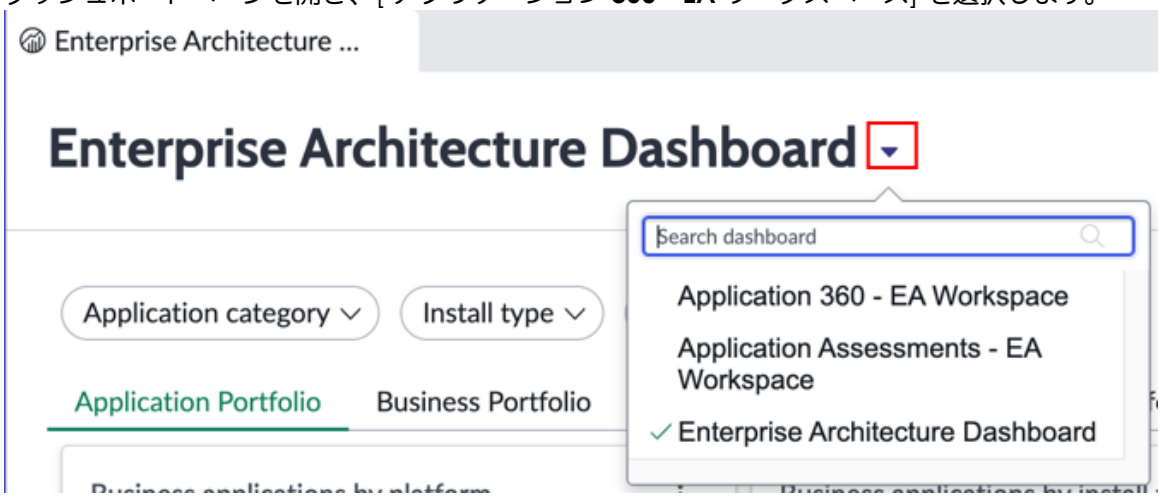
アプリケーション 360 ダッシュボードを使用してインジケータースコアを分析し、注意が必要なビジネスアプリケーションを特定します。

始める前に
エンタープライズアーキテクチャワークスペースで [アプリケーション 360 - EA ワークスペース] ダッシュボードを表示するにはエンタープライズアーキテクチャワークスペースバージョン 3.1.0 が必要です。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. アプリケーションダッシュボードアイコン (を選択して、[エンタープライズアーキテクチャワークスペースダッシュボード] ページを開きます。
3. [ダッシュボードの変更] アイコン ([を選択して [アプリケーション 360 - EA ワークスペース] ダッシュボードページを開き、[アプリケーション **360 - EA** ワークスペース] を選択します。



4. [ビジネスアプリケーション] リストから、インジケーターの詳細を分析するビジネスアプリケーションを選択します。
5. [ブレークダウン] リストから、傾向と分布の詳細を表示するブレークダウンのタイプを選択します。

ポートフォリオ概要と健全性

プロファイルの概要を取得し、ポートフォリオの健全性を監視します。

ポートフォリオ概要

[ポートフォリオ概要] セクションには、ポートフォリオの概要がさまざまなカードに番号形式で表示されます。更新ボタンを使用して、最新の結果を取得できます。番号をクリックすると、完全なリストが表示されます。

次のカードが表示されます：

- ビジネスアプリケーション
- ビジネス機能
- 情報オブジェクト
- 高リスクのビジネスアプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 低スコアのビジネスアプリケーション：四半期ごとの会計期間における低スコアのビジネスアプリケーションの数。
- TRM 技術的負債のあるビジネスアプリケーション：TRM のフェーズと標準に沿っていないビジネスアプリケーションの数。
- インストールタイプ別のビジネスアプリケーション

次のフィルターを使用して、[ポートフォリオ] および [健全性] セクションの結果を絞り込みます。

- アプリケーションカテゴリ
- インストールタイプ
- アプリケーションタイプ
- 事業部門
- 事業主
- IT アプリケーションオーナー
- 機能オーナー

ポートフォリオ健全性

[ポートフォリオ健全性] セクションには、ポートフォリオの健全性が表示されます。さまざまなカードでビジネスアプリケーションの数や割合などの詳細を確認できます。番号または割合をクリックすると、完全なリストが表示されます。フィルターを使用して結果を絞り込むことができます。

次のカードが表示されます：

- 機能のないビジネスアプリケーション
- オーナーのいないビジネスアプリケーション：IT アプリケーションオーナーおよびビジネスオーナーがアサインされていないビジネスアプリケーションの数と割合。
- 未評価のビジネスアプリケーション
- アプリケーションサービスのないビジネスアプリケーション：アプリケーションサービスに関連していないビジネスアプリケーションの数と割合。ビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスは 2 つの異なる構成アイテムであり、CI 関係を通じて関連付ける必要があります。
- アーキテクチャアーティファクトのないビジネスアプリケーション：アーキテクチャアーティファクトに関連付けられていないビジネスアプリケーションの数と割合。ビジネスアプリケーションとのアーキテクチャアーティファクトの関連付けにより、アーティファクトと関連エンティティ間の関係が作成されます。
- ビジネスアプリケーションのないビジネス機能
- 未評価のビジネス機能

次のカードは、 デジタル Integration Management プラグイン (com.snc.apm_di) がインストールされている場合にのみ表示されます。

- デジタル統合のないデジタルインターフェイス
- デジタルインターフェイスのないビジネスアプリケーション

ビジネスポートフォリオの管理

エンタープライズアーキテクトは、機能階層を表示し、機能を管理し、機能にビジネスアプリケーションをアサインします。

ビジネスポートフォリオページには、ビジネス機能の階層マップが表示されます。定義されたビジネス機能の数と、これらの機能をサポートするビジネスアプリケーションの数を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスケイパビリティは、組織がビジネスアクティビティを正常に実行し、ビジネス目標を達成する能力です。ビジネス機能マッピングを使用して、ビジネス機能とビジネスアプリケーションの間の CI 関係を確立します。[ビジネスケイパビリティ階層] ページには、次のアイテムが含まれています。

- 機能：すべてのビジネス機能の合計数。
- リーフ機能：一覧表示されているビジネス機能のすべての階層における、リーフレベル (独自の子機能を持たない) 機能の合計数。
- 評価済み：評価されたビジネス機能の合計数。
- 未評価：評価されていない機能の合計数。
- 主要なギャップ:スコアが 1 ～ 4 の範囲の機能の合計数。
- 中程度のギャップ:スコアが 4 ～ 7 の範囲の機能の合計数。
- ギャップなし:スコアが 7 ～ 10 の範囲の機能の合計数。

機能またはサブ機能を作成し、ビジネスアプリケーションをその機能に割り当てることができます。

ビジネス機能はインジケーターによって評価され、ビジネス機能をサポートするビジネスアプリケーションに関する戦略的な意思決定に使用されるインジケータースコアを提供します。ビジネス機能をスコアでソートできます。

注: デフォルトでは、現在の会計年度のビジネスケイパビリティスコアが表示されます。会計年度フィルターを使用して会計年度の値を変更できます。

デフォルトでは、レベル 0 の階層内の最初のビジネスケイパビリティが展開され、レベル 1 の直接の子ケイパビリティが表示されます。後続のビジネス機能と子機能については、展開アイコン (を選択して展開し、各レベルでサブ機能を表示します。各親機能の下にあるサブ機能の合計数、各機能に直接関連するビジネスアプリケーションの合計数、およびそれらの機能スコアを確認できます。同様に、親機能を展開すると、そのレベルでサブ機能に直接関連するサブ機能の数とビジネスアプリケーションの合計数が表示されます。

ビジネス機能の追加

機能階層マップにビジネス機能を追加します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン ( ) を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. [新機能] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「ビジネス機能の新規レコードフォーム」を参照してください。
5. **[Create** (作成)] を選択します。
6. 作成した機能の子機能を作成します。
   a. 機能の階層 ID 右クリックします。
   b. [サブ機能を作成] を選択します。

機能の達成に向けたデマンドを作成

デマンドをステップとして使用して、ケイパビリティのコスト削減の機会を特定し、ターゲットを達成します。デマンドアクションに関連付ける戦略によって、アプリケーションの戦略が決まります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン ( を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. 行コンテキストメニューアイコン (⋮ を選択し、[デマンドの作成] を選択します。
4. [新しいタブで開く] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「デマンドフォーム」を参照して ください。
6. [保存] を選択してレコードを保存し、同じフォームに留まってデマンドに詳細を追加します。

ビジネス機能の階層を更新

階層 ID をビジネス機能に割り当てます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン () をクリックして、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. [階層を更新] を選択します。
   スケジュール設定済みジョブが送信され、ビジネス機能階層が更新されます。更新された階層を表示するには、更新ボタンを使用します。

タスクの結果
新しく作成された機能に階層 ID が割り当てられます。

関連情報

- すべてのケイパビリティインジケーターを表示
- ケイパビリティインジケーターの追加または編集

サブ機能の作成

サブ機能を機能階層マップに追加します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン ( を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. 行コンテキストメニューアイコン (⋮) を選択し、[サブ機能の作成] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「サブケイパビリティの作成フォーム」を参照してください。
5. **[Create** (作成)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションのアサイン

ビジネスアプリケーションを機能にアサインして、機能をアプリケーションに関連付けます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン (を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. 行コンテキストメニューアイコン (を選択し、[ビジネスアプリケーションのアサイン] を選択します。
4. ビジネスアプリケーションを選択します。
5. [アサイン] を選択します。

階層から機能を削除する

不要になった機能を削除します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン ( ) をクリックして、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. 削除する機能の [階層 ID] を右クリックし、[削除] を選択します。
4. 削除を確定します。

機能からのビジネスアプリケーションのアサイン解除

機能からビジネスアプリケーションのアサインを解除できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン ( ) を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. 関連するビジネス機能の横にある行を展開アイコン (
4. 関連するビジネスアプリケーションの横にある行コンテキストメニューアイコン (を選択し、[ビジネスアプリケーションのアサイン解除] を選択します。

ビジネス機能のロードマップを表示する

ビジネスケイパビリティのロードマップを表示し、組織の戦略に合わせて調整します。ポートフォリオ計画を作成すると、ビジネスケイパビリティの作業の計画、優先順位付け、およびロードマップに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

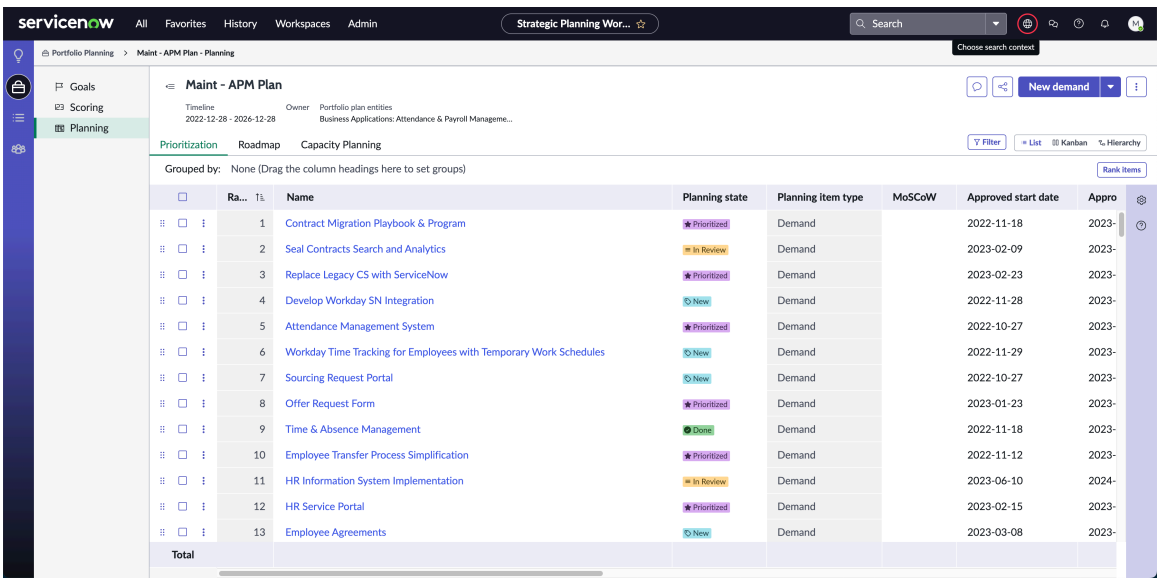
始める前に
Strategic Planning プラグイン (com.sn_apw_advanced) (v4.0.2 以降) がインストールされていることを確認します。

必要なロール:sn_apm.apm_user および sn_align_core.apw_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ビジネスポートフォリオ] アイコン ( )を選択して、[ビジネス機能階層] ページを開きます。
3. 行コンテキストメニューアイコン ( )を選択し、[ロードマップを表示] を選択します。
戦略的計画ワークスペースの [計画] ページに移動します。ビジネス機能、サブ機能、および関連するビジネスアプリケーションに関連付けられているすべての計画項目を含む一時的なポートフォリオ計画が Strategic Planning Workspace (戦略的計画ワークスペース) に作成されます。

   注: 一時的なポートフォリオ計画はプレビュー目的のみに使用されます。ビジネス機能の作業を計画し、優先順位を付け、ロードマップを作成するには、一時的なポートフォリオ計画をコピーするか、作成します。



4. オプション: ビジネスケイパビリティのポートフォリオ計画をコピーして、ビジネスケイパビリティの作業を計画、優先順位付け、およびロードマップを作成します。

   a. ポートフォリオ計画ヘッダーから、その他のアクションアイコン ( ) を選択し、「 ポートフォリオ計画をコピー 」を選択します。

   b. [Copy portfolio plan (ポートフォリオ計画のコピー)] ウィンドウで、詳細を入力します。
      i. [ポートフォリオ計画名] フィールドにポートフォリオ計画の名前を入力します。
      ii. (オプション) [同じユーザーおよびグループと共有] オプションを選択して、ポートフォリオ計画のユーザーにアクセス権を付与します。

   c. [**Confirm** (確認)] を選択します。

   または、ビジネスケイパビリティレンズを使用して、戦略的計画ワークスペース (SPW) で独自のポートフォリオ計画を作成することもできます。詳細については、「戦略的計画でのポートフォリオ計画の作成 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

TPM および TRM ライフサイクルのタイムラインのガントビュー

エンタープライズアーキテクチャワークスペースのガントチャートは、ビジネスアプリケーションとそれに関連するアプリケーションサービス (ソフトウェア製品やハードウェアモデルなど) のテクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) およびテクノロジー参照モデル (TRM) タイムラインを視覚的に表現したものです。

TPM および TRM アプリケーションのタイムラインは、ガントチャートの次のタイムラインビューで確認できます。

- 日
- 週
- 月
- 四半期
- 年
- **Autofit** (自動調整)

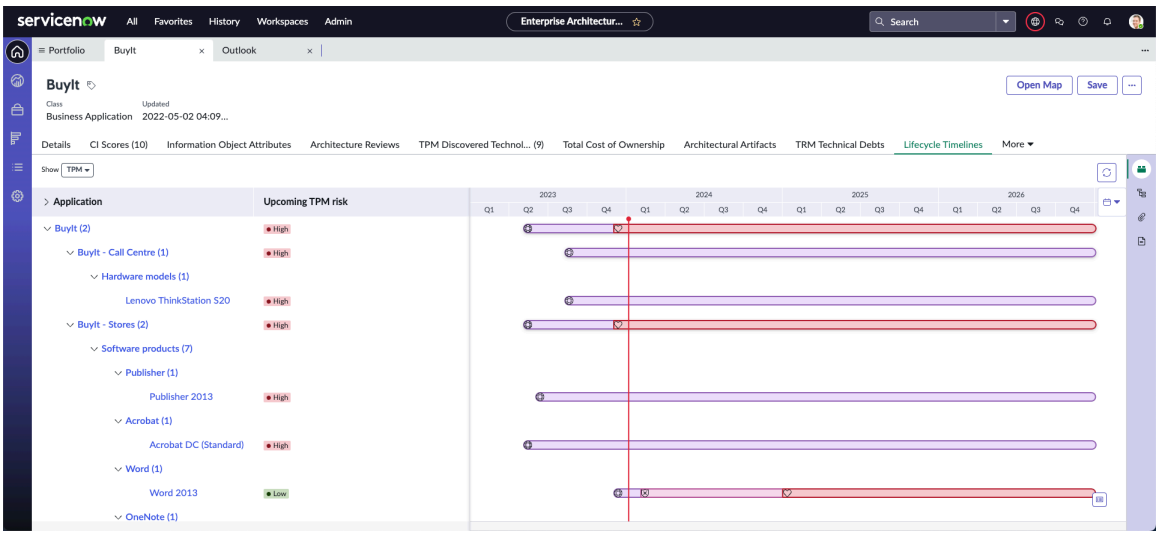
> **注:** デフォルトでは、[自動調整] が選択されています。

[タイム スケールの選択] ボタン ( を選択して、ビューを変更します。

ガントチャートの TPM ライフサイクルタイムライン

テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の場合、ビジネスアプリケーションとそれに関連するアプリケーションサービス (関連するハードウェアモデルとソフトウェア製品) は階層構造で表示されます。アプリケーションサービスの対応するタイムラインは、ガントチャートに棒として表示されます。

TPM ガントチャートビュー



> **注:** ソフトウェア製品のライフサイクルデータは、ソフトウェア資産管理 (SAM) Foundation またはソフトウェア資産管理 (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。

次の TPM フェーズ関連情報が表示されます。

- サポート終了
- 拡張サポート終了

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- サポート終了

  ガントチャートの個々のバーをポイントして、フェーズ情報を表示できます。

[アプリケーション] 列の値は、TPM 検出済みテクノロジーテーブル (sn_apm_tpm_discovered_technology) から入力されます。

特定のソフトウェア製品のすべてのバージョンがグループ化されます。製品名、製品バージョン、および製品エディションの一意の組み合わせを持つソフトウェア製品ごとに、ライフサイクルレコードが作成され、タイムラインがガントチャートに表示されます。

ライフサイクル終了日の計算ロジック

TPMライフサイクルフェーズごとに、1 つのフェーズの終了日が次のフェーズの開始日になります。サポート終了、延長サポート終了、および提供終了の 3 つの TPM フェーズがあると仮定すると、それぞれのフェーズ終了日は次のようになります。

- サポート終了フェーズの終了日は、次のフェーズである延長サポートの終了の開始日と一致します。
- 延長サポートフェーズの終了日は、次のフェーズであるサポート終了の開始日と一致します。

たとえば、製品 A には、サポート終了と延長サポート終了の 2 つのTPMフェーズがあります。サポート終了フェーズの開始日は 2023 年 12 月 1 日で、延長サポート終了フェーズの開始日は 2023 年 12 月 30 日です。サポート終了フェーズのフェーズ終了日については言及されていません。このようなシナリオでは、 サポート終了 フェーズの終了日は 2023 年 12 月 30 日と見なされます。

TPM製品で利用可能なTPMフェーズが 1 つしかない場合、TPMフェーズのライフサイクル終了日は、システムプロパティ *sn_apm.endRangeofTPMLifecycle* で定義されている時間値を現在の日付に加算することによって計算されます。この時間値により、ガントチャートには既知のライフサイクル日付のみを表示できます。

たとえば、今日が 2023 年 12 月 1 日で、システムプロパティ *sn_apm.endRangeofTPMLifecycle* で定義されている終了日の値が現在の日付から 3 年後であるとします。この場合、フェーズの終了日は 2026 年 12 月 1 日になります。

アプリケーションサービスとビジネスアプリケーションのタイムライン

アプリケーションサービス (ソフトウェア製品とハードウェアモデルで構成される) には、ライフサイクルタイムラインが決定されています。ガントチャートでは、ソフトウェア製品とハードウェアモデルの最も早い TPM フェーズ開始日がロールアップされ、アプリケーションサービス全体の TPM フェーズ開始日が計算されます。つまり、ソフトウェア製品またはハードウェアモデルの最も早い TPM フェーズ開始日が、アプリケーションサービス全体の TPM フェーズ開始日と見なされます。

たとえば、すべてのハードウェアモデルとソフトウェア製品に、サポート終了、延長サポート終了、提供終了の TPM フェーズのライフサイクル日付があるとします。アプリケーションサービス A は、1 つのソフトウェア製品と 1 つのハードウェアモデルで構成されています。ソフトウェア製品のサポート終了開始日フェーズは 2023 年 12 月 1 日で、ハードウェアモデルのサポート終了開始日は 2023 年 12 月 15 日です。このシナリオでは、2023 年 12 月 1 日のソフトウェア製品のサポート終了開始日がそのアプリケーションサービスの TPM フェーズ開始日と見なされ、それに応じて、そのアプリケーションサービスのガントチャートバーは 2023 年 12 月 1 日から開始されます。

同様に、ビジネスアプリケーションの TPM フェーズの開始日は、関連するアプリケーションサービスの最も早い TPM フェーズの開始日と見なされます。たとえば、アプリケーション X に A と B の 2 つのアプリケーションサービスがあるとします。アプリケーションサービス A のサポート終了開始日は 2023 年 12 月 1 日で、アプリケーションサービス B のサポート終了開始日は 2023 年 12 月 12 日です。このシナリオでは、アプリケーションサービス A のサポート終了開始日である 2023 年 12 月

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1 日がビジネスアプリケーションの TPM フェーズ開始日と見なされ、そのビジネスアプリケーションのガントチャートバーは 2023 年 12 月 1 日から開始されます。

TPM リスク計算

TPMビューには、ライフサイクルの日付に基づいて、アプリケーションサービスに関連付けられた今後のTPMリスクも表示されます。アプリケーションサービスに関連付けられているリスクを計算するには、 *Populate Technology Lifecycle Risks* スケジュール済みジョブを実行します。詳細については、「TPM テクノロジーリスクを生成するジョブをスケジュールする」を参照してください。テクノロジーライフサイクルリスクの詳細については、「 技術リスクの計算」を参照してください。

ハードウェアモデルとソフトウェア製品のリスクスコアは、TPM テクノロジーリスクテーブル (sn_apm_tpm_technology_risk) から導出されます。リスク値はアプリケーションサービスレベルにロールアップされます。単一のアプリケーションサービスに関連するハードウェアモデルとソフトウェア製品の最も高いリスク値が、そのアプリケーションサービスのリスク値と見なされます。たとえば、アプリケーションサービス A が 2 つのハードウェアモデルと 3 つのソフトウェア製品で構成されているとします。2 つのハードウェアモデルのリスクは中程度ですが、2 つのソフトウェア製品のリスクは低です。ただし、1 つのソフトウェア製品には高いリスクがあります。このシナリオでは、アプリケーションサービスのリスク値は高いと見なされます。

同様に、アプリケーションサービスのリスク値はビジネスアプリケーションレベルにロールアップされます。ビジネスアプリケーションに関連付けられたアプリケーションサービスの最大リスク値は、そのビジネスアプリケーションのリスク値と見なされます。たとえば、ビジネスアプリケーション X に 3 つのアプリケーションサービスが関連付けられているとします。3 つのアプリケーションサービスのリスク値は、それぞれ高、中、低です。このようなシナリオでは、ビジネスアプリケーションのリスク値は高いと見なされます。

色分け

ガントチャートのバーの色は、 TPM フェーズに基づいています。TPMフェーズとそれに対応する色は次のとおりです。

色	TRM フェーズ
	サポート終了
	拡張サポート終了
	サポート終了

自動翻訳

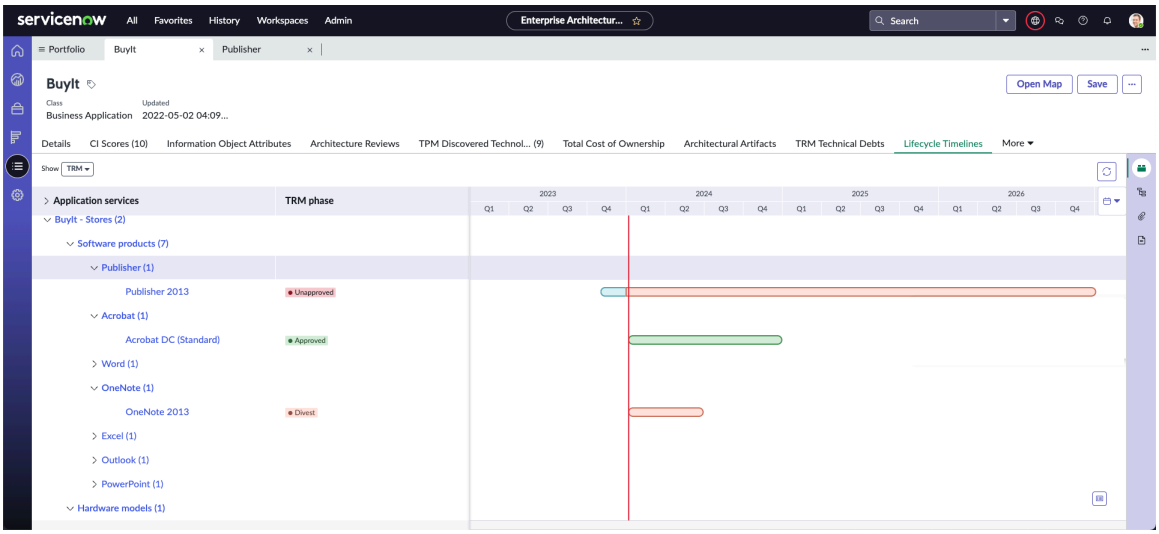
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[今後の TPM リスク] 列で各TPM リスクの種類に関連付けられている色を表示するには、凡例ボタン (

ガントチャート上の **TRM** ライフサイクルタイムライン

テクノロジー参照モデル (TRM) の場合、アプリケーションサービス (ハードウェアモデルとソフトウェア製品) は、TPM ビューと同様の階層構造で表示されます。アプリケーションサービスの対応するライフサイクルタイムラインが棒グラフでガントチャートに表示されます。また、ワイルドカードバージョンを使用するライフサイクルのデータも表示されます。TRM ワイルドカードバージョンは「*」で終わります。

TRM ガントチャートビュー



TRMビューでは、ライフサイクルはアプリケーションサービスまたはビジネスアプリケーションに集計されません。

次の TRM 関連情報が表示されます。

- **TRM** フェーズ
- 開始日
- 終了日

ガントチャートの個々のバーをポイントして、フェーズ情報を表示できます。

[アプリケーションサービス] 列は、TPM 検出済みテクノロジーテーブル (sn_apm_tpm_discovered_technology) から入力されます。

TRM フェーズステータス

TRMビューには、ソフトウェア製品またはハードウェアモデルのTRMフェーズのステータスも表示されます。TRMフェーズ列は、TRM 製品ライフサイクルテーブル (sn_apm_trm_standards_product_lifecycle) から入力されます。

アプリケーションサービスで利用可能な TRM 製品ライフサイクルデータがない場合、そのサービスの TRM フェーズは [未評価] と表示されます。

また、 TRM 製品フェーズに 承認済み生産 チェック ボックスがない場合 (**Enterprise Architecture Workspace** > セットアップ > **TRM** フェーズ) が選択されている場合、[TRM フェーズ] 列には、その TRM フェーズが [未承認] であるアプリケーションサービスのステータスが表示されます。TRMフェーズを承認する方法の詳細については、「TRM フェーズの追加または編集」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRMフェーズが [本番承認済み] としてマークされ、フェーズ開始日が既に過ぎている場合にのみ、アプリケーションサービスのTRMフェーズが [TRM フェーズ] 列に表示されます。たとえば、 TRM フェーズの 売却 は [生産承認済み] としてマークされ、開始日は 2023 年 1 月 12 日です。現在の日付は 2023 年 10 月 12 日です。このようなシナリオでは、 TRM フェーズに関連付けられているすべてのアプリケーションサービスのフェーズステータスは、[TRM フェーズ] 列で [売却] になります。

TRMフェーズおよび標準に準拠していないTRM製品がある場合、TRM技術的負債が TRM 技術的負債 (sn_apm_trm_standards_technical_debt) テーブルに作成されます。TRM技術的負債は 2 つのレベルで作成されます。次の表には、 TRM 技術的負債とそれに関連するレベルに関する情報が含まれています。

TRM 製品	**TRM** フェーズ	**TRM** レベル	理由	説明
該当なし	該当なし	製品	ソフトウェアが TRM で定義されていません。	TRM 製品は利用できません。
TRM 製品名	TRM 製品フェーズ	製品	ソフトウェアは本番用に承認されていません。	TRM 製品は本番で承認されていません。
TRM 製品名	該当なし	製品ライフサイクル	ソフトウェアバージョンが TRM 製品ライフサイクルで定義されていません。	TRM製品で利用可能なTRMライフサイクルはありません。
TRM 製品名	該当なし	製品ライフサイクル	ソフトウェアバージョンが TRM 製品ライフサイクルで定義されていません。	TRM 完全なバージョン情報を含むライフサイクルは利用できません。
TRM 製品名	該当なし	製品ライフサイクル	ソフトウェアバージョンが TRM 製品ライフサイクルで定義されていません。	TRM バージョン情報を含むライフサイクルは利用できません。
TRM 製品名	該当なし	製品ライフサイクル	ソフトウェアバージョンが TRM 製品ライフサイクルで定義されていません。	TRM バージョン情報を含むライフサイクルは利用できません。
TRM 製品名	ライフサイクルフェーズ	製品ライフサイクル	ソフトウェアバージョンは本番用に承認されていません。	TRM 完全なバージョン情報を含むライフサイクルは本番環境で承認されていません。
TRM 製品名	該当なし	製品ライフサイクル	ソフトウェアバージョンは本番用に承認されていません。	TRM フルバージョンのライフサイクルは、現在の日付では利用できません。
TRM 製品名	ライフサイクルフェーズ	製品ライフサイクル	ソフトウェアバージョンは本番用に	TRM バージョンおよびエディション情報のライフサイ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRM 製品	TRM フェーズ	TRM レベル	理由	説明
			承認されていません。	クルは本番で承認されていません。

TRM技術的負債の詳細については、「テクノロジー参照モデル (TRM) 技術的負債を管理する」を参照してください。

*Populate TRM technical debts in the EA Workspace*ジョブをスケジュールして、EA ワークスペース内のTRM技術的負債データを更新することができます。詳細については、「で TRM 技術的負債データを更新するスケジュール済みジョブの実行 EA ワークスペース」を参照してください。

ライフサイクル終了日の計算ロジック

TRM製品ライフサイクルの作成時に終了日を入力する必要はありません。

TRMライフサイクルフェーズごとに、1 つのフェーズの終了日が次のフェーズの開始日になります。たとえば、アプリケーションサービス A には、[売却] と [制約ありで承認] の 2 つのTRMフェーズがあります。売却フェーズの開始日は 2023 年 12 月 1 日で、制約付きで承認フェーズの開始日は 2023 年 12 月 30 日です。売却フェーズのフェーズ終了日については言及されていません。このようなシナリオでは、 売却 フェーズの終了日は 2023 年 12 月 30 日と見なされます。製品のライフサイクルの日付が重複している場合は、エラーメッセージが表示されます。

最後のフェーズの場合、終了日は、システムプロパティ *sn_apm.endRangeofTPMLifecycle* で定義されている時間値を現在の日付に加算することによって計算されます。たとえば、今日が 2023 年 1 月 12 日で、システムプロパティ *sn_apm.endRangeofTPMLifecycle* で定義されている終了日の値が現在の日付から 3 年後であるとします。その場合、フェーズの終了日は 2026 年 1 月 12 日になります。

アプリケーションサービスのタイムライン

TRM製品ライフサイクルのタイムラインバーがガントチャートに表示されます。ただし、ライフサイクルタイムラインのバーを表示するには、いくつかの基準を満たす必要があります。

- ソフトウェア製品:ソフトウェア製品の場合、TPM テクノロジーライフサイクルテーブル (sn_apm_tpm_technology_lifecycle) で定義されている特定のソフトウェア製品のTRM製品名および製品フルバージョンの値は、その製品のTRMライフサイクルの作成時に入力された **TRM** 製品およびバージョンの値と一致する必要があります。

  または、TPM テクノロジーライフサイクルテーブル (sn_apm_tpm_technology_lifecycle) で定義されている特定のソフトウェア製品のTRM製品名、バージョン、およびエディションの値は、その製品のTRMライフサイクルの作成時に入力された **TRM** 製品、バージョン、およびエディションの値と一致する必要があります。

- ハードウェアモデル:ハードウェアモデルの場合、そのアプリケーションサービスの TRM 製品ハードウェアモデル値は、そのアプリケーションサービスの TRM ライフサイクルの作成時に入力されたハードウェアモデル値と一致する必要があります。

TRM 製品の作成方法の詳細については、「 への TRM 製品の追加 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

TRM製品ライフサイクル要求の作成方法の詳細については、「TRM 製品ライフサイクルの追加」を参照してください。

TRM製品またはライフサイクル要求を承認または却下する方法の詳細については、「TRM 製品または製品ライフサイクル要求の承認または却下」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

色分け

TRM ライフサイクルタイムラインバーの色は、TRM フェーズステータスに基づいています。各 TRM フェーズステータスに関連付けられた色を表示するには、[凡例] ボタン (

要件に応じて TRM フェーズの色を変更することもできます。既存の TRM フェーズの色を変更する方法の詳細については、「TRM フェーズの追加または編集」を参照してください。

TPM と TRM のライフサイクルタイムラインをガントチャートで表示する

ガントチャートを使用して、 テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) および テクノロジー参照モデル (TRM) のライフサイクルタイムラインを表示および追跡します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

注: ソフトウェア製品のライフサイクルデータは、ソフトウェア資産管理 (SAM) Foundation またはソフトウェア資産管理 (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアプリケーション] の横にある行の展開アイコン (を選択し、[すべて] を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. TPMおよびTRMライフサイクルタイムラインを表示するビジネスアプリケーションを選択します。
6. [ライフサイクルタイムライン] タブが表示されない場合は、[その他] を選択します。
7. ライフサイクルタイムラインを選択します。
   ガントチャートは TPM に表示され、ビジネスアプリケーションとそのアプリケーションサービスが表示されます。

   注:

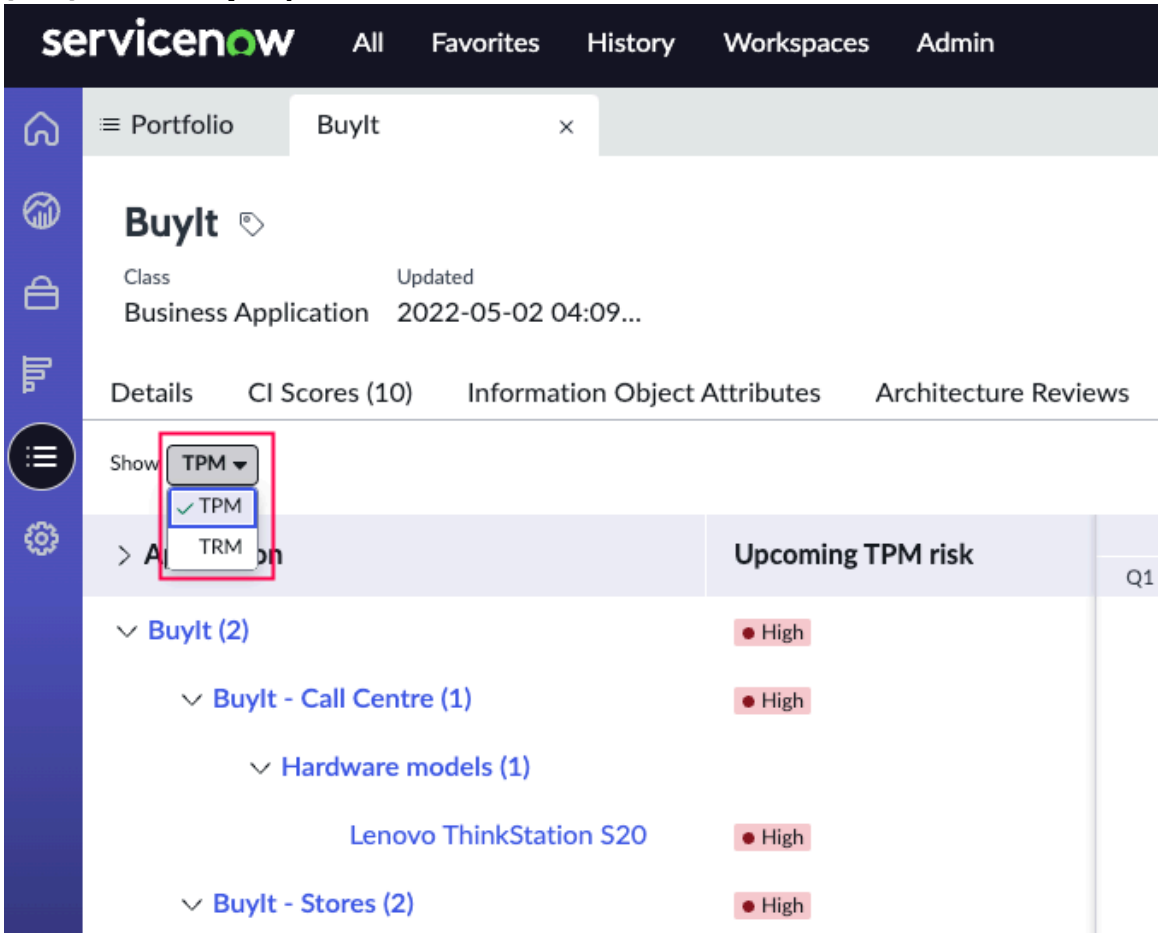
   デフォルトでは、 TPM ビューが表示されます。

8. ビジネスアプリケーションとそれに関連するアプリケーションサービスの横にある行を展開アイコン (を選択して、ガントチャートにライフサイクルタイムラインバーを表示します。
   または、[アプリケーション] 列ヘッダーの横にある展開アイコン (を選択することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [表示] リストから **[TRM]** を選択して、TRMビューを開きます。



ビジネスアプリケーションの統廃合

エンタープライズアーキテクトは、Application Rationalization (アプリケーションの統廃合) を使用してビジネスアプリケーションを評価できます。

Application Rationalization (アプリケーションの統廃合) の概要

カテゴリ内のすべてのビジネスアプリケーションを合理化し、投資、維持、移行、または廃止するかどうかを決定します。

[アプリケーションの統廃合] アイコン (を選択して、[アプリケーションの統廃合] ページに移動します。

Application Rationalization (アプリケーションの統廃合) を使用すると、次のタスクを実行できます。

- 複数のスコアに基づいてビジネスアプリケーションを分析する
- ビジネスアプリケーションのデマンドを作成する
- ビジネスアプリケーションの計画的な処分を設定する
- 既存のビジネスアプリケーションにライフサイクルの詳細を追加する

次のフィルターを使用して、ビジネスアプリケーションのリストを絞り込みます。

- 会計期間
- アプリケーションカテゴリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アプリケーションファミリ
- ビジネス機能

  注: このフィルターを適用すると、親機能の子機能に関連付けられているものも含め、すべてのビジネスアプリケーションが表示されます。

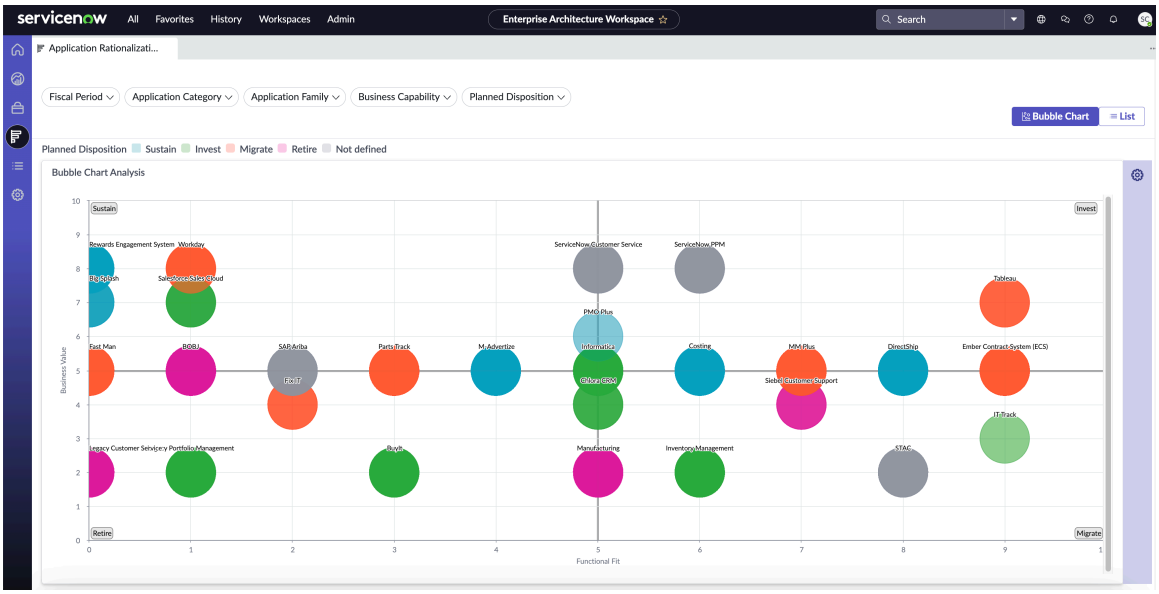
- 計画的な処分

すべてのビジネスアプリケーションをバブルチャートビューまたはリストビューで表示できます。

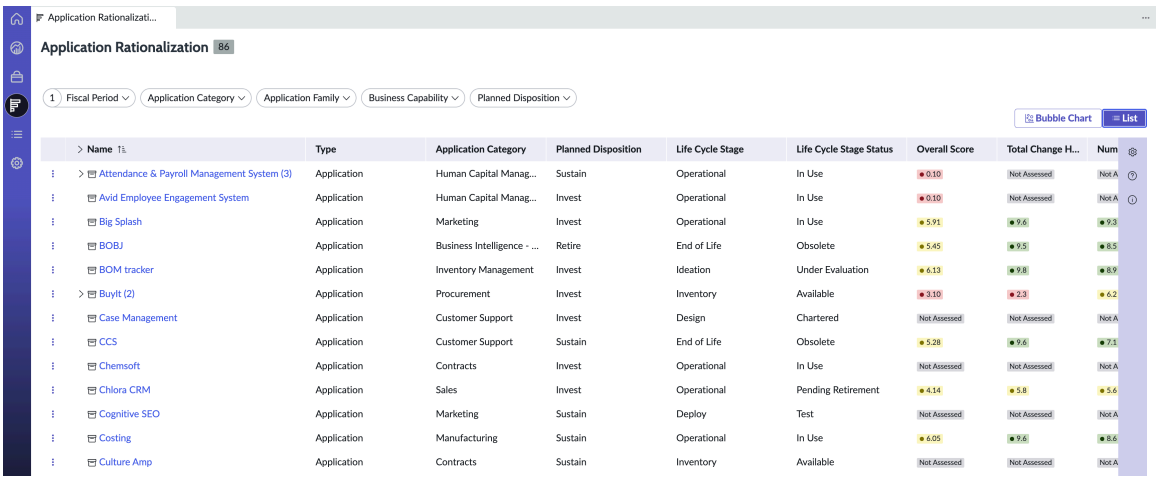
注:

[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です。

バブルチャートビュー



リストビュー



エンタープライズアーキテクチャワークスペース ホームページのアプリケーション合理化に関するインサイト

アプリケーションポートフォリオ管理のアプリケーションの合理化機能も、ビジネスアプリケーションのインサイトを提供します。インサイトカードを表示するには、次に移動します: ワークスペー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ス > **Enterprise Architecture Workspace** をクリックし、[インサイト] セクションを選択します。[Insights (インサイト)] カードには、Application Rationalization (アプリケーションの統廃合) から得られたスコアに基づく情報が表示されます。利用可能なインサイトカードは次のとおりです。

- 廃止のビジネスアプリケーションの候補:インジケータースコアに基づいて廃止に適している可能性があるビジネスアプリケーション。
- 移行の候補となるビジネスアプリケーション - インジケータースコアに基づく、移行に適している可能性があるビジネスアプリケーション。
- インジケータースコアに基づく投資に適している可能性のある投資ビジネスアプリケーションの候補ビジネスアプリケーション。
- 予定されている処分が一致しない候補のビジネスアプリケーション - 予定されている処分とインジケータースコアが一致しないビジネスアプリケーション。

特定のカードを選択すると、[Application Rationalization (アプリケーションの統廃合)] ページが表示され、選択内容に基づいて関連するビジネスアプリケーションデータが表示されます。

デフォルトでは、すべてのインジケータースコアは最新の会計期間に従って表示されます。最新の会計期間は、apm_app_indicator_score リストから取得されます。会計期間は、システムプロパティ *com.glide.fiscal_calendar.fiscal_unit* から導出されます。

注: メインの [アプリケーションの統廃合 (Application Rationalization)] ページに戻るには、[アプリケーションの統廃合に移動] を選択します。

Application Rationalization (アプリケーションの統廃合) のバブルチャートビュー

バブルチャートは、インジケーターのスコアに基づいてアプリケーションをさまざまな象限に配置するインタラクティブなグラフです。エンタープライズアーキテクトは、象限におけるビジネスアプリケーションの位置に基づいて、ビジネスアプリケーションへの投資、維持、移行、または廃止を決定できます。

バブルチャートを使用して、ビジネスアプリケーションのインジケータースコアを X 軸と Y 軸に表示し、バブルのサイズを指定します。これらのスコアを使用して、アプリケーションがビジネス戦略にどの程度適合しているかを測定し、アプリケーションに対するデマンドを作成できます。

注:

[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です。

独自のアプリケーションインジケーターを作成して、バブルチャートでビジネスアプリケーションを分析することもできます。カスタムアプリケーションインジケーターの作成方法については、「アプリケーションインジケーターの追加または編集」を参照してください。

注:

- 作成されたインジケーターは、デフォルトのアプリケーションプロファイルにも添付する必要があります。採点プロファイルに新しいプロファイル インジケーターをアタッチする方法については、「アプリケーション採点プロファイルにプロファイルインジケーターを添付する」を参照してください。
- 作成したインジケーターがバブルサイズリストに表示されない場合は、インジケーターがアクティブであることを確認してください。インジケーターを有効にする方法については、「アプリケーションまたはケイパビリティインジケーターをアクティブ化またはオフにする」を参照してください。

[アプリケーションの統廃合] アイコン ( を選択すると、すべてのビジネスアプリケーションのバブルチャートビューが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

バブルチャートページには、次のコンポーネントがあります。

- X 軸と Y 軸:各軸はメトリクスカテゴリを表します。
- バブル:ラベルの付いた各バブルは、ビジネスアプリケーションを表します。バブルをポイントすると、アセスメント可能なレコードのスコアサマリーが表示されます。

バブルの色は、ビジネスアプリケーションにすでに設定されている計画的な処分値によって異なります。各色の意味を確認するには、バブルチャートに表示される凡例を参照してください。

バブルのサイズは、選択したインジケータースコア値に基づいて異なります。

デフォルトでは、すべてのインジケータースコアは最新の会計期間に従って表示されます。最新の会計期間は、apm_app_indicator_score リストから取得されます。会計期間は、システムプロパティ *com.glide.fiscal_calendar.fiscal_unit*から導出されます。ただし、[Application Rationalization (アプリケーションの統廃合)] 画面で使用可能なフィルターを使用して会計期間を変更したり、他のフィルターを適用したりすることもできます。

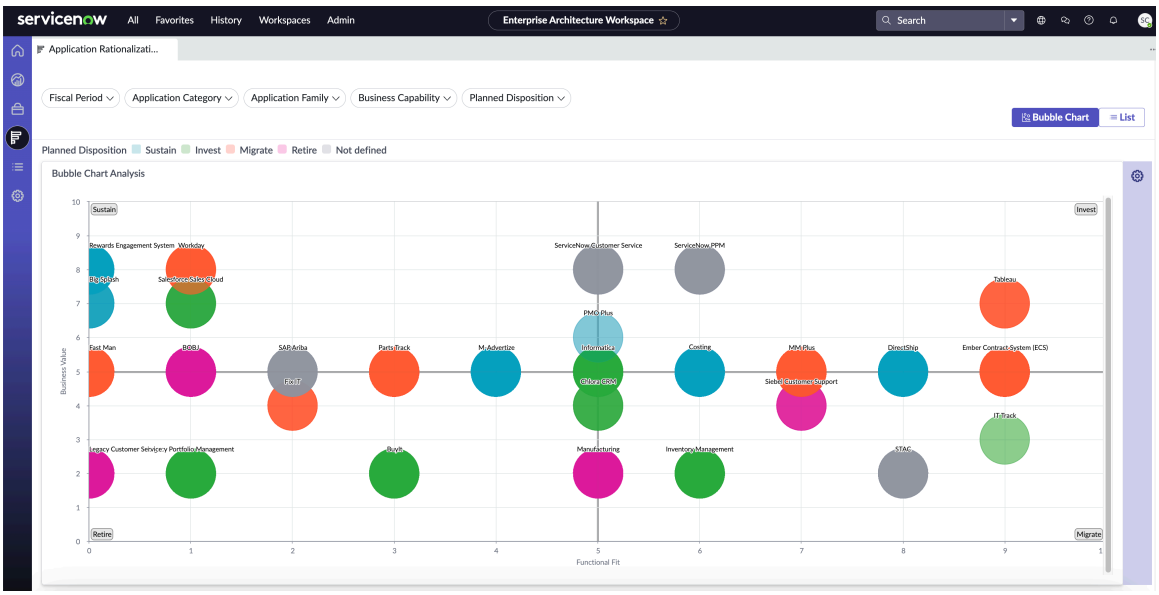
グラフ内のバブルをポイントし、コンテキストメニューを選択すると、次の操作を実行できます。

- ビジネスアプリケーションのデマンドを作成する
- ビジネスアプリケーションの計画的な処分を設定する
- ビジネスアプリケーションのライフサイクルデータを追加する

バブルチャートには、ビジネスアプリケーションを表すバブルが最大 100 個表示されます。バブルが 100 個を超える場合は、メッセージが表示されます。利用可能なフィルターを使用して、アプリケーションの数を減らしたり、リストビューでデータを表示したりします。

自動翻訳

バブルチャートビュー



バブルチャートを使用したアプリケーションの分析

複数のスコアに基づいてビジネスアプリケーションを統合および分析します。

始める前に
[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、プラグインバージョン 2.2.0 が必要です。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
アプリケーションインジケータースコアに基づいて、表示できるビジネスアプリケーションの数を絞り込むことができます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [アプリケーションの統廃合] アイコン ( を選択して、[アプリケーションの統廃合] ページを開きます。
3. 必要に応じて、設定アイコン ( を選択して、バブルチャートパラメーターを変更します。

   次の設定を変更できます。

   - X 軸と Y 軸:X 軸と Y 軸に収まるインジケーターのディメンション。使用可能なオプションは、アプリケーションバブルチャートテーブル [apm_bubble_chart] から導出されます。インジケータースコアは、インジケータースコアテーブル (apm_app_indicator_score) から収集されます。

     注:

     - バブルチャートの X 軸と Y 軸のインジケーターを追加する方法の詳細については、「アプリケーション戦略のバブルチャートを作成または編集する」を参照してください。
     - バブルチャートにバブルを表示するには、選択した会計期間のインジケータースコアが X 軸と Y 軸の両方のインジケーターで使用できる必要があります。

   - バブルサイズ:バブルサイズは、ビジネスアプリケーションに関連するインジケーターに基づいています。インジケーター スコアによってバブルのサイズが決まります。

     独自のアプリケーションインジケーターを作成して、バブルチャートでビジネスアプリケーションを分析することもできます。カスタムアプリケーションインジケーターの作成方法については、「アプリケーションインジケーターの追加または編集」を参照してください。

     注:

     - 作成されたインジケーターは、デフォルトのアプリケーションプロファイルにも添付する必要があります。採点プロファイルに新しいプロファイル インジケーターをアタッチする方法については、「アプリケーション採点プロファイルにプロファイルインジケーターを添付する」を参照してください。
     - 作成したインジケーターがバブルサイズリストに表示されない場合は、インジケーターがアクティブであることを確認してください。インジケーターを有効にする方法については、「アプリケーションまたはケイパビリティインジケーターをアクティブ化またはオフにする」を参照してください。

   - バブルの色:バブルの色は、アプリケーションの計画された処分値に基づいています。各色の意味を確認するには、バブルチャートに表示される凡例を参照してください。

     注: バブルカラーの設定は変更できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- バブルラベル:トグルを有効にすると、バブルチャートにバブルラベルが表示されます。バブルラベルは、ビジネスアプリケーション名を表します。

  注: バブルチャートには、ビジネスアプリケーションを表すバブルが最大 100 個表示されます。バブルが 100 個を超える場合は、メッセージが表示されます。利用可能なフィルターを使用して、アプリケーションの数を減らしたり、リストビューでデータを表示したりします。

4. [適用] を選択します。

バブルチャートを使用したデマンドの作成

バブルチャートからアプリケーションのデマンドを作成します。

始める前に

[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です。

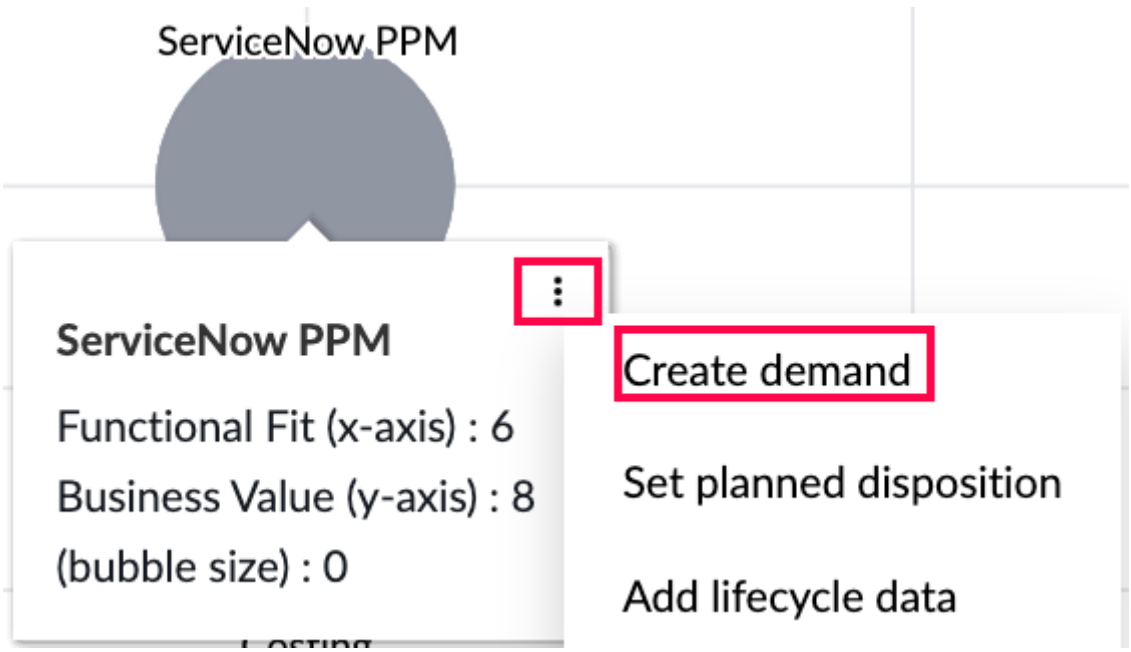
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

デマンドをステップとして使用して、ビジネスアプリケーションのコスト削減の機会を特定し、ターゲットを達成します。デマンドアクションに関連付ける戦略によって、アプリケーションの戦略が決まります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [アプリケーションの統廃合] アイコン (を選択して、[アプリケーションの統廃合] ページを開きます。
3. デマンドを作成する関連アプリケーションのバブルを選択します。
4. ポップアップウィンドウで、コンテキストメニューアイコン (を選択し、[デマンドの作成] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [デマンドを作成] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[デマンドの作成] フォーム」を参照して ください。
6. **[Create** (作成)] を選択します。

ビジネスアプリケーションの計画的な処分を設定する

アプリケーションの将来の計画に関する決定を追跡するために、ビジネスアプリケーションの予定されている廃棄を設定します。

始める前に

[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です。

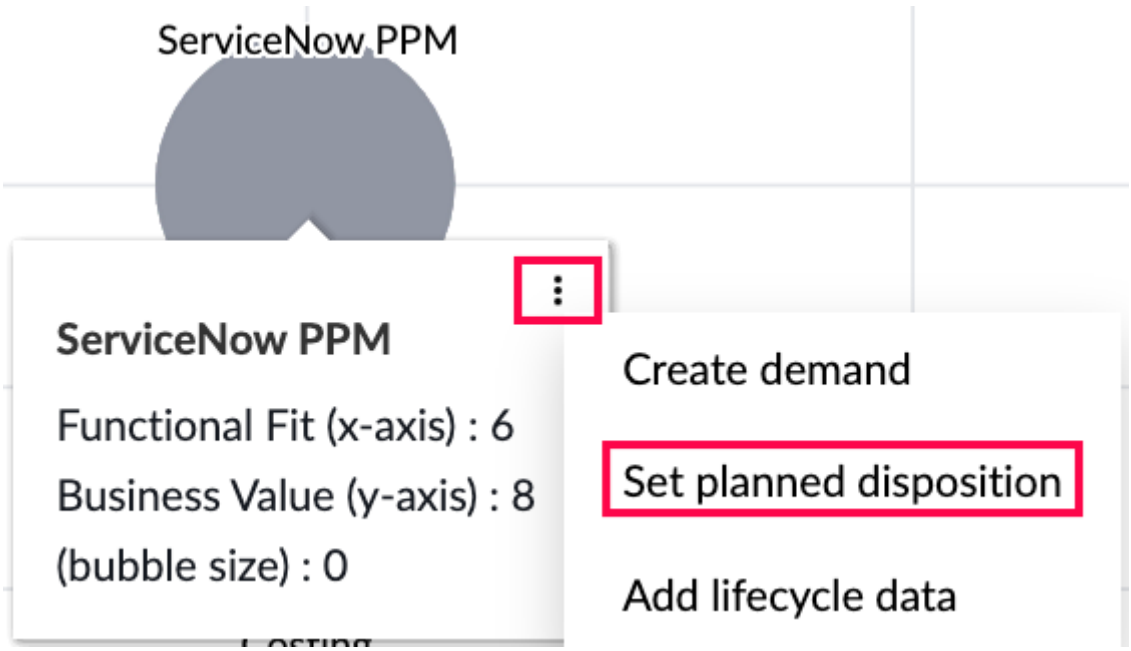
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

ビジネスアプリケーションの予定されている廃棄を設定すると、データのメンテナンスが改善され、データの検索性が向上し、アプリケーションのメンテナンスコストをより適切に管理できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [アプリケーションの統廃合] アイコン ( ) を選択して、[アプリケーションの統廃合] ページを開きます。
3. 予定されている処分を設定する関連アプリケーションのバブルを選択します。
4. ポップアップウィンドウで、コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[計画的処分の設定 **(Set planned disposition**)] を選択します。



5. [Set planned disposal] ウィンドウで、次の操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [計画的処分] ドロップダウンリストから計画的処分ステータスを選択します。

b. 予定されている処分のターゲット日を選択します。ターゲット日は、現在の日付または将来の日付である必要があります。

c. [理由] フィールドに、その予定されている廃棄ステータスを選択する理由を入力します。

6. [**Update** (更新)] を選択します。

バブルチャートを使用したビジネスアプリケーションライフサイクルデータの追加

ビジネスアプリケーションのライフサイクルを作成または編集して、ビジネスアプリケーションを管理します。

始める前に

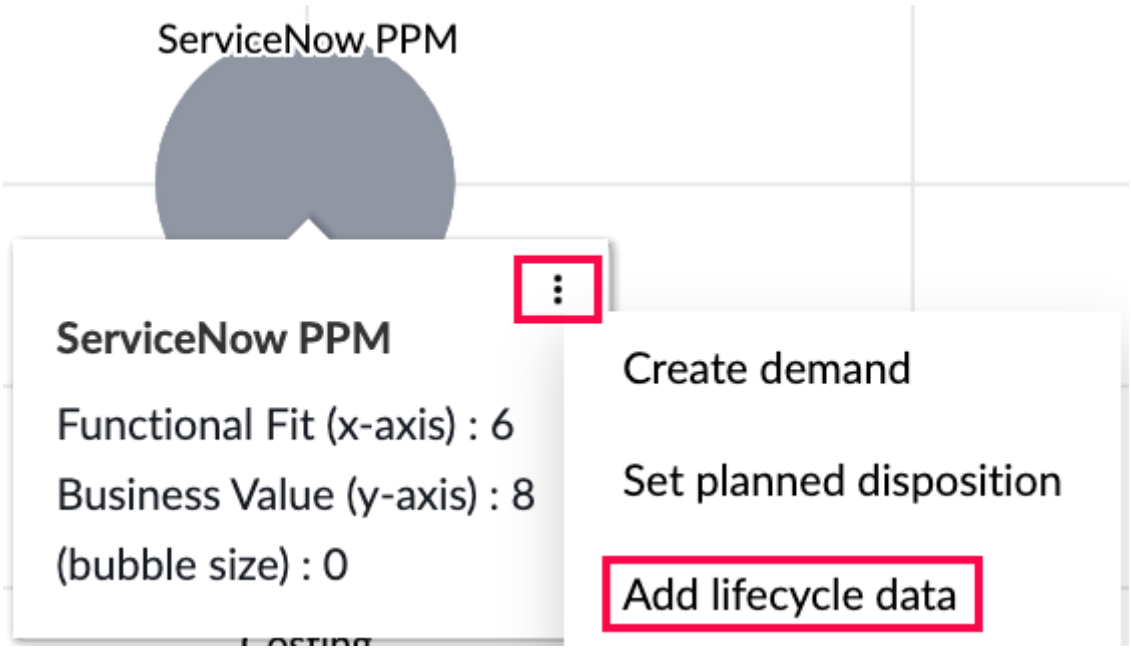
[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です。

アプリケーションモデル (フィールド名:モデル ID) は、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルのライフサイクルを作成するために必要です。アプリケーションモデル ID は、手動で入力することも、 *CSDM Product Model Assignment* スクリプトを実行またはスケジュール設定して自動的に作成してビジネスアプリケーションに追加することもできます。*CSDM Product Model Assignment*スクリプトの実行方法の詳細については、「スケジュール済みジョブを実行して、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルを生成します。」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [アプリケーションの統廃合] アイコン (を選択して、[アプリケーションの統廃合] ページを開きます。
3. ビジネスアプリケーションライフサイクルデータを追加する関連アプリケーションのバブルを選択します。
4. ポップアップウィンドウで、コンテキストメニューアイコン (を選択し、[ライフサイクルデータの作成] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォーム」を参照して ください。
6. **[Create** (作成)] を選択します。

Application Rationalization (アプリケーションの統廃合) のリストビュー

エンタープライズアーキテクトとして、すべてのビジネスアプリケーションのリストを表示できます。

リストビューでは、すべてのビジネスアプリケーションとそれらに関連付けられているすべてのインジケータースコアに関する概要情報を表示できます。

独自のアプリケーションインジケーターを作成して、リストビューでビジネスアプリケーションを分析することもできます。カスタムアプリケーションインジケーターの作成方法については、「アプリケーションインジケーターの追加または編集」を参照してください。新しいカスタムインジケーターは、リストビューに新しい列として表示されます。

注:

- 作成されたインジケーターは、デフォルトのアプリケーションプロファイルにも添付する必要があります。採点プロファイルに新しいプロファイル インジケーターをアタッチする方法については、「アプリケーション採点プロファイルにプロファイルインジケーターを添付する」を参照してください。
- 作成したインジケーターがバブルサイズリストに表示されない場合は、インジケーターがアクティブであることを確認してください。インジケーターを有効にする方法については、「アプリケーションまたはケイパビリティインジケーターをアクティブ化またはオフにする」を参照してください。

ビジネスアプリケーションの名前を選択して開き、関連する詳細を表示できます。また、[行を展開] アイコン ( ) を選択して、そのビジネスアプリケーションに関連付けられたデマンドとプロジェクトを表示することもできます。デマンドまたはプロジェクトを選択すると、その詳細が表示されます。必要に応じて、ビジネスアプリケーションの詳細とそれに関連するデマンドおよびプロジェクトの詳細を変更できます。

注: [アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、プラグインバージョン 2.2.0 が必要です。

デフォルトでは、すべてのインジケータースコアは最新の会計期間に従って表示されます。最新の会計期間は、apm_app_indicator_score リストから取得されます。会計期間は、システムプロパティ *com.glide.fiscal_calendar.fiscal_unit*から導出されます。

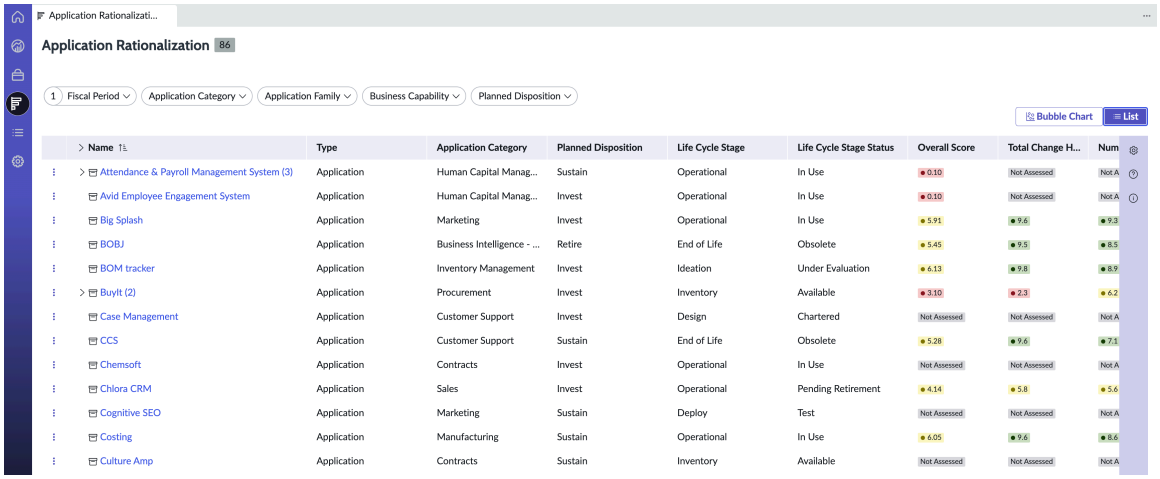
リストビューから次の操作を実行できます。

- ビジネスアプリケーションの詳細を編集する
- ビジネスアプリケーションのデマンドを作成する
- ビジネスアプリケーションの計画的な処分を設定する
- ビジネスアプリケーションのライフサイクルデータを追加する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストビュー



リストビューを使用したデマンドの作成

リストビューからアプリケーションのデマンドを作成します。

始める前に

[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

デマンドをステップとして使用して、ビジネスアプリケーションのコスト削減の機会を特定し、ターゲットを達成します。デマンドアクションに関連付ける戦略によって、アプリケーションの戦略が決まります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [アプリケーションの統廃合] アイコン (を選択して、[アプリケーションの統廃合] ページを開きます。
3. [リスト] を選択します。
4. デマンドを作成するビジネスアプリケーションの横にある行コンテキストメニューアイコン (を選択し、[デマンドの作成] を選択します。
5. [デマンドを作成] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[デマンドの作成] フォーム」を参照して ください。
6. **[Create** (作成)] を選択します。
   新しいデマンドがビジネスアプリケーションの下に表示されます。

ビジネスアプリケーションの計画的な処分を設定する

アプリケーションに関する今後の決定を追跡するために、ビジネスアプリケーションの予定されている廃棄を設定します。

始める前に

[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ビジネスアプリケーションの予定されている廃棄を設定すると、データのメンテナンスが改善され、データの検索性が向上し、アプリケーションのメンテナンスコストをより適切に管理できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [アプリケーションの統廃合] アイコン (を選択して、[アプリケーションの統廃合] ページを開きます。
3. [リスト] を選択します。
4. 計画的処分ステータスを設定するビジネスアプリケーションの横にある行コンテキストメニューアイコン (を選択し、[計画的処分の設定] を選択します。
5. [Set planned disposal] ウィンドウで、次の操作を行います。
   a. [計画的処分] ドロップダウンリストから計画的処分ステータスを選択します。
   b. 予定されている処分のターゲット日を選択します。ターゲット日は、現在の日付または将来の日付である必要があります。
   c. [理由] フィールドに、その予定されている廃棄ステータスを選択する理由を入力します。
6. [**Update** (更新)] を選択します。

リストビューを使用してビジネスアプリケーションのライフサイクルデータを追加する

ビジネスアプリケーションのライフサイクルを作成または編集して、ビジネスアプリケーションをより適切に管理します。

始める前に
[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です。

アプリケーションモデル (フィールド名:モデル ID) は、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルのライフサイクルを作成するために必要です。アプリケーションモデル ID は、手動で入力することも、 *CSDM Product Model Assignment* スクリプトを実行またはスケジュール設定して自動的に作成してビジネスアプリケーションに追加することもできます。*CSDM Product Model Assignment*スクリプトの実行方法の詳細については、「スケジュール済みジョブを実行して、ビジネスアプリケーションのアプリケーションモデルを生成します。」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [アプリケーションの統廃合] アイコン (を選択して、[アプリケーションの統廃合] ページを開きます。
3. [リスト] を選択します。
4. ビジネスアプリケーションライフサイクルデータを追加するビジネスアプリケーションの横にある行コンテキストメニューアイコン (を選択し、[ライフサイクルデータの追加] を選択します。
5. [アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォーム」を参照して ください。
6. **[Create** (作成)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションの詳細を編集する

リストビューを離れることなく、リストから直接ビジネスアプリケーションレコードを更新できます。

始める前に

[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [アプリケーションの統廃合] アイコン ( を選択して、[アプリケーションの統廃合] ページを開きます。
3. [リスト] を選択します。
4. 詳細を編集するビジネスアプリケーションを選択します。

   新しいペインがリストビュー画面に表示され、ビジネスアプリケーションの詳細が表示されます。

   注: ビジネスアプリケーションの詳細を表示するには、[完全な詳細] を選択します。

5. [ビジネスアプリケーション] フォームのフィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「ビジネスアプリケーションフォーム」を参照して ください。

6. [更新] を選択します。

ビジネスアプリケーションに関連付けられたデマンドの編集

アプリケーションの統廃合を使用して、ビジネスアプリケーションに関連付けられた既存のデマンドを編集します。

始める前に

[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です。

リストビューを離れることなく、リストから直接デマンドレコードを更新できます。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [アプリケーションの統廃合] アイコン ( を選択して、[アプリケーションの統廃合] ページを開きます。
3. [リスト] を選択します。
4. 関連するデマンドの詳細を編集するビジネスアプリケーションの横にある行を展開アイコン ( を選択します。
   そのビジネスアプリケーションに関連付けられたデマンドのリストが表示されます。
5. 編集するデマンドを選択します。
   新しいペインがリストビュー画面に表示され、デマンドの詳細が表示されます。

   注: デマンドに関する詳細を表示するには、[完全な詳細] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [デマンドを編集] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「デマンドフォーム」を参照して ください。
7. [更新] を選択します。

ビジネスアプリケーションに関連付けられたプロジェクトを編集する

アプリケーションの統廃合を使用して、ビジネスアプリケーションに関連付けられた既存のプロジェクトを編集します。

始める前に

[アプリケーションの統廃 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 化] ページを表示するには、バージョン 2.2.0 が必要です。

リストビューを離れることなく、リストから直接デマンドレコードを更新できます。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

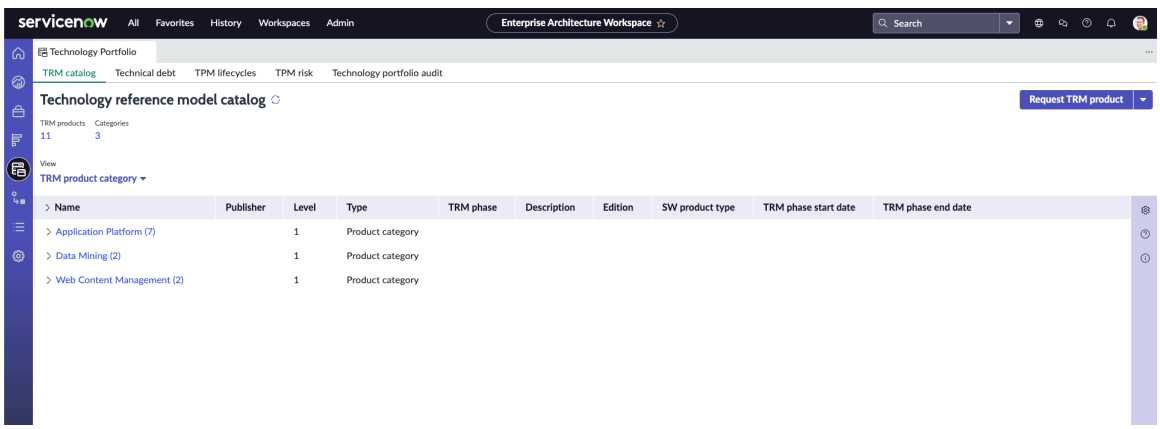
1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [アプリケーションの統廃合] アイコン (を選択して、[アプリケーションの統廃合] ページを開きます。
3. [リスト] を選択します。
4. 関連するプロジェクトの詳細を編集するビジネスアプリケーションの横にある行を展開アイコン (を選択します。
   そのビジネスアプリケーションに関連付けられたプロジェクトのリストが表示されます。
5. 編集するプロジェクトを選択します。
   リストビュー画面に新しいペインが表示され、プロジェクトの詳細が表示されます。

   注: プロジェクトの詳細を表示するには、[完全な詳細] を選択します。

6. [プロジェクトを編集] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「プロジェクトフォームの編集」を参照して ください。
7. [更新] を選択します。

[技術ポートフォリオ] ビュー

エンタープライズアーキテクトは、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース の [テクノロジーポートフォリオ] リストビューを使用して、 テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) ライフサイクルとリスク、および テクノロジー参照モデル (TRM) カタログ (ソフトウェアとハードウェア) を管理します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Technology Portfolio Management

テクノロジーポートフォリオ管理を使用して、テクノロジーライフサイクルのリスクとテクノロジーライフサイクルの例外を管理できます。

テクノロジーポートフォリオ管理の詳細については、「での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

テクノロジー参照モデル

テクノロジー参照モデル機能を使用して、ソフトウェアおよびハードウェア製品の標準を定義し、組織内の未承認の製品を管理できます。

テクノロジー参照モデルの詳細については、「での テクノロジー参照モデル の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

[技術ポートフォリオ] ページには、次のタブが表示されます。

- **TRM** カタログ
- 技術的負債
- **TPM** ライフサイクル
- **TPM** リスク
- 技術ポートフォリオの監査

での テクノロジー参照モデル の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャワークスペース のテクノロジー参照モデル (TRM) 機能を使用して、ソフトウェアおよびハードウェア製品の標準を定義し、組織内の未承認の製品を管理できます。

の概要と利点 **TRM**

企業で未承認のソフトウェアを使用すると、組織にリスクをもたらすおそれがあります。リスクには次のようなものがあります。

- セキュリティリスク：ソフトウェアがセキュリティの問題にさらされるおそれがあります。
- 納入リスク：ソフトウェアのサポート方法に関する知識が不十分な場合があります。
- 法的リスク：ビジネスアプリケーションがソフトウェアを不正に使用するおそれがあります。

使用するソフトウェアの標準と、組織での使用が許可されているソフトウェアのバージョンを定義する必要があります。また、許可されていないソフトウェアが組織内でいつ、どのビジネスアプリケーションで使用されているかを調べる方法も必要です。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースのTRMモジュールを使用して、次の操作を実行できます。

- 利用可能なすべての TRM 製品のリストを表示します。製品カテゴリ別にグループ化された TRM 製品のリストを表示することもできます。
- TRM製品の要求
- TRM製品ライフサイクルの要求
- TRM製品の作成
- TRM製品ライフサイクルの作成
- TRM製品および製品ライフサイクルの要求を承認または却下します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRMモジュールを使用すると、テクノロジーの標準を管理し、テクノロジーの使用に適したガードレールを設定できます。標準を設定することで、技術的負債やセキュリティ体制を改善したり、組織のコストを削減したりすることができます。

TRM 製品ライフサイクル

TRM ライブラリの各製品は、開始日と終了日を含む一連のライフサイクルフェーズに関連付けられています。ライフサイクルには、承認済み、未承認、制約付きで承認、売却、評価の各フェーズがあります。

TPM ホームページでは、組織で使用されているすべてのビジネスアプリケーションがフェッチされます。これにより、使用されているソフトウェアのステータスを確認できるようになります。さらに、ビジネスアプリケーションが、TRM に含まれていないソフトウェアや、本番用に承認されていないソフトウェアバージョンを使用していないかどうかを確認できるようになります。詳細については、「ガントチャート上の TRM ライフサイクルタイムライン」を参照してください。

TRM モジュールは、TPM に類似したモジュールを使用して TRM ライブラリ内を検索します。TRM ライブラリに含まれているソフトウェアを表示したり、TRM ライブラリへのソフトウェアやソフトウェアバージョンの追加を要求したりすることができます。

また、ソフトウェア資産管理 (SAM) プラグインで TRM を使用することもできます。さらに、このプラグインにより、TRM ライブラリの製品やバージョンをフェッチしたり選択したりすることができるようになります。インスタンスで ソフトウェア資産管理 統合モジュールを使用できない場合は、独自のソフトウェア製品を定義することもできます。

関連情報

TRM要求の承認または却下

製品カテゴリ別にグループ化されたすべての TRM 製品を表示します

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでは、すべてのテクノロジー参照モデル (TRM) 製品をカテゴリ別にグループ化して表示できます。

始める前に

[カスタマイズ] アイコン ( ) を選択すると、要件に応じて表示される列を追加または非表示にすることができます。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [技術ポートフォリオ] アイコン を選択して、[技術ポートフォリオ] ページを開きます。
3. [TRM カタログ] タブで、TRM製品を表示するTRM製品カテゴリの横にある行の展開) を選択します。
   TRM製品のリストが表示されます。

すべての TRM 製品を表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで利用可能なすべてのテクノロジー参照モデル (TRM) 製品を表示できます。

始める前に

要件に応じて表示される列を追加または非表示にするには、[リストアクション] アイコン ( ) を選択し、[列の編集] を選択します。

必要なロール：sn_apm.apm_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [技術ポートフォリオ] アイコン を選択して、[技術ポートフォリオ] ページを開きます。
3. **[TRM** カタログ] タブで、[ビュー] リストから *TRM*製品リストを選択します。
4. 詳細を表示するには、TRM製品の横にあるTRM製品の横にある行の展開) を選択します。

TRM製品の要求

TRMカタログを使用してTRM製品を要求し、新しいソフトウェアまたはハードウェアをTRMライブラリに追加できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [技術ポートフォリオ] アイコン を選択して、[技術ポートフォリオ] ページを開きます。
3. [**TRM** 製品を要求] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「製品フォーム TRM 要求」を参照してください。
5. **[Create** (作成)] を選択します。

TRM製品ライフサイクルの要求

新しい要求を追加して、 TRM 製品のライフサイクルを作成できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [技術ポートフォリオ] アイコン を選択して、[技術ポートフォリオ] ページを開きます。
3. **[Request** *TRM***product**] の横にある [TRM more を選択します。
4. [製品ライフサイクル *TRM*要求] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[製品ライフサイクル TRM 要求] フォーム」を参照してください。
6. **[Create** (作成)] を選択します。

への **TRM** 製品の追加 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクトは、新しい TRM 製品を TRM ライブラリに追加できます。

始める前に
エンタープライズアーキテクトグループの一員である必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [技術ポートフォリオ] アイコン を選択して、[技術ポートフォリオ] ページを開きます。
3. **[Request *TRM* product]** の横にある [TRM more を選択します。
4. [*TRM* 製品の作成] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「新しい TRM 製品フォーム」を参照してください。

6. **[Create** (作成)] を選択します。

アーキテクチャアーティファクトの **TRM** 製品への関連付け

エンタープライズアーキテクトは、アーキテクチャアーティファクトを TRM 製品に関連付けることができます。

始める前に
エンタープライズアーキテクトグループの一員である必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [技術ポートフォリオ] アイコン を選択して、[技術ポートフォリオ] ページを開きます。
3. 既存の *TRM* 製品を開きます。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 (Create new architectural artifact)] フォーム」を参照してください。

   既存のアーティファクトを編集するには、アーティファクトを選択して必要な変更を加えます。

6. [**Submit** (送信)] を選択します。
   アーキテクチャアーティファクトが作成され、TRM 製品に関連付けられます。アーティファクトの [関連エンティティ] タブには、それに関連付けられた TRM 製品が表示されます。

関連情報

TRM 製品ライフサイクルの追加

TRM 製品ライフサイクルの追加

エンタープライズアーキテクトは、新しい TRM 製品ライフサイクルを追加できます。

始める前に
エンタープライズアーキテクトグループの一員である必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [技術ポートフォリオ] アイコン を選択して、[技術ポートフォリオ] ページを開きます。
3. **[Request** *TRM* **product]** の横にある [TRM more を選択します。
4. **[***TRM*製品ライフサイクルの作成] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「新しい TRM 製品ライフサイクル要求フォームの作成」を参照してください。

6. **[Create** (作成)] を選択します。

ワイルドカードを使用した **TRM** ライフサイクルの操作

テクノロジー参照モデル (TRM) ライフサイクルとワイルドカードを使用すると、個々のTRMソフトウェア製品の正確なマイナーバージョンの詳細を指定しなくても、複数のTRMソフトウェア製品ライフサイクルを同時に更新できます。

ワイルドカード付きの TRM ライフサイクルは、ライフサイクルバージョンが「*」で終わる TRM ソフトウェア製品です。「*」は、特定のバージョンの詳細が正確に指定されていないことを意味します。

ワイルドカードによる **TRM** ライフサイクルの使用

ワイルドカードを使用した TRM ライフサイクルは、 TRM ソフトウェア製品を自動的に識別、分類、および更新するのに役立ちます。

複数の未承認の TRM ソフトウェア製品バージョンに対して同時に技術的負債を一括で作成することもできます。

Microsoft PowerPoint を使用していて、組織に 1.1、1.2、1.3 などの複数のバージョンがインストールされているとします。バージョンが 1.* で終わる TRM ワイルドカードを作成します。次に、ワイルドカードを使用して TRM ライフサイクルの詳細を更新します。TRM ワイルドカードに対して *Populate TRM technical debts in the EA Workspace* ジョブが実行されると、ワイルドカードを使用した TRM ライフサイクルの更新データがバージョン 1.1、1.2、1.3 に渡されます。

ワイルドカードを使用した **TRM** ライフサイクルの作成

ワイルドカードを使用した TRM ライフサイクルは、 TRM 製品ライフサイクルを要求する方法と同様のプロセスで作成されます。TRM 製品ライフサイクルを追加する方法については、「 TRM 製品ライフサイクルの追加」を参照してください。

唯一の違いは、 TRM ワイルドカードバージョンが「*」で終わることです。

TRMワイルドカードを作成するには、エンタープライズアーキテクトグループの一員である必要があります。

ワイルドカードを使用した **TRM** ライフサイクルの制限

TRMワイルドカードは、特定のTRMソフトウェア製品のフルバージョンが存在する場合、技術的負債を作成することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

TRM 技術的負債の管理

TRM 技術的負債を表示する

TRM 技術的負債の計算

で TRM 技術的負債データを更新するスケジュール済みジョブの実行 EA ワークスペース

TRM 技術的負債の管理

使用が承認されていない製品に対して作成された TRM 技術的負債を管理します。

*Populate TRM technical debts in the EA Workspace*スケジュール済みジョブが実行され、EA ワークスペースの TRM 技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt] テーブルにエントリーが作成されます。この表は、 TRM ソフトウェアフェーズと一致していないビジネスアプリケーションのソフトウェアへの参照を示しています。このテーブルには、TRM で定義されていない、または TRM 製品ライフサイクルによってソフトウェアの使用が制限されているビジネスアプリケーション内のソフトウェアへの参照が表示されます。技術的負債の計算方法については、 TRM 技術的負債の計算を参照してください。

注: *Populate TRM technical debts in the EA Workspace*スケジュール済みジョブは、ソフトウェア資産管理 (SAM) Foundation またはソフトウェア資産管理 (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。

TRM 技術的負債を表示する

TRMフェーズおよび標準に準拠していない製品に対して作成されたテクノロジー参照モデル (TRM) 技術的負債を表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

*Populate TRM technical debts in the EA Workspace*スケジュール済みジョブが実行され、EA ワークスペースの TRM 技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt] テーブルにエントリーが作成されます。この表は、 TRM ソフトウェアフェーズと一致していないビジネスアプリケーションのソフトウェアへの参照を示しています。このテーブルは、 TRM で定義されていないか、ソフトウェアの使用を制限する製品ライフサイクルが TRM ビジネスアプリケーション内のソフトウェアへの参照を示しています。技術的負債の計算方法については、 TRM 技術的負債の計算を参照してください。

注: *Populate TRM technical debts in the EA Workspace*スケジュール済みジョブは、ソフトウェア資産管理 (SAM) Foundation またはソフトウェア資産管理 (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [技術ポートフォリオ] アイコン を選択して、[技術ポートフォリオ] ページを開きます。
3. [技術的負債] を選択します。
4. TRM技術的負債を表示します。
   フィールドの詳細については、「TRM 技術的負債フォーム」を参照してください。

タスクの結果

TRM製品と関連するビジネスアプリケーションの詳細のリストを確認します。技術的負債の理由を確認することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

での テクノロジー参照モデル の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

TRM 要求の表示または更新

TRM 技術的負債の計算

TRM技術的負債は、ソフトウェアの未承認の使用を示します。技術的負債テーブル [sn_apm_trm_standards_technical_debt] には、 TRM 製品と関連するビジネスアプリケーションの詳細、および技術的負債の理由が表示されます。

次のいずれかの条件が満たされると、技術的負債は 2 つのレベルで作成されます。レベル 2 は、システムプロパティ *sn_apm_trm.is_product_life_cycle_tech_debt_enabled* が True に設定されている場合にのみチェックされます。

- レベル 1
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられているが、 TRM 製品リストに含まれていない場合。(または)
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられ、 TRM 製品リストに含まれているが、TRM フェーズの生産が未承認の場合。
- レベル 2
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられており、 TRM 製品リストに含まれており、TRM フェーズの生産が承認されているが、 TRM 製品ライフサイクルが関連付けられていない場合。(または)
  - 製品がビジネスアプリケーションに関連付けられ、 TRM 製品リストの一部であり、本番 TRM フェーズが承認されており、 TRM 製品ライフサイクルが存在する場合は、次のいずれかのケースが考慮されます。

    ケース 1:アプリケーションサービスソフトウェアモデルのライフサイクルフルバージョンが空でない場合。

    TRM 製品ライフサイクルで次の条件が満たされない場合、技術的負債が作成されます。

    - 生産が承認された TRM フェーズで、かつ
    - 生産が承認された TRM 製品の TRM フェーズ
    - アプリケーションサービスソフトウェアモデルレコードのライフサイクルフルバージョンに一致するバージョン かつ
    - フェーズ開始日 <= 今日の日付 <= フェーズ終了日。

    ケース 2:アプリケーションサービスソフトウェアモデルのライフサイクルフルバージョンが空の場合。

    技術的負債は、TRM 製品ライフサイクルで次の条件が満たされない場合に作成されます。

    - 生産が承認された TRM フェーズで、かつ
    - TRM 製品の TRM フェーズと生産承認 かつ
    - バージョンは、関連するソフトウェアモデルのバージョン (バージョン演算子と isSampPluginInstalled に基づく) であり、かつ
    - エディションは、関連するソフトウェアモデルのエディション (エディション演算子と isSampPluginInstalled に基づく) で始まり、かつ
    - フェーズ開始日 <= 今日の日付 <= フェーズ終了日。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で TRM 技術的負債データを更新するスケジュール済みジョブの実行 EA ワークスペース

スケジュール済みジョブを実行して、TRM 技術的負債データを取得します。エンタープライズアーキテクチャワークスペース>Setup>TRM Phases>Allで定義された TRM フェーズに従ってエンタープライズでの使用が承認されていない製品を表示するには、このジョブを実行する必要があります。このジョブをスケジュールして、すべてのビジネスアプリケーションの TRM 技術的負債を定期的に更新できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
エンタープライズアーキテクチャワークスペース>Setup>TRM Phases>All」で定義されている TRM フェーズに従って、企業での使用が承認されていない製品を表示するには、このジョブを実行する必要があります。このジョブをスケジュールして、すべてのビジネスアプリケーションの TRM 技術的負債を定期的に更新できます。

注: *Populate TRM technical debts in the EA Workspace*スケジュール済みジョブは、ソフトウェア資産管理 (SAM) Foundation またはソフトウェア資産管理 (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. スケジュール済みジョブ *Populate TRM technical debts in the EA Workspace*を見つけて開きます。
3. [今すぐ実行] を選択します。

タスクの結果
スケジュール済みジョブを実行すると、技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt] テーブルがアプリケーションポートフォリオの最新の技術的負債データで更新されます。ジョブの実行後に、毎回テーブルの値が更新されます。

での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

テクノロジーポートフォリオ管理 は、エンタープライズアーキテクトがテクノロジーライフサイクルのリスクとテクノロジーライフサイクルの例外を管理するのに役立ちます。エンタープライズアーキテクトは、検出されたテクノロジーにアクセスし、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース内の情報を監査することで、すべてのビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスを評価できます。

企業で使用されるビジネスアプリケーションの基盤となるテクノロジーには有効期限があり、アクティブに管理し、バージョンとライフサイクルを追跡するために入念に監視する必要があります。

ビジネスアプリケーションで使用されるソフトウェア製品には、オペレーティングシステム、データベース管理システム、開発ツール、およびミドルウェアがあり、それぞれにライフサイクルがあります。これらのライフサイクルステージが追跡されていない場合、ベンダーがサポートしなくなる可能性があり、これらのテクノロジーで実行されるビジネスアプリケーションが危機に瀕するリスクがあります。

企業で使用されているすべての技術のインベントリを作成することで、次が可能になります。

- ソフトウェアのバージョンとソフトウェアの製造元サポート日を追跡します
- ソフトウェアの内部ライフサイクルガイダンスの設定
- 古いソフトウェアを使用する際のリスクを評価する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サポートするアプリケーションと同様に、特定の日付でそれらを廃止することを計画します
- アップグレードプロセスをサポート

ソフトウェア製品のデータは、デフォルトでは、コンピューター (CMDB_CI_Computer) とテーブルのすべての類似インスタンス、Docker コンテナ (CMDB_CI_Docker_Container)、およびサーバーレスハードウェア (CMDB_CI_Serverless_Hardware) テーブルから入力されます。ただし、ソフトウェア製品を含む他の CMDB テーブルを含める場合は、システムプロパティ *sn_apm_tpm.configurationItemsWithSoftwareInstalls*を更新する必要があります。システムプロパティを更新する方法については、「システムプロパティを更新して、 CMDB テーブルからソフトウェア製品を収集する」を参照してください。

テクノロジーポートフォリオ管理プラグインのインストール

テクノロジーポートフォリオ管理のインストール手順については、「テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) プラグインを有効にする」を参照してください。

重要: テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) は、企業のハードウェアライフサイクルデータをフェッチします。ソフトウェアのライフサイクルデータをフェッチするには、ソフトウェア資産管理 (SAM) Professional プラグインをアクティブ化する必要があります。SAM Foundation プラグインをインストールする前に、 ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン 移行 ドキュメントを慎重に確認してください。

TPM のインジケーター EA ワークスペース

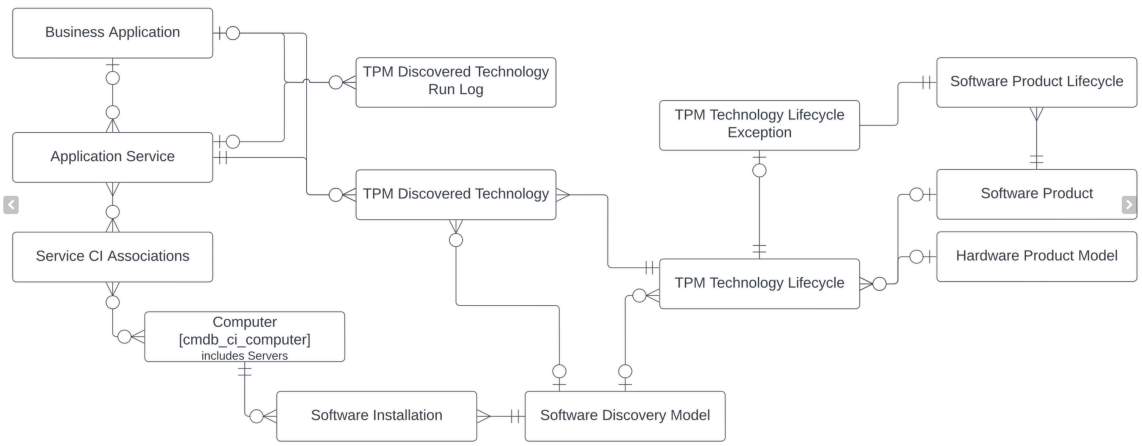
EA ワークスペース のテクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) のインジケーターは次のとおりです。

インジケーター	説明
技術ライフサイクルリスク [sn_apm_tpm_technology_risk]	ビジネスアプリケーションのライフサイクルリスクスコアを計算します。

TPM の参照モデル EA ワークスペース

EA ワークスペースでは、テクノロジーポートフォリオ管理を使用すると、ビジネスアプリケーションレコードの **[TPM** データを更新] アクションを使用するか、スケジュール済みジョブ *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles*を使用して、テクノロジーを調整できます。

TPM 参照モデル



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

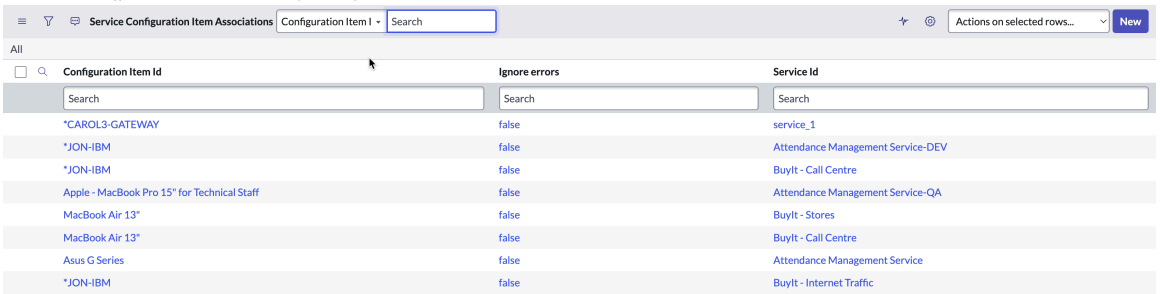
のテクノロジーディスカバリープロセス EA ワークスペース

EA ワークスペース内のビジネスアプリケーションのテクノロジーディスカバリーと調整のプロセスは次のとおりです。

- アプリケーションサービスによって Consumes::Consumed をクエリして取得する

  注: これはアプリケーションサービスである必要があり、これらのアプリケーションサービスはマッピングされている必要があります。サービス構成アイテムの関連性 [svc_ci_assoc] テーブルは、各アプリケーションサービスとそのコンピューターに入力されます。

サービス構成アイテムの関連性

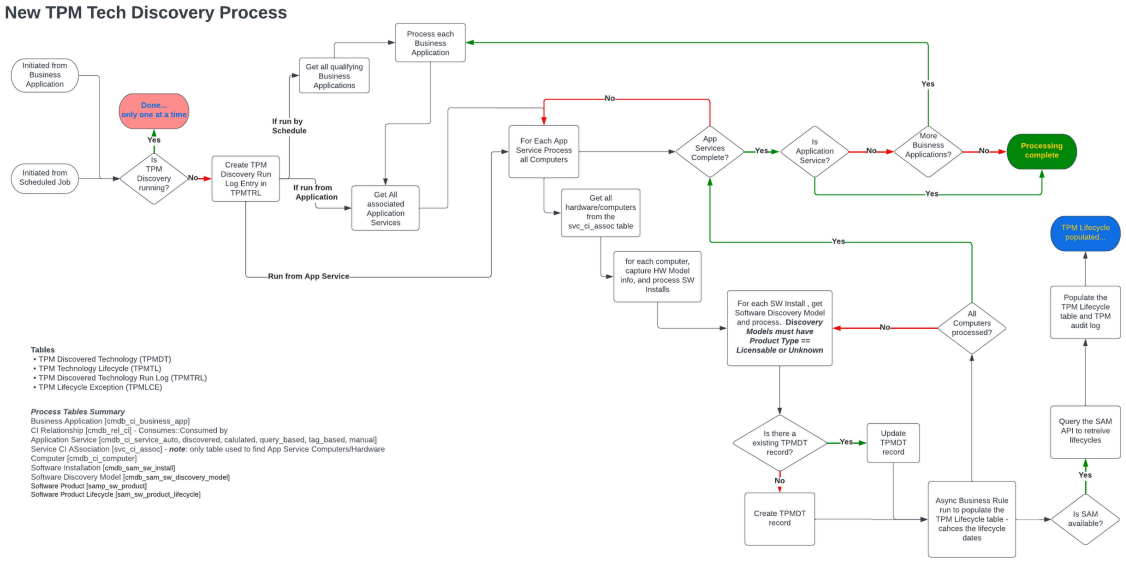


- [サービス構成アイテムの関連性] [svc_ci_assoc] テーブルで識別された各コンピューターについて、[ソフトウェア インストール] タブを選択すると、インストールされているソフトウェアを表示できます。また、ハードウェアモデルがコンピューターに関連付けられている場合は、[TPM 検出済みテクノロジー] タブでハードウェアタイプの詳細を確認できます。
- ソフトウェアのインストールごとに、関連するディスカバリーモデルを確認できます。ソフトウェアディスカバリーモデルは、製品タイプがライセンス可能または不明である必要があり、適切な情報を取得するために正規化するか手動で正規化する必要があります。*sn_apm_tpm.softwareDiscoveryModelProductFilterForTPMsystem* プロパティを使用して、ライセンス不可のソフトウェア製品に関するデータを収集することもできます。詳細については、「でエンコードされたクエリを使用したソフトウェアの結果のフィルタリング TPM」を参照してください。
- ディスカバリーモデルごとに、TPM 検出テクノロジーレコードを作成します。
- TPM 検出テクノロジーのレコードを作成すると、関連する TPM テクノロジーライフサイクルレコードの作成がトリガーされ、ハードウェアまたはソフトウェアテクノロジーのライフサイクル情報がフェッチされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のテクノロジーライフサイクルディスカバリープロセス **EA** ワークスペース



ソフトウェア配置レコードを正常に作成するには、次のテーブルを設定する必要があります。

- ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app]
- CI 関係 [cmdb_rel_ci] - Consumes::Consumed 別
- サービスインスタンス [cmdb_ci_service_auto、検出済み、計算済み、query_based、tag_based、手動]
- サービス CI の関連性 [svc_ci_assoc] - 注:アプリサービスを検索するために使用されるテーブルのみ
- コンピューター/ハードウェアコンピューター (cmdb_ci_computer)
- ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install]
- Software Discovery モデル [cmdb_sam_sw_discovery_model]
- ソフトウェア製品 [samp_sw_product]
- ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle]

> **注:** インスタンスのセットアップ方法によっては、他のテーブルにソフトウェアレコードを含めることもできます。アドミニストレーターに確認してください。

ハードウェアでは、コンピューターのハードウェアモデル参照を設定する必要があります。

ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの **TPM** データの更新

選択したビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの TPM ライフサイクルデータを手動で更新できます。スケジュール済みジョブ **[TPM** 検出済みテクノロジーとライフサイクルの入力 **(Populate TPM Discovered Technologies and Life-cycles**)] もスケジュール済みまたはオンデマンドで実行され、すべてのビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスのライフサイクルデータが更新されます。詳細については、「 ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの TPM データを更新する 」および「」を参照してください。 スケジュール済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する

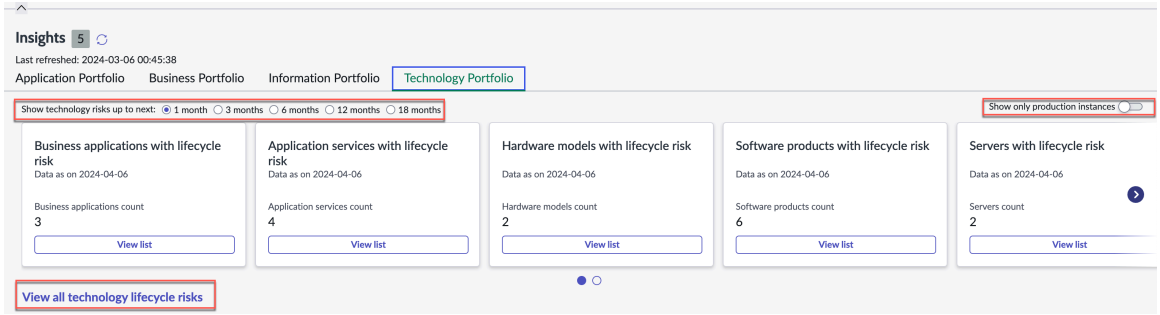
テクノロジーライフサイクルリスクのインサイトを表示する

ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、サーバー、ソフトウェア製品、およびハードウェアモデルのテクノロジーライフサイクルリスクを追跡できます。**[TPM** 検出済みテクノロジーとライフサイクルの入力] スケジュール済みジョブは、EA ワークスペース ホームページの [インサ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

イト] セクションにライフサイクルの結果を表示します。[インサイト] セクションの [テクノロジーポートフォリオ] タブを選択し、[すべてのテクノロジーライフサイクルリスクを表示] を選択します。



- このフィルターを使用して、今後 1 か月、3 か月、6 か月、12 か月、および 18 か月のリスクを確認します。デフォルトでは、[1 か月] フィルターが適用されます。
- [本番インスタンスのみを表示] 切り替えボタンを使用して、テクノロジーライフサイクルリスクがある本番インスタンスのみを表示します。デフォルトでは、このフィルターはオフです。
- [すべてのテクノロジーライフサイクルリスクを表示] リンクを選択すると、最も早いライフサイクル日付 (テクノロジーライフサイクルリスクが発生する最も早い日付) でソートされたすべてのテクノロジーライフサイクルリスクのリストが表示されます。必要に応じて、テクノロジーライフサイクルリスク情報を Excel、CSV、JSON、または PDF にエクスポートすることもできます。

  テクノロジーライフサイクルリスクテーブルのデータは、TPM 検出テクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology] テーブルからフェッチされます。

- [テクノロジーライフサイクルリスクの入力 (Populate Technology Lifecycle Risks)] スケジュール済みジョブを実行して、TPM テクノロジーライフサイクルリスクを生成します。このスケジュール済みジョブは、テクノロジーライフサイクルリスク (sn_apm_tpm_technology_risk) テーブルの月タイプの会計期間のビジネスアプリケーション (BA)、アプリケーションサービス (AS)、ソフトウェア製品、およびハードウェアモデルのリスクスコアを入力します。詳細については、「TPM テクノロジーリスクを生成するジョブをスケジュールする」を参照してください。

TPM 分析実行ログの表示

TPM 分析の進行状況を追跡するには、TPM 検出テクノロジー実行ログ [sn_apm_tpm_discovered_technology_run_log] テーブルを調べます。分析が実行されるたびに、このテーブルにエントリが追加されます。次のように移動する。 *EA* ワークスペース > セットアップ > ログ セクションでログを表示します。

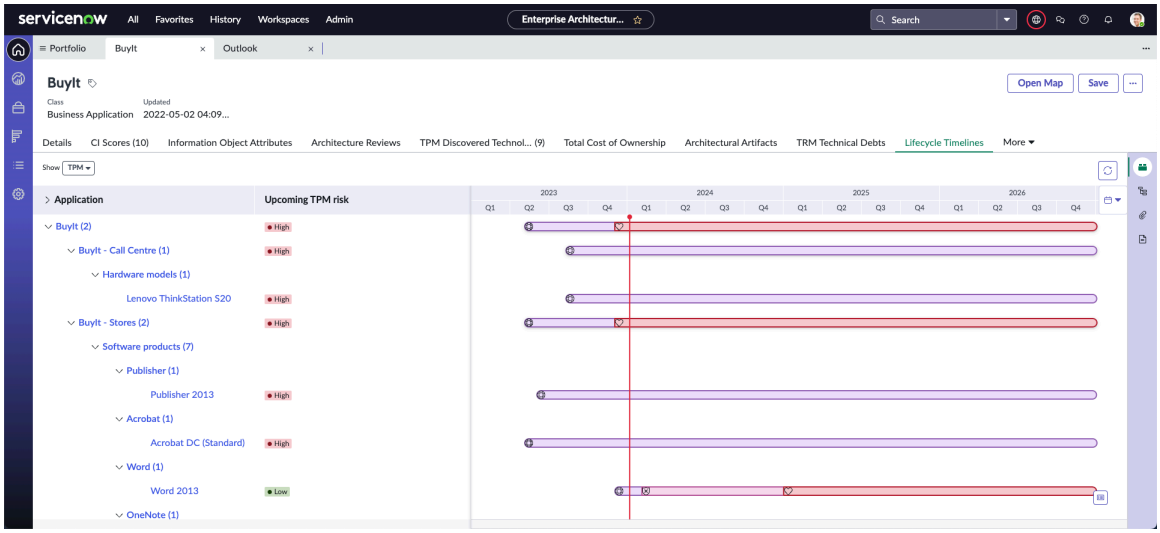
ガントチャートの TPM ライフサイクルタイムライン

テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の場合、ビジネスアプリケーションとそれに関連するアプリケーションサービス (関連するハードウェアモデルとソフトウェア製品) は階層構造で表示されます。アプリケーションサービスの対応するタイムラインは、ガントチャートに棒として表示されます。

アプリケーションサービス (ソフトウェア製品とハードウェアモデルで構成される) には、ライフサイクルタイムラインが決定されています。ガントチャートでは、ソフトウェア製品またはハードウェアモデルの最も早い TPM フェーズ開始日がロールアップされ、アプリケーションサービス全体の TPM フェーズ開始日が計算されます。つまり、ソフトウェア製品またはハードウェアモデルの最も早い TPM フェーズ開始日が、アプリケーションサービス全体の TPM フェーズ開始日と見なされます。詳細については、「ガントチャートの TPM ライフサイクルタイムライン」と「TPM と TRM のライフサイクルタイムラインをガントチャートで表示する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



TPM データのデータ可視化

エンタープライズアーキテクチャワークスペースダッシュボードの [TPM リスクが正規化されている上位 10 件のビジネスアプリケーション] ウィジェットに、TPM リスクが正規化されている上位 10 件のビジネスアプリケーションが表示されます。詳細については、「エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボードの操作」を参照してください。

テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) プラグインを有効にする

ServiceNow Store から購入した テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) ストアアプリケーションをアクティブ化して、インスタンスで使用できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > **All** (すべて).
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Storeにリクエストする必要が生じる場合があります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして、利用可能なすべてのアプリを表示し、要求をストアに送信する方法について確認してください。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。
4. デモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをアクティブ化する場合は、デモデータを読み込みます。
5. **[Install** (インストール)] を選択します。

で TPM とともにインストールされるテーブル EA ワークスペース

いくつかのタイプのテーブルが テクノロジーポートフォリオ管理とともにインストールされます。

次のテーブルは、 テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) プラグインとともにインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology]	企業内のハードウェアおよびソフトウェアの要素を保存します。 注: ソフトウェアのライフサイクルデータを表示するには、ソフトウェア資産管理 (SAM) Foundation またはソフトウェア資産管理 (SAM) Professional プラグインをアクティブ化する必要があります。
TPM 検出済みテクノロジー実行ログ [sn_apm_tpm_discovered_technology_run_log]	テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) がソフトウェア資産管理 (SAM) Professional およびハードウェア資産管理 (HAM) Professional に対してそのコンテンツを更新したときに保存します。
TPM テクノロジーライフサイクル [sn_apm_tpm_technology_lifecycle]	検出されたテクノロジーに関連付けられたテクノロジーライフサイクルを保存します。
TPM テクノロジーライフサイクル例外 [sn_apm_tpm_technology_lifecycle_exception]	ソフトウェア資産管理 (SAM) Professional または ハードウェア資産管理 (HAM) Professional から概算された、または見つからなかったライフサイクルを保存します。
TPM テクノロジーリスク [sn_apm_tpm_technology_risk]	TPM テクノロジーリスク情報を保存します。

での **TPM** のビジネスルール **EA** ワークスペース

いくつかのタイプのビジネスルールが テクノロジーポートフォリオ管理とともに追加されます。

EA ワークスペース のテクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) に対して、次のビジネスルールが追加されます。

ビジネスルール	テーブル	説明
TPM テクノロジーライフサイクルテーブルへの入力	TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology]	企業内のハードウェア要素とソフトウェア要素のテクノロジーライフサイクルデータをフェッチします。
テクノロジーライフサイクル情報を更新	TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology]	ハードウェア要素とソフトウェア要素のテクノロジーライフサイクルデータを更新します。
TPM ライフサイクル例外の TPM 監査	TPM テクノロジーライフサイクル例外 [sn_apm_tpm_technology_lifecycle_exception]	ソフトウェア資産管理 (SAM) Professional またはハードウェア資産管理 (HAM) Professional から、近似されたライフサイクルまたは見つからなかったライフサイクルをフェッチします。

の **TPM** スケジュール済みジョブ **EA** ワークスペース

テクノロジーポートフォリオ管理用にいくつかのタイプのスケジュール済みジョブが追加されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

EA ワークスペース の テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) のスケジュール済みジョブのリストは次のとおりです。

スケジュール済みジョブ	説明
Populate TPM Technology Lifecycle Risks (TPM テクノロジーライフサイクルリスクを入力する)	TPM テクノロジーライフサイクルリスク [sn_apm_tpm_technology_risk] テーブルにテクノロジーライフサイクルリスクデータを入力します。
Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles (TPM で検出済みテクノロジーとライフサイクルを入力する)	TPM テクノロジーライフサイクル [sn_apm_tpm_technology_lifecycle] テーブルにテクノロジーライフサイクルデータを入力します。データには、ソフトウェア製品およびハードウェアモデルのサポート終了日、延長サポート終了日、およびサポート終了日が含まれます。 **注:** ソフトウェア製品のデータは、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインの場合にのみ表示されます。
Populate TRM technical debts in the EA Workspace (EA ワークスペースに TRM 技術的負債を入力する)	TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology] テーブルで利用可能なソフトウェア製品の最新の技術的負債データを使用して、技術的負債 [sn_apm_trm_standards_technical_debt] テーブルを更新します。 **注:** [EA ワークスペースに TRM 技術的負債を入力 (Populate TRM technical debts in the EA Workspace)] スケジュール済みジョブは、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。

関連情報

- で TRM 技術的負債データを更新するスケジュール済みジョブの実行 EA ワークスペース
- TPM ライフサイクルデータを生成するジョブをスケジュールする
- TPM テクノロジーリスクを生成するジョブをスケジュールする

でエンコードされたクエリを使用したソフトウェアの結果のフィルタリング **TPM**

不要なソフトウェア製品を除外し、結果の数を減らして不要なソフトウェアとそのライフサイクルをスキップして、ビジネスアプリケーションの ライフサイクルタイムライン ビューに表示します。デフォルトでは、TPM はライセンス可能なソフトウェアを選択します。TPM に他のソフトウェア (ライセンス不可) を含め、結果をフィルタリングする場合は、このエンコードされたクエリを使用します。

始める前に
必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
TPM は、ライセンス可能なソフトウェアとライセンス不可能なソフトウェアの両方のテクノロジーライフサイクルを追跡できます。ライセンス対象外のソフトウェアをインポートすると、不要なソフトウェアが大量にインポートされてしまう可能性があります。**sn_apm_tpm.softwareDiscoveryModelProductFilterForTPM** システムプロパティの値としてエンコードされたクエリを指定することで、結果の数を制限できます。このシステムプロパティの値を設定し、TPM スケジュール済みジョブを実行すると、エンコードされたクエリを満たす検索結果が表示されます。

手順

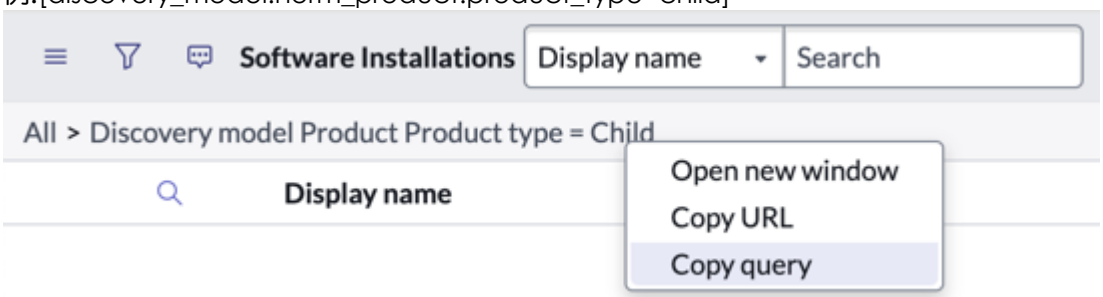
1. [ソフトウェアインストール] ページのフィルターを使用して、エンコードされたクエリ文字列を生成します。

   a. ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] ページに移動します。

   b. 要件に応じてフィルターを適用します。

   c. **[Run** (実行)] を選択します。

   d. フィルターブレッドクラムの末尾を右クリックし、コンテキストメニューから [クエリのコピー] を選択します。
   例:[discovery_model.norm_product.product_type=child]



2. システムプロパティ [sys_properties] テーブルリストビューに移動します。
   a. **[All** (すべて)] を選択します。
   b. ナビゲーションフィルターで「`sys_properties.list`」と入力し、Enter キーを押します。
3. **sn_apm_tpm.softwareDiscoveryModelProductFilterForTPM** システムプロパティのレコードを開きます。
4. システムプロパティの値をエンコードクエリに設定します。
   例:[discovery_model.norm_product.product_type=child]。レコードを編集できるようにするために、アプリケーションスコープを変更するように求められた場合は、表示されるリンクを選択します。
5. [**Update** (更新)] を選択します。
6. スケジュール済みジョブ *`Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles`* を実行します。
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
   b. スケジュール済みジョブ *`Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles`* を見つけて開きます。
   c. [今すぐ実行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
TPM 検出済みテクノロジー [sn_apm_tpm_discovered_technology_list] テーブルでテクノロジーとライフサイクルの値が更新されます。

ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの TPM データを更新する

ビジネスアプリケーションおよびアプリケーションサービスのソフトウェアおよびハードウェアモデルのサポート終了日、延長サポート終了日、提供終了日など、 テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) ライフサイクルデータを手動で更新します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて
選択したビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの TPM ライフサイクルデータを手動で更新できます。また、スケジュール済みジョブ *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles* は、すべてのビジネスアプリケーションとアプリケーションサービスのライフサイクルデータを更新するために、スケジュール済みまたはオンデマンドで実行されます。

注: ソフトウェア製品のデータは、Software Asset Management (SAM) Foundation または Software Asset Management (SAM) Professional プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. ポートフォリオアイコン ( ) を選択して、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] を展開し、[ビジネスアプリケーション] を選択します。
4. 関連するビジネスアプリケーションを選択します。
5. 3ドットメニュー( )を選択し、[**TPM**データの更新]を選択します。

タスクの結果
TPM データの更新をオンデマンドジョブが開始します。

関連情報

TPM ライフサイクルデータを生成するジョブをスケジュールする

スケジュール済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する

TPM 検出済みテクノロジーとライフサイクルのスケジュール済みジョブの再開

中断や障害が発生した場合は、 *TPM Discovered Technologies and Lifecycles* ジョブを再開できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
再起動機能を使用すると、停止した場所から *TPM Discovered Technologies and Lifecycles* ジョブを再開できます。これにより、ジョブを最初から開始しなくても、データ入力プロセスを完了できます。

[TPM 検出テクノロジの実行ログ] ページの [再起動] ボタンは、実行ログが更新されてから 1 時間後にアクティブになります。[処理されたレコード] フィールドの値を分析し、システム内で検出された TPM テクノロジーの数が更新されていないかどうかを確認することで、ジョブで中断が発生したかどうか、または失敗したかどうかを判断できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [ログ] の横にある行の展開アイコン (行 ) を選択します。
4. *TPM Discovered Technologies and Lifecycles*ジョブを再開する関連TPMログを選択します。
5. [再起動] を選択します。

関連情報

での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスの TPM データを更新する

TPM ログの表示

テクノロジーライフサイクルの詳細を表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース でテクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) ライフサイクルタイムラインを表示して、サポート終了、延長サポート終了、提供終了など、製品ライフサイクルのさまざまなフェーズを追跡できます。

始める前に

ソフトウェア製品のライフサイクルデータは、 ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン プラグインまたは ソフトウェア資産管理プロ プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

TPMライフサイクルデータにより、テクノロジーポートフォリオを効果的に管理し、ビジネスアプリケーションとその関連アプリケーションサービスを適切なタイミングで更新または置換することができます。

注: TPMライフサイクルフェーズごとに、1 つのフェーズの終了日が次のフェーズの開始日になります。ライフサイクル終了日の計算ロジックの詳細については、「 TPM と TRM のライフサイクルタイムラインをガントチャートで表示する」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [技術ポートフォリオ] アイコン  を選択して、[技術ポートフォリオ] ページを開きます。
3. **TPM** ライフサイクルを選択します。

TPM リスクの詳細を表示

高および中程度の技術リスクに直面しているソフトウェア製品のすべての テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) リスクデータを表示します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

TPMリスクスコアを使用して、ソフトウェア製品とハードウェアモデルに関連するリスクを管理および軽減できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア製品とハードウェアモデルの TPM リスクの詳細は、サポート終了日、延長サポート終了日、および提供終了日であるライフサイクル日付に基づいて計算されます。関連するソフトウェアとハードウェアのリスクスコアの合計が、アプリケーションサービスのリスクスコアです。関連するアプリケーションサービスのリスクスコアの合計は、ビジネスアプリケーションのリスクスコアと見なされます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [技術ポートフォリオ] アイコン を選択して、[技術ポートフォリオ] ページを開きます。
3. **TPM** リスクを選択します。

TPM リスクスコアを更新するには、 *Populate Technology Lifecycles Risks* ジョブを実行する必要があります。詳細については、「TPM テクノロジーリスクを生成するジョブをスケジュールする」を参照してください。

システムプロパティを更新して、 CMDB テーブルからソフトウェア製品を収集する

オプションで、*sn_apm_tpm.configurationItemsWithSoftwareInstalls* システムプロパティのデフォルト値をカスタマイズして、デフォルトの CMDB テーブルに格納されていないテクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) ソフトウェア製品、コンピューター (CMDB_CI_Computer) およびテーブルの類似するすべてのインスタンス、Docker コンテナ (CMDB_CI_Docker_Container)、およびサーバーレスハードウェア (CMDB_CI_Serverless_Hardware) の詳細をキャプチャできます。

始める前に

この機能は テクノロジーポートフォリオ管理 プラグイン (sn_apm_tpm) バージョン 1.6.0 から利用できます。

必要なロール：admin

このタスクについて

ソフトウェア製品を含む他の CMDB テーブルを含めて、それらのテーブルから TPM ソフトウェア製品データをフェッチして表示できます。

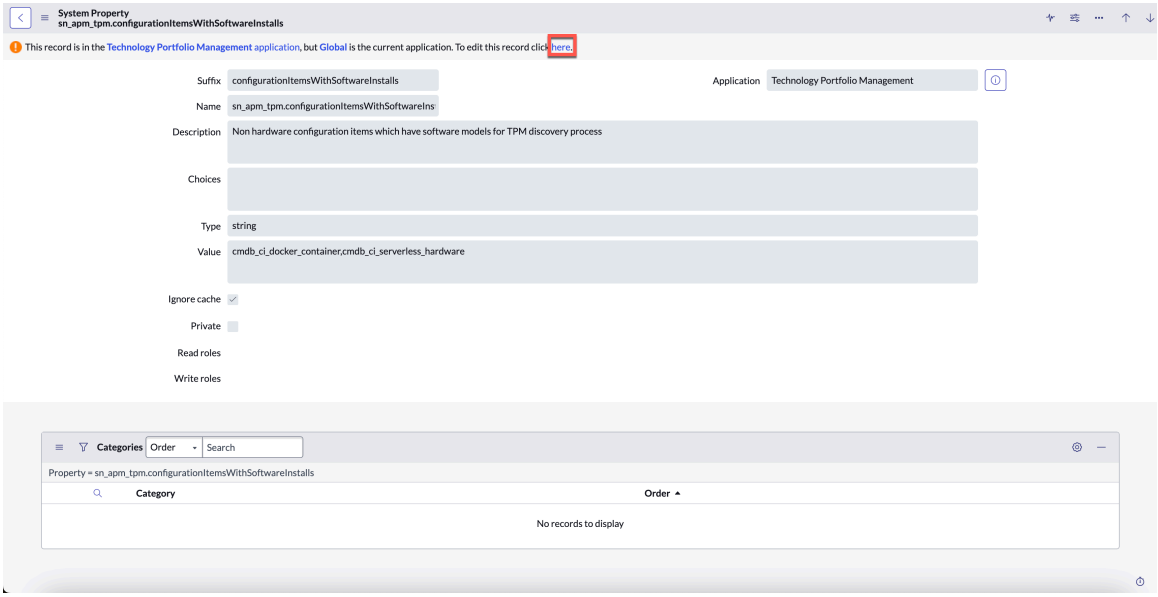
手順

1. [すべて] を選択し、ナビゲーションフィルターに「*sys_properties.list*」と入力します。
2. *sn_apm_tpm.configurationItemsWithSoftwareInstalls* システムプロパティに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. プロパティの詳細を更新する には、こちら を選択しま



す。

4. [値] フィールドに、TPMソフトウェア製品の詳細を含む CMDB テーブル名をカンマ区切り形式で追加します。
5. [**Update** (更新)] を選択します。
   *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles*ジョブが実行されると、対応するソフトウェアレコードとそのテクノロジーライフサイクルの詳細が、TPMソフトウェア製品のリストに入力されます。

関連情報

- での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース
- スケジュール済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する
- TPM ライフサイクルデータを生成するジョブをスケジュールする

テクノロジーポートフォリオ監査の詳細の操作

[技術ポートフォリオ監査] タブには、アプリケーションの監査情報が表示されます。このテーブルのエントリは、そのソフトウェア製品またはハードウェアモデルの少なくとも 1 つのライフサイクルが近似されたか、見つからないか、存在しないことを示します。

テクノロジーポートフォリオ監査テーブルのデータは、TPM テクノロジーライフサイクル例外 [sn_apm_tpm_technology_lifecycle_exception] テーブルからフェッチされます。

アドミンユーザーは、 *Populate TPM Discovered Technologies and Lifecycles* スケジュール済みジョブをオンデマンドで実行して、アプリケーションポートフォリオのテクノロジーライフサイクルリスクを計算できます。スケジュール済みジョブは、ITAM コンテンツライブラリを照会することにより、ソフトウェア製品およびハードウェアモデルのサポート終了日、延長サポート終了日、提供終了日を含むライフサイクルリスク日付を生成するスクリプトを実行します。

詳細については、「TPM ライフサイクルデータを生成するジョブをスケジュールする」と「スケジュール済みジョブを実行して TPM ライフサイクルデータを生成する」を参照してください。

スクリプトがオンデマンドで実行されるかスケジュールで実行されるかにかかわらず、 **Enterprise Architecture Workspace** > セットアップ > ログ.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: テクノロジーポートフォリオ監査を実行するメリット

ソフトウェア製品のフルバージョンが 9.2.1 の場合、ソフトウェア資産管理コンテンツライブラリのサポート終了ライフサイクルバージョンがフルバージョン 9.2 のみであった可能性があります。この監査テーブルは、組織で使用されている製品の詳細に基づいてライフサイクル一致情報を評価するのに役立ちます。このテーブルは、組織で使用されているソフトウェア製品またはハードウェアモデルバージョンに対して、ライフサイクルバージョンが完全に一致する場合や、有効なライフサイクルバージョンが見つからない場合を識別するのに役立ちます。

関連情報

技術ポートフォリオ監査フォーム

技術ポートフォリオ監査リスクの詳細の表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースですべてのテクノロジーポートフォリオの詳細を表示できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [技術ポートフォリオ] アイコン を選択して、[技術ポートフォリオ] ページを開きます。
3. [技術ポートフォリオ監査] を選択します。
   フィールド値の説明については、「技術ポートフォリオ監査フォーム」を参照してください。

EA ワークスペースのエンタープライズのモデリングと可視化

EA ワークスペース のエンタープライズのモデリングと可視化機能は、作図およびモデリング機能に役立ち、IT の将来の状態とビジネスランドスケープとの関係をモデル化できます。

EA ワークスペース のエンタープライズのモデリングと可視化 [com.snc.apm_modelling_tool] 機能を使用して、アプリケーション階層の図を作成し、それらをアーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。これらの図により、意思決定者は情報に基づいた意思決定を行うことができます。

アプリケーション階層の図を作成すると、次のことに役立ちます。

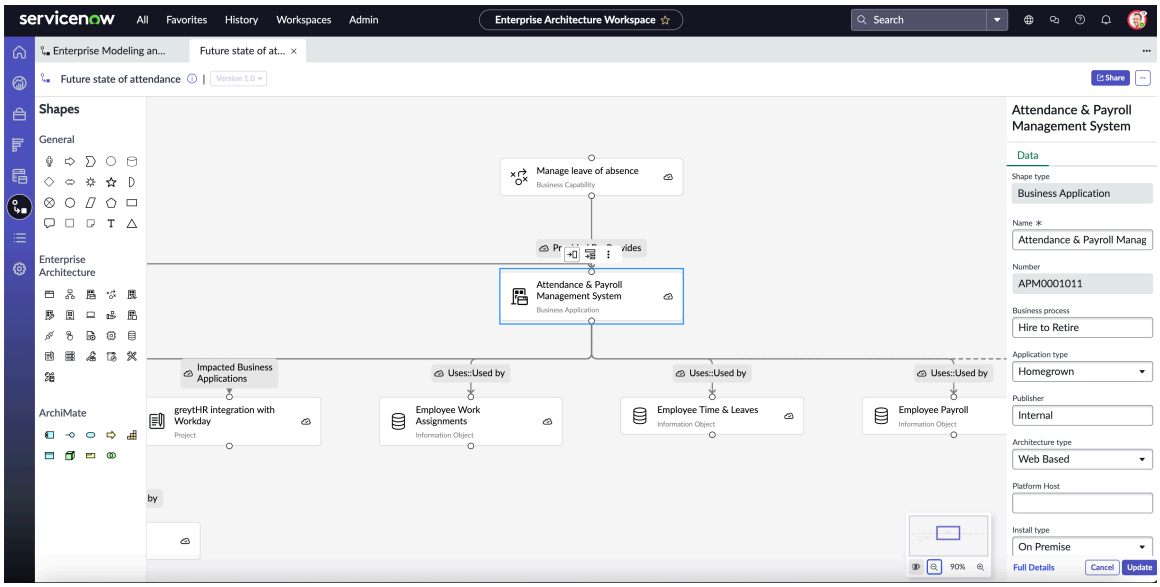
- 視覚的表現:図とモデルは、複雑な企業構造、プロセス、および関係を視覚的に表現します。この視覚的表現は、経営幹部や IT などのステークホルダーが組織の複雑さを理解するのに役立ちます。
- 効果的なコミュニケーション: 図は、技術的な利害関係者と技術者以外の利害関係者の間のギャップを埋める共通言語として機能します。これにより、組織内のさまざまなチームや部門間の効果的なコミュニケーションとコラボレーションが可能になります。
- 意思決定の改善:ダイアグラム作成とモデリング機能により、意思決定者は情報に基づいた意思決定を行うことができます。戦略やプロジェクトを実装する前に、提案された変更の影響を評価し、さまざまなシナリオを評価して、潜在的なリスクを特定できます。
- ビジネスゴールとの整合性:図とモデルは、IT イニシアチブを全体的なビジネスゴールに合わせるのに役立ちます。ビジネスの全体像を示し、IT への投資がビジネス目標と戦略的に整合していることを確認します。
- 変更管理:モデリング機能は、変更が企業全体にどのように影響するかを示すことで、変更管理を容易にします。これにより、中断を最小限に抑えてスムーズに実行される変換を計画および実行できます。
- 規制とガバナンスのコンプライアンス:多くの規制機関や標準化団体は、ドキュメントとアーキテクチャガイドラインの遵守を要求しています。モデリングのヘルプアーキテクチャアーティファク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トを管理するための構造化されたフレームワークを提供することで、コンプライアンスとガバナンスを検証できます。

- 効率性とコスト削減:冗長性を特定し、プロセスを最適化し、運用を合理化することで、モデリングと作図を行うことで、コスト削減と運用効率の向上につながります。



エンタープライズのモデリングと可視化 アプリケーションのインストール

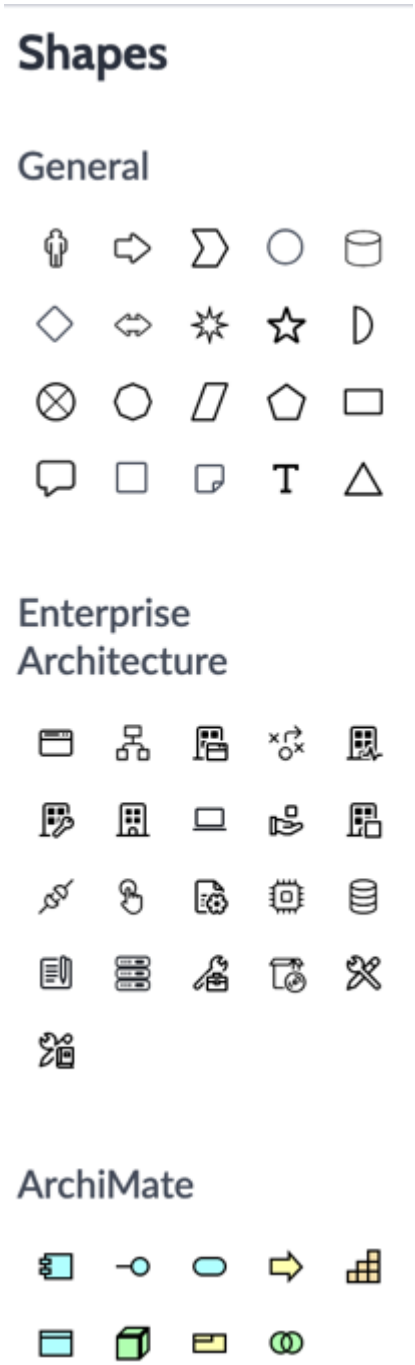
ServiceNow Storeからエンタープライズのモデリングと可視化 [com.snc.apm_modelling_tool] をアクティブ化できます。

図の操作

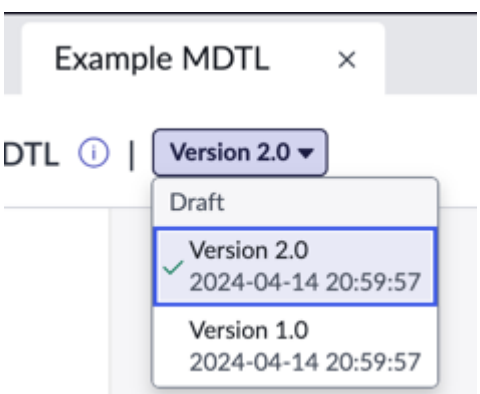
- 図形: このセクションでは、さまざまな種類の図形を使用して図を作成できます。 利用可能な形状は次のとおりです。
  - 一般的な形状
  - [エンタープライズアーキテクチャ] 図形
  - ArchiMate® 図形(ArchiMateはThe Open Groupの登録商標です)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



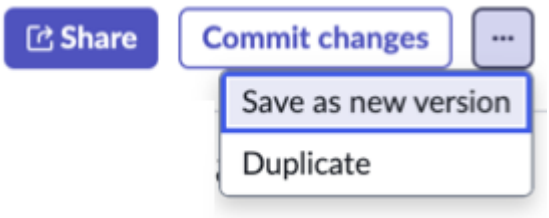
- バージョン:このフィールドを使用すると、図の異なるバージョンを表示して開くことができます。



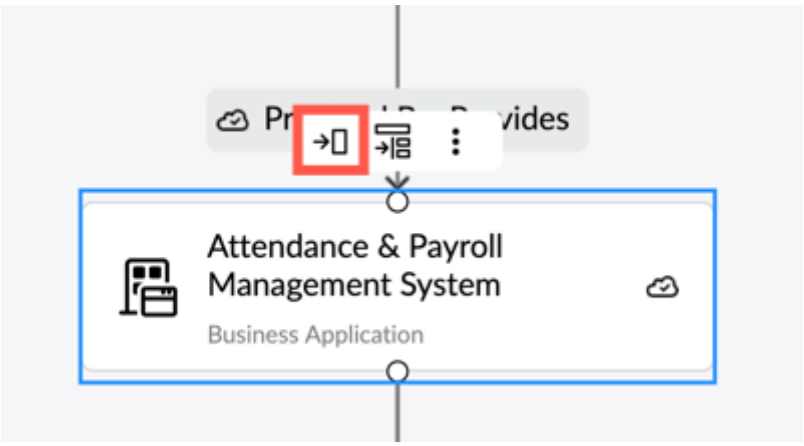
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

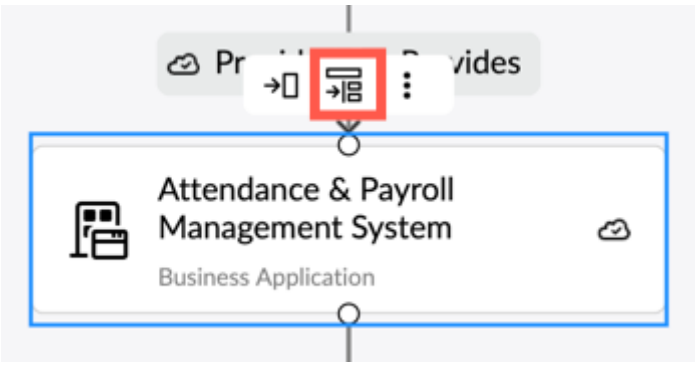
- 共有:このオプションを使用して、ダイアグラムを同僚と共有します。
- 変更を収容:図をリポジトリに同期するには、このオプションを使用します。このオプションは、ダイアグラムが承認されている場合にのみ使用できます。
- 新規バージョンとして保存:このオプションを使用して、同じアーティファクト内に図の新規バージョンを作成します。
- 複製:既存の図を複製し、新しいアーティファクトとして保存するには、このオプションを使用します。



- サイドパネルを開く:ダイアグラム内の図形を選択すると、このオプションが表示されます。選択したオブジェクトの詳細をサイドパネルで開くには、このオプションを使用します。図形が既存の ServiceNow 要素に接続されている場合、詳細はデータベースからフェッチされ、サイドパネルに表示されます。必要に応じて詳細を更新します。[完全な詳細] リンクを選択して、完全なフォームを開くことができます。



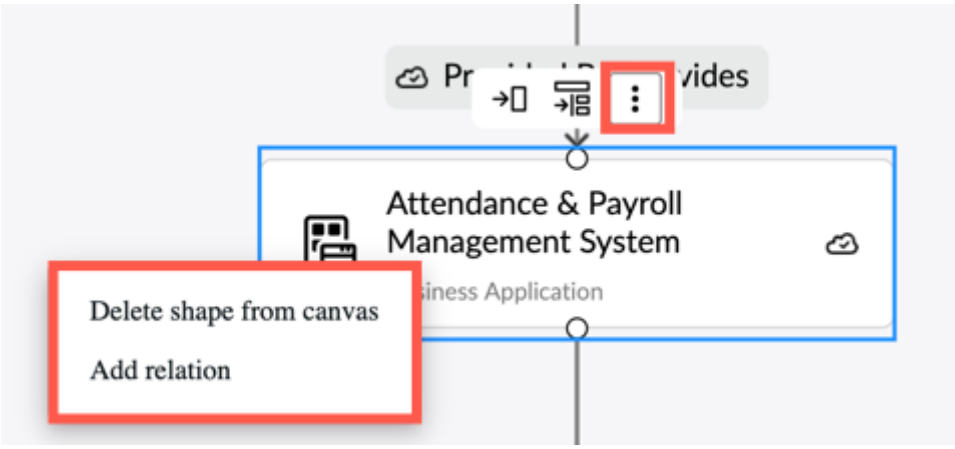
- 関連レコードを追加 - ダイアグラム内の図形を選択すると、このオプションが表示されます。このオプションを使用して、 選択したオブジェクトを参照してオブジェクトとその関係をフェッチおよび追加します。



- その他のアクション:3 つのドットメニューを選択すると 次のオプションが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- キャンバスから図形を削除して 、選択した図形をキャンバスから削除します。
- [関係を追加] を選択して、選択したオブジェクトを参照する関係を追加します。

モデリング図を作成するための形状

エンタープライズのモデリングと可視化で使用できる図形は、図の作成に役立ちます。

図の作成に利用できる図形

図形は、 エンタープライズのモデリングと可視化内のアイコン表現です。これらの図形を使用して、ビジネス機能とアプリケーション階層の図を作成できます。

図の作成に使用できるさまざまな種類の図形を次に示します。

- 一般的な形状
- [エンタープライズアーキテクチャ] 図形
- ArchiMate® 図形(ArchiMateはThe Open Groupの登録商標です)

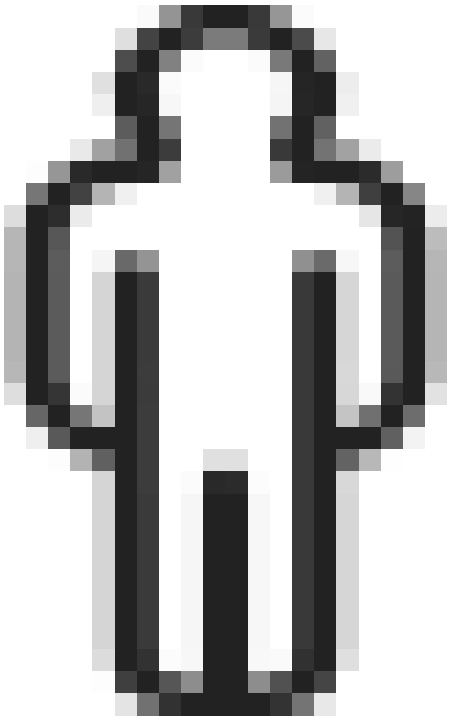
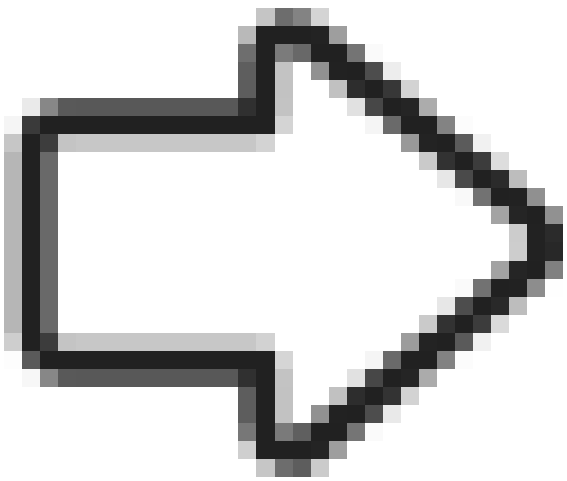
注: それぞれの形状を表示するには、次のプラグインをアクティブ化する必要があります。

- ソフトウェア製品の形状を表示するための SAM Foundation プラグイン
- デジタル統合およびデジタルインターフェイスの形状を表示するためのデジタル統合プラグイン
- プロジェクト形状を表示するための PPM Standard プラグイン
- SDLC コンポーネントの形状を表示するための CMDB CI Class Model (CMDB CI クラスモデル) (app-cmdb-content) プラグイン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

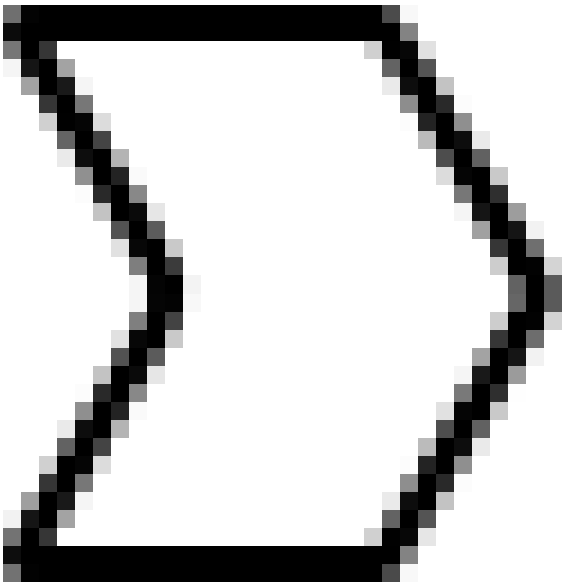
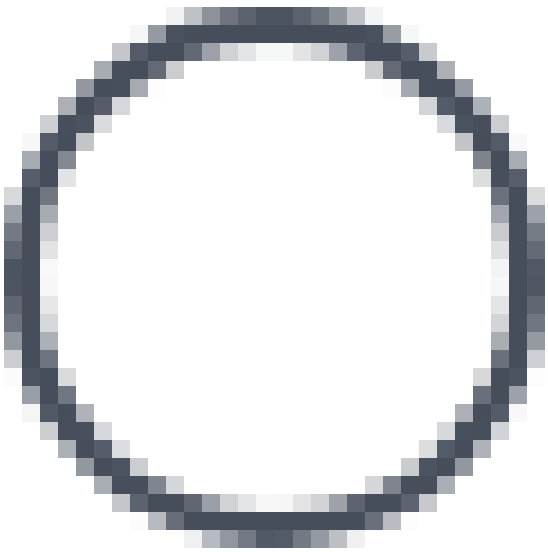
一般的な形状

形状	[Name (名前)]
	アクター
	矢印

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

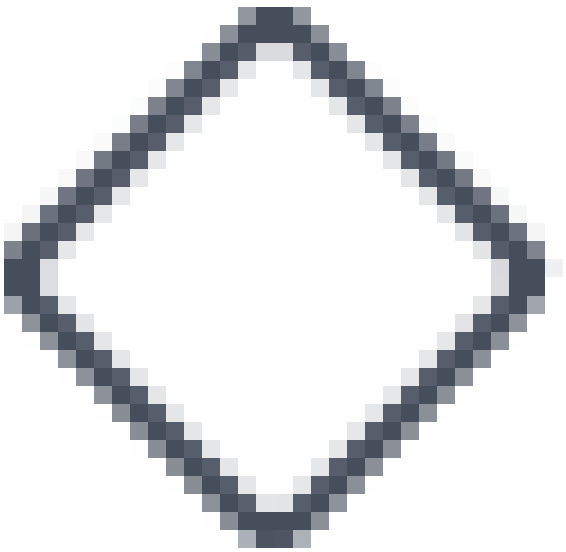
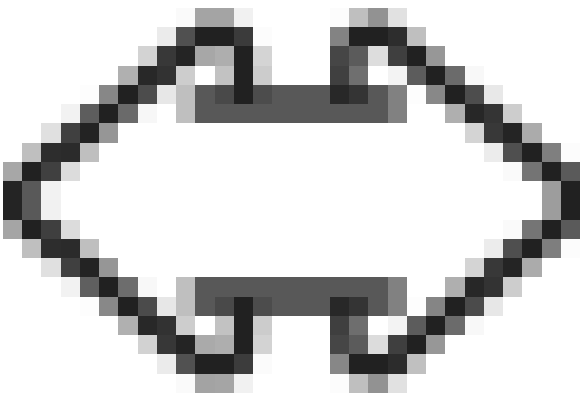
一般的な形状 (続く)

形状	[Name (名前)]
	二重山かっこ
	サークル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

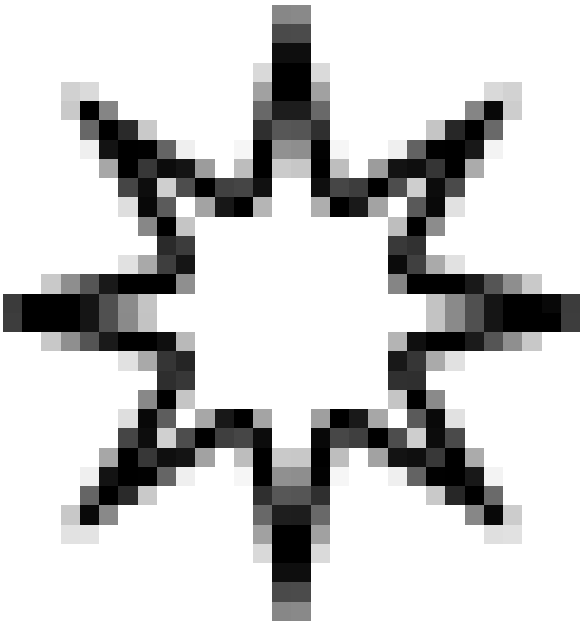
一般的な形状 (続く)

形状	[Name (名前)]
	シリンダー
	ダイヤモンド
	両矢印

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

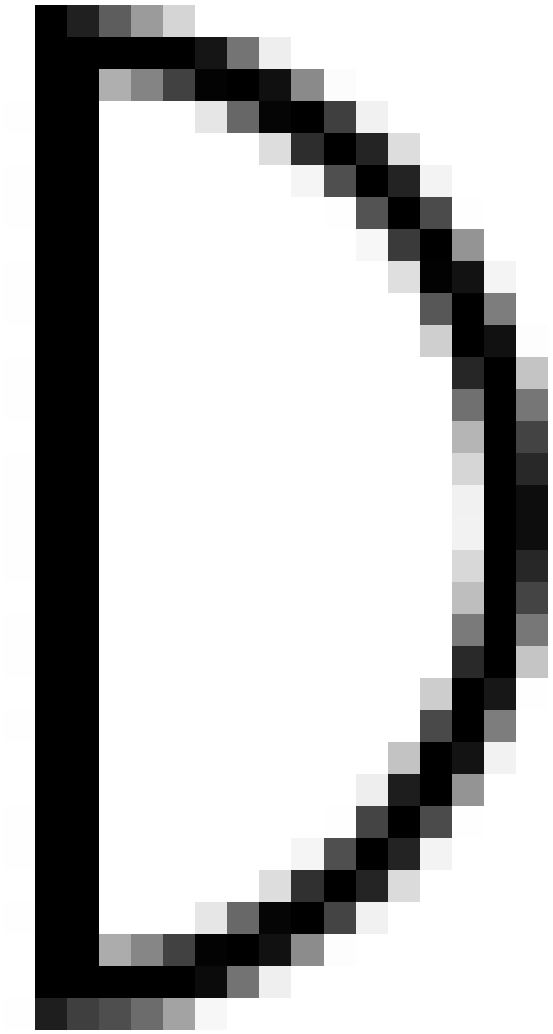
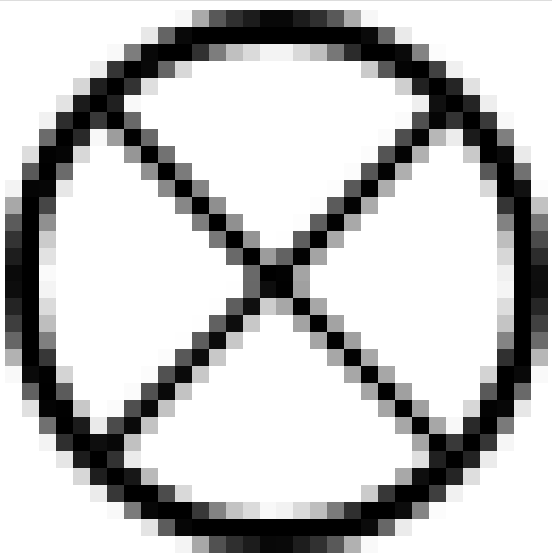
一般的な形状 (続く)

形状	[Name (名前)]
	八芒星
	五芒星

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

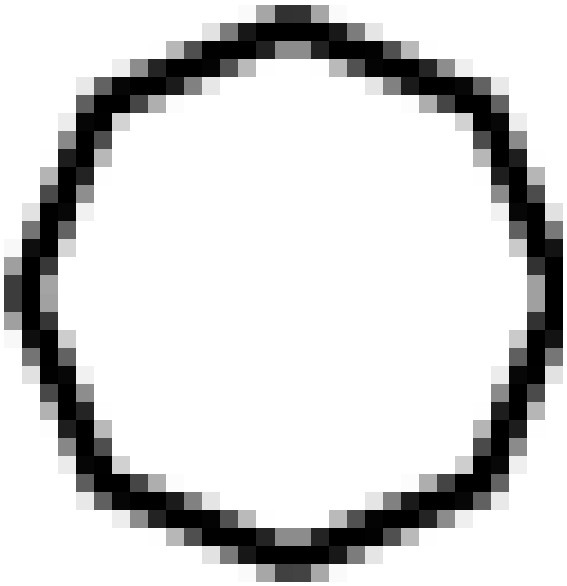
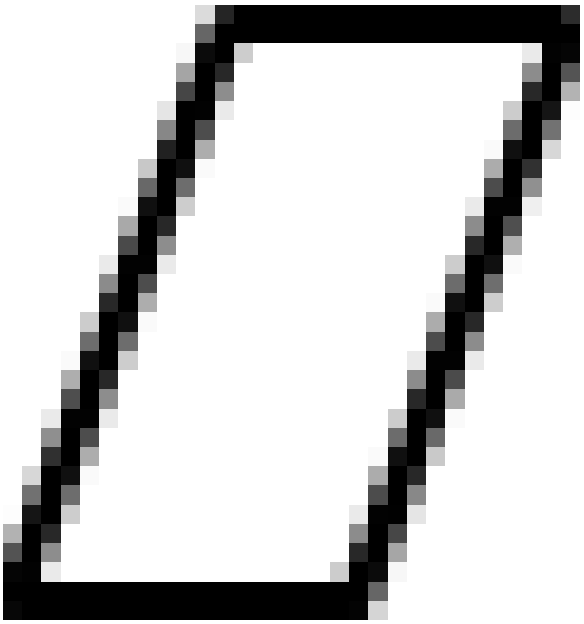
一般的な形状 (続く)

形状	[Name (名前)]
	半楕円
	ジャンクション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

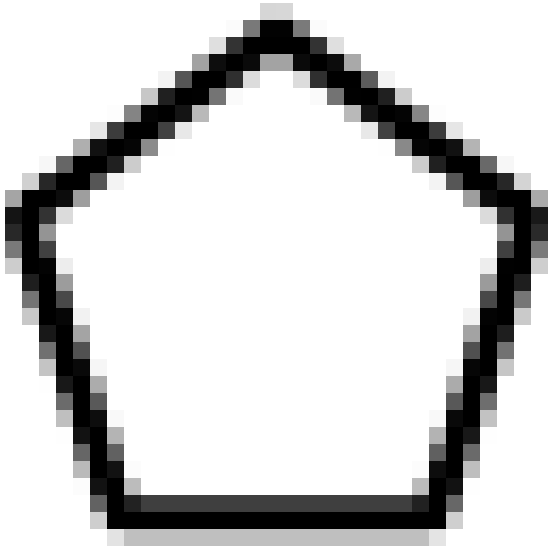
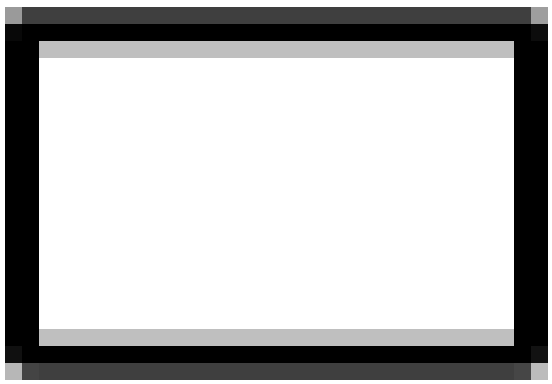
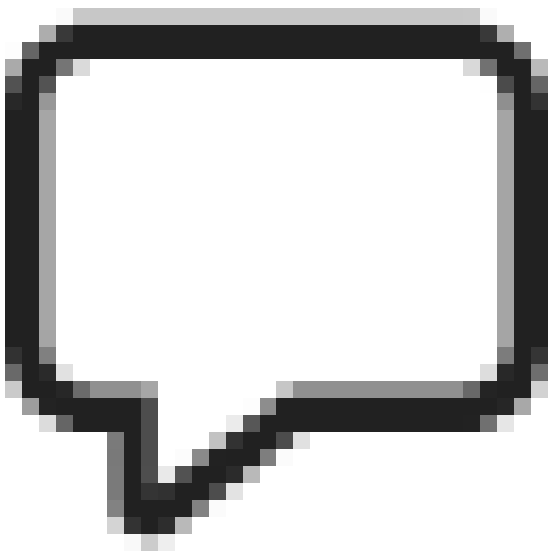
一般的な形状 (続く)

形状	[Name (名前)]
	八角形
	平行四辺形

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

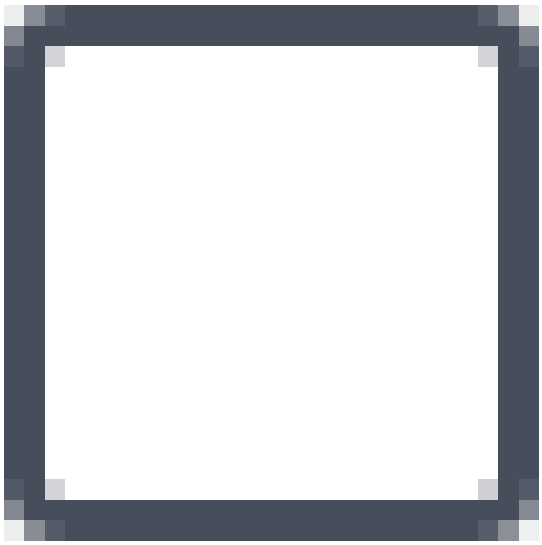
一般的な形状 (続く)

形状	[Name (名前)]
	五角形
	矩形
	吹き出し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

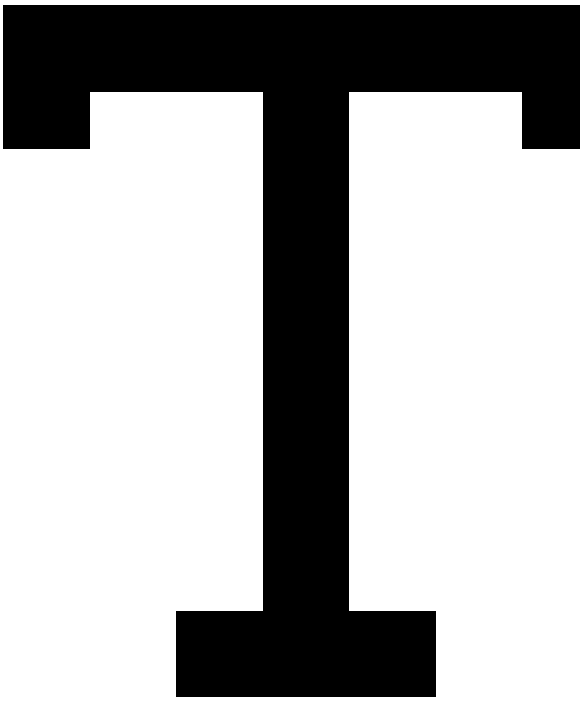
一般的な形状 (続く)

形状	[Name (名前)]
	直角
	付箋

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一般的な形状 (続く)

形状	[Name (名前)]
	テキストボックス
△	三角形

エンタープライズアーキテクチャ 図形

形状	[Name (名前)]
	アプリケーション
	アプリケーションサービス
	ビジネスアプリケーション
	ビジネス機能
	ビジネスプロセス
	ビジネスサービス
	事業部門
	コンピューター
	デマンド
	部門
	デジタル統合
	デジタルインターフェイス

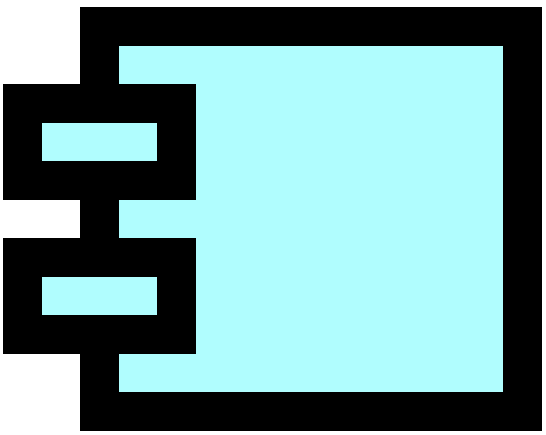
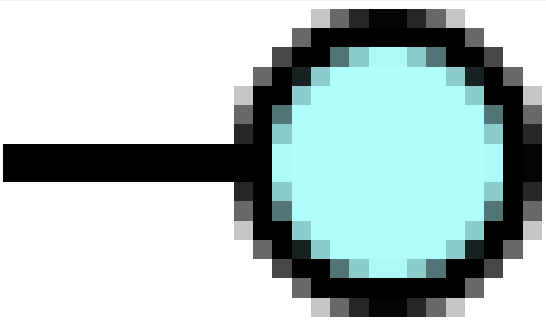
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズアーキテクチャ 図形 (続く)

形状	[Name (名前)]
	ダイナミック CI グループ
	ハードウェアモデル
	情報オブジェクト
	SDLC コンポーネント
	サーバー
	サービスポートフォリオ
	ソフトウェア製品
	テクニカルサービス
	テクニカルサービスオファリング

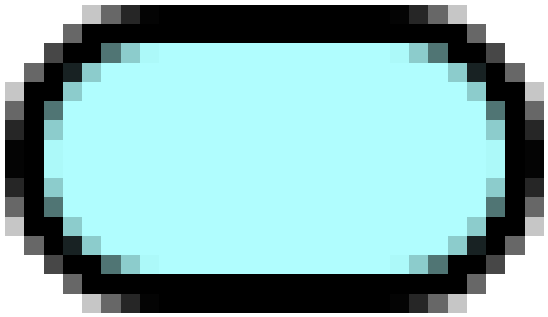
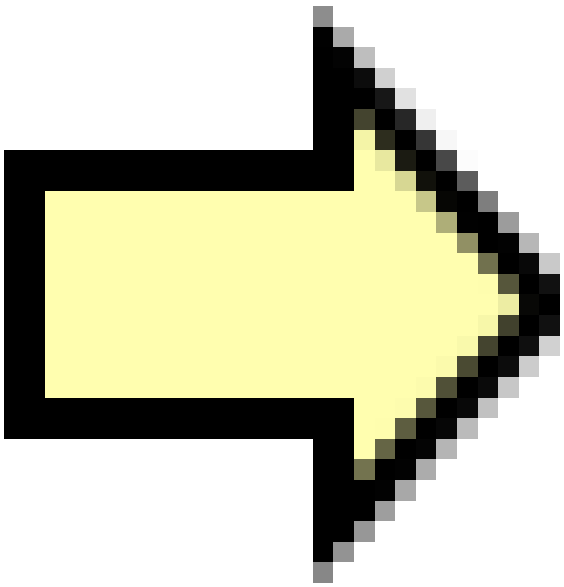
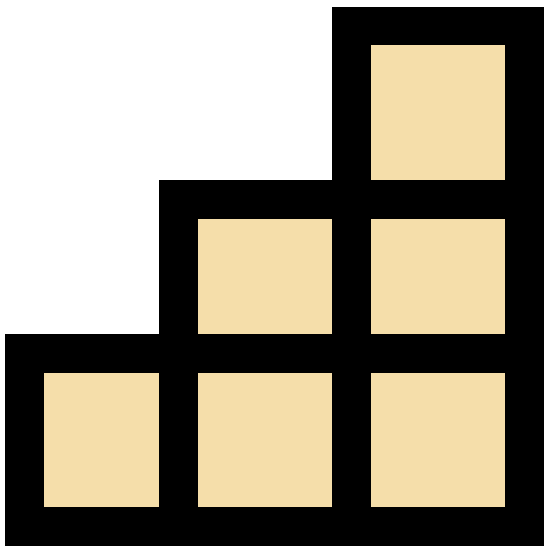
ArchiMate 図形

形状	[Name (名前)]
	アプリケーションコンポーネント
	アプリケーションインターフェイス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

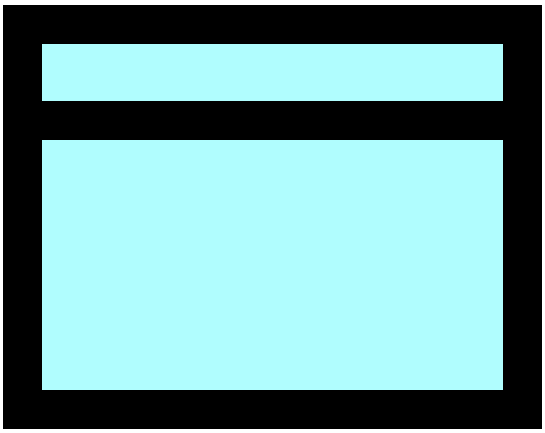
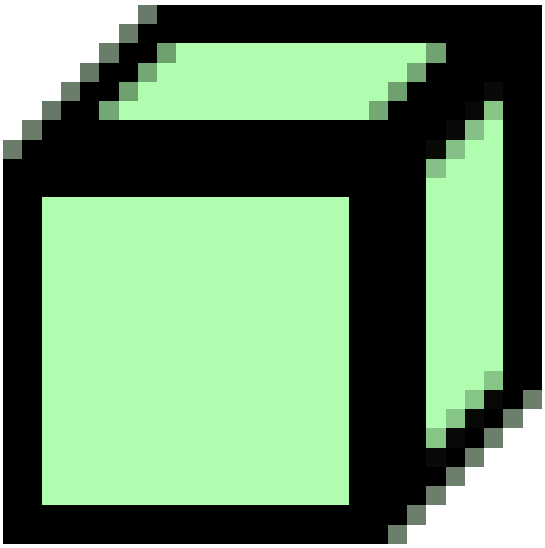
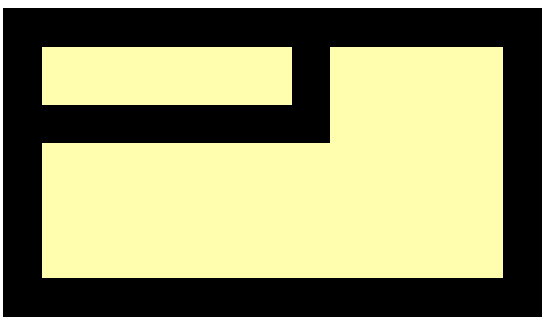
ArchiMate 図形 (続く)

形状	[Name (名前)]
	アプリケーションサービス
	ビジネスプロセス
	機能

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

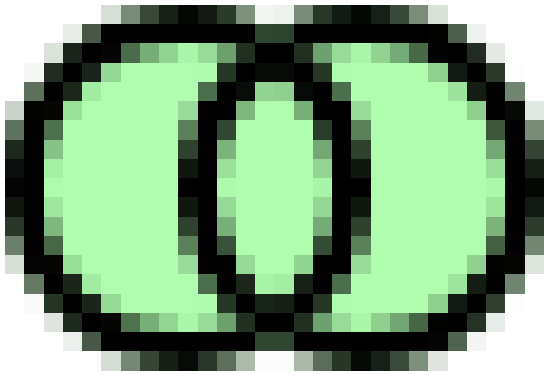
ArchiMate 図形 (続く)

形状	[Name (名前)]
	データオブジェクト
	ノード
	製品

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ArchiMate 図形 (続く)

形状	[Name (名前)]
	技術コラボレーション

EA ワークスペースでのモデリングを使用した 空白の 図の作成

diagram を作成し、ServiceNow データベースと同期します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. モデリングアイコン ( ) を選択して、モデリングページを開きます。
3. [新規] を選択します。
4. 空白の図を選択します。
5. アーティファクト の名前を入力し、アーキテクチャカテゴリ 関連付けられている を選択します。
6. [図の作成] を選択します。

タスクの結果

空のダイアグラムページが作成され、新しいタブで開きます。図形を追加して図を作成できます。

関連情報

- モデリング図を共有する
- 新規バージョンとして保存
- モデリング図を複製する
- モデリング図を提出して承認を得る
- 形状をデータベースに同期する
- ダイアグラムの変更をコミット
- 図オデリング図に関連レコードを追加します
- 形状を削除する

ビジネスケイパビリティマップの図を作成する

エンタープライズのモデリングと可視化を使用して、ビジネスケイパビリティマップを作成してモデル化します。

自動翻訳

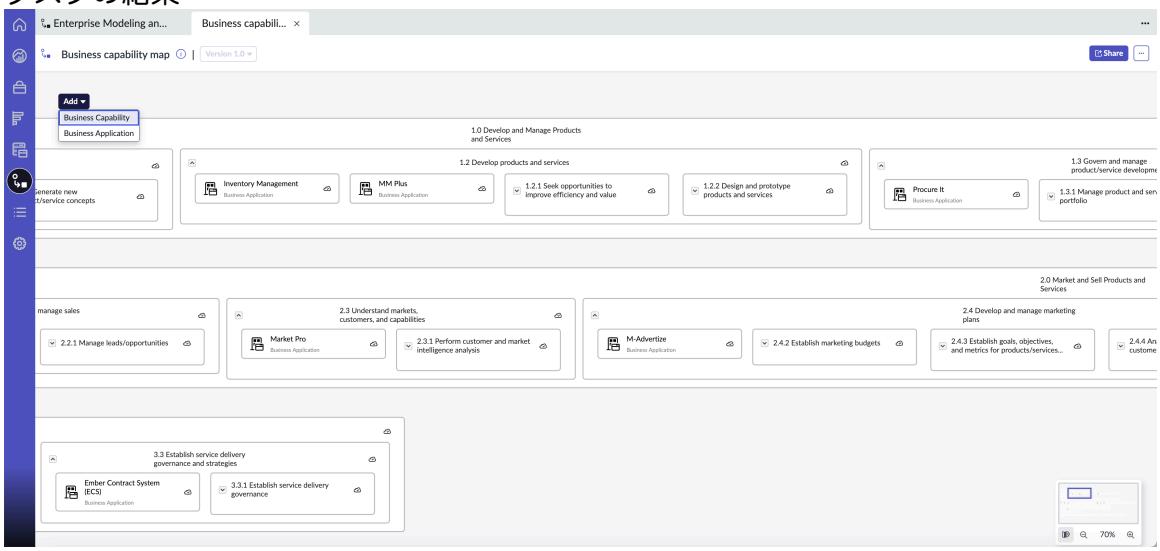
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. エンタープライズのモデリングと可視化 アイコン ( ) を選択して、モデリングページを開きます。
3. [新規] ドロップダウンメニューを選択します。
4. [ビジネスケイパビリティマップ] を選択します。
5. [ビジネスケイパビリティマップを作成 (Create a business capability map)] フォームで、詳細を入力します。
   フィールドの詳細については、「[ビジネスケイパビリティマップの作成 (Create a business capability map)] フォーム」を参照してください。
6. [図の作成] を選択します。

タスクの結果



機能図が作成され、新しいタブで開きます。新しい機能とビジネスアプリケーションをマップに追加し、必要に応じて編集できます。アーティファクトが機能の [アーキテクチャアーティファクト] 関連リストに追加されます。

関連情報

ビジネスケイパビリティマップの更新

ビジネスケイパビリティマップの更新

新しい機能やビジネスアプリケーションを追加したり、既存の機能の階層を変更したりして、既存のビジネスケイパビリティマップを変更します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

注: アーティファクトまたは図の所有者または編集者のアクセス権が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [エンタープライズのモデリングと可視化] アイコン () を選択して、[モデリング] ページを開きます。
3. [ダイアグラム] ページから既存のケイパビリティマップアーティファクトを開きます。
   デフォルトでは、2 つのレベルの階層が表示されます。機能ボックスの下向き矢印を使用して展開し、次のレベルの機能を表示します。
4. 必要に応じてマップを更新します。
   - ある機能から別の機能に機能を移動します。[ビジネスポートフォリオ] ページの [階層を更新] ボタンを使用して、コミットされた図の変更に従ってすべてのケイパビリティの ID を更新します。
   - 新しいビジネス機能またはビジネスアプリケーションを階層マップに追加するには、[追加] ドロップダウンメニューを選択し、[ビジネス機能] または [ビジネスアプリケーション] を選択します。新しい機能またはビジネスアプリケーションをビジネス機能にドラッグして、関係を追加します。
   - 機能に色を適用するには、機能ボックスを選択し、カラーパレットから適用する色を選択します。

   すべての更新は自動保存されます。
5. [変更を収容] を選択して、ダイアグラムをデータベースに同期します。
   このオプションは、ダイアグラムが承認されている場合にのみ使用できます。詳細については、「形状をデータベースに同期する」を参照してください。
6. [共有] を選択して、ダイアグラムを個人またはグループと共有します。
   詳細については、「モデリング図を共有する」を参照してください。
7. [その他のアクション] メニュー ( を選択して、次のアクションを実行します。
   - 新規バージョンとして保存:選択したダイアグラムのバージョンを作成するには、このオプションを選択します。バージョン番号は [バージョン番号] フィールドに自動的に追加され、編集することはできません。詳細については、「新規バージョンとして保存」を参照してください。
   - 複製:図を複製するには、このオプションを選択します。詳細については、「モデリング図を複製する」を参照してください。
   - 承認のため送信:承認のためにダイアグラムを送信するには、このオプションを選択します。承認プロセスは、設定されたワークフローを使用して実行できます。デフォルトでは、承認要求はエンタープライズアーキテクトグループに送信されます。詳細については、「モデリング図を提出して承認を得る」を参照してください。

関連情報

ビジネスケイパビリティマップの図を作成する

ビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションをケイパビリティマップに追加する

ビジネス階層マップの図を作成する

ビジネスアプリケーション階層マップを更新する

ビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションをケイパビリティマップに追加する

エンタープライズのモデリングと可視化を使用して、新規または既存のビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションをケイパビリティマップに追加します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: アーティファクトまたは図の所有者または編集者のアクセス権が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. モデリングアイコン ( ) を選択して、モデリングページを開きます。
3. 新しい図を作成するか、[図] ページから既存の図を選択します。
   デフォルトでは、2 つのレベルの機能階層が表示されます。機能ボックスの下向き矢印を使用して展開し、次のレベルの機能と関連するビジネスアプリケーションを表示します。
4. [追加] ドロップダウンメニューを選択し、[ビジネスケイパビリティ] または [ビジネスアプリケーション] を選択します。



   新しいビジネス機能またはビジネス アプリケーションの図形がキャンバスに追加されます。
5. 新しく追加した図形を選択し、サイドパネルを開くアイコン ( ) を選択して、キャンバスでサイドパネルを開きます。
6. 既存のビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションを選択してマッピングするか、新しいものを作成します。
   - 既存の CI をマッピングするには、[既存を選択] ボタンを選択し、ドロップダウンリストから CI を選択します。

     注: ケイパビリティについては、レベル 0 のケイパビリティのみがリストに表示されます。マップで既に利用可能な機能は、選択するリストには表示されません。

   - CI を作成するには、[新規作成] ボタンを選択して詳細を入力します。
7. 構成アイテム (CI) を機能にドラッグして、関係を作成します。
   構成アイテム (CI) ボックスの境界線が点線に変わります。図を正常にコミットすると、ボックスの境界線が実線に変わります。
8. 必要に応じて、ケイパビリティに色を適用します。
9. 承認のために図を送信します。
   承認を受け取ると、[変更を収容] ボタンが表示されます。[変更のコミット] ボタンを使用して、ダイアグラムをデータベースに同期します。
10. [変更を収容] を選択して、ダイアグラムをデータベースに同期します。
    このオプションは、ダイアグラムが承認されている場合にのみ使用できます。詳細については、「形状をデータベースに同期する」を参照してください。
11. [共有] を選択して、ダイアグラムを個人またはグループと共有します。
    詳細については、「モデリング図を共有する」を参照してください。
12. [その他のアクション] メニュー ( )を選択して、次のアクションを実行します。
    - 新規バージョンとして保存:選択したダイアグラムのバージョンを作成するには、このオプションを選択します。バージョン番号は [バージョン番号] フィールドに自動的に追加され、編集することはできません。
    - 複製:図を複製するには、このオプションを選択します。
    - 承認のため送信:承認のためにダイアグラムを送信するには、このオプションを選択します。承認プロセスは、設定されたワークフローを使用して実行できます。デフォルトでは、承認要求はエンタープライズアーキテクトグループに送信されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

ビジネスケイパビリティマップの図を作成する

ビジネスケイパビリティマップの更新

ビジネス階層マップの図を作成する

エンタープライズのモデリングと可視化を使用して、ビジネスアプリケーション階層マップを作成してモデル化します。

始める前に

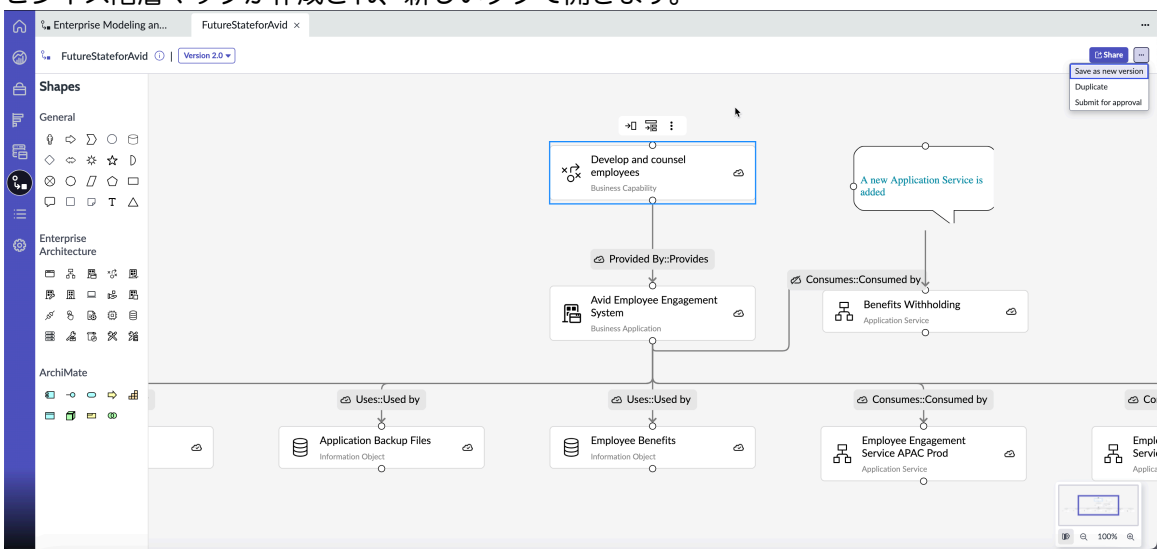
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. エンタープライズのモデリングと可視化 アイコン ( ) を選択して、モデリングページを開きます。
3. [新規] ドロップダウン メニューを選択します。
4. [ビジネス階層マップ] を選択します。
5. [ビジネスケイパビリティマップを作成 (Create a business capability map)] フォームで、詳細を入力します。
   フィールドの詳細については、「[ビジネス階層マップの作成 (Create a Business hierarchy map)] フォーム」を参照してください。
6. [図の作成] を選択します。

タスクの結果

ビジネス階層マップが作成され、新しいタブで開きます。



関連情報

ビジネスアプリケーション階層マップを更新する

ビジネスケイパビリティマップの図を作成する

ビジネスアプリケーション階層マップを更新する

図形や関係を追加または削除して、既存のビジネスアプリケーション階層マップを変更します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: アーティファクトまたは図の所有者または編集者のアクセス権が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [エンタープライズのモデリングと可視化] アイコン ( ) を選択して、[モデリング] ページを開きます。
3. [ダイアグラム] ページから既存のビジネス階層マップアーティファクトを開きます。
4. 新しく追加した図形を選択し、サイドパネルを開くアイコン ( ) を選択して、キャンバスで選択した図形の詳細パネルを開きます。
5. 図内の図形を選択すると、次のオプションが表示されます。
   - レコードの詳細を更新するためのサイドパネルアイコン ( )。
   - [関連レコードを追加] アイコン ( ) を使用してエンティティと関係を追加します。
   - [その他のアクション] コンテキストメニュー ( ) を使用すると、関係性を追加したり、キャンバスから図形を削除したりするためのオプションが表示されます。
6. [変更を収容] を選択して、ダイアグラムをデータベースに同期します。
   このオプションは、ダイアグラムが承認されている場合にのみ使用できます。詳細については、「形状をデータベースに同期する」を参照してください。
7. [共有] を選択して、ダイアグラムを個人またはグループと共有します。
   詳細については、「モデリング図を共有する」を参照してください。
8. [その他のアクション] メニュー ( ) を選択して、次のアクションを実行します。
   - 新規バージョンとして保存:選択したダイアグラムのバージョンを作成するには、このオプションを選択します。バージョン番号は [バージョン番号] フィールドに自動的に追加され、編集することはできません。詳細については、「新規バージョンとして保存」を参照してください。
   - 複製:図を複製するには、このオプションを選択します。詳細については、「モデリング図を複製する」を参照してください。
   - 承認のため送信:承認のためにダイアグラムを送信するには、このオプションを選択します。承認プロセスは、設定されたワークフローを使用して実行できます。デフォルトでは、承認要求はエンタープライズアーキテクトグループに送信されます。詳細については、「モデリング図を提出して承認を得る」を参照してください。

関連情報

ビジネスケイパビリティマップの図を作成する

ビジネスケイパビリティマップの更新

ビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションをケイパビリティマップに追加する

ビジネス階層マップの図を作成する

図オデリング図に関連レコードを追加します

関連レコードをフェッチし、図で選択したオブジェクトに追加します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

注: アーティファクトまたは図の所有者または編集者のアクセス権が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. モデリングアイコン ( ) を選択して、モデリングページを開きます。
3. [図] ページから既存の図を選択します。
4. ダイアグラムで CI を選択し、コンテキストメニューと [その他のアクション] メニュー ( ) を開きます。
5. [ ] アイコンを選択して、[関連レコードを追加] ウィンドウを開きます。
6. 図に追加するエンティティを選択します。
7. [**Add**] を選択します。

タスクの結果
選択したエンティティがオブジェクトのダイアグラムに追加されます。

関連情報

- モデリング図を共有する
- ダイアグラムの変更をコミット
- 新規バージョンとして保存
- モデリング図を複製する
- モデリング図を提出して承認を得る
- 形状をデータベースに同期する
- 形状を削除する

でのArchiMate形状のサポート エンタープライズのモデリングと可視化

ArchiMate® 図形は、エンタープライズアーキテクトが企業内のさまざまなドメイン間で関係を持つ図を作成するために使用する業界標準の図形です。ArchiMateは、The Open Groupの登録商標です。 エンタープライズのモデリングと可視化 は、ArchiMate 図形と、一般アーキテクチャ図形およびエンタープライズ アーキテクチャ図形をサポートしています。

ServiceNow 共通サービスデータモデル (CSDM)を使用したArchiMate形状マッピング(CSDM)

ArchiMate 図形は、 ServiceNow CSDM 要素と内部的に関連付けられています。このマッピングにより、エンタープライズアーキテクチャの図形関係の類似したマッピングに従うことができます。

ArchiMate 形状	CSDM 要素タイプ
ビジネスサービス	ビジネスサービス
アプリケーションサービス	アプリケーションサービス
アプリケーションコンポーネント	ビジネスアプリケーション
製品	ビジネスアプリケーション
アーティファクト	アーキテクチャアーティファクト
機能	ビジネス機能
ビジネスプロセス	ビジネスプロセス
テクノロジーコラボレーション	ダイナミック CI グループ

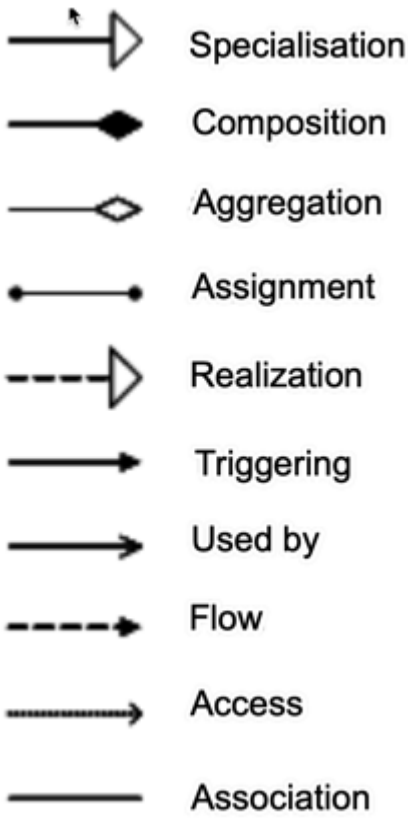
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ArchiMate 形状	CSDM 要素タイプ
ノード	サーバー
データオブジェクト	情報オブジェクト
契約	契約
場所	場所
アプリケーションインターフェイス	デジタルインターフェイス

ArchiMateの関係の種類

ArchiMate 図形の関係タイプは次のとおりです。これらの矢印を使用して、モデリング図のArchiMate形状間の関係を定義します。



ArchiMate 形状を使用して図を作成し、関係を追加する

業界標準のArchiMate形状を使用して、 エンタープライズアーキテクチャワークスペースで企業のモデリング図を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて
CSDM 図形と ArchiMate 図形を組み合わせて図を作成することも、ArchiMate 図形のみを使用することもできます。ArchiMate 図形のみで図を作成する場合は、[ビジネス階層マップの作成] フォームにビジネスアプリケーションの名前を含めることをスキップできます。空白のキャンバスが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. エンタープライズのモデリングと可視化 アイコン () を選択して、モデリングページを開きます。
3. [新規] ドロップダウン メニューを選択します。
4. [ビジネス階層マップ] を選択します。
5. [ビジネスケイパビリティマップを作成 (Create a business capability map)] フォームで、詳細を入力します。
   フィールドの詳細については、「[ビジネス階層マップの作成 (Create a Business hierarchy map)] フォーム」を参照してください。
6. [図の作成] を選択します。
   アーティファクトに空白のキャンバスが作成されます。
7. ArchiMate 図形をキャンバスに追加します。
8. ラジオボタンを選択して、CI を形状に関連付けます。
   - 既存を選択:このラジオ・ボタンを選択して、形状を既存のCIに関連付けます。
   - 新規作成 - 選択した形状の新しいCIを作成するには、このラジオ・ボタンを選択します。
9. 関係タイプを更新するコネクタラインを選択します。
   [関係] サイドパネルが開きます。値と**ArchiMate**関係タイプを選択します。ArchiMateの形状と関係の詳細については、 でのArchiMate形状のサポート エンタープライズのモデリングと可視化を参照してください。
10. 図形を選択し、[] アイコンを選択して図形の関連レコードを追加します。
    [関連レコードを追加] ウィンドウが開きます。番号と関係性タイプ (CI 関係性または参照) を持つエンティティが一覧表示されます。
11. 含める エンティティ を選択し、 追加 を選択します。
    選択したエンティティが図に追加され、関係がArchiMate形式で表示されます。この図で、点線は参照リンクを表し、実線は CI 関係を表します。
12. [変更を収容] を選択して、ダイアグラムをデータベースに同期します。
    このオプションは、ダイアグラムが承認されている場合にのみ使用できます。詳細については、「形状をデータベースに同期する」を参照してください。
13. [共有] を選択して、ダイアグラムを個人またはグループと共有します。
    詳細については、「モデリング図を共有する」を参照してください。
14. [その他のアクション] メニュー ( を選択して、次のアクションを実行します。
    - 新規バージョンとして保存:選択したダイアグラムのバージョンを作成するには、このオプションを選択します。バージョン番号は [バージョン番号] フィールドに自動的に追加され、編集することはできません。詳細については、「新規バージョンとして保存」を参照してください。
    - 複製:図を複製するには、このオプションを選択します。詳細については、「モデリング図を複製する」を参照してください。
    - 承認のため送信:承認のためにダイアグラムを送信するには、このオプションを選択します。承認プロセスは、設定されたワークフローを使用して実行できます。デフォルトでは、承認要求はエンタープライズアーキテクトグループに送信されます。詳細については、「モデリング図を提出して承認を得る」を参照してください。

でのカスタム形状のサポート エンタープライズのモデリングと可視化

カスタム図形は、図で特定の概念、プロセス、システム、または役割を表すために使用できるユーザー定義のグラフィカル要素です。これらの図形は、組織固有のニーズに合わせて調整できるため、図をより意味のあるわかりやすいものにすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのカスタム形状の使用 エンタープライズのモデリングと可視化

カスタム図形は、カスタムビジネスプロセス、システム、ロールなど、組織に固有の特定の要素を表すことができます。

エンタープライズのモデリングと可視化でカスタム図形を使用すると、図の外観と使用感の一貫性が維持されます。ユーザー設定の図形は、使い慣れた意味のある記号を使用することで、複雑なアイデアをより効果的に伝えるのに役立ちます。

図形や画像をデータベースに保存する

画像をデータベースにアップロードして、 エンタープライズのモデリングと可視化のダイアグラムページに表示されるように構成します。

始める前に
必要なロール：システムアドミニストレーター

このタスクについて
エンタープライズのモデリングと可視化内のすべての図形は、図形を表す画像に関連付けられています。システムアドミニストレーターロールを持つユーザーは、画像をアップロードしてデータベースに保存できます。これらのイメージは、イメージ [db_image] テーブルに保存されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム **UI** > 画像.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. 新しい画像フォームに詳細を入力します。
   詳細については、「新しい画像フォーム」を参照してください。

カスタム図形のダイアグラム アクションを作成する

図の作成に エンタープライズのモデリングと可視化 で使用できる、新しく追加されたカスタム図形の図アクションを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
カスタム図形を作成し、カスタム図形を形状ライブラリに追加した後、作成した各カスタム図形に関連付けるアクションを定義できます。ダイアグラムアクションは、ダイアグラムをよりインタラクティブで機能的にすることで、ユーザーエクスペリエンスを向上させることができます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行  を選択します。
4. ダイアグラムアクションを選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. ダイアグラムアクションフォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「ダイアグラムアクションの作成フォーム」を参照してください。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム形状ライブラリを追加する

形状ライブラリを作成して、組織に固有のカスタム形状を追加します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ()を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行 ]を選択します。
4. **[Shape Libraries** (形状ライブラリ)] を選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. 形状ライブラリフォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「形状ライブラリフォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

関連情報

- 図形や画像をデータベースに保存する
- カスタム図形のダイアグラム アクションを作成する

カスタム形状の形状ライブラリ要素を追加する

形状ライブラリ要素を作成して、カスタム形状とそのダイアグラムアクションをカスタム形状ライブラリに関連付けます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ()を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行 ]を選択します。
4. **[Shape Libraries** (形状ライブラリ)] を選択します。
5. カスタム形状とそのダイアグラムアクションを関連付けるカスタム形状ライブラリを開きます。
6. [形状ライブラリ要素] フォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「エンティティ構成フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

カスタム形状の例

カスタム図形を使用して、カスタムビジネスプロセス、システム、ロールなど、組織に固有の特定の要素を表します。

始める前に

必要なロール:システムアドミニストレーター (画像をデータベースにアップロードする場合)、APM アドミン (ダイアグラムアクションの作成、カスタム形状ライブラリ、形状ライブラリ要素の追加)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

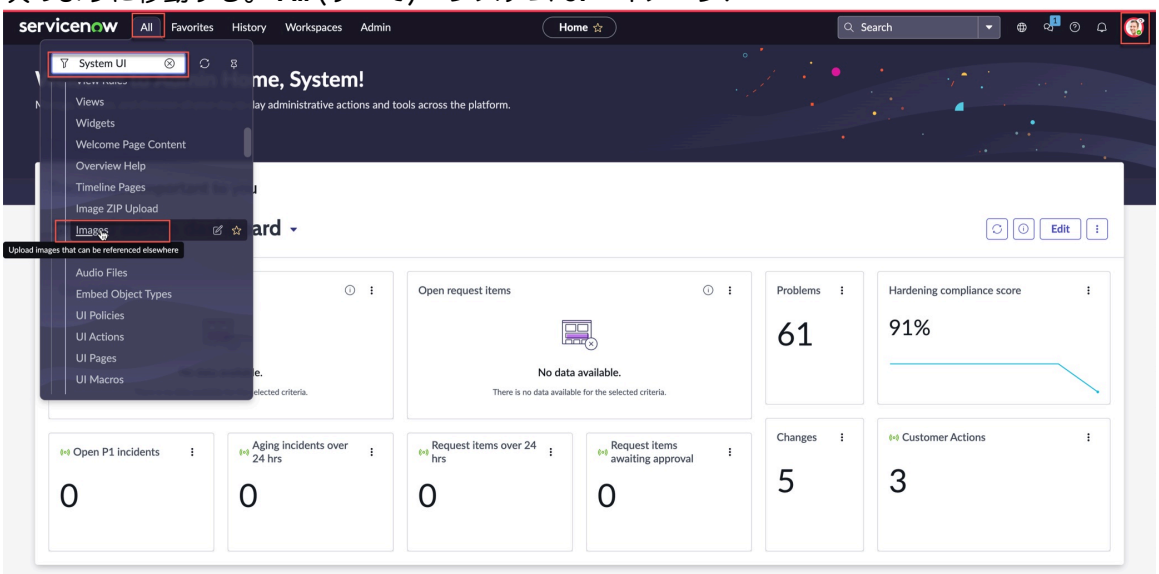
このタスクについて
この例では、画像または図形をデータベースにアップロードし、画像または図形のダイアグラム アクションを作成し、カスタム シェイプ ライブラリを作成し、シェイプ ライブラリに図形を追加し、シェイプ ライブラリ要素を作成し、図形を使用してダイアグラムを作成する方法について説明します。

図に含める要素を表す図形を作成します。画像が鮮明で、シンプルで、視覚的にわかりやすいものであることを確認してください。互換性のある形式は です。SVG。この例では、「Database.svg」画像を使用します。

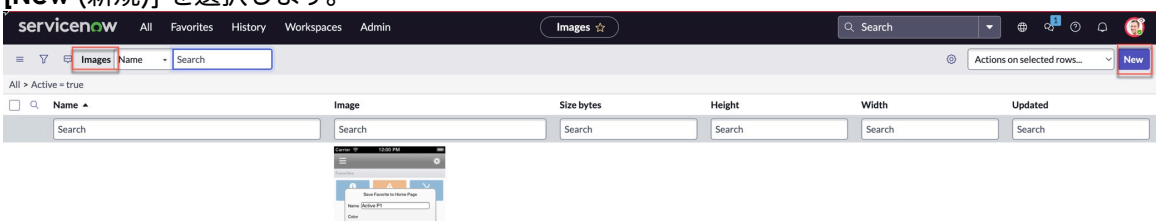
手順

1. 画像または形状をデータベースにアップロードします。

   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム **UI** > イメージ.



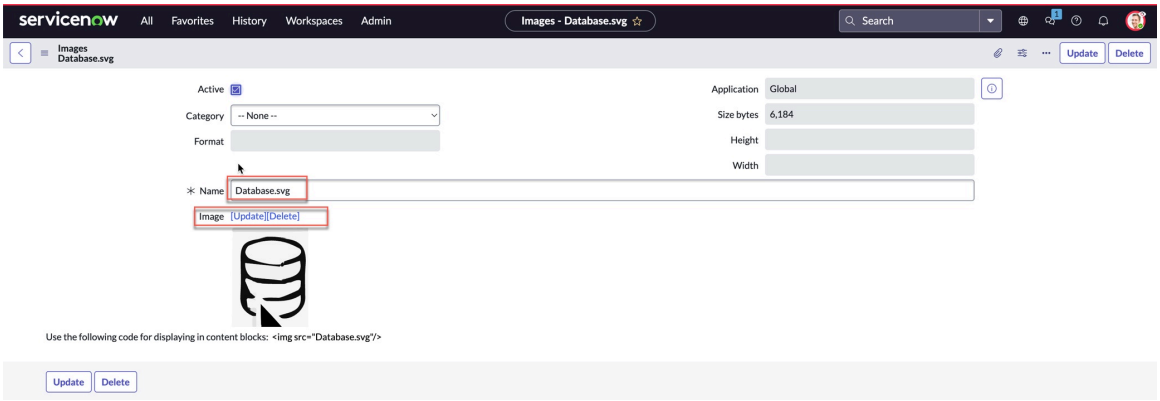
   b. **[New** (新規)] を選択します。



2. [新規画像] レコードに、画像ファイルの名前 (ファイル形式の拡張子を含む) を入力し、その他の詳細を入力します。
3. [クリックして追加...] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

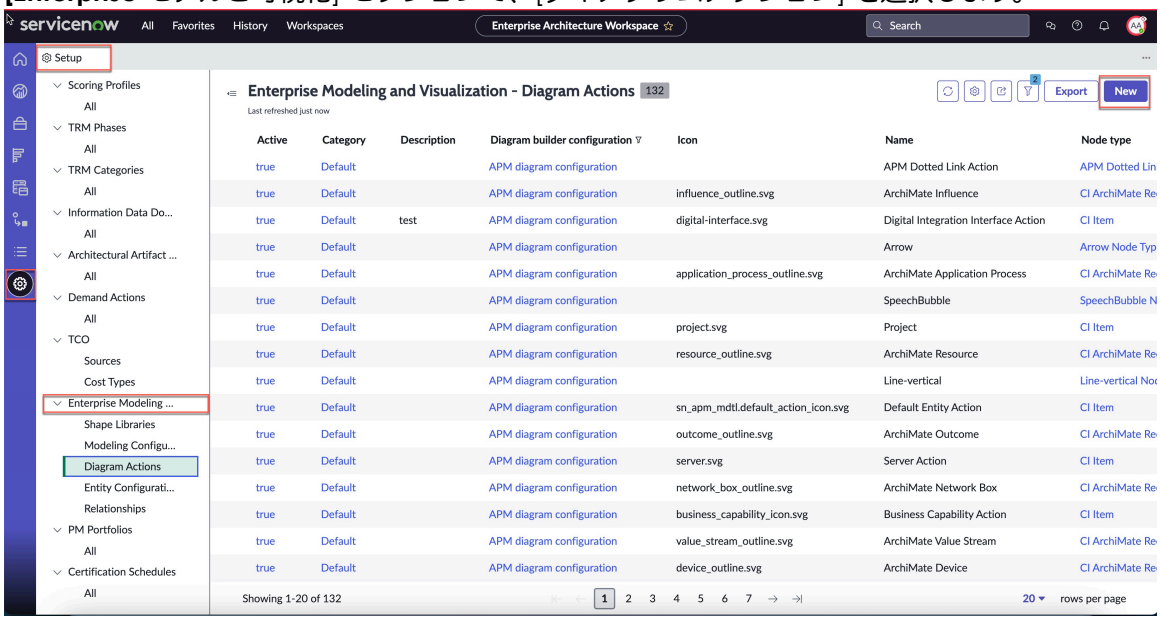
自動翻訳



4. エンタープライズアーキテクチャワークスペース内の画像のダイアグラムアクションを作成します。

   a. APM アドミンユーザー (sn_apm.apm_admin) としてログインし、[セットアップ] セクションに移動します。

   b. **[Enterprise** モデルと可視化] セクションで、[ダイアグラムアクション] を選択します。



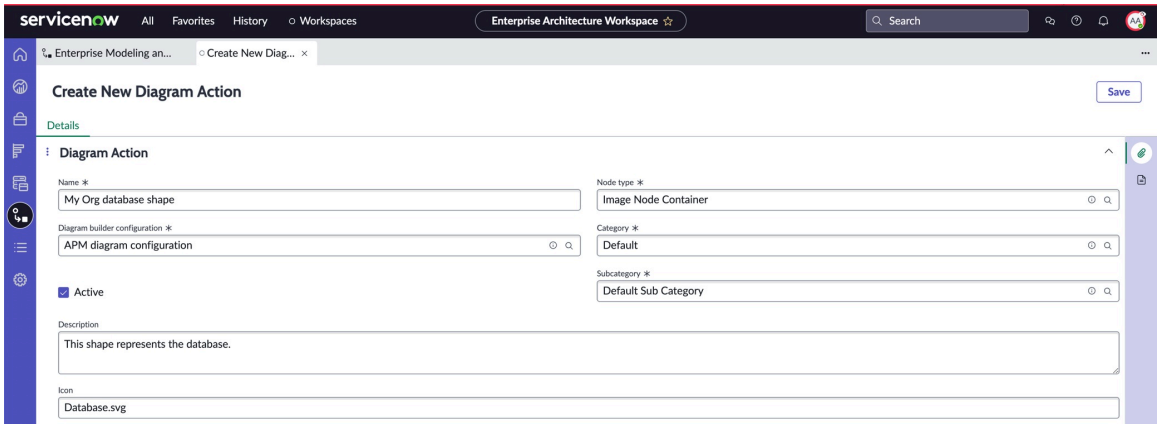
   c. [新規] を選択して、イメージ (Database.svg) のダイアグラムアクションを作成します。

   d. ダイアグラムアクションフォームで、次の詳細を入力します。
      - 名前:ダイアグラムアクションの名前
      - ダイアグラムビルダー構成:リストから [APM ダイアグラム構成] を選択します
      - ノードタイプ:ノードタイプを [イメージノードコンテナ] として選択します
      - カテゴリ - デフォルトを選択

自動翻訳

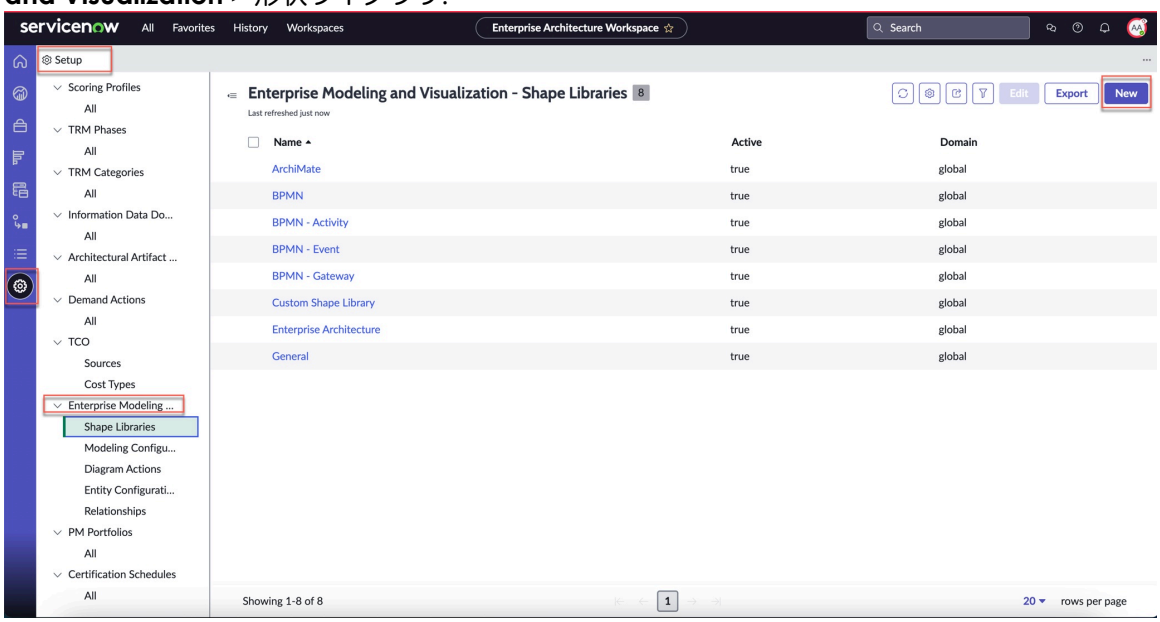
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サブカテゴリ - [デフォルトのサブカテゴリ] を選択します
- アイコン:イメージの名前を入力します



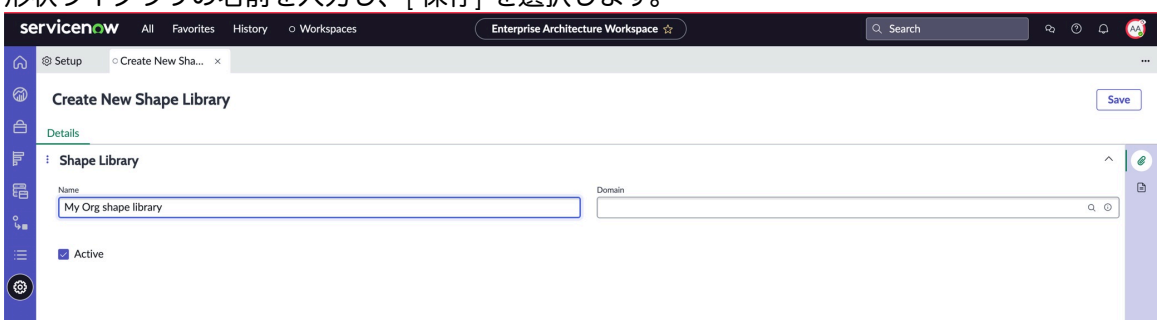
5. 組織に固有のカスタム形状ライブラリを作成し、すべての形状を追加して組織の図を作成します。

a. APM アドミンユーザーとして、次の場所に移動します。 セットアップ > **Enterprise Modeling and Visualization** > 形状ライブラリ.



b. **[New** (新規)] を選択します。

c. 形状ライブラリの名前を入力し、[保存] を選択します。



6. 形状ライブラリ要素を追加して、形状とその図のアクションを形状ライブラリに関連付けます。

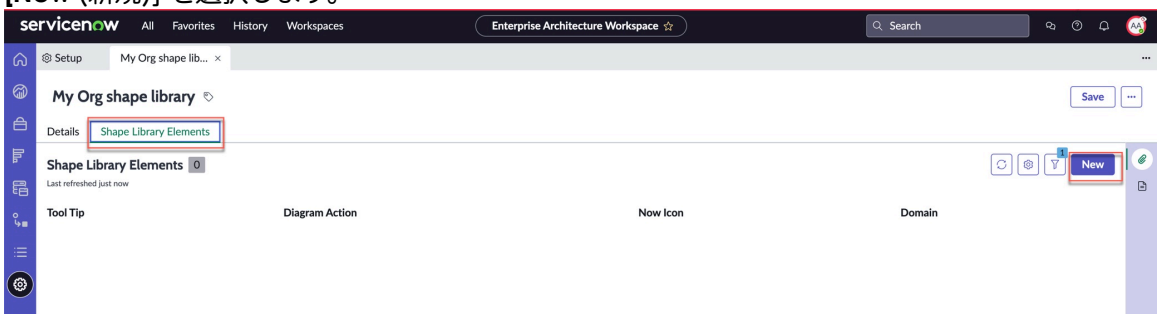
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. APM アドミンユーザーとして、前のステップで作成した形状ライブラリを開きます。

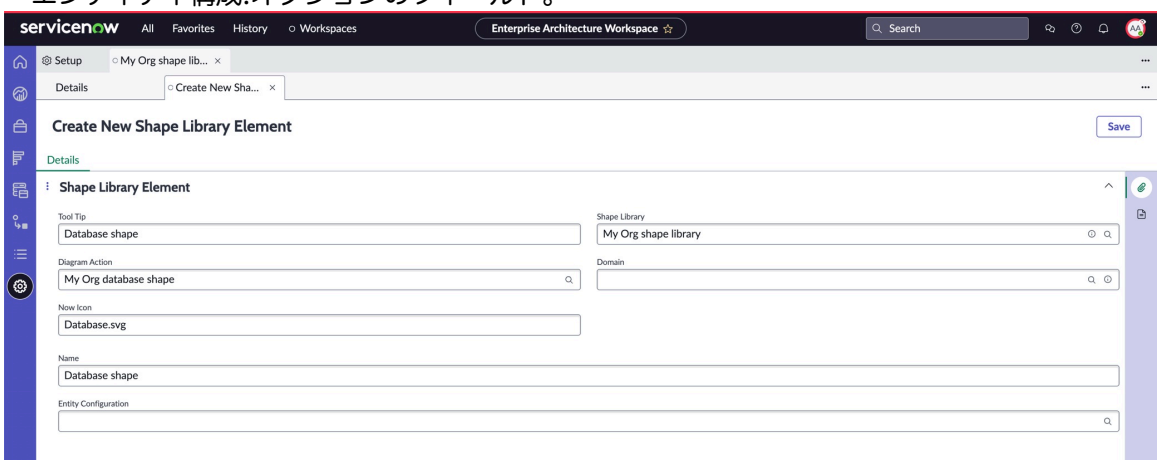
b. [形状ライブラリ要素] タブを選択します。

c. **[New** (新規)] を選択します。



d. 形状ライブラリ要素フォームで、次の詳細を入力します。

- ツールヒント:画像にカーソルを合わせたときに表示するテキストを入力します。
- ダイアグラムアクション - 前のステップで作成したダイアグラムアクションを選択します。
- Now アイコン:形状または画像の名前を入力します。
- 名前:Enterprise Modeling and Visualization アプリケーションに表示する形状の名前を入力します。
- 形状ライブラリ:このフィールドは自動的に選択されます。
- ドメイン:オプションのフィールド。
- エンティティ構成:オプションのフィールド。



e. [**Save** (保存)] をクリックする。

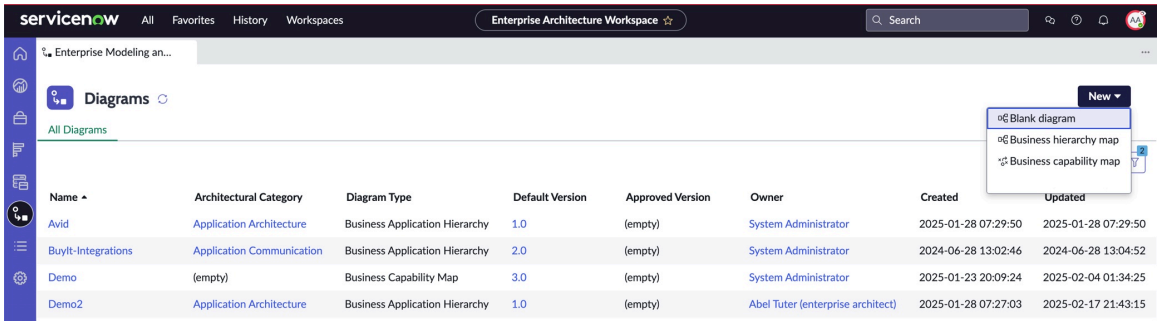
7. アップロードした図形を使用して図を作成します。

a. **[Enterprise** モデルと可視化] ページに移動します。

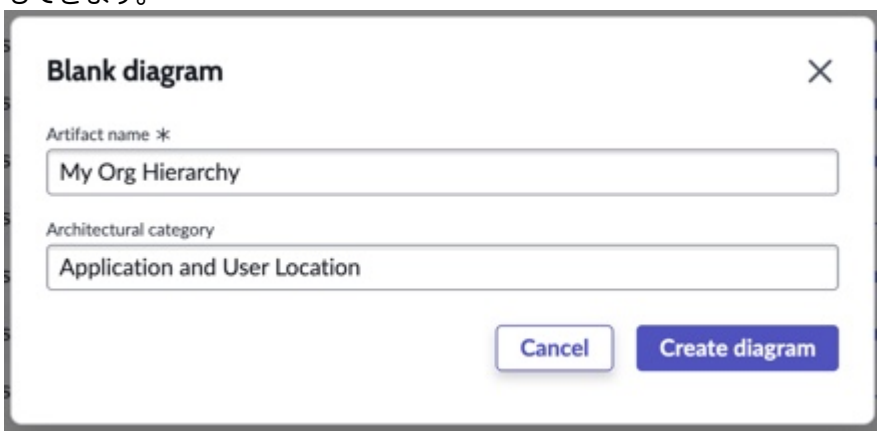
b. >を選択 新規 > 空白の図

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

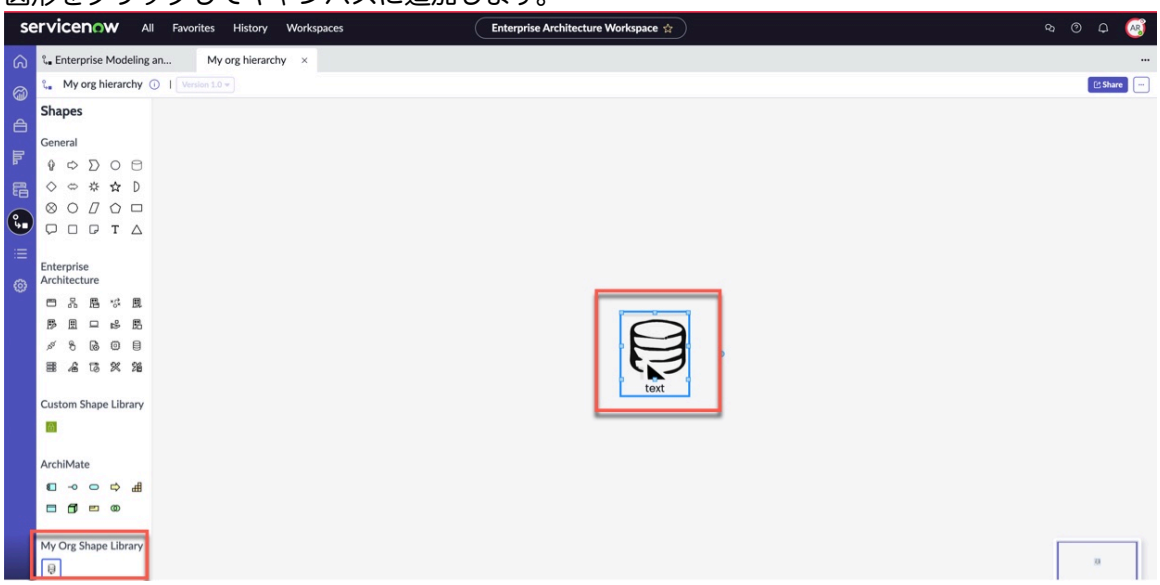


c. 図の名前を入力します。必要に応じて、図のアーキテクチャカテゴリを入力または選択することもできます。



作成した形状ライブラリが [図形] パレットに表示されることを確認します。アップロードした形状が含まれています。

d. 図形をクリックしてキャンバスに追加します。



選択した図形がキャンバスに追加されます。

モデリング図を共有する

ドラフト図を個人やグループと共有し、図を表示および変更するためのアクセスレベルを定義します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

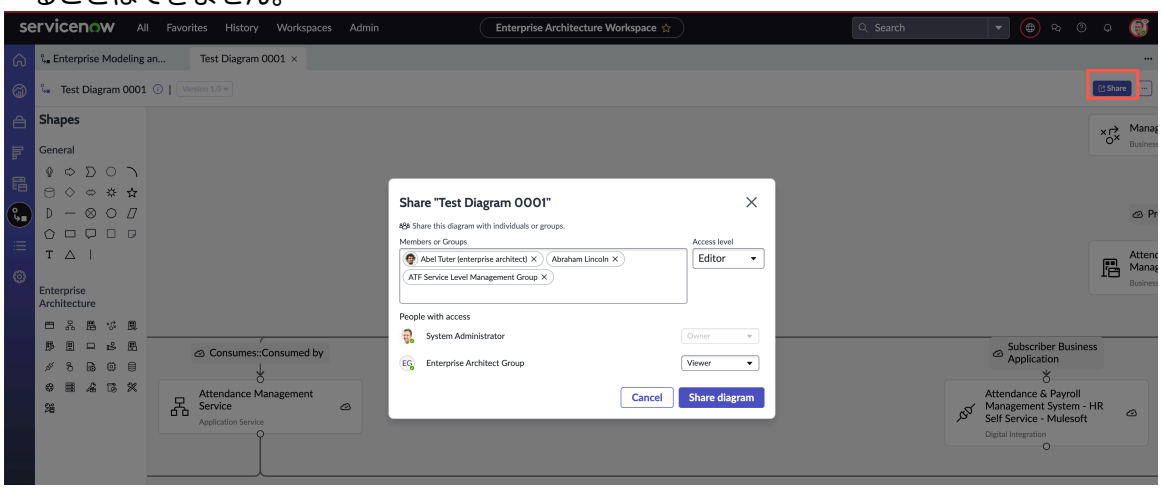
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: アーティファクトまたは図の所有者または編集者のアクセス権が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. モデリングアイコン ( ) を選択して、モデリングページを開きます。
3. 作成した、他のユーザーと共有する既存の図を選択します。
4. [**Share**] を選択します。
5. 図を共有するメンバーとグループを追加します。
   メンバーとグループに次のアクセスレベルを提供できます。
   - 所有者: このアクセス権を持つユーザーは、図を編集したり、図を共有したり、他のユーザー (図の実際の所有者を除く) のアクセス レベルを変更したりできます。
   - 編集者:このアクセス権では、図を編集したり、他のユーザーの編集者または閲覧者と図を共有したり、自分が追加したユーザーのアクセスレベルを変更したりできます。
   - ビューアー:このアクセス権では、図の表示のみが可能で、図に対して他のアクションを実行することはできません。



関連情報

- ビジネスケイパビリティマップの図を作成する
- ビジネスケイパビリティマップの更新
- ビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションをケイパビリティマップに追加する
- ビジネス階層マップの図を作成する
- ビジネスアプリケーション階層マップを更新する
- ダイアグラムの変更をコミット
- 新規バージョンとして保存
- モデリング図を複製する
- モデリング図を提出して承認を得る
- 形状をデータベースに同期する
- 図オデリング図に関連レコードを追加します
- 形状を削除する

ダイアグラムの変更をコミット

承認された図とそのすべての要素をデータベースに同期。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

注: アーティファクトまたは図の所有者または編集者のアクセス権が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. モデリングアイコン ( ) を選択して、モデリングページを開きます。
3. [図] ページから既存の図を選択します。
4. [変更のコミット] を選択します。
5. [コミット] を選択して図を同期します。

タスクの結果
図が ServiceNow データベースに同期されます。

関連情報

- ビジネスケイパビリティマップの図を作成する
- ビジネスケイパビリティマップの更新
- ビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションをケイパビリティマップに追加する
- ビジネス階層マップの図を作成する
- ビジネスアプリケーション階層マップを更新する
- モデリング図を共有する
- 新規バージョンとして保存
- モデリング図を複製する
- 形状をデータベースに同期する
- 図オデリング図に関連レコードを追加します
- 形状を削除する

新規バージョンとして保存

既存の図をコピーし、選択したアーキテクチャアーティファクト内にその図のバージョンを作成します。必要に応じて新しいバージョンを更新できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

注: アーティファクトまたは図の所有者または編集者のアクセス権が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. モデリングアイコン ( ) を選択して、モデリングページを開きます。
3. [図] ページから既存の図を選択します。
4. [その他のアクション] メニュー [ ]を選択します。
5. [新規バージョンとして保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規バージョンとして保存] ウィンドウで、[バージョン番号] フィールドが図の番号で自動的に更新されます。このフィールドは編集不可能なフィールドです。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
このアクションにより、ダイアグラムが既存のアーキテクチャアーティファクト内に新しいバージョンとして保存されます。[バージョン] ドロップダウンに、新しく作成されたバージョンが表示されます。

関連情報
- ビジネスケイパビリティマップの図を作成する
- ビジネスケイパビリティマップの更新
- ビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションをケイパビリティマップに追加する
- ビジネス階層マップの図を作成する
- ビジネスアプリケーション階層マップを更新する
- モデリング図を共有する
- モデリング図を複製する
- 新規バージョンとして保存
- 図オデリング図に関連レコードを追加します
- 形状を削除する

モデリング図を複製する
作成した既存の図のコピーを作成し、要件に応じて変更します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

注: アーティファクトまたは図の所有者または編集者のアクセス権が必要です。

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. モデリングアイコン ( ) を選択して、モデリングページを開きます。
3. [図] ページから既存の図を選択します。
4. [その他のアクション] メニュー [ ]を選択します。
5. [複製] を選択します。
6. 図の名前を入力します。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

関連情報
- ビジネスケイパビリティマップの図を作成する
- ビジネスケイパビリティマップの更新
- ビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションをケイパビリティマップに追加する
- ビジネス階層マップの図を作成する
- ビジネスアプリケーション階層マップを更新する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

図オデリング図に関連レコードを追加します
モデリング図を共有する
ダイアグラムの変更をコミット
新規バージョンとして保存
モデリング図を提出して承認を得る
形状をデータベースに同期する
形状を削除する

モデリング図を提出して承認を得る

ドラフトのモデリング図を承認のために送信します。承認を受け取った後、ダイアグラムをデータベースにコミットできます。承認プロセスは、設定されたワークフローを使用して実行できます。デフォルトでは、承認要求はエンタープライズアーキテクトグループに送信されます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

注: アーティファクトまたは図の所有者または編集者のアクセス権が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. モデリングアイコン ( ) を選択して、モデリングページを開きます。
3. [図] ページから既存の図を選択します。
4. [その他のアクション] メニュー [ ]を選択します。
5. [承認のため送信] を選択します。
6. [**Submit** (送信)] を選択します。

図が承認のために送信された後は、図を変更することはできません。

関連情報

ビジネスケイパビリティマップの図を作成する
ビジネスケイパビリティマップの更新
ビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションをケイパビリティマップに追加する
ビジネス階層マップの図を作成する
ビジネスアプリケーション階層マップを更新する
モデリング図を共有する
ダイアグラムの変更をコミット
新規バージョンとして保存
モデリング図を複製する
形状をデータベースに同期する
図オデリング図に関連レコードを追加します
形状を削除する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

形状をデータベースに同期する

図に図形を追加します。形状を既存の CI にマッピングするか、CI を追加して、形状をデータベースに同期します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

> **注:** アーティファクトまたは図の所有者または編集者のアクセス権と、形状エンティティへの読み取りアクセス権が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. モデリングアイコン () を選択して、モデリングページを開きます。
3. [図] ページから既存の図を選択します。
4. 既存の図または新しい図に図形を追加します。
   同期されていない) が図形に表示されていることがわかります。これは、図形がまだ ServiceNow データベースと同期されていないことを意味します。
5. サイドパネルを開くアイコン( )を選択して、選択した形状の詳細を含むサイドパネルを開きます。
6. 既存の CI を選択してマッピングするか、形状の CI を作成します。
   - 既存の CI をマッピングするには、[既存を選択] ボタンを選択し、ドロップダウンリストから CI を選択します。
   - CI を作成するには、[新規作成] ボタンを選択して詳細を入力します。
7. 承認のために図形または図を送信します。
   承認を受け取った後、図形や図、またはデータベースとの関係を同期するための [コミット] ボタンが表示されます。
8. [**Update** (更新)] を選択します。
9. [コミット] を選択して、オブジェクトをデータベースに同期し、図を保存します。

タスクの結果

図形はデータベースと同期されます。

関連情報

- ビジネスケイパビリティマップの図を作成する
- ビジネスケイパビリティマップの更新
- ビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションをケイパビリティマップに追加する
- ビジネス階層マップの図を作成する
- ビジネスアプリケーション階層マップを更新する
- モデリング図を共有する
- ダイアグラムの変更をコミット
- 新規バージョンとして保存
- モデリング図を複製する
- モデリング図を提出して承認を得る

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

図オデリング図に関連レコードを追加します
形状を削除する

形状を削除する

図形とそのすべての関係を図から削除します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

注: アーティファクトまたは図の所有者または編集者のアクセス権が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. モデリングアイコン ( ) を選択して、モデリングページを開きます。
3. [図] ページから既存の図を選択します。
4. 必要に応じて図を編集します。
5. 図内の図形を選択します。
6. [その他のアクション] メニュー ( ) から、[キャンバスから図形を削除] を選択します。
7. 削除を確定します。

タスクの結果
選択した形状がキャンバスまたはモデルから削除されます。

関連情報

モデリング図を作成するための形状
ビジネスケイパビリティマップの図を作成する
ビジネスケイパビリティマップの更新
ビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションをケイパビリティマップに追加する
ビジネス階層マップの図を作成する
ビジネスアプリケーション階層マップを更新する
図オデリング図に関連レコードを追加します
でのArchiMate形状のサポート エンタープライズのモデリングと可視化
モデリング図を共有する
ダイアグラムの変更をコミット
新規バージョンとして保存
モデリング図を複製する
モデリング図を提出して承認を得る
形状をデータベースに同期する

ポートフォリオリストビュー

エンタープライズアーキテクトは、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース のポートフォリオリストビューを使用して、組織のビジネスアーキテクチャ、アプリケーションポートフォリオ、テクノロジーポートフォリオ、情報ポートフォリオを管理し、独自のエンティティも管理します。

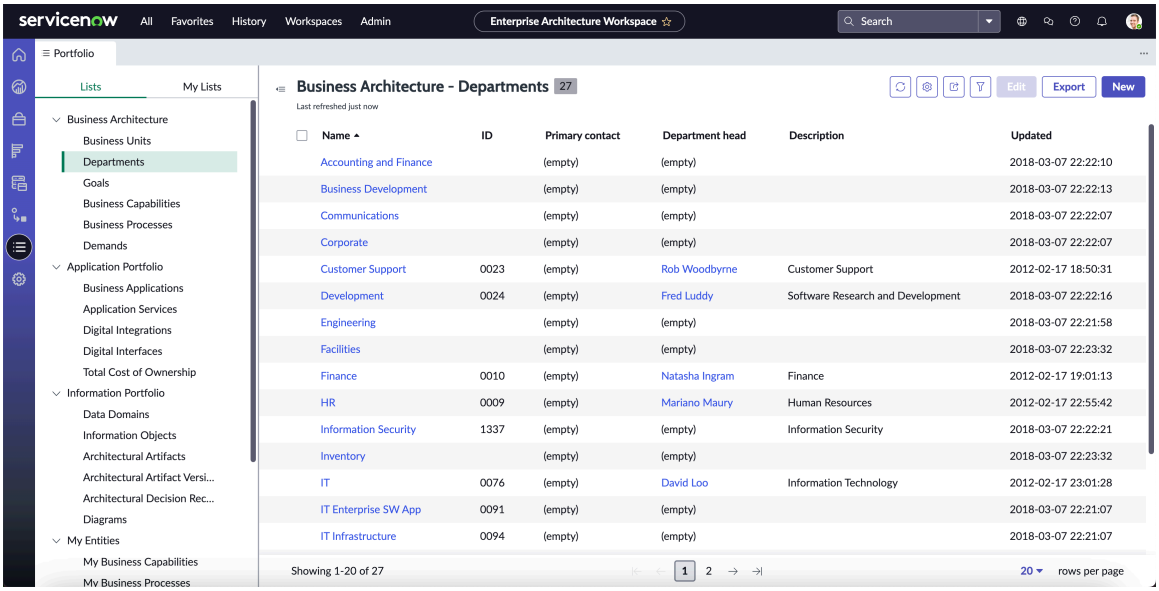
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[自分のリスト] ビューには、自分にアサインされているレコードのリストが表示されます。フィルターアイコン ( ) を選択して、適用されているフィールドを確認します。

リストの保存、フィルタリング、エクスポート、またはメール送信が可能です。独自のリストを作成し、[自分のリスト] ページからアクセスすることもできます。

リストビュー



注: リストビューでは、デジタル統合管理プラグイン (com.snc.apm_di) がインストールされている場合にのみ、デジタル統合とデジタルインターフェイスが表示されます。Lucidchart Integration プラグイン (sn_lcdchart_int) がインストールされている場合にのみ、[アーキテクチャアーティファクト] の下の [図] タブがリストに表示されます。

Lists (リスト)

リストビューでは、ポートフォリオとすべてのエンティティを管理できます。

次のポートフォリオアイテムを表示できます ポートフォリオ>リスト 眺める：

- ビジネスアーキテクチャ
- アプリケーションポートフォリオ
- 情報ポートフォリオ
- 自分のエンティティ

マイリスト

作成したリストは、[自分のリスト] セクションに表示されます。このセクションのリストは、自分だけに表示されます。

自分のリストの作成

ワークスペースで独自のフィルター済みリストを作成し、[自分のリスト] タブでアクセスします。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン  をクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [自分のリスト] を選択します。
4. [新しいリストを追加] を選択します。
5. 既存のリストから新しいリストを作成するか、まったく新しいリストを作成します。
   - 既存のリストから新しいリストを作成する場合は、[既存リストから作成] を選択し、フォームのフィールドに入力します。

新しいリストフォーム

フィールド	説明
リスト	変更する既存のリスト。メニューには、選択可能な管理者定義のリストがすべて表示されます。
リスト名	リストの名前。デフォルトでは、このフィールドは前のメニューで選択したリストに次のコードを追加します。 `_Copy` 。
列を選択	リストビューに含めるレコードフィールド。選択したリストの列が表示されます。必要に応じて列を追加または削除して、希望するリストを作成します。
フィルターを追加	[自分のリスト] タブに表示されるフィルターを作成するための条件ビルダー。デフォルトでは、選択したリストに適用された条件が表示されます。

   - 何もない状態から新しいリストを作成する場合は、[独自のものを作成 **(Create your own)**] を選択し、フォームのフィールドに入力します。

新しいリストフォーム

フィールド	説明
リスト名	リストの名前。
ソースを選択	レコードの取得元のテーブル。
列を選択	リストビューに含めるレコードフィールド。リストに表示する列を選択します。デフォルトでは、ワークスペースリストビューが存在する場合、このフィールドにはその列から入力されます。ワークスペースリストが存在し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ない場合、列には選択したテーブルのデフォルトリストビューから入力されます。
フィルターを追加	リストに適用される条件ビルダー。

6. [作成] を選択します。

タスクの結果
リストが [自分のリスト] タブに表示されます。

ビジネスアーキテクチャの操作

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの [ポートフォリオ] ページ内の [ビジネスアーキテクチャ] セクションは、ビジネス機能と戦略の構造化に役立ちます。

事業部門の管理

事業部門は組織の一部であり、特定の業務を担当し、独自の目標を持っています。

通常、事業部門は部門で構成され、組織の目標を達成するために、ハードウェアとソフトウェアに関する独自の要件が設定されています。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用すると、事業部門はビジネスアプリケーションを効果的に管理できます。

すべての事業部門を表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで利用可能なすべての事業部門のリストを表示できます。

始める前に
必要なロール:sn_apm.apm_admin、business_planner、または pps_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [事業部門] を選択します。

事業部門の追加または編集

事業部門を作成または編集して、組織機能を定義します。

始める前に
必要なロール:sn_apm.apm_admin および business_planner

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [事業部門] を選択します。
5. 事業部門を追加または編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 事業部門を追加するには、 新規 を選択します。
- 既存の事業部門の詳細を更新するには、事業部門を選択します。

6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[新しい事業部門の作成 (Create a new business unit)] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

部門を管理

部門は組織内の専門的な機能領域であり、それぞれに特定のロールと目的があります。部門は事業部門のサブセットです。

各部門は、関連する事業部門の全体的な戦略と目標に貢献します。エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用すると、部門を関連する事業部門に関連付けることができ、各部門が使用するビジネスアプリケーションを効率的に追跡できます。これにより、テクノロジーとアプリケーションを、部門とその関連事業部門の両方の要件と目的に効果的に合わせることができます。

部門にユーザーを追加することもできます。

すべての部門を表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで利用可能なすべての部門のリストを表示できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. 部門を選択します。

部門の追加または編集

ビジネスアプリケーションを組織の戦略的目標に合わせるための構造化されたアプローチを提供することで、部門を作成または編集してビジネスアプリケーションを効果的に管理および最適化できます。

始める前に
必要なロール：user_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. 部門を選択します。
5. 部門を追加または編集します。
   - 部門を追加するには、 新規 を選択します。
   - 既存の部門の詳細を更新するには、部門を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[部門の新規作成 (Create new department)] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

部門にユーザーを追加する

ユーザーを部門に追加することで、部門が特定のタスクを実行し、目的の目標を達成できるようになります。ユーザーは、インサイトを提供することで、部門の意思決定プロセスに貢献できます。これにより、ビジネスアプリケーションの使用が最適化され、コスト節減が向上します。

始める前に
必要なロール：user_admin

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン () を選択します。
4. 部門を選択します。
5. ユーザーを追加する部門を選択します。
   新しいページが表示され、部門の詳細が表示されます。
6. [ユーザー] タブを選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「新規ユーザーの作成フォーム」を参照して ください。
8. [保存] を選択します。

目標を管理

目標は、ビジネスアプリケーションへの投資を調整して最適化し、戦略的な成果を促進するために重要です。

目標とその結果を目標として定義し、追跡できます。これにより、ビジネスアプリケーションの優先順位付けと効果的な割り当てが可能になり、組織の戦略的ニーズと目標の遵守を確認できます。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースを使用すると、次の操作を実行できます。

- 目標の作成と貢献者のアサイン
- 完了までの目標を追跡
- 目標に定量的ターゲットを追加
- 定性的ターゲットを目標に追加
- サブ目標を追加
- 目標へのデマンドの追加

すべての目標を表示

利用可能なすべてのゴールのリストを エンタープライズアーキテクチャワークスペースで表示できます。

始める前に
必要なロール:sn_gf.goal_user_read

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [目標] を選択します。

目標の追加または編集

目標を作成または編集して、ビジネスアプリケーションへの投資を追跡して最適化します。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [目標] を選択します。
5. 目標を追加または編集します。
   - 目標を追加するには、 新規 を選択します。
   - 既存の目標の詳細を更新するには、目標を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[新しい目標を作成] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

目標への定量的ターゲットの追加

定量的ターゲットを追加して、目標達成の進捗状況を追跡できます。これは、目標のパフォーマンスを追跡するために設定された数値ベースの測定可能なターゲットです。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [目標] を選択します。
5. 定量的ターゲットを追加する目標を選択します。
   新しいページが表示され、目標の詳細が表示されます。
6. [定量的ターゲット] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド値の説明については、「新しいターゲットフォームの作成」を参照して ください。

9. [保存] を選択します。

定性的ターゲットを目標に追加

定性的ターゲットを追加して、目標達成の進捗状況を追跡できます。これは測定不可能で解釈ベースのターゲットであり、目標のパフォーマンスを追跡するために設定されています。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [目標] を選択します。
5. 定性的ターゲットを追加する目標を選択します。
   新しいページが表示され、目標の詳細が表示されます。
6. [定性的ターゲット] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「新しいターゲットフォームの作成」を参照して ください。
9. [保存] を選択します。

サブ目標を作成

メイン目標に関連付けられたサブ目標を作成できます。サブ目標は本質的により具体的であり、親目標の達成に貢献する実行可能なアイテムで構成されます。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [目標] を選択します。
5. サブ目標を追加する目標を選択します。
   新しいページが表示され、目標の詳細が表示されます。
6. [サブ目標] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[新しい目標を作成] フォーム」を参照して ください。
9. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バリューストリームを管理

バリューストリームは、ビジネスアプリケーションの使用状況を管理および改善するための構造化されたアプローチを提供します。

バリューストリームは、プロセスの開始から終了までのフロー、フロー内の各ステップの値、およびフローの各ステップに関連付けられたアプリケーションモデルを視覚化するのに役立つ一連のアクティビティです。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでバリューストリームを表示または作成するには、バリューストリームアーティファクト (sn_value_stream) プラグインが必要です。

雇用から退職までは、雇用から退職まで、組織内の従業員のライフサイクルを網羅するバリューストリームです。このバリューストリームには、オンボーディング、開発、保持、退職などのステージが含まれます。

すべてのバリューストリームを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで利用可能なすべてのバリューストリームのリストを表示できます。

始める前に

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでバリューストリームと連携するには、バリューストリームアーティファクト (sn_value_stream) プラグインが必要です。

必要なロール:cmdb_readおよびmodel_manager

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. バリューストリームを選択します。

バリューストリームの追加または編集

バリューストリームを作成または編集して、組織内の価値創造のフローを整理して理解します。

始める前に

必要なロール：model_manager

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. バリューストリームを選択します。
5. バリューストリームを追加または編集します。
   - バリューストリームを追加するには、 新規 を選択します。
   - 既存のバリューストリームの詳細を更新するには、バリューストリームを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドの詳細については、「新しいバリューストリームの作成フォーム」を参照してください。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

ビジネスプロセスへのバリューストリームの追加

ビジネスプロセスにバリューストリームを追加して、効率的なワークフローを維持し、ビジネスプロセス内で改善を促進します。

始める前に

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの値ストリームを操作するには、バリューストリームアーティファクト (sn_value_stream) プラグインが必要です。

必要なロール：model_manager

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン () を選択します。
4. バリューストリームを選択します。
5. ビジネスプロセスを追加するバリューストリームを選択します。
   新しいページが表示され、バリューストリームの詳細が表示されます。
6. [処理するバリューストリーム] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「プロセスフォームへの新しいバリューストリームの作成」を参照して ください。
9. [保存] を選択します。

バリューストリームへのアプリケーションモデルの追加

アプリケーションモデルをバリューストリームに追加して、アプリケーションポートフォリオをより適切に管理できます。これにより、ハードウェア/ソフトウェアへの投資が組織の目標と要件に関連付けられます。

始める前に

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでバリューストリームと連携するには、バリューストリームアーティファクト (sn_value_stream) プラグインが必要です。

必要なロール：model_manager

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン () を選択します。
4. バリューストリームを選択します。
5. アプリケーションモデルを追加するバリューストリームを選択します。
   新しいページが表示され、バリューストリームの詳細が表示されます。
6. [アプリケーション モデル] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. **[New** (新規)] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[新しいアプリケーションモデルの作成 (Create new application model)] フォーム」を参照して ください。
9. [保存] を選択します。

バリューストリームステージの管理

バリューストリームステージは、バリューストリーム全体の中で特定のセクションであり、特定のアクティビティセットを網羅しています。

バリューストリームは、複数のバリューストリームステージで構成されます。ステージは順番に編成されているため、各ステージがバリューストリーム全体に付加価値をもたらします。

でバリューストリームステージを表示または作成するには、バリューストリームアーティファクト (sn_value_stream) プラグインが必要です。

雇用から退職までのバリューストリームでは、新しい従業員のオンボーディングはバリューストリームのステージです。

すべてのバリューストリームステージを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで利用可能なすべてのバリューストリームステージのリストを表示できます。

始める前に

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの値ストリームを操作するには、バリューストリームアーティファクト (sn_value_stream) プラグインが必要です。

必要なロール:cmdb_readおよびmodel_manager

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. バリューストリームステージを選択します。

バリューストリームステージの追加または編集

バリューストリームステージを作成または編集してバリューストリームの効率を向上させ、各ステップがバリューストリームの出力に価値を追加していることを確認します。

始める前に

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの値ストリームを操作するには、バリューストリームアーティファクト (sn_value_stream) プラグインが必要です。

必要なロール：model_manager

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. バリューストリームステージを選択します。
5. バリューストリームステージを追加または編集します。
   - バリューストリームステージを追加するには、「 新規」を選択します。
   - 既存のバリューストリームステージの詳細を更新するには、バリューストリームステージを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「新しいバリューストリームステージの作成フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

ビジネス機能の管理

ビジネスケイパビリティは、組織がビジネスアクティビティを正常に実行し、ビジネス目標を達成する能力です。

ビジネス機能マッピングを使用して、ビジネス機能とビジネスアプリケーションの間の CI 関係を確立します。ビジネス機能とアプリケーションテクノロジーの間に類似の関係を確立し、それらの使用に伴うリスクを確認します。

ビジネス組織が成長するにつれて、エンタープライズアーキテクトはビジネス機能を評価して、ビジネスプロセスを強化する方法を知ることが不可欠です。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース の [ポートフォリオ] ページから、次の操作を実行できます。

- ビジネスケイパビリティを作成
- 既存のビジネス機能の表示
- サブ機能を追加
- ビジネス機能へのアーキテクチャアーティファクトの追加

[ビジネスポートフォリオ] ページから、ビジネス機能を表示および追加したり、ビジネス機能に関連する他の多くのタスクを実行することもできます。詳細については、「ビジネスポートフォリオの管理」を参照してください。

[ポートフォリオ] ページですべてのビジネス機能を表示する

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで利用可能なすべてのケイパビリティのリストを表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [ビジネス機能] を選択します。
   [ビジネスポートフォリオ] ページからケイパビリティのリストを表示することもできます。詳細については、「ビジネスポートフォリオの管理」を参照してください。

[ポートフォリオ] ページからのビジネスケイパビリティの追加または編集

ビジネスケイパビリティを作成または編集して、組織のビジネスゴールを調整します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン () を選択します。
4. [ビジネス機能] を選択します。
5. 機能を追加または編集します。
   - 機能を追加するには、 新規 を選択します。
   - 既存の機能の詳細を更新するには、機能を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[新しいビジネスケイパビリティを作成 (Create new business capability)] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。
   [ビジネスポートフォリオ] ページから機能を追加することもできます。詳細については、「ビジネス機能の追加」を参照してください。

[ポートフォリオ] ページからのサブ機能の作成

サブ機能を機能に追加できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン () を選択します。
4. [ビジネス機能] を選択します。
5. サブ機能を追加する機能を選択します。
   新しいページが表示され、機能の詳細が表示されます。
6. [機能] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[新しいビジネスケイパビリティを作成 (Create new business capability)] フォーム」を参照して ください。
9. [**Save** (保存)] をクリックする。
   [ビジネスポートフォリオ] ページからサブ機能を追加することもできます。詳細については、「サブ機能の作成」を参照してください。

EA ワークスペースでビジネスケイパビリティの **Lucidchart** 図を作成する

ビジネスケイパビリティマップの図を Lucidchart で作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
次の ServiceNow Store アプリケーションがインストールされていることを確認します。

- Lucidchart Diagramming スポーク [sn_lucdchart_spoke] (v 1.1.1)
- Lucidchart 統合 [sn_lcdchart_int] (v 2.3.0)
- 個人認証 [sn_ihub_personal_auth] (v 27.0.0)

Lucid との接続が確立されていることを確認します。詳細については、「Lucidchart で OAuth 2.0 クライアントを作成する」および「Lucidchart 作図スポークの接続および資格情報エイリアスを作成する」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace** > ポートフォリオ.
2. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
3. [ビジネス機能] を選択します。
4. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。
5. [その他のアクション] メニュー [ ] を選択し、[図の作成] を選択します。
6. [Create Diagram (図を作成)] フォームで、フィールドに入力します。

   注: [Create Diagram (図を作成)] ウィンドウの認証リンクを使用して認証トークンを生成し、Lucid フォルダーを取得して図を保存します。 コンピュータの [マイ ドキュメント] フォルダに少なくとも 1 つのフォルダが作成されていることを確認します。

   フィールドの詳細については、「ビジネス機能の図を作成」を参照してください。
7. [図の作成] を選択します。

タスクの結果
送信が成功すると、新しく作成された Lucid 図へのリンクが画面上部に表示されます。リンクを選択すると図に移動できます。[Architectural Artifacts (アーキテクチャアーティファクト)] ページには、Lucidchart 図へのリンクとそれに関連付けられたアーティファクト名が表示されます。それぞれのリンクを選択すると、アーティファクトまたは図にアクセスできます。

EA ワークスペースでのビジネス機能のアーキテクチャアーティファクトの管理
ビジネス機能に関連付けられているアーティファクトを新規作成、追加、または削除できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) をクリックして、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [ビジネス機能] を選択します。
5. ビジネスケイパビリティの名前を選択して、関連するアーティファクトを表示します。
6. [アーキテクチャアーティファクト] タブを選択します。
   ビジネス機能に関連付けられたアーティファクトのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 既存のアーティファクトをビジネス機能にリンクするには、 [追加] を選択します。
[アーキテクチャアーティファクトを追加] ポップアップウィンドウで、ビジネス機能にリンクする既存のアーティファクトを選択し、[**OK]** を選択します。
8. アーティファクトを作成または削除します。
   - 成果物を作成してビジネス機能に関連付けるには、 新規 を選択します。
   - 既存のアーキテクチャ アーティファクトを削除するには、アーティファクトを選択し、 削除 を選択します。
9. フォームフィールドに記入します。
フィールドの詳細については、「[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 (Create new architectural artifact)] フォーム」を参照してください。
10. [**Save** (保存)] をクリックする。

ビジネスプロセスの管理

ビジネスプロセスは、グループ化された構造化された一連のタスクであり、特定の成果の達成を支援します。

ビジネスプロセスを作成したり、既存のビジネスプロセスを変更したりして、ビジネス要件に合わせることができます。

要件に基づいて、ビジネスプロセス関係を使用してビジネス機能階層をモデル化できます。CI 関係を使用してビジネスプロセスレコードを編集し、ビジネスプロセス階層を作成できます。

ビジネスプロセスまたは機能階層は、ビジネスプロセスを階層的に順序付けてグループ化したものです。

Example: L0 および L1 ビジネスプロセス

L0 は、プロセスに関連付けられたすべてのアクティビティを含む高レベルのプロセスを意味します。たとえば、IT Service Management ビジネスプロセスでは、L0 ビジネスプロセスには、組織内の IT サービスの管理に関連するすべてのアクティビティが含まれます。

L1 は、L0 ビジネスプロセス内の特定のタスクを表します。たとえば、IT Service Management ビジネスプロセスにおけるインシデント管理は、特にインシデントのログ記録、分類、および解決を扱う L1 ビジネスプロセスです。

すべてのビジネスプロセスを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで利用可能なすべてのビジネスプロセスのリストを表示できます。

始める前に

必要なロール:business_process_manager、asset、または itil

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[Business Processes** (ビジネスプロセス)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスプロセスの追加または編集

ビジネスプロセスは、特定のアプリケーションサービスを実現するために実行される、構造化された関連タスクの集合です。特定のアプリケーションサービスの実現を支援するアプリケーションをグループ化するビジネスプロセスを作成します。

始める前に
必要なロール:business_process_manager、asset、または itil

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン () を選択します。
4. **[Business Processes** (ビジネスプロセス)] を選択します。
5. ビジネスプロセスを追加または編集します。
   - ビジネスプロセスを追加するには、 新規 を選択します。
   - 既存のビジネスプロセスの詳細を更新するには、ビジネスプロセスを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[ビジネスプロセスを作成] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

デマンドの管理

デマンドをステップとして使用して、アプリケーションまたは機能のコスト削減の機会を特定し、ターゲットを達成できます。

デマンドアクションに関連付ける戦略によって、アプリケーションの戦略が決まります。

すべてのデマンドを表示

ステップとしてデマンドを作成または編集して、アプリケーションまたは機能のコスト削減の機会を特定し、ターゲットを達成できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン () を選択します。
4. [デマンド] を選択します。

デマンドの追加または編集

ステップとしてデマンドを作成または編集して、アプリケーションまたは機能のコスト削減の機会を特定し、ターゲットを達成できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [ビジネスアーキテクチャ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [デマンド] を選択します。
5. デマンドを追加または編集します。
   - デマンドを追加するには、 新規 を選択します。
   - 既存のデマンドの詳細を更新するには、デマンドを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「新規デマンドの作成フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

アプリケーションポートフォリオの操作

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの [ポートフォリオ] ページ内の [アプリケーションポートフォリオ] セクションは、ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、デジタル統合、およびデジタルインターフェイスの管理に役立ちます。

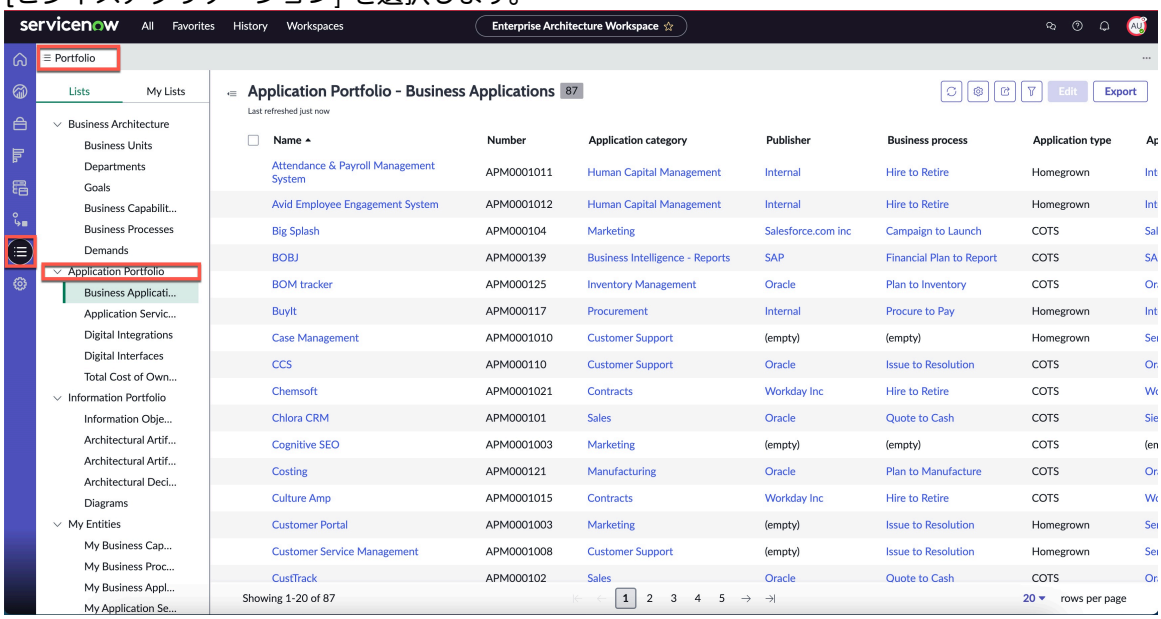
すべてのビジネスアプリケーションを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのビジネスアプリケーションのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [ビジネスアプリケーション] を選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネスアプリケーションの追加または編集

アプリケーションの機能と実行するビジネス プロセス に基づいて、組織が導入するアプリケーションを追加します。エンタープライズアーキテクチャで、コスト、使用状況、ビジネス価値、機能装備、およびリスクを評価および追跡するために使用されるビジネスアプリケーションを追加または編集します。

始める前に
必要なロール:sn_apm.apm_analyst (追加する場合) または sn_apm.apm_user (更新する場合)

このタスクについて
エンタープライズアーキテクチャユーザーロール (sn_apm.apm_user) を持っている場合は、ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスを使用して、ビジネスアプリケーションの要求、追加、廃止、承認、または却下を行います。

> **注:** 要求を承認または却下するには、ビジネスアプリケーション登録承認グループに属している必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) を 選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [ビジネスアプリケーション] を選択します。
5. ビジネスアプリケーションの追加または編集。
   - ビジネスアプリケーションを追加するには、 [追加] を選択します。
   - 既存のビジネスアプリケーションの詳細を更新するには、レコードを選択して [編集] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「ビジネスアプリケーションフォーム」を参照してください。
7. [保存] または [更新] を選択します。

EA ワークスペースでのビジネスアプリケーションの 図の作成

ビジネスアプリケーション階層の図を作成し アーキテクチャアーティファクトに関連付けます。ServiceNow エンタープライズのモデリングと可視化 または Lucidchart を使用して、ビジネス階層の図を作成します。

始める前に
ServiceNow エンタープライズのモデリングと可視化を使用して図を作成するには、次のServiceNow Storeアプリケーションをアクティブ化する必要があります。詳細については、「EA ワークスペースのエンタープライズのモデリングと可視化」を参照してください。

- エンタープライズのモデリングと可視化 (app-modelling-tool)
- ダイアグラムビルダー (app-diagram-builder)
- APM モデリングツール共通 (app-modelling-tool-common)

Lucidchart を使用して図を作成するには、次のServiceNow Store アプリケーションをアクティブ化して との接続を確立する必要があります

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Lucidchart Diagramming スポーク [sn_lucdchart_spoke] (v 1.1.1)
- Lucidchart 統合 [sn_lcdchart_int] (v 2.3.0)
- 個人認証 [sn_ihub_personal_auth] (v 27.0.0)

Lucid との接続を確立するにはLucidchart で OAuth 2.0 クライアントを作成する および「Lucidchart 作図スポークの接続および資格情報エイリアスを作成する」を参照してください。

必要なロール: エンタープライズアーキテクトグループのメンバー

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace** > ポートフォリオ.
2. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
3. [ビジネスアプリケーション] を選択します。
4. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。
5. その他のアクションメニュー( )を選択し、「 図を作成」を選択します。
6. [Create Diagram (図を作成)] フォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「ビジネスアプリケーションのダイアグラムフォームの作成」を参照してください。

   注: Lucidchart の場合は、[Create Diagram (図を作成)] ウィンドウの認証リンクを使用して認証トークンを生成し、Lucid フォルダーを取得して図を保存します。 コンピュータの [マイ ドキュメント] フォルダに少なくとも 1 つのフォルダが作成されていることを確認します。

7. [図の作成] を選択します。

タスクの結果

送信が正常に完了すると、新しく作成された 図へのリンクが画面上部に表示されます。リンクを選択すると図に移動できます。[アーキテクチャアーティファクト] ページには、 図へのリンクとそれに関連付けられたアーティファクト名が表示されます。それぞれのリンクを選択すると、アーティファクトまたは図にアクセスできます。

EA ワークスペースから コア UI でビジネスアプリケーションフォームを開く

EA ワークスペースから コア UI でビジネスアプリケーションフォームを開き、エンタープライズアーキテクチャビューでビジネスアプリケーションフォームを表示および編集します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) をクリックして、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [ビジネスアプリケーション] を選択します。
5. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. その他のアクションアイコン ( ) を選択し、[フォームを表示 コア UI] を選択します。
フィールドの詳細については、「ビジネスアプリケーションフォーム」を参照してください。

ビジネスアプリケーションの統一マップを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでビジネスアプリケーションの統一マップを表示して、現在のアーキテクチャと関連する参照を理解します。

始める前に

統一マップを エンタープライズのモデリングと可視化 で開き、変更を加えることもできます。

CMDB Workspace プラグイン (sn_cmdb_ws) (バージョン 4.0.1 以降) がインストールされていることを確認します。

必要なロール:sn_apm.apm_user および sn_cmdb_user

このタスクについて

統一マップは、エンタープライズアーキテクチャとそれに関連する参照を理解するために使用される可視化ツールです。組織のテクノロジーアーキテクチャの概要を明確に示します。

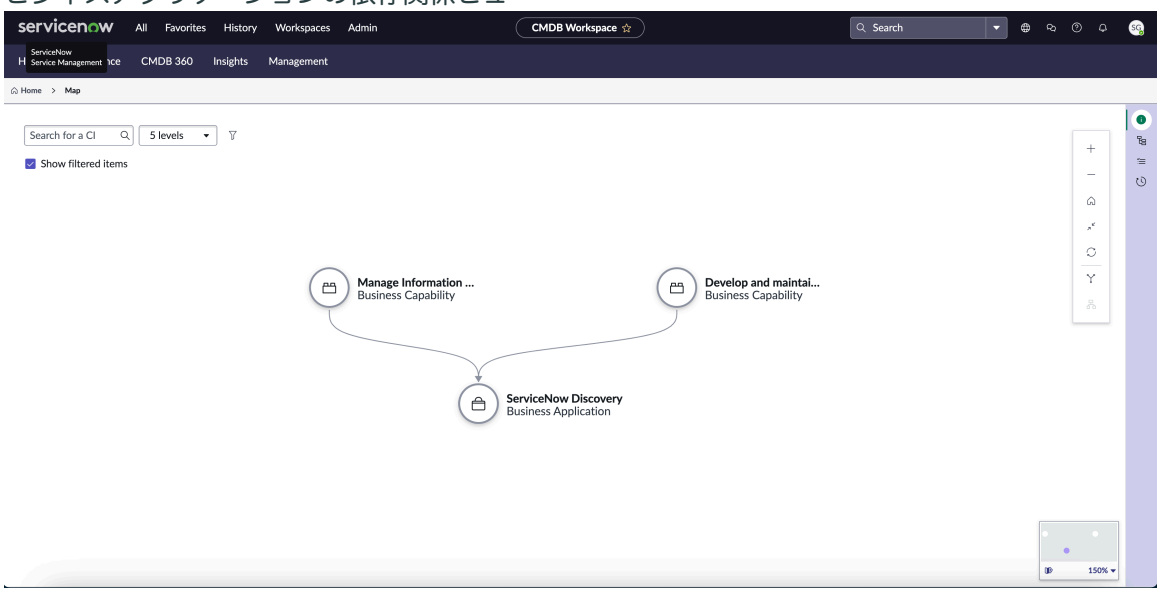
手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [ビジネスアプリケーション] を選択します。
5. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。
6. [マップを開く] を選択します。

タスクの結果

EA ワークスペースバージョン 2.1.1 では、選択したビジネスアプリケーションの統一マップが CMDB ワークスペースで開きます。統一マップの詳細については、「 統一マップ 」を参照してください。

ビジネスアプリケーションの依存関係ビュー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EA ワークスペースバージョン 2.2.0 以降では、選択したビジネスアプリケーションの統一マップが EA ワークスペース内の新しいタブで開きます。

ビジネスアプリケーションの依存関係ビュー



でのビジネスアプリケーションの統一マップの表示 エンタープライズのモデリングと可視化

エンタープライズのモデリングと可視化を使用して、ビジネスアプリケーションの統一マップを表示およびモデル化できます。エンタープライズアーキテクチャワークスペース のエンタープライズのモデリングと可視化 [com.snc.apm_modelling_tool] 機能を使用して、既存のアプリケーション階層を変更し、それらをアーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。

始める前に

CMDB Workspace プラグイン (sn_cmdb_ws) (バージョン 4.0.1 以降) がインストールされていることを確認します。

必要なロール:sn_apm.apm_user および sn_cmdb_user

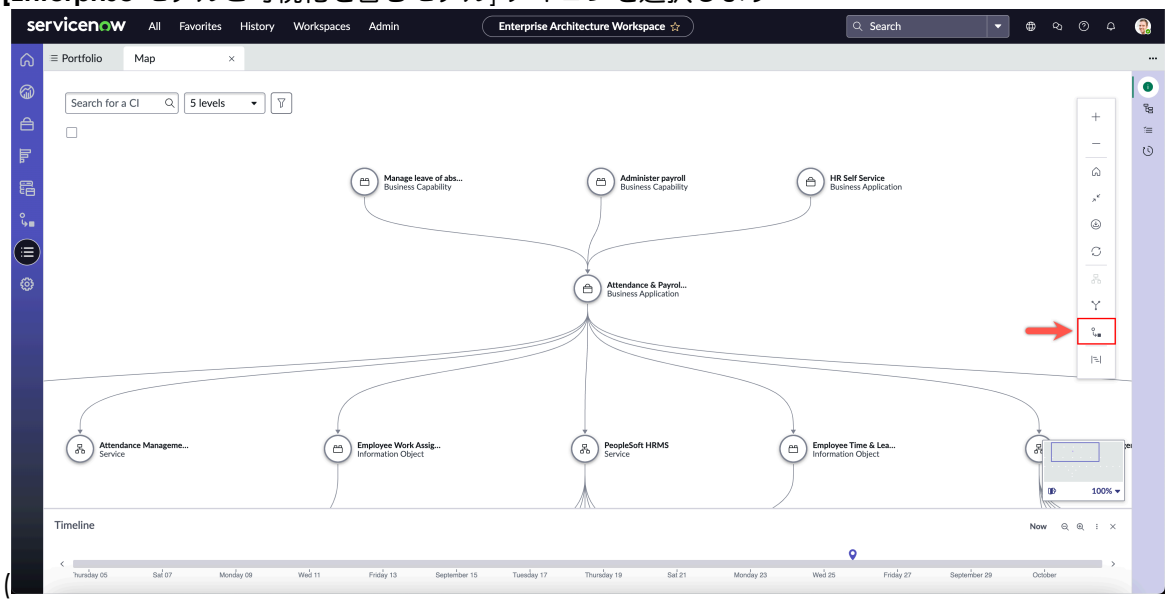
手順

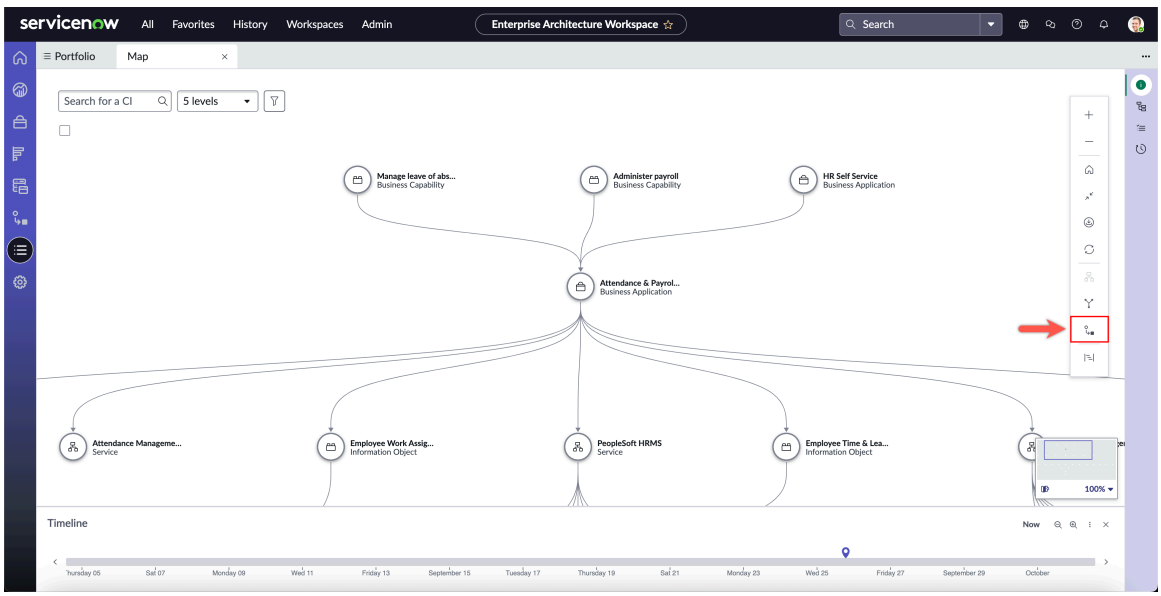
1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [ビジネスアプリケーション] を選択します。
5. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。
6. [マップを開く] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. **[Enterprise** モデルと可視化を含むモデル] アイコンを選択します





8. **[Enterprise** モデルと可視化によるモデル] ポップアップウィンドウで、次のフィールドに入力します。
   - アーティファクト名:図の名前。
   - アーキテクチャカテゴリ:アーキテクチャアーティファクトが関連付けられているカテゴリ。
9. [**OK**] を選択します。
   エンタープライズのモデリングと可視化の使用方法の詳細については、「EA ワークスペースのエンタープライズのモデリングと可視化」を参照してください。

関連情報

- ビジネスケイパビリティマップの図を作成する
- 形状を削除する
- 図オデリング図に関連レコードを追加します
- ダイアグラムの変更をコミット
- 新規バージョンとして保存

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネスアプリケーションのロードマップを表示

ビジネスアプリケーションのロードマップを表示し、組織の戦略に合わせて調整します。ポートフォリオ計画を作成すると、ビジネスアプリケーションの作業の計画、優先順位付け、およびロードマップに役立ちます。

始める前に

Strategic Planning プラグイン (com.sn_apw_advanced) (v4.0.2 以降) がインストールされていることを確認します。

必要なロール:sn_apm.apm_user および sn_align_core.apw_user

手順

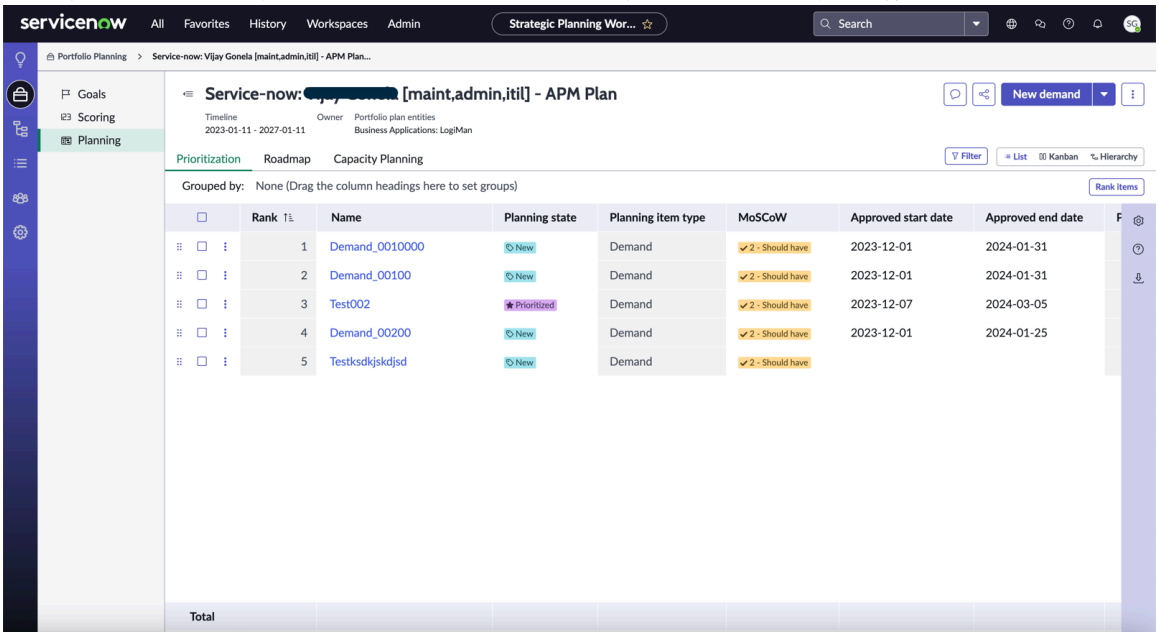
1. 次のナビゲーションを使用して、[**View roadmap** (ロードマップを表示)] オプションを開きます。
   - [Business Portfolio (ビジネスポートフォリオ)] ページから：
     a. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace** > ビジネスポートフォリオ
     b. ビジネス機能の横にある行を展開アイコン ( )
     c. ビジネスアプリケーションの行コンテキストメニューアイコン (を選択し、[ロードマップを表示] を選択します。
   - [Portfolio (ポートフォリオ)] ページから：
     a. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace** > ポートフォリオ
     b. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
     c. [ビジネスアプリケーション] を選択します。
     d. ビジネスアプリケーションを選択して開きます。
     e. [その他のアクション] メニュー (を選択し、[ロードマップを表示] を選択します。

   戦略的計画ワークスペースの [計画] ページに移動します。ビジネスアプリケーションに関連付けられているすべての計画アイテムを含む一時的なポートフォリオ計画が Strategic Planning Workspace (戦略的計画ワークスペース) に作成されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 一時的なポートフォリオ計画はプレビュー目的のみに使用されます。ビジネスアプリケーションの作業を計画、優先順位付け、およびロードマップを作成するには、一時的なポートフォリオ計画をコピーするか、一時的なポートフォリオ計画を作成します。



2. オプション: ビジネスアプリケーションのポートフォリオ計画をコピーして、ビジネスアプリケーションの作業を計画、優先順位付け、ロードマップ化します。

   a. ポートフォリオ計画ヘッダーから、[その他のアクション] アイコン ( ) を選択し、[ポートフォリオ計画のコピー] を選択します。

   b. [Copy portfolio plan (ポートフォリオ計画のコピー)] ウィンドウで、詳細を入力します。

      i. [ポートフォリオ計画名] フィールドにポートフォリオ計画の名前を入力します。

      ii. (オプション) [同じユーザーおよびグループと共有] オプションを選択して、ポートフォリオ計画のユーザーにアクセス権を付与します。

   c. [**Confirm** (確認)] を選択します。

   または、ビジネスケイパビリティレンズを使用して、戦略的計画ワークスペース (SPW) で独自のポートフォリオ計画を作成することもできます。詳細については、「戦略的計画でのポートフォリオ計画の作成」を参照してください。

EA ワークスペースでのビジネスアプリケーションの情報オブジェクトの管理

Uses::Used by タイプの CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルを使用して、ビジネスアプリケーションを情報オブジェクトに関連付けます。この提案された関係を使用して、ビジネスアプリケーションを活用するために使用できる情報オブジェクトの論理データを取得します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [ビジネスアプリケーション] を選択します。
5. ビジネスアプリケーションの名前を選択して、関連するアーティファクトを表示します。
6. [情報オブジェクト] タブを選択します。
   ビジネスアプリケーションに関連付けられた情報オブジェクトのリストが表示されます。
7. 既存の情報オブジェクトをビジネスアプリケーションに関連付けるには、[追加] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「関係性を追加フォーム」を参照してください。
9. [**Save** (保存)] をクリックする。
10. ビジネスアプリケーションと情報オブジェクト間の関係を削除するには、情報オブジェクトを選択してから [関係を削除] を選択します。

    ビジネスアプリケーションと情報オブジェクト間の関係、および関係の属性が削除されます。
11. 既存の関係の詳細を編集するには、情報オブジェクトを選択して [編集] を選択します。
    [関係性を管理] フォームで詳細を編集し、[更新] を選択します。

EA ワークスペースでのビジネスアプリケーションのアーキテクチャアーティファクトの管理

ビジネスアプリケーションに関連付けられているアーティファクトを新規作成、追加、または削除できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [ビジネスアプリケーション] を選択します。
5. ビジネスアプリケーションの名前を選択して、関連するアーティファクトを表示します。
6. [アーキテクチャアーティファクト] タブを選択します。
   ビジネスアプリケーションに関連付けられたアーティファクトのリストが表示されます。
7. 既存のアーティファクトをビジネスアプリケーションにリンクするには、 [追加] を選択します。
   [アーキテクチャアーティファクトを追加] ポップアップウィンドウで、ビジネスアプリケーションにリンクする既存のアーティファクトを選択し、[**OK]** を選択します。
8. アーティファクトを作成または削除します。
   - アーティファクトを作成してビジネスアプリケーションに関連付けるには、 新規 を選択します。
   - 既存のアーキテクチャ アーティファクトを削除するには、アーティファクトを選択し、 削除 を選択します。
9. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 (Create new architectural artifact)] フォーム」を参照してください。
10. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべてのアプリケーションサービスを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのアプリケーションサービスのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：admin

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) をクリックして、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [アプリケーションサービス] を選択します。

でアプリケーションサービスを追加または編集エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで組織のアプリケーションサービス を追加または編集します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) をクリックして、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [アプリケーションサービス] を選択します。
5. アプリケーションサービスを追加または編集します。
   - アプリケーションサービスを追加するには、 [追加] を選択します。
   - 既存のアプリケーションサービスの詳細を更新するには、レコードを選択して [編集] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「アプリケーションサービスフォーム」を参照してください。
7. [保存] または [更新] を選択します。

アプリケーションの総所有コスト **(TCO)** の管理

Application Total Cost of Ownership (TCO) プラグインは、エンタープライズアーキテクトがビジネスアプリケーションのコストを評価し、アプリケーションコストを活用してアプリケーションポートフォリオに優先順位を付け、組織のビジネス戦略に合わせるのに役立ちます。

Applicaton TCO (アプリケーション **TCO)** のインジケーター

Applicaton TCO (アプリケーション TCO) に次のインジケーターが追加されました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター名	説明
Portfolio TCO (ポートフォリオ TCO)	このインジケーターは、会計期間のビジネスアプリケーションの総コストを収集します。

[Application Rationalization (アプリケーションの統廃合)] リストビューで、[Portfolio TCO (ポートフォリオ TCO)] インジケーターのアセスメントスコアを表示できます。

アプリケーション **TCO** とともにインストールされるテーブル

Application TCO プラグインとともに次のテーブルがインストールされます。

テーブル	説明
総所有コスト (TCO) - sn_apm_tco	すべてのビジネスアプリケーションの総所有コスト (TCO) の詳細を保存します。原価費目、経費タイプ、コスト、会計期間、請求日、ベンダー、ソース、ソース原価費目などの詳細を確認できます。
総所有コスト (TCO) 原価費目 - sn_apm_tco_cost_type	分析とレポート作成のために エンタープライズアーキテクチャワークスペース 内に TCO 原価費目を保存します。
総所有コスト (TCO) ソース - sn_apm_tco_source	総所有コスト (TCO) ソースの名前を保存します。
総所有コスト (TCO) ソース原価費目 - sn_apm_tco_source_cost_type	ソースで使用される原価費目を保存します。

Application TCO (アプリケーション **TCO)** に追加されるビジネスルール

Application TCO (アプリケーション TCO) には次のビジネスルールが追加されます。

ビジネスルール	テーブル	説明
重複した原価費目をチェック	総所有コスト (TCO) 原価費目 [sn_apm_tco_cost_type]	総所有コスト (TCO) 原価費目テーブル内の重複した名前と経費タイプエントリをチェックします。
重複したソース名をチェック	総所有コスト (TCO) ソース [sn_apm_tco_source]	総所有コスト (TCO) ソーステーブル内の重複したソース名エントリをチェックします。
重複したソース原価費目をチェック	総所有コスト (TCO) ソース原価費目 [sn_apm_tco_source_cost_type]	総所有コスト (TCO) ソース原価費目テーブル内の重複したソースおよびソース原価費目エントリをチェックします。

TCO ダッシュボード

[ダッシュボード] ページの [ポートフォリオ **TCO**] タブには、アプリケーション TCO に関する次のダッシュボードが表示されます。

- 現在の四半期と前四半期のビジネスアプリケーションの総所有コスト (TCO)
- ビジネスアプリケーションの年間総所有コスト (TCO) の傾向

自動翻訳

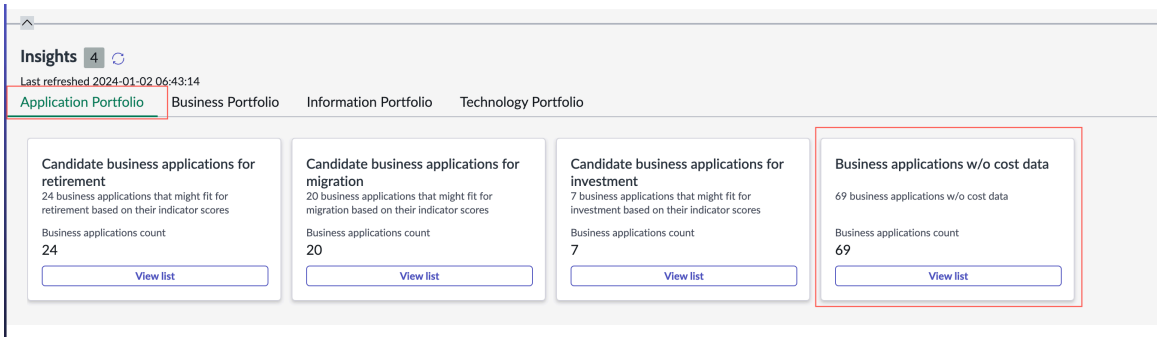
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 現在の四半期と前四半期のアプリケーションカテゴリ別のビジネスアプリケーションの総所有コスト (TCO)
- 現在の四半期のアプリケーションの計画的な処分別のビジネスアプリケーションの総所有コスト (TCO)

詳細については、「エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボードの操作」を参照してください。

Application TCO (アプリケーション TCO) のインサイト

エンタープライズアーキテクチャワークスペース ホームページの [インサイト] セクションには、ビジネスアプリケーションのインサイトが表示されます。



関連情報

でアプリケーションの総所有コスト (TCO) を構成する エンタープライズアーキテクチャワークスペース

アプリケーションの総所有コスト (TCO) プラグインをインストールする

アプリケーションの総所有コスト (TCO) プラグインをインストールする

ServiceNow Store から購入したアプリケーション TCO ストアアプリケーションをインストールして、インスタンスで使用できるようにします。

始める前に

注: エンタープライズアーキテクチャワークスペース プラグインをインストールすると、アプリケーション TCO プラグインが自動的にインストールされます。

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > **All** (すべて).
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Storeにリクエストする必要が生じる場合があります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして、利用可能なすべてのアプリを表示し、要求をストアに送信する方法について確認してください。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。
4. デモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

5. **[Install** (インストール)] を選択します。

すべての総所有コストレコードを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべての総所有コスト (TCO) レコードのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [総所有コスト **(TCO) (Total Cost of Ownership)]** を選択します。

総所有コスト **(TCO)** レコードの追加または編集

総所有コスト (TCO) レコードの新しいエントリを作成して、ビジネスアプリケーションのコストを評価します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [総所有コスト **(TCO) (Total Cost of Ownership)]** を選択します。
5. TCO レコードを追加または編集します。
   - 新しい TCO レコードを追加するには、 新規 を選択します。
   - 既存の TCO レコードの詳細を更新するには、情報オブジェクトを選択します。
6. **[New** (新規)] を選択します。
7. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「新しい総所有コスト (TCO) フォーム」を参照してください。
8. [**Save** (保存)] をクリックする。

でのデジタル統合 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのデジタル統合を管理します。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース のデジタル統合機能は、アプリケーション、その接続、およびそのインタラクションのビジネス目的を理解するのに役立ちます。ServiceNow Store から エンタープライズアーキテクチャ Integration Management (sn_apm_di) プラグインをインストールします。

次の操作を実行できます。

自動翻訳

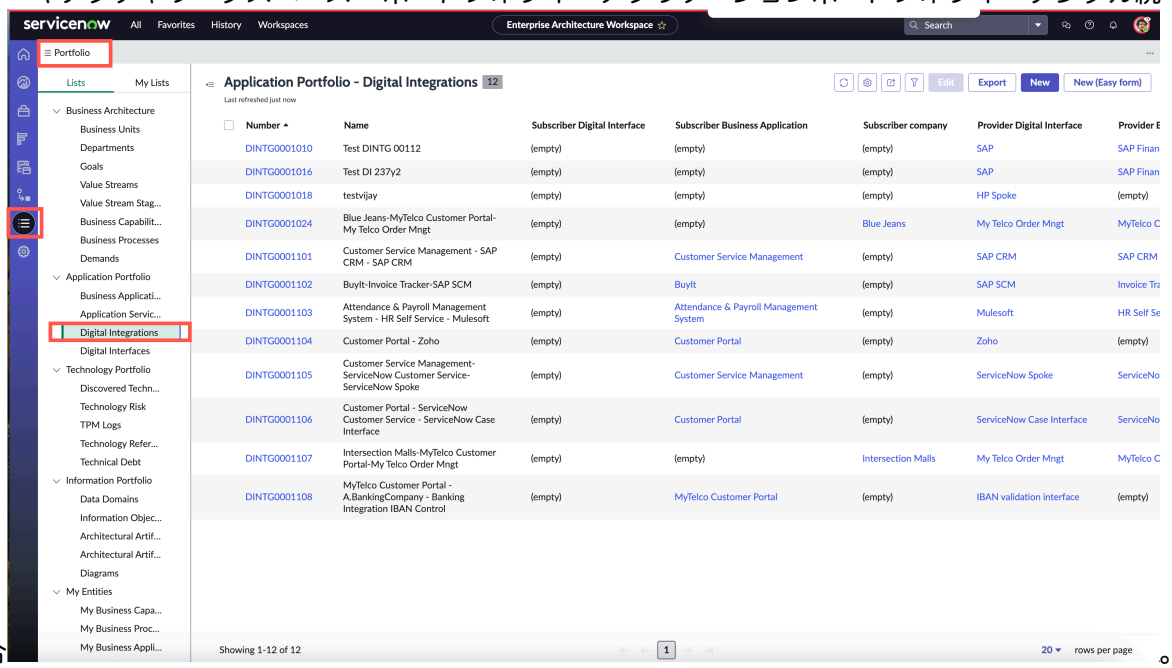
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 統合の問題を 1 か所で積極的に発見します。
- 組織全体の情報フローを管理します。
- 内部および外部 API の使用を完全に管理します。

デジタル統合は、2 つのビジネスアプリケーション間の統合を表します。一般的なシナリオには、消費ビジネスアプリケーション、プロバイダービジネスアプリケーション、およびプロバイダービジネスアプリケーションによって提供されるインターフェイスがあります。デジタル統合には、名前、バージョン、タイプ、データフローの方向、使用されているミドルウェア、所有者など、統合に関するメタデータが含まれています。

デジタル統合用の簡単なフォームを使用すると、単一ページからデジタル統合を作成できます。これには、新しいデジタルインターフェイスの導入も含まれます (存在しない場合)。デジタル統合は、デジタル統合 [sn_apm_di_digital_integration] テーブルに保存されます。デジタル統合が作成されると、そのタイプのインターフェイスを持つ 2 つのビジネスアプリケーション間で CI 関係リンクが作成されます。このリンクを使用すると、任意のビジネスアプリケーションのノードマップの一部として統合にアクセスできます。新しいデジタル統合の承認を要求するための新しいカタログエントリが提供されます。要求が承認されると、統合が作成されます。

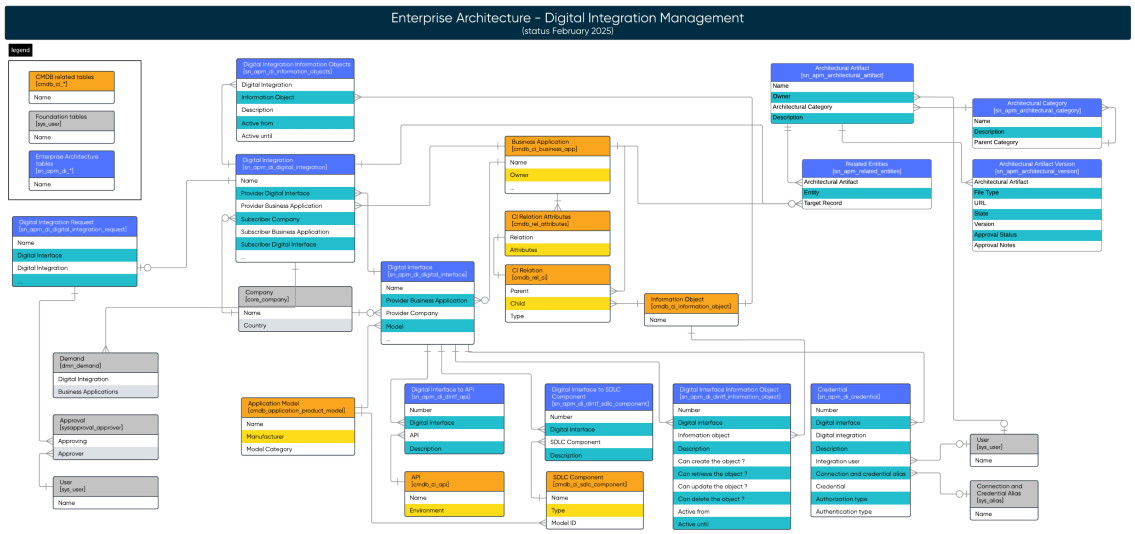
[デジタル統合] ページには、既存のデジタル統合とその関連情報のリストが表示されます。[デジタル統合] ページにアクセスするには、次の場所に移動します。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ > アプリケーションポートフォリオ > デジタル統合。



デジタル統合管理データモデル

このセクションには、デジタル統合管理データモデルが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



すべてのデジタル統合を表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのデジタル統合のリストを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_apm.apm_read

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) をクリックして、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [デジタル統合] を選択します。

EA ワークスペースでのデジタル統合の追加または編集

EA ワークスペースでデジタル統合を追加 または既存のデジタル統合を 編集 します。デジタル統合は、エンタープライズアーキテクトが使用する設計オブジェクトです。これは、2 つのビジネスアプリケーション間、またはビジネスアプリケーションと、やり取りするためのインターフェイス (API) を提供する外部サービス (AWS、Yahoo、タイムゾーン変換サービスなど) との間の接続を表します。

このタスクについて
デジタル統合フォームは、2 つのデータエンティティ間で接続が必要な理由を定義するのに役立ちます。通信するインターフェイスを定義できます。説明には、関連するデザインと建築資料へのリンクを入力できます。デジタル統合は、ビジネス機能をサポートし、ビジネス価値を提供します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン (を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン (
4. [デジタル統合] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. デジタル統合を追加 または 編集 。
   - デジタル統合を 追加 するには、[新規] または [新規 (簡易フォーム)] を選択します。
   - 既存のデジタル統合を更新するには、デジタル統合を選択し、[編集] を選択します。
6. デジタル統合フォームで、フィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「EA ワークスペースのデジタル統合フォーム (簡易フォーム)」または「のデジタル統合フォーム EA ワークスペース」を参照してください。
7. [追加] または [更新] を選択します。

タスクの結果

フォームの送信後、CMDB プラットフォーム内で、プロバイダーとサブスクライバーのビジネスアプリケーション間で CI 関係 (Interfaces::Interfaced By) が作成されます。デジタルインターフェイスが (オープン API またはパブリック API を使用して) ビジネスアプリケーションに関連付けられていない場合、デジタル統合は登録者ビジネスアプリケーションとスタンドアロンのデジタルインターフェイスの間に作成されます。

でのデジタル統合のアーキテクチャアーティファクトの管理 **EA** ワークスペース

デジタル統合に関連付けられているアーキテクチャアーティファクトを新規作成、追加、または削除できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [デジタル統合] を選択します。
5. デジタル統合の名前を選択して、関連するアーティファクトを表示します。
6. [アーキテクチャアーティファクト] タブを選択します。
   デジタル統合に関連付けられたアーティファクトのリストが表示されます。
7. 既存のアーティファクトをデジタル統合にリンクするには、[追加] を選択します。
   [アーキテクチャアーティファクトを追加] ポップアップウィンドウで、デジタル統合にリンクする既存のアーティファクトを選択し、[**OK]** を選択します。
8. アーティファクトを作成または削除します。
   - アーティファクトを作成してデジタル統合に関連付けるには、[新規] を選択します。
   - 既存のアーキテクチャ アーティファクトを削除するには、アーティファクトを選択し、 削除 を選択します。
9. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 (Create new architectural artifact)] フォーム」を参照してください。
10. [**Save** (保存)] をクリックする。

情報オブジェクトをデジタル統合に関連付ける

情報オブジェクトを エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のデジタル統合に関連付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. 左側のナビゲーションで、ポートフォリオアイコン ( ) を選択して [ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [デジタル統合] を選択します。
5. 既存のデジタル統合を選択します。
6. [情報オブジェクト] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. [デジタル統合情報オブジェクト] フォームで、情報オブジェクトを選択します。
9. [**Save** (保存)] をクリックする。

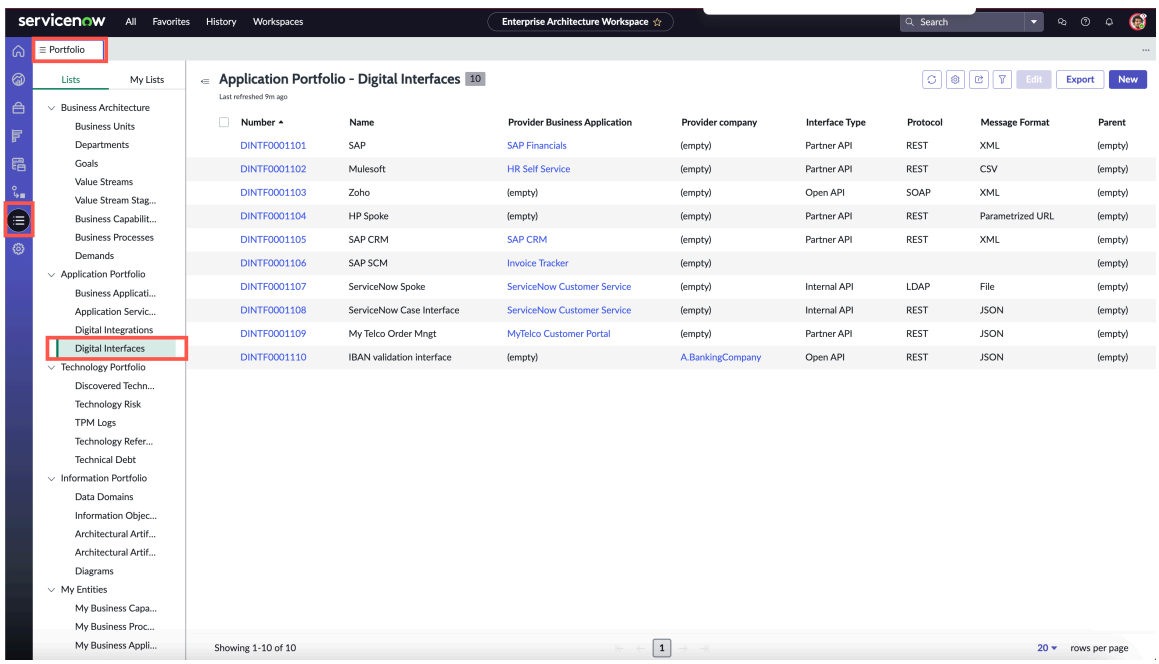
エンタープライズアーキテクチャワークスペース のデジタルインターフェイス

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの [ポートフォリオ] ページからすべてのデジタルインターフェイスを管理します。

デジタルインターフェイスはビジネスアプリケーションの一部として提供されますが、単独でも使用できます。インターフェイスは、他のビジネスアプリケーションがアプリケーションとやり取りする方法を提供します。インターフェイスには、名前、バージョン、オーナー、プロトコルなど、それ自体に関するメタデータが含まれています。また、そのインターフェイスを使用しているすべての統合のリストも含まれています。

[デジタルインターフェイス] ページには、既存のデジタルインターフェイスとその関連情報のリストが表示されます。[デジタルインターフェイス] ページにアクセスするには、 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース > ポートフォリオ > アプリケーションポートフォリオ > デジタルインターフェイス.

デジタルインターフェイス



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

すべてのデジタルインターフェイスを表示

EA ワークスペースでのデジタルインターフェイスの追加または編集

すべてのデジタルインターフェイスを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのデジタルインターフェイスのリストを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_apm.apm_read

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) をクリックして、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [デジタルインターフェイス] を選択します。

EA ワークスペースでのデジタルインターフェイスの追加または編集

統合用のデジタルインターフェイスを追加または編集 して、ビジネスアプリケーションがどのようにやり取りできるかを記述します。

このタスクについて
やり取りする各ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスは、アプリケーションまたはサービスとのインターフェイス方法について論理的に大まかに説明しています。デジタルインターフェイスは、他のサービスやビジネスアプリケーションがどのように相互作用するかを記述するために設計フェーズで使用されるオブジェクトです。同じレベルで、このデジタルインタフェースによって提供または更新される情報オブジェクトを定義できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [デジタルインターフェイス] を選択します。
5. デジタルインターフェイスを作成または更新します。
   - インターフェイスを作成するには、 新規 を選択します。
   - 既存のインターフェイスを更新するには、デジタル統合リンクを選択して開きます。
6. [デジタルインターフェイス] フォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「デジタルインターフェイスフォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

でデジタルインターフェイスを **CMDB API** に接続する **EA** ワークスペース

デジタルインターフェイスと CMDB API の間に関係を作成します。この関係は、どのデジタル統合がどの API を使用しているか、どの API がデジタルインターフェイスの設計仕様からビルドされて

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

いるか、どの環境が展開されているかを確認するのに役立ちます。この関係は、展開された API をグループ化するのに役立ちます。

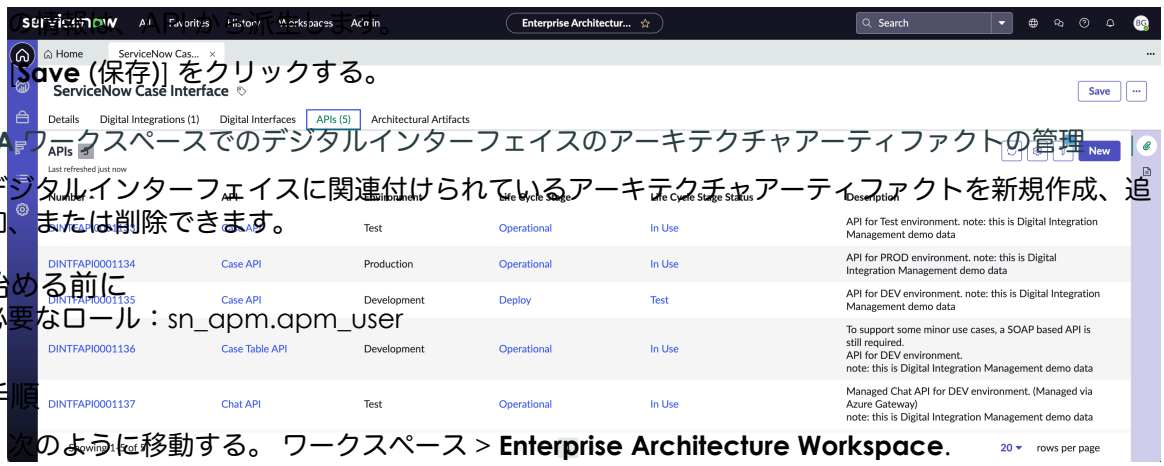
始める前に
CMDB CI クラスモデル [app-cmdb-content] ストアアプリ (バージョン 1.49.0 以降) を有効にします。手順については、「CMDB CI クラスモデル」を参照してください。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
1 つのデジタルインターフェイスを 1 つ以上の API に接続できます。1 つの API を 1 つのデジタルインターフェイスにのみ接続できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. 左側のナビゲーションで、ポートフォリオアイコン ( ) を選択して [ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [デジタルインターフェイス] を選択します。
5. 既存のデジタルインターフェイスを選択します。
6. [**API**] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. [API へのデジタルインターフェイス] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールドの説明については、「API フォームへのデジタルインターフェイス」を参照してください。[環境]、[ライフサイクルステージ]、および [ライフサイクルステージステータス] フィールドの現状に、API が追加されます。
9. [**Save** (保存)] をクリックする。



EA ワークスペースでのデジタルインターフェイスのアーキテクチャアーティファクトの管理

デジタルインターフェイスに関連付けられているアーキテクチャアーティファクトを新規作成、追加、または削除できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [デジタルインターフェイス] を選択します。
5. デジタルインターフェイスの名前を選択して、関連するアーティファクトを表示します。
6. [アーキテクチャアーティファクト] タブを選択します。
   デジタルインターフェイスに関連付けられたアーティファクトのリストが表示されます。
7. 既存のアーティファクトをデジタルインターフェイスにリンクするには、[追加] を選択します。
   [アーキテクチャアーティファクトを追加] ポップアップウィンドウで、デジタルインターフェイスにリンクする既存のアーティファクトを選択し、[**OK]** を選択します。
8. アーティファクトを作成または削除します。
   a. アーティファクトを作成してデジタルインターフェイスに関連付けるには、 新規 を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標または登録商標である可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. 左側のナビゲーションで、ポートフォリオアイコン ( ) を選択して [ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [デジタルインターフェイス] を選択します。
5. 既存のデジタルインターフェイスを選択します。
6. **[SDLC** コンポーネント] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. [デジタルインターフェイス SDLC コンポーネント] フォームで、フィールドに入力します。フィールドの説明については、「デジタルインターフェイスの SDLC コンポーネントフォーム」を参照してください。
9. [**Save** (保存)] をクリックする。

情報オブジェクトをデジタルインターフェイスに関連付ける

情報オブジェクトを エンタープライズアーキテクチャワークスペースのデジタルインターフェイスに関連付けます。また、情報オブジェクトをデジタルインタフェース内でどのように消費するかを定義することもできます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
デジタルインターフェイスはビジネスアプリケーションに関連しており、ビジネスアプリケーションには関連する情報オブジェクトがあります。この関係を使用して情報オブジェクトの論理データを取得し、ビジネスアプリケーションの活用に使用できます。

ビジネスアプリケーションによって提供されるデジタルインターフェイスに情報オブジェクトをリンクする前に、情報オブジェクトがビジネスアプリケーションにリンクされていることを確認してください。[新しいデジタルインターフェイス情報オブジェクトを作成 (Create New Digital Interface Information Object)] フォームの [情報オブジェクト] フィールドには、情報オブジェクトのフィルター済みリストが表示されます。会社が提供するデジタルインタフェースの場合は、利用可能な任意の情報オブジェクトを選択できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. 左側のナビゲーションで、ポートフォリオアイコン ( ) を選択して [ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [デジタルインターフェイス] を選択します。
5. 既存のデジタルインターフェイスを選択します。
6. [情報オブジェクト] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. [新しいデジタルインターフェイス情報オブジェクトを作成 (Create New Digital Interface Information Object)] フォームで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドの説明については、「デジタルインターフェイス情報オブジェクトフォーム」を参照してください。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。

認証情報をデジタルインターフェイスに関連付ける

デジタルインターフェイスの統合ユーザーとアカウントを関連付けて管理し、どのユーザーがどのデジタルインターフェイスに割り当てられているかを追跡します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
ビジネスアプリケーションレコードまたはデジタル統合レコードから認証情報を関連付けることもできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. 左側のナビゲーションで、ポートフォリオアイコン ( ) を選択して [ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [アプリケーションポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ([ ) を選択します。
4. [デジタルインターフェイス] を選択します。
5. 既存のデジタルインターフェイスを選択します。
6. [認証情報] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. [新規認証情報の作成] フォームで、フィールドに入力します。
フィールドの説明については、「デジタルインターフェイス認証情報フォーム」を参照してください。
9. [**Save** (保存)] をクリックする。

情報ポートフォリオの操作

情報ポートフォリオを使用して、組織の資産から情報オブジェクトとして情報をキャプチャします。情報資産を分類し、そのビジネスアプリケーションの用途を決定できます。データが存在するさまざまなレイヤーを接続して、レイヤーをマッピングすることもできます。マッピングは、情報の取得や、情報フローの追跡に役立ちます。

情報ポートフォリオデータモデル

情報ポートフォリオの基本的なデータモデルは、情報オブジェクトとデータドメインという 2 つのテーブルの導入です。

- 情報オブジェクトは、情報を整理された形式で表示する構成アイテムです。情報オブジェクトの目的は、アプリケーションとデータベースの間で交換されるデータ (または情報) のタイプを論理的に記述することです。データベースは、アプリケーションにデータを提供します。
- データドメインは、情報オブジェクトを分類します。

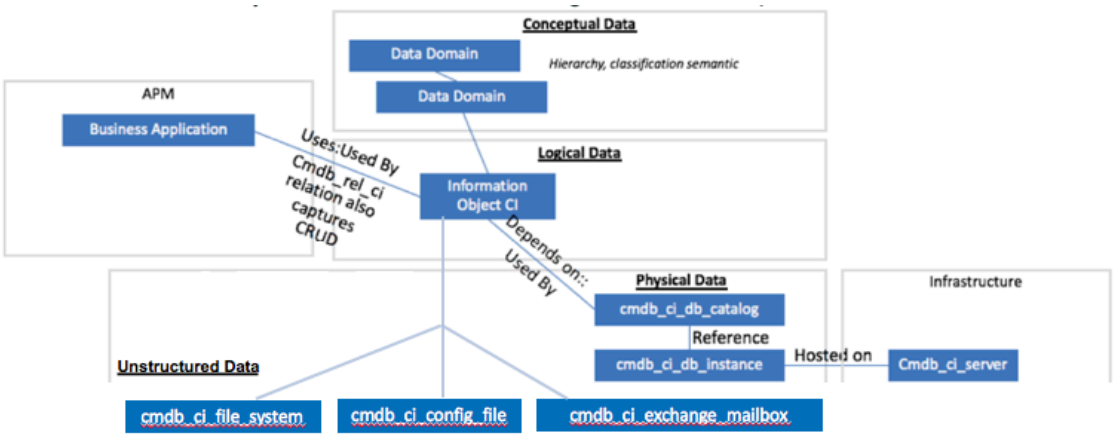
エンタープライズアーキテクチャ ビジネスアプリケーションをデータベースに関連付けることで、情報ポートフォリオと統合します。データベースは、情報オブジェクト [cmdb_ci_information_object] テーブルと呼ばれる中間 CMDB CI クラスを使用してアプリケーションに情報を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションは、CMDB CI 関係によって Uses::Used を確立することによって情報オブジェクトに関連付けられます。次に、情報オブジェクトは、CMDB CI による Depends on::Used 関係を確立することによって、データベースカタログとインスタンスにリンクされます。

情報ポートフォリオデータモデル



エンタープライズアーキテクチャ は、データベースアプリケーション、データベースインスタンス、およびデータベースカタログを検索する ServiceNow ディスカバリー と統合します。データベースカタログには、データベースのインスタンスで検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースが一覧表示されます。

プラグインのアクティブ化手順

CMDB プラグインには情報オブジェクト (cmdb_ci_information_object) CI があります。エンタープライズアーキテクチャプラグインを有効にすると、データドメインフィールドが cmdb_ci_information_objectテーブルに追加されます。データドメインフィールドは、 エンタープライズアーキテクチャ プラグインに含まれているデータドメインテーブルを参照します。

データドメインの管理

データドメインは、情報オブジェクトのコレクションです。データドメインは情報オブジェクトを分類します。

すべてのデータドメインを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのデータドメインのリストを表示できます。

始める前に

- ◦ sn_apm.apm_admin ロールを持つ エンタープライズアーキテクチャ アナリストと エンタープライズアーキテクチャ アドミニストレーターには、作成、書き込み、および削除の権限があります。
  ◦ sn_apm.apm_user ロールを持つ エンタープライズアーキテクチャ ユーザーには、読み取りアクセス権のみがあります。

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[Data Domains** (データドメイン)] を選択します。

[ポートフォリオ] ページからのデータドメインの追加または編集

データドメインを作成または編集して、情報オブジェクトをデータベースインスタンスのデータベースカタログに関連付けて物理データを収集します。

始める前に

エンタープライズアーキテクチャユーザー (sn_apm.apm_user) はデータドメインを表示できますが、Data Domain [sn_apm_data_domain] テーブルのアクセス制御はさまざまなユーザーに制限されます。

- ◦ sn_apm.apm_admin ロールを持つ エンタープライズアーキテクチャ アナリストと エンタープライズアーキテクチャ アドミニストレーターには、作成、書き込み、および削除の権限があります。
  ◦ sn_apm.apm_user ロールを持つ エンタープライズアーキテクチャ ユーザーには、読み取りアクセス権のみがあります。

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[Data Domains** (データドメイン)] を選択します。
5. データドメインを追加または編集します。
   ◦ データドメインを追加するには、**[New** (新規)] を選択します。
   ◦ 既存のデータドメインの詳細を更新するには、データドメインを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「データドメインフォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。
   エンタープライズアーキテクチャワークスペース の [セットアップ] ページからデータドメインを作成することもできます。詳細については、「情報データドメインの追加または編集」を参照してください。

情報オブジェクトの管理

情報オブジェクトは、ビジネスアプリケーションの論理データをキャプチャします。また、アプリケーションとデータベースの間で交換されるデータのタイプについても説明します。

すべての情報オブジェクトを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべての情報オブジェクトのリストを表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン () を選択します。
4. [情報オブジェクト] を選択します。

情報オブジェクトの追加または編集

ビジネスアプリケーションの論理データをキャプチャする情報オブジェクトを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン () を選択します。
4. 情報オブジェクトを追加または編集します。
   - 情報オブジェクトを追加するには、[新規] を選択します。
   - 既存の情報オブジェクトの詳細を更新するには、情報オブジェクトを選択します。
5. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「[情報オブジェクトを作成] フォーム」を参照してください。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。

アーキテクチャアーティファクトの管理

アーキテクチャアーティファクトは、企業のシステム、ソリューション、進捗状況を説明するために作成されるものです。エンタープライズアーキテクチャ のアーキテクチャアーティファクトの目的は、エンタープライズアーキテクトが組織内でアーティファクトを作成および管理できるようにすることです。

図やレポートなどの視覚化におけるエンタープライズアーキテクチャ要素を数多く維持管理する上で、外部ソースに依存する場合もあることでしょう。アーキテクチャアーティファクト機能を使用すると、これらのアーティファクトをビジネスアプリケーションやビジネス機能などの ServiceNow® オブジェクトに簡単に関連付けることができます。

エンタープライズアーキテクトは、アーキテクチャアーティファクトを使用して次のタスクを実行できます。

- アーキテクチャアーティファクトをレビューして承認する
- アーティファクトバージョンの追跡
- アーキテクチャアーティファクトを、組織のニーズに合わせて構成されているカテゴリに関連付けます
- アーキテクチャアーティファクトを組織のビジネス機能、ビジネスアプリケーション、デジタル統合、またはデジタルインターフェイスに関連付けます。

アーキテクチャアーティファクト機能は、 ServiceNow® ドキュメント管理プラグイン (com.snc.platform_document_management) の機能を拡張し、 ServiceNow® オブジェクト (ビ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジネスアプリケーション、ビジネス機能、デジタル統合、またはデジタルインターフェイス) との関係を作成できます。

すべてのアーキテクチャアーティファクトを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのアーキテクチャアーティファクトのリストを表示できます。

始める前に

アーティファクトレベルの権限セットによって、アーティファクトを表示できるかどうかも決まります。

必要なロール:sn_apm.apm_user または sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン () を選択します。
4. [アーキテクチャアーティファクト] を選択します。

[ポートフォリオ] ページからのアーキテクチャアーティファクトの追加または編集

ビジネス要件に合わせてアーキテクチャアーティファクトを作成します。

始める前に

アーティファクトレベルで設定された権限によって、アーティファクトを編集できるかどうかが決まります。

必要なロール:アーキテクチャアーティファクトを追加するための sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン () を選択します。
4. [アーキテクチャアーティファクト] を選択します。
5. アーキテクチャアーティファクトを追加または編集します。
   - アーキテクチャアーティファクトを追加するには、 [新規] を選択します。
   - 既存のアーキテクチャアーティファクトの詳細を更新するには、アーキテクチャアーティファクトを選択します。
6. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 (Create new architectural artifact)] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

アーキテクチャアーティファクトに関連エンティティを追加する

アーキテクチャアーティファクトを、ビジネス機能、ビジネスアプリケーション、デジタル統合、デジタルインターフェイスなどの既存のエンティティに関連付けます。関連付けにより、アーティファクトと関連エンティティ間の関係が作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ( ) を選択します。
4. [アーキテクチャアーティファクト] を選択します。
5. 関連エンティティを追加するアーキテクチャアーティファクトを選択します。
   新しいページが表示され、アーキテクチャアーティファクトの詳細が表示されます。
6. [関連エンティティ] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「新しい関連エンティティの作成フォーム」を参照して ください。
9. [保存] を選択します。

アーキテクチャアーティファクトのロール権限の追加

ロール権限とは、アーキテクチャアーティファクトを作成、表示、または編集するためにさまざまなロールに割り当てられたアクセス権を指します。これらの権限により、許可されたロールを持つユーザーのみがアーキテクチャアーティファクトに対してアクションを実行できます。

始める前に
必要なロール: ライター 権限が割り当てられているすべてのユーザー。

このタスクについて
ロール権限を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。既存のロールに基づいて、特定のロール権限を提供できます。

- アーキテクチャアーティファクトの所有者は、 他のユーザーにリーダー、 ライター、 および所有者 ロールの権限を付与できます。
- アーキテクチャアーティファクトに対する ライター ロール権限が割り当てられている場合は、 他のユーザーにライター または リーダー ロールの権限を付与できます。
- アーキテクチャアーティファクトに対する 「読者 」ロール権限が割り当てられている場合、他のユーザーにロール権限を付与することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ( ) を選択します。
4. [アーキテクチャアーティファクト] を選択します。
5. ロールの権限を関連付けるアーキテクチャアーティファクトを選択します。
   新しいページが表示され、アーキテクチャアーティファクトの詳細が表示されます。
6. [ロールの権限] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド値の説明については、「新しいロール権限の作成」を参照して ください。

9. [保存] を選択します。

アーキテクチャアーティファクトのユーザー基準権限の追加

ユーザー基準権限とは、部門、グループ、組織などの特定の基準に基づいて作成されたさまざまなユーザーグループに割り当てられるアクセス権を指します。たとえば、すべての HR ビジネスパートナは、ヒューマンリソース (HRBP) グループに属しています。

始める前に
必要なロール: ライター 権限が割り当てられているすべてのユーザー。

このタスクについて
ユーザー基準権限を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。既存の権限に基づいて、特定のユーザー基準権限を付与できます。

- アーキテクチャアーティファクトの所有者は、 他のユーザーにリーダー、 ライター、 および所有者 のユーザー基準の権限を付与できます。
- アーキテクチャアーティファクトへの ライター 権限が割り当てられている場合は、 他のユーザーにライター または リーダー ユーザー基準の権限を付与できます。
- アーキテクチャアーティファクトに対する 「リーダー 」権限が割り当てられている場合、他のユーザーにユーザー基準の権限を付与することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ( ) を選択します。
4. [アーキテクチャアーティファクト] を選択します。
5. ユーザー基準権限を関連付けるアーキテクチャアーティファクトを選択します。
   新しいページが表示され、アーキテクチャアーティファクトの詳細が表示されます。
6. [ユーザー基準の権限] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「新しいユーザー基準権限の作成」を参照して ください。
9. [保存] を選択します。

アーキテクチャアーティファクトのユーザー権限の追加

ユーザー権限とは、アーキテクチャアーティファクトを作成、表示、または編集するために特定のユーザーに割り当てられたアクセス権を指します。これらの権限により、許可されたユーザーのみがアーキテクチャアーティファクトに対してアクションを実行できます。ユーザー権限を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。

始める前に
必要なロール: ライター 権限が割り当てられているすべてのユーザー。

このタスクについて
ユーザー権限を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。既存の権限に基づいて、特定のユーザー権限を付与できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アーキテクチャアーティファクトの所有者である場合は、 リーダー、 ライター、 および所有者 のユーザー権限を他のユーザーに付与できます。
- アーキテクチャアーティファクトへの ライター 権限が割り当てられている場合は、 他のユーザーにライター または リーダー ユーザー権限を付与できます。
- アーキテクチャアーティファクトに対する 閲覧者 権限が割り当てられている場合、他のユーザーにユーザー権限を付与することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン () を選択します。
4. [アーキテクチャアーティファクト] を選択します。
5. ユーザー権限を関連付けるアーキテクチャアーティファクトを選択します。
   新しいページが表示され、アーキテクチャアーティファクトの詳細が表示されます。
6. [ユーザー権限] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[新しいユーザー権限の作成 (Create new user permissions)] フォーム」を参照して ください。
9. [保存] を選択します。

アーキテクチャアーティファクトのグループ権限の追加

グループ権限とは、アーキテクチャアーティファクトを作成、表示、または編集するためにさまざまなユーザーグループに割り当てられるアクセス権を指します。これらの権限により、許可されたグループのみがアーキテクチャアーティファクトに対してアクションを実行できます。

始める前に

必要なロール: ライター 権限が割り当てられているすべてのユーザー。

このタスクについて

グループ権限を作成し、アーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。既存の権限に基づいて、特定のユーザー権限を付与できます。

- アーキテクチャアーティファクトの所有者は、 リーダー、 ライター、 および所有者 グループの権限を他のユーザーに付与できます。
- アーキテクチャアーティファクトへの ライター 権限が割り当てられている場合は、 他のユーザーにライター または リーダー グループ権限を付与できます。
- アーキテクチャアーティファクトに対する 閲覧者 権限が割り当てられている場合、他のユーザーにグループ権限を付与することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン () を選択します。
4. [アーキテクチャアーティファクト] を選択します。
5. グループ権限を関連付けるアーキテクチャアーティファクトを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しいページが表示され、アーキテクチャアーティファクトの詳細が表示されます。

6. [ユーザーの権限] タブを選択します。
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「新しいグループ権限の作成」を参照して ください。
9. [保存] を選択します。

アーキテクチャアーティファクトのバージョンの管理

アーキテクチャアーティファクトの複数のバージョンを作成し、承認のために送信できます。各アーティファクトに対して承認を受けられるバージョンは 1 つだけです。

以前のバージョンのアーキテクチャアーティファクトのステータスが [承認済み (最新ではない)] に変更されます。

すべてのアーキテクチャアーティファクトバージョンを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでは、すべてのアーキテクチャアーティファクトバージョンのリストを表示できます。

始める前に
必要なロール:特定のアーキテクチャアーティファクトに設定されたロール権限によって異なります。

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ( ) を選択します。
4. アーキテクチャアーティファクトのバージョンを選択します。

でのアーティファクトバージョンのアップロード エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内の既存のアーティファクトに新しいバージョンをアップロードします。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ( ) を選択します。
4. アーキテクチャアーティファクトのバージョンを選択します。
5. [バージョンをアップロード] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「新しい アーキテクチャアーティファクトを作成 バージョン フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

EA ワークスペースでのアーティファクトバージョンの承認の要求

EA ワークスペースでのアーティファクトバージョンの承認の要求

エンタープライズアーキテクトユーザーにアーキテクチャアーティファクトバージョンの承認を要求します。ユーザーが要求をレビューして承認します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ( ) を選択します。
4. [アーキテクチャアーティファクト] を選択します。
5. アーティファクトバージョンに承認が必要なアーキテクチャアーティファクトを開きます。
6. [アーキテクチャアーティファクトのバージョン] タブを選択します。
7. 承認用に送信するレコードのバージョンを選択します。
8. [承認を要求] を選択します。

タスクの結果
レコードバージョンが、承認のためにエンタープライズアーキテクトに送信されます。メール通知が、承認者に送信されます。

でのアーティファクトバージョンのダウンロード エンタープライズアーキテクチャワークスペース

承認されたアーティファクトバージョンをダウンロードして、その中の添付ファイルを表示します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ( ) を選択します。
4. アーキテクチャアーティファクトのバージョンを選択します。
5. 既存のアーキテクチャアーティファクトを開きます。
6. [アーティファクトのダウンロード] を選択します。
   アーティファクトのバージョンを承認する必要があり、ファイルタイプが [添付ファイル] であることを確認します。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

アーキテクチャ決定レコード **(ADR)** の管理

アーキテクチャ決定レコード (ADR) を使用してインフラストラクチャを説明します。ADR は、特定のアーキテクチャ上の決定の背景を理解するのに役立つアーティファクトの一種です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アーキテクチャ決定レコード (ADR) の追加または編集

アーキテクチャ上の意思決定レコード (ADR) タイプを使用してアーティファクトを作成または更新し、ビジネス要件に合わせて調整します。

始める前に
必要なロール:アーキテクチャ決定レコード (ADR) を追加する sn_apm.apm_user

アーティファクトレベルで設定された権限によって、アーティファクトを編集できるかどうかが決まります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン () を選択します。
4. [アーキテクチャ決定レコード **(ADR) (Architectural Decision Records (ADR)**)] を選択します。
5. アーキテクチャの意思決定レコードを追加または編集します。
   - アーキテクチャ決定レコードを追加するには、 新規 を選択します。
   - 既存のアーキテクチャ決定レコードの詳細を更新するには、アーキテクチャ決定レコードを選択します。
6. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 (Create new architectural artifact)] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
アーキテクチャ決定レコードが作成され、アーティファクトリストに追加されます。

関連情報

- EA ワークスペースでのアーティファクトバージョンの承認の要求
- アーキテクチャアーティファクトに関連エンティティを追加する
- アーキテクチャアーティファクトのロール権限の追加
- アーキテクチャアーティファクトのユーザー基準権限の追加
- アーキテクチャアーティファクトのユーザー権限の追加
- アーキテクチャアーティファクトのグループ権限の追加

エンティティの管理

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの [ポートフォリオ] ページ内の [自分のエンティティ] セクションは、すべての自分のエンティティを管理するのに役立ちます。

ビジネスケイパビリティを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで自分が作成したすべてのビジネスケイパビリティのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [マイビジネスケイパビリティ] を選択します。
   [ビジネスポートフォリオ] ページからケイパビリティのリストを表示することもできます。詳細については、「ビジネスポートフォリオの管理」を参照してください。

ビジネス機能の追加または編集

ビジネスケイパビリティを追加または編集して、組織のビジネスゴールを調整します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [マイビジネスケイパビリティ] を選択します。
5. 機能を追加または編集します。
   - 機能を追加するには、 新規 を選択します。
   - 既存の機能の詳細を更新するには、機能を選択し、 編集 を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[新しいビジネスケイパビリティを作成 (Create new business capability)] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。
   [ビジネスポートフォリオ] ページから機能を追加することもできます。詳細については、「ビジネス機能の追加」を参照してください。

ビジネスプロセスの表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで自分が作成したすべてのビジネスプロセスのリストを表示します。

始める前に
必要なロール:business_process_manager、asset、または itil

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [自分のビジネスプロセス] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスプロセスの追加または編集

ビジネスプロセスを追加または編集して、特定のアプリケーションサービスの実行に役立つアプリケーションをグループ化します。ビジネスプロセスは、特定のアプリケーションサービスを実現するために実行される、構造化された関連タスクの集合です。

始める前に
必要なロール:business_process_manager、asset、または itil

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [自分のビジネスプロセス] を選択します。
5. ビジネスプロセスを追加または編集します。
   - ビジネスプロセスを追加するには、 新規 を選択します。
   - 既存のビジネスプロセスの詳細を更新するには、ビジネスプロセスを選択して、 編集 を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[ビジネスプロセスを作成] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

ビジネスアプリケーションを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで自分が作成したすべてのビジネスアプリケーションのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [自分のビジネスアプリケーション] を選択します。

ビジネスアプリケーションの追加または編集

機能と実行するビジネスプロセスに基づいて、組織が導入するアプリケーションを追加します。エンタープライズアーキテクチャで、コスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクを評価および追跡するために使用されるビジネスアプリケーションを追加または編集します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

注: ユーザーはエンタープライズアーキテクトグループに属している必要があります。

このタスクについて
エンタープライズアーキテクチャユーザーロール (sn_apm.apm_user) を持っている場合は、ビジネスアプリケーションライフサイクル管理サービスを使用して、ビジネスアプリケーションを要求、追加、または廃止します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコンをクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [自分のビジネスアプリケーション] を選択します。
5. ビジネスアプリケーションを追加または編集します。
   - ビジネスアプリケーションを追加するには、 [追加] を選択します。
   - 既存のビジネスアプリケーションの詳細を更新するには、レコードを選択して [編集] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「ビジネスアプリケーションフォーム」を参照してください。
7. [保存] または [更新] を選択します。

アプリケーションサービスの表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで自分が作成したアプリケーションサービスのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [自分のアプリケーションサービス] を選択します。

アプリケーションサービスの追加または編集

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで作成したアプリケーションサービスを追加または編集します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコンをクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [自分のアプリケーションサービス] を選択します。
5. アプリケーションサービスを追加または編集します。
   - アプリケーションサービスを追加するには、 [追加] を選択します。
   - 既存のアプリケーションサービスの詳細を更新するには、レコードを選択して [編集] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「アプリケーションサービスフォーム」を参照してください。

7. [保存] または [更新] を選択します。

情報オブジェクトの表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース作成した情報オブジェクトのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [自分の情報オブジェクト] を選択します。

情報オブジェクトの追加または編集

情報オブジェクトを追加または編集して、ビジネスアプリケーションの論理データをキャプチャします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [自分の情報オブジェクト] を選択します。
5. 情報オブジェクトを追加または編集します。
   - 情報オブジェクトを追加するには、[新規] を選択します。
   - 既存の情報オブジェクトの詳細を更新するには、情報オブジェクトを選択して [編集] を選択します。
6. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「[情報オブジェクトを作成] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

アーキテクチャアーティファクトの表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで自分が作成したすべてのアーキテクチャアーティファクトのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン () を選択します。
4. [自分のアーキテクチャアーティファクト] を選択します。

アーキテクチャアーティファクトの追加または編集

アーキテクチャアーティファクトを追加または編集して、ビジネス要件に合わせて調整します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン () を選択します。
4. [自分のアーキテクチャアーティファクト] を選択します。
5. アーキテクチャアーティファクトを追加または編集します。
   - アーキテクチャアーティファクトを追加するには、 [新規] を選択します。
   - 既存のアーキテクチャ アーティファクトの詳細を更新するには、アーキテクチャ アーティファクトを選択し、 編集 を選択します。
6. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 (Create new architectural artifact)] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

関連情報

- アーキテクチャアーティファクトに関連エンティティを追加する
- アーキテクチャアーティファクトのロール権限の追加
- アーキテクチャアーティファクトのユーザー基準権限の追加
- アーキテクチャアーティファクトのユーザー権限の追加
- アーキテクチャアーティファクトのグループ権限の追加

TRM 製品を表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのテクノロジー参照モデル (TRM) 製品を表示します。TRM を使用すると、ソフトウェアおよびハードウェア製品の標準を定義し、組織内の未承認の製品を管理できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン  をクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [自分のテクノロジー参照モデル製品] を選択します。

TRM 製品の追加または編集

ソフトウェア製品を テクノロジー参照モデル (TRM) ライブラリに追加するか、既存の製品詳細を編集して組織の TRM ライブラリを維持します。

始める前に
エンタープライズアーキテクトグループの一員である必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. ポートフォリオアイコン を選択して、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. テクノロジー参照モデル [製品] を選択します。
5. TRM 製品を追加または編集します。
   - 製品を追加するには、 新規 を選択します。
   - 製品の詳細を更新するには、TRM 製品を選択し、 編集 を選択します。
6. [TRM 製品] フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「新しい TRM 製品の作成フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

デジタル統合を表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース作成したすべてのデジタル統合のリストを表示します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン をクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [マイデジタル統合 **(My Digital Integrations)**] を選択します。

デジタル統合の追加または編集

デジタル統合を追加するか、EA ワークスペースで作成した既存のデジタル統合を編集します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
デジタル統合は、エンタープライズアーキテクトが使用する設計オブジェクトです。これは、2 つのビジネスアプリケーション間、またはビジネスアプリケーションと、やり取りするためのインターフェイス (API) を提供する外部サービス (AWS、Yahoo、タイムゾーン変換サービスなど) との間の接続を表します。

デジタル統合フォームは、2 つのデータエンティティ間で接続が必要な理由を定義するのに役立ちます。通信するインターフェイスを定義できます。説明には、関連するデザインと建築資料へのリンクを入力できます。デジタル統合は、ビジネス機能をサポートし、ビジネス価値を提供します。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( )を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( )を選択します。
4. [マイデジタル統合 **(My Digital Integrations)]** を選択します。
5. デジタル統合を追加または編集します。
   - デジタル統合を追加するには、[新規] または [新規 (簡易フォーム)] を選択します。
   - 既存のデジタル統合を更新するには、デジタル統合を選択して [編集] を選択します。
6. デジタル統合フォームで、フィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「EA ワークスペースのデジタル統合フォーム (簡易フォーム)」または「のデジタル統合フォーム EA ワークスペース」を参照してください。
7. [追加] または [更新] を選択します。

デジタルインターフェイスの表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで自分が作成したすべてのデジタルインターフェイスのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [ポートフォリオ] アイコン をクリックして、ポートフォリオリストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [マイデジタルインターフェイス] を選択します。

デジタルインターフェイスの追加または編集

統合のデジタルインターフェイスを追加または編集して、ビジネスアプリケーションのやり取り方法を記述します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
やり取りする各ビジネスアプリケーションまたはアプリケーションサービスは、アプリケーションまたはサービスとのインターフェイス方法について論理的に大まかに説明しています。デジタルインターフェイスは、他のサービスやビジネスアプリケーションがどのように相互作用するかを記述する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ために設計フェーズで使用されるオブジェクトです。同じレベルで、このデジタルインタフェースによって提供または更新される情報オブジェクトを定義できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン ( ) を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [自分のエンティティ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. [マイデジタルインターフェイス] を選択します。
5. デジタルインターフェイスを作成または更新します。
   - インターフェイスを作成するには、 新規 を選択します。
   - 既存のインターフェイスを更新するには、デジタル統合を選択し、[編集] を選択します。
6. [デジタルインターフェイス] フォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「デジタルインターフェイスフォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの設定

表示するコンポーネントが表示されるようにワークスペースをカスタマイズします。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin and sn_apm.apm_user

このタスクについて
[インサイト]、[概要]、および [健全性] セクションでは、使用しないコンポーネントは非表示にすることができます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > **Enterprise Architecture Workspace** > 構成.
2. [APM EA 構成] ページで、非表示または表示するアイテムを選択します。
3. [アクティブ] 列で、**[True]** または **[False]** を選択して、ワークスペースでコンポーネントを表示または非表示にします。

> **注:** プラットフォームアナリティクスワークスペースを使用して可視化構成を作成できます。手順については、「可視化デザイナーで単一スコアによるチャート化を作成する」を参照してください。

[概要] セクションの新しい構成を作成して適用

[概要] セクションのビジュアル化構成を作成し、必要に応じて適用します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > **Enterprise Architecture Workspace** > 構成.
2. APM EA 構成 ページで、新規 を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームのフィールドに入力します。

新しい **EA** 設定レコードフォーム

フィールド	説明
名前	構成の名前。
有効	構成をアクティブにして [概要] セクションに表示するオプション。
セクション	構成を作成しているセクション名。
順番	そのセクション内にある他のすべてのカードの順序におけるカードの位置。
構成タイプ	構成のタイプ。[セクション] フィールドが [概要]に設定されている場合、このフィールド値は自動的に [ビジュアル化] に設定されます。
保存済みの可視化	構成の名前ルックアップアイコン ( ) を選択して、[PAR 可視化] リストから構成を選択します。 **注:** プラットフォーム分析ワークスペースを使用して、ビジュアル化設定を作成して保存できます。手順については、「可視化デザイナーで単一スコアによるチャート化を作成する」を参照してください。
アクセスを管理	選択したユーザーとユーザーグループにアクセスを提供するオプション。ユーザーまたはグループのロックアイコン ( ) を選択して、ユーザーまたはグループを追加します。

[インサイト] セクションの [ビジネスポートフォリオ] タブでカード (同じ機能階層レベルのビジネスアプリケーション) を追加するための構成スクリプトのサンプル:

```
responseFromScript();

function responseFromScript() {

    return {

   "title":{

      "label":"Test insight card",

      "size":"sm",

      "lines":2

   },

   "count":"6",

   "description":{
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "label":"6 testing description",
      "lines":2
   },
   "countLabel":"test count",
   "buttonLabel":"View list",
   "buttonTooltip":"View list for Business applications at the same
capability hierarchy level",
   "border":{
      "color":"brown",
      "variant":"secondary"
   },
   "highlightedHeader":{
      "label":"Business Portfolio",
      "icon":"bag-outline"
   },
   "navigation":{
      "route":"list",
      "title":"Business applications at the same capability hierarchy
level",
      "fields":{
         "table":"cert_follow_on_task",
         "listTitle":"Business applications at the same capability
hierarchy level"
      },
      "params":{
         "query":"sys_created_on>=2022-12-15
11:36:37^audit.sys_id=ae25162c3ba20300028fe79c83efc492^state=1",
         "listView":""
      }
   },
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   "displayText":"6 Business applications at the same capability
 hierarchy level"

};

}
```

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

[健全性] または [インサイト] セクションの新しい構成を作成して適用

[健全性] または [インサイト] セクションの構成を作成し、必要に応じて適用します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズアーキテクチャ > **Enterprise Architecture Workspace** > 構成.
2. APM EA 構成 ページで、新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい **EA** 設定レコードフォーム

フィールド	説明
名前	構成の名前。
有効	構成をアクティブにして [健全性] または [インサイト] セクションに表示するオプション。
セクション	構成を作成しているセクション名。
順番	そのセクション内にある他のすべてのカードの順序におけるカードの位置。
構成タイプ	構成のタイプ。[セクション] フィールドが次のいずれかに設定されている場合、このフィールド値は自動的に [スクリプト] に設定されます。 ◦ Health (健全性) ◦ Insights (インサイト) - Application Portfolio (アプリケーションポートフォリオ) ◦ Insights (インサイト) - Business Portfolio (ビジネスポートフォリオ) ◦ Insights (インサイト) - Information Portfolio (情報ポートフォリオ) ◦ Insights (インサイト) - Technology Portfolio (テクノロジーポートフォリオ)
構成スクリプト	構成のスクリプト。
アクセスを管理	選択したユーザーとユーザーグループにアクセスを提供するオプション。ユーザーまたはグループのロックアイコンをクリックして、ユーザーまたはグループを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[健全性] セクションにカード (未評価のビジネス機能) を追加するサンプル構成スクリプト：

```
function responseFromScript(filters) {

  return {"count":74,"percentage":"45","subtext":"45% of all
 Capabilities","query":"sys_idIN016d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee4,016d2c
3d18400300964f2ff0d21a4eeb,016d6c3d18400300964f2ff0d21a4e00,016d6c3d184
00300964f2ff0d21a4e0b,016d6c3d18400300964f2ff0d21a4e0e,056d2c3d18400300
964f2ff0d21a4ee2,056d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee9,056d2c3d18400300964f2
ff0d21a4ef7,056d6c3d18400300964f2ff0d21a4e13,096d2c3d18400300964f2ff0d2
1a4ee0,096d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef5,096d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef
c,096d6c3d18400300964f2ff0d21a4e03,0d6d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee5,0d6
d2c3d18400300964f2ff0d21a4eec,0d6d2c3d18400300964f2ff0d21a4efa,0d6d6c3d
18400300964f2ff0d21a4e08,116d6c3d18400300964f2ff0d21a4e23,156d6c3d18400
300964f2ff0d21a4e21,343ab8b1c172d700964f1c9d9204dfc4,3df0ce8111f0130096
4fb19f04b5016c,3eaa906187082110cb387406dabb3502,416d2c3d18400300964f2ff
0d21a4eee,416d2c3d18400300964f2ff0d21a4efc,416d6c3d18400300964f2ff0d21a
4e03,416d6c3d18400300964f2ff0d21a4e0a,456d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef3,
4ad8bca987482110cb387406dabb3548,4d6d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef6,596d6
c3d18400300964f2ff0d21a4e22,5d6d6c3d18400300964f2ff0d21a4e19,816b418b87
6f1110cb387406dabb3548,816d2c3d18400300964f2ff0d21a4eea,816d2c3d1840030
0964f2ff0d21a4ef8,816d2c3d18400300964f2ff0d21a4eff,856d2c3d18400300964f
2ff0d21a4ee1,856d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee8,856d2c3d18400300964f2ff0d
21a4ef6,896d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee6,896d2c3d18400300964f2ff0d21a4e
f4,896d6c3d18400300964f2ff0d21a4e02,896d6c3d18400300964f2ff0d21a4e09,89
6d6c3d18400300964f2ff0d21a4e10,8d6d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee4,8d6d2c3
d18400300964f2ff0d21a4eeb,8d6d2c3d18400300964f2ff0d21a4ef2,8d6d2c3d1840
0300964f2ff0d21a4ef9,8d6d6c3d18400300964f2ff0d21a4e00,916d6c3d184003009
64f2ff0d21a4e22,956d6c3d18400300964f2ff0d21a4e19,a770d85187046110cb3874
06dabb3540,c16d2c3d18400300964f2ff0d21a4eed,c16d2c3d18400300964f2ff0d21
a4ef4,c16d2c3d18400300964f2ff0d21a4efb,c4c7273087442110cb387406dabb3520
,c56d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee4,c56d2c3d18400300964f2ff0d21a4eeb,c56d
6c3d18400300964f2ff0d21a4e00,c56d6c3d18400300964f2ff0d21a4e0e,c96d2c3d1
8400300964f2ff0d21a4ee2,c96d2c3d18400300964f2ff0d21a4ee9,c96d2c3d184003
00964f2ff0d21a4ef0,c96d2c3d18400300964f2ff0d21a4efe,c96d6c3d18400300964
f2ff0d21a4e05,c96d6c3d18400300964f2ff0d21a4e13,cd6d2c3d18400300964f2ff0
d21a4ee7,cd6d2c3d18400300964f2ff0d21a4eee,d16d6c3d18400300964f2ff0d21a4
e1e,d56d6c3d18400300964f2ff0d21a4e15,d56d6c3d18400300964f2ff0d21a4e1c,d
d026ed887d82110cb387406dabb3548,dd6d6c3d18400300964f2ff0d21a4e18,ed4b17
5c87902110cb387406dabb3553,efbf3eb187bb11102f631f473cbb3571","table":"c
mdb_ci_business_capability","listView":"business_capability_apm_view","
icon":"exclamation Fill"}

}
```

[インサイト] セクションのアプリケーションポートフォリオ、ビジネスポートフォリオ、または情報ポートフォリオにカードを追加するためのサンプル構成スクリプト:

```
months - selected upto months filter

showProd - show only production filter



responseFromScript(months, showProd);

```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
function responseFromScript(months, showProd) {



    var currentDateTime = new GlideDateTime();

    currentDateTime.addMonthsLocalTime(months);

    var queryDate = currentDateTime.getLocalDate();

    var query =
 "technology_lifecycle.earliest_lifecycle_date<=javascript:gs.dateGener
ate('" + queryDate + "','start')"; if (showProd) {

        query = query + "^business_service.used_for=Production";

    }

    var productInventoryGR = new
 GlideAggregate('sn_apm_tpm_discovered_technology');

    productInventoryGR.addEncodedQuery(query);

    productInventoryGR.addAggregate("count(distinct",
 'technology_lifecycle.hardware_model');

    productInventoryGR.setGroup(false);

    productInventoryGR.query();

    if (productInventoryGR.next()) {

        hwProductsCount =
 productInventoryGR.getAggregate("count(distinct",
 'technology_lifecycle.hardware_model');

    }

    if (hwProductsCount > 0) {

        var hpRiskDesc = gs.getMessage("by {0}", [queryDate]);

        return {

            'title': {

                'label': gs.getMessage("Hardware models with lifecycle
 risk"),

                'size': "sm",

                'lines': 2

            },

            'count': hwProductsCount,
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            'description': {
                'label': hpRiskDesc,
                'lines': 2
            },
            'countLabel': gs.getMessage("Hardware models count"),
            'buttonLabel': gs.getMessage("View list"),
            'buttonTooltip': gs.getMessage("View list for hardware
models with lifecycle risk"),
            'border': this.cardDetails[3].border,
            'highlightedHeader': this.cardDetails[3].header,
            'navigation': {
                "route": "list",
                "title": gs.getMessage("Hardware models with lifecycle
risk"),
                "fields": {
                    "table": "sn_apm_tpm_discovered_technology",
                    "listTitle": gs.getMessage("Hardware models with
lifecycle risk")
                },
                "params": {
                    "query": query +
"^ORDERBYtechnology_lifecycle.earliest_lifecycle_date",
                    "listView": ""
                }
            },
            'ariaLabel': {
                "aria-label": gs.getMessage("View list for hardware
models with lifecycle risk")
            }
        };
    }
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    return false;

}
```

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

の操作 のセットアップページ エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクトは、 エンタープライズアーキテクチャワークスペースの [セットアップ] ページを使用して、EA ワークスペース内の エンタープライズアーキテクチャ (旧称 アプリケーションポートフォリオ管理) 機能を構成できます。

次のカテゴリを設定できます。

情報データドメイン

データドメインは、情報オブジェクトのコレクションです。情報オブジェクトをデータベースインスタンスのデータベースカタログに関連付けて、物理データを収集します。ServiceNow ディスカバリーは、データベースのインスタンスに対して検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースを一覧表示するデータベースカタログを検索します。データドメインを作成するには、「 情報データドメインの追加または編集」を参照してください。

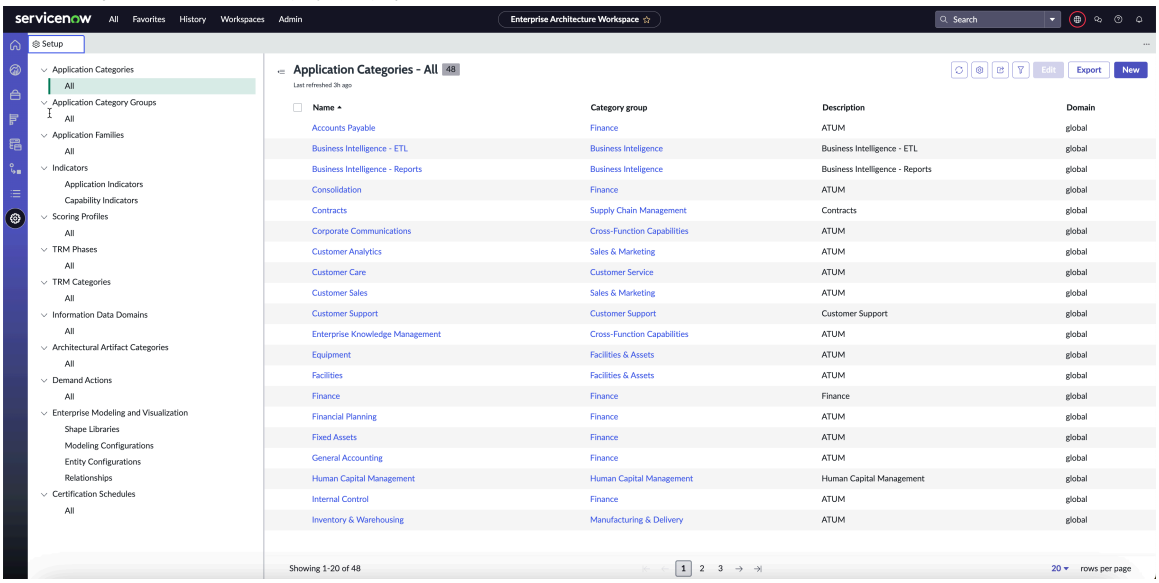
アーキテクチャアーティファクトカテゴリ

アーキテクチャアーティファクトカテゴリを使用すると、アーティファクトをより効率的に分類および管理できます。アーキテクチャアーティファクトカテゴリを作成するには、「 アーキテクチャアーティファクトカテゴリの追加または編集」を参照してください。

TCO

アプリケーションの総所有コスト (TCO) 機能は、アプリケーションコストを活用してアプリケーションポートフォリオに優先順位を付け、ビジネス戦略に合わせるのに役立ちます。詳細については、「でアプリケーションの総所有コスト (TCO) を構成する エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

EA ワークスペースのセットアップ



アプリケーションカテゴリの構成

アプリケーションカテゴリは、目的と機能、フィールド、またはエリアによってアプリケーションをグループ化したものです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このような分類は、アプリケーションの統合と、意思決定の合理化に役立ちます。アプリケーションカテゴリを作成することも、既存のカテゴリを編集してビジネス要件に適応させることもできます。

すべてのアプリケーションカテゴリを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのアプリケーションカテゴリのリストを表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [アプリケーションカテゴリ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。

アプリケーションカテゴリの追加または編集

各アプリケーションに、アプリケーションカテゴリが定義されている必要があります。このフィールドは、アプリケーションの目的と、このアプリケーションがサポートする主要なビジネス機能の説明に使用されます。ビジネス機能と同様に、分類を概括的なレベルに保つことができます。たとえば、営業、HR、製造業、製造などです。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [アプリケーションカテゴリ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. アプリケーションカテゴリを追加または編集します。
   - アプリケーションカテゴリを追加するには、**[New** (新規)] を選択します。
   - 既存のアプリケーションカテゴリの詳細を更新するには、アプリケーションカテゴリを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「新しいアプリケーションカテゴリの作成フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

アプリケーションカテゴリグループの構成

アプリケーションカテゴリグループは、アプリケーションカテゴリのコレクションです。カテゴリグループは、アプリケーションカテゴリのフィルタリングとレポートに役立ちます。

すべてのアプリケーションカテゴリグループを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのアプリケーションカテゴリグループのリストを表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [アプリケーションカテゴリグループ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。

アプリケーションカテゴリグループの追加または編集

アプリケーションカテゴリグループを追加または編集し、ビジネス要件に合わせて調整します。カテゴリグループは、アプリケーションカテゴリのフィルタリングとレポートに役立ちます

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [アプリケーションカテゴリグループ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. アプリケーションカテゴリグループを追加または編集します。
   - アプリケーション カテゴリ グループを追加するには、 [新規] を選択します。
   - 既存のアプリケーションカテゴリグループの詳細を更新するには、アプリケーションカテゴリグループを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「新しいアプリケーションカテゴリグループの作成フォーム」を参照してください。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

アプリケーションファミリーの構成

アプリケーションファミリは、製品のメーカー分類に基づいて一連の関連アプリケーションを製品スイートにグループ化するための属性です。

すべてのアプリケーションファミリーを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのアプリケーションファミリーのリストを表示できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [アプリケーションファミリー] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。

アプリケーションファミリの追加または編集

アプリケーションファミリーを追加または編集し、ビジネス要件に合わせて調整します。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [アプリケーションファミリー] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. アプリケーションファミリーを追加または編集します。
   - アプリケーションファミリーを追加するには、**[New** (新規)] を選択します。
   - 既存のアプリケーションファミリーの詳細を更新するには、アプリケーションファミリーを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「[新しいアプリケーションファミリーを作成 (Create new application family)] フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

インジケーターの構成

エンタープライズアーキテクチャワークスペースでは、アプリケーションまたはケイパビリティインジケーターを表示、追加、または編集できます。

アプリケーションインジケーターは、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価するビジネス測定基準です。

ケイパビリティインジケーターは、インジケーターフレームワーク内のビジネス機能にアクセスするために使用されます。インジケータースコアに基づいて、ビジネス機能をサポートするビジネスアプリケーションについて戦略的な意思決定を行うことができます。

各インジケーターは、アプリケーションまたは機能のスコアを計算するために使用される関連アプリケーションまたは機能のデータを定期的にキャプチャします。

すべてのアプリケーションインジケーターを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのアプリケーションインジケーターのリストを表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [インジケーター] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. アプリケーションインジケーターを選択します。

アプリケーションインジケーターの追加または編集

コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などのさまざまな次元にわたってアプリケーションを評価するためのアプリケーションインジケーターを追加または編集します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [インジケーター] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. アプリケーションインジケーターを選択します。
5. アプリケーションインジケーターを追加または編集します。
   - アプリケーションインジケーターを追加するには、[新規] を選択します。
   - 既存のアプリケーションインジケーターの詳細を更新するには、アプリケーションインジケーターを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「新しいインジケーターの作成フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

すべてのケイパビリティインジケーターを表示

すべてのケイパビリティインジケーターのリストを表示するには、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [インジケーター] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. 機能インジケーターを選択します。

ケイパビリティインジケーターの追加または編集

機能インジケーターを追加または編集して、インジケーターフレームワーク内のビジネス機能にアクセスします。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [インジケーター] の横にある行の展開アイコン () を選択します。
4. 機能インジケーターを選択します。
5. ケイパビリティインジケーターを追加または編集します。
   - 機能インジケーターを追加するには、 新規 を選択します。
   - 既存の機能インジケーターの詳細を更新するには、機能インジケーターを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「新しいインジケーターの作成フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

アプリケーションまたはケイパビリティインジケーターをアクティブ化またはオフにする

ビジネス要件に応じてアプリケーションインジケーターを有効または無効にします。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [インジケーター] の横にある行の展開アイコン () を選択します。
4. [アプリケーションインジケーター] または [ケイパビリティインジケーター] を選択します。
5. 特定のインジケーターの [アクティブ] 列の値をダブルクリックします。
6. そのインジケーターに関連するステータスを選択します。
   利用可能なオプションは次のとおりです。
   - **true**:このステータスは、インジケーターが計算され、会計期間ごとの全体的なスコア計算で使用されることを示します。
   - **false**:この状態は、インジケーターがオフになっており、会計期間ごとの全体的なアプリケーションスコアの計算に使用されていないことを示します。
7. [**OK**] を選択します。

でのアプリケーションインジケータースコアのオンデマンド再生成 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

アプリケーションインジケータースコアをオンデマンドで更新して、コスト、品質、技術的リスク、ビジネス価値などのさまざまな側面でアプリケーションを評価し、アプリケーションのパフォーマンスに関するリアルタイムのインサイトを収集し、必要に応じてすぐにアクションを実行できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
インジケータースコアのオンデマンド生成により、アセスメントにアプリケーションの最新の状態が反映され、アプリケーションのパフォーマンスに関する即時のフィードバックが必要な場合に役立ちます。

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [インジケーター] の横にある行の展開アイコン (
4. アプリケーションインジケーターを選択します。
5. インジケータースコアを生成するアプリケーションインジケーターを選択します。
6. [インジケータースコアを再生成] を選択します。
   [アプリケーションインジケータースコアを再生成] ポップアップウィンドウが表示されます。
7. [会計期間] ボックスに、インジケーター スコアを生成する会計期間を入力します。
   [リストから参照] アイコン  、利用可能な会計期間のリストを表示することもできます。
8. [**OK**] を選択します。
   このアクションでは、既存のアプリケーションインジケータースコアは更新されませんが、それらを削除して新しいスコアを生成します。

で機能インジケータースコアをオンデマンドで再生成 エンタープライズアーキテクチャワークスペース
機能インジケータースコアをオンデマンドで更新して、ビジネス機能のパフォーマンスに関するリアルタイムのインサイトを収集し、必要に応じて即座にアクションを実行できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
インジケーターフレームワーク内でスコアに基づいてビジネス機能を評価することは、ビジネス機能をサポートするビジネスアプリケーションについて戦略的な意思決定を行うのに役立ちます。

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [インジケーター] の横にある行の展開アイコン (
4. 機能インジケーターを選択します。
5. インジケータースコアを生成する機能インジケーターを選択します。
6. [インジケータースコアを再生成] を選択します。
   [アプリケーションインジケータースコアを再生成] ポップアップウィンドウが表示されます。
7. [会計期間] ボックスに、インジケーター スコアを生成する会計期間を入力します。
   [リストから参照] アイコン  、利用可能な会計期間のリストを表示することもできます。
8. [**OK**] を選択します。
   このアクションでは、既存の機能インジケータースコアは更新されませんが、それらを削除して新しいスコアを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

採点プロファイルの構成

採点プロファイルは、さまざまなインジケーターに基づいてアプリケーションを評価するのに役立ちます。

すべての採点プロファイルを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべての採点プロファイルのリストを表示できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン []を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [採点プロファイル] の横にある行を展開アイコン (行 ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。

採点プロファイルの追加または編集

新しいインジケーターを使用して採点プロファイルを追加または編集し、ビジネスアプリケーションに関連付けることができます。多くの採点プロファイル内で同じインジケーターを使用して、その採点プロファイルに固有のインジケータースコアを生成することもできます。採点プロファイルを作成したら、それをインジケーターに関連付ける必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン []を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [採点プロファイル] の横にある行を展開アイコン (行 ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. 採点プロファイルを追加または編集します。
   - 採点プロファイルを追加するには、**[New** (新規)] を選択します。
   - 既存の採点プロファイルの詳細を更新するには、採点プロファイルを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「新しい採点プロファイルの作成フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

アプリケーション採点プロファイルにプロファイルインジケーターを添付する

採点プロファイルをプロファイルインジケーターに関連付ける必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
採点プロファイルを新しいインジケーターで作成または更新し、ビジネスアプリケーションに関連付けることができます。多くの採点プロファイル内で同じインジケーターを使用して、その採点プロファイルに固有のインジケータースコアを生成することもできます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [採点プロファイル] の横にある行を展開アイコン (行) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. プロファイルインジケーターに関連付ける採点プロファイルを選択します。
6. [新規] を選択して、[プロファイルインジケーター] タブでアプリケーションインジケーターを関連付けます。
7. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「新しいプロファイル インジケーターの作成フォーム」を参照して ください。
8. [保存] を選択します。

での採点プロファイルインジケータースコアのオンデマンド再生成 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

採点プロファイルインジケーターのスコアはオンデマンドで更新できます。採点プロファイルが新しいインジケーターで更新される場合は、採点プロファイルインジケーターのスコアを更新する必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
インジケータースコアのオンデマンド生成は、必要に応じて更新されたデータと条件がすぐに得られるスケジュール済みジョブを実行するよりも効率的です。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [採点プロファイル] の横にある行を展開アイコン (
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. インジケータースコアを生成する採点プロファイルを選択します。
6. [インジケータースコアを再生成] を選択します。
   [スコアを再生成] ポップアップウィンドウが表示されます。
7. [会計期間] ボックスに、インジケーター スコアを生成する会計期間を入力します。
   [リストから参照] アイコン 、利用可能な会計期間のリストを表示することもできます。
8. [**OK**] を選択します。
   このアクションでは、既存の機能インジケータースコアは更新されませんが、それらを削除して新しいスコアを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TRMフェーズの構成

テクノロジー参照モデル (TRM) フェーズとは、組織のTRMフレームワーク内のアプリケーションのライフサイクルにおける特定のステージを指します。

TRMフェーズは、アプリケーションの使用が承認されているか、評価されているか、売却がスケジュールされているかを示すアプリケーションのステータスを表します。

すべての TRM フェーズを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのテクノロジー参照モデル (TRM) フェーズのリストを表示できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. フェーズの横にある行の展開アイコン ( ) *TRM*を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。

TRMフェーズの追加または編集

TRM製品の独自のTRMフェーズを定義します。

始める前に
エンタープライズアーキテクトグループの一員である必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて
TRM 製品のフェーズは、色や形状で表されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. フェーズの横にある行の展開アイコン ( ) *TRM*を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。

   ベースシステムから次の TRM フェーズが使用できます。

   - 承認済み:テクノロジーの使用が承認されています。
   - 制約付きで承認済み:このテクノロジーは、コメントで指定された制約内で使用できます。
   - ダイベスト:テクノロジーの使用からダイベストメントすることが決定されました。
   - 評価:このテクノロジーは評価中であり、本番環境には使用できません。
   - 未承認:テクノロジーの使用は許可されていません。
5. TRMフェーズを追加または編集します。
   - TRM フェーズを追加するには、新規 を選択します。
   - 既存の TRM フェーズの詳細を更新するには、 TRM フェーズを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM フェーズフォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

TRMカテゴリの構成

テクノロジー参照モデル (TRM) カテゴリとは、TRMソフトウェア製品を目的と機能別にグループ化したものです。分類することにより、TRM 製品の統合や、意思決定の合理化ができるようになります。

すべての TRM カテゴリを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのテクノロジー参照モデル (TRM) カテゴリのリストを表示できます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. *TRM*[カテゴリ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。

TRMカテゴリの追加または編集

TRMソフトウェア製品をグループ化するTRMカテゴリを追加または編集します。

始める前に
エンタープライズアーキテクトグループの一員である必要があります。

必要なロール：sn_apm.apm_analyst

このタスクについて

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ ]を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. *TRM*[カテゴリ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. TRMカテゴリを追加または編集します。
   - TRMカテゴリを追加するには、新規 を選択します。
   - 既存の TRM カテゴリの詳細を更新するには、 TRM カテゴリを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「TRM カテゴリフォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報データドメインの構成

データドメインは、情報オブジェクトのコレクションです。 ServiceNow® ディスカバリー では、データベースのインスタンスに対して検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースをリストするデータベースカタログが検索されます。

情報データドメインの表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで構成されているすべてのデータドメインのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン ( ) を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. **[Information Data Domains]** の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。

情報データドメインの追加または編集

情報オブジェクトをデータベースインスタンスのデータベースカタログに関連付けて、物理データを収集します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
データドメインは、情報オブジェクトのコレクションです。 ServiceNow® ディスカバリー では、データベースのインスタンスに対して検出されたすべてのカタログオブジェクトまたはデータベースをリストするデータベースカタログが検索されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン ( ) を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. **[Information Data Domains]** の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. データドメインを追加または編集します。
   - データドメインを追加するには、**[New** (新規)] を選択します。
   - 既存のデータドメインの詳細を更新するには、ドメインを選択して [編集] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「データドメインフォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

アーキテクチャアーティファクトカテゴリの構成

アーキテクチャアーティファクトカテゴリを使用すると、アーティファクトをより効率的に分類および管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべてのアーキテクチャアーティファクトカテゴリを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のすべてのアーキテクチャアーティファクトカテゴリのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：admin

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン ( ) を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. アーキテクチャアーティファクトカテゴリの横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。

アーキテクチャアーティファクトカテゴリの追加または編集

アーティファクトカテゴリを追加または編集します。アーキテクチャアーティファクトにカテゴリをアサインします。カテゴリにより、アーティファクトの分類や管理がより効率的になります。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン ( ) を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [アーキテクチャアーティファクトカテゴリ] の横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. アーキテクチャアーティファクトカテゴリを追加または編集します。
   - アーキテクチャアーティファクトカテゴリを追加するには、**[New** (新規)]を選択します。
   - 既存のアーティファクトカテゴリの詳細を更新するには、アクションを選択し、**[Edit** (編集)] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「アーキテクチャカテゴリフォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

デマンドアクションの設定

デマンドアクションは、アプリケーションに対して実行する戦略的決定です。エンタープライズアーキテクチャワークスペース は、アプリケーションの機能拡張に役立つ事前設定されたアクションを提供します。要件に応じて、新しいデマンドアクションを追加できます。

すべてのデマンドアクションを表示

アプリケーションの機能の強化に役立つ、事前設定されたすべてのデマンドアクションを エンタープライズアーキテクチャワークスペース に表示します。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン () を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [デマンドアクション] の横にある行を展開アイコン (行 ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。

デマンドアクションを追加または編集する

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のアプリケーションの機能を拡張できるように、デマンドアクションを追加または編集します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン () を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [デマンドアクション] の横にある行を展開アイコン (行 ) を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. デマンドアクションを追加または編集します。
   - 新しいデマンドアクションを追加するには、**[New** (新規)] を選択します。
   - 既存のデマンドアクションの詳細を更新するには、アクションを選択し、**[Edit** (編集)] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「デマンドアクションフォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

エンタープライズのモデリングと可視化 の構成

エンタープライズのモデリングと可視化で使用される形状ライブラリ、モデリングオプション、エンティティ、および関係を構成できます。

すべての形状ライブラリを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のエンタープライズのモデリングと可視化で利用可能なすべての形状ライブラリを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_apm_mdtl_com.mdtl_com_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行  を選択します。
4. **[Shape Libraries** (形状ライブラリ)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

形状ライブラリの追加または編集

形状ライブラリを作成するか、既存のライブラリを編集して新しい形状を追加し、その形状を使用して図を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行  を選択します。
4. **[Shape Libraries** (形状ライブラリ)] を選択します。
5. 形状ライブラリを作成または更新します。
   - 形状ライブラリを作成するには、**[New** (新規)] を選択します。
   - 既存の形状ライブラリを更新するには、ライブラリを選択し、**[Edit** (編集)] を選択します。
6. 形状ライブラリフォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「形状ライブラリフォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

の構成を表示 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャワークスペースのすべての構成の詳細を表示します。

始める前に
必要なロール:sn_apm_mdtl_com.mdtl_com_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行  を選択します。
4. 「モデリング構成」**(Modeling Configurations**) を選択します。

ダイアグラムアクションを作成

図の作成に エンタープライズのモデリングと可視化 で使用できる、新しく追加されたカスタム図形の図アクションを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

このタスクについて
カスタム図形を作成し、カスタム図形を形状ライブラリに追加した後、作成した各カスタム図形に関連付けるアクションを定義できます。ダイアグラムアクションは、ダイアグラムをよりインタラクティブで機能的にすることで、ユーザーエクスペリエンスを向上させることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行  を選択します。
4. ダイアグラムアクションを選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. ダイアグラムアクションフォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「ダイアグラムアクションの作成フォーム」を参照してください。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

モデリング構成の編集

アドミニストレーターは、モデリングの既存の構成の詳細を編集できます。構成をアクティブまたは非アクティブにすることもできます。

始める前に
必要なロール：sn_apm_mdtl_com.mdtl_com_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行  を選択します。
4. 「モデリング構成」**(Modeling Configurations**) を選択します。
5. 構成を選択し、[編集] を選択します。
6. 形状ライブラリフォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「モデル構成フォーム」を参照してください。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

すべてのエンティティを表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のエンタープライズのモデリングと可視化で利用可能なすべてのエンティティを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_apm_mdtl_com.mdtl_com_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行  を選択します。
4. **[Entity Configurations** (エンティティ構成)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティの追加または編集

エンタープライズのモデリングと可視化図に含まれているエンティティを追加するか、既存のエンティティの詳細を編集します。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行  を選択します。
4. **[Entity Configurations** (エンティティ構成)] を選択します。
5. エンティティを作成または更新します。
   - エンティティを作成するには、**[New** (新規)] を選択します。
   - 既存のエンティティを更新するには、エンティティを選択し、**[Edit** (編集)] を選択します。
6. 形状ライブラリフォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「エンティティ構成フォーム」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

エンティティの形状アイコンを追加または更新

図形アイコンを図形に追加するか、既存の図形アイコンを編集して エンタープライズのモデリングと可視化 図の作成に使用します。

始める前に
必要なロール：sn_apm_mdtl_com.mdtl_com_admin

図形アイコンが「db_image.list」に追加またはアップロードされていることを確認します。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行  を選択します。
4. **[Entity Configurations** (エンティティ構成)] を選択します。
5. 既存のエンティティを開きます。
   選択したエンティティの [エンティティ構成] ページが開きます。
6. [ダイアグラムアクション] フィールドの情報アイコンを選択します。
7. [スコープの切り替え] を選択します。
   レコードが編集モードで開きます。
8. [アイコン] フィールドにアイコンの名前を入力します。
   アイコンは db_image.list から取得され、 エンタープライズアーキテクチャワークスペースで更新されます。
9. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関係構成を表示

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のエンタープライズのモデリングと可視化で利用可能なすべての関係構成を表示します。

始める前に
必要なロール:sn_apm_mdtl_com.mdtl_com_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行  を選択します。
4. **[Relationships** (関係)] を選択します。

関係を追加または編集する

エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のエンタープライズのモデリングと可視化で利用可能な関係構成の詳細を追加または編集します。

始める前に
必要なロール：sn_apm_mdtl_com.mdtl_com_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [エンタープライズのモデリングと可視化] の横にある [行  を選択します。
4. **[Relationships** (関係)] を選択します。
5. 関係を作成または更新します。
   - 関係を作成するには、**[New** (新規)] を選択します。
   - 既存の関係を更新するには、関係を選択し、**[Edit** (編集)] を選択します。
6. [関係] フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「関係構成フォーム」を参照してください。

認定スケジュールの構成

認定スケジュールを設定して、ビジネスアプリケーションのインベントリを最新の状態に保つことができます。ビジネスアプリケーションに依存するインジケーターが存在するため、これらのビジネスアプリケーションデータを最新の状態に保つことで、ビジネスアプリケーションを正確に評価できるようになります。

すべての認定スケジュールを表示

すべての認定スケジュールのリストを表示し、 エンタープライズアーキテクチャワークスペースで管理します。

始める前に
必要なロール:certification

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [認定スケジュール] の横にある行の展開アイコン ( を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。

認定スケジュールの追加または編集

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで認定スケジュールを追加または編集します。

始める前に
必要なロール：certification_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [セットアップ] アイコン ( を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [認定スケジュール] の横にある行の展開アイコン ( を選択します。
4. **[All** (すべて)] を選択します。
5. 認定スケジュールを作成または更新します。
   - 認定スケジュールを作成するには、**[New** (新規)] を選択します。
   - 既存の認定スケジュールを更新するには、認定スケジュールを選択し、**[Edit** (編集)]を選択します。
6. 認定スケジュールフォームで、フィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「の認定スケジュールフォーム エンタープライズアーキテクチャワークスペース」を参照してください。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

でアプリケーションの総所有コスト **(TCO)** を構成する エンタープライズアーキテクチャワークスペース

アプリケーションの TCO ソースと原価費目を設定できます。

アプリケーション **TCO** ソース

アプリケーション TCO ソースは、会計期間におけるビジネスアプリケーションに関連するコストを分類および分析するのに役立ち、アプリケーションポートフォリオを最適化できます。

アプリケーション **TCO** 原価費目

アプリケーション TCO 原価費目は、ビジネスアプリケーションコストの分類を参照します。コストには主に次の 2 種類があります。

- 資本的支出 (投資):ビジネスアプリケーションのオンボーディング、アップグレード、またはメンテナンスのために発生する支出。
- 運用支出 (経費):ビジネスアプリケーションを日常的に使用するために発生する支出。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション TCO 原価費目は、ビジネスアプリケーションに関連する資本支出および運用支出を評価および管理するのに役立ちます。

関連情報

- アプリケーションの総所有コスト (TCO) の管理
- アプリケーションの総所有コスト (TCO) プラグインをインストールする
- 総所有コスト (TCO) レコードの追加または編集

Application TCO (アプリケーション TCO) のソースを作成する

アプリケーションの総所有コスト (TCO) のソースを作成します。エンタープライズアーキテクチャワークスペースに取り込まれるコストのソースを指定します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace** > セットアップ.
2. **[TCO** (総所有コスト **(TCO))]** を選択します。
3. **[Sources** (ソース)] を選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. ソースの名前を入力します。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。

TCO ソース原価費目の作成

TCO ソースのソース原価費目を作成します。エンタープライズアーキテクチャワークスペース に取り込まれるコストのタイプを指定します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
TCO のソースが作成された後、関連リストからソース原価費目を作成できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace** > セットアップ.
2. **[TCO** (総所有コスト **(TCO))]** を選択します。
3. **[Sources** (ソース)] を選択します。
4. ソースを選択して開きます。
5. **[TCO Source Cost Types (TCO** ソース原価費目)] タブを選択します。
6. **[New** (新規)] を選択します。
7. ソース原価費目の名前とドメインを入力します。
   [ソース] フィールドにはソース名が自動的に入力されます。
8. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのアプリケーション **TCO** の原価費目の作成 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

アプリケーション TCO の原価費目を投資コスト (Capex) または運用コスト (Opex) として作成します。エンタープライズアーキテクチャワークスペース に取り込まれるコストのタイプを指定します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace** > セットアップ.
2. **[TCO** (総所有コスト **(TCO))]** を選択します。
3. [**Cost types** (原価費目)] を選択します。
4. [**New** (新規)] を選択します。
5. 名前を入力し、原価費目 (Capex または Opex) を選択します。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。

TCO ダッシュボードの会計期間プロパティの期間を設定する

システムプロパティ (*com.glide.fiscal_calendar.fiscal.unit*) を設定して、エンタープライズアーキテクチャワークスペースの [ダッシュボード] ページで会計期間の特定の期間の TCO ダッシュボードを表示します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. *com.glide.fiscal_calendar.fiscal.unit*プロパティを検索して開きます。
3. 要件に応じて **[Value** (値)] フィールドを更新します。
   値を [四半期]、[月]、または [週] に更新できます。
4. [更新] を選択します。

   [ポートフォリオ TCO ダッシュボード] ページには、会計期間の指定された期間に応じたデータが表示されます。詳細については、「エンタープライズアーキテクチャワークスペース ダッシュボードの操作」を参照してください。

TPM ログの表示

TPM 検出済みテクノロジーの実行ログ [sn_apm_tpm_discovered_technology_run_log] テーブルを調べて、 テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) 分析の進捗状況を追跡します。分析が実行されるたびに、このテーブルにエントリが追加されます。

始める前に
必要なロール：sn_apm.apm_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズアーキテクチャワークスペース.
2. [セットアップ] アイコン [ を選択して、[セットアップ] ページを開きます。
3. [ログ] の横にある行の展開アイコン (行 ) を選択します。
4. **[TPM** ログ] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

での テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) の管理 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

TPM 検出済みテクノロジーとライフサイクルのスケジュール済みジョブの再開

エンタープライズアーキテクチャワークスペースの参照

フィールドの説明、ユーザーロール、テーブル、ガイドライン、ドメインセパレーション情報など、エンタープライズアーキテクチャワークスペース に関する追加の詳細を提供する参照トピック。

ビジネスアプリケーションのダイアグラムフォームの作成

[図を作成] フォームフィールド

フィールド	説明
作図ツール	図の作成に使用するツール。このフィールドは自動的に **[Lucidchart]** に設定されます。
図の名前	図の名前。 **注:** このフィールドは、[作図ツール] フィールドで Lucidchart を選択した場合にのみ表示されます。
アーティファクトへのリンク	図を関連付けるアーティファクト。 次のオプションを使用します。 • なし：図を表示するが、アーティファクトに関連付けない場合に選択します。 • 新しいアーティファクト：アーティファクトを作成し、図を関連付ける場合に選択します。 • 既存のアーティファクト：既存のアーティファクトに図を関連付ける場合に選択します。
アーティファクト名	アーティファクトの名前。このフィールドは、[アーティファクト] フィールドで [新しいアーティファクト] または [既存のアーティファクト] が選択されている場合にのみ表示されます。
図のタイプ	図のタイプ。次のいずれかになります。 • ビジネスアプリケーション階層 • ビジネス機能マップ このフィールドは、ビジネスアプリケーションまたはビジネス機能ビューから図を作成すると自動入力されます。
ビジネスアプリケーション	図を作成しているビジネスアプリケーションの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、ビジネスアプリケーションビューから図を作成すると自動入力されます。
エンティティ	チャートに含まれるエンティティ。 図に含めるものを選択します。 • アプリケーションサービス:サーバー (ハードウェアモデルまたはソフトウェア製品) • ビジネス機能 • デマンド • デジタル統合 • デジタルインターフェイス • 情報オブジェクト • プロジェクト 注: [プロジェクト] オプションは、PPM Standard プラグインがインストールされている場合に使用できます。
フォルダ	Lucid フォルダーの名前。図を保存するフォルダーを選択します。フォルダーを選択すると、そのサブフォルダーが表示されます。

関連情報

EA ワークスペースでのビジネスアプリケーションの 図の作成

ビジネス機能の図を作成

エンタープライズアーキテクトは、ビジネスケイパビリティマップの Lucidchart を使用して図を作成し、それをアーキテクチャアーティファクトに関連付けることができます。

[図を作成] フォームフィールド

フィールド	説明
図の名前	図の名前。
図のタイプ	図のタイプ。次のいずれかになります。 • ビジネスアプリケーション階層 • ビジネス機能マップ このフィールドは、ビジネスアプリケーションまたはビジネス機能ビューから図を作成すると自動入力されます。
ビジネスアプリケーションを含みます	ビジネスアプリケーションを含めるオプション。
すべてのビジネス機能	図にすべてのビジネス機能マップに含めるオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ビジネス機能	図を作成するビジネス機能のリスト。複数の機能を検索して追加できます。 注: 前の手順で [すべてのビジネス機能] のチェックボックスをオンにした場合、このフィールドは表示されません。
作図ツール	図の作成に使用するツール。このフィールドは自動的に **[Lucidchart]** に設定されます。
アーティファクトへのリンク	図を関連付けるアーティファクト。 次のオプションを使用します。 • なし：図を表示するが、アーティファクトに関連付けない場合に選択します。 • 新しいアーティファクト：アーティファクトを作成し、図を関連付ける場合に選択します。 • 既存のアーティファクト：既存のアーティファクトに図を関連付ける場合に選択します。
アーティファクト名	アーティファクトの名前。このフィールドは、[アーティファクト] フィールドで [新しいアーティファクト] または [既存のアーティファクト] が選択されている場合にのみ表示されます。
フォルダ	Lucid フォルダーの名前。図を保存するフォルダーを選択します。フォルダーを選択すると、そのサブフォルダーが表示されます。

関連情報

EA ワークスペースでビジネスケイパビリティの Lucidchart 図を作成する

[Create New TRM Product Request (新しい **TRM** 製品要求を作成)] フォーム

新しいソフトウェア製品を TRM ライブラリに含める新しい要求を作成します。承認者には承認のための電子メール通知が送信されます。承認者は、エンタープライズアーキテクトグループに属しています。

TRM 製品 要求 フォームフィールド

フィールド	説明
数値	製品要求に対して自動生成された一意な識別番号。
Publisher (公開者)	ソフトウェア製品の公開者。[Companies (会社)] ページから公開者を検索して選択します。
新製品である	新製品かどうかを指定するオプション。
要求された TRM フェーズ	製品のフェーズ。次の選択リストを使用します。 排除済み:投資:管理

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	• 承認済み • 制約付きで承認 • 売却 • 評価 • 未承認
カテゴリ	製品のカテゴリ。[TRM カテゴリ] ページでカテゴリを検索して選択します。
ソフトウェア製品	ソフトウェアの名前。
Short Description (簡単な説明)	製品要求に関する説明。
ビジネスの根拠	製品要求のビジネス上の根拠。

関連情報

TRM製品の要求

新しい **TRM** 製品の作成フォーム

エンタープライズアーキテクトは、新しいソフトウェア製品を TRM ライブラリに追加できます。承認要求を送信せずにレコードを直接作成します。

TRM 製品フォームのフィールド

フィールド	説明
パブリッシャー	ソフトウェア製品の公開者。[Companies (会社)] ページから公開者を検索して選択します。
カテゴリ	製品のカテゴリ。[TRM カテゴリ] ページでカテゴリを検索して選択します。
[Name (名前)]	TRM 製品の名前。
TRM フェーズ	製品のフェーズ。次の選択リストを使用します。 • 承認済み • 制約付きで承認 • 売却 • 評価 • 未承認
投資の方向	投資の目的。次の選択リストを使用します。 • Divest (売却) • 排除済み • 投資 • 保守
ビジネスの根拠	製品要求のビジネス上の根拠。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

TRM 製品の追加または編集

への TRM 製品の追加 エンタープライズアーキテクチャワークスペース

新しい **TRM** 製品ライフサイクル要求フォームの作成

TRM 製品に新しいライフサイクルを追加します。承認要求を送信せずにレコードを直接作成します。

TRM 製品ライフサイクルフォームのフィールド

フィールド	説明
TRM 製品	TRM 製品の名前。[TRM 製品] ページで製品を検索して選択します。
バージョン	TRMソフトウェア製品のバージョン。このフィールドは、**TRM** 製品フィールドでソフトウェアタイプのTRM製品が選択されている場合にのみ表示されます。 ワイルドカードを使用して TRM ソフトウェア製品ライフサイクルを作成するには、バージョンを「*」で終了します。
エディション	TRMソフトウェア製品のエディション。このフィールドは、[TRM 製品] フィールドでソフトウェアタイプの TRM 製品が選択されている場合にのみ表示されます。
TRM フェーズ	製品のフェーズ。TRM フェーズのページからフェーズを検索して選択します。
フェーズ開始日	製品ライフサイクルのフェーズ開始日。
Phase end date (フェーズ終了日)	製品ライフサイクルのフェーズ終了日。
説明	製品ライフサイクル要求に関する説明。

関連情報

TRM 製品ライフサイクルの追加

[製品ライフサイクル **TRM** 要求] フォーム

TRM 製品のライフサイクルを作成するための新しい要求を追加します。承認者には承認のための電子メール通知が送信されます。承認者は、エンタープライズアーキテクトグループに属しています。

[製品ライフサイクル **TRM** 要求] フォームのフィールド

フィールド	説明
Number (数値)	製品ライフサイクル要求に対して自動生成された一意な識別番号。
TRM 製品	TRM 製品の名前。[TRM 製品] ページで製品を検索して選択します。
バージョン	TRMソフトウェア製品のバージョン。このフィールドは、**TRM** 製品フィールドでソフトウェアタ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	イプのTRM製品が選択されている場合にのみ表示されます。 ワイルドカードを使用して TRM ソフトウェア製品ライフサイクルを作成するには、バージョンを「*」で終了します。
エディション	TRMソフトウェア製品のエディション。このフィールドは、[TRM 製品] フィールドでソフトウェアタイプの TRM 製品が選択されている場合にのみ表示されます。
承認	TRM製品ライフサイクルの承認ステータス。
要求された TRM フェーズ	製品のフェーズ。[セットアップ] ページ ([フェーズ] > TRMエンタープライズアーキテクチャワークスペース >]) で定義されている TRM[フェーズ] からフェーズを検索して選択します。
フェーズ開始日	製品ライフサイクルのフェーズ開始日。
Phase end date (フェーズ終了日)	製品ライフサイクルのフェーズ終了日。
Business Application (ビジネスアプリケーション)	ビジネスアプリケーションの名前。ビジネスアプリケーションのページからビジネスアプリケーションを検索して選択し、TRM 製品ライフサイクルに関連付けます。
簡単な説明	製品ライフサイクル要求に関する説明。
Business Justification (ビジネス上の根拠)	製品ライフサイクル要求のビジネス上の根拠。承認者が要求をよりよく理解するのに役立ちます。

関連情報

TRM 製品ライフサイクルの追加

TRM 技術的負債フォーム

TRM フェーズおよび標準に準拠していない製品に対して作成された テクノロジー参照モデル (TRM) 技術的負債。

技術的負債フォームのフィールド

列名	説明
TRM 製品	TRM 製品の名前。バージョン固有のライフサイクルを持つソフトウェア製品。
ビジネスアプリケーション	TRM 製品に関連付けられたビジネスアプリケーションの名前。
サーバー	TRM 製品に関連するサーバーの名前。 **注:** このフィールドは、 テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) プラグインバージョン 1.7.1 以降で使用できます。
ソフトウェア製品モデル	TRM 製品に関連するソフトウェア製品モデルの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

技術的負債フォームのフィールド (続く)

列名	説明
ソフトウェア製品	TRM 製品に関連するソフトウェア製品の名前。
オペレーティングシステム	TRM 製品を展開できるオペレーティングシステム。このフィールドは、[タイプ] フィールドで [ソフトウェア] が選択されている場合に表示されます。
TRM フェーズ	TRM 製品のフェーズ。以下の TRM フェーズは、ベースシステムから利用可能です。 • 承認済み：テクノロジーの使用は承認されています。 • 制約付きで承認 (Approved with Constraints)：テクノロジーは、コメントで指定された制約の範囲内で使用できます。 • 売却：テクノロジーの使用権が売却されることが決定しています。 • 評価:このテクノロジーは評価中であり、本番環境には使用できません。 • 未承認:テクノロジーの使用は許可されていません。 注: これらのフェーズは、 **EA** ワークスペース > セットアップ > **TRM** フェーズ
TRM レベル	技術的負債が作成されるレベル (製品または製品ライフサイクル)。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。通常、ソフトウェア製品モデルの名前にはこのバージョンが含まれています。
理由	技術的負債が作成された理由を説明する理由。
前回の実行	技術的負債のあるテーブルを更新するためにカスタムスケジュール済みジョブ *Populate TRM technical debts in the EA Workspace* が実行されたときのタイムスタンプを表示します。

関連情報

TRM 技術的負債を表示する

TRM 技術的負債の管理

技術ポートフォリオ監査フォーム

技術ポートフォリオ監査テーブルを使用して、アプリケーションの監査情報を表示できます。

技術ポートフォリオ監査テーブル

列名	説明
タイプ	アプリケーションタイプ。選択肢は次のとおりです。 • Software (ソフトウェア) • Hardware (ハードウェア)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

技術ポートフォリオ監査テーブル (続く)

列名	説明
ソフトウェア製品	ソフトウェア製品の名前。
製品バージョン	製品のバージョン番号。
製品エディション	製品のエディション。たとえば、標準です。
製品の完全バージョン	製品の完全バージョン。
製品モデル	ソフトウェア製品に関連付けられているハードウェアモデル。
検証ステータス	製品の検証ステータス。選択肢は次のとおりです。 • 検証が必要 • 検証済み • 却下
コメント	顧客のコメント。
ライフサイクルフェーズ	製品のライフサイクルフェーズ。
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。
バージョン	ライフサイクルのバージョン。
エディション	ライフサイクルのエディション。
完全バージョン	ライフサイクルの完全バージョン。
一致メモ	顧客によるメモ。
テクノロジーライフサイクル	ソフトウェア製品またはハードウェアモデルの TPM テクノロジーライフサイクル情報。

関連情報

テクノロジーポートフォリオ監査の詳細の操作

新しいインジケーターフォーム

アプリケーションインジケーターは、コスト、品質、技術的リスク、投資、ユーザー満足度、ビジネス価値などの側面でアプリケーションを評価するビジネス測定基準です。

インジケーターフォームフィールド

フィールド	説明
名前	アプリケーションインジケーターの名前。
カテゴリ	
簡単な説明	アプリケーションインジケーターの簡単なサマリー。
方向	最大値または最小値を持つビジネスアプリケーション。値が小さいほど良好な場合は、[最小化]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	を選択します。値が大きいほど良好な場合は、[最大化] を選択します。
結果制限	
単位	数値、通貨、時間、期間 (分、時間、日、月、四半期)、またはレート。 要件に従って単位を作成することもできます。
自動リフレッシュ間隔	
順序	
頻度	頻度は、インジケーターソースのデータを収集する間隔を決定します。 [データソース] リストから **[Performance Analytics]** が選択されている場合、[頻度] フィールドは使用できません。
最大ターゲット	インジケーターの最大値。 [データソース] リストから [アセスメント] が選択されている場合、[最大ターゲット] フィールドは使用できません。
有効	[アクティブ] オプションを選択してインジケーターを有効にします。
CI クラス	スコアが生成される CI タイプ。
最小ターゲット	インジケーターの最小値。 [データソース] リストから [アセスメント] が選択されている場合、[最小ターゲット] フィールドは使用できません。
絶対値を考慮する	[最大ターゲット] および [最小ターゲット] フィールドの値を考慮するオプション。 このフィールドは、[最大ターゲット] および [最小ターゲット] フィールドに値が入力されている場合にのみ使用可能です。 チェックボックスをオフにすると、最大ターゲットと最小ターゲットの値は、インテリジェントロジックに基づいて考慮されます。

[データソース構成] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
Data source (データソース)	このインジケーターのデータ元の場所を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[データソース構成] セクションフォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
	• **Performance Analytics**：Performance Analytics で作成されたインジケーターからのスコアを収集します。「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。 • カスタムスクリプト：別のアプリケーションからデータを収集するスクリプトを記述できます。[データソース] フィールドの下に、サンプルスクリプトが表示されます。必要に応じてスクリプトをカスタマイズします。 • クエリー条件：フィルターの実行対象にするテーブルを選択して、データを取得できます。 • アセスメント：テーブル内のレコードにアセスメントを行って、レコードを評価、スコアリング、およびランク付けできます。「測定基準タイプの作成とアセスメント可能なレコードの生成」を参照してください。エンタープライズアーキテクチャ内でサーベイアセスメントの結果を表示するには、「サーベイアセスメントを生成して APM 内で結果を表示する」を参照してください。 • インジケーター：依存する子インジケーターを追加できます。子インジケーターを介して、親インジケーターにデータが収集されます。 たとえば、親インジケーターが課題の数である場合、依存インジケーターとしてはインシデントの数、不具合の数、および変更の数が考えられます。これらの依存インジケーターは子インジケーターであり、記録されたインシデント、不具合、および変更の数は、課題の数として親インジケーターに集約されます。
インジケーター	[データソース] リストから **[Performance Analytics]** が選択されている場合に、[インジケーター] フィールドが表示されます。 インジケーターは、現在の条件を測定し、傾向を予測するために使用される統計情報です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[データソース構成] セクションフォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
	注: アプリケーションインジケーターの収集頻度が、Performance Analytic インジケーターのデータ生成頻度以下になっていると、エラーメッセージが表示されます。インジケーターの頻度は、常にデータソース構成インジケーターの頻度以上になっている必要があります。詳細については、「PA インジケータースコアデータの収集」を参照してください。
デフォルトブレークダウン	Performance Analytics ブレークダウンの名前。
正規化スクリプト	
コンソリデーション	値を集計するための計算方法。合計、平均、最大、最小などの関数。 デフォルトは [平均] です。たとえば、[平均] は、月次値の合計を四半期の合計月数で割ったものです。 [最大] または [最小] を選択した場合は、それぞれ四半期の月の最大値または最小値になります。 [合計] を選択すると、その四半期のすべての月次値の集計になります。
アセスメント測定基準タイプ	インジケーターの評価に使用される測定基準のタイプ。 [データソース] が [アセスメント] の場合、[アセスメント測定基準タイプ] フィールドが表示されます。
アセスメント測定基準カテゴリ	測定基準のカテゴリ。

[クリックスルー] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
クリックスルー URL ナビゲーションタイプ	
クリックスルー URL スクリプト	

関連情報

アプリケーションインジケーターの追加または編集

新しいプロファイル インジケーターの作成フォーム

多くの採点プロファイル内でインジケーターを使用して、その採点プロファイルに固有のインジケーター スコアを生成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[新しいプロファイルインジケーターの作成(Create new profile indicator)] フォームのフィールド

フィールド	説明
プロファイル	アプリケーション採点プロファイルの名前。
CI スコア計算で使用	アプリケーションスコアの計算でアプリケーションインジケーターを使用するためのオプション。
プロファイル アプリケーションのスコアでの評価	スコアの評価において、選択した採点プロファイルに関係するビジネスアプリケーションを考慮するためのオプション。 チェックボックスをオフにすると、必然的に、企業内のすべてのビジネスアプリケーションまたはすべての採点プロファイルが評価されます。
インジケーター	アプリケーションインジケーターの名前。
ドメイン	インジケーターが属するドメイン。
重み付け	インジケーターの数値。インジケーターのアプリケーションスコアプロファイルで提供される重み付けは、アプリケーションの合計スコアに寄与します。 採点プロファイル内のすべてのインジケーターの重み付けの合計が 100 になる必要があります。

サブケイパビリティの作成フォーム

サブ機能を作成し、機能階層マップに追加します。

サブケイパビリティの作成フォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	サブ機能の名前。
説明	サブケイパビリティの簡単な説明。
親	作成しているサブ機能の親機能の名前。

関連情報

サブ機能の作成

[情報オブジェクトを作成] フォーム

情報オブジェクトは、ビジネスアプリケーションの論理データをキャプチャします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報オブジェクトフォームのフィールド

フィールド	説明
名前	情報オブジェクトの名前。
データ分類	データのカテゴリ。 情報オブジェクトに適用された分類タグを表示します。
オーナー	情報オブジェクトを所有するユーザー。
事業部門	情報オブジェクトを所有する事業部門。
部門	実際に情報を所有している事業部門内の部門。
説明	情報オブジェクトの簡単な説明。

関連情報

- 情報オブジェクトの管理
- 情報オブジェクトの追加または編集

[新しいビジネスケイパビリティを作成 **(Create new business capability)**] フォーム

ビジネス機能は、 エンタープライズアーキテクチャ アプリケーション内で使用される共通のテーブルです。

[新しいビジネスケイパビリティを作成 **(Create new business capability)**] フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	ビジネス機能の名前。
親	作成している機能の親機能の名前。
レベル	階層内にある機能のレベル。このフィールドは自動入力され、編集できません。
事業部門	組織構造内の事業部門の名前。
順番	機能階層内の他のすべてのビジネス機能の順序におけるその機能の位置。
部門	組織構造内の部門の名前。
オーナー	ビジネス機能を所有するユーザー。
リーフノード	機能に子機能がない場合に選択するオプション。
階層 ID	機能の階層 ID。このフィールドは、オーダーに基づいて自動入力されます。
説明	ビジネス機能の簡単な説明。

関連情報

- [ポートフォリオ] ページからのビジネスケイパビリティの追加または編集

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EA ワークスペースのデジタル統合フォーム (簡易フォーム)

デジタル統合は、2 つのビジネスアプリケーション間の統合を表します。

デジタル統合フォーム (簡易フォーム) フィールド

フィールド	説明
登録者ビジネスアプリケーション	提供されたインターフェイスを使用してデータを消費、交換、または取り込み、ビジネス機能をサポートするビジネスアプリケーションの名前。そのため、変更や機能停止、接続、データ損失の影響を受けます。 注: プロバイダーまたはサブスクライバーのビジネスアプリケーションであるため、データフローの方向 (受信、送信、双方向) は参照しません。これは、データフロー方向属性によって管理されます。
登録者デジタルインターフェイス	統合に登録するデジタルインターフェイスの名前。
プロバイダービジネスアプリケーション	デジタルインターフェイスを提供し、データの消費または取り込みを可能にするビジネスアプリケーションの名前。インターフェイスの変更、所有権、および責任は、多くの場合、プロバイダーに関連付けられています。 注: プロバイダーまたはサブスクライバーのビジネスアプリケーションであるため、データフローの方向 (受信、送信、双方向) は参照しません。これは、データフロー方向属性によって管理されます。
新しい プロバイダー デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスを作成するオプション。このフィールドは、プロバイダービジネスアプリケーションに関連するプレースホルダーデジタルインターフェイスです。
供給者 デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。2 つのビジネスアプリケーションまたはサービス間のデジタル統合ではデジタルインターフェイス (API) が使用されるため、プロバイダーのビジネスアプリケーションまたはサービスに関連するインターフェイスを選択する必要があります。
IT 所有者	デジタル統合を所有する IT 組織内のオーナー。親登録者ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
事業主	デジタル統合を所有するビジネス機能のオーナー。親登録者ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
デジタル統合名	デジタル統合の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、[登録者ビジネスアプリケーション]、[プロバイダービジネスアプリケーション]、および [デジタルインターフェイス **(Digital Interface)]** フィールドが選択されている場合に自動入力されます。自動入力された名前は変更できます。
タイプ	統合のタイプ。 次のオプションを使用します： • データ統合:統合がユーザー、グループ、場所、構成アイテム、部門などのデータの交換に主に焦点を当てる必要がある場合は、このオプションを使用します。 • プロセス統合:このオプションは、統合が特定のプロセスをサポートするためのトランザクションデータの インタラクションに関するものである場合に使用します。 • ユーザーインターフェイス統合:このオプションは、統合が別のアプリケーションとの接続を開き、URL を介してアプリデータを送信してアプリケーションにクエリを実行する場合に使用します。
サブタイプ	統合のサブタイプ。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [データ統合] を選択した場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します。 • プロセスの構成 • 基盤データ • 構成アイテム • Events • レポート • Syslog
トリガー	統合をトリガーする方法。 次のオプションを使用します。 • マニュアル • スケジュール済み • プロセス駆動型 • イベント
間隔	統合をトリガーする頻度。 間隔のオプションは次のとおりです。 • 秒 • 分

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 時間 • 日 • 週 • 月 • 四半期 • 年 • オンデマンド • リアルタイム。
説明	デジタル統合についての説明。2 つのビジネスアプリケーション間、または外部サービスが提供するインターフェイスとビジネスアプリケーション間で統合を作成する理由と、それが付加するビジネス価値を詳細に記述してください。

デジタル統合が作成されると、追加のフィールドが表示されます。追加フィールドの詳細については、「 のデジタル統合フォーム EA ワークスペース」を参照してください。

関連情報

EA ワークスペースでのデジタル統合の追加または編集

のデジタル統合フォーム **EA** ワークスペース

デジタル統合フォームを使用して、2 つのビジネスアプリケーション間、およびビジネスアプリケーションと外部会社間のデジタル統合を更新します。

デジタル統合フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	デジタル統合の一意でわかりやすい名前。
[Number (番号)]	デジタル統合の数。このフィールドは、DINTG プリフィックス付きで自動的に生成され、編集できません。
供給者 デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。2 つのビジネスアプリケーションまたはサービス間のデジタル統合ではデジタルインターフェイス (API) が使用されるため、プロバイダーのビジネスアプリケーションまたはサービスに関連するインターフェイスを選択する必要があります。このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。
プロバイダービジネスアプリケーション	デジタルインターフェイスを提供し、データの消費または取り込みを可能にするビジネスアプリケーションの名前。インターフェイスの変更、所有権、および責任は、多くの場合、プロバイダーに関連付けられています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: プロバイダーまたはサブスクライバーのビジネスアプリケーションであることは、データフローの方向 (受信、送信、双方向) を参照しません。データフロー方向は、データフロー方向属性によって管理されます。 このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。
登録者デジタルインターフェイス	統合に登録するデジタルインターフェイスの名前。
登録者ビジネスアプリケーション	提供されたインターフェイスを使用してデータを消費、交換、または取り込み、ビジネス機能をサポートするビジネスアプリケーションの名前。登録者ビジネスアプリケーションは、変更または機能停止の影響を受け、接続やデータ損失に直面します。 注: プロバイダーまたはサブスクライバーのビジネスアプリケーションであることは、データフローの方向 (受信、送信、双方向) を参照しません。データフロー方向は、データフロー方向属性によって管理されます。
利用会社	この統合に登録している (外部) 会社への参照。
タイプ	統合のタイプ。 次のオプションを使用します： • データ統合:統合がユーザー、グループ、場所、構成アイテム、部門などのデータの交換に主に焦点を当てる必要がある場合は、このオプションを使用します。 • プロセス統合:このオプションは、統合が特定のプロセスをサポートするためのトランザクションデータのインタラクションに関するものである場合に使用します。 • ユーザーインターフェイス統合:このオプションは、統合が別のアプリケーションとの接続を開き、URL を介してアプリデータを送信してアプリケーションにクエリを実行する場合に使用します。
サブタイプ	統合のサブタイプ。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [データ統合] を選択した場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタル統合フォーム (続く)

フィールド	説明
	• プロセスの構成 • 基盤データ • 構成アイテム • Events • レポート • システムログ
バージョン	統合のバージョン。変更の設計、計画、および管理のプラクティスを統合に適用できます。[説明] フィールドには、バージョンに応じてさまざまな変更と機能を説明できます。このフィールドは、アプリケーションオーナーとアーキテクトが、使用されている統合のバージョンを検索するのに役立ちます。これは、ライフサイクルを変更するかどうかを決定するのにも役立ちます。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	統合のライフサイクルステージ。 製品、資産、契約、CI、場所、およびその他のオブジェクトのライフサイクルを追跡するのに役立ちます。標準の CSDM ライフサイクル値を使用すると、オブジェクトの移行期間を経時的に追跡できます。したがって、レポートは、CI の実際のステータス (使用状況、可用性、サポート終了など) を正確に反映できます。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	統合のライフサイクルステージステータス。デジタル統合の状況移行により、ライフサイクルのさまざまなステージを進みます。ライフサイクル状況は、ライフサイクル中のデジタル統合のライフサイクルステージとライフサイクル状況の組み合わせです。
事業部門	統合が属する事業部門の名前。
説明	デジタル統合の説明。2 つのビジネスアプリケーション間、または外部サービスが提供するインターフェイスとビジネスアプリケーション間で統合を作成する理由と、それが付加するビジネス価値を詳細に記述してください。

機能セクションフィールド

フィールド	説明
データフロー方向	統合におけるデータフローの方向。 次のオプションを使用します：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能セクションフィールド (続く)

フィールド	説明
	• 送信:プロバイダーからサブスクライバーへ:プロバイダービジネスアプリケーションからサブスクライバービジネスアプリケーションへのデータフロー。 • 受信:登録者からプロバイダーへ:登録者ビジネスアプリケーションからプロバイダービジネスアプリケーションへのデータフロー。 • 双方向:双方向のデータフロー:プロバイダーとサブスクライバーのビジネスアプリケーション間でデータフローが双方向に流れます。
アプリケーションの開始	データフローを開始するアプリケーションの名前。プロバイダーまたはサブスクライバービジネスアプリケーションを指定できます。
トリガー	統合をトリガーする方法。 次のオプションを使用します。 • マニュアル • スケジュール済み • プロセス駆動型 • イベント
間隔	統合をトリガーする頻度。 間隔のオプションは次のとおりです。 • 秒 • 分 • 時間 • 日 • 週 • 月 • 四半期 • 年 • オンデマンド • リアルタイム。
応答	登録者が受信した応答のタイプ。 次のオプションを使用します。 • 同期 • 非同期
インタラクションタイプ	プロバイダービジネスアプリケーションと登録者ビジネスアプリケーション間のインタラクションのタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能セクションフィールド (続く)

フィールド	説明
	次のオプションを使用します。 • 保証されたメッセージ (Guaranteed Message) • Pub-Sub • プル • プッシュ
ミドルウェア	統合で使用されるミドルウェアの名前。

[ビジネスインパクト] セクションのフィールド

フィールド	説明
重要度	ビジネスへの影響度の重大度のレベル。次のオプションを使用します： • Low (低) • 中程度 • 高い • クリティカル
機密性	統合の機密性レベル。次のオプションを使用します： • Low (低) • 中程度 • 高い • クリティカル
完全性	統合の整合性レベル。次のオプションを使用します： • Low (低) • 中程度 • 高い • クリティカル
可用性	統合の可用性。次のオプションを使用します： • Low (低) • 中程度 • 高い • クリティカル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[オーナー] セクションフィールド

フィールド	説明
事業上の所有者	デジタル統合を所有するビジネス機能のオーナー。親登録者ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
IT 所有者	デジタル統合を所有する IT 組織内のオーナー。親登録者ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
サポート担当者	該当分野のエキスパート (SME) またはデジタルインターフェイスのサポートを提供する個人の名前。
サポートグループ	デジタルインターフェイスにサポートを提供するグループの名前。

[アクティビティ] セクションのフィールド

フィールド	説明
作業メモ	統合に関するコメント。

[デマンドの作成] フォーム

デマンドをステップとして使用して、ビジネスアプリケーションのコスト削減の機会を特定し、ターゲットを達成します。

[デマンドの作成] フォーム

フィールド	説明
アクション	新しいデマンドに対する対処措置。 **注:** [アクション] フィールドは、エンタープライズアーキテクチャ プラグインがアクティブになっているときに エンタープライズアーキテクチャ モジュール内でフォームを起動した場合にのみ使用できます。
[Name (名前)]	デマンドの名前。
期日	デマンドに要求される完了日。
[Number (番号)]	デマンドに対して自動生成された一意の識別番号。
開始日	デマンドの開始日。

[詳細] セクションのフォームフィールド

フィールド	説明
ビジネス機能	デマンドを関連付ける 1 つ以上のビジネス機能。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[詳細] セクションのフォームフィールド (続く)

フィールド	説明
ビジネスアプリケーション	デマンドに追加するビジネスアプリケーション。 [ビジネス機能] フィールドで選択した機能に関連しているかどうかに関係なく、企業内の任意のビジネスアプリケーションを選択できます。

関連情報

- バブルチャートを使用したデマンドの作成
- リストビューを使用したデマンドの作成

ビジネスアプリケーションフォーム

ビジネスアプリケーションフォームを使用して、ビジネスアプリケーションを追加し、そのコスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクを評価および追跡できます。

ビジネスアプリケーションフォーム

フィールド	説明
名前	ビジネスアプリケーションの名前。
[Number (番号)]	ビジネスアプリケーションレコードに対して、構成可能なプリフィックスが付いた、自動生成された一意の識別番号。
ビジネスプロセス	アプリケーションが使用されるビジネスプロセス。
アプリケーションタイプ	アプリケーションのタイプ。このフィールドは、アプリケーションがカスタムなのか商用なのかを示します。 • 自家製:アプリケーションは社内でビルドされています。 • エンドユーザーコンピューティング **(EUC)**:このアプリケーションは、エンドユーザーが日常のタスクを実行するために使用されます。 • 商用オフザシェルフ **(COTS)**:アプリケーションは、別の会社から購入した商用アプリケーションです。 • **SaaS**:アプリケーションは、サードパーティベンダーによって管理されるクラウドアプリケーションです。
パブリッシャー	アプリケーションのパブリッシャーの名前。
アーキテクチャタイプ	アプリケーションアーキテクチャのタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションフォーム (続く)

フィールド	説明
	• クライアントサーバー：サービスプロバイダーとサービス要求者の間でタスクを分割するアプリケーション構造。 • **N** 層：プレゼンテーション、処理、およびデータ管理が物理的に分離されたレイヤーとして存在するマルチレイヤーアーキテクチャ。 • **Web** ベース:ネットワーク接続を介してアクセスされるアプリケーション。 • その他：その他のタイプのアーキテクチャ。 • プラットフォームホスト：ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 • プラットフォームアプリケーション：プラットフォーム上で実行され、ホストに関連付けることができるアプリケーション。この場合、ビジネスアプリケーションは、開発ツール、実行サービス、データサービスなどの標準操作をプラットフォームに依存して実行します。
プラットフォームホスト	ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 このフィールドは、[アーキテクチャタイプ] フィールドで [プラットフォームアプリケーション] の値を選択する場合に必要です。
インストールタイプ	インストールのタイプ。次のオプションを使用します： • オンプレミス • クラウド • ハイブリッド • **Third Party Hosted** (サードパーティホスト)
プラットフォーム	プラットフォームによってホストされるアプリケーション。
事業部門	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている事業部門。
Department (部門)	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている部門。
インストール日時	アプリケーションがインストールされた日時。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションフォーム (続く)

フィールド	説明
ステータス	アプリケーションの運用ステータス。次のオプションを使用します： • 実装中 • 稼働中 • パイロット • 廃止 **(Retired)** • 評価中 このフィールドでは監査が有効になっています。したがって、このフィールドの値を更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。
ライフサイクルステージ	アプリケーションのライフサイクルステージ。このフィールドは、[ステータス] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。データは、ライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルからフェッチされます。
ライフサイクルステージステータス	アプリケーションのライフサイクルステージのステータス。このフィールドは、[ステータス] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。データは、ライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルからフェッチされます。
アプリケーション採点プロファイル	戦略のアプリケーションスコアを計算するために使用されるプロファイル。
アプリケーションカテゴリ	アプリケーションの目的と機能。この情報を使用して、アプリケーションを合理化または統合します。
アプリケーションファミリ	共通のプラットフォームまたはベンダーを持つ関連アプリケーションのセット。
テクノロジースタック	アプリケーションが構築されたテクノロジースタック。
ユーザーベース	アプリケーションを使用しているユーザーの数。 このフィールドでは監査が有効になっています。したがって、このフィールドのレコードを更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。
アクティブユーザー数	ユーザーベース全体のうちアクティブなユーザーの数。このフィールドでは監査が有効になっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーションフォーム (続く)

フィールド	説明
前回変更適用日	アプリケーションが最後に更新された日付。このフィールドでは監査が有効になっています。
アクセシビリティレベル	ビジネスアプリケーションのアクセシビリティレベル次のオプションを使用します： • **[A** (最低)] • **AA** (中程度) • **AAA** (最高)
インストール日時	ビジネスアプリケーションがインストールされた日付。
経過時間 (月)	ビジネスアプリケーションの経過時間 (月単位)。このフィールドは、[インストール日時] フィールドに日時を入力すると自動的に入力されます。
廃止	ビジネスアプリケーションが廃止される日付。
説明	アプリケーションの一意の説明です。
モデル ID	ビジネスアプリケーションの製品モデル ID。

[契約セクション] フォームのフィールド

フィールド	説明
ベンダー	アプリケーションのベンダーの詳細。
サポートベンダー	現在アプリケーションをサポートしているベンダー。
契約終了日	サブスクリプション契約またはサポート契約の有効期限。フィールドの監査が有効になっています。

[計画的処分] セクションのフォームフィールド

フィールド	説明
計画的処分	ビジネスアプリケーションの計画的な処分。次のオプションを使用します： • **Invest-Business** アプリケーションは追加投資の対象となります。特に、SPM を導入して、デマンド、プロジェクト、およびプログラムに関する意思決定を促進した場合に役立ちます。 • **Sustain-Business** Applicationは継続運用を予定していますが、運用を維持するためのレベルに過ぎません。現時点では、それを対象とした新しい成長計画はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[計画的処分] セクションのフォームフィールド (続く)

フィールド	説明
	• **Migrate-Business** アプリケーションは、戦略的またはその他の決定に基づいて、外部からの移行の対象となっています。ユーザーまたはステークホルダーは、同じまたは類似の機能を提供する新しいアプリケーションまたは別のアプリケーションに移行されます。廃止の前に付くこともありますが、オンプレミスからクラウドへ、またはその逆に移行するビジネスアプリケーションに使用されることもあります。 • 廃止:ビジネスアプリケーションは廃止予定です。ユーザーがすでにアプリケーションから移行しているか、ビジネス部門が提供する機能を売却しており、置き換えの予定はありません。
目標期日	予定されている処分のターゲット日。ターゲット日は、現在の日付または将来の日付である必要があります。
移行戦略	ビジネスアプリケーションの移行戦略。このフィールドは、[予定されている処分] フィールドで [移行] が選択されている場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します： • リホスト - 一般的なリフト&シフト – アプリケーションを新しいホストにそのまま移動します。 • 再プラットフォーム - ドロップエンドショップとも呼ばれ、一般的にクラウドへの移行に使用され、従来のライセンスを破棄してクラウドベースのライセンスを再購入します。 • 再購入 - リフト&シフトに似ていますが、クラウド、オンプレミス、またはハイブリッド機能の使用を最適化するために、アプリの小さな変更も伴います。 • リファクタリング - 移行プロセスの一環としてアプリケーションを再設計します。大幅な変更が予定されています。
ターゲットビジネスアプリケーション	計画的処分を追加するビジネスアプリケーションの名前。このフィールドは、[予定されている処分] フィールドで [移行] が選択されている場合にのみ表示されます。
論拠	計画的処分の決定の理由。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オーナーセクションフォームのフィールド

フィールド	説明
ポートフォリオマネージャー	ポートフォリオのオーナー。通常は IT 部門のメンバーです。このフィールドは、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) がアクティブ化されている場合に表示されます。
事業主	ビジネス側からのアプリケーションオーナー。アプリケーションごとに、ビジネスオーナーがアサインされている必要があります。
管理担当者	ビジネスアプリケーションを管理するユーザー。
管理担当者グループ	ビジネスアプリケーションを管理するユーザーグループ。
IT アプリケーションオーナー	IT 側からのアプリケーションオーナー。 ビジネスアプリケーションには、オーナーがアサインされている必要があります。
最終更新者	アプリケーションレコードを最後に更新した人。
サポート担当者	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザー。
サポートグループ	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザーグループ。

[コンプライアンスセクション] フォームのフィールド

フィールド	説明
事業上の重要度	ビジネスに対するアプリケーションの重要度を決定します。このフィールドでは監査が有効になっています。
緊急度	緊急時にアプリケーションに対して実行されるアクションまたは計画。
データ分類	アプリケーション内のデータのセキュリティレベル。この属性は、アプリケーションに適用可能な ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) ポリシーを決定します。次のオプションを使用します： • 機密 • 極秘 • 内部 • 公開

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コンプライアンスセクション] フォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
	フィールドの監査が有効になっています。
認定	要件を満たすアプリケーション、または組織のポリシーに準拠するアプリケーションのステータス。

[アクティビティ] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
作業メモ	自分が入力した作業メモ。

関連情報

ビジネスアプリケーションの詳細を編集する

アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォーム

アプリケーションモデルのライフサイクルは、ビジネスアプリケーションのライフサイクルをより適切に管理するのに役立ちます。

アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォーム

フィールド	説明
モデル	ビジネスアプリケーションのモデル ID。このフィールドは、[ビジネスアプリケーション] フォームの [モデル **ID**] フィールド値から自動入力されます。
ライフサイクルタイプ	ライフサイクルのタイプ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 内部 • 公開者
ライフサイクルフェーズ	ライフサイクルのフェーズ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 延長サポート終了 • **End of Life** (提供終了)
ソース	ライフサイクルのソース。このフィールドは、[ビジネスアプリケーション] フォームから自動生成されます。
説明	アプリケーションライフサイクルの簡単な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションモデルのライフサイクルの詳細フォーム (続く)

フィールド	説明
フェーズ開始日	ビジネスアプリケーションのライフサイクルフェーズの開始日。
フェーズ終了日	ビジネスアプリケーションのライフサイクルフェーズの終了日。
Risk	アプリケーションライフサイクルに関連するリスク。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 非常に高 • 高 • 中 • やや複雑 • なし
[Active (アクティブ)]	ライフサイクルをアクティブ化するオプション。

関連情報

バブルチャートを使用したビジネスアプリケーションライフサイクルデータの追加

リストビューを使用してビジネスアプリケーションのライフサイクルデータを追加する

ビジネスアプリケーションフォーム

エンタープライズアーキテクチャ は、システムアドミニストレーターがビジネスアプリケーションを追加して、そのコスト、使用状況、ビジネス価値、機能適合性、およびリスクを評価および追跡するのに役立ちます。

ビジネスアプリケーションフォームフィールド

フィールド	説明
名前	ビジネスアプリケーションの名前。
[Number (番号)]	ビジネスアプリケーションレコードに対して、構成可能なプリフィックスが付いた、自動生成された一意の識別番号。
ビジネスプロセス	アプリケーションが使用されるビジネスプロセス。
ポートフォリオ	アプリケーションが属するポートフォリオの名前。 このフィールドは、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをインストールすると表示されます。
アプリケーションタイプ	アプリケーションのタイプ。このフィールドは、アプリケーションがカスタムなのか商用なのかを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 自家製：社内で構築されたアプリケーションです。 • 商用オフザシェルフ **(COTS):**アプリケーションは、別の会社から購入した商用アプリケーションです。 • **SaaS**:アプリケーションは、サードパーティベンダーによって管理されるクラウドアプリケーションです。
パブリッシャー	アプリケーションのパブリッシャーの名前。
アーキテクチャタイプ	アプリケーションアーキテクチャのタイプ。 • クライアントサーバー：サービスプロバイダーとサービス要求者の間でタスクを分割するアプリケーション構造。 • **N** 層：プレゼンテーション、処理、およびデータ管理が物理的に分離されたレイヤーとして存在するマルチレイヤーアーキテクチャ。 • **Web** ベース：ネットワーク接続を介してアクセスされるアプリケーション。 • その他：その他のタイプのアーキテクチャ。 • プラットフォームホスト：ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 • プラットフォームアプリケーション:プラットフォーム上で実行され、ホストに関連付けることができるアプリケーション。 この場合、ビジネスアプリケーションは、開発ツール、実行サービス、データサービスなどの標準操作をプラットフォームに依存して実行します。
プラットフォームホスト	ビジネスアプリケーションをホストするハードウェアまたはソフトウェア。 [アーキテクチャタイプ] フィールドで [プラットフォームアプリケーション] 値を選択する場合、このフィールドは必須です。
インストールタイプ	インストールのタイプ。次のオプションを使用します： • On Premise (オンプレミス) • Cloud (クラウド) • Hybrid (ハイブリッド) • Third Party Hosted (サードパーティホスト)
プラットフォーム	プラットフォームによってホストされるアプリケーション。
事業部門	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている事業部門。
Department (部門)	選択したビジネスアプリケーションに関連付けられている部門。
インストール日時	アプリケーションがインストールされた日時。
ステータス	アプリケーションの運用ステータス。次のオプションを使用します： • Implementing (実装中) • In Production (本番環境)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• パイロット • 廃止 監査が有効になります。したがって、ユーザーがこのフィールドの値を更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。
ライフサイクルステージ	アプリケーションのライフサイクルステージ。このフィールドは、[ステータス] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。データは、ライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルからフェッチされます。
ライフサイクルステージのステータス	アプリケーションのライフサイクルステージのステータス。このフィールドは、[ステータス] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。データは、ライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルからフェッチされます。
アプリケーション採点プロファイル	戦略のアプリケーションスコアを計算するために使用されるプロファイル。
アプリケーションカテゴリ	アプリケーションの目的と機能。この情報を使用して、アプリケーションを合理化または統合します。
アプリケーションファミリ	共通のプラットフォームまたはベンダーを持つ関連アプリケーションのセット。
テクノロジースタック	アプリケーションが構築されたテクノロジースタック。
ユーザーベース	アプリケーションを使用しているユーザーの数。 監査が有効になります。したがって、ユーザーがこのフィールドのレコードを更新するたびに、[アクティビティ] タブの [アクティビティ] フィールドに更新が表示されます。
アクティブユーザー数	ユーザーベース全体のうちアクティブなユーザーの数。フィールドの監査が有効になっています。
前回変更適用日	アプリケーションが最後に更新された日付。フィールドの監査が有効になっています。
アクセシビリティレベル	ビジネスアプリケーションのアクセシビリティレベル次のオプションを使用します： • [A (最低)] • AA (中程度) • AAA (最高)
インストール日時	ビジネスアプリケーションがインストールされた日付。
経過時間 (月)	ビジネスアプリケーションの経過時間 (月単位)。このフィールドは、[インストール済み] フィールドに日時が入力されると自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
廃止	ビジネスアプリケーションが廃止される日付。
監視	ビジネスアプリケーションのステータスとパフォーマンスを追跡するには、チェックボックスをオンにします。
説明	アプリケーションの一意の説明です。
モデル ID	ビジネスアプリケーションの製品モデル ID。

[契約セクション] フォームのフィールド

フィールド	説明
ベンダー	アプリケーションのベンダーの詳細。
サポートベンダー	現在アプリケーションをサポートしているベンダー。
契約終了日	サブスクリプション契約またはサポート契約の有効期限。フィールドの監査が有効になっています。

[計画的処分] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
計画的処分	ビジネスアプリケーションの計画的な処分。次のオプションを使用します： • **Invest-Business** アプリケーションは追加投資の対象となります。特に、SPM を導入して、デマンド、プロジェクト、およびプログラムに関する意思決定を促進した場合に役立ちます。 • **Sustain-Business** Applicationは継続運用を予定していますが、運用を維持するためのレベルに過ぎません。現時点では、それを対象とした新しい成長計画はありません。 • **Migrate-Business** アプリケーションは、戦略的またはその他の決定に基づいて、外部からの移行の対象となっています。ユーザーまたはステークホルダーは、同じまたは類似の機能を提供する新しいアプリケーションまたは別のアプリケーションに移行されます。廃止の前に付くこともありますが、オンプレミスからクラウドへ、またはその逆に移行するビジネスアプリケーションに使用されることもあります。 • 廃止:ビジネスアプリケーションは廃止予定です。ユーザーがすでにアプリケーションから移行しているか、ビジネス部門が提供する機能を売却しており、置き換えの予定はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[計画的処分] セクションフォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
移行戦略	ビジネスアプリケーションの移行戦略。このフィールドは、[予定されている処分] フィールドで [移行] が選択されている場合にのみ表示されます。次のオプションを使用します： • リホスト - 一般的なリフト&シフト – アプリケーションを新しいホストにそのまま移動します。 • 再プラットフォーム化 - リフト&シフトに似ていますが、クラウド、オンプレミス、またはハイブリッド機能の使用を最適化するために、アプリの小さな変更も行います。 • 再購入 - ドロップアンドショップとも呼ばれます。通常、従来のライセンスを放棄し、クラウドベースのライセンスを再購入しながらクラウドに移行する場合に使用されます。 • リファクタリング - 移行プロセスの一環としてアプリを再設計します。大幅な変更が予定されています。
ターゲットビジネスアプリケーション	計画的処分を追加するビジネスアプリケーションの名前。このフィールドは、[予定されている処分] フィールドで [移行] が選択されている場合にのみ表示されます。
論拠	計画的処分の決定の理由。

オーナーセクションフォームのフィールド

フィールド	説明
ポートフォリオマネージャー	ポートフォリオのオーナー。通常は IT 部門のメンバーです。 このフィールドは、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) をインストールすると表示されます。
事業上の所有者	ビジネス側からのアプリケーションオーナー。アプリケーションごとに、ビジネスオーナーがアサインされている必要があります。
管理担当者	ビジネスアプリケーションを管理するユーザー。
管理担当者グループ	ビジネスアプリケーションを管理するユーザーグループ。
アプリケーションの IT オーナー	IT 側からのアプリケーションオーナー。 ビジネスアプリケーションには、オーナーがアサインされている必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オーナーセクションフォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
	IT アプリケーションオーナーとして指定されている場合は、自分がオーナーであるすべてのアプリケーションを [自分のアプリケーション] メニューで表示できます。
最終更新者	アプリケーションレコードを最後に更新した人。
サポート担当者	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザー。
サポートグループ	ビジネスアプリケーションをサポートしているユーザーグループ。

[コンプライアンスセクション] フォームのフィールド

フィールド	説明
事業上の重要度	ビジネスに対するアプリケーションの重要度。フィールドの監査が有効になっています。
緊急時の対応 (Emergency tier)	緊急時にアプリケーションに対して実行されるアクションまたは計画。
データ分類	アプリケーション内のデータのセキュリティレベル。この属性は、アプリケーションに適用可能な Governance, Risk, and Compliance (GRC) ポリシーを決定します。 フィールドの監査が有効になっています。
認定	要件を満たしている、または組織のポリシーに準拠しているアプリケーションのステータス。

[アクティビティ] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
作業メモ	自分が入力した作業メモ。

関連情報

ビジネスアプリケーションの追加または編集

デマンドフォーム

デマンドをステップとして使用して、ビジネスアプリケーションのコスト削減の機会を特定し、ターゲットを達成します。

デマンドフォーム

フィールド	説明
アクション	新しい需要の対処措置。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[Name (名前)]	デマンドの名前。
カテゴリ	デマンドのカテゴリ。次を使用します。 • 戦略的 • オペレーショナル
タイプ	デマンドのタイプ。次を使用します。 • プロジェクト • 変換なし
[Number (番号)]	デマンドに対して自動生成された一意の識別番号。
開始日	デマンドの開始日。
期日	デマンドに要求される完了日。

[詳細] セクションのフォームフィールド

フィールド	説明
ポートフォリオ	デマンドのビジネス上の焦点を示すポートフォリオ。
プログラム	デマンドが属するプログラムの名前。
デマンドマネージャー	デマンドマネージャーの名前。
協力者	デマンドに対する編集や貢献が可能なユーザー。デマンド要求者は、任意のユーザーを協力者として選択できます。
Department (部門)	デマンドの送信者が属する事業部門の部門。 注: 部門を選択しない場合、値はデフォルトで送信者が属する部門の名前になります。
事業部門	デマンドの送信者が属する事業部門。
影響を受ける事業部門	送信されたデマンドの影響を受ける事業部門。
ビジネス機能	デマンドを関連付ける 1 つ以上のビジネス機能。
ビジネスアプリケーション	デマンドを関連付ける 1 つ以上のビジネスアプリケーション。[ビジネスケイパビリティ] フィールドで選択した機能に関連しているかどうかに関係なく、企業内の任意のビジネスアプリケーションを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

ビジネスアプリケーションに関連付けられたデマンドの編集

プロジェクトフォームの編集

アプリケーションの統廃合を使用して、ビジネスアプリケーションに関連付けられた既存のプロジェクトの詳細を編集します。

プロジェクトフォームの編集

フィールド	説明
プロジェクト名	プロジェクトに割り当てられた名前。
[Number (番号)]	デマンドの一意の識別番号。
スケジュール	プロジェクトに関連付けられたスケジュール。
ポートフォリオ	プロジェクトが属するポートフォリオ。
プログラム	プロジェクトが関連付けられているプログラム。
計算	プロジェクトに関連付けられた計算方法のタイプ。次を使用します。 • 自動 **(Automatic)** • 手動
Planned duration (計画期間)	プロジェクトの予定期間 (日数および時間)。
ステータス	プロジェクトのステータス。次を使用します。 • **Pending** (処理待ち) • オープン • 対応中 • **Closed Complete** (完了してクローズ) • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
プロジェクトマネージャー	プロジェクトマネージャーの名前。
説明	プロジェクトの簡単な説明。
ビジネスアプリケーション	プロジェクトを関連付ける 1 つ以上のビジネスアプリケーション。[ビジネスケイパビリティ] フィールドで選択した機能に関連しているかどうかに関係なく、企業内の任意のビジネスアプリケーションを選択できます。
ビジネス機能	プロジェクトを関連付ける 1 つ以上のビジネス機能。

関連情報

ビジネスアプリケーションに関連付けられたプロジェクトを編集する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デジタルインターフェイスフォーム

デジタルインターフェイスはビジネスアプリケーションの一部として提供されますが、単独でも使用できます。インターフェイスは、他のビジネスアプリケーションがアプリケーションとやり取りする方法を提供します。

デジタルインターフェイスフォームフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	デジタルインターフェイスの一意でわかりやすい名前。
[Number (番号)]	デジタルインターフェイスの数。このフィールドは、DINTF プリフィックス付きで自動的に生成され、編集できません。
プロバイダービジネスアプリケーション	インターフェイスを提供、マネージャー、および所有するプロバイダービジネスアプリケーションの名前。 **注:** リポジトリにビジネスアプリケーションがない場合、この属性は空にすることができます。天気やファイナンシャルサービスなどのオープンインターフェイスを使用している場合は、インターフェイスを認識し、関連するビジネスアプリケーションなしで追跡するだけです。
プロバイダー会社	プロバイダー会社の名前。
インターフェイスタイプ	インターフェイスで使用される API のタイプ。このフィールドは、API がパブリックかオープンかを追跡するのに役立ちます。 **注:** パブリック API またはオープン API の場合、組織がオープンインターフェイスとして公開しない限り、プロバイダービジネスアプリケーションは存在しません。 次のオプションを使用します： • オープン API • パートナー API • 内部 API パブリック API またはオープン API は誰でも利用でき、制限やライセンス契約なしで使用できます。 内部 API またはプライベート API は、認定された (技術) ユーザーのみが利用でき、使用制限や規制なしで使用できます。 パートナー API は、API プロバイダーの認定パートナーが利用できます。通常、これらの API には使用に関する特別な契約条件があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
親	親インターフェイスの名前。 多くの場合、インターフェイスはバンドルされているか、コンポジションの一部です。デジタル統合でデジタルインターフェイスを参照できるため、親インターフェイスを使用します。親インターフェイスに関連するデジタルインターフェイスが、インターフェイスの関連リストに一覧表示されます。
バージョン	インターフェイスのバージョン。このフィールドは、どのデジタル統合がどのバージョンのインターフェイスを使用しているかを追跡するのに役立ちます。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	インターフェイスのライフサイクルステージ。次のオプションを使用します： • 観念化 • 設計 • 展開 • 運用 • サポート終了
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	インターフェイスのライフサイクルステージステータス。メインのライフサイクルステージにはそれぞれ、1 つ以上のライフサイクルステージステータスを設定できます。たとえば、運用ステージのデジタルインターフェイスは、時間の経過とともにステータスが使用中からメンテナンス中、および廃止待ちに変化する可能性があります。次のオプションを使用します： • 観念化:評価中、パイロット • デザイン:公認、デザイン、ビルド • 展開:テスト • 運用:使用中、メンテナンス中、廃止待ち • 提供終了:廃止、使用停止
モデル ID	インターフェイスのモデル ID。このフィールドは、インターフェイスモデルの追跡に役立ちます。 これは、API モデルまたはタイプの独自のバリアントを管理できるアプリケーションモデルテーブルへの参照です。たとえば、テーブル API、添付ファイル API、アグリゲート API、プロセス API などです。このオプションのフィールドは、インターフェイスモデルを追跡するために使用できます。ユースケースに応じて、新しいモデルとモデルカテゴリを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	デジタルインターフェイスの説明。インターフェイスの設計面の概要を説明します。 デジタルインターフェイスがどのように価値を付加するか、どのように設計するか、どのように使用するかなどの詳細を指定できます。 インターフェイスのバージョンに応じて、さまざまな変更と機能を説明することもできます。これは、アプリケーションオーナーとアーキテクトが使用するインターフェイスバージョンを決定するのに役立ちます。

オーナーセクションフォームのフィールド

フィールド	説明
事業主	デジタルインターフェイスを所有するビジネス機能の所有者。親ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
IT 所有者	デジタルインターフェイスを所有する IT 組織内のオーナー。親ビジネスアプリケーションを所有しているのと同じユーザーでもかまいません。
サポート担当者	対象分野の専門家 (SME) またはデジタルインターフェイスのサポートを提供する個人の名前。
Support Group (サポートグループ)	デジタルインターフェイスにサポートを提供するグループの名前。

機能セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
プロトコル	インターフェイスで使用されるプロトコルのタイプ。API プロトコルは、アプリケーションを規制する仕様です。これらのプロトコルは、アプリケーションプログラミングインターフェイスをソフトウェアと統合するために使用されます。選択肢には、REST、SOAP、LDAP などがあります。 **注:** このリストはすべてを網羅するものではなく、希望する値を追加することで拡張したり、指定された値を非表示にしたりできます。
メッセージ形式	インターフェイス内のメッセージの形式。選択肢には、JSON、XML、CSV などがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能セクションフォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
	注: このリストはすべてを網羅するものではなく、希望する値を追加することで拡張したり、指定された値を非表示にしたりできます。

認証セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
認証タイプ	インターフェイスの認証に使用される認証のタイプ。 次のオプションを使用します。 • 基本認証 • OpenID Connect • 証明書 • WS-Security を使用 • LDAP • なし • その他 システム提供の認証タイプを使用することも、独自の認証タイプを追加することもできます。
認証タイプ	インターフェイスの認可に使用される認可のタイプ。 次のオプションを使用します。 • OAuth 2.0 トークン • JWT Web トークン • SAML 2.0 トークン • その他 • 認証なし システム提供の認証タイプを使用することも、独自の認証タイプを追加することもできます。

[アクティビティ] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
作業メモ	インターフェイスに関するコメント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

EA ワークスペースでのデジタルインターフェイスの追加または編集

API フォームへのデジタルインターフェイス

デジタルインターフェイスとアプリケーションサービス API の関係により、アナリストはどのデジタルインターフェイスがどの API を使用しているかを確認できます。

API フォームフィールドへのデジタルインターフェイス

フィールド	説明
[Number (番号)]	デジタルインターフェイス API の番号。このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。番号は、接頭辞 DINTFAPI で始まります。例:DINTFAPI0001234。
デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。このフィールドには、編集しているインターフェイスの名前が自動的に入力されます。別のデジタルインターフェイスとの関係を作成する場合は、ルックアップアイコンを使用してデジタルインターフェイスを選択します。
API	CMDB API の名前。デジタルインターフェイスに関連付ける API を選択します。API の子クラス (cmdb_ci_api) を選択することもできます。例:マネージド API (cmdb_ci_managed_api)。
説明	デジタルインターフェイスと API の間の接続に関する説明。

関連情報

でデジタルインターフェイスを CMDB API に接続する EA ワークスペース

[ビジネスプロセスを作成] フォーム

アプリケーションサービスの実行に役立つアプリケーションをグループ化するビジネスプロセス。

[ビジネスプロセス] フォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	ビジネスプロセスの一意の名前。
親	親ビジネスプロセス **注:** 親プロセスが存在する場合は、ビジネスプロセスの階層が作成されます。
レビュー頻度	ビジネスプロセスをレビューする頻度。
説明	ビジネスプロセスの簡単な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

所有権セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
管理担当者グループ	このビジネスプロセスを維持するグループ。
承認グループ	ビジネスプロセスをレビューおよび承認するグループ。
オーナー	ビジネスプロセスを担当するユーザー。このユーザーは、 管理担当者グループのメンバーです。

[ビジネスインパクト] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
宣言された事業上の重要度	主観的アセスメントに基づくビジネスプロセスの重要性。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **1-** 最重要 • **2-** ある程度重要 • **3-** やや重要 • **4-** 重要ではない
機密性への影響度	機密性の損失のリスクのリスク評価。機密性の損失は機密情報の漏洩につながります。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 高 • 中 • 低
可用性への影響度	可用性の損失のリスクのリスク評価。システムが使用できない場合、意思決定の遅延、ビジネスの中断、収益の損失、および顧客の不満の原因になる可能性があります。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 高 • 中 • やや複雑
ビジネスを重大に決定	サブプロセスのアセスメントに基づいた、このビジネスプロセスの計算された重要度。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **1-** 最重要 • **2-** ある程度重要

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ビジネスインパクト] セクションフォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
	• **3-** やや重要 • **4-** 重要ではない
完全性への影響度	完全性への影響度のリスクのリスク評価。完全性への影響度は、ブランド、評判、および人に対する罰金や損害など、ビジネスと従業員に影響を与えます。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **1 -** 高 • **2 -** 中 • **3 -** 低

関連情報

ビジネスプロセスの管理

ビジネスプロセスの追加または編集

すべてのビジネスプロセスを表示

アプリケーションサービスフォーム

アプリケーションサービスは、組織にサービスを提供するように構成されている、相互接続された一連のアプリケーションとホストです。アプリケーションサービスは、社内メールシステムのような内部向け、または組織の Web サイトのような顧客向けにすることができます。

アプリケーションサービスフォームのフィールド

[キー属性] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
名前	アプリケーションサービスの名前。
場所	アプリケーションサービスの場所を設定します。
Short Description (簡単な説明)	アプリケーションサービスの一意の説明。
作成日時	このフィールドは編集不可能なフィールドです。
作成者	このフィールドは編集不可能なフィールドです。
更新日時	このフィールドは編集不可能なフィールドです。
更新者	このフィールドは編集不可能なフィールドです。
サポートグループ	アプリケーションサービスをサポートするユーザーグループの名前。
サポート担当者	アプリケーションサービスをサポートするユーザーの名前。
管理担当者	アプリケーションサービスを管理するユーザーの名前。
管理担当者グループ	アプリケーションサービスを管理するユーザーグループの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[キー属性] セクションフォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
環境	開発、本番、テストなどの環境の名前。
会社	会社の名前
メーカー	メーカーの名前。
モデル ID	サービスに関連付けられたモデル ID。
モデル番号	モデルの番号。
カテゴリ	このフィールドは「ビジネスサービス」として自動入力されます。
サブカテゴリ	このフィールドは「サービス」として自動入力されます。
Department (部門)	部門の名前。

[ディスカバリー属性] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
ディスカバリーソース	アプリケーションサービスのディスカバリーソース。
最初の検出	最初の検出日を選択します。
最新検出日	最新の検出日を選択します。
相関 ID	相関 ID を入力します。
同期をスキップ	同期をスキップすることを選択するオプション。これは読み込み専用フィールドです。

運用属性セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	アプリケーションサービスのライフサイクルステージを選択します。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	ライフサイクルステージのステータスを選択します。
外部審査者	証明したユーザーの名前。
外部審査日	証明書が完了した日付。
証明書ステータス	証明書ステータスを [証明済み] または [却下] として選択します。
インストールステータス	計画的処分の決定の理由。
Operational status (運用ステータス)	アプリケーションサービスの運用ステータスを選択します。
不具合発生回数	不具合発生回数の数。
メンテナンススケジュール	メンテナンススケジュールの名前。
スケジュール	メンテナンスのスケジュールを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

運用属性セクションフォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
検証を要求	検証を要求するために選択するオプション。これは読み込み専用フィールドです。

[その他の属性] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
完全修飾ドメイン名	アプリケーションサービスの完全修飾ドメイン名。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。
MAC アドレス	MAC アドレスを入力します。
シリアル番号	シリアル番号を入力します。
DNS ドメイン	DNS ドメインを入力します。
属性	属性名を入力します。
コメント	コメントを追加します。
監視	モニターを選択するオプション。
印刷可能	詳細を印刷するオプション。

関連情報

でアプリケーションサービスを追加または編集エンタープライズアーキテクチャワークスペース

新しい総所有コスト **(TCO)** フォーム

アプリケーション TCO は、エンタープライズアーキテクトがビジネスアプリケーションのコストを評価し、アプリケーションポートフォリオに優先順位を付けるのに役立ちます。

[総所有コスト **(TCO) (Total Cost of Ownership)**] フォーム

フィールド	説明
ビジネスアプリケーション	総所有コスト (TCO) を作成するビジネスアプリケーションの名前。
原価費目	TCO 計算で使用される原価費目。
コスト	通貨タイプを選択し、ビジネスアプリケーションのコストを入力します。
会計期間	会計期間を選択して、総所有コスト (TCO) を計算します。
請求日	請求の日付を選択します。
参照	参照の詳細を入力します。
ベンダー	ビジネスアプリケーションのベンダーを選択します。
ソース	TCO のソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソース原価費目	TCO のソースで定義されている原価費目を選択します。このフィールドは、[ソース] フィールドでソースが選択されている場合にのみ編集可能です。
簡単な説明	TCO の説明。

[新しい事業部門の作成 **(Create a new business unit)]** フォーム

組織機能を定義する事業部門を作成します。

[新しい事業部門の作成 **(Create new business units)]** フォームのフィールド

フィールド	説明
Name (名前)	事業部門の名前。
Company (会社)	この事業部門に関連付けられている会社 (存在する場合)。
事業部門長	事業部門の責任者。
説明	事業部門の説明。
Parent (親)	別の事業部門を指します。[親] フィールドは、事業部門を階層要素にします。

関連情報

事業部門の管理

事業部門の追加または編集

[部門の新規作成 **(Create new department)]** フォーム

組織機能を定義する事業部門を作成します。

[部門の新規作成 **(Create new department)]** フォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	部門の名前。
ID	部門の一意の識別番号
部門長	部門の責任者。
主要連絡先	部門に関連するもののプライマリ連絡先。
説明	部門の説明

関連情報

部門を管理

部門の追加または編集

新規ユーザーの作成フォーム

部門に追加するユーザーを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規ユーザーを作成] フォームのフィールド

フィールド	説明
User ID (ユーザー ID)	ユーザーの一意の識別番号。
名	ユーザーの名前 (名)。
姓	ユーザーの名前 (姓)。
Title (役職)	ユーザーの役職または職務記述書。
Department (部門)	ユーザーがアサインされている部門の名前。
Password (パスワード)	ユーザーにパスワードを割り当てます。このパスワードは、永続的または一時的なものにすることができます。
メール	ユーザーのメールアドレス。
言語	ユーザーのシステムを表示するときに使用される言語。
通知	このユーザーにメール通知を送信するかどうかを指定します。 • このユーザーにメール通知を送信する必要がある場合は、[アクティブ化] を選択します。 • メール通知をユーザーに送信する必要がない場合は、[無効] を選択します。
カレンダー同期	このユーザーがメールによる会議の通知をカレンダーで直接受け取るようにする場合は **[Outlook]** を選択します。それ以外の場合は、[なし] を選択します。
タイムゾーン	ユーザーが所在するタイムゾーン。
日付形式	日付の詳細の表示方法を選択するオプション。たとえば、mm/dd/yyyy です。
勤務先電話	ユーザーの勤務先電話番号。
携帯電話	ユーザーの電話番号 (個人)。
パスワードのリセット要請	最初のログイン時にユーザーにパスワードの変更を要求するには、このチェックボックスをオンにします。
ロックアウト	このチェックボックスをオンにすると、ユーザーはインスタンスからロックアウトされ、すべてのアクティブなセッションが終了します。
[Active (アクティブ)]	このユーザーをアクティブにするには、このチェックボックスをオンにします
Web サービスへのアクセスのみ	このユーザーを非インタラクティブユーザーとして指定するには、このチェックボックスをオンにします。
内部統合ユーザー	このユーザーをサービスアカウントとして指定するには、このチェックボックスをオンにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規ユーザーを作成] フォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
写真	必要に応じて、ユーザーの写真を添付します。

関連情報

部門を管理

部門にユーザーを追加する

[新しい目標を作成] フォーム

目標フォームを使用して、組織の戦略的優先事項の目標を作成します。

[新しい目標を作成 **(Create new goal)]** フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	目標の名前。
親目標	この目標が貢献する親目標の名前。
開始日	目標の開始日。デフォルトでは、現在の四半期の開始日が入力されます。
Owner (オーナー)	目標の所有者。デフォルトでは、目標を作成するユーザーの名前が入力されます。
ステータス	目標のステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 赤:ゴールにすぐに対応する必要があることを示します。 • 黄:ターゲットに改善が必要であることを示します。 • 緑:ターゲットが順調であることを示します。 • なし
親目標への影響	親目標の下にある兄弟目標やその他の目標と比較して、この目標の重要度を表す数値。デフォルトでは、 値は (1) [どちらでもない]です。 使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **(0)** 影響なし • **(1)** どちらでもない • **(2)** 中 • **(3)** 高 • **(4)** 非常に高 • **(5)** 最大

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しい目標を作成 **(Create new goal)]** フォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
	注: このフィールドは、*sn_gf.weighted_average_enabled* システムプロパティが [はい] に設定されている場合にのみ使用できます。
アサインされたエンティティタイプ	目標をアサインするエンティティタイプ。 たとえば、事業部門や部門などです。
ステータス	目標のステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **Draft** (ドラフト) • 処理中 • 承認済み • 完了 • 処理待ち • 達成 • 未達成
戦略的優先事項	この目標の作成対象の戦略的優先事項の名前。
終了日	目標の終了日。デフォルトでは、現在の四半期の終了日が入力されます。
カテゴリ	目標のカテゴリ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • アプリケーション合計 • 総コスト • 経費投資 • クラウドアプリケーション • 自家製アプリケーション • サポート費 人件費
貢献者	目標の達成に貢献するユーザー。
進捗状況	目標の完了率。目標にサブ目標やターゲットがある場合、進捗値は自動的に計算されます。
アサインされたエンティティ	目標をアサインするエンティティ。
コメント	コラボレーションを促進するための、目標に関する詳細なコメント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- 目標を管理
- 目標の追加または編集
- サブ目標を作成

新しいターゲットフォームの作成

[新しいターゲットを作成] フォームを使用して、目標の量的ターゲットまたは定性的ターゲットを作成します。

新しいターゲットフォームフィールドの作成

フィールド	説明
名前	ターゲットの名前。
ゴール	このターゲットが追跡する目標。
説明	ターゲットの説明。
ステータス	ターゲットのステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **Draft** (ドラフト) • 処理中 • 承認済み • 完了 • 処理待ち • 達成 • 未達成

進捗状況	完了したターゲットの割合。この値は自動的に計算されます。
	[タイプ] フィールドが [最大化] に設定されている場合、進捗状況の値は次の式を使用して計算されます。
	`進捗状況 = (実際の値 - 基準値) / (ターゲット値 - 基準値) x 100`
	[タイプ] フィールドが [最小化] に設定されている場合、進捗状況の値は次の式を使用して計算されます。
	`進捗状況 = (実際の値 - ターゲット値) / (基準値 - ターゲット値) x 100`

ステータス	ターゲットの進捗状況を示すステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいターゲットフォームフィールドの作成 (続く)

フィールド	説明
	• 緑:ターゲットが順調であることを示します。 • 黄:ターゲットに改善が必要であることを示します。 • 赤:ターゲットに即時の対応が必要であることを示します。
目標への影響	親目標に対するこのターゲットの重要度を表す数値。デフォルトでは、 値は **(1)** [どちらでもない] です。 使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **(0)** 影響なし • **(1)** どちらでもない • **(2)** 中 • **(3)** 高 • **(4)** 非常に高 • **(5)** 最大 注: このフィールドは *sn_gf.weighted_average_enabled* システムプロパティが [はい] に設定されている場合にのみ使用できます。
Owner (オーナー)	ターゲットの所有者。
貢献者	ターゲットの達成に貢献するユーザー。

[期間] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
開始日	ターゲットの開始日。デフォルトでは、現在の四半期の開始日が入力されます。
終了日	ターゲットの終了日。デフォルトでは、現在の四半期の終了日が入力されます。

[メトリクス] セクションフォームのフィールド

フィールド	説明
測定単位	指定された値の測定タイプ。使用可能な測定タイプは、単位 [sn_gf_units] テーブルに格納されています。
基準値	ターゲットの基準値。基準値は、現在または最近の値と見なすこともできます。
実際の値	特定の時点でのターゲットの実際値。このフィールドは、[タイプ] フィールドが [最大化]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[メトリクス] セクションフォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
	または [最小化] に設定されている場合にのみ使用できます。
タイプ	達成の方向を示すターゲットタイプ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 最大化:進行方向は、ベース値からターゲット値に向かっています。基準値はターゲット値未満になっている必要があります。 • 最小化:進行方向は、ベース値からターゲット値に向かっています。ターゲット値は基準値未満になっている必要があります。
ターゲット値	ターゲットのターゲット値。この値は、チームで達成する必要がある目標です。このフィールドは、[タイプ] フィールドが [最大化] または [最小化] に設定されている場合にのみ使用できます。
レビュー頻度	所有者または貢献者がターゲットの実際の値を更新する頻度を指定するオプション。 使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 日次 • 週次 • 隔週 • 月ごと • 四半期単位 • 年次
注釈	ターゲット更新時のビジネス上の根拠について入力した注釈。
レビュー日	ターゲットがレビューされる日付。

関連情報

- 目標を管理
- 目標への定量的ターゲットの追加
- 定性的ターゲットを目標に追加

新規デマンドの作成フォーム

アプリケーションまたはケイパビリティのデマンドを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規デマンドの作成 **(Create new demand)**] フォームのフィールド

フィールド	説明
[Assumptions (仮定)]	デマンドのために作成された仮定。仮定は、スコープとリスクの定義や、時間とコストの予測の微調整に役立ちます。
承認された終了日	承認されたデマンド完了日付。
承認された開始日	承認されたデマンド開始日付。
アクション	デマンドの対処措置。
バリア	デマンドの主要なバリア。
ビジネス機能	デマンドを関連付ける 1 つ以上の機能。
影響を受けるビジネスアプリケーション	デマンドの影響を受けるビジネスアプリケーション。
投資予算	すべての会計年度にわたってデマンドに割り当てられた資本予算の合計。 この値は、デマンドの資本的支出 (投資) 予算からロールアップされます。
カテゴリ	デマンドのカテゴリ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 戦略的 • オペレーショナル
事業部門	デマンドの送信者が属する事業部門。
投資コスト	デマンドの資本的支出 (投資)。
ビジネスケース	デマンドの裏付けとなるビジネス上の論拠。
協力者	デマンドに対する編集や貢献が可能なユーザー。デマンド要求者は、任意のユーザーを協力者として選択できます。
デマンドマネージャー	デマンドマネージャーの名前。
デマンド	デマンドの名前。
イネーブラー	デマンドの主要な実現要因。
デマンドの実績コスト	デマンドおよびデマンドタスクの作業中に発生した合計コスト。 **注:** このフィールドに値を入力するには、[デマンドの実績コストと実績工数の更新] スケジュールジョブを実行する必要があります。
デマンド実績工数	デマンドまたはデマンドタスクの作業中にリソースによって発生または費やされた時間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規デマンドの作成 **(Create new demand)**] フォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
	注: このフィールドに入力するには、*Update Demand Actual Cost and Actual Effort* スケジュールジョブを実行する必要があります。
収支	結果は、[総コスト] および [予定利益] フィールドの値に基づいて計算されます。
リスクレベル	デマンドに関連付けられたリスクのレベル。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 重大 • 高 • 中 • 低 • 計画立案
予定利益	デマンドが承認された場合の推定収益。 この値は、デマンドの利益ブレークダウンからロールアップされます。 また、値を手動で入力することもできます。通貨アイコンを選択して、値を入力します。
ROI %	デマンド投資収益率 (ROI) を他のデマンドと比較して評価します。
影響を受けた事業部門	デマンドの影響を受ける事業部門。
人件費	デマンドの対応に必要な人員に関連する経費。
スコープの範囲内	デマンドのスコープ。デマンドの範囲を定義する一連の境界です。
経費予算	すべての会計年度にわたってデマンドに割り当てられた運用予算の合計。 この値は、デマンドの運用支出 (経費) 予算からロールアップされます。
ID	デマンドに関連付けられたレコード。
不実行リスク	機会を失うリスクなど、デマンドが承認されない場合のリスク。
期日	デマンドに要求される完了日。
実行リスク	デマンドが承認されて実装された場合のリスク。
経費	デマンドの運用支出 (経費)。
その他のコスト	デマンドに関連するその他の雑費。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規デマンドの作成 **(Create new demand)**] フォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
スコープの範囲外	デマンドの範囲外のアクティビティまたは成果物。スコープに定義されていないものはすべてスコープの範囲外です。
コスト	デマンドに関連付けられている合計コスト。
スコア	デマンドスコアは、ベースシステム のリスク、値、 およびサイズの 属性に基づいて計算されます。 • [リスク] と [サイズ] が高い場合、デマンドのスコアは低くなっています。 • 値が高い場合、デマンドのスコアは高くなります。
Risk	デマンドアセスメントから計算されたリスク値。
戦略的配置	デマンドが組織の戦略的目標とどの程度緊密に整合しているかを評価するための値。
Value (値)	デマンドのビジネス価値。
タイプ	デマンドのタイプ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • プロジェクト • 変更 [カテゴリ] フィールドでの選択に基づいて、[タイプ] フィールドで利用可能な選択肢が決まります。
サイズ	デマンドのサイズ。
T シャツサイズ	デマンドをさまざまなサイズに分類して、デマンドの相対的な複雑さとその完了に必要な工数をすばやく理解できるようにします。 利用可能なサイズは次のとおりです。 • **S:**小 • **M:**中 • **L:**大 • **XL:**特大 • **XXL:**超特大
ステージ	デマンドの現在の進捗状況。
開始日	デマンドの開始日。
送信日時	デマンドが承認のために送信された日付。
合計計画コスト	結果は、[資本経費] および [運用経費] フィールドの値に基づいて計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規デマンドの作成 **(Create new demand)**] フォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
訪問時の状況	デマンドが通過したさまざまな状況。 たとえば、デマンドの状況が [オープン] と [クローズ済み] になったとします。このシナリオの訪問済み状態番号は 2 になります。
主要目標	デマンドの作成の背後にある主な目標
デジタル統合	デマンドに関連付けられたデジタル統合。

関連情報

- デマンドの管理
- デマンドの追加または編集

新しいバリューストリームの作成フォーム

新しいバリューストリームを作成して、プロセスのフローを最初から最後まで可視化します。

[新しいバリューストリームを作成 **(Create new value stream)**] フォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	バリューストリームの名前。
バリューストリームのカテゴリ	値ストリームが関連付けられているカテゴリ。

関連情報

- バリューストリームを管理
- バリューストリームの追加または編集

プロセスフォームへの新しいバリューストリームの作成

プロセスにバリューストリームを追加して、効率的なワークフローを作成します。

フォームフィールドを処理するための新しいバリューストリームを作成します

フィールド	説明
ビジネスプロセス	バリューストリームを関連付けるビジネスプロセス。
バリューストリーム	ビジネスプロセスに関連付けられるバリューストリーム。
順序	ビジネスプロセスを関連付けるバリューストリーム内のアクティビティの順序。
バリューストリームステージ	ビジネスプロセスに関連付けられるバリューストリームの特定のステージ。

関連情報

- バリューストリームを管理
- ビジネスプロセスへのバリューストリームの追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいアプリケーションモデルの作成 **(Create new application model)**] フォーム

アプリケーションポートフォリオをより適切に管理するために、アプリケーションモデルをバリューストリームに追加します。

[新しいアプリケーションモデルの作成 **(Create new application model)**] フォーム

フィールド	説明
説明	製品カタログに表示されるモデルの説明。
メーカー	モデルをビルドした会社。
モデルカテゴリ	モデルが割り当てられているカテゴリ。
[Name (名前)]	メーカーが割り当てたモデルの名前。
簡単な説明	モデルの簡単な説明。
コメント	モデルに関する有用な情報。

[アプリケーションモデル] セクションのフォームフィールド

フィールド	説明
メーカー	モデルをビルドした会社。
モデルカテゴリ	モデルが割り当てられているカテゴリ。
[Name (名前)]	メーカーが割り当てたモデルの名前。
簡単な説明	モデルの簡単な説明。
コメント	モデルに関する有用な情報。

関連情報

- バリューストリームを管理
- バリューストリームへのアプリケーションモデルの追加

新しいバリューストリームステージの作成フォーム

バリューストリームステージを追加して、バリューストリーム全体のそのステージに関連付けられている各アクティビティを識別してマッピングします。

新しいバリューストリームステージの作成フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	ステージの名前。
順序	このステージが全体的なバリューストリーム内に表示される順序。
説明	バリューストリームステージの簡単な説明。
バリューストリーム	バリューストリームステージが関連付けられているバリューストリームの名前。

関連情報

- バリューストリームステージの管理
- バリューストリームステージの追加または編集

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいロール権限の作成

ロール権限を作成して、アーキテクチャアーティファクトに関連付けます。

[新しいロール権限の作成 **(Create new role permissions)**] フォームのフィールド

フィールド	説明
ドキュメント	ロール権限に関連付けられたアーキテクチャアーティファクト。
権限	ユーザーロールにリンクされている権限のタイプ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 読者 • ライター • 所有者x
ユーザーロール	権限が付与されているユーザーロール。

関連情報

アーキテクチャアーティファクトの管理

アーキテクチャアーティファクトのロール権限の追加

新しいユーザー基準権限の作成

ユーザー基準の権限を作成して、アーキテクチャアーティファクトに関連付けます。

[新しいユーザー基準を作成 **(Create new user criteria)**] フォームのフィールド

フィールド	説明
ドキュメント	ユーザー基準権限に関連付けられたアーキテクチャアーティファクト。
権限	ユーザー基準権限にリンクされている権限のタイプ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 読者 • ライター • 所有者
ユーザー基準	権限が付与されているユーザーグループ。

関連情報

アーキテクチャアーティファクトの管理

アーキテクチャアーティファクトのユーザー基準権限の追加

[新しいユーザー権限の作成 **(Create new user permissions)**] フォーム

ユーザー権限を作成してアーキテクチャアーティファクトに関連付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいユーザー権限の作成 **(Create new user permissions)**] フォームのフィールド

フィールド	説明
ドキュメント	ユーザー権限に関連付けられたアーキテクチャアーティファクト。
ユーザー	権限が付与されているユーザー。
権限	ユーザーにリンクされた権限のタイプ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 読者 • ライター • 所有者

関連情報

アーキテクチャアーティファクトの管理

アーキテクチャアーティファクトのユーザー権限の追加

新しいグループ権限の作成

グループ権限を作成して、アーキテクチャアーティファクトに関連付けます。

[新しいグループ権限を作成 **(Create new group permissions)**] フォームのフィールド

フィールド	説明
ドキュメント	グループ権限に関連付けられたアーキテクチャアーティファクト。
権限	グループにリンクされた権限のタイプ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 読者 • ライター • 所有者
ユーザーグループ	権限が付与されているユーザーグループ。

関連情報

アーキテクチャアーティファクトの管理

アーキテクチャアーティファクトのグループ権限の追加

新しい アーキテクチャアーティファクトを作成 バージョン フォーム

アーキテクチャアーティファクトの新しいバージョンを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい アーキテクチャアーティファクトを作成 バージョン フォームフィールド

フィールド	説明
ドキュメント	バージョンが更新されているアーキテクチャ アーティファクト
バージョンステータス	アーティファクトバージョンのステータス。
ファイルタイプ	[file type] を選択します。 次のいずれかを実行します。 • ファイルをアップロードするには、[添付ファイル] を選択し、ページの [添付ファイル] セクションで [ファイルの選択] を選択します。 • ドキュメントにリンクするには、**[URL]** を選択してリンクを指定します。 • ダイアグラムをアーティファクトにリンクするには、[ダイアグラム] を選択します。 • アーキテクチャ決定レコードを関連付けるには、[アーキテクチャ決定レコード] を選択します。
メモ	アーキテクチャ アーティファクト バージョンの詳細を入力します。

関連情報

アーキテクチャアーティファクトのバージョンの管理

アーキテクチャ決定レコード (ADR) の管理

アーキテクチャ決定レコード (ADR) の追加または編集

新しいアプリケーションカテゴリの作成フォーム

アプリケーションカテゴリを作成して、アプリケーションを分類し、その使用に関する意思決定を合理化します。

[新しいアプリケーションカテゴリを作成 **(Create new application category)]** フォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	アプリケーションカテゴリの一意の名前。
カテゴリグループ	アプリケーションカテゴリが関連付けられているカテゴリグループ。
説明	アプリケーションカテゴリの説明。

関連情報

アプリケーションカテゴリの構成

アプリケーションカテゴリの追加または編集

新しいアプリケーションカテゴリグループの作成フォーム

アプリケーションカテゴリグループを作成するか、既存のカテゴリグループを編集してビジネス要件に合わせます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[新しいアプリケーションカテゴリを作成 **(Create new application category)**] フォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	アプリケーションカテゴリグループの一意の名前。
説明	アプリケーションカテゴリグループの説明。

関連情報

- アプリケーションカテゴリグループの構成
- アプリケーションカテゴリグループの追加または編集

[新しいアプリケーションファミリーを作成 **(Create new application family)**] フォーム

アプリケーションファミリーを作成して、ビジネス要件に合わせて調整します。

[新しいアプリケーションファミリーを作成 **(Create new application family)**] フォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	アプリケーションファミリーの一意の名前。
説明	家族の説明。
ドメイン	アプリケーションファミリーが関連付けられているドメイン。

関連情報

- アプリケーションファミリーの構成
- アプリケーションファミリの追加または編集

新しいインジケーターの作成フォーム

インジケーターフレームワーク内のアプリケーションまたは機能を評価するためのアプリケーションまたは機能インジケーターを作成します。

新しいインジケーターフォームフィールドの作成

フィールド	説明
[Name (名前)]	アプリケーションまたは機能インジケーターの名前。
簡単な説明	アプリケーションまたはプロファイルインジケーターの簡単なサマリー。
結果制限	関連するスクリプトの実行時にインジケーターが表示するレコードの最大数。これにより、処理するレコードが多すぎず、 エンタープライズアーキテクチャ のパフォーマンスが向上します。
カテゴリ	インジケーターが関連付けられているカテゴリ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいインジケーターフォームフィールドの作成 (続く)

フィールド	説明
方向	最大値または最小値が設定されたビジネスアプリケーションまたは機能。 • 値が小さいほど良い場合は 、[最小化] を選択します。 • 値が大きいほど良い場合は 、[最大化] を選択します。
単位	インジケーター スコアが表示される単位のタイプ。単位は、数値、パーセンテージ、通貨、時間数、または定義したその他のエンティティにすることができます。
自動リフレッシュ間隔	定義された時間範囲内でインジケータースコアを更新する更新間隔。
順序	アプリケーションまたは機能にアクセスする際の、他のすべてのインジケーターの順番でのインジケーターの位置。

[データソース構成] セクションのフィールド

フィールド	説明

Data source (データソース)	このインジケーターのデータ元の場所を定義します。
	• **Performance Analytics**：Performance Analytics で作成されたインジケーターからのスコアを収集します。「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。
	• カスタムスクリプト：別のアプリケーションからデータを収集するスクリプトを記述できます。[データソース] フィールドの下に、サンプルスクリプトが表示されます。必要に応じてスクリプトをカスタマイズします。カスタムスクリプトの例は次のとおりです。
	`var results = {};`
	`var applications = [];`
	`var incidentCount = 0;`
	
	`var applicationsGr = new GlideRecord("cmdb_ci_business_app");`
	`applicationsGr.addQuery('active', true);`
	`applicationsGr.query();`
	`//for each application get incident count at business service level`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[データソース構成] セクションのフィールド (続く)

フィールド	説明
	while(applicationsGr.next()) { incidentCount = 0; var gr = new GlideRecord("incident"); gr.addEncodedQuery("opened_atBETWEEN" + startDate + "@" + endDate); gr.addQuery('cmdb_ci_business_app', applicationsGr.getUniqueValue()); gr.query(); incidentCount = gr.getRowCount(); var appInfo = {}; appInfo.appId = applicationsGr.getUniqueValue(); appInfo.weight = incidentCount; applications.push(appInfo); } results.applications = applications; results; • クエリー条件：フィルターの実行対象にするテーブルを選択して、データを取得できます。 • アセスメント：テーブル内のレコードにアセスメントを行って、レコードを評価、スコアリング、およびランク付けできます。「測定基準タイプの作成とアセスメント可能なレコードの生成」を参照してください。APM 内でサーベイアセスメントの結果を表示するには、「サーベイアセスメントを生成し、APM 内で結果を表示する」を参照してください。 • インジケーター：依存する子インジケーターを追加できます。子インジケーターを介して、親インジケーターにデータが収集されます。 たとえば、親インジケーターが課題の数である場合、依存インジケーターとしてはインシデントの数、不具合の数、および変更の数が考えられます。これらの依存インジケーターは子インジケーターであり、記録されたイン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[データソース構成] セクションのフィールド (続く)

フィールド	説明
	シデント、不具合、および変更の数は、課題の数として親インジケーターに集約されます。
インジケーター	[データソース] リストから **[Performance Analytics]** が選択されている場合に、[インジケーター] フィールドが表示されます。 インジケーターは、現在の条件を測定し、傾向を予測するために使用される統計情報です。 注: アプリケーションインジケーターの収集頻度がパフォーマンスアナリティクスインジケーターのデータが生成される頻度よりも大きくない場合、次のエラーメッセージが表示されます。 インジケーターの頻度は常にデータソース構成インジケーターの頻度以上である必要があります。詳細については、「PA インジケータースコアデータの収集」を参照してください。
デフォルトブレークダウン	Performance Analytics ブレークダウンの名前。
正規化されたスクリプト	標準化されたメトリクスを使用してビジネスアプリケーションと機能を評価およびスコアリングするためのスクリプト。これには、評価している条件の正規化されたスコアを提供するインジケーターの使用が含まれます。これらのインジケーターは、アセスメント、クエリ条件、カスタムスクリプト、またはパフォーマンスアナリティクスに基づくことができます。

クリックスルーセクションのフィールド

フィールド	説明
クリックスルー URL ナビゲーションタイプ	アプリケーションまたはケイパビリティインジケーターの詳細を新しいウィンドウ、同じウィンドウ、またはダイアログボックスのいずれで表示するかを選択します。
クリックスルー URL スクリプト	ユーザーが URL を選択し、関連するアプリケーションまたはダッシュボードでインジケーターデータを表示できるようにする、インジケーターに関連付けられたスクリプト。これにより、インジケーターデータに関連する関連情報やアクションにすばやくアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- インジケーターの構成
- アプリケーションインジケーターの追加または編集
- ケイパビリティインジケーターの追加または編集

新しい採点プロファイルの作成フォーム

アプリケーションスコアプロファイルを作成し、要件に従って新しいプロファイルインジケーターでデフォルトのアプリケーションプロファイルを更新します。

[新しい採点プロファイルを作成 **(Create new scoring profile)]** フォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	採点プロファイルの名前。
説明	採点プロファイルの説明。
CI クラス	スコアが生成される構成アイテムタイプ。

関連情報

- 採点プロファイルの構成
- 採点プロファイルの追加または編集

の認定スケジュールフォーム エンタープライズアーキテクチャワークスペース

エンタープライズアーキテクチャ (以前の APM) admin ロールを持つシステムアドミニストレーターは、ビジネスアプリケーションデータを認定するためのデータ認定タスクを作成してシステムオーナーに割り当てることができます。

[認定スケジュール] フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	認定スケジュールの名前。
フィルター	テーブルデータのフィルターを選択します。
テーブル	認定されるデータを構成するテーブル。デフォルトは cmdb_ci_business_application テーブルです。 **注:** データ認定は、一度に 1 つのテーブルにのみ適用できます。別のテーブルにもデータ認定が必要な場合は、別のテーブルを作成します。
表示フィールド	ビジネスアプリケーションから表示するフィールドを選択します。 **注:** 表示フィールドを認定フィールドと同じにすることはできません。それらは相互に排他的です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
認定フィールド	個々のフィールド認定を必要とする、表示するフィールドを選択します。認定するフィールドを指定します。 [アプリケーション **URL]**、[ビジネス上の重要度]、[データ分類]、[契約終了日]、[アクティブ]、[アクティブユーザー数]、[ステータス]、[ユーザーベース]、および [前回変更適用日] は、データ認定用に事前設定されたフィールドの一部です。
割り当てタイプ	ターゲットテーブルからユーザー参照フィールドを選択します。 • ユーザーフィールド：[アサイン 先] フィールドで、ビジネスアプリケーションテーブルの特定のフィールドを選択してアサインします。 • 特定のユーザー：[ユーザー] フィールドで、特定のユーザーを選択してアサインします。 • グループフィールド：[アサイン先グループ] フィールドで、認定スケジュールをグループにアサインします。 • 特定のグループ：[グループ] フィールドで、認定スケジュールを選択してグループにアサインします。
アサイン先	ビジネスアプリケーションのデータの認定を担当するアプリケーションオーナー。
ユーザー	アサインされていないすべてのタスクをアサインするユーザーを選択します。
グループに割り当て	ビジネスアプリケーションテーブルから、グループを選択します。
グループ	リストからグループを選択します。
アサイン先無し	リストから値を選択します。 • タスクを作成しない：これらのレコードに対して認定タスクは作成されません。 • 未アサインタスクの作成 **(Create Unassigned Task)**：認定タスクは作成されますが、アサインされません。 • アサインされるタスクの作成 **(Create Assigned Task)**：認定タスクを作成し、特定のユーザーまたはグループにアサインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このフィールドは、[アサインタイプ] を [ユーザーフィールド] または [グループフィールド] として選択している場合にのみ使用可能です。
完了までの日数	認定を完了するまでに必要な日数を入力します。
有効	このジョブは、デフォルトでは非アクティブです。チェックボックスを選択すると、スケジュールされたジョブが実行されます。
実行	認定タスクの実行頻度：日次、週次、月次、定期的、1 回、オンデマンド。
最終実行日	デフォルトは、認定が実行された日の前日です。認定スケジュールが新規レコードの場合、このフィールドは編集できません。
タスク詳細	認定タスクの簡単な説明。
説明	アプリケーションオーナーに対するタスク関連の詳細な指示。

[認定インスタンス] セクションのフィールド

フィールド	説明
[Number (番号)]	認定インスタンスの番号。
認定スケジュール	認定が必要な情報と、認定の実行頻度を定義します。デフォルトは、選択した認定スケジュールです。
ステータス	認定のステータス：[対応中] または [完了]。
作成日時	認定インスタンスの作成日。
完了期日	認定タスクを完了する日付。[完了までの日数] が [作成日時] の日付に追加されます。
完了率 (%)	アプリケーションオーナーが認定するフィールドごとに、認定フィールドの総数に対するパーセントが計算されます。システム管理者は、データ認定タスクの進捗状況を追跡できます。
簡単な説明	認定インスタンスの簡単な説明。

[認定タスク] セクションのフィールド

フィールド	説明
[Number (番号)]	認定タスクにアサインされた番号。
担当者	タスクがアサインされ、データを認定する権限を持つアプリケーションオーナー。
アサイン先グループ	タスクは、グループのユーザーにアサインすることもできます。
エスカレーション	デフォルトは [通常] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- 認定スケジュールの追加または編集
- 認定スケジュールの構成

形状ライブラリフォーム

要件に応じて、図形ライブラリに新しい図形を追加できます。これらの図形を使用して、 エンタープライズのモデリングと可視化で図を作成します。

形状ライブラリフォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	形状ライブラリの名前を入力します。
アプリケーション	形状ライブラリが関連付けられているアプリケーションの名前。このフィールドは [グローバル] として自動入力され、編集できません。
[Active (アクティブ)]	チェックボックスをオンにすると、 エンタープライズアーキテクチャワークスペースに形状ライブラリが表示されます。
ドメイン	ドメインの名前。ルックアップアイコンを使用してドメイン名を選択します。

モデル構成フォーム

モデル構成フォームは、 エンタープライズのモデリングと可視化の UI オプションを構成するのに役立ちます。

モデル構成フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	構成の名前。
[Active (アクティブ)]	構成を有効にする場合に選択します。
説明	構成の説明を入力します。
ロール	構成へのアクセスを提供するロールを選択します。
ユーザー	構成へのアクセスを提供する個々のユーザーを選択します。
グループ	構成へのアクセスを提供するグループを選択します。

エンティティ構成フォーム

エンティティ構成フォームは、 エンタープライズのモデリングと可視化で使用できるエンティティを構成するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドからのエンティティ構成

フィールド	説明
名前	エンティティの名前。
エンティティ	エンティティのテーブル名。
表示フィールド	エンタープライズのモデリングと可視化に表示するフィールドの名前。
ダイアグラムアクション	図のアクション名。
挿入が許可されました	図から新しいエンティティを作成できるようにする場合に選択します。
ビュー	エンティティのフォームビューの名前。これは、 エンタープライズのモデリングと可視化図でエンティティを開いたときにサイドパネルで開くビューです。たとえば、ビジネスアプリケーションで使用できるビューは、デフォルトビュー、ビジネスアプリケーションビュー、ビジネスアプリケーションビュー、ビジネスアプリケーション読み取り専用ビューです。 **注:** このフィールドが空の場合、デフォルトビューがエンティティに適用されます。

関係構成フォーム

エンティティ構成フォームは、 エンタープライズのモデリングと可視化で使用できるエンティティを構成するのに役立ちます。

関係フォームのフィールド

フィールド	説明
リレーションシップタイプ	関係のタイプを選択します。選択リストには次のものが含まれます。 • 参照 • 多対多テーブル • API • CI 関係性
ベースのエンティティ	関係のベースエンティティを選択します。
ベース参照	ベース参照を定義します。
関連エンティティ	関連エンティティを選択します。
関連参照	関連する参照を定義します。
ベースエンティティ構成	関係のベースエンティティ構成を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ベースエンティティ条件] セクションのフィールド

フィールド	説明
条件を設定	リンクを使用し、フィールド、演算子、および値フィルターを使用してベースエンティティ条件を設定します。

[関連エンティティ条件] セクションのフィールド

フィールド	説明
条件を設定	リンクを使用し、フィールド、演算子、および値フィルターを使用して、関連エンティティ条件を設定します。
M2M テーブル	M2M テーブルタイプを選択します。

[M2M エンティティ条件] セクションのフィールド

フィールド	説明
条件を設定	リンクを使用し、フィールド、演算子、および値フィルターを使用して M2M エンティティ条件を設定します。

デジタルインターフェイスの **SDLC** コンポーネントフォーム

SDLC コンポーネントは、インターフェイスを実装するために使用されるアーティファクトまたは構成を表します。

デジタルインターフェイス **SDLC** コンポーネントフォームフィールド

フィールド	説明
[Number (番号)]	デジタルインターフェイス SDLC コンポーネントレコードの一意の識別子。このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。番号は接頭辞DINTFSDLCで始まります。例:DINTFSDLC0001005。
デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。このフィールドには、編集しているインターフェイスの名前が自動的に入力されます。別のデジタルインターフェイスとの関係を作成する場合は、ルックアップアイコンを使用してデジタルインターフェイスを選択します。
SDLC コンポーネント	デジタルインターフェイスのプロバイダービジネスアプリケーションに関連付けられた SDLC コンポーネントを選択します。
説明	デジタルインターフェイスと SDLC コンポーネント間の接続に関する説明。

関連情報

SDLC コンポーネントをデジタルインターフェイスに関連付ける

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デジタルインターフェイス情報オブジェクトフォーム

デジタルインターフェイスはビジネスアプリケーションに関連しており、ビジネスアプリケーションには関連する情報オブジェクトがあります。この関係を使用して、情報オブジェクトの論理データを取得できます。

デジタルインターフェイス情報オブジェクトフォームフィールド

注: [サポートされている CRUD 操作] セクションは、インターフェイスによって使用、消費、または公開される情報オブジェクトと対話する方法を定義するのに役立ちます。

フィールド	説明
情報オブジェクト	デジタルインターフェイスのプロバイダービジネスアプリケーションに関連付けられた情報オブジェクトを選択します。会社が提供するデジタルインタフェースの場合は、利用可能な任意の情報オブジェクトを選択できます。
デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。このフィールドには、編集しているインターフェイスの名前が自動的に入力されます。別のデジタルインターフェイスとの関係を作成する場合は、ルックアップアイコンを使用してデジタルインターフェイスを選択します。
アクティブ化開始日	情報オブジェクトがアクティブになる日付を選択します。
有効期間	情報オブジェクトを非アクティブにする日付を選択します。
[Number (番号)]	デジタルインターフェイス情報オブジェクトレコードの一意の識別子。このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。番号は、接頭辞 DINTFIO で始まります。例:DINTFIO01234。
説明	デジタルインターフェイスと情報オブジェクト間の接続に関する説明。

[サポートされている **CRUD** 操作] セクションのフィールド

フィールド	説明
オブジェクトを作成できますか？	[はい] または [いいえ] を選択します。
オブジェクトを更新できますか？	[はい] または [いいえ] を選択します。
オブジェクトを取得できますか？	[はい] または [いいえ] を選択します。
オブジェクトを削除できますか？	[はい] または [いいえ] を選択します。

関連情報

情報オブジェクトをデジタルインターフェイスに関連付ける

デジタルインターフェイス認証情報フォーム

簡単な説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

認証情報フォームのフィールド

注: [統合ユーザー] および [接続および資格情報エイリアス] フィールドは、参照されるデジタルインターフェイスの関連プロバイダービジネスアプリケーションで [プラットフォームホスト] フィールドが [ServiceNow] に設定されている場合に編集可能になります。[接続および資格情報エイリアス] フィールドを表示または設定するには、「credential_admin」または「connection_admin」ロールが必要です。

デジタルインターフェイス	デジタルインターフェイスの名前。このフィールドには、編集しているインターフェイスの名前が自動的に入力されます。別のデジタルインターフェイスとの関係を作成する場合は、ルックアップアイコンを使用してデジタルインターフェイスを選択します。
[Number (番号)]	デジタルインターフェイス認証情報レコードの一意の識別子。このフィールドは、自動的に生成され、編集できません。番号はプリフィックス CRED で始まります。例:CRED01001。
デジタル統合	デジタルインターフェイスがプロバイダーまたはサブスクライバーのデジタルインターフェイスとして使用されているデジタル統合を選択します。
ライフサイクルステージ	認証情報のライフサイクルステージを選択します。選択リストには次のものが含まれます。 • 設計 • 運用 • サポート終了
環境	選択リストから環境タイプを選択します。
ライフサイクルステージステータス	認証情報のライフサイクルステージステータスを選択します。選択リストは、[ライフサイクルステージ] フィールドの選択内容によって異なります。 • デザインデザイン • 運用中 - 使用中 • 提供終了:廃止
管理担当者グループ	認証情報を管理するグループの名前を選択します。
認証情報	認証情報の名前を入力します。
統合ユーザー	(オプション)統合ユーザーまたはサービスアカウントへの参照。
認証タイプ	選択リストから認証タイプを選択します。
接続および資格情報エイリアス	参照フィールドから接続および資格情報エイリアス ID を選択します。
認可タイプ	選択リストから認証タイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

認証情報ストア URL	認証情報が保存され、参照できる URL を入力します。
説明	デジタルインターフェイスと文書化された認証情報の間の接続に関する説明。
メモ	認証情報に関するメモを入力します。

関連情報

認証情報をデジタルインターフェイスに関連付ける

[ビジネスケイパビリティマップの作成 **(Create a business capability map)**] フォーム

ビジネスケイパビリティ階層マップのアーティファクトを作成すると、 エンタープライズのモデリングと可視化を使用してマップ内の機能階層を直接更新することができます。

[ビジネスケイパビリティマップの作成 **(Create a business capability map)**] フォームのフィールド

フィールド	説明
アーティファクトへのリンク	図を関連付けるアーティファクト。次のオプションを使用します： • 新規アーティファクト:アーティファクトを作成して図を関連付ける場合に選択します。 • 既存のアーティファクト:ダイアグラムを既存のアーティファクトに関連付ける場合に選択します。
アーティファクト名	アーティファクトの名前。[アーティファクトへのリンク] フィールドの選択に基づいて、新しいアーティファクトの名前を入力するか、既存のアーティファクト名を選択します。
アーキテクチャカテゴリ	アーティファクトのカテゴリの名前。
ビジネスアプリケーションを含みます	機能のビジネスアプリケーションを階層マップに含めるには、このチェックボックスをオンにします。
すべてのビジネス機能を含める	すべてのビジネス機能を階層マップに含めるには、このチェックボックスをオンにします。
ビジネス機能	階層マップを生成するビジネス機能の名前。リストからレベル 0 の機能を作成できます。 **注:** [すべてのビジネス機能を含める] フィールドのチェックボックスをオンにした場合、このフィールドは表示されません。

関連情報

ビジネスケイパビリティマップの図を作成する

[ビジネス階層マップの作成 (Create a Business hierarchy map)] フォーム

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ビジネス階層マップの作成 **(Create a Business hierarchy map)]** フォーム

ビジネスケイパビリティ階層マップのアーティファクトを作成すると、 エンタープライズのモデリングと可視化を使用してマップ内の機能階層を直接更新することができます。

[ビジネス階層マップの作成 **(Create a Business hierarchy map)]** フォームのフィールド

フィールド	説明
アーティファクトへのリンク	図を関連付けるアーティファクト。次のオプションを使用します： • 新規アーティファクト:アーティファクトを作成して図を関連付ける場合に選択します。 • 既存のアーティファクト:ダイアグラムを既存のアーティファクトに関連付ける場合に選択します。
アーティファクト名	アーティファクトの名前。[アーティファクトへのリンク] フィールドの選択に基づいて、新しいアーティファクトの名前を入力するか、既存のアーティファクト名を選択します。
アーキテクチャカテゴリ	アーティファクトのカテゴリの名前。
ビジネスアプリケーション	ビジネスアプリケーションの名前。ビジネスアプリケーションを選択して、その階層マップを作成します。

関連情報

ビジネス階層マップの図を作成する

[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 **(Create new architectural artifact)]** フォーム

アーキテクチャアーティファクトは、企業のシステム、ソリューション、進捗状況を説明します。エンタープライズアーキテクトは、 エンタープライズアーキテクチャワークスペース 内のアーキテクチャアーティファクトを使用して、組織で使用されるアーティファクトを作成および管理できます。

[新しいアーキテクチャアーティファクトを作成 **(Create new architectural artifact)]** フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	アーティファクトの名前。
Owner (所有者)	アーティファクトの所有者。所有者は作成者になります。
アーキテクチャカテゴリ	新しく作成されたアーティファクトのアーキテクチャカテゴリ。アーキテクチャカテゴリを検索して選択します。
説明	アーティファクト要求に関する説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクセス設定] セクションのフィールド

フィールド	説明
参照レコード別	エンタープライズアーキテクチャワークスペースユーザーが参照レコードによってアーティファクトにアクセスできるようにするためのオプション。アーティファクトがビジネスケイパビリティまたはビジネスアプリケーションに関連付けられている場合、それらのビジネスエンティティにアクセスできる エンタープライズアーキテクチャワークスペース ユーザーは、それらのビジネスエンティティに関連付けられたアーティファクトにもアクセスできます。
管理者アクセス	ドキュメント管理の管理者にアクセス権を付与するオプション。ドキュメント管理の管理者ロールを有するユーザーは、アーティファクトにアクセスすることができます。
Sharing permissions (権限の共有)	他のユーザーやグループとドキュメントを共有できるアクセス権を付与するオプション。付与できる権限は次の通りです。 • ロールの権限 • ユーザー基準の権限 • ユーザーの権限 • グループの権限

関連情報

アーキテクチャアーティファクトの TRM 製品への関連付け

新しい関連エンティティの作成フォーム

エンタープライズアーキテクチャワークスペース を使用すると、エンタープライズアーキテクトは、アーキテクチャアーティファクトを Now Platform の既存の要素 (ビジネス機能、ビジネスアプリケーション、デジタル統合、デジタルインターフェイス、TRM 製品など) に関連付けることができます。これらの関連付けにより、アーティファクトと関連エンティティ間の関係が作成されます。

関連エンティティフォームフィールド

関連エンティティフォーム

フィールド	説明
アーキテクチャアーティファクト	アーキテクチャアーティファクトの名前。
Entity (エンティティ)	ビジネスエンティティのタイプ。エンティティタイプは、ビジネスアプリケーション、ビジネス機能、デジタル統合、デジタルインターフェイス、または TRM 製品にすることができます。
ターゲットレコード	アーティファクトを関連付ける特定のビジネスアプリケーション、ビジネス機能、デジタル統合、デジタルインターフェイス、または TRM 製品の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

アーキテクチャアーティファクトに関連エンティティを追加する

ダイアグラムアクションの作成フォーム

ダイアグラムアクションフォームは、 エンタープライズのモデリングと可視化で使用できるカスタム形状のアクションを作成するのに役立ちます。

ダイアグラムアクションフォームのフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	ダイアグラムアクションの名前。
ダイアグラムビルダー構成	リストから [APM ダイアグラム構成] を選択します。
説明	構成の説明を入力します。
[Active (アクティブ)]	アクションを有効にするロールを選択します。
アプリケーション	このフィールドはグローバルに設定されます。これは編集不可能なフィールドです。
ノードタイプ	ノードタイプとして次のいずれかのオプションを選択します。 • イメージノードコンテナ • コネクタ付きイメージノードコンテナ
カテゴリ	ダイアグラムアクションのカテゴリを選択します。
サブカテゴリ	ダイアグラムアクションのサブカテゴリを選択します。
説明	ダイアグラムアクションの説明を入力します。
アイコン	ダイアグラムアクションを関連付けるアイコンの名前を入力します。

関連情報

カスタム図形のダイアグラム アクションを作成する

新しい画像フォーム

画像フォームは、 エンタープライズのモデリングと可視化で使用できるカスタム図形の画像ファイルをデータベースに作成するのに役立ちます。

ダイアグラムアクションフォームのフィールド

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	チェックボックスをオンにすると、Enterprise Modeling and Visualization で画像を参照できます。
カテゴリ	画像ファイルを整理するカテゴリを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
[Name (名前)]	イメージの名前を入力します。
イメージ	[クリックして追加...] を選択して、画像をアップロードします。 サポートされているファイルタイプ:.svg
アプリケーション	このフィールドはグローバルに設定されます。これは編集不可能なフィールドです。
フォーマット、サイズ (バイト)、高さ、および幅	現在の画像メタデータを表示します。この情報は、画像がアップロードされると自動的に入力されます。

関連情報

図形や画像をデータベースに保存する

形状ライブラリ要素フォーム

図形とその図のアクションを図形ライブラリに関連付けて、図形を エンタープライズのモデリングと可視化で使用できるようにします。

形状ライブラリ要素フォームのフィールド

フィールド	説明
ツールヒント	画像または図形に表示されるハウアーテキスト。
ダイアグラムアクション	作成したダイアグラムアクションを選択して、この形状要素に関連付けます。
Now アイコン	アイコンまたは画像の名前とその拡張子の詳細を入力します。
アプリケーション	形状ライブラリが関連付けられているアプリケーションの名前。このフィールドは [グローバル] として自動入力され、編集できません。
形状ライブラリ	この形状に関連付ける形状ライブラリを選択します。
ドメイン	ドメインの名前。ルックアップアイコンを使用してドメイン名を選択します。
[Name (名前)]	エンタープライズのモデリングと可視化に表示する形状の名前を入力します。
エンティティ構成	(オプション)この形状を既存のエンティティに関連付ける場合は、エンティティを選択します。この構成では、形状がデータベース内のエンティティテーブルに関連付けられます。

関連情報

カスタム形状の形状ライブラリ要素を追加する

図形や画像をデータベースに保存する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム図形のダイアグラム アクションを作成する

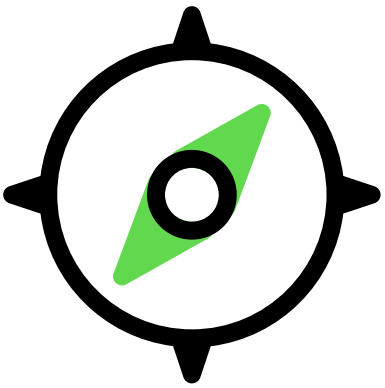
カスタム形状ライブラリを追加する

エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist

ServiceNow® エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist アプリケーションを使用してエンタープライズアーキテクチャワークスペースのアーキテクチャ決定レコード (ADR) を要約する アーキテクチャ決定レコード (ADR) を使用してインフラストラクチャを説明します。ADR は、特定のアーキテクチャ上の決定の背景を理解するのに役立つアーティファクトの一種です。

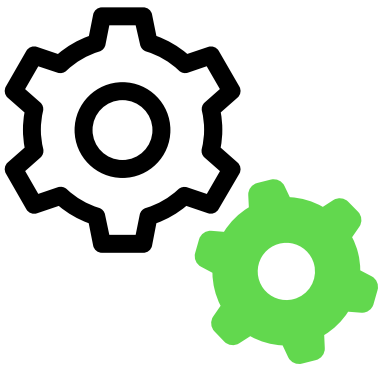
開始するには

探索



エンタープライズアーキテクチャ (EA) の Now Assist の詳細

構成



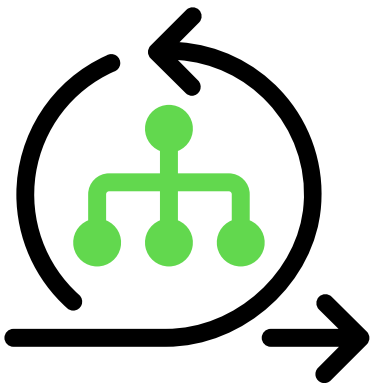
エンタープライズアーキテクチャ (EA) の Now Assist の詳細

AI エージェントを使用



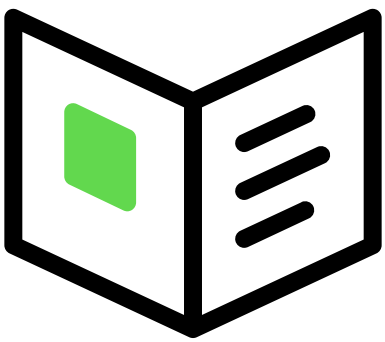
の生成 AI エージェントを使用する エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist

使用



エンタープライズアーキテクチャ (EA) の生成 AI 機能を使用する

参照



エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist のフォームとフィールドについて説明します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース 記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、一部の地域のお客様にのみご利用いただけます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

トラブルシューティングとサポート

- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定に従うことに同意するものとします。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータルから利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは インシデントデータ (インシデント支援およびナレッジ支援の場合) およびチャットのトランスクリプト (チャット支援の場合)。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

詳細については、を参照してください。 Now Assist ドキュメント.

エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist の探索

エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist アプリケーションを使用すると、エンタープライズアーキテクチャワークスペース内のアーキテクチャ決定レコード (ADR) の簡単なサマリーを生成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズアーキテクチャの **Now Assist** の概要

EA 向け Now Assist アプリケーションには、アーキテクチャ決定レコード (ADR) のテキストを要約できるようにする生成 AI のスキルと機能が含まれています。ADR は、特定のアーキテクチャ上の決定の背景を理解するのに役立つアーティファクトの一種です。

スキル

エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist アプリケーションには、エンタープライズアーキテクチャワークスペースユーザーがアーティファクトのNow Assistスキルを活用できるようにする生成 AI のスキルと機能が含まれています。

生成 AI ドキュメント

ドキュメントの Now Assist を使用して、選択したテキストまたはテキスト全体の簡潔で有益なサマリーをエンタープライズアーキテクトに提供します。エンタープライズアーキテクチャワークスペースの ADR Doc 要約とアクションスキルを使用して、ADR アーティファクトのテキストを要約します。また、ADR ドキュメントでテキストを選択するときに使用できるコンテキストメニューオプションを使用して、要約をさらに短縮または詳細化することもできます。ADR ドキュメントに要約、短縮テキスト、または詳細テキストを挿入して更新できます。

エンタープライズアーキテクチャ **(EA)** 向け **Now Assist** に関するサポート情報

エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist アプリケーションに関連する重要な情報の簡単な概要を把握できます。

サポート対象のバージョン

EA 向け Now Assist アプリケーションは、Yokohama リリース以降でサポートされています。

サポート対象のユーザーインターフェイス

EA 向け Now Assist アプリケーションは エンタープライズアーキテクチャワークスペース でサポートされています。

ライセンスの要件

エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist アプリケーションには、エンタープライズアーキテクチャ Pro Plus ライセンスが必要です。

アプリケーション情報

最新の エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist (sn_ea_gen_ai) ストアアプリをアクティブ化して、 Now Assist スキルを使用します。

このストアアプリは、Now Assist for Platform (sn_genai_platform) (v6.0.0) に依存しています。

詳細については、「エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist の構成」を参照してください。

関連情報

- エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist の探索
- エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist の構成
- エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist の使用
- エンタープライズアーキテクチャの Now Assist の参照

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist の構成

admin ロールを持っている場合は、エンタープライズアーキテクチャワークスペース (EA) で生成 AI スキルを有効にするようにエンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist を構成できます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

Now Assist アドミンコンソールを使用して、EA 向け Now Assist を構成します。このコンソールには、プラグインをアクティブ化して生成 AI スキルを構成するために必要なものがすべて含まれています。詳細については、「Now Assist アドミン コンソール」を参照してください。

次の表に、Now Assist アドミンコンソールからアクセスできる機能とスキルを示します

エンタープライズアーキテクチャ**Now Assist** アドミンコンソールの機能とスキル

EA の機能	スキル
アーキテクチャ決定レコード	アーキテクチャ決定レコードのドキュメント要約とアクション (エンタープライズアーキテクチャワークスペース)

注: Now LLM サービス は、この Now Assist アプリケーションのスキルのデフォルトのプロバイダーです。

エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist システム要件は次のとおりです。

- Now Assist for Platform (v7.0.1)
- エンタープライズアーキテクチャワークスペース (v3.4.0)
- エンタープライズアーキテクチャ Pro Plus ライセンス

手順

1. エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist プラグイン (sn_ea_gen_ai) をインストールします。
   - アプリケーションの依存関係の詳細については、「エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist に関するサポート情報」を参照してください。
   - インストールプロセスの詳細については、「Now Assist プラグインをインストール」を参照してください。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 機能 をクリックして、Now Assist アドミン コンソールの [機能] タブにアクセスします。
   既に Now Assist アドミンコンソールを表示している場合は、画面の **[Now Assist** 機能 **(Now Assist Features)]** タブを選択できます。
3. テクノロジーの横にある行の展開アイコン ( ) を選択します。
4. **[EA]** を選択します。
5. エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist スキルをアクティブ化して構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキル	アクション
ADR Doc 要約とアクション	**a.** エンタープライズアーキテクチャワークスペーススキルカードで、[詳細を表示] を選択します。 **b.** [スキルのアクティブ化 **(Activate skill)**] を選択します。 **c.** ステップ 6 に進み、詳細を確認します。

6. 選択したスキルの次のパラメーターを確認します。
   a. 表示を選択：スキルが表示される場所を確認します。

      注: [製品内デスクトップ] オプションを選択すると、スキルはすべてのEA製品に表示されます。

      [保存して続行] を選択します。

   b. レビューとアクティブ化：選択肢のサマリーをレビューします。
7. 構成を完了し、[アクティブ化] を選択してスキルをアクティブ化します。
   スキルが構成され、アクティブ化されます。

エンタープライズアーキテクチャ **(EA)** 向け **Now Assist** の使用

エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist アプリケーションを使用すると、製品マネージャーはエンタープライズアーキテクチャワークスペースでアーキテクチャ決定レコード (ADR) を要約できます。

アーキテクチャ決定レコード **(ADR)** のサマリーの生成

エンタープライズアーキテクチャワークスペース で Now Assist によって生成されたサマリーから、アーキテクチャ決定レコード (ADR) の詳細をすばやく学習します。

始める前に

ADR Doc 要約とアクションスキルが有効になっていることを確認します。

必要なロール：sn_apm.apm_user

このタスクについて

Now Assist によって生成されたサマリーを使用して、特定のアーキテクチャ上の決定の背景を理解するのに役立つ大規模なアーキテクチャ決定レコード (ADR) アーティファクトの読み取りに費やす時間を最小限に抑えます。

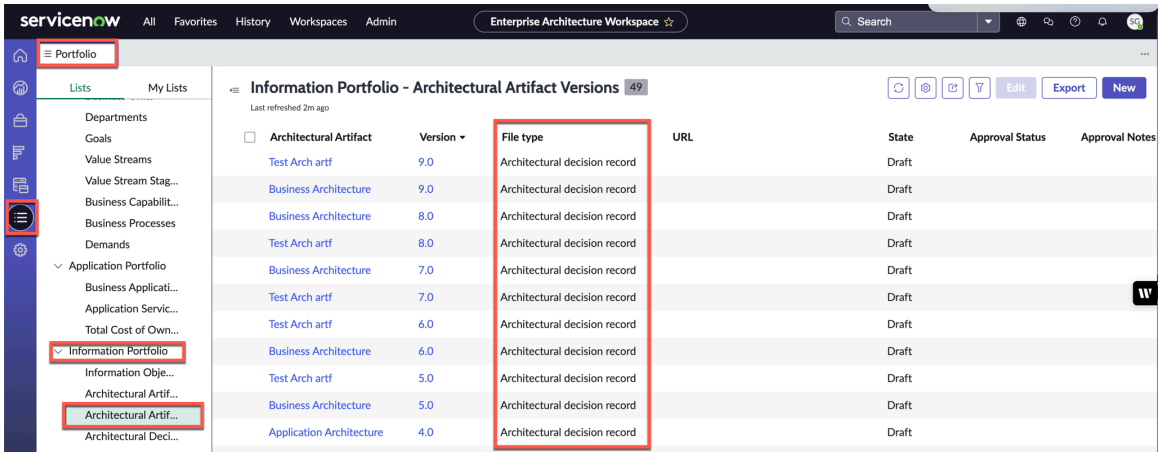
エンタープライズアーキテクトが ADR タイプのアーティファクトの承認要求を受け取ったときに、[要約 **(Summarize)]** ボタンを使用すると、ADR ドキュメントのコンテンツの概要をすばやく取得できます。大きなドキュメントの概要をすばやく生成することで、ドキュメントを読む時間を節約できます。アーティファクト承認要求の意思決定を迅速に行うのに役立ちます。

手順

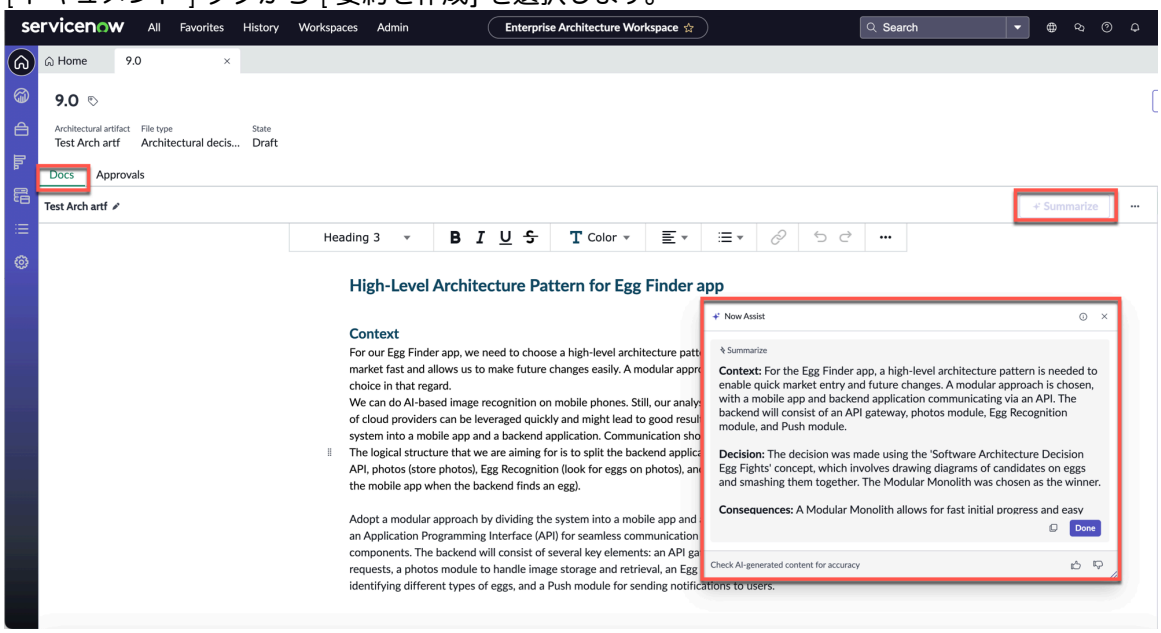
1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン [を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。
3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ( ) を選択します。
4. アーキテクチャアーティファクトのバージョンを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. アーキテクチャ決定レコードとして、ファイルタイプを持つアーティファクトバージョン番号を選択します。



6. [ドキュメント] タブから [要約を作成] を選択します。



7. [完了] を選択して要約を完了します。
要約されたテキストをコピーすることもできます。

関連情報

アーキテクチャ決定レコード (ADR) の追加または編集

アーキテクチャ決定レコード **(ADR)** のコンテンツを詳細化または短縮する

エンタープライズアーキテクチャワークスペースで Now Assist を使用して、アーキテクチャ決定レコード (ADR) コンテンツを詳細にしたり短縮したりします。

始める前に

ADR Doc 要約とアクションスキルが有効になっていることを確認します。

必要なロール：sn_apm.apm_user

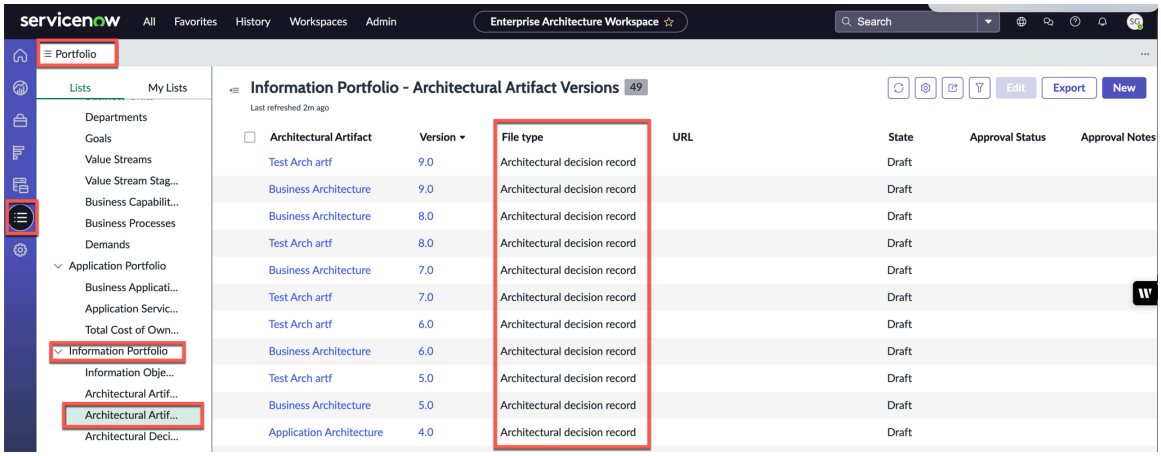
手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Enterprise Architecture Workspace**.
2. [ポートフォリオ] アイコン [ ]を選択して、[ポートフォリオ] リストビューを開きます。

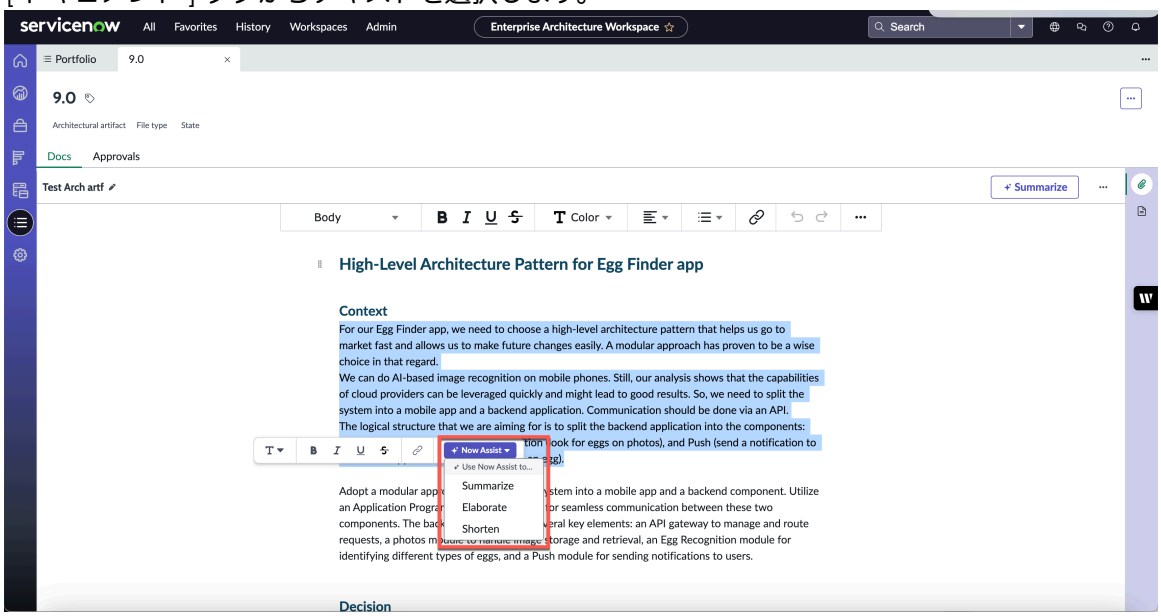
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [情報ポートフォリオ] の横にある行を展開アイコン ( ) を選択します。
4. アーキテクチャアーティファクトのバージョンを選択します。
5. アーキテクチャ決定レコードとして、ファイルタイプを持つアーティファクトバージョン番号を選択します。



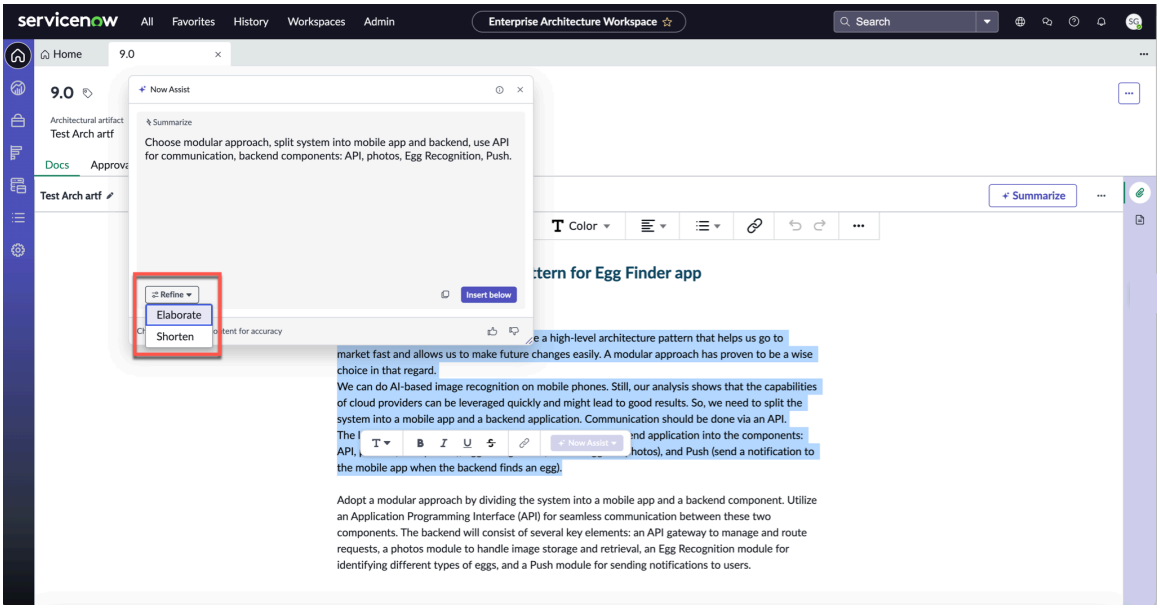
6. [ドキュメント] タブからテキストを選択します。



7. **[Now Assist]** を選択してドロップダウンを選択し、次のいずれかのタスクを実行します。
   - [要約を作成] を選択して、選択したテキストを要約します。
   - [詳細**(Elaborate**)] を選択して、選択したテキストを詳しく説明します。
   - 選択したテキストを短くするには、[短縮] を選択します。
8. Now Assist ポップアップの [絞り込み] ボタンを使用して、テキストをさらに詳しく説明したり短縮したりします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. [以下に挿入] を選択して、ADR レコードにコンテンツを挿入します。

関連情報

アーキテクチャ決定レコード (ADR) の追加または編集

会話エクスペリエンスを使用したビジネスアプリケーションの登録

仮想エージェント でのNow Assistの会話エクスペリエンスを使用して、仮想エージェントをサポートする任意のアプリケーションからビジネスアプリケーションを登録します。

始める前に

次のタスクが完了していることを確認します。

- 仮想エージェントをサポートするアプリケーションをインストールします。
- エンタープライズアーキテクチャの会話エクスペリエンスの構成を完了します。詳細については、「エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist の構成」を参照してください。

必要なロール：なし

このタスクについて

仮想エージェント をサポートするアプリケーション (従業員サービスセンター (ESC) など) では、チャットにビジネスアプリケーションを登録するためのプロンプトから開始します。一連の質問を通じて、仮想エージェントカタログアイテムに設定した質問の情報を入力するように求められます。仮想エージェント のNow Assistコンテキストを理解し、質問への回答で提供する情報を適切なカタログアイテム (この場合はビジネスアプリケーション) にマップします。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > **Employee Center**.

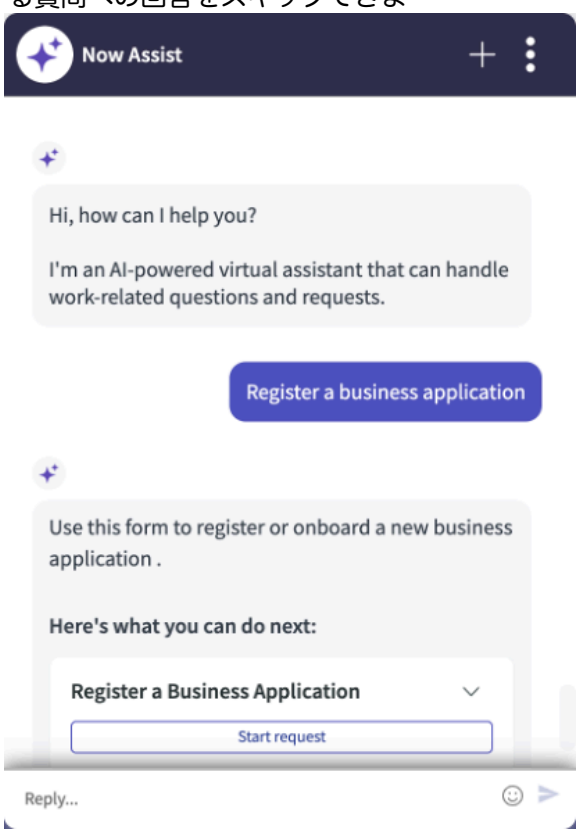
2. [チャットウィンドウを開く] を選択します。

3. 仮想エージェントとの会話を開始するための指示を入力します。

ビジネスアプリケーションの登録などの基本的な指示から始めることも、ビジネスアプリケーションの情報を含む詳細な指示から始めることもできます。次の例は、チャットで各指示がどのように処理されるかを示しています。

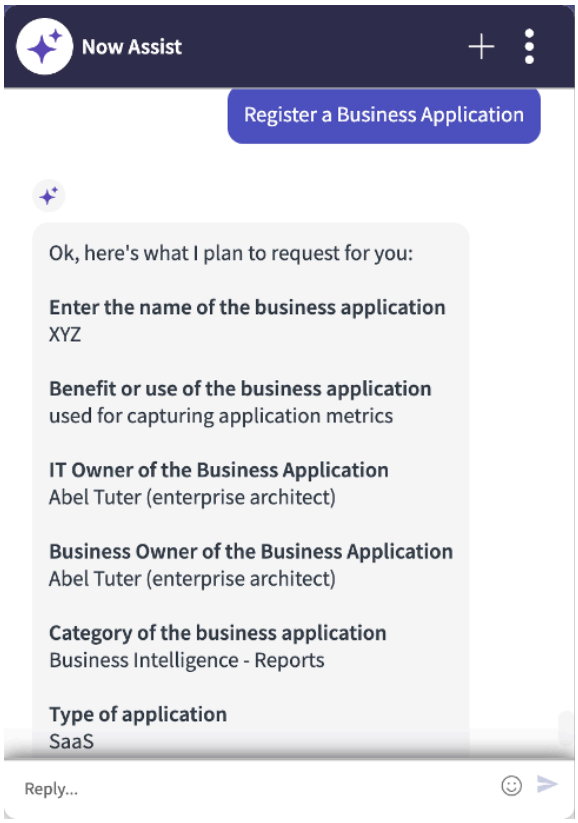
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

説明	説明
簡易:ビジネスアプリケーションを登録する	仮想エージェントは、一連の質問を通じてビジネスアプリケーションに関する詳細情報を求める会話を開始します。 ◦ ビジネスアプリケーションの名前は何ですか? ◦ ビジネスアプリケーションのメリットや用途は何ですか? ◦ ビジネスアプリケーションの IT オーナーは誰ですか? ◦ ビジネスアプリケーションの所有者は誰ですか? ◦ ビジネスアプリケーションのカテゴリは何ですか? ◦ これはどのタイプのアプリケーションですか? 入力した情報は、ビジネスアプリケーションフォームのフィールドに入力するために使用されます。「**skip**」と入力すると、必須でないフィールドに関連する質問への回答をスキップできます。 
詳細:アプリケーションメトリクスのキャプチャに使用する新しいビジネスアプリケーション XYZ を登録します。ビジネスアプリケーショ	仮想エージェントは、指定したコンテキストを使用して、ビジネスアプリケーションフォームの関連フィールドと自動的に照合します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

説明	説明
ンオーナーと IT オーナーの両方として Abel Tuter を指定します。また、ビジネスアプリケーションのカテゴリは [ビジネスインテリジェンス - レポート] で、アプリケーションのタイプは SaaS です。	次に、指定していないフィールドの情報のみを入力するように指示します。 「**skip**」と入力すると、必須でないフィールドに関連する質問への回答をスキップできます。 

4. 仮想エージェントが [ビジネスアプリケーション] フォームフィールドに入力した情報を確認します。
   変更を加えるか、送信するかを選択できます。

会話エクスペリエンスを使用したデジタル統合の登録

仮想エージェント でのNow Assistの会話エクスペリエンスを使用して、仮想エージェントをサポートする任意のアプリケーションからデジタル統合を登録します。

始める前に

次のタスクが完了していることを確認します。

- 仮想エージェントをサポートするアプリケーションをインストールします。
- エンタープライズアーキテクチャの会話エクスペリエンスの構成を完了します。詳細については、「エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist の構成」を参照してください。

必要なロール：なし

このタスクについて

仮想エージェント をサポートするアプリケーション (従業員サービスセンター (ESC) など) では、チャットにビジネスアプリケーションを登録するためのプロンプトから開始します。一連の質問を通じて、仮想エージェントカタログアイテムに設定した質問の情報を入力するように求められます。仮想エージェント のNow Assistコンテキストを理解し、質問への回答で提供する情報を適切なカタログアイテム (この場合はビジネスアプリケーション) にマップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

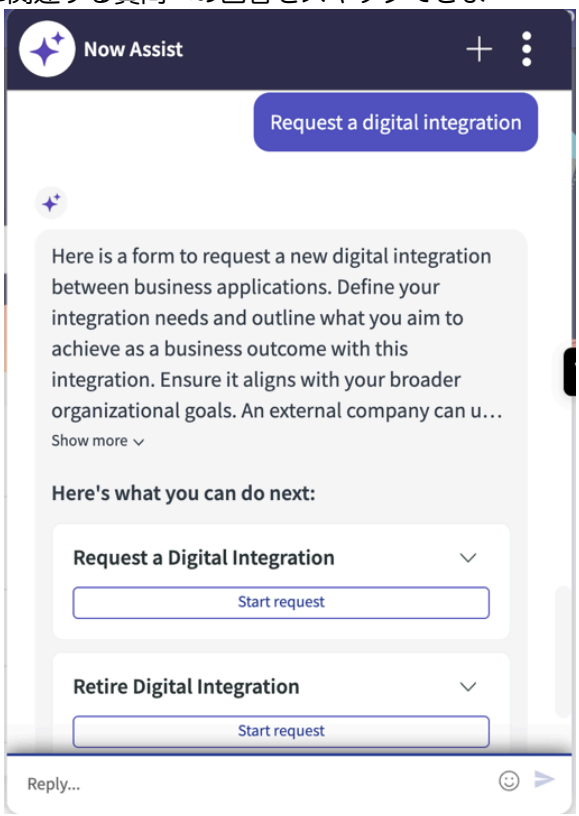
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > **Employee Center**.
2. [チャットウィンドウを開く] を選択します。
3. 仮想エージェントとの会話を開始するための指示を入力します。

ビジネスアプリケーションの要求などの基本的な指示から始めることも、デジタル統合情報を含む詳細な指示から始めることもできます。次の例は、チャットで各指示がどのように処理されるかを示しています。

説明	説明
簡易:デジタル統合を要求します	仮想エージェントは、一連の質問を通じてビジネスアプリケーションに関する詳細情報を求める会話を開始します。 ◦ 登録するビジネスアプリケーションの名前は何ですか? ◦ 要求しているビジネスアプリケーションは何ですか? ◦ これは新しいプロバイダーのデジタルインターフェイスですか? ◦ [必須]プロバイダーデジタルインターフェイスの名前は何ですか? ◦ この要求の IT オーナーは誰ですか? ◦ どのような種類のビジネスを所有していますか? ◦ あなたはどのタイプのサブスクライバーですか? ◦ 参加したいデジタル統合について説明していただけますか? 入力した情報は、デジタル統合フォームのフィールドに入力するために使用されます。「**skip**」と入力すると、必須でないフィール

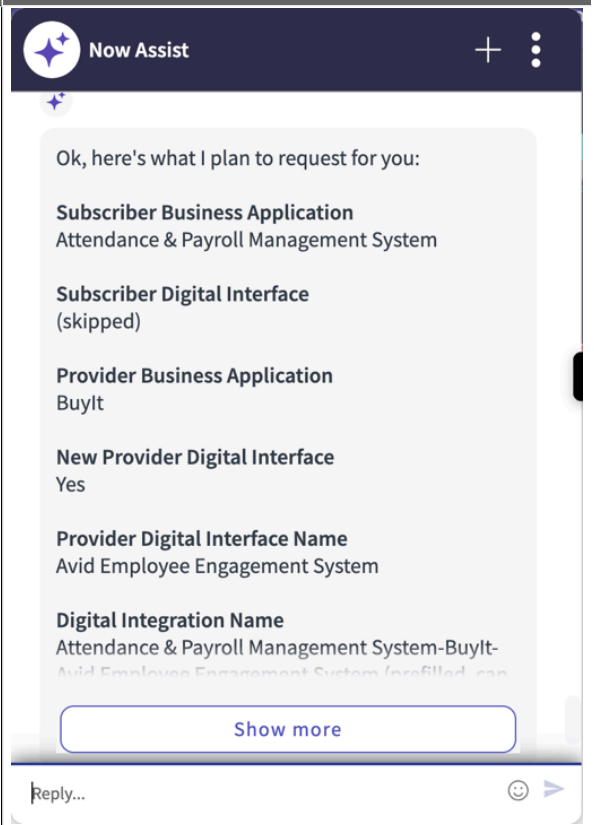
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

説明	説明
	ドに関連する質問への回答をスキップできます。 
詳細:購読者ビジネスアプリケーションBuyItとプロバイダービジネスアプリケーションがCase Managementの新しいデジタル統合を要求します。	仮想エージェントは、指定したコンテキストを使用して、ビジネスアプリケーションフォームの関連フィールドと自動的に照合します。 次に、指定していないフィールドの情報のみを入力するように指示します。 「**skip**」と入力すると、必須でないフィールドに関連する質問への回答をスキップできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

説明	説明
	

4. 仮想エージェントがデジタル統合フォームフィールドに入力した情報を確認します。
   変更を加えるか、送信するかを選択できます。

での AI エージェントのユースケースの使用 エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist

エンタープライズアーキテクチャ内の AI エージェントを使用して、タスクを自律的に完了できるようにします。

の AI エージェントで利用可能なユースケース エンタープライズアーキテクチャ

ユースケース名	説明	利用可能な AI エージェント
エンタープライズアーキテクチャ図を生成	ビジネスアプリケーション階層の図を エンタープライズのモデリングと可視化 で生成し、要約します。	エンタープライズアーキテクチャ Diagrammer

ユースケースで使用されていない AI エージェントが、 Now Assist アプリケーションとともにインストールされている場合があります。利用可能なすべてのエージェントを表示する方法については、「AI エージェントを検索する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

デフォルトでは、すべてのユースケースと AI エージェントレコードは読み取り専用です。

AI エージェントの構成を変更するには、まず ユースケースを複製 してから、次の手順に進む必要があります。

- ユースケースをアクティブ化します。
- ユースケース内のすべてのエージェントをアクティブ化します。
- エンタープライズアーキテクチャ図の生成のユースケースを呼び出すには、 Now Assist パネルから特定のエンティティのビジネス階層図を要求します。

AI エージェントの詳細とインストール方法については、以下を参照してください。

- Now Assist AI エージェント
- Now Assist AI エージェントをインストール
- AI エージェントスタジオ

エンタープライズアーキテクチャ **AI** エージェントがエンタープライズアーキテクチャ図のユースケースを生成

エンタープライズアーキテクチャ図を生成 AI エージェントを使用して、ビジネスアプリケーション階層の エンタープライズのモデリングと可視化 図を生成して要約します。

エンタープライズアーキテクチャ図の概要を生成

エンタープライズアーキテクチャ図の生成のユースケースを使用して、 Now Assist パネルを介して AI エージェントと会話することで、ビジネスアプリケーション階層のエンタープライズアーキテクチャ図を作成します。このユースケースにより、エンタープライズアーキテクトがビジネス階層図を構築しながら価値実現までの時間を短縮できます。また、エンタープライズ以外のアーキテクトがアーキテクチャ図のコンテキストを理解できるようになります。

図を生成した後、AI エージェントは、作成されたビジネスアプリケーション階層図を要約し、図内のすべてのエンティティを一覧表示し、それらの関係を記述することを提案します。

Now Assistパネルを含めるように表示設定を設定することで、ユースケーステンプレートをアクティブ化できます。このユースケースの手順を変更する場合は、 ユースケースを複製 し、特定のニーズに合わせて設定を調整し、代わりにユースケースの複製バージョンをアクティブ化する必要があります。

重要:

- インスタンスでNow Assistパネルを表示するには、Now Assistパネルのユーザーロール (now_assist_panel_user) が必要です。
- エンタープライズアーキテクチャ図の生成のユースケースを使用するには、 エンタープライズアーキテクチャ ユーザーロール (sn_apm.apm_user) が必要です。

エンタープライズアーキテクチャ図のユースケースを生成

ビジネスアプリケーション階層の エンタープライズアーキテクチャ 図を生成して要約します。

アドミニストレーターがユースケースにアクセスするか、有効にする場合:

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.
2. [エンタープライズ アーキテクチャ図の生成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーがユースケースを呼び出す場合:

1. インスタンス内の任意の場所で Now Assist アイコン ( ) を選択します。
2. 特定のビジネスアプリケーションの図を作成するためのプロンプトを入力します。

   プロンプトには、何らかの形でダイアグラムという単語が含まれていることが不可欠です。プロンプトの例は、「XYZ ビジネスアプリケーションの図を作成 (Create a diagram for XYZ business application)」です。

エンタープライズアーキテクチャ図の生成ユースケースのトリガー

エンタープライズアーキテクチャ図の生成のユースケースには、事前定義されたトリガーはありません。ユースケースを呼び出すには、 Now Assist パネルから特定のエンティティのビジネス階層図を要求します。

エンタープライズアーキテクチャ図の生成のユースケースで使用される AI エージェント

エンタープライズアーキテクチャ図生成ツールの AI エージェントは、エンタープライズアーキテクチャ図の生成のユースケースで使用されます。

エンタープライズアーキテクチャ図の生成ユースケースにマッピングされたツール

次のツールは、エンタープライズアーキテクチャ図の生成のユースケースの AI エージェントにマッピングされています。すべてのツールはスクリプトタイプです。

エンタープライズアーキテクチャ図の生成のユースケースで使用されるツール

[Name (名前)]	実行モード	説明
ビジネスアプリケーションを検索	自律型	ビジネスアプリケーション情報を取得します。
ダイアグラム URL を生成	自律型	指定されたビジネスアプリケーションのシステム ID とアーティファクト名のダイアグラム URL を生成します。

エンタープライズアーキテクチャ図の生成ユースケースのアクティブ化

エンタープライズアーキテクチャ図の生成のユースケースを有効にするには、 ユースケーステンプレートのアクティブ化 に記載されている手順に従います。

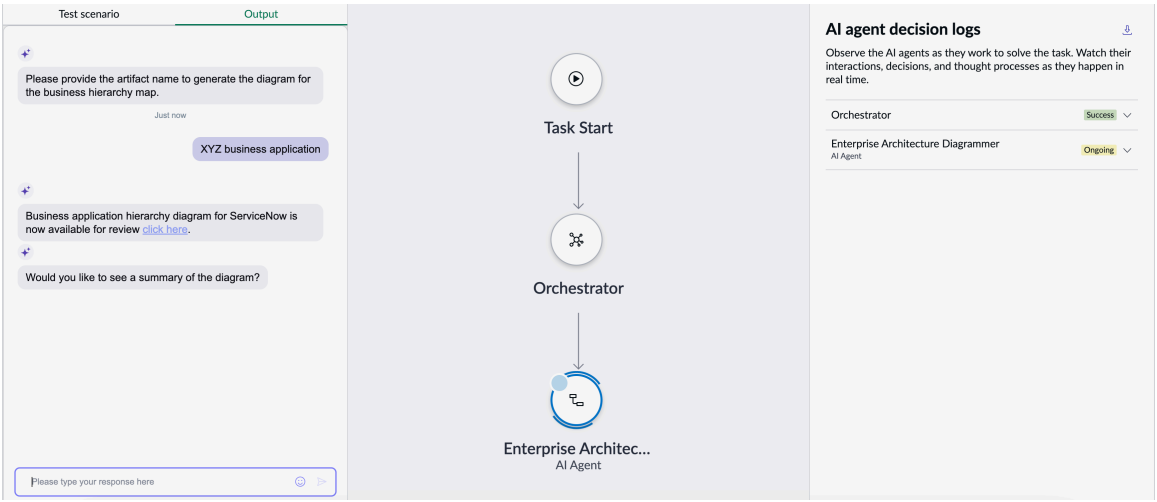
ただし、[表示を選択] ページでは、次の操作を行います。

1. [表示] トグルの横で、[行を展開] アイコン ( )
2. [ユーザーロール] フィールドに、sn_apm.apm_user ロールを入力します。
3. [保存してテスト] を選択します。

   エージェントがユースケースの要求を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



AI エージェントとユースケースの作成方法、および AI エージェントスタジオ の使用方法に関する情報を表示するには、以下を参照してください。

- AI エージェントスタジオ
- AI エージェントスタジオをインストールする
- Now Assist AI エージェントをインストール
- Now Assist AI エージェント の構成
- AI エージェントを作成
- ユースケースを作成
- AI エージェントのテスト
- ユースケースのテスト

エンタープライズアーキテクチャの **Now Assist** の参照

とともにインストールされるテーブル、ロール、およびプロパティに関する追加情報を提供するための参照情報 エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。